

図書目録

2025



慶應義塾大学出版会

Keio University Press

文明の継承を目指して

当社は、1947年（昭和22年）の設立以来、教材・紀要・学術図書の出版を通じて社会の発展に寄与してまいりました。お陰をもちまして、多彩な学問分野からの専門書・教科書、教養書を刊行し、ユニバーシティ・プレスとしての役割を果たしてまいりました。

また、慶應義塾大学は、日本で最古の私学であり、創設者、福澤諭吉の「独立自尊」と「気品の泉源、智徳の模範」たらんとする建学の精神にもとづき、未来への先導者として歩みつづけております。

当社は、この慶應義塾大学における人文科学・社会科学・自然科学などの知的創造活動の成果を、出版事業を通じて世界に発信してまいります。

さらにまた、一学塾の枠にとらわれず、グローバルな時代の潮流を視野に入れ、学術総合出版社として広範な分野における出版に取り組んでまいります。

2025年1月

慶應義塾大学出版会

目 次

新刊案内	6	文化人類学	70
		地理	71
学習実用書	18	心理	73
文章・論文の書き方	18	心理一般	73
アカデミック・スキルズ	19	臨床心理	73
		認知心理	74
◆人文科学		社会心理	75
哲学・思想	24	精神医学	75
哲学一般	24	宗教	77
西洋哲学（古代～中世）	24	宗教一般	77
西洋哲学（近代）	25	仏教	78
現代思想	27	キリスト教	78
分析哲学	30	イスラム教	79
フェミニズム哲学	31	宗教（その他）	80
表象文化論	32	社会	81
東洋哲学	33	社会一般	81
科学哲学	37	社会調査	83
倫理学	38	コミュニティ	84
論理学	39	メディア論	84
言語学	40	ジェンダー	87
日本近世・近代思想	42	家族論	89
日本戦後思想	48	現代日本社会論	90
歴史	50	都市論	92
歴史一般	50	環境	92
考古学	51	国際社会	93
日本史（古代～近世）	51	スポーツ	95
日本史（近代～）	52	教育	96
民俗学	58	教育一般	96
東洋史（東アジア）	60	児童心理	98
東洋史（南アジア・西アジア）	61	初等・中等教育	99
西洋史（古代～近世）	62	高等教育・大学論	100
西洋史（ヨーロッパ各国）	63	家庭教育	102
西洋史（南北アメリカ）	68	特別支援教育	103
文化史	69		

博物館学	106
芸術	107
芸術一般	107
美学	108
美術	109
写真	111
デザイン	111
音楽	112
映画	113
演劇	114
舞踊	115
文学	116
日本文学	116
中国文学	121
英米文学	122
フランス文学	124
ドイツ文学	126
海外文学（その他）	127
詩	128
随筆	129
読書論	133
文献学	134
語学	135
英語	135
中国語	136
ドイツ語	137
スペイン語	137
ロシア語	137
人文科学総記	138
◆社会科学	
法律	140
法律一般	140
憲法	143
民法	144
民事訴訟法	147
民事法（その他）	148
知財法	149

労働法	150
商法	150
刑法	152
刑事訴訟法	153
刑事政策・刑事法全般	153
国際法	154
法制史	155
その他	156
政治	158
政治一般	158
政治史	161
日本政治	162
行政学	163
地方自治	163
アジア・太平洋政治	164
中東・アフリカ政治	170
EU・ロシア政治	170
南北アメリカ政治	172
軍事・戦争	174
国際政治	175
経済	177
経済一般	177
経済史	181
経済理論	182
マルクス経済学	185
経済学史・経済思想	186
日本経済	187
国際経済	189
金融	190
財政	192
産業	192
労働	192
社会保障	194
環境経済・資源	196
地域経済	197
統計学	199
経営・ビジネス	200
経営・ビジネス一般	200
経営戦略	201
経営組織・マネジメント	202

生産管理	203	著訳編者索引	308
保険	203	書名索引	317
マーケティング	204	ご注文について	巻末
人事	205		
仕事術・自己啓発	206		
会計・財務	207		
起業	208		
社会科学総記	210		
◆自然科学			
理工	212		
科学一般	212		
物理学	212		
天文学	213		
地学	213		
工学	214		
建築	215		
生物学	216		
コンピュータ	218		
エネルギー	219		
医学	220		
医学一般	220		
医学専門	221		
家庭の医学	222		
薬学	223		
自然科学総記	224		
欧文書籍	225		
慶應義塾	230		
叢書・シリーズ・著作集一覧	240		
定期刊行物	265		
慶應義塾大学の各種機関誌	265		
教育と医学	266		
慶應カレンダー	267		
常備店・協力店一覧	268		
品切書目一覧	275		

- ・本目録には 2025 年 1 月現在、在庫のものを収録しております。品切のもの、増刷予定のないものについては、巻末の品切書目一覧をご参照下さい。
- ・各書目ごとに解説の末尾に付した〈 〉内の数字（例〈330〉）は日本十進分類法による図書分類番号です。
- ・書名の下に付した 5 桁の数字は ISBN（日本図書コード）の商品コードです。全書籍共通の国コードと出版社コード（978-4-7664-）を省略してあります。
- ・末尾にある【図】印は日本図書館協会選定図書、【学】印は全国学校図書館協議会選定図書の表示です。
- ・価格は 2025 年 1 月現在のものです。（ ）内の数字は本体価格です。今後、価格の改定を行うこともありますので、あらかじめご了承下さい。
- ・電子書籍の取り扱いがある書目もございます。
○弊社 web サイトにて該当書目を検索していただくと、書籍詳細の画面右列に購入できる電子書店を表示します。

弊社 web サイト <https://www.keio-up.co.jp/>



○電子書籍の扱いがある書籍一覧は弊社 web サイトの以下のページにてご覧いただけます。

<https://www.keio-up.co.jp/np/all/digitalbooks.do/>



❖ 新刊案内 ❖

2024年1月～12月



永守伸年 著
信賴と裏切りの哲学

2945-9 四六判並製 280頁 定価 2,860円 (本体 2,600円)

社会秩序の根源にあって、私たちの生活を支える「信賴」。これまで、哲学、心理学、社会学、経済学で個別に展開されてきた議論を統合し、ホッブズ、ヒューム、カントらの哲学を手がかりに、その謎めいた力を論じつづす。 (158)



澤井義次 著
井筒俊彦 東洋哲学の深層構造

2997-8 四六判上製 304頁 定価 4,400円 (本体 4,000円)

井筒俊彦の生涯と哲学研究をひもとき、インド哲学やルードルフ・オットーの思想からの影響などを明らかにすることで、「東洋的現象学」とも呼ぶべき井筒「東洋哲学」の根源的特徴を描き出す。 (289.1)



田中泉史・鈴木大地・太田絃史 著
意識と目的の科学哲学

2962-6 新書判並製 120頁 定価 770円 (本体 700円)

脳・神経系という物理的な存在から発生するにもかかわらず、科学的な解明が難しいとされる「意識」。本書は「意識の難問」に対して進化論的アプローチから挑み、意識科学の方法論の再構築を目指す。慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (401)



徳永聡子 編
神・自然・人間の時間 —古代・中近世のときを見つめて

2954-1 A5 判上製 240頁 定価 3,850円 (本体 3,500円)

環地中海世界を中心に、古代から近代への大きな時間幅の中で、人々が、「神の時間」、「自然の時間」、「人間の時間」をそれぞれどのように把握していたのかを問い直す論文集。 (112)



鈴木優 著
フリードリヒ・シラー 自由の美学 —仮象と遊戯の人間形成論

2960-2 A5 判上製 352頁 定価 6,600円 (本体 6,000円)

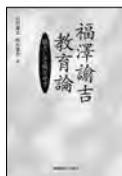
18世紀ドイツの国民的詩人であると同時に哲学的医師でもあったシラーは、同時代の唯物論的・機械論的な人間観と対峙しながら、美や芸術による人間性の彫琢を目指した。その思想の全貌に迫るシラー研究の決定版。 (940.28)



バーナード・ウィリアムズ 著／河田健太郎・杉本英太・渡辺一樹 訳
恥と運命の倫理学 —道徳を乗り越えるためのギリシア古典講義

2992-3 四六判上製 320頁 定価 3,960円 (本体 3,600円)

20世紀を代表する哲学者、バーナード・ウィリアムズによるカリフォルニア大学の名講義。西洋哲学が見落としていた「倫理」をギリシア古典に発見し、近代道徳の呪縛から解放する〈反道徳的な倫理学〉。解説＝納富信留。 (150)



福澤諭吉 著／山内慶太・西川俊作 編
福澤諭吉 教育論 —独立して孤立せず

2943-5 四六判並製 524頁 定価 2,530円 (本体 2,300円)

教育者・福澤諭吉はどのような理念に基づき慶應義塾を創立し、教育事業を実践していったのか。現代にも示唆に富む、その教育論を集成。慶應義塾のモラルコードである「修身要領」も収載した決定版。 (370.4)



小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編
小幡篤次郎著作集 第四巻

2937-4 四六判上製函入 544 頁 定価 5,940 円 (本体 5,400 円)

福沢諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎 (1842～1905) の著作を、全 5 巻+別巻にまとめた初の著作集。第四巻では、「小学歴史階梯」「小学歴史 巻一～巻三」、2020 年に新たに発見された「小学地誌階梯」等を取録。 (081.6)



小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編
小幡篤次郎著作集 第五巻

2971-8 四六判上製函入 712 頁 定価 7,480 円 (本体 6,800 円)

福沢諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎 (1842～1905) の著作を、全 5 巻+別巻にまとめた初の著作集。第五巻では、「英式艦砲全書 一～二」「船用汽機新書 巻の一～二」「書簡集」を取録。 (081.6)



竹内楠三 著／岩下真好 監訳

真理探究者たち 一ある日本人の対話と省察

2687-8 四六判上製 184 頁 定価 5,940 円 (本体 5,400 円)

明治期の催眠術ブームの仕掛け人にして超常現象の研究家、そしてまた教育者、宗教家の顔も有した竹内楠三 (1867-1921) がドイツ語で著しドイツで出版された幻の思想小説を邦訳。知られざる啓蒙家の思想がいま鮮やかに蘇る。 (943)



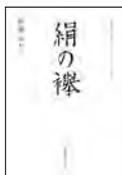
須藤健一 著

橋川文三の政治思想 一三島由紀夫・丸山眞男・柳田国男との思想的交錯

2949-7 A5 判上製 378 頁 定価 4,620 円 (本体 4,200 円)

—「突破」と「保守」の相克を超えて—。三島・丸山・柳田の思想に惹かれつつその課題を乗り越えようとした戦後の思想家・橋川文三。彼のアクチュアルな思想とその葛藤を、豊富な一次資料を用いながら論じた本格的論考。 (311.21)

歴史



稲葉なおと 著

絹の襷 一富岡製糸場に受け継がれた情熱

2970-1 四六判上製 344 頁 定価 2,750 円 (本体 2,500 円)

明治の工場建築は、いくたびかの消滅の試練を乗り越え、なぜ世界遺産登録に至ることができたのか。登録から 10 年を経て初めて明かされる、富岡製糸場の「語られざる秘話」。その核心に迫る渾身のノンフィクション。 (639)



崔誠姫 著

女性たちの韓国近現代史 一開国から「キム・ジョン」まで

2989-3 四六判並製 224 頁 定価 2,860 円 (本体 2,600 円)

韓国併合、戦争協力と犠牲、独裁政権、民主化運動、フェミニズム……。開国から現代にいたるまで、朝鮮・韓国の女性はどう生き、どう変わっていったのか。有名・無名のさまざまな女性たちに光を当て、近現代韓国の歴史を描きだす。 (367.221)



カーター・J・エッカート 著／松谷基和 訳

韓国軍事主義の起源 一青年朴正熙と日本陸軍

2976-3 A5 判上製 512 頁 定価 7,920 円 (本体 7,200 円)

満洲国軍官学校で朴正熙は何を血肉化したのか。韓国近現代史の核心である「軍事主義」と、それを体現する「朴正熙」の満洲時代に迫る、朝鮮史研究の泰斗による集大成。 (221.07)



鈴木真吾 著

近代オスマン帝国における国家医療の誕生 —湾岸都市イズミルの衛生と感染症

3001-1 A5 判上製 320 頁 定価 7,700 円 (本体 7,000 円)

20 世紀転換期、コレラや感染症のパンデミックを背景に、大帝国はいかに「地方」から医療・衛生制度を近代化していったのか。多彩な新資料や図版をもとに、都市社会史の手法を用いて、国家医療の形成を丹念に詳述する。 <227>



永嶋友 著

第二次世界大戦期イギリスのラジオと二つの戦争文化 —BBC、プロパガンダ、モダニズム

2982-4 A5 判上製 376 頁 定価 8,030 円 (本体 7,300 円)

BBC ラジオの詳細な分析を通じて、第二次大戦期イギリスのラジオ文化史を描き出すとともに、「ラジオモダニズム」の様相を明らかにする。

慶應義塾大学法学研究会叢書 別冊 20 <019>



藤原翔太 著

ブリュメール 18 日 —革命家たちの恐怖と欲望

2959-6 四六判上製 200 頁 定価 2,640 円 (本体 2,400 円)

ナポレオンはどのようにして担ぎ上げられたのか。革命期に発展した民主主義を制御できなかった革命家たちは、みずから権威主義体制を望み、形成していく。その震源となったクーデタの過程と内実に迫る。 <235.06>



高橋義彦 著

ウィーン1938年 最後の日々 —オーストリア併合と芸術都市の抵抗

2972-5 四六判上製 296 頁 定価 2,970 円 (本体 2,700 円)

1938 年 3 月、オーストリアはナチス・ドイツにより併合された。独立を守ろうとする首相たちや、フロイト、ウィトゲンシュタイン家ら文化人・芸術家の抵抗や亡命を軸に、芸術都市ウィーンの緊迫した日々を描く注目作。 <234.6>

文化人類学



ターニャ・M・ラーマン 著／柳澤田実 記

リアル・メイキング —いかにして「神」は現実となるのか

2977-0 四六判並製 360 頁 定価 3,520 円 (本体 3,200 円)

「神」のような信仰の対象になる、目に見えない存在は、信者にとっていかにして「現実（リアル）」になるのか。そのメカニズムを福音派をはじめとする宗教団体へのフィールドワークをもとに人類学的に考察する。 <161.3>

社会



田中英 著

〈声なき声〉のジャーナリズム —マイノリティの意見をいかに掲げ上げるか

2963-3 四六判上製 288 頁 定価 3,520 円 (本体 3,200 円)

誰もが情報を発信し、フェイクニュースが氾濫するこの時代に、ジャーナリストは「真正性」をいかに担保し、マイノリティの声を掲げ上げ、活性化させるべきなのか。SNS 時代のジャーナリズム論。 <070.14>



小平麻衣子・井原あや・尾崎名津子・徳永夏子 編

サンリオ出版大全 —教養・メルヘン・SF 文庫

2940-4 四六判上製 434 頁 定価 3,960 円 (本体 3,600 円)

詩とメルヘン、いちご新聞、リリカ、サンリオ SF 文庫、映画……数々の出版物と〈ギフト〉を世に送り出した、1960 年代から 1980 年代までのサンリオの多彩な文化事業に迫る。 <023.1>



キャスリン・ストック 著／中里見博 訳／千田有紀 解説
マテリアル・ガールズ —フェミニズムにとって現実はなぜ重要か
 2987-9 四六判上製 384 頁 定価 3,960 円 (本体 3,600 円)
 生物学的性別よりもジェンダーを優先する、いわゆる「ジェンダーアイデンティティ理論」が生まれた思想的背景を丁寧に説明し、「ジェンダーアイデンティティ」とは何かを哲学的観点から明らかにする。 (367.9)



山本薫子 著
立ち退かされるのは誰か? —ジェントリフィケーションと脅かされるコミュニティ
 2998-5 四六判並製 288 頁 定価 2,970 円 (本体 2,700 円)
 近年欧米で再評価が進む都市社会学者、ルース・グラス。彼女が目にした 1960 年代ロンドンの移民を襲った居住危機と、現代都市(バンクーバー、横浜・寿町)が抱える問題の共通点をフィールドワークを交えてさぐる、注目の書。 (362)



阪本真由美 著
阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか —被災者支援の 30 年と未来の防災
 3002-8 四六判並製 224 頁 定価 2,640 円 (本体 2,400 円)
 阪神・淡路大震災から 30 年。未曾有の被害をもたらした原因は何だったのか。行政アドバイザーとして被災者支援に長年携わる著者が、東日本大震災、能登半島地震、世界の事例をもとに、日本特有の防災対策システムの限界を指摘し、改革を提言する。 (362)



青木淳一・一ノ瀬大輔・小林宏充 編著
環境学入門 —法学・経済学・自然科学から学ぶ
 2957-2 A5 判並製 208 頁 定価 1,980 円 (本体 1,800 円)
 20 世紀終盤から問題がより顕著にあらわれはじめて、現在も継続している環境問題である、「循環型社会」、「生物多様性」、「気候変動と温暖化対策」をテーマとして、それぞれを法学、経済学、自然科学の観点から解説。 (519)

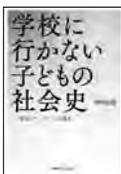


柳瀬房子 著
難民に冷たい国? ニッポン —支援と審査の現場から
 2968-8 四六判並製 336 頁 定価 2,200 円 (本体 2,000 円)
 長らく難民支援に携わってきた著者が、出会った人々との豊富なエピソードを紹介しつつ、国籍や在留資格をはじめ出入国管理の仕組みを平易に解説。日本の難民支援の歴史と現状を学び、多文化共生に向けた課題を考える一冊。 (361.5)



土田千愛 著
日本の難民保護 —出入国管理政策の戦後史
 2938-1 A5 判上製 256 頁 定価 4,620 円 (本体 4,200 円)
 日本は、難民政策をとりながら、いかにして出入国管理における国家主権を維持してきたのか。「庇護希望者」に、いかに救いの手を差し伸べるか。戦後日本の出入国管理政策の政策形成プロセスの検証から明らかにする。 (369.38)

教育



田中佑弥 著
学校に行かない子どもの社会史 —不登校とフリースクールの源流
 2995-4 A5 判上製 256 頁 定価 3,960 円 (本体 3,600 円)
 「学校に行かない子ども」という問題は、どのように生まれたのか。そして学校に行かないことを、文部省が「誰にも起こりうるもの」とであると認識するに至った過程はどのようなものだったのか。多様な人びとの「声」から再構成する。 (371.45)



田中真理・滝吉美知香 編著
発達障害と出会うとき —事例と研究知見から考える自己理解と支援

2944-2 A5 判並製 224 頁 定価 2,970 円 (本体 2,700 円)

人は自らの、そして他者の「発達障害」特性とどのように出会うのか。真に対等な共生意識を育むには、どのような自己理解・他者理解が求められるのか。事例、研究知見と支援をつなぐ試み。 (493.7)

芸術



島田真琴 著
美術館・博物館の事件簿

2999-2 四六判並製 240 頁 定価 2,640 円 (本体 2,400 円)

日本の3つの「ダリ展」、大英博物館の収蔵品、琉球王家の遺骨、表現の不自由展、重要文化財准胝観音立像…。アートの世界の内幕と真実とは？ 16の法廷ドラマと15のコラムから美術館・博物館の舞台裏を明らかにする。 (709)



金成玫 著
日韓ポピュラー音楽史 —歌謡曲から K-POP の時代まで

2935-0 四六判並製 312 頁 定価 2,750 円 (本体 2,500 円)

今や世界的人気を誇る K-POP アーティストたち。彼らの活躍の裏には日韓がおりなした数十年にわたる歴史があった。日本と韓国はいかに自己／他者のイメージを構築し、欲望しあい、「POPの夢」を見たか。もうひとつの日韓戦後史を描き出す。 (767.8)



多木陽介 著
プロジェクトイスタの控えめな創造力 —イタリアンデザインの静かな革命

2985-5 四六判並製 288 頁 定価 4,180 円 (本体 3,800 円)

デザイン黎明期の戦後イタリアで建築家やデザイナーとして生きた彼らは、自らを「プロジェクトイスタ」と称した。人びとの暮らしに寄り添い、人間的なクリエイションに心血を注いだ探究者たちの理念と行動、そしてその継承可能性に迫る。 (757.023)

文学



高柳克弘 著
隠された芭蕉

2942-8 四六判上製 264 頁 定価 2,750 円 (本体 2,500 円)

芭蕉の俳句は、言葉で一つの世界を創り出そうとする強靱な意思に満ちあふれている。子規・虚子らの近代以降の俳句観によって、実作者や研究者に注目されてこなかった「隠された芭蕉」の表現方法に注目し、次代の新しい表現を切りひらく芭蕉論。 (911.32)



若澤佑典 著
文芸共和国の歩き方 —書棚を遊歩するためのキーワード集

2956-5 四六判変型並製 112 頁 定価 770 円 (本体 700 円)

本を探し、ことばに触れ、思考の森を歩く旅人は、あれやこれやと「動く」ことで、その散策を満喫しています。読書をめぐるの十一の動作から、書棚の迷い人たちに「書国漫遊のモデル・プラン」を提供する。慶應義塾大学教養研究センター選書 24 (019)

法律



奥迪 著
近代東アジア憲法の歴史的交響 —理論の継受と規範の形成

2993-0 A5 判上製 312 頁 定価 5,720 円 (本体 5,200 円)

日本・中国、両国における憲法の基本概念から解きおこし、当時の中国の憲法制定と明治憲法、そして相互の憲法学の関係、また近代における中国の憲法学教育における日本的要素も考察しながら、両国の憲法、憲法学の継受と発展の歴史を繙く。 (324.4)



片山直也 著

財産の集会的把握と詐害行為取消権 —詐害行為の基礎理論 第2巻

2955-8 A5判上製 480頁 定価 7,920円 (本体 7,200円)

法秩序の重層構造と動態的法形成。この分析視角と問題意識を深化させ、「財産の集会的把握」という新たな現代的課題に挑む、詐害行為の基礎理論第2巻。

<324.4>



平野裕之 著

新・考える民法Ⅲ 債権総論 第2版

2969-5 A5判並製 264頁 定価 2,640円 (本体 2,400円)

司法試験受験生にも人気の平野裕之教授による論文演習書シリーズ、債権総論の第2版！ 問題をより実践的なレベルに近づけ、「模範答案例」を追加。実際の答案を考えるさいに参考になる、法律関係の図解も加えた最新版。

<327.07>



平野裕之 著

保証・人的担保の論点と解釈

2939-8 A5判並製 392頁 定価 5,520円 (本体 3,200円)

保証を中心とする人的担保。その論点の全て！ 連帯保証、共同保証、根保証はもちろん、併存的債務引受、独立損害担保、経営指導念書についても言及。保証を中心とした人的担保をめぐる論点のすべてを扱う解説書。

<324.52>



太田達也 著

犯罪被害者への賠償をどう実現するか —刑事司法と損害回復

2951-0 四六判上製 480頁 定価 3,520円 (本体 3,200円)

犯罪被害者への損害賠償の実現に向け、司法関係者のほとんどが無理だとしてきた従来の状況を打破し、警察、検察、刑務所、保護観察所といった刑事司法機関が犯罪者による被害者への賠償に向け為しうる方策について提案する。

<326.3>

政治



石塚壮太郎 編

プラットフォームと権力 —How to tame the Monsters

2979-4 四六判上製 312頁 定価 2,970円 (本体 2,700円)

プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指すシリーズ。第Ⅱ巻では、プラットフォーム権力の統制理論と手法が、憲法や競争法などの視点から検討される。怪獣化するプラットフォーム権力と法Ⅱ巻 <321>



駒村圭吾 編

プラットフォームとデモクラシー —The Future of Another Monster 'Demos'

2980-0 四六判上製 368頁 定価 2,970円 (本体 2,700円)

プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指すシリーズ。第Ⅲ巻では、プラットフォームの台頭と「デモス」の変容が検討されデモクラシーの未来が展望される。怪獣化するプラットフォーム権力と法Ⅲ巻 <321>



磯部哲 編集代表／河嶋春菜・柴田洋二郎・堀口悟郎・水林翔 編

プラットフォームと社会基盤 —How to engage the Monsters

2981-7 四六判上製 328頁 定価 2,970円 (本体 2,700円)

プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指すシリーズ。第Ⅳ巻では、プラットフォームの参入と健康・教育・労働の視点を交錯させウェルビーイングの課題を提言する。怪獣化するプラットフォーム権力と法Ⅳ巻 <321>



細谷雄一・板橋拓己 編著
民主主義は甦るのか？ —歴史から考えるポピュリズム

2946-6 四六判上製 304 頁 定価 2,200 円 (本体 2,000 円)

ポピュリズムは民主主義をどのように崩壊させていくのか。また衰退した民主主義はどうすれば再生できるのか。現代の難問を解く上で、歴史からのヒントを与える。水島治郎、五百旗頭薫、村井良太、竹中治堅ほかによる注目作。 <311.7>



大山耕輔 著
現代日本行政の比較分析 —信頼・環境・ガバナンス

2974-9 A5 判上製 320 頁 定価 6,820 円 (本体 6,200 円)

現代日本行政における信頼、環境、ガバナンスの三つの重要問題について、政府ではなく市民の視点からさまざまなレベルで比較のなかに位置づけ、定量的手法も加えて分析する。
 慶應義塾大学法学研究会叢書 94 <317>



磯崎敦仁 編著
北朝鮮を解剖する

2996-1 A5 判上製 240 頁 定価 3,850 円 (本体 3,500 円)

謎に包まれた国、北朝鮮。政治・外交・経済はもちろん、文学・音楽・映画・言語まで、多角的なアプローチで、その知られざる姿を明らかにする。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 <302.21>



段瑞聡 編著
現代中国の国家形成 —中華民国からの連続と断絶

2950-3 A5 判上製 264 頁 定価 5,720 円 (本体 5,200 円)

中華人民共和国は、中華民国からどのような面を継承し、またどんな面を継承しなかったのか。現在の中国という国の統治や制度のありかたを考えるのに重要な示唆をあたえる注目作。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 <312.22>



西山隆行・前嶋和弘・渡辺将人 著
混迷のアメリカを読みとく 10 の論点

2986-2 四六判並製 256 頁 定価 2,200 円 (本体 2,000 円)

経済的にも政治的にも分断が進む、超大国アメリカ。選挙や議会制度のしくみから、中間層の喪失と経済、政治不信、文化戦争、対外関係まで、世界が注目するアメリカの課題を、10 の論点からあぶりだす。 <312.53>



キャシー・パーク・ホン 著／池田年穂 訳
マイナーな感情 —アジア系アメリカ人のアイデンティティ

2991-6 四六判並製 248 頁 定価 2,750 円 (本体 2,500 円)

「模範的なマイノリティ」と言われながらマイノリティとしての存在感すらないアジア系アメリカ人の複雑な感情を克明に描き、彼らの人間としての尊厳を取り戻す珠玉のノンフィクション。 <334.453>



赤木完爾・国際安全保障学会 編著
国際安全保障がわかるブックガイド

2933-6 A5 判並製 288 頁 定価 2,200 円 (本体 2,000 円)

古典的名著からテーマ別の最新の重要書まで 123 冊をとりあげ、背景・概要とその現代的な位置づけを明らかにする。第一線の専門家たちによる、国際安全保障を理解し、不確実な世界を読み解く入り口となるブックガイド!! <319.8>



マイク・ロスチャイルド 著／鳥谷昌幸・昇亜美子 訳
陰謀論はなぜ生まれるのか —Qアノンとソーシャルメディア
 2936-7 四六判並製 378 頁 定価 2,970 円 (本体 2,700 円)
 アメリカ連邦議会議事堂襲撃事件はなぜ起こったのか？ 世界中を震撼させた「Qアノン」現象の根源に分け入り、権威や既存メディアに疑問を抱き陰謀論を信じる人々の深層に迫る、傑作ノンフィクション。 (312.53)



北岡元 著
ネクスト・インテリジェンス —高度情報化時代の「利益を実現する知識」
 2953-4 四六判並製 192 頁 定価 2,420 円 (本体 2,200 円)
 急速なデジタル化により情報の洪水におぼれそうな現代、「判断・行動のための知識」をいかに手に入れるか？ 安全保障・ビジネスにわたる代表的な理論と多様な事例を紹介し、新たなインテリジェンス創造モデルを提示する。 (336.17)

経
済



ギャレット・ジョーンズ 著／飯嶋貴子 訳
移民は世界をどう変えてきたか —文化移植の経済学
 2961-9 四六判上製 272 頁 定価 3,300 円 (本体 3,000 円)
 人類は太古から「移動」してきた。現在の経済大国は、移民が持ち込んだ文化（文化移植）によって繁栄がもたらされたのか。その影響を経済学と長期的なデータを計量分析することによって明らかにする。 (334.4)



ティモシー・ベズリー 著／溝口哲郎 訳／下松真之 解説
良い政府の政治経済学
 2973-2 A5 判並製 330 頁 定価 4,400 円 (本体 4,000 円)
 民主主義体制における政府や政治家の行動を理論化した「政治経済学」の定番中級テキスト。「よい政治、良い政府」とは何か？ この問題を考えるすべての人にヒントとツールを与える。 (331)



藤井典子 著
徳川期の銭貨流通 —貨幣経済を生きた人々
 2994-7 A5 判上製 352 頁 定価 5,500 円 (本体 5,000 円)
 徳川期の貨幣システムを制度面からではなく、人々の暮らしと密接不可分に結びついていた流通実態から繙き、庶民の優れた金銭感覚の源泉を探る。近世日本貨幣史に新しい視点をもたらす一冊。 (337.21)



杉山伸也 著
近代日本の「情報革命」
 2967-1 A5 判上製 432 頁 定価 9,460 円 (本体 8,600 円)
 近代日本の産業化をささえた明治政府の郵便・電信政策、情報インフラ・ネットワークの構築と地域経済への影響を明らかにし、「文明の利器」を手掛りに福澤諭吉『民情一新』を問い直す。 (692.1)



黒田昌裕 著
科学技術と日本の経済成長 —知的資本投資の効果測定
 2925-1 A5 判上製 352 頁 定価 6,930 円 (本体 6,300 円)
 経済成長の源泉が機械・設備投資から知的財産投資へとシフトする一方、日本にはそれらを成長へと結び付ける「経済構造」がまだ作られていない。精緻な実証分析で現状を明らかにし、科学技術振興政策と経済産業政策との戦略的統合を提唱する。 (332.107)



マーカス・K・ブルネルマイヤー、リカルド・レイス 著／栗林寛幸・小谷野俊夫 訳／青木浩介 解説
マクロ金融危機入門 —バブルはなぜ繰り返すのか

2988-6 四六判並製 192 頁 定価 2,750 円 (本体 2,500 円)

世界金融危機以降、その原因に関する研究が膨大になされた。現代の経済危機は、マクロ経済と金融が密接に関係している。本書では最新の理論と豊富な実例がコンパクトに説明される。学生・ビジネスパーソンともに役立つ一冊。 (338.2)



ラグラム・ラジャン 著／北村礼子 訳／小林慶一郎 解説
苦悶する中央銀行 —金融政策の意図せざる結果

2990-9 四六判並製 192 頁 定価 2,200 円 (本体 2,000 円)

世界の中央銀行が金融緩和を長く続けた結果、新たなリスクが生じるようになった。経済問題の解決を何でも中央銀行に求める過剰な期待が経済・金融を不安定にする。インド準備銀行の総裁も経験した銀行論の大家が警鐘を鳴らす。 (338.4)



内田浩史 著
現代日本の金融システム —パフォーマンス評価と展望

2983-1 四六判上製 484 頁 定価 3,850 円 (本体 3,500 円)

バブルとその崩壊から不良債権問題、世界金融危機など、アップダウンを繰り返しつつ、30年にわたる長期停滞からの脱出を模索してきたわが国の金融システム。その何が機能し、何が足りなかったのかを明らかにする渾身の一書！ (338.21)



辻幸民 著
実践ファイナンス論

2964-0 A5 判並製 292 頁 定価 2,970 円 (本体 2,700 円)

実際のデータとプログラムを使いながら、ファイナンスの理論を現実に適用する際の意義と問題点を解説。公認会計士・税理士、証券アナリストやファイナンシャルプランナーを目指す人々の「分かりそうで、分からない」を氷解させる。 (338.01)



井伊雅子 著
地域医療の経済学 —医療の質・費用・ヘルスリテラシーの効果

2958-9 四六判上製 400 頁 定価 3,300 円 (本体 3,000 円)

人々が安心して暮らしていくためにはどんな情報やサービスが必要かを、地域医療の視点から丁寧に解説。診療や医師の「質」の問題、統計・エビデンスの扱いの問題、医療情報の開示など、国際比較を交え斬新な切り口から検討する。 (332.107)



片山ゆき 著
十四億人の安寧 —デジタル国家中国の社会保障戦略

2984-8 四六判上製 336 頁 定価 3,300 円 (本体 3,000 円)

14億の民、2.8億の高齢者を抱える巨大国家は現在、経済・人口・財政面で三重苦に直面している。最新デジタル技術を擁する民間企業を巧みに巻き込みながら、大変貌を遂げつつある中国社会保障の知られざる側面を解説する意欲作！ (364.022)



池田眞朗 著
ビジネス法務学の誕生

3000-4 A5 判上製 240 頁 定価 3,080 円 (本体 2,800 円)

新しい学問分野「ビジネス法務『学』」とは何か？ 昨今の著しい社会の変化やきの激しいビジネスは、旧来の法律学では対処できなくなった。持続可能性、また「ルール創り」の観点から、新たな学問を提唱し、その内容を明らかにした基本書。 (324)



柳瀬典由 編著
企業のリスクマネジメントと保険 —日本企業を取り巻く環境変化とERM・保険戦略
 2948-0 A5判上製 240頁 定価 2,970円 (本体 2,700円)
 リスクマネジャー、損害保険会社、保険ブローカーなどの多彩な視点から日本企業のリスクマネジメントの実態と課題を整理し、キャプティブやパラメトリック保険などの最新事例を紹介。ERMとその一環としての保険戦略を提言する。 慶應義塾保険学会叢書 <339>



谷口和弘・河原茂晴・高部大問 編著
サステナビリティ時代の会社 —21世紀のコーポレート・エコノミー
 2952-7 四六判並製 288頁 定価 2,640円 (本体 2,400円)
 脱炭素化社会へのシフトが進むなか、企業にとってSDGs、ESGの問題は真剣に取り組むべき課題になった。本書では、企業のサステナビリティに関する議論を、国・地域・企業・個人のレベルに分け、実践事例も交えながら、その具体的な道筋を論じる。 <336>



友岡賛・木村太一 著
入門講義 簿記論
 2947-3 A5判並製 170頁 定価 2,640円 (本体 2,400円)
 それって仕訳はどうなるの? 「これを述べなければ複式簿記の構造を説明しえない」という内容に絞り込み、丁寧に仕訳をたどりながら解説。簿記・会計の初学者に最適の入門テキスト。 <336>

生物



パトリシア・B・マコーネル 著／村井理子 訳
犬と会話する方法 —動物行動学が教える人と犬の幸せ
 2941-1 四六判並製 352頁 定価 2,640円 (本体 2,400円)
 何千頭もの問題行動を抱えた犬と人と向き合ってきたドクトレーナー／動物行動学者が、犬の学び方や人の違いをふまえて、よりよい関係を築き、共に幸せに生きるための心得と方法を伝授するベストセラーエッセイ、待望の邦訳! <645.6>

❖書籍案内❖

学習実用書

■ 文章・論文の書き方

井下千以子 著

思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版

2577-2 A5判並製 176頁 1,320円 (1,200円)

累計3万部の好評レポート・論文入門書の第3版。文献の調べ方・読み方から、フォーマットを使った書き方までを懇切丁寧に解説。また、「引用」時の注意点の追記や重要単語の索引を付し、利便性を向上。

(19)<816.5>

河野哲也 著

レポート・論文の書き方入門 第4版

2527-7 A5判並製 128頁 1,100円(1,000円)

累計発行部数20万部を超える当社最大のベスト&ロングセラーを約15年ぶりに改訂。「テキスト批評という練習法」の解説を充実させ、注の形式に関する説明を整理・更新、参考文献とその解題も一新。初心者のための決定版!

(18)<816.5>

櫻井雅夫 著

レポート・論文の書き方上級 改訂版

1012-9 A5判並製 260頁 1,980円 (1,800円)

1998年発行のロング&ベストセラーの改訂版。定評のあった文献引用や、注の形式の類書を圧する充実した実例と解説に加え、具体例を一覧できる章を増補。大学院レベルでのスタンダードな参考書となっている。

(03)<816.5>

ウィリアム・ジンサー 著／染田屋茂 訳
誰よりも、うまく書く

一心をつかむプロの文章術

2774-5 四六判並製 384頁 2,970円(2,700円)

アメリカで30年以上読み継がれ、累計150万部の売上をほこるノンフィクション・ライティングの名著、待望の邦訳! 文化からスポーツまで幅広いジャンルを手掛ける名物記者が明解で、簡潔で、自分らしく書く技巧と心持を伝授。

(21)<816.5>

松林薫 著

迷わず書ける記者式文章術

—プロが実践する4つのパターン

2496-6 四六判並製 212頁 1,540円(1,400円)

元新聞記者でジャーナリストの著者が、大手新聞に共通する執筆メソッドを整理・解説する。新社会人から広報担当、ブログの書き手まで広い範囲で応用可能な「速く、分かりやすく書く方法」を伝授する。4つの構成パターンのひな形付き。

(18)<816>

小山透 著

科学技術系のライティング技法

—理系文・実用文・仕事文の書き方・まとめ方

1812-5 A5判並製 214頁 1,540円 (1,400円)

情報を正しく伝える。理科系の文章の書き方、見せ方、洗練の仕方を実務に対応出来るように徹底解説。「LaTeX」を用いた表現や著作権・知的財産権に関しても必須の基礎知識を提供する。

(11)<407>

迫桂・徳永聡子 著

英語論文の書き方入門

1921-4 B5判並製 188頁 2,200円 (2,000円)

学問の心得や英語論文ならではの特徴、テーマ探しから執筆・完成に至るまでの手順を、準備編と実践編にわけて詳しく解説する。はじめて英語論文に取り組む人にも、きちんと学び直したい人にも、よくわかる一冊。

('12)<836.5>

吉田友子 著

アカデミックライティング入門 第2版

—英語論文作成法

2212-2 A5判並製 200頁 2,200円 (2,000円)

英語論文を書きたい人のための、中・上級レベルのテキスト。本文を読み、練習問題をこなすうちに、必要なスキルとステップをおさえることが出来る構成。文献調査のウェブ活用法や電子文献の使い方など、ネット時代に対応した改訂版。

('15)<836.5>

ケイト・L・トゥラビアン 著／沼口隆・沼口好雄 訳

**シカゴ・スタイル
研究論文執筆マニュアル**

1977-1 A5判並製 624頁 8,800円 (8,000円)

初版刊行以来70年以上にわたって読み継がれる、学術論文の標準スタイル「シカゴ・マニュアル」。本書はシカゴ・マニュアルに完全準拠し、研究手法と論文執筆の方法を徹底ガイドする。最新版邦訳。

('12)<836.5>

■ アカデミック・スキルズ

佐藤望 編著／湯川武・横山千晶・近藤明彦 著

アカデミック・スキルズ 第3版

—大学生のための知的技法入門

2656-4 A5判並製 192頁 1,100円 (1,000円)

大学生向け学習指南書のベスト&ロングセラーを8年ぶりに改版。ノートの取り方や情報の整理法など、大学生の学習の基本を押さえた構成はそのままに、第3版では文献書式を一新し、弊社既刊『アカデミック・スキルズ』シリーズとの連携を強化。

('20)<002.7>

慶應義塾大学教養研究センター 監修／
新井和広・坂倉杏介 著**グループ学習入門**—学びあう場づくりの技法

2039-5 A5判並製 172頁 1,320円 (1,200円)

信頼できるグループの作り方、アイデアを引き出す技法、ITの活用法、ディベートの準備など、段階に合わせて、気をつけるポイントを紹介。“失敗しない”グループ学習の秘訣を伝授する。

アカデミック・スキルズ

('13)<377.9>

慶應義塾大学教養研究センター 監修／
西山敏樹・鈴木亮子・大西幸周 著**データ収集・分析入門**

—社会を効果的に読み解く技法

2050-0 A5判並製 184頁 1,980円 (1,800円)

正しいデータ分析とは、どのようなものか？研究者、大学生、大学院生、社会人に向けて、モラルや道徳を守りながら、人や組織の行動を決定づけるデータを収集・分析し、考察や提案にまとめる手法を紹介。

アカデミック・スキルズ

('13)<361.9>

市古みどり 編著／

上岡真紀子・保坂睦 著

資料検索入門

—レポート・論文を書くために

2051-7 A5判並製 160頁 1,320円 (1,200円)

レポートや論文執筆を行う際に、自分が書こうとするテーマや考えを固めるために必要な資料（根拠や証拠）を検索し、それらを手するまでの「検索スキル」を身につけてもらうための入門書。

アカデミック・スキルズ

【図】('14)<377.9>

慶應義塾大学教養研究センター 監修／
慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員 著
学生による 学生のための
ダメレポート脱出法

2177-4 A5判並製 184頁 1,320円 (1,200円)

実際に大学の学習相談に寄せられた質問を元に、レポート・論文執筆のポイント／学習テクニックを、大学の学生相談員が「学生の目線」から易しく解説。この一冊で、「ダメなレポート」から脱出せよ！

アカデミック・スキルズ (‘14)〈816.5〉

慶應義塾大学教養研究センター 監修／
西山敏樹・常盤拓司・鈴木亮子 著

実地調査入門—社会調査の第一歩

2256-6 A5判並製 144頁 1,760円 (1,600円)

はじめて社会調査を行う学生を対象に、調査の計画・実施とデータ分析の基礎について、事例を交えながら説明。データの収集法や分析法はもちろん、成果をレポートやプレゼンテーションにまとめる際のポイントまで解説した入門書。

アカデミック・スキルズ (‘15)〈361.9〉

慶應義塾大学教養研究センター 監修／
大出敦 著

クリティカル・リーディング入門
—人文系のための読書レッスン

2274-0 A5判並製 200頁 1,980円 (1,800円)

大学生が直面する「レポート」や「論文」の執筆では、「テキストを読む」力が求められる。そのときに「どうやって読んだらいいのか」、「何を論じたらいいのか分からない」といった悩みに、人文系の例題を使って答える一冊。

アカデミック・スキルズ (‘15)〈817.5〉

慶應義塾大学教養研究センター 監修／
大出敦 編著／直江健介 著

プレゼンテーション入門
—学生のためのプレゼン上達術

2573-4 A5判並製 168頁 1,540円 (1,400円)

社会人がビジネスで行うプレゼンテーションとは異なる、学生のためのアカデミック・プレゼンテーションに必要なスキルを3段階にわけて解説。基礎・準備・実践の3点からプレゼンに臨む学生をサポートする。

アカデミック・スキルズ (‘20)〈002.7〉

井下千以子 著

思考を鍛える大学の学び入門 第2版

—論理的な考え方・書き方からキャリアデザインまで

2651-9 A5判並製 152頁 1,320円(1,200円)

ワークシートで、大学での学びの基本的スキルが身につく好評解説書を改版。第2版では、自分が所属する学部(学群・学系)で4年間何をどのように学んでいったらいいのか、アカデミックプランニングについての内容を追加。

(‘20)〈002.7〉

西山敏樹 著

大学1年生からの研究の始めかた

2364-8 A5判並製 128頁 1,540円 (1,400円)

これから研究をはじめる大学生に、研究とは何かを考えさせ、自ら研究を進めるためのプロセスを、豊富な事例とともにやさしく解説。主体的に学び、目標を達成しようとする姿勢を身に付けるための1冊。

(‘16)〈002.7〉

常盤拓司・西山敏樹 著

大学1年生からの
プロジェクト学習の始めかた

2636-6 A5判並製 128頁 1,540円(1,400円)

プロジェクト学習(PBL)の初学者向けテキスト。プロジェクトを進めるうえでの基礎知識や手順をわかりやすく解説するとともに、「炎上」したときの対処法、評価やふりかえりの方法を提供する。巻末には計画書のテンプレートも付録。

(‘19)〈377.15〉

狩野光伸 著

論理的な考え方 伝え方

—根拠に基づく正しい議論のために

2267-2 A5判並製 176頁 1,980円 (1,800円)

グローバルに通じる考え方とは？科学や学問の考え方とは？反知性主義ってどうしたら回避できる？意見の違いを受け止めて、新しい考えを広めるときに、感情や抑制でなく、理解と納得で進める「議論 argument」の方法を解説。

(‘15)〈809.6〉

ジョエル・ベスト 著／飯嶋貴子 訳

Think critically

クリティカル・シンキングで真実を見極める

2786-8 四六判並製 208頁 2,200円 (2,000円)

「クリティカル・シンキングは重要である」とはよく言われますが、実際どういうことなのでしょう。社会学者であるベストが、議論のあり方、問題設定、データの見方、分析の切り口など、基本を一から丁寧に説明します。
(21)〈141.5〉

眞嶋俊造・奥田太郎・河野哲也 編著

人文・社会科学のための 研究倫理ガイドブック

2255-9 A5判並製 272頁 2,970円 (2,700円)

研究の過程で遭遇する、研究倫理を問われる多様な場面を想定し、何が問題になるかを知り、自問し、実践につなげるための、人文・社会科学系向けとしては初のガイドブック。ディスカッションにも使えて研究倫理教育テキストに最適。
(15)〈002.7〉

松崎久純 著

大学生のための速読法

—読むことのつらさから解放される

2401-0 A5判並製 128頁 1,540円 (1,400円)

読むスキルについての基本的な考え方から、大学生・大学院生に必須の文献—講義の配布資料、就職活動に関する本、論文、学術書など—を読みこなす具体的方法まで丁寧に解説。
(17)〈019〉

小平麻衣子 著

小説は、わかってくればおもしろい

—文学研究の基本 15 講

2591-8 A5判並製 264頁 2,640円 (2,400円)

自由に読むには、修業がいる。テキスト分析のポイントを知り、資料を採し、「あなたらしく」と〈客観性〉をレポートで表現しよう！
(19)〈907〉

黒岩亜純・宮徹 著

大学生のための動画制作入門

—言いたいことを映像で表現する技術

2428-7 A5判並製 160頁 1,980円 (1,800円)

近年、スマホの登場などにより容易・廉価になった動画の制作について、その基本的なリテラシーを身につけられるテキスト。企画・撮影・編集の各段階について、報道現場のノウハウに基づきわかりやすく解説。
(17)〈778.4〉

野沢聡子 著

大学生のための交渉術入門

2487-4 A5判並製 160頁 1,760円 (1,600円)

アルバイトやサークル等、大学生活で生じる意見の対立・衝突といった問題は、どのように解決すればよいか。相手と自分とがお互いに満足のいく結果を導くための“協動的”交渉術の手法を、理論と実践の両面から分かりやすく解説。
(17)〈778.4〉

松崎久純 著

英語で仕事をしたい人の必修 14 講

2758-5 A5判並製 242頁 2,640円 (2,400円)

多くの英語学習本を執筆し、25ヶ国 100都市以上での業務経験を持つグローバル人材育成の専門家／経営コンサルタントである著者が、本当に必要とされる英語力や効果的な学習法などを 14 回の講義形式でわかりやすく解説する。
(21)〈670.93〉

T.W. クルーシアス, C.E. チャンネル 著／
杉野俊子・中西千春・河野哲也 訳

大学で学ぶ議論の技法

1085-3 A5判並製 320頁 2,200円 (2,000円)

レポート・論文の論理を組み立てるための方法と実例が満載の、論理的な思考を育てる実践テキスト。アメリカの大学生向けロングセラー教科書の翻訳。議論の題材となるエッセイや論文は、読むだけでも示唆に富む。
(04)〈809〉

人文科学

哲学・思想

歴史

心理

宗教

社会

教育

芸術

文学

語学

人文科学総記

哲学・思想

■ 哲学一般

山崎照雄 著

根源と流動

—Vorsokratiker・Herakleitos・Hegel 論攷

0314-5 A5 判上製 524 頁 9,900 円 (9,000 円)

内容：コスモス概念の展開と自然観／イオーニアの夜明けと暮れがた／エフェソスのアルテミス／ヘルダーリンとヘーゲル／『精神現象学』素描／ヘーゲルの市民社会観と〈労働〉の概念／他全 11 論文。

慶應義塾大学法学研究会叢書別冊7

(‘85)〈130〉

横路佳幸 著

同一性と個体

—種別概念に基づく統一理論に向けて

2760-8 A5 判上製 452 頁 6,600 円 (6,000 円)

哲学において最も基本的かつ重要な概念である「同一性」を統一的な視点から解明する。形而上学・意味論・認識論の三つの相における「同一性」の諸問題に取り組み、その統一理論を提唱する野心的試み。

(‘21)〈104〉

柏端達也 著

コミュニケーションの哲学入門

2392-1 新書判並製 110 頁 770 円 (700 円)

ポール・グライスやドナルド・デイヴィッドソンの言語哲学を援用し、コミュニケーションという複雑な営みをわかりやすく理論化する。ユーモアと刺激あふれる哲学入門。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (‘16)〈118〉

神崎忠昭・野元晋 編

自然を前にした人間の哲学

—古代から近代にかけての 12 の問いかけ

2670-0 A5 判上製 312 頁 3,850 円 (3,500 円)

私たち人間は「自然」を前にしたとき、どのような思想的営為を展開してきたのか。

古代から近代にいたるまで、その意義を検討する。

(‘20)〈112〉

■ 西洋哲学（古代～中世）

エティエンヌ・ジルソン 著／山内志朗 監訳

キリスト教哲学入門

—聖トマス・アキナスをめぐる

2152-1 四六判上製 240 頁 3,300 円 (3,000 円)

中世哲学の大家エティエンヌ・ジルソンが、聖トマスの思想をてがかりにしながら存在について語った晩年のエッセイ。神の存在を哲学的手法で証明し、かつ信仰のなかで哲学をすることの意義を「キリスト教哲学」の名のもとで主張する。

(‘14)〈132.2〉

山本芳久 著

**トマス・アクィナス
肯定の哲学**

2171-2 四六判上製 282頁 3,080円(2,800円)

キリスト教の教義に基づいた抽象的概念を駆使する難解な神学者として解されてきた、中世最大の思想家トマス・アクィナス。その最大の主著『神学大全』を、生き抜く実践的な生の技法を説く書物として読みなおす、意欲的な一冊。
(‘14)〈132.2〉

ウンベルト・エーコ 著／和田忠彦 監訳／石田隆太・石井沙和 訳／山本芳久 解説
中世の美学

—トマス・アクィナスの美の思想
2846-9 四六判上製 352頁 4,620円(4,200円)

「暗黒の中世」を打ち崩す、美に溢れた世界——。中世に美学は存在しないという定説を覆し、一貫した美の思想が流れることを明らかにした、エーコの原点にして『薔薇の名前』に結実する名著、待望の邦訳刊行。
(‘22)〈701.1〉

山内志朗 著

感じるスコラ哲学

—存在と神を味わった中世
2319-8 四六判上製 192頁 2,200円(2,000円)

十字架のキリストの苦しみ、聖女の法悦、修道士のワイン——。中世哲学において「感じること」とは何か。市民生活に根差したキリスト教文化の観点から、中世哲学の生き生きとした側面を明らかにする極上の入門書。
(‘16)〈132.2〉

山内志朗 編

光の形而上学

—知ることの根源を辿って
2500-0 A5判上製 288頁 3,850円(3,500円)

「存在」と「光」の哲学—
古代ギリシアからルネサンス、中近世まで知の歴史における二つの問題圏に気鋭の論者たちが挑む！

徳永聡子 編

神・自然・人間の時間

—古代・中近世のときを見つめて
2954-1 A5判上製 240頁 3,850円(3,500円)

環地中海世界を中心に、古代から近代への大きな時間幅の中で、人々が、「神の時間」、「自然の時間」、「人間の時間」をそれぞれどのように把握していたのかを問い直す論文集。
(‘24)〈112〉

■ 西洋哲学 (近代)

渡辺優 著

ジャン＝ジョゼフ・スユラン

—一七世紀フランス神秘主義の光芒
2368-6 A5判上製 474頁 8,250円(7,500円)

17世紀フランス最大の神秘家スユランの劇的な魂の道程をたどり、同時代の思想潮流に位置づけることで、従来の神秘主義理解を刷新し、宗教哲学・思想研究の水準を一段押し上げる野心的論考。2017年度日本宗教学会賞、第34回渋沢・クロード賞本賞受賞。
(‘16)〈198.223〉

御園敬介 著

ジャンセニスム 生成する異端

—近世フランスにおける宗教と政治
2653-3 A5判上製 400頁 9,460円(8,600円)

宗派対立を超えて、異端の認定をめぐる排除と抵抗の力学を明らかにし、近世フランスにおける共同体と個人の間を再考する。徹底した文献調査に基づき、もうひとつの歴史を丹念に掘り起こす、革新的な一冊！ 第37回渋沢・クロード賞奨励賞受賞。
(‘20)〈198.223〉

松本和彦 著

カントの批判的法哲学

2531-4 A5判上製 896頁 16,500円(15,000円)

カント最晩年の著作『法論の形而上学的基礎論』は、従来カント哲学研究によって『純粹理性批判』『実践理性批判』における「批判哲学」とは矛盾する老衰の作として捉えられてきた。しかしそれは真に正しいのか。カントの哲学、法哲学を解明する大作。 (‘18)〈133〉

永守伸年 著

**カント 未成熟な人間のための思想
—想像力の哲学**

2627-4 A5判上製 292頁 4,950円(4,500円)

啓蒙されるべき未成熟な理性は、いかにして自らを啓蒙するのか？ カント哲学がはらむ〈啓蒙のジレンマ〉を〈想像力〉を読み解くことで解決しようとする意欲作。令和2年度日本倫理学会和辻賞（著作部門）受賞。 (‘19)〈134.2〉

永守伸年 著

信頼と裏切りの哲学

2945-9 四六判並製 280頁 2,860円(2,600円)

社会秩序の根源にあつて、私たちの生活を支える「信頼」。これまで、哲学、心理学、社会学、経済学で個別に展開されてきた議論を統合し、ホッブズ、ヒューム、カントらの哲学を手がかりに、その謎めいた力を論じつくす。 (‘24)〈158〉

井田尚 著

百科全書

—世界を書き換えた百科事典

2558-1 四六判上製 232頁 2,640円(2,400円)

革命神話と啓蒙神話に由来する紋切り型のイメージから離れて、デイドロとダランパールが構想した百科事典という原点に立ち戻ってみよう。『百科全書』の書物としての成り立ちをたどり、その広大無辺な知識への道案内をする。世界を読み解く一冊の本 (‘19)〈035〉

根無一信 著

ライプニッツの創世記

—自発と依存の形而上学

2455-3 A5判上製 336頁 6,160円(5,600円)

ライプニッツ研究において、これまで「矛盾」とみなされてきた、被造物の「自発性」と「依存性」。この両概念の並存可能性を立証するとともに、予定調和の世界でも人間は自由であることを示す力作。 (‘17)〈134.1〉

坂本達哉 著

ヒューム 希望の懐疑主義

—ある社会科学の誕生

1879-8 A5判上製 450頁 4,180円(3,800円)

18世紀、資本主義確立途上の時代に、神なき世界を生きる諸個人が創る、真の社会秩序を探究したヒューム。社会科学の定礎者ヒュームの思想形成を精緻に描き出す。ヒューム生誕300年。大思想家の根幹に迫る！ (‘11)〈133.3〉

定森亮 著

共和主義者モンテスキュー

—古代ローマをめぐるマキアヴェッリとの交錯

2727-1 A5判上製 400頁 6,380円(5,800円)

古代ローマ史解釈をめぐるマキアヴェッリとの内的対話から、市民とは誰か、自由とは何か、変わりゆく時代のなかで、ありうべき共和政とはいかなるものかを問い続けた共和主義者モンテスキューの思想の核心に迫る。 (‘21)〈311.235〉

フィリップ・スコフィールド 著／
川名雄一郎・小畑俊太郎 訳**ベンサム 一功利主義入門**

2003-6 四六判並製 288頁 3,520円(3,200円)

苦痛と快楽が基礎づける原理（功利性の原理）による立法の科学を構想し、共同体の幸福＝「最大多数の最大幸福」を目指したベンサムの全貌を平易に解説。最新の研究成果をもとに彼の功利主義思想を体系的に論じる。 【図】(‘13)〈133.4〉

フィリップ・スコフィールド 著／
川名雄一郎・高島和哉・戒能通弘 訳
功利とデモクラシー

—ジェレミー・ベンサム の政治思想

2642-7 A5判上製628頁 16,500円(15,000円)

支配する少数者の「邪悪な利益」をいかに制御するか。稀代の思想家ベンサムが掲げた〈功利〉と〈民主主義〉の新たな側面に光を当てたスコフィールドの二〇年に渡る研究の到達点、ついに刊行。

(20)〈311.233〉

高島和哉 著

ベンサムの言語論

—功利主義とプラグマティズム

2449-2 A5判上製512頁 9,350円(8,500円)

プラグマティックな言語論がベンサムの功利主義思想の哲学的基礎にあることを明らかにし、心理学、倫理学、法学、政治学など人間と秩序全般にわたる彼の膨大な思索を統一的に把握する。

(17)〈133.4〉

ジェラルド・J・ポステマ 著／
戒能通弘 訳

ベンサム 「公開性」の法哲学

2873-5 A5判上製528頁 9,240円(8,400円)

ベンサム研究の大家、ジェラルド・ポステマによる現代ベンサム研究の到達点。ベンサムの思想全体を——統治・法の思想のみでなく、その道徳理論も含めて——「公開性(publicity)」をその統合的概念として再構成する試み。

(23)〈133.4〉

谷寿美 著

智恵の系譜

—ロシアの愛智の精神と大乘仏教

2417-1 新書判並製100頁 770円(700円)

ロシアの愛智の精神を代表するソロヴィヨフ、その全一思想を介し、聖書世界と大乘仏教に広がる智恵の光芒を探る。ロシア哲学と大乘仏教思想に関心のある読者の入門書ともなる一冊！

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (17)〈138〉

鈴木優 著

フリードリヒ・シラー 自由の美学

—仮象と遊戯の人間形成論

2960-2 A5判上製352頁 6,600円(6,000円)

18世紀ドイツの国民的詩人であると同時に哲学的医師でもあったシラーは、同時代の唯物論的・機械論的な人間観と対峙しながら、美や芸術による人間性の彫琢を目指した。その思想の全貌に迫るシラー研究の決定版。

(24)〈940.28〉

■ 現代思想

渡邊福太郎 著

ワイトゲンシュタインの教育学

—後期哲学と「言語の限界」

2443-0 四六判上製264頁 4,620円(4,200円)

人が言葉を教え／学ぶ時、何が起きているのか。コミュニケーションに内在する宿命的なパラドクスを解きほぐし、「教えること」の意味を根底から問い直す。私と世界の限界を超えて、他者に触れうるの可能性を提示する意欲作。

(17)〈371.234〉

丸山空大 著

フランツ・ローゼンツヴァイク

—生と啓示の哲学

2568-0 A5判上製504頁 7,700円(7,000円)

自らの内部のドイツ性とユダヤ性の二重性と向き合い、啓示の意味、すなわち人間と神との関係を探究した思想家の、生涯にわたる思想的展開とその到達点を明らかにする。2019年度日本宗教学会賞受賞。

(18)〈134.9〉

今村純子 著

シモーヌ・ヴェイユの詩学

1728-9 四六判上製 430頁 3,080円(2,800円)

美学・詩学の視点からシモーヌ・ヴェイユの思想を体系的に論じる。「見える世界」が極度に重んじられる現代にあつて、「見えない世界」が根をもつてはじめて「見える世界」が豊かに花開くことを提示するヴェイユ思想の核心に迫る。 【図】(10)<135.5>

サロモン・マルカ 著／
斎藤慶典・渡金喜庸哲・小手川正二郎 訳
評伝レヴィナス
一生と痕跡

2287-0 四六判上製 442頁 4,620円(4,200円)

ユダヤ教の中に一つの哲学的洞察を認め、自らそれを生きた哲学者レヴィナス。レヴィナスを一つの結節点とする知的ネットワーク、20世紀ヨーロッパ・ユダヤ精神史を描く、レヴィナス評伝の決定版。 (16)<135.5>

斎藤慶典 著

私は自由なのかもしれない

—〈責任という自由〉の形而上学

2528-4 四六判並製 480頁 3,080円(2,800円)

私たちの世界の存立構造の内に「責任」という仕方であつた「自由」の可能性をめぐつて、本書は、現代科学の議論を参照しつつヨナス、アレント、ハイデガー、レヴィナスらと共に、そして彼らに抗して、独自の思索を紡ぎ出す。 (18)<104>

戸谷洋志・百木漠 著

漂泊のアーレント 戦場のヨナス

—ふたりの二〇世紀 ふたつの旅路

2678-6 四六判並製 368頁 2,200円(2,000円)

政治の意味を問い続けたハンナ・アーレントと、未来への責任を基礎づけたハンス・ヨナス。二〇世紀の破局を二人はどう生き、そこに何を見たのか。「二一世紀の全体主義」に警鐘を鳴らす友情の記録。 (20)<289.1>

川崎修・萩原能久・出岡直也 編著

アーレントと二〇世紀の経験

2440-9 A5判上製 296頁 3,960円(3,600円)

アーレントをいま、読む意味はなにか? 全体主義、政治的悪、ナショナリズム、革命……、彼女が遺した政治の苦境と可能性をめぐる問いかけを、現代の諸学知から改めて読み直すアクチュアルな一冊。 (17)<316.853>

戸谷洋志 著

ハンス・ヨナス 未来への責任

—やがて来たる子どもたちのための倫理学

2755-4 四六判上製 288頁 2,970円(2,700円)

ユダヤ人として二〇世紀を生き、自ら戦場に立った哲学者ハンス・ヨナスは、なぜ「未来への責任」を見出し、そしてどのような思索を重ねたのか。気鋭の若手による、ヨナス研究の新たな地帯。 (21)<151.2>

箱田徹 著

フーコーの闘争

—〈統治する主体〉の誕生

2066-1 四六判上製 320頁 2,750円(2,500円)

後期フーコーは「権力があるところに、抵抗がある」には留まらない。絶えることのない他者の導きへの叛乱、自己への反逆を唱える後期フーコー権力論の転回、その可能性の核心を捉える俊英の鮮やかなデビュー作。 (13)<135.5>

蔭山宏 著

崩壊の経験

—現代ドイツ政治思想講義

2061-6 四六判上製 592頁 5,720円(5,200円)

ワイマール時代ドイツの人びとの経験とその崩壊を〈現代〉の始まりととらえ、政治が議会を越えて市民生活と文化領域に拡散する一方で「点化」する状況を分析する。圧倒的なボリュウムによる異色の入門書! (13)<311.234>

マーサ・ヌスバウム 著／河野哲也 監訳

感情と法

—現代アメリカ社会の政治的リベラリズム

1719-7 A5判上製 570頁 5,280円 (4,800円)

差別意識を助長する「嫌悪感」と「恥辱感」など多数派の排除につながる「感情」を明らかにし、フェミニズムや共同体主義とは異なる視点から、リベラリズムへの新たな視座を提供するアメリカ哲学界の泰斗による大著。

(10)〈321.1〉

マーサ・ヌスバウム 著／河野哲也 監訳

良心の自由

—アメリカの宗教的平等の伝統

1814-9 A5判上製 640頁 5,720円 (5,200円)

合衆国憲法に定められた「信教の自由」をめぐるさまざまな最高裁判例を参照し、現在へと至るまでの歴史を分析。アメリカが建国当初に持っていた宗教的自由、平等を、リベラリズムの観点から力強く擁護する。

【図】(11)〈323.53〉

モリス・バーマン 著／込山宏太 訳

神経症的な美しさ

—アウトサイダーがみた日本

2856-8 A5判並製 352頁 4,180円 (3,800円)

禅、民芸、京都学派、小説、アート、オタクカルチャーなど、広範囲にわたる文化現象を参照しながら、日本の精神と文化がアメリカとの接触の中でどう変容してきたかをたどり、その中にアメリカ型資本主義の限界を越える可能性を見出す。

(22)〈302.1〉

タナハシ・コーツ 著／池田年穂 訳

世界と僕のあいだに

2391-4 四六判上製 192頁 2,640円 (2,400円)

これがお前の国なんだよ。—— アメリカにあって黒人であるということ、この国の歴史を、この肉体とこの運命を生き抜くことを説く、父から息子への長い長い手紙。2015年度全米図書賞受賞の大ベストセラー。

(17)〈316.853〉

タナハシ・コーツ 著／奥田暁代 訳

美しき闘争

2437-9 四六判上製 244頁 2,970円 (2,700円)

ブラック・ナショナリストの父ポール・コーツと、自らの身を守って生きる、息子タナハシ。クラックと銃に溢れ、一瞬にして奈落に落ちるアメリカ社会の容赦ない現実を力強く生き抜く、父と息子の物語。

(17)〈316.853〉

タナハシ・コーツ 著／池田年穂・長岡真吾・矢倉喬士 訳

僕の大統領は黒人だった (上)

—バラク・オバマとアメリカの8年

2705-9 四六判上製272頁 2,750円 (2,500円)

アフリカ系アメリカ人が辿った過酷な歴史を踏まえながら、アメリカ初の黒人大統領バラク・オバマと黒人社会が歩んだ8年の軌跡を丁寧に辿り、圧倒的な賛辞を集めた全米ベストセラー。アメリカを震撼させた「賠償請求訴訟」を収録。

(20)〈312.53〉

タナハシ・コーツ 著／池田年穂・長岡真吾・矢倉喬士 訳

僕の大統領は黒人だった (下)

—バラク・オバマとアメリカの8年

2706-6 四六判上製240頁 2,750円 (2,500円)

アメリカ政治の本質に根強く残る白人至上主義が、アメリカ初の「白人」大統領ドナルド・トランプを誕生させたことを明らかにするBLM運動を理解するための必読の書。バラク・オバマへのインタビューを基に描かれた「僕の大統領は黒人だった」を収録。

(20)〈312.53〉

カーラ・コルネホ・ヴィラヴィセンシオ 著／池田年穂 訳

わたしは、不法移民

—ヒスパニックのアメリカ

2896-4 四六判並製 240頁 2,640円 (2,400円)

1100万の見えないアメリカ人。不当な労働によって搾取され、虐げられ、精神を病む不法移民の実情を克明に描き、彼らの人間としての尊厳を取り戻す珠玉のノンフィクション。

(23)〈334.453〉

キャシー・パーク・ホン 著／池田年穂 訳

マイナーな感情

—アジア系アメリカ人のアイデンティティ

2991-6 四六判並製 248頁 2,750円(2,500円)

「模範的なマイノリティ」と言われながらマイノリティとしての存在感すらないアジア系アメリカ人の複雑な感情を克明に描き、彼らの人間としての尊厳を取り戻す珠玉のノンフィクション。

(‘24)〈34.453〉

■ 分析哲学

デイヴィッド・ルイス 著／瀧澤弘和 訳

コンヴェンション

—哲学的研究

2738-7 四六判上製 320頁 4,620円(4,200円)

20世紀後半のもっとも重要な哲学者といわれるルイス。本書は、ゲーム理論、言語哲学、制度論などに多大な影響を与えたが、その難解さゆえ「読まれざる古典」であった。半世紀を経て、詳細な解説とともに邦訳なる。

(‘21)〈116.3〉

フランチェスコ・グアラ 著／
瀧澤弘和 監訳／水野孝之 訳

制度とは何か

—社会科学のための制度論

2565-9 四六判上製 352頁 3,520円(3,200円)

社会における習慣、ルール、貨幣、結婚といった「制度」はなぜ「存在」するのか。社会科学の各分野が独自に分析してきた問題を、ゲーム理論、分析哲学（社会存在論）といったツールを駆使して、共通の土台を作ることを目指した野心的な試み。

(‘18)〈331〉

ネルソン・グッドマン 著／戸澤義夫・松永伸司 訳

芸術の言語

2224-5 四六判上製 352頁 5,060円(4,600円)

芸術を〈記号システム〉として解説し、記号の一般理論を構築する。絵画、音楽、ダンス、文学、建築……芸術へのアプローチを根本的に転換した20世紀美学の最重要著作。

(‘17)〈701.1〉

リチャード・ウォルハイム 著／松尾大 訳

芸術とその対象

2684-7 四六判上製 320頁 4,620円(4,200円)

再現や表現、意図の意味など、美学の基本問題について現在の定説を基礎づけた1968年刊行のロングセラー。芸術作品を哲学的に考察し、文化や社会においてそれがどのような役割を果たしているか明らかにする。

(‘20)〈701.1〉

アーサー・C・ダントー 著／松尾大 訳

ありふれたものの変容

—芸術の哲学

2484-3 四六判上製 372頁 5,060円(4,600円)

アンディ・ウォーホルの《プリロ・ボックス》はなぜ芸術なのか？ 芸術表象を独自に解釈し、メタファー、表現、様式を体系的に説明する。平凡なものがどのように芸術になるのか、哲学的に明らかにする20世紀美学最大の成果。

(‘17)〈701〉

松永伸司 著

ビデオゲームの美学

2567-3 A5判並製 376頁 3,520円(3,200円)

産業規模の拡大とともに、文化的重要性が増しつつあるビデオゲーム。スペースインベーダー、スーパーマリオブラザーズ等、多くの事例をとりあげながら、ビデオゲームを芸術哲学の観点から考察し、理論的枠組みを提示する画期的な一冊。

(‘18)〈797.9〉

源河亨 著

感情の哲学入門講義

2719-6 四六判並製 240 頁 2,200 円 (2,000 円)

感情と理性は対立する？ ロボットは感情をもてる？ 「感情」にまつわる疑問に答える、まったくの哲学初心者に向けて書かれた入門書。哲学を知らなくても、感情や人間がどういうものか、哲学がどういうものかわかる一冊。
(21)<141.6>

セオドア・グレイシック 著／源河亨・木下頌子 訳

音楽の哲学入門

2588-8 四六判上製 208 頁 2,750 円 (2,500 円)

気鋭の研究者による、音楽の哲学および芸術の哲学の入門書。単なる音と音楽の違い、音楽鑑賞に必要な知識、音楽と情動の関係、音楽経験がもたらすスピリチュアリティなど、古くから議論されてきた問題をとりあげ、音楽を哲学的に考察する。
(19)<760.1>

源河亨 著

悲しい曲の何が悲しいのか

—音楽美学と心の哲学

2634-2 四六判上製 228 頁 2,750 円 (2,500 円)

「音楽聴取」に焦点をあわせ、美的判断の客観主義を擁護する立場をとりつつ、音とは何か、なぜ人は悲しい音楽を聴くのか、音楽と情動はどのように結びついているのか、などさまざまなトピックについて論じていく野心作。
(19)<702.37>

源河亨 著

知覚と判断の境界線

—「知覚の哲学」基本と応用

2426-3 四六判上製 264 頁 3,740 円 (3,400 円)

この一冊で「知覚の哲学」の全貌がわかる。「知覚の哲学」の基本トピックを整理・紹介しつつ、心理学・認知科学・美学などの知見を交え、「見ることと考えることの境界線」を探る、現代哲学の最先端。
(17)<115>

■ フェミニズム哲学

木下頌子・渡辺一暁・飯塚理恵・小草泰 編訳

分析フェミニズム基本論文集

2855-1 A5 判並製 308 頁 3,300 円 (3,000 円)

英米系の分析哲学と呼ばれる潮流のなかでフェミニズムに関わるさまざまな問いに取り組む分野「分析フェミニズム」。近年盛り上がりを見せる同分野の代表的な論文 8 本を形而上学、認識論、倫理学の主要なトピックから紹介する。
(22)<367.2>

ケイト・マン 著／小川芳範 訳

ひれふせ、女たち

—ミソジニーの論理

2635-9 A5 判並製 448 頁 3,520 円 (3,200 円)

「女性嫌悪」とされるミソジニーとは何か？ 家長長制を維持するための「魔女狩り」のメカニズムを明らかにする革新的なフェミニズム思想のベストセラー。「ミソジニー」についての初めての研究書であり、フェミニズム思想を刷新した注目作。
(19)<367.2>

シーラ・ジェフリーズ 著／

GC ジャパン翻訳グループ 訳

美とミソジニー

—美容行為の政治学

2817-9 四六判上製 368 頁 3,520 円 (3,200 円)

美容行為（産業から日常的なものまで）を、男性支配と女性の従属を促進させる「有害な文化習慣」としてとらえ、西洋中心的・男性中心的価値観を痛烈に批判する。韓国・脱コルセット運動の原点にもなった、ラディカルフェミニズムの名著。
(22)<356.7>

キャスリン・ストック著/中里見博訳/千田有紀解説
マテリアル・ガールズ
 ーフェミニズムにとって現実はなぜ重要か
 2987-9 四六判上製 384頁 3,960円(3,600円)

生物学的性別よりもジェンダーを優先する、いわゆる「ジェンダーアイデンティティ理論」が生まれた思想的背景を丁寧に説明し、「ジェンダーアイデンティティ」とは何かを哲学的観点から明らかにする。

(24)〈367.9〉

森田成也著
マルクス主義、フェミニズム、セックスワーク論
 ー搾取と暴力に抗うため
 2734-9 四六判上製 320頁 3,520円(3,200円)

広がった格差の中で女性への差別と暴力を構造的にとらえながら、ネオリベラリズムがもたらした女性搾取のための詭弁「セックスワーク論」を正面から批判し、資本主義と男性支配という現代の支配的な社会システムの悪辣さを白日のもとにさらす。

(21)〈367.2〉

■ 表象文化論

ジョルジョ・アガンベン著/高桑和巳編訳
ニンファ その他のイメージ論
 2142-2 四六判上製 272頁 3,520円(3,200円)

重要論文「ニンファ」をはじめ、アガンベンのイメージ論、絵画論 20 篇を編訳者が独自に集成。イメージを問い求めるなかで、折に触れて書き継がれた論考群から、アガンベンの唱える美学・政治・倫理が浮き彫りになる。

(15)〈704〉

池野絢子著
アルテ・ポーヴェラ
 ー戦後イタリアにおける芸術・生・政治
 2318-1 A5 判上製 384頁 5,940円(5,400円)

戦後イタリアの芸術運動「アルテ・ポーヴェラ」とはいったい何だったのか？ その特異な前衛芸術運動の歴史の変遷を辿りつつ、個々の芸術家の作品を地政学的観点から捉えなおし、一連の活動の輪郭を浮かび上がらせる力作。

(16)〈702.37〉

ジョゼフ・カーマンほか著/福中冬子訳・解説
ニュー・ミュージコロジー
 ー音楽作品を「読む」批評理論
 1978-8 A5 判並製 468頁 3,520円(3,200円)

ポスト構造主義、記号論、ジェンダー論など幅広い領域にクロスオーバーする理論と動機に基盤をおく「ニュー・ミュージコロジー」の全容を、世界的権威の主要論文の翻訳および訳者の詳細な解説で紹介する、本格的入門書。

(13)〈761〉

佐々木敦著
あなたは今、この文章を読んでいる。
 ーパラフィクションの誕生
 2162-0 四六判並製 296頁 2,200円(2,000円)

円城塔、伊藤計劃、筒井康隆、辻原登、舞城王太郎、ジョン・バース、コルタサル、ジーン・ウルフ——。メタフィクションの臨界点を突破する、2010年代のための衝撃のフィクション論。

(14)〈901.3〉

ジャン＝マリー・シェフェール著/久保昭博訳
なぜフィクションか？
 ーごっこ遊びからバーチャルリアリティまで
 2575-8 A5 判上製 352頁 5,500円(5,000円)

物語論、哲学、人類学、心理学、認知科学等の観点から、文学や映画からビデオゲームにいたるあらゆるフィクションの形式を分析し、フィクションを人類に普遍的に備わる「心的能力」としてとらえなおす重要書。

(19)〈701〉

エミリー・アプター 著／秋草俊一郎・
今井亮一・坪野圭介・山辺弦 訳

翻訳地帯

—新しい人文学の批評パラダイムにむけて
2518-5 A5判上製 420頁 6,050円 (5,500円)

戦争とは、誤訳や食い違いの極端な継続にほかならない。ポスト9.11の混迷する世界状況を、人文学の観点から緻密に分析し、翻訳研究と文学を融合させる斬新な試み。

(‘18)〈002.04〉

■ 東洋哲学

井筒俊彦 著

アラビア哲学 1935年－1948年

2071-5 四六判上製函入 540頁 6,600円(6,000円)

井筒の詩への若き情熱が感じられる「びろそびあはいこおん」、古典言語論、ロシア人論、そして初期代表作「アラビア哲学」等、井筒思想の原石がまとめられた一冊。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第一巻

(‘13)〈120.8〉

井筒俊彦 著

神秘哲学 1949年－1951年

2072-2 四六判上製函入 660頁 7,480円(6,800円)

初期代表作の『神秘哲学』を収録。その他、初期の思想形成期に特徴的な「詩と哲学」の関係を正面から論じたエッセイなど、井筒の神秘主義への理解に必読の著作群を収録。充実の解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第二巻

(‘13)〈120.8〉

井筒俊彦 著

ロシア的人間 1951年－1953年

2073-9 四六判上製函入 612頁 7,480円(6,800円)

初期代表作の『露西亜文学』『ロシア的人間』を収録。その他、初期の思想形成期に特徴的な「詩と哲学」の関係を論じたエッセイや、井筒の「ロシア」への若き時代のバトスに溢れた著作群を収録。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第三巻

(‘14)〈120.8〉

井筒俊彦 著

イスラーム思想史 1954年－1975年

2074-6 四六判上製函入 632頁 7,480円(6,800円)

『研究社世界文学辞典』への執筆項目「アラビア文学」「トルコ文学」「ベルシア文学」から始まり、レバノンやカナダ等から日本へ宛てた便りなどユニークな著作、そして代表作『イスラーム思想史』を収録。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第四巻

(‘14)〈120.8〉

井筒俊彦 著

存在顕現の形而上学 1978年－1980年

2075-3 四六判上製函入 640頁 7,480円(6,800円)

長年に亘る海外での思索が日本語著作として結実する著作群を発表年月日順に収録。今道友信らとの対談や師や朋友を語るエッセイなど、日本語で自らの思想を紡ぎだそうとした第三期初動の巻。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第五巻

(‘14)〈120.8〉

井筒俊彦 著

意識と本質 1980年－1981年

2076-0 四六判上製函入 516頁 6,600円(6,000円)

海外での20年に亘る活動をへて、「東洋思想」の新たな世界を切り拓こうとした主著「意識と本質」を収録。また、解題では収録作品の基本的な書誌情報に加え、『意識と本質』各版の重要な校異を記す。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第六巻

(‘14)〈120.8〉

井筒俊彦 著

イスラーム文化 1981年-1983年

2077-7 四六判上製函入708頁 8,580円(7,800円)

イスラームという宗教、文化を知るための、最適の書。著作集・単行本未収録の「イラン・イスラームの黙示録」は、イランでの生活やホメイニ革命について語る貴重な逸品。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第七巻

('14)<120.8>

井筒俊彦 著

意味の深みへ 1983年-1985年

2078-4 四六判上製函入580頁 6,600円(6,000円)

東洋哲学と現代思想を懸け橋する一冊。単行本・著作集未収録の「『中央公論』と私」を収録。「アリダ論」等の現代思想を展開し、そこから東洋哲学を読み解こうとする野心的な内容。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第八巻

('14)<120.8>

井筒俊彦 著

コスモスとアンチコスモス
1985年-1989年

2079-1 四六判上製函入492頁 7,700円(7,000円)

思索の円熟期に書かれた著作群を発表年月日順に掲載。単行本・著作集未収録の「西田幾多郎全集」推薦文、「風景」などを収録。貴重な講演音声CD「コスモスとアンチ・コスモス—東洋哲学の立場から」、解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第九巻

('15)<120.8>

井筒俊彦 著

意識の形而上学 1987年-1993年

2080-7 四六判上製函入704頁 8,580円(7,800円)

1987年~1993年に書かれた著作を、発表年月日順に収録。生前単行本に収められなかった、アンケート「ギリシア悲劇と私」への回答、「二十世紀日本の読書遍歴」収録。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第十巻

('15)<120.8>

井筒俊彦 著

意味の構造 1992年

2081-4 四六判上製函入452頁 6,380円(5,800円)

『コーラン』の意味論的分析を試みる井筒の代表的英文著作 The Structure of the Ethical Terms in the Koran (1959) をもとに、日本向けに改訂された1992年の著作を収録。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第十一巻

('15)<120.8>

井筒俊彦 著

アラビア語入門

2082-1 四六判上製函入624頁 8,580円(7,800円)

井筒俊彦のもう一つの真骨頂である言語論集(1939-55)。井筒哲学の根底を築く、言語へのまなざしが窺える一冊。代表作「アラビア語入門」ほか、「アッカド語」「ヒンドスターニー語」などを収録。解題、索引、月報付き。

井筒俊彦全集 第十二巻

('16)<120.8>

井筒俊彦 著

井筒俊彦全集 別巻
(講演音声CD付き)

2083-8 四六判上製函入464頁 7,920円(7,200円)

これまで単行本には収録されることのなかった幻の著作をふくむ18篇を補遺として収録。本全集初公開となる新発見原稿、井筒俊彦訳イブン・アラビーの『叡智の台座』(第一章)、「東洋哲学の行方を考える」を収録。年譜、著作目録、総索引、月報付き。

('16)<120.8>

井筒俊彦 著

露西亞文学

1771-5 四六判上製 276頁 4,180円(3,800円)

ロシア的精神の根源を探る。19世紀ロシアの終末論的な文学作品に、人間存在の原始的な自然性への探究をみる、卓越したロシア文学論。近年まで存在すら知られていなかった作品、「ロシアの内的生活」を附録として付す。

【図】('11)<980.2>

井筒俊彦 著／古勝隆一 訳

老子道徳経

2415-7 A5 判上製 256 頁 4,180 円 (3,800 円)

井筒による『老子道徳経』英訳遺稿の邦訳。語り手の老子を、永遠なる「道」と一体化した一人の人格「私」として捉え、そこに流れる一貫した強力な思想を読みとる。これまでにない老子観を提示する新訳。分かりやすい序文つき。
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション (‘17)〈124,22〉

井筒俊彦 著／鎌田繁 監訳／仁子寿晴 訳

クルアーンにおける神と人間

2416-4 A5 判上製 400 頁 6,380 円 (5,800 円)

God and Man in the Koran (1964) の邦訳。クルアーンの言語世界の中心をなす「創造主である神」と「被造物たる人間」との関係を、意味論的に分析する世界的名著、待望の翻訳刊行。
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション (‘17)〈167,3〉

井筒俊彦 著／鎌田繁 監訳／仁子寿晴 訳

存在の概念と実在性

2456-0 A5 判上製 272 頁 4,180 円 (3,800 円)

何かが「ある」、それは「何」なのか——。西洋哲学との接点を探りつつ、存在と本質をめぐるイスラーム形而上学の真髄を知らしめた一冊、待望の邦訳。
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション (‘17)〈129〉

井筒俊彦 著／安藤礼二 監訳／小野純一 訳

言語と呪術

2457-7 A5 判上製 272 頁 3,520 円 (3,200 円)

若き井筒俊彦が、考古学、人類学、言語学、宗教学、心理学、詩学の成果を消化吸収し、大胆に提示した「意味」の始原。井筒哲学の起源にして、その後の展開のすべてを萌芽状態のままに孕んだ〈言語学原論〉。
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション (‘18)〈129〉

井筒俊彦 著／鎌田繁 監訳／仁子寿晴・橋爪烈 訳

**イスラーム神学における信の構造
—イーサーンとイスラームの意味論的分析**

2458-4 A5 判上製 440 頁 6,380 円 (5,800 円)

イスラーム思想史・神学史を考える上で最も興味深い 7 世紀末から 18 世紀にいたるまで、個人的・実存的な「信じること」や「信仰」のあり方が、いかに理性的なフィルターを通し、概念化されていったのかを辿る。
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション (‘18)〈129〉

井筒俊彦 著／澤井義次 監訳／金子奈央・古勝隆一・西村玲 訳

東洋哲学の構造

—エラノス会議講演集

2459-1 A5 判上製 552 頁 7,480 円 (6,800 円)

井筒を世界に知らしめた伝説の〈エラノス会議〉講演集。老荘思想から禅仏教、華嚴、儒教、水墨画、俳句、シャマニズムまで、「東洋思想」を縦横無尽に語った全 12 回の名講演を収録。
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション (‘19)〈129〉

井筒俊彦 著／仁子寿晴 訳

スーフイズムと老荘思想 上

2460-7 A5 判上製 416 頁 5,940 円 (5,400 円)

日本語著作の空白の時代を埋める最重要著作、ついに刊行。上巻は、イスラーム神秘哲学の頂点、イブン・アラビーの存在論。『井筒俊彦全集』と『井筒俊彦英文著作翻訳コレクション』で、井筒思想の全貌が明らかになる。
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション (‘19)〈129〉

井筒俊彦 著／仁子寿晴 訳

スーフイズムと老荘思想 下

2461-4 A5 判上製 368 頁 5,940 円 (5,400 円)

東洋の二大叡智を真髄を解き明かす、井筒俊彦の最重要著作。上巻のスーフイズムにつづき下巻は老子と荘子の存在論、イスラーム神秘哲学との比較哲学的考察。井筒意味論の展開を解明する訳者解説つき。
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション (‘19)〈129〉

井筒俊彦 著 (英文)

God and Man in the Koran:

Semantics of the Koranic Weltanschauung

2281-8 B5変型判並製 272頁 7,040円(6,400円)

1964年に発表された井筒俊彦の代表的英文著作。イスラームの聖典『コーラン』に示されている、創造主である神と被造物たる人との関係を分析するコーラン論。井筒著作を特徴づける、意味論的方法およびオリジナルなテキスト読みが顕著な一冊。
(15)〈801.01〉

井筒俊彦 著 (英文)

The Concept of Belief in Islamic Theology:

A Semantic Analysis of Īmān and Islām

2288-7 B5変型判並製 288頁 7,040円(6,400円)

イスラーム神学において、信仰の概念がいかにして生まれ、理論的に完成していったのか、その過程を詳述する、コーラン論の名著。信仰の概念とそれに関連する諸鍵概念を意味論的に分析し、それらが織りなす概念的なネットワークを叙述する。
(16)〈167.1〉

若松英輔 著

井筒俊彦 叡知の哲学

1811-8 四六判上製 474頁 3,740円(3,400円)

少年期の禅の修道を原点に、「東洋哲学」に新たな地平を拓いた井筒俊彦の境涯と思想潮流を、同時代人と交差させ、鮮烈な筆致で描き出す清新な一冊。井筒俊彦年譜つき。
【図】(11)〈120.4〉

安藤礼二 著

井筒俊彦 起源の哲学

2842-1 四六判上製 304頁 2,750円(2,500円)

哲学の最高峰、井筒俊彦のベールを剥ぐ——。没後三十年を迎える今、二十年に及ぶ研究と独自のインタビュー調査にもとづき、その謎に満ちた生涯と思想の全貌を描き切る、待望の井筒論。
(23)〈120〉

小野純一 著

井筒俊彦—世界と対話する哲学

2915-2 四六判上製 256頁 2,970円(2,700円)

言語の不可能性を乗り越え、自由の思想を追究した井筒俊彦。自己と他者、自文化と異文化の「世界観」を架橋するために、「対話の哲学」を築いた軌跡を辿る。
(23)〈121.6〉

若松英輔 著

叡知の詩学 小林秀雄と井筒俊彦

2269-6 四六判上製 192頁 2,200円(2,000円)

日本古典の思想性を「詩」の言葉で論じた小林秀雄——。古今・新古今の歌に日本の哲学を見出した井筒俊彦——。二人の巨人を交差させ、詩と哲学の不可分性に光をあてる、清廉な一冊。第2回西脇順三郎学術賞受賞。
(15)〈910.268〉

井筒俊彦 著／若松英輔 編

読むと書く—井筒俊彦エッセイ集

1663-3 四六判上製 752頁 6,380円(5,800円)

井筒俊彦著作集未収録の70篇をテーマごとに編集した待望の書。世界的な言語哲学の権威である著者のコトバ論、詩論、イスラーム論、生い立ちや豊かな人間交流について知ることのできる、井筒俊彦入門に最適の一冊。
【図】(09)〈120.4〉

若松英輔 編

井筒俊彦さんまい

2630-4 四六判並製 240頁 2,640円(2,400円)

20世紀を代表する哲学者・井筒俊彦。その知られざる交流や多彩な姿をめぐり、世代も分野も全く異なる国内外の作家・思想家・学者たちが縦横無尽に語る。「門外不出」の写真も多数収録し、若松英輔氏の編集にて送り出す。
(19)〈289.1〉

坂本勉・松原秀一 編

井筒俊彦とイスラーム

—回想と書評

1969-6 四六判上製 464 頁 5,500 円 (5,000 円)

井筒俊彦をイスラーム学徒・教育者としての側面から回顧し、国内外の研究者との交流や組織とのかかわりを掘り起こす 5 本のインタビューを掲載。またその著作を、戦後イスラーム研究史の観点から紹介する。

【図】(12)<132.28>

井筒豊子 著

井筒俊彦の学問遍路

—同行二人半

2465-2 四六判上製 208 頁 4,400 円 (4,000 円)

昭和 34 (1959) 年、ロックフェラー基金で海外研究生活をはじめた井筒俊彦。それ以降 20 年に及ぶ海外渡航生活のなかでの研究者との出会い、マギル大学、エラス学会、イラン王立哲学アカデミー等での研究と生活を豊子夫人が語る。

(17)<289.1>

澤井義次・鎌田繁 編

井筒俊彦の東洋哲学

2539-0 A5 判上製 382 頁 5,500 円 (5,000 円)

ギリシアからイスラーム、中国、インド、そして日本。「東洋」の諸思想を包含する、メタ哲学体系の構築は可能か。第一線の研究者・批評家が、井筒思想の現代を析出する。

(18)<120.4>

澤井義次 著

井筒俊彦 東洋哲学の深層構造

2997-8 四六判上製 304 頁 4,400 円 (4,000 円)

井筒俊彦の生涯と哲学研究をひもとき、インド哲学やルードルフ・オットーの思想からの影響などを明らかにすることで、「東洋の現象学」とも呼ぶべき井筒「東洋哲学」の根源的特徴を描き出す。

(24)<289.1>

武田雅哉 著

西遊記

—妖怪たちのカーニヴァル

2556-7 四六判上製 248 頁 2,200 円 (2,000 円)

映画やマンガにリメイクされつづける『西遊記』は子ども向けの本ではない？ 長大な物語のあらすじを追いながら、中国の誇る〈神怪小説〉のなりたちと伝播を、妖怪たちの目線から語りつくす。

世界を読み解く一冊の本 (19)<923.5>

■ 科学哲学

西脇与作 著

科学の哲学

1065-5 A5 判並製 514 頁 4,620 円 (4,200 円)

ギリシャ以来の自然観と生命観の歴史と理論を現代の観点から詳細に論じた本格的な科学哲学のテキスト。「量子力学」・「進化論」そして「時間」がもつ哲学的問題にも言及、自然と生命を根源的に考える大著。

(04)<401>

西脇与作 編著／源河亨・古賀聖人・田中泉吏・石田知子・森元良太・杉尾一 著
入門 科学哲学 —論文とディスカッション

2102-6 A5 判並製 336 頁 3,300 円 (3,000 円)

哲学を学ぶ学生は、「科学哲学」を敬遠しがちであるが、文系の学生が、生物や物理など、理系の主題を扱った「科学哲学」の論文の読解を通じて、また哲学者たちのディスカッションを通じて哲学することを学ぶことができる。

(13)<401>

イアン・ハッキング 著／
広田すみれ・森元良太 訳

確率の出現

2103-3 A5 判上製 404 頁 4,180 円 (3,800 円)

イアン・ハッキングの出世作、待望の邦訳！ フーコーの考古学の手法を用い、確率の「出現」を 1660 年前後の 10 年間に起こった歴史的必然として、医学などとの関わりの深いその前史から鮮やかに描き出す。確率の本質に迫る好著。 【図】('13)<417.1>

田中泉吏・鈴木大地・太田紘史 著

意識と目的の科学哲学

2962-6 新書判並製 120 頁 770 円 (700 円)

脳・神経系という物理的な存在から発生するにもかかわらず、科学的な説明が難しいとされる「意識」。本書は「意識の難問」に対して進化論的アプローチから挑み、意識科学の方法論の再構築を目指す。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita* ('24)<401>

金森修 編著

エピステモロジー

—20 世紀のフランス科学思想史

2005-0 A5 判上製 512 頁 7,150 円 (6,500 円)

エピステモロジー(フランス科学哲学)研究におけるトップランナーである編者が、次世代のすぐれた研究者を集め、最新の研究成果を発信。日本における科学哲学研究の深化を力強く感じさせる、フランス現代哲学研究者必読の一冊。 ('13)<402.35>

新田昌英 著

アランの情念論

2172-9 A5 判上製 448 頁 7,700 円 (7,000 円)

20 世紀の哲学において、「情念」とは「死んだ」概念であった。勃興期の実験心理学と哲学の関係を描きながら、「心理学の時代」となった 20 世紀に情念概念の積極的な意義を論じたアランの姿を明らかにする力作。

('14)<135.5>

■ 倫理学

小松光彦・樽井正義・谷寿美 編

倫理学案内

—理論と課題

1251-2 A5 判並製 320 頁 3,300 円 (3,000 円)

なにが善いことなのか、正しいことなのか？ 生きていくうえで、一度はきちんと学んでおきたい「倫理学」の現在を、主要な「理論」と新たな分野の「課題」の 2 つの軸でわかりやすく紹介する入門書。

('06)<150>

山内志朗 著

小さな倫理学入門

2276-4 新書判並製 104 頁 770 円 (700 円)

愛とは何か、正義とは何か、欲望とは何か、偶然性とは何か、人生に意味はあるのか、そして〈私〉とは何か。身近な物事を通して、人間の弱さや卑しさに眼差しをむける、倫理学の入門書。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita* ('15)<150>

ジェニファー・M・ソール 著／小野純一 訳

言葉はいかに人を欺くか

—嘘、ミスリード、犬笛を読み解く

2745-5 四六判上製 306 頁 3,520 円 (3,200 円)

嘘をつくことと、ミスリードして意図的に誤解させることには、倫理的にどんな違いがあるのだろうか。日常会話から政治における嘘や欺瞞、人種差別の発話まで、多くの事例を読み解き、言葉による印象・感情操作のメカニズムを明らかにする。 ('21)<801.01>

柘植尚則 著

人間は利己的か

—イギリス・モラリストの論争を読む

2821-6 新書版並製 106 頁 770 円 (700 円)

人間は生まれつき利己的であるのか、それとも利他的で社会的であるのか。人間の本性をめぐって 17 世紀から 19 世紀のイギリスで繰り広げられた、14 人のモラリストたちの論争を描く。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita* ('22)〈133.3〉

澤井努 著

命をどこまで操作してよいか

—応用倫理学講義

2768-4 A5 判並製 224 頁 2,750 円 (2,500 円)

キメラ動物、人工的に作り出される脳や胚、果てはまだ存在しない未来世代まで、「新しい存在」の倫理をどう考えるべきか。そのための知識と思考法を文理問わず伝授する、新次元の倫理学！

('21)〈461〉

田村京子 著

生体臓器移植の倫理

—臓器をめぐる逡巡と規範

2716-5 A5 判上製 320 頁 7,150 円 (6,500 円)

脳死下移植・心停止下移植の件数と比べ、いまだ十分な議論がなされていない生体臓器移植。医療関係者と患者、双方の声を聴き、生体臓器移植が倫理的に許容されるための要件について、現象学的身体論や他者論の知見を交えながら明らかにする意欲作。

('20)〈491.3〉

クリストフ・リュトゲ 著／嶋津格 訳

「競争」は社会の役に立つのか

—競争の倫理入門

2638-0 四六判上製 240 頁 2,420 円 (2,200 円)

現代社会において「競争」を倫理的に擁護できるのか。ドイツの応用倫理学者が経済のみならず、教育・環境・医療・政治・メディアの分野における競争の重要性を説く。資本主義が嫌いな人のための「競争の倫理」。

('20)〈361.3〉

A・ライト、E・カッツ 著／岡本裕一郎・田中朋弘 監訳

哲学は環境問題に使えるのか

—環境プラグマティズムの挑戦

2612-0 A5 判上製 464 頁 5,940 円 (5,400 円)

現実の環境問題について対処できない、従来の非-人間中心主義的な「環境倫理学」を批判し、プラグマティズムの転回によって新たな地平を切り開いた記念碑的アンソロジー。現代の環境倫理学の議論は本書を抜きに語れない。

('19)〈519〉

バーナード・ウィリアムズ 著／河田健太郎・杉本英太・渡辺一樹 訳

恥と運命の倫理学

—道徳を乗り越えるためのギリシア古典講義

2992-3 四六判上製 320 頁 3,960 円 (3,600 円)

20 世紀を代表する哲学者、バーナード・ウィリアムズによるカリフォルニア大学の名講義。西洋哲学が見落としていた「倫理」をギリシア古典に発見し、近代道徳の呪縛から解放する〈反道徳的な倫理学〉。解説＝納富信留。

('24)〈150〉

■ 論理学

大出晁 著／野本和幸 編・解題

大出晁哲学論文集

1742-5 A5 判上製 788 頁 8,800 円 (8,000 円)

ホワイトヘッド、クワインの翻訳者としても知られ、戦後、我が国の哲学、ことに論理学・数学基礎論・科学哲学の分野のリーダーとして学界を牽引し続けた著者の研究足跡を辿れるように、公刊年代順に学術論文のほぼ全体を集成。

('10)〈116〉

■ 言語学

星浩司 著

言語学への扉

1248-2 A5 判並製 224 頁 2,640 円 (2,400 円)

('06)〈801〉

各章ごとに「まとめ」「コラム」「注」を付して重要事項を解説し、さらに深く言語学を学びたい人のために「お勧め図書情報」を紹介し、言語学の全体像を体系的にわかりやすく紹介する入門書。

星浩司・宮里恭子 著

小児失語症の言語回復

—ランドナー・クレフナー症候群と自閉症の比較から

2639-7 A5 判上製 200 頁 6,600 円 (6,000 円)

('19)〈493.937〉

ヒトは言語をどのように獲得し、発達していくのか。生物言語学の見地から、言語理解と発話のメカニズムを解明し、言語回復への道筋を探る。

金田一真澄 著

身近なレトリックの世界を探る

—ことばからこころへ

1835-4 四六判変型並製 120 頁 770 円 (700 円)

日常のいたるところに使用されているレトリック技法を、TVCM を中心に紹介・解説。これらの技法の分析から日本人の言語観の特殊性も指摘する。

慶應義塾大学教養研究センター選書8 ('11)〈801.6〉

安田敏朗 著

大槻文彦『言海』

—辞書と日本の近代

2554-3 四六判上製 208 頁 2,200 円 (2,000 円)

国語学者・大槻文彦が、明治期に編纂した日本初の近代的国語辞典『言海』。大槻は『言海』を通して、世界をどのように切り分けようとしたのか。辞書が社会的に果たした役割とともに描き出す。

世界を読み解く一冊の本 ('18)〈813.1〉

マイケル・トマセロ 著／辻幸夫・野村益寛・出原健一・菅井三実・鍋島弘治朗・森吉直子 訳
ことばをつくる

—言語習得の認知言語学的アプローチ

1533-9 A5 判上製 448 頁 3,850 円 (3,500 円)

ことばは本能ではない！ 比較認知科学や発達心理学における豊富な研究データをもとに、“Usage-Based Model (用法基盤モデル)”のアプローチから、子どもの言語習得のプロセスを明示する。

【図】('08)〈801.04〉

鈴木孝夫 講演

鈴木孝夫 世界の中の日本と日本語

1913-9 B5 変型音声 CD2 枚+解説冊子 16 頁 5,500 円 (5,000 円)

日本と日本語の行く末を案じ、言語教育政策と日本人論の強烈な論客である鈴木のエネルギッシュな講義内容は、聴く者を圧倒し、そして力強く励ます。

CD シリーズ 慶應義塾の名講義・名講演 ('12)〈810.4〉

津田幸男 著

英語支配とことばの平等

1304-5 四六判上製 266 頁 2,640 円 (2,400 円)

英語の「一言語独裁」により、非英語話者は「不平等」と「言語権の侵害」を被っていると説き、「コミュニケーションの平等」を実現するために必要な「ことばの平等」の重要性を説く。

【図】('06)〈830.4〉

ヤムナ・カチュール、ラリー・E・スミス 著／井上逸兵ほか訳
世界の英語と社会言語学
 —多様な英語でコミュニケーションする

2056-2 A5 判上製 352頁 3,190円 (2,900円)

グローバル化が進み、非英語母語話者が世界中で英語を日々使用している状況の中で、多様化してゆく“英語”の姿を社会言語学の立場からひもとく。進化するグローバル化世界の異文化コミュニケーション論テキスト。

(‘13)<830.4>

井上逸兵 著
グローバルコミュニケーションのための英語学概論

2213-9 A5 判並製 262頁 2,970円(2,700円)

英語は、グローバル化やテクノロジーの発展とともに日々変化を遂げている。アングロ・サクソンの民族語としての英語という歴史を踏まえつつ、現代までの英語学のエッセンスを網羅的に紹介する。

(‘15)<830.1>

中西千春 著 (英文)
A Teaching Approach to Japanese College Students' EFL Writing

1276-5 B5 判変型上製 216頁 3,520円(3,200円)

英語力初級～中級の学生を10年以上指導してきた著者が、仮説を実証する形で、大学生のライティング力を伸ばす教育方法についてまとめた成果。(EFL = English as a Foreign Language) (全英文)。

(‘06)<830.7>

橋本功・八木橋宏勇 著
聖書と比喻
 —メタファで旧約聖書の世界を知る

1766-1 A5 判並製 256頁 2,750円 (2,500円)

メタファの仕組みを解析しながら、数千年前に描かれた難解な古代ヘブライ語の表現世界をやさしく読み解いていく。『旧約聖書』をこれから読む人も読み直す人にも新しい発見がある一冊。

(‘11)<193.1>

杉野俊子 著 (英文)
Nikkei Brazilians at a Brazilian School in Japan :
Factors affecting language decisions and education

1546-9 B5 判変型上製 274頁 6,600円(6,000円)

浜松市のブラジル人学校を研究対象とし、日系ブラジル人の親が子どもの教育をブラジル人学校(ポルトガル語で教育)に託す要因を、教育観と言語選択という視点から歴史的・社会的・政治経済的側面にわたって分析、考察。

(‘08)<801.03>

松田隆美 編
西洋精神史における言語観の変遷

1066-2 A5 判並製 320頁 3,300円 (3,000円)

哲学、言語学、西洋古典学、イスラーム哲学等の専門家による学際的研究の成果。様々な視点を相互利用し、西洋の言語観の変遷を比較思想史的文脈で捉え直す。『西洋精神史における言語観の諸相』に続く第2論集。

(‘04)<804>

飯田隆 編
西洋精神史における言語と言語観
 —継承と創造

1268-0 A5 判並製 312頁 3,300円 (3,000円)

哲学、言語学、西洋古典学、西洋中世研究、イスラーム哲学、さらには楔形文字碑文等の専門家による学際的研究の成果。『西洋精神史における言語観の変遷』に続くシリーズ第3弾。

(‘06)<804>

納富信留・岩波敦子 編
精神史における言語の創造力と多様性

1493-6 A5 判並製 244頁 3,080円 (2,800円)

哲学、言語学、ローマ史、西洋古典学、西洋中世研究、イスラーム哲学の専門家たちが様々なアプローチで言語の力について考察する論文集。シリーズ第4弾。

(‘08)<804>

■ 日本近世・近代思想

桂木隆夫 著

慈悲と正直の公共哲学

—日本における自生的秩序の形成

2174-3 A5 判上製 306 頁 5,720 円 (5,200 円)

江戸期の武士と商人（軍事と商業）の相互性と、両者のバランス感覚としてのヒューマンイズムが育んだ自生的秩序が日本の公共性の核心にあることを、「慈悲」と「正直」を鍵語に解き明かす。現代の公共哲学に歴史からの再考を迫る、知的冒険の書。 【図】('14)<121.5>

山本正身 著

伊藤仁斎の思想世界

—仁斎学における「天人合一」の論理

2275-7 新書判並製 208 頁 770 円 (700 円)

「人と天地との一体化」とは何か。儒学の「天人合一」説を独自の立論を通して再定義した伊藤仁斎の思想に焦点を当て、その思想的意義を問い直す。仁斎学の思想体系を平易明白に解説した入門書。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita【図】('15)<121.56>

松崎欣一 著

杉田玄白晩年の世界

—『鶴斎日録』を読む

2249-8 A5 判上製 544 頁 9,240 円 (8,400 円)

杉田玄白は『解体新書』の訳者として、また『蘭学事始』の著者として名高い。その彼が晩年に記した日記『鶴斎日録』をもとに、玄白の日常生活、医師活動、知られざる交友、長命を保った晩年の心境を克明に描き出す。

('17)<289.1>

福澤諭吉事典編集委員会 編

福澤諭吉事典

1800-2 A5 判上製函入 1,164 頁 15,400 円 (14,000 円)

福澤諭吉生誕 175 年・慶應義塾創立 150 年記念出版。今、時代をひらく勇氣と出会う。66 年の生涯とその思想、日常の素顔など福澤の全身像がみえる画期的な個人事典。現代の課題に通じる多くの知見に溢れる。

('10)<289.1>

福澤諭吉 著／マリオン・ソシエ・西川俊作 編

西洋事情

0877-5 四六判上製 386 頁 3,300 円 (3,000 円)

西洋の先端技術や社会制度など、近代化に必要な情報と知識を、自らの渡米・渡欧体験をもとにわかりやすく体系的に紹介した西洋文明入門書。幕末・維新期の日本人に多大な影響を与えた大ベストセラー。

福澤諭吉著作集1※コンパクト版あり 【図・学】('02)<081.6>

福澤諭吉 著／中川眞弥 編

世界国尽 窮理図解

0878-2 四六判上製 482 頁 3,520 円 (3,200 円)

子どもたちに近代的知識の基礎を楽しく説明した入門書を収録。七五調で世界の地理風俗を綴った『世界国尽』（せかいくにづくし）のほか、『訓蒙窮理図解』（きんもうきゅうりずかい）、『童蒙教草』（どうもうおしえぐさ）、『文字之教』を収録。

福澤諭吉著作集2 【図・学】('02)<081.6>

福澤諭吉 著／小室正紀・西川俊作 編

学問のすゝめ

0879-9 四六判上製 288 頁 2,200 円 (2,000 円)

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云えり」の名言ではじまる、近代日本を代表する著作。明治維新を迎え、これからの時代の新しい「知」のあり方を説いた、福澤思想のエッセンス。

福澤諭吉著作集3※コンパクト版あり 【図・学】('02)<081.6>

福澤諭吉 著／戸沢行夫 編

文明論之概略

0880-5 四六判上製 418 頁 3,300 円(3,000 円)

『学問のすゝめ』、『福翁自伝』と並ぶ、福澤諭吉の代表作。達意の文章、豊富な事例、緻密な分析で文明の本質を体系的に説き明かし、「多事争論」「自由な気風」の精神から、あらためて日本〈近代〉の歩みを問うた名著。

福澤諭吉著作集4 ※コンパクト版あり 【図・学】('02)〈081.6〉

福澤諭吉 著／西川俊作・山内慶太 編

学問之独立 慶應義塾之記

0881-2 四六判上製 494 頁 2,860 円(2,600 円)

政治からの教育の独立をめざし、慶應義塾における実践とともに多岐にわたる活動を行った福澤による教育論。学校教育・家庭教育から社会教育まで、現代人が直面する様々な課題にも多くの示唆を与える全 60 著作。

福澤諭吉著作集5 【図・学】('02)〈081.6〉

福澤諭吉 著／小室正紀 編

民間経済録 実業論

0882-9 四六判上製 416 頁 3,520 円(3,200 円)

西南戦争後のインフレから松方デフレを経て起業勃興へ。変動する明治挿監期の経済状況をリアルに見据えつつ、天下万事「官」主導の時代に、立国の基礎たる「一身独立」の実業を望んだ福澤の経済論集。

福澤諭吉著作集6 【図・学】('03)〈081.6〉

福澤諭吉 著／寺崎修 編

通俗民権論 通俗国権論

0883-6 四六判上製 392 頁 2,860 円(2,600 円)

たび重なる士族の反乱、国会開設運動など、噴出する様々な政治的課題を、「官」にのみ依存するのではなく、「一身独立」した「民」の力を高め、その協調、調和によって解決していこうと説いた福澤の政治論集。

福澤諭吉著作集7 【図・学】('03)〈081.6〉

福澤諭吉 著／岩谷十郎・西川俊作 編

時事小言 通俗外交論

0884-3 四六判上製 470 頁 2,860 円(2,600 円)

一国の独立維持と経済発展を図るための内政と外交のプログラムを綴った渾身の力作『時事小言』。西洋列強に蝕まれつつある東アジア諸国との葛藤を脱するまでの曲折と、安政条約の改正に関する時事論を収録。

福澤諭吉著作集8 【図・学】('03)〈081.6〉

福澤諭吉 著／坂本多加雄 編

丁丑公論 瘠我慢の説

0885-0 四六判上製 338 頁 3,300 円(3,000 円)

西郷隆盛を擁護した『丁丑公論』（ていしゅうこうろん）、武士の意気地を説いた『瘠我慢の説』など、16 著作を収録。「伝統的なもの」との関わりのなかで、一国独立のために、日本人の根本精神を説いた必読の一冊。

福澤諭吉著作集9 【図・学】('02)〈081.6〉

福澤諭吉 著／西澤直子 編

日本婦人論 日本男子論

0886-7 四六判上製 408 頁 2,860 円(2,600 円)

新時代の女性のあり方を日常生活に根ざした身近な例から説き、また封建的規範に縛られた男性の意識改革をもうながし、各々が独立した男女・家族関係であるべきことを主張した、今いよいよ光彩を放つ女性論集。

福澤諭吉著作集10 【図・学】('03)〈081.6〉

福澤諭吉 著／服部禮次郎 編

福翁百話

0887-4 四六判上製 398 頁 3,200 円

宇宙の広大さにくらべ、人間はまるで蛆虫のようで、人生は一時の戯れにすぎないが、その戯れを戯れとせず、日々を熱心かつ真剣に過ごすこそ「独立自尊」の主義である——。モラリスト福澤、老成円熟の境地。

福澤諭吉著作集11 ※コンパクト版あり 【図・学】('03)〈081.6〉

福澤諭吉 著／松崎欣一 編

福翁自伝 福澤全集緒言

0888-1 四六判上製 582 頁 3,520 円(3,200 円)

「一身にして二生」を生きた痛快な人生行路を、臨場感あふれる筆致で描いた自伝文学の最高傑作『福翁自伝』。著訳活動に込めた思いを自ら綴った『福澤全集緒言』。次世代に託す「遺言」ともいえる、最晩年の 2 著作を収録。福澤諭吉著作集12 ※コンパクト版あり 【図・学】('03)〈081.6〉

福澤著作集のうち以下のものにはコンパクト版（普及版）があります。

西洋事情	1622-0	B6 判変型並製368 頁	1,540 円 (1,400 円)('09)
学問のすゝめ	1623-7	B6 判変型並製288 頁	1,100 円 (1,000 円)('09)
文明論之概略	1624-4	B6 判変型並製418 頁	1,540 円 (1,400 円)('09)
福翁百話	1625-1	B6 判変型並製398 頁	1,540 円 (1,400 円)('09)
福翁自伝 福澤全集緒言	1626-8	B6 判変型並製582 頁	1,760 円 (1,600 円)('09)

福澤諭吉 著／富田正文 校注

福翁自伝

0838-6 四六判並製 390 頁 1,650 円(1,500 円)

激動の近代日本を導いた福澤諭吉の痛快な人生を描いた、自伝文学の最高傑作。読みやすく、また充実した注が付けられた本書を、新世紀の幕明けとともに、新装版として刊行。

【図・学】('01)〈289.1〉

[本文編] 佐志傳・[註釈編] 河北辰生編著

「福翁自伝」の研究 (本文編・註釈編)

1295-6 B5 判上製函入 本文編 352 頁／註釈編 428 頁 29,700 円 (27,000 円) (全 2 巻セット [分売不可])

福澤諭吉の代表著作に厳密な考証による本文校訂と註釈を施した研究者必携の書。『慶應義塾百年史』編纂に際して、富田正文を中心に発足した懇話会「自伝を読む会」での研究成果を盛り込んだ、「自伝」研究の集大成。

('06)〈289.1〉

福澤諭吉 著／伊藤正雄 訳

現代語訳 文明論之概略

1744-9 四六判上製 612 頁 3,850 円(3,500 円)

理解しやすい現代文と詳しい解説で読む名著。渾身の力で書き下ろした『文明論之概略』(明治八年)の現代語訳、待望の復刊。時代の転換期に何度でも読み返されるべき、「半開国＝日本」への診断と処方箋。

('10)〈121.6〉

福澤諭吉 著／加藤紳一郎 訳

現代語訳 女大学評論 新女大学

2710-3 新書判並製 176 頁 1,320 円(1,200 円)

江戸時代の貝原益軒「女大学」を批判した「女大学評論」、そして、あらたな時代の女性のための書として著した「新女大学」。福澤諭吉による 2 編の女性論を平易な文体で現代語訳。読みやすさを重視し、語注も付す。

('20)〈121.6〉

福澤諭吉 著／デイヴィッド・A・ディルワース／
G・キャメロン・ハースト, III 訳 (英文)**An Outline of a Theory of Civilization** [文明論之概略]

1560-5 B5 判変型並製 320 頁 3,520 円(3,200 円)

福澤の思索力が最も充実した壮年期の著作 (1875 年刊行) で、最高傑作の一つと名高い『文明論之概略』の英訳。近代日本を啓蒙し、先導した福澤諭吉の著作を、国内外の読者に向けて英訳で刊行するシリーズの第 1 巻。

The Thought of Fukuzawa Vol.1 ('08)〈083〉

福澤諭吉 著／デイヴィッド・A・ディルワース 訳(英文)

An Encouragement of Learning [学問のすゝめ]

1684-8 B5 判変型並製 192 頁 3,520 円 (3,200 円)

最新の英語訳で贈る福澤諭吉の名著。福澤の著作を国内外の読者に向けて、英訳で刊行する「The Thought of Fukuzawa (福澤の思想)」シリーズ第 2 冊目。

The Thought of Fukuzawa Vol.2 ('12)〈002〉

福澤諭吉著／ヘレン・ポールハチェット 訳 (英文)

Fukuzawa Yukichi on Women and the Family

2414-0 B5判変型並製432頁 7,700円(7,000円)

福澤諭吉が公と私の場で著した女性論・家族論の代表作 11編と、家族との関係性が窺える53通の書簡を選出し、福沢の文体を活かした英語に翻訳。最新の研究成果にもとづいた詳細な注、索引付き。

The Thought of Fukuzawa Vol.3 ('17)<367.1>

福澤諭吉著／西澤直子・アルベルト・ミヤマルティン 編 (英文)

“A Message of Farewell to Nakatsu” by Fukuzawa Yukichi:
Multilingual Edition with Commentaries in English and Japanese

2799-8 A5判上製 234頁 2,200円(2,000円)

1871年、福澤が青年期を過ごした中津の人びとに向けて執筆したエッセイを、12か国語に翻訳。基本情報や背景の解説(日本語と英語)、年譜も収録。

('22)<367.21>

姜兌琬 著

福沢諭吉の初期思想

—近代的概念の受容と変容

2838-4 A5判上製 208頁 4,950円(4,500円)

幕末～明治初年、福沢諭吉が読み込んだ西洋の書籍と、それを翻訳・翻案して刊行した書籍の文章とを丹念に検討し、そこにあらわれる翻訳思想、西洋の近代的概念の受容・変容過程を読み解く。

('22)<121.6>

伊藤正雄 編

明治人の観た福澤諭吉

1654-1 四六判上製 248頁 3,520円(3,200円)

福地桜痴、中江兆民、徳富蘇峰、三宅雪嶺、陸羯南など福澤の同時代人や、明治に生まれた正宗白鳥、津田左右吉らによる福澤諭吉評価を、原典から集成。『資料集成明治人の観た福澤諭吉』(1970年当社刊)の復刊(改題)。

('09)<289.1>

西川俊作 著

福沢諭吉の横顔

0684-9 四六判並製 282頁 2,420円(2,200円)

没後百年たった今も福澤諭吉に関する研究は絶えることがない。本書は、著者自らが探り当てた資料や記録の見直し等を通じ、実に様々な顔をもつ福澤諭吉の語られざる「素顔」に迫る温故知新の試論集。

Keio UP 選書 ('98)<289.1>

西川俊作・松崎欣一 編

福澤諭吉論の百年

0732-7 四六判並製 336頁 2,420円(2,200円)

没後百年を迎えた福澤諭吉を、混迷の世紀末を超え、いまあらためて時代の「テキスト」としてひもとこうとする読者におくる、異色出色の福澤諭吉論18篇。『三田評論』創刊百年記念出版。

Keio UP 選書 ('99)<289.1>

藤江邦男 著

実学の理念と起業のすすめ

—福澤諭吉と科学技術

1075-4 四六判並製 204頁 2,200円(2,000円)

起業家精神を読み解く。科学に裏付けられた「実学」を称揚した福澤諭吉、福澤の「実学」の実践者たる北里柴三郎、藤原銀次郎らを通して、「現代の起業家像」を問う。

('04)<336.9>

アルパート・M・クレイグ 著／足立康・梅津順一 訳

文明と啓蒙 —初期福澤諭吉の思想

1683-1 A5判上製 250頁 3,850円(3,500円)

西洋の啓蒙思想を自在に駆使して、日本を近代化へと牽引した福澤の思想的源泉を実証的に考究する。ハーヴァード燕京研究所の碩学による待望の福澤論。

【図】('09)<289.1>

安西敏三 著

福澤諭吉と自由主義

—個人・自治・国体

1352-6 A5 判上製 320 頁 4,400 円 (4,000 円)

福澤諭吉は、ミル、トクヴィルら自由主義者たちから何を学んだか。そして、日本の現実にどのように活かしたか。その思考の軌跡を、鮮やかに提示する。トクヴィル『アメリカのデモクラシー』福澤手沢本の再現を巻末に収載。

【図】(07)〈289.1〉

小川原正道 著

福澤諭吉の政治思想

1930-6 A5 判上製 304 頁 4,950 円 (4,500 円)

近代日本政治史・思想史における重要性にもかかわらず、十分な検討が行われてこなかった福澤の議会論、憲法論、天皇論、外交論等を分析。これらの領域にあらわれた政治思想の構築過程と構造を論じ、様々な反響、政府との相剋を新資料に基づき明らかにする。

(12)〈311.21〉

福澤諭吉 著／山内慶太・西川俊作 編

福澤諭吉教育論

—独立して孤立せず

2943-5 四六判並製 524 頁 2,530 円 (2,300 円)

教育者・福澤諭吉はどのような理念に基づき慶應義塾を創立し、教育事業を実践していったのか。現代人にも示唆に富む、その教育論を集成。慶應義塾のモラルコードである「修身要領」も収載した決定版。

(24)〈370.4〉

青木功一 著

福澤諭吉のアジア

1763-0 A5 判上製 512 頁 9,350 円 (8,500 円)

福澤諭吉は何ゆえ「脱亜論」を執筆したのか。『時事新報』の詳細な解説によって新たな福澤諭吉の地平を拓きながら、志半ばで早世した著者の先駆的な論考を集成。福澤諭吉研究における貴重な遺産を現代に甦らせる。

(11)〈121.6〉

西澤直子 著

福澤諭吉と女性

1907-8 四六判上製 304 頁 2,750 円 (2,500 円)

「男子亦この書を読むべし」。明治の日本で、「男女平等」を公言した福澤諭吉。彼の近代化構想に女性はいかなる位置を占めたのか。福澤の真意を読み解き、今もなお古びることのない「近代人」としての肖像を鮮やかに描き出す。

(11)〈367.1〉

西澤直子 著

福澤諭吉とフリーラヴ

2116-3 四六判上製 280 頁 3,080 円 (2,800 円)

近代社会における新しい家族の姿はどうあるべきなのか。人びとの一生を左右する「家」をどのように考えるのか。さまざまな機会に揺れ動きながら、両性関係と家族のゆくえを見つめ続けた福澤諭吉のあらたな側面に迫る。

(14)〈361.63〉

松崎欣一 著

語り手としての福澤諭吉

—ことばを武器として

1170-6 四六判上製 320 頁 3,080 円 (2,800 円)

身体表現としての演説・対話から、「雅俗めちやめちや」の文体を創り出した著述活動に至るまで、ことばを縦横無尽に駆使した福澤諭吉。その先駆的な「演説」の実際を鮮やかに描く。

【図】(05)〈289.1〉

加藤三明・山内慶太・大澤輝嘉 著

福澤諭吉 歴史散歩

1984-9 A5 判並製 200 頁 2,750 円 (2,500 円)

福澤諭吉の自伝『福翁自伝』に沿いながら、中津・大阪・東京・ロンドン・パリなどの福澤諭吉ゆかりの地を辿りながら、彼が生きた時代の背景を知ることができる一冊。史跡めぐり愛好者にもおすすめ。

【図】(12)〈289.1〉

服部禮次郎 著

福澤諭吉と門下生たち

1496-7 A5判上製 488頁 3,850円 (3,500円)

【図】(‘09)〈289.1〉

福澤諭吉とその門下生の絆に着目し、慶應義塾草創期から20世紀にかけて、福澤の精神を受け継いだ門下生たちの人生模様を、講演録・史蹟めぐり・墓所掃苔記などで紹介する著述集。

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編

小幡篤次郎著作集 第一巻

2820-9 四六判上製函入 424頁 4,620円(4,200円)

福澤諭吉のもっとも信頼する協力者の一人であった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第一巻では、天変地異にまつわる迷信を正し、科学的根拠を解説した翻訳書『天変地異』等を収録。

(‘22)〈081〉

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編

小幡篤次郎著作集 第二巻

2876-6 四六判上製函入 488頁 5,280円(4,800円)

福澤諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第二巻では、トクヴィルの翻訳『上木自由之論』、J・S・ミルの翻訳『弥児氏宗教三論』等を収録。

(‘23)〈081.6〉

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編

小幡篤次郎著作集 第三巻

2907-7 四六判上製函入 504頁 5,500円(5,000円)

福澤諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第三巻では、フランシス・ウェーランドの*The Elements of Political Economy*の翻訳である『英氏経済論』を収録。

(‘23)〈081.6〉

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編

小幡篤次郎著作集 第四巻

2937-4 四六判上製函入 544頁 5,940円(5,400円)

福澤諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第四巻では、「小学歴史階梯」「小学歴史 卷一～卷三」に、2020年に新たに発見された「小学地誌階梯」等を収録。

(‘24)〈081.6〉

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編

小幡篤次郎著作集 第五巻

2971-8 四六判上製函入 712頁 7,480円(6,800円)

福澤諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第五巻では、「英式艦砲全書 一～二」「船用汽機新書 卷の一～二」「書簡集」を収録。

(‘24)〈081.6〉

西周 著／菅原光・相原耕作・島田英明 訳

西周 現代語訳セレクション

2620-5 四六判並製 320頁 2,750円(2,500円)

「日本における哲学の父」西周の著作のうち、哲学に関する文章を現代語訳で紹介。収録された6つの論考から、言語や文体をめぐる西の知的格闘のドラマが浮かび上がってくる。

(‘19)〈121.6〉

アルベルト・ミヤン マルティン 著

『修身論』の「天」

—阿部泰蔵の翻訳に隠された真相

2599-4 四六判変型並製 120頁 770円(700円)

明治期、近代的知識の導入にあたり、先進国の教科書が多数翻訳された。その一つ『修身論』の訳者・阿部泰蔵は近代的倫理観とそれに基づく社会制度をいかに訳したのか。明治教育史の一端を明らかにする。

慶應義塾大学教養研究センター叢書19 (‘19)〈375.35〉

野野有理 著

田口卯吉の夢

2040-1 四六判上製 352頁 3,520円(3,200円)

田口卯吉が夢見た「自己利益のみを追求人々が共存する、世界大に広がる秩序」。妥協なき彼の思想を、『日本開化小史』をはじめとする彼自身のテキストと同時代のコンテキストとを綿密にたどり、解き明かす。明治思想史を刷新する力作。 【図】('13)<289.1>

松田宏一郎 著

擬制の論理 自由の不安

—近代日本政治思想論

2353-2 A5判上製 356頁 6,380円(5,800円)

福澤諭吉から丸山眞男へ 思想家たちが擬制 fiction の論理によって構成した、さまざまな「自由な主体」。それらの理論的強度を精緻に検討し、近代日本における政治的言説の存立条件を明らかにする。 ('16)<311.21>

外川昌彦 著

岡倉天心とインド

—「アジアは一つ」が生まれるまで

2889-6 四六判上製 306頁 3,960円(3,600円)

近代日本美術の父・岡倉天心とインド宗教改革運動の旗手・ヴィヴェーカーナンダ。オリエンタリズムに抗し、アジア独自の「美術史」を打ち立てようとした、日印共闘のドラマを日印の資料を紐解いて描き出す。第3回日本フェノロサ学会特別功労賞受賞。 ('23)<289.1>

竹内楠三 著／岩下真好 監訳

真理探究者たち

—ある日本人の対話と省察

2687-8 四六判上製 184頁 5,940円(5,400円)

明治期の催眠術ブームの仕掛け人にして超常現象の研究者、そしてまた教育者、宗教家の顔も有した竹内楠三(1867～1921)がドイツ語で著しドイツで出版された幻の思想小説を邦訳。知られざる啓蒙家の思想がいま鮮やかに蘇る。 ('24)<943>

氣多雅子 著

西田幾多郎 生成する論理

—生死をめぐる哲学

2690-8 四六判上製 272頁 3,520円(3,200円)

『善の研究』から『哲学論文集』まで代表作を順に読み解くことで、実在の論理を徹底的に追究し、「いかに生き、いかに死ぬか」という問題を究極まで突き詰めようとした西田哲学の核心に迫る。 ('20)<121.6>

武藤秀太郎 著

大正デモクラットの精神史

—東アジアにおける「知識人」の誕生

2646-5 A5判上製 368頁 6,160円(5,600円)

大正デモクラシー期に活躍した日本の知識人＝大正デモクラットたちは、中国をはじめ東アジアの知識人と豊かな思想的交流をかわした「公共知識人」であった——。戦後民主主義にも影響を与えた彼らの営為を改めて捉え直す。 ('20)<309.021>

■ 日本戦後思想

奥田博子 著

原爆の記憶

—ヒロシマ／ナガサキの思想

1725-8 四六判上製 514頁 4,180円(3,800円)

戦後、ヒロシマとナガサキは、一体何を象徴し、神話化してきたのか。日本政府やマスメディアが形作る日本の戦争被害者観を透徹した眼差しで捉え直し、ヒロシマ／ナガサキの人類史的意義を問い直す。 【図】('10)<319.8>

奥田博子 著

被爆者はなぜ待てないか

—核／原子力の戦後史

2233-7 四六判上製 400 頁 2,970 円(2,700 円)

被爆者とは誰か。被爆者は何を待つのか。なぜ待てないのか。広島・長崎の惨禍を知る日本は、なぜ福島第一原発事故を引き起こしたのか。

『原爆の記憶』の著者が放つ渾身の力作！

【図】('15)〈319.8〉

須藤健一 著

橋川文三の政治思想

—三島由紀夫・丸山眞男・柳田国男との思想的交錯

2949-7 A5 判上製 378 頁 4,620 円(4,200 円)

—「突破」と「保守」の相克を超えて—。三島・丸山・柳田の思想に惹かれつつその課題を乗り越えようとした戦後の思想家・橋川文三。彼のアクチュアルな思想とその葛藤を、豊富な一次資料を用いながら論じた本格的論考。

('24)〈311.21〉

小熊英二・上野陽子 著

〈癒し〉のナショナリズム

—草の根保守運動の実証研究

0999-4 四六判上製 232 頁 1,980 円(1,800 円)

保守運動「新しい歴史教科書をつくる会」の活動を担う、〈普通〉の市民たちのメンタリティを実証的に分析。共同性の喪失による人々の心の闇を見つめ、現代日本のナショナリズムの行方を問う。

【図】('03)〈311.3〉

小熊英二 著

アウトテイクス

—小熊英二論文集

2239-9 四六判上製 184 頁 2,860 円(2,600 円)

岡倉天心、新渡戸稲造、矢内原忠雄、柳田國男、丸山眞男、大江健三郎、小田実——。日本思想史を彩る思想家の核心に迫り、近代日本社会の集合的な意識のありようを浮き彫りにする。

【図】('15)〈121.6〉

歴史

■ 歴史一般

ピーター・パーク 著／佐藤公彦 訳

歴史学と社会理論 第2版

1634-3 A5 判上製 442頁 6,380円 (5,800円)

初版から13年、その間に起こった変化を解説すべく大幅に改稿・加筆した第2版(2005) 待望の翻訳。「ポストモダニズム」などの現代思想の歴史学への影響については新章を設けて解説。現代歴史学の航海図ともいべき名著。 ('09)<201>

ジャレド・ダイヤモンド、ジェイムズ・A・ロビンソン 編著／小坂恵理 訳

歴史は実験できるのか

—自然実験が解き明かす人類史

2519-2 四六判上製 320頁 3,080円(2,800円)

「実験」が不可能な歴史事象に対して、歴史学、経済学、政治学など幅広い専門家たちが、新しい比較研究・自然実験の手法を駆使して奴隷貿易からフランス革命の影響まで、世界史の謎に挑む！ ('18)<209>

ギャレット・ジョーンズ 著／飯嶋貴子 訳

移民は世界をどう変えてきたか

—文化移植の経済学

2961-9 四六判上製 272頁 3,300円(3,000円)

人類は太古から「移動」してきた。現在の経済大国は、移民が持ち込んだ文化(文化移植)によって繁栄がもたらされたのか。その影響を経済学と長期的なデータを計量分析することによって明らかにする。 ('24)<334.4>

エリック・ホブズボーム 著／木畑洋一・後藤春美・菅靖子・原田真見 訳

破断の時代—20世紀の文化と社会

2200-9 四六判上製 432頁 4,950円(4,500円)

20世紀を代表する偉大な歴史家ホブズボームの1964年～2012年の講演をもとに、加筆・修正した遺作。マルクス主義史観のもと、主に文化という側面から20世紀の歴史・文化・人間について語られる。 ('15)<209.7>

トニー・ジャット 著／ジェニファー・ホーマンズ 編／河野真太郎・西亮太・星野真志・田尻歩 訳

真実が揺らぐ時

—ベルリンの壁崩壊から9.11まで

2454-6 四六判上製 584頁 6,050円(5,500円)

1989年の革命、9.11の犠牲、イラク戦争、深まる中東の危機、そして、アメリカ共和国の没落——。時代の変化に抗い、飽くことなく真実を追究した知識人、トニー・ジャットの魂の軌跡。 ('19)<943>

新垣修 著

時を漂う感染症

—国際法とグローバル・イシューの系譜

2762-2 四六判上製 370頁 2,970円(2,700円)

ベスト、コレラ、天然痘、エイズ、SARS、新型コロナウイルス…。感染症と国際法がどのように交わり、変化し、次の世代に継承されていったのか。「国際法」というレンズを通して描きながら、現在世界が直面する問題に切り込む意欲作。 ('21)<329>

慶應義塾大学地域研究センター 編

地域研究と第三世界

0440-1 B6判並製 258頁 1,100円 (1,000円)

宇野重昭、中嶋嶺雄、浜下武志（以上中国）、家島彦一（インド洋）、白田雅之（ベルガル）、米山俊直（アフリカ）、加茂雄三（カリブ海）各氏の講演をまとめ、各地域、各専門分野の研究の歴史と現状を論ずる。

地域研究講座

(’89)〈204〉

青木敦 著

世界史のなかの近世

2409-6 A5判上製 272頁 4,950円 (4,500円)

日本、イギリス、フランスを研究対象とする歴史学・文学の研究者たちが、それぞれの研究対象における「近世的なもの」を追究し、共通する特徴を浮かび上がらせた、画期的な共同研究の成果。

青山学院大学総合研究所叢書

(’17)〈209.5〉

■ 考古学

安達香織 著

縄紋土器の系統学

—型式編年研究の方法論的検討と実践

2325-9 B5判上製 176頁 7,700円(7,000円)

縄紋土器型式編年研究の方法論を、生物学の一分科である系統学をふまえて確立するとともに、標本資料の公開・分析をとおしてこれまで不明瞭だった最花A式を明示、研究史の空白を埋め、考古学研究に重要な方法論的基盤を提示する。

(’16)〈192.3〉

石神裕之 著

近世庚申塔の考古学

2041-8 B5判上製 260頁 8,140円 (7,400円)

近世以降、民衆の世界に広まり始めた庚申信仰の結晶である庚申塔。表面には青面金剛、不動明王、三猿が彫られ、形状は様々である。それらの考古学的分析を通じ、江戸時代とその時代の人々について追求する。

(’13)〈210.2〉

■ 日本史（古代～近世）

三田古代史研究会 編

法制と社会の古代史

2230-6 A5判上製 336頁 9,350円 (8,500円)

三田古代史研究会の創設25周年記念論文集。日本古代の法と秩序、政務と人物、生活と信仰など法制と社会に関わる問題を多角的かつ実証的に解明する。

(15)〈210.3〉

長谷山彰 著

日本古代史

—法と政治と人と

2328-0 A5判上製 336頁 4,180円 (3,800円)

巨大帝国が興亡する激動の東アジア世界に誕生した倭国。隋唐帝国の圧力を受ける周辺諸国の中で、独立を守りぬき古代国家日本へと成長してゆく苦闘の歩みを、法と政治のダイナミズムの中で人々が織りなす活きた歴史として描き出す。

(’16)〈192.3〉

笠原英彦 著

天皇・皇室制度の研究

—天皇制国家形成期の法と政治

2811-7 A5 判上製 570 頁 9,350 円 (8,500 円)

律令国家と明治国家それぞれの形成期の中央集権化に対し、天皇や皇室そして宮中が国家や民衆・国民を統合する重要な政治的機能を果たしてきたことを、政治学・法制史・歴史学的観点から分析・考察する。

慶應義塾大学法学研究会叢書 93 (‘22)〈322.16〉

川崎晃 著

万葉の史的世界

2529-1 A5 判上製 416 頁 9,350 円 (8,500 円)

『万葉集』を木簡や正倉院文書とともに読む。万葉歌が詠まれた時代と場所をさまざまな資料から復元。文芸世界と生活世界との乖離を、仮名表記の差異と変容から読み解く。

(‘18)〈210.3〉

浅見雅一 著

概説 キリシタン史

2329-7 A5 判並製 236 頁 2,860 円 (2,600 円)

16 世紀半ばに日本にキリスト教が伝えられてから、江戸幕府による鎖国に至るまでのキリスト教の歴史を「キリシタン史」という。当時の史料に立脚したキリシタン史研究を、通史的に学べる入門書。

(‘16)〈192.3〉

浅見雅一 著

キリシタン時代の良心問題

—インド・日本・中国の「倫理」の足跡

2852-0 A5 判上製 324 頁 5,500 円 (5,000 円)

16 世紀以降、イエズス会のアジアにおける布教事業は、インドから日本へ、日本から中国へと進められた。宣教師たちはそれぞれの文化に適応しつつ、倫理や戒律の基準をどのように修正していったのか。膨大な史料から断絶と連続のアジア布教史を描く。

(‘22)〈198.27〉

藤井典子 著

徳川期の銭貨流通

—貨幣経済を生きた人々

2994-7 A5 判上製 352 頁 5,500 円 (5,000 円)

徳川期の貨幣システムを制度面からではなく、人々の暮らしと密接不可分に結びついていた流通実態から繙き、庶民の優れた金銭感覚の源泉を探る。近世日本貨幣史に新しい視点をもたらす一冊。

(‘24)〈337.21〉

■ 日本史 (近代～)久米邦武 編著／水澤周 訳・注／米欧回覧の会 企画
現代語訳特命全権大使 米欧回覧実記 普及版
第 1 巻 アメリカ編

1486-8 全書判並製 448 頁 1,760 円 (1,600 円)

2005 年刊行の同タイトル待望の普及版。19 世紀の岩倉使節団とともに、世界一周の旅へ出発！ 現代語訳で読みやすく、携帯にも便利なコンパクトサイズ。第 1 巻は、横浜出港からアメリカ訪問へ、そして 200 余日の滞在。

【図】(‘08)〈210.61〉

久米邦武 編著／水澤周 訳・注／米欧回覧の会 企画
現代語訳特命全権大使 米欧回覧実記 普及版
第 2 巻 イギリス編

1487-5 全書判並製 464 頁 1,980 円 (1,800 円)

産業革命期のイギリスをめぐる 120 余日の旅。富強国イギリスの実際を見聞し、「遅れてきた青年」日本の懸命な学習ぶりが描かれ、切ない思いが吐露される。スコットランドでは自然の美しさにしばしの憩いの時をすごす。

【図】(‘08)〈210.61〉

久米邦武 編著／水澤周 訳・注／米欧亜回覧の会 企画
現代語訳

特命全権大使 米欧回覧実記 普及版
第3巻 ヨーロッパ大陸編 (上)

1488-2 全書判並製 424頁 1,980円(1,800円)

第3巻は、いよいよヨーロッパ大陸の中核へ。壮麗な都バリエ。小国ながら個性的な国づくりで独立を保つベルギー、オランダ、そして普仏戦争に勝利し新興の気あふれるベルリンの街へ、日本が進むべき道を模索する旅。

【図】(08)<210.61>

久米邦武 編著／水澤周 訳・注／米欧亜回覧の会 企画
現代語訳

特命全権大使 米欧回覧実記 普及版
第4巻 ヨーロッパ大陸編 (中)

1489-9 全書判並製 484頁 1,980円(1,800円)

第4巻は、大国ロシア、そして西洋文明源流の地ローマへ。日本にとって最大の脅威と怖れられたロシアの実態は、絶対君主制のもと大多数の国民が貧困にあえぐ「未開の大国」だった。ローマでは文明の栄枯盛衰を思い、また「西洋」の多様性を実感する。【図】(08)<210.61>

久米邦武 編著／水澤周 訳・注／米欧亜回覧の会 企画
現代語訳

特命全権大使 米欧回覧実記 普及版
第5巻 ヨーロッパ大陸編 (下) 附 帰航日程

1490-5 全書判並製 416頁 1,980円(1,800円)

第5巻は、一行の旅もいよいよ終盤。ウィーンでは万国博覧会を見学、スイスではその美しさを堪能。そして西洋列強の植民地として支配されるアジアの現実に触れ、これからの日本のあるべき姿を胸に帰国する。

【図】(08)<210.61>

水澤周 作成

現代語訳

特命全権大使 米欧回覧実記 全5巻 総索引

1491-2 全書判並製 116頁 550円(500円)

『現代語訳 特命全権大使 米欧回覧実記』全5巻を読み解くための、便利な総索引。上製版(函入り愛蔵版)、普及版のどちらにも対応。

【図】(08)<210.61>

太田昭子 著

ヴィクトリア朝の福澤諭吉と岩倉使節団
—幕末維新时期における〈知〉をめぐる旅

2892-6 A5判上製 368頁 7,590円(6,900円)

ヴィクトリア朝全盛期、イギリスを訪れた福澤諭吉、新島襄、久米邦武と岩倉使節団。幕末維新の時代に彼らは何を求めたのか。

慶應義塾大学法学研究会叢書 別冊19 (23)<210.593>

高木不二 著

幕末維新时期の米国留学

—横井左平太の海軍修学

2250-4 A5判上製 272頁 7,150円(6,500円)

横井小楠の甥・横井左平太は海外渡航が不自由な時代、二度にわたって渡米を敢行した異色の経歴を持つ。アメリカの軍事技術や知識を身に付け、日本の独立・発展に寄与しようと奮闘した彼の知られざる軌跡を、詳細に描き出す。平成28年度・第31回日本英学史学会豊田賞受賞。【図】(15)<289.1>

小川原正道 著

慶應義塾の近代アメリカ留学生

—文明の「知」を求めた明治の冒険

2900-8 四六判上製 268頁 3,520円(3,200円)

近代日本において、アメリカへ渡った留学生たちは何を目的として、何を学んだのか。そして、日本の近代化にどのような役割を果たしたのか。当時の資料を駆使し、慶應義塾を中心とした私学の留学生たちの個々の事績を明らかにする。

(23)<377.6>

金澤裕之 著

幕府海軍の興亡

—幕末期における日本の海軍建設

2421-8 A5判上製 296頁 7,150円(6,500円)

近代海軍の端緒、その13年の航跡を辿る！ 明治期以降に偏重していたこれまでの海軍研究とは一線を画し、幕末期の海軍建設と明治海軍との連続性、非連続性に焦点を当て、幕府海軍の軍事組織としての活動実態を実証的に明らかにする力作。 (17)<397.91>

小川原正道 著

西南戦争と自由民権

2434-8 四六判上製 248頁 3,520円(3,200円)

ペンか、剣か——。明治初期における反政府運動の模索と葛藤。明治初期における反政府運動の思想と行動をたどり、西南戦争の知的インパクトと、自由民権運動が高揚していった背景を、歴史のなかに浮き彫りにする。

('17)〈210.627〉

久保田哲 著

元老院の研究

2186-6 A5判上製 256頁 5,720円(5,200円)

明治政府の議院機関・元老院（明治8～23年）の創設から終焉までを通して検討した初の研究書。帝国議会以前の過渡期的な機関に過ぎないとされてきた元老院の、政治史的な再評価を行う意欲作。

('14)〈312.1〉

寺崎修 著

自由民権運動の研究

—急進的自由民権運動家の軌跡—

1474-5 A5判上製 288頁 5,720円(5,200円)

いかなる思いを胸に秘め、彼らは過激化していったのか。加波山事件、飯田事件など各地で勃発した自由民権運動史上における激化事件を丹念に追ひ、急進派の実像と政治思想を明らかにする。

慶應義塾大学法学研究会叢書77

('08)〈311.21〉

末木孝典 著

選挙干渉と立憲政治

2530-7 A5判上製 356頁 7,700円(7,000円)

立憲政治は機能していたのか？

第2回衆議院選挙（明治25年）における選挙干渉事件を徹底的に掘り下げ、藩閥政府対民党の権力構造を別決する力作。

('18)〈314.8〉

杉山伸也・川崎勝 編

馬場辰猪 日記と遺稿

2258-0 A5判上製 280頁 7,150円(6,500円)

自由民権運動の最盛期、板垣退助の洋行問題にゆれる自由党の内幕を、運動の中心にいた馬場が記録した「日記」、先駆的な歴史叙述の方法論「史論」、晩年の遺稿類を収載し、詳細な解題を付す。さらに最新の評伝を掲載。

('15)〈289.1〉

中村勝範 編

帝大新人会研究

0654-2 A5判上製 528頁 7,810円(7,100円)

大正期に東京帝大に学生団体として結成された新人会の思想と活動を検証。更に各界において活躍することになる会員の思想や行動の足跡も考察。大正から昭和戦前・戦後にかけての日本の思想・運動研究必読書。

慶應義塾大学法学研究会叢書67

('97)〈309.02〉

長木大三 著

増補 北里柴三郎とその一門

0420-3 A5判上製 298頁 3,190円(2,900円)

現代医学に巨大な足跡を遺した北里の研究業績の概要と諸分野における活躍を中心に、彼の薫陶に応じて科学界のみならず社会的にも優れた業績を挙げた高弟達の間人群像を描く。

('92)〈289.1〉

小島和貴 著

長与専斎と内務省の衛生行政

2750-9 A5判上製 304頁 5,940円(5,400円)

明治期日本の衛生行政黎明期における、初代内務省衛生局長・長与専斎の構想と行動を検証。医学を政府が法律・政策によって積極的に運用する「政務的運用」と、その効果を上げるための「官民協調」の二つの方針について、第一次資料から明らかにする。

('21)〈498.1〉

沢辺満智子 著

養蚕と蚕神

—近代産業に息づく民俗的想像力

2644-1 A5 判上製 332 頁 6,160 円 (5,600 円)

科学知と在来知、国家イデオロギーと民俗的想像力——。国家政策と女性たちの感情・感覚のせめぎ合いから、“養蚕”の新たな姿を紡ぎ出す。近代産業のもう一つの側面を鮮やかに織り上げる、気鋭の力作。第 48 回「澁澤賞」受賞。
(20)〈630〉

諸橋英一 著

第一次世界大戦と日本の総力戦政策

2749-3 A5 判上製 424 頁 6,600 円 (6,000 円)

「総力戦・総動員＝ドイツ由来」説を覆す。対敵取引禁止令、戦時船舶管理令、戦時利得税、軍需工業動員法などの導入過程を通じて、第一次世界大戦期の日本をグローバルな新視点で捉える意欲作。第 7 回・日本防衛学会猪木正道賞（奨励賞）受賞。
(21)〈393.6〉

武藤秀太郎 著

中国・朝鮮人の関東大震災

—共助・虐殺・独立運動

2909-1 四六判上製 372 頁 2,970 円 (2,700 円)

中国・朝鮮の人々にとって、関東大震災とはどのような経験であったのか。中華圏からの震災支援、虐殺事件、独立運動団体「義烈団」の動向、大韓民国臨時政府の対応などから精緻に検証。未曾有の大災害を東アジア関係史に位置づける試み。
(23)〈210.69〉

長谷川雄一 編著

アジア主義思想と現代

2130-9 A5 判上製 344 頁 3,740 円 (3,400 円)

欧米に対する対抗思想としての日本におけるアジア主義とその源流、そして現代アジアの地域主義に至る理論までを見渡しながら、アジア主義の現代的意味、またそこに内在する矛盾や不合理をも探る試み。
【図】(14)〈319.2〉

嵯峨隆 著

アジア主義と近代日中の思想的交錯

2348-8 A5 判上製 378 頁 5,500 円 (5,000 円)

それは日中が抱いた同床異夢の「幻視」だったのか？ 第一次世界大戦前後から日中戦争期に至るまでのアジア主義の思想的展開を、宮崎滔天、孫文らとその継承者を軸に考察し、日中の政治的帰結とともにその意味を再検討する。
(16)〈319.102〉

玉井清 編著

『写真週報』とその時代（上）

—戦時日本の国民生活

2435-5 A5 判並製 368 頁 3,740 円 (3,400 円)

戦時中、政府のプロパガンダを国民にアピールする目的で発行されていた国策グラフ誌『写真週報』の画像をテーマ別に紹介しつつ分析。上巻では、創刊事情の詳述ののち、モノから人へと動員が広がり変容していく国民生活の実態を明らかにする。
(17)〈210.7〉

玉井清 編著

『写真週報』とその時代（下）

—戦時日本の国防・対外意識

2436-2 A5 判並製 376 頁 3,740 円 (3,400 円)

政府の宣伝戦はいかに展開されたか——。下巻では、啓蒙活動による国防意識の刷り込みや、時局・戦局の推移とともに変化する外交方針、同盟国の礼賛と英米に対する誹謗などが喧伝された様相を描き出す。「戦争の時代」の全体像に迫る好著。
(17)〈210.7〉

パメラ・ロトナー・サカモト著／池田年徳・西川美樹訳

黒い雨に撃たれて（上）

—二つの祖国を生きた日系人家族の物語

2685-4 四六判上製 272 頁 2,750 円 (2,500 円)

米国陸軍大佐、ハリー・フクハラ。彼とその家族が迎った波乱の生涯を中心に、日米開戦によって二つの祖国のあいだで身を引き裂かれた日系人の生を描く壮大な歴史絵巻。
(20)〈936〉

パメラ・ロトナー・サカモト著／池田年穂・西川美樹訳

黒い雨に撃たれて(下)

—二つの祖国を生きた日系人家族の物語

2686-1 四六判上製 244頁 2,750円 (2,500円)

日系二世が直面した強制収容や人種差別、従軍した日系人の戦争協力、原爆投下によって壊滅的被害を受けた広島—。戦争に人生を翻弄された日米双方の市井の人々の経験を、あざやかな筆致で描き出す叙事詩。

(20)〈936〉

阿久澤武史 著

キャンパスの戦争

—慶應日吉 1934-1949

2876-4 A5判並製 288頁 2,970円 (2,700円)

青春を謳歌していた慶應義塾大学の予科生たちが学ぶモダンな校舎はいかにして兵士たちが行き交う空間となったのか。連合艦隊司令部地下壕で知られる日吉キャンパスの誕生より米軍からの返還までを描く「戦争とキャンパス」の昭和史。

(23)〈377.28〉

柳沢遊・倉沢愛子 編著

日本帝国の崩壊

—一人の移動と地域社会の変動

2430-0 A5判上製 488頁 7,040円 (6,400円)

日本帝国勢力圏の形成と崩壊を人々の「生活」に着目しつつ政治史・経済史・社会史の視点から描写。克明な実証に基づいて敗戦を挟んだ「1940年代史」を再構築する。

(17)〈210.7〉

玉木寛輝 著

昭和期政軍関係の模索と総力戦構想

—戦前・戦中の陸海軍・知識人の葛藤

2671-7 A5判上製 336頁 7,150円 (6,500円)

昭和戦前期における在郷軍人と陸軍中央のせめぎあいとは何だったのか。また総力戦の危機の時代に「統帥権の独立」は容認されるものであったのか。軍と知識人の、武力によらず目的を達成しようとする総力戦論を探る、注目の書。

(20)〈392.1〉

増田弘 編著

大日本帝国の崩壊と引揚・復員

1975-7 A5判上製 240頁 4,180円 (3,800円)

終戦後、日本政府が当初の残留日本人の「現地定着」政策から「早期引揚実施」へと変化したのはなぜか？ 連合国の思惑のなかで各地の日本軍と民間人がたどった帰還の実態、そして戦後日本社会へ与えた影響を多角的に明らかにする。

(12)〈210.75〉

増田弘 著

南方からの帰還

—日本軍兵士の抑留と復員

2609-0 四六判上製 272頁 2,970円 (2,700円)

抑留と現地での強制労働—。 復員をめぐる、旧連合国の思惑と米国との駆け引きとは？ 当時の一次史料から、未だ謎の多い南方日本軍兵士の抑留・強制労働・復員の全体像を明らかにする一冊。

(19)〈210.7〉

太田奈名子 著

占領期ラジオ放送と「マイクの開放」

—支配を生む声、人間を生む肉声

2802-5 A5判上製 544頁 4,620円 (4,200円)

GHQの指導のもと制作されたラジオ番組『真相はこうだ』『真相箱』『質問箱』『街頭録音』を分析し、アメリカの占領政策と「ウォー・ギルト」、そして戦後日本の民主化の内実を問いなおす。第9回内川芳美記念メディア学会賞受賞。

(22)〈210〉

白井厚 監修／

慶應義塾大学経済学部白井ゼミナール 著

共同研究 太平洋戦争と慶應義塾 本文篇

1710-4 A5判並製 164頁 2,640円 (2,400円)

太平洋戦争当時の在学学生 1700名余りから回答を得たアンケートをもとに戦時下の学生の心を発掘したゼミの共同研究の成果。一義塾にとどまらない戦時史研究の貴重な史料。1999年刊の初版収録の「戦没者名簿」は義塾から別途刊行。

(09)〈377.28〉

村上しほり 著

神戸 闇市からの復興

—占領下にせめぎあう都市空間

2566-6 A5判上製 388頁 4,620円 (4,200円)

「日本一の大闇市場」とも称された神戸 三宮の闇市。当
時の人びとの活動や都市の様子を、新聞記事の引用と聞
き取り調査、豊富な視覚資料にもとづき生き生きと描く。
新たな都市空間の近現代史。2018年度日本都市計画学
会石川奨励賞など、3つの学術賞を受賞！（'18）〈518.8〉

出口雄一 著

戦後法制改革と占領管理体制

2433-1 A5判上製 520頁 7,480円 (6,800円)

戦後日本史の起点ともなる占領期。この極めて混乱した
権力・政治状況下における法制改革の実態と占領管理の
構造を解明する。占領期前後の日本の法制度・法文化の
跋行した歩みをまさに連続性をもって描く、学界未到の
領域への挑戦的著作。（'17）〈322.16〉

奥田博子 著

原爆の記憶

—ヒロシマ／ナガサキの思想

1725-8 四六判上製 514頁 4,180円 (3,800円)

戦後、ヒロシマとナガサキは、一体何を象徴し、神話化
してきたのか。日本政府やマスメディアが形作る日本の
戦争被害者観を透徹した眼差しで捉え返し、ヒロシマ／
ナガサキの人類史的意義を問い直す。

【図】（'10）〈319.8〉

奥田博子 著

被爆者はなぜ待てないか

—核／原子力の戦後史

2233-7 四六判上製 400頁 2,970円 (2,700円)

被爆者とは誰か。被爆者は何を待つか。なぜ待てない
のか。広島・長崎の惨禍を知る日本は、なぜ福島第一原
発事故を引き起こしたのか。

『原爆の記憶』の著者が放つ渾身の力作！。

（'15）〈319.8〉

浜日出夫・有末賢・竹村英樹 編著

被爆者調査を読む

—ヒロシマ・ナガサキの継承

1956-6 A5判上製 316頁 4,180円 (3,800円)

非被爆者である我々は、原爆の記憶を継承することがで
きるのか。歴史に埋もれ忘れ去られた被爆者調査を読み
なおし、〈生存者〉である我々の〈立場性〉と、ヒロシマ・
ナガサキの継承の可能性をいま改めて考える。

（'13）〈369.37〉

野村英一 著

三田の政官界人列伝

1249-9 四六判上製 356頁 4,400円 (4,000円)

「抵抗の精神」と「独立自尊の気概」をもった54人の人
物像を紹介。明治から昭和初期までの慶應義塾出身の政
治家・官僚の人物像を通して、近代の黎明期から昭和の動
乱期までを語り、「真の政治家・官僚とは何か」を示す。

（'06）〈312.8〉

稲葉なおと 著

絹の襻

—富岡製糸場に受け継がれた情熱

2970-1 四六判上製 344頁 2,750円 (2,500円)

明治の工場建築は、いくたびかの消滅の試練を乗り越え
て、なぜ世界遺産登録に至ることができたのか。登録から
10年を経て初めて明かされる、富岡製糸場の「語ら
れざる秘話」。その核心に迫る渾身のノンフィクション。

（'24）〈639〉

■ 民俗学

岩本通弥・門田岳久・及川祥平・田村和彦・川松あかり 編

民俗学の思考法

—〈いま・ここ〉の日常と文化を捉える

2731-8 四六判並製 272頁 1,980円(1,800円)

いま・ここにある人びとの生を、その生活や日常、文化を、ミクロナ視点と同時代の世相や社会との絡みのなかで捉える民俗学。民俗学の基本的な考え方を初学者向けにわかりやすく解説する、決定版テキスト!

(21)〈380.1〉

黒岩康博 著

好古の瘴気

—近代奈良の蒐集家と郷土研究

2480-5 A5判上製 352頁 7,040円(6,400円)

近代奈良に充満する「好古の瘴気」に中てられた郷土研究者たちの興味深い営為を詳細に追い、そこに立ち現れる強烈な現場・現物主義と、場所(踏査)とモノ(収集)への飽くなき執着とから、地域の知的構造を明らかにする。

(17)〈216.5〉

松居竜五 著

南方熊楠

—複眼の学問構想

2362-4 A5判上製 584頁 4,950円(4,500円)

南方熊楠研究の第一人者による「熊楠論」。西欧の知的潮流に正面から向き合い、独創的な知を紡いだ学者熊楠の思想形成プロセスを明らかにする労作。第15回角川財団学芸賞受賞。

(16)〈380〉

志村真幸 著

南方熊楠のロンドン

—国際学術雑誌と近代科学の進歩

2650-2 A5判上製 296頁 4,400円(4,000円)

国際学術誌に376篇もの英文論考を寄稿し、東洋からの知見の提供によって、近代科学の発展を支えた南方熊楠の営為を歴史的・国際的な視点から捉えなおす、気鋭の力作。第42回サントリー学芸賞(社会・風俗部門)、第4回井筒俊彦学術賞受賞。

(20)〈053〉

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題

異郷論・祭祀論

2548-2 四六判上製 296頁 3,080円(2,800円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、「異郷論」、「聖水信仰論」、「祭祀論」などでとらえるものである。

精選折口信夫 I

(18)〈813.1〉

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題

文学発生論・物語史論

2549-9 四六判上製 292頁 3,080円(2,800円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、「貴種流離譚」や「笑いの文学」、「源氏物語論」などの物語史とともにとらえるものである。

精選折口信夫 II

(18)〈813.1〉

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題

短歌史論・道空短歌編

2550-5 四六判上製 304頁 3,080円(2,800円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、古典短歌、近代短歌の本質論とみずみずしい心の秘奥を短歌実作に見る。

精選折口信夫 III

(18)〈813.1〉

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題
芸能史論

2551-2 四六判上製 308 頁 3,080 円(2,800 円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、百年前・千年前に滅びた芸能の発生展開を再構築していく折口の芸能史論を集成。
精選折口信夫 IV (19)(918.68)

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題
随想ほか・道空詩編

2552-9 四六判上製 356 頁 3,080 円(2,800 円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、日本の文学をはぐくんだ風土の随想を中心に、賸い切れぬけがれを吐露した道空の詩を収録。
精選折口信夫 V (19)(918.68)

折口信夫 著／國學院大學折口博士記念古代研究所 監修／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題
アルバム

2553-6 四六判上製 232 頁 3,080 円(2,800 円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。最終巻では、既巻の巻立てにそうように、写真・図・直筆の書画等で折口の幼年時からの足跡を辿りなおす。
精選折口信夫 VI (19)(918.68)

芳賀日出男 写真／文

折口信夫と古代を旅ゆく

1500-1 B5判(横)上製 152 頁 3,520 円(3,200 円)

折口信夫の見た原風景を民俗写真の第一人者、芳賀日出男が記録。70年間あまり撮り続けた膨大な写真の中から「日本人の心の原点、300余枚を厳選し、解説をつけた折口研究の決定版。」
【図】('09)〈380.1〉

折口信夫 著／池田彌三郎 筆記／伊藤好英・藤原茂樹・池田光 編
折口信夫芸能史講義 戦後篇 上
 —池田彌三郎ノート

2182-8 A5判上製 378 頁 7,150 円(6,500 円)

昭和20年度、22年度、23年度に行なわれた折口信夫の芸能史講義を、池田彌三郎ノートをもとに書籍化。踏歌、田楽、幸若舞、猿楽、歌舞伎、相撲—折口の古代研究の基底をなす「芸能史」の全体像に迫る未発表講義録。
 (15)〈772.1〉

折口信夫 著／池田彌三郎 筆記／伊藤好英・藤原茂樹・池田光 編
折口信夫芸能史講義 戦後篇 下
 —池田彌三郎ノート

2326-6 A5判上製 400 頁 7,150 円(6,500 円)

昭和24年度、27年度、28年度に行われた折口信夫の講義を、池田彌三郎ノートをもとに書籍化。獅子舞、風流、喜劇、曲芸—折口芸能史の変遷をたどる、未発表講義録。付録に、昭和13年度の「芸能史」の講座と28年の「民俗学の話」を掲載。
 (16)〈772.1〉

宮橋裕司 著

民話が語る自然科学

—見つけなおす郷土の風景

1602-2 A5判並製 256 頁 2,750 円(2,500 円)

日本の民話約3,000話を自然科学の観点から読み解く教養書。民話を紡いだ日本人の豊かな想像力、忘れられた郷土の自然が今よみがえる。付録には、掲載した民話の位置がわかる「民話マップ」を掲載。
【図】('09)〈388.1〉

門田岳久 著

宮本常一〈抵抗〉の民俗学

—地方からの叛逆

2903-9 四六判上製 420 頁 3,300 円(3,000 円)

ポスト高度経済成長期の日本において、疲弊する離島の人びとに寄り添い、彼らの自立を促すために奔走した宮本常一の思想や行動は完全なる敗北だったのか。たんなる民俗学者ではなく地方の代弁者として活動した、その思想の核心に迫る。
 (23)〈382.141〉

下田健太郎 著

水俣の記憶を紡ぐ

—響き合うモノと語りの歴史人類学

2483-6 A5判上製 304頁 5,500円 (5,000円)

モノや語りに表象される過去の水俣病経験ではなく、モノや語りを媒介としながら、今なお生かされる水俣病経験のダイナミックなありよう、被害／加害の対抗図式を超えて、「当事者」の〈顔〉を描き出す、気鋭の力作。井筒俊彦学術賞受賞。(17)<519.12>

■ 東洋史 (東アジア)

三尾裕子 編著

台湾で日本人を祀る

—鬼から神への現代人類学

2812-4 A5判上製 384頁 5,940円 (5,400円)

かつての支配者である日本人を信仰対象とする廟や祠を「日本神」と名付け、実地調査から、民間信仰に埋め込まれた植民地・戦争経験と民衆の歴史認識や、新しいメディアを通じた観光化の中で生成する「日本神」を探る。慶應義塾大学東アジア研究所叢書 (22)<387>

長田彰文 著

世界史の中の近代日韓関係

2058-6 四六判並製 288頁 2,640円 (2,400円)

日韓関係をめぐり、大国はどのように動いたのか？ 19世紀以来、米国、ロシア、中国などが織りなす力関係を翻弄される韓国（朝鮮）と日本の関係をたどり、二国間関係に世界の動きから新しい光をあてた一冊。(13)<319.102>

小野容照 著

韓国「建国」の起源を探る

—三・一独立運動とナショナリズムの変遷

2785-1 四六判並製 320頁 2,970円 (2,700円)

「民主主義国家・韓国」は、三・一独立運動からはじまったのか？ 日本・中国・米欧・ロシアを含めたグローバルな視点から独立運動の歴史的過程を丹念に描き、現在の韓国が掲げる「建国」神話を問い直す。(21)<221.06>

カーター・J・エッカート 著／松谷基和 訳

韓国軍事主義の起源

—青年朴正熙と日本陸軍

2976-3 A5判上製 512頁 7,920円 (7,200円)

満洲国軍官学校で朴正熙は何を血肉化したのか。韓国近代史の核心である「軍事主義」と、それを体現する「朴正熙」の満洲時代に迫る、朝鮮史研究の泰斗による集大成。(24)<221.07>

鄭鍾賢 著／渡辺直紀 訳

帝国大学の朝鮮人

—大韓民国エリートの起源

2735-6 四六判上製 352頁 3,740円 (3,400円)

近代日本のエリート養成所であり、朝鮮独立運動の水源地でもあった帝国大学で学んだ朝鮮人たちの足跡をはじめて明らかにする、韓国のベストセラー歴史書。巻末には東京帝国大学と京都帝国大学の朝鮮人学生名簿を掲載。(21)<377.6>

崔誠姫 著

女性たちの韓国近現代史

—開国から「キム・ジョン」まで

2989-3 四六判並製 224頁 2,860円 (2,600円)

韓国併合、戦争協力と犠牲、独裁政権、民主化運動、フェミニズム……。開国から現代にいたるまで、朝鮮・韓国の女性はどうか生き、どう変わっていったのか。有名・無名のさまざまな女性たちに光を当て、近現代韓国の歴史を描きだす。(24)<367.221>

田中美佳 著

朝鮮出版文化の誕生

—新文館・崔南善と近代日本

2851-3 A5判上製 378頁 5,500円 (5,000円)

日本と朝鮮を結びつけた「出版」という知識の源泉——。朝鮮最大の知識人・崔南善の活動を中心に、近代朝鮮の思想・文化・運動を形作った「出版」の歴史を明らかにする。第44回日本出版学会賞奨励賞受賞。

(22)(023.21)

朴敬珉 著

**朝鮮引揚げと
日韓国交正常化交渉への道**

2520-8 A5判上製 256頁 5,500円 (5,000円)

敗戦後、朝鮮半島から引揚げを余儀なくされた日本人。彼らの私有財産の没収に対する認識／対応と日本政府の行動は、相互に関連性を持ちながら調和してゆく。その後の日韓請求権問題や今日の歴史認識問題との連続性を明らかにする注目作。

(18)(369.37)

小此木政夫 著

朝鮮分断の起源

—独立と統一の相克

2545-1 A5判上製 584頁 8,800円 (8,000円)

第二次世界大戦と米ソ冷戦という二つの大戦争の狭間に生まれた朝鮮分断の悲劇とは何だったのか。民族と国家が織りなす過酷な現代政治のドラマを緻密に描き出す。第31回アジア・太平洋賞大賞、第14回樞山純三賞受賞。慶應義塾大学法学研究会叢書 89

(18)(319.21)

山本信人 編著

アジア的空間の近代

—知とパワーのグローバル・ヒストリー

2663-2 A5判上製336頁 5,940円 (5,400円)

19世紀半ば以降、ヨーロッパとアジアで主権国家の再編と資本主義化が同時並行的に発生し、近代的アジア空間が形成された。その裏で展開された知とパワーのダイナミックな流れを読み解く注目の書。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 (20)(630)

衛藤安奈 著

熱狂と動員

—一九二〇年代中国の労働運動

2285-6 A5判上製 544頁 7,700円 (7,000円)

1920年代、開港都市としての急激な経済成長をとげた広東・上海・武漢の三都市を対象に、中国共産党と国民党がそれぞれの思惑から労働運動を動員していく過程を、豊富な史料を通じて浮かび上がらせた注目の書。

(15)(366.622)

■ 東洋史 (南アジア・西アジア)ジョナサン・バーキー 著／
野元晋・太田(塚田)絵里奈 訳**イスラームの形成**

—宗教的アイデンティティと権威の変遷

2033-3 A5判上製 464頁 5,280円 (4,800円)

古代末期からイスラーム時代への継続性や民間のイスラーム実践の実態も踏まえながら、イスラームの形成の新しい歴史観を描く。北米中東学会アルバート・ホラーニー賞受賞作の初邦訳。

(13)(226)

フレッド・マグロウ・ドナー 著／
後藤明 監訳**イスラームの誕生**

—信者からムスリムへ

2146-0 A5判上製 304頁 4,840円 (4,400円)

預言者ムハンマドによってはじめられた「信者運動」とは何だったのか。初期イスラーム史研究の碩学が、イスラーム誕生のプロセスを、入門者にもわかりやすく、そして鮮やかに描き出す。

【図】(14)(228)

橋爪烈 著

ブワイフ朝の政権構造

—イスラーム王朝の支配の正当性と権力基盤

2369-3 A5 判上製 416頁 9,900円 (9,000円)

10世紀に傭兵集団・ダイラムを率いたブワイフ家の三兄弟は、いかにして強大な王朝を打ち建てたのか。アッバース朝衰退期というイスラーム史の幕間にあつて、後続諸王朝に決定的な影響を与えた一族の支配の構造を生き生きと描き出す。

('16)<228.1>

坂本勉 著

新版 トルコ民族の世界史

2809-4 A5 判並製 232頁 2,640円 (2,400円)

騎馬遊牧民族に起源をもつトルコ民族と先住民族との時間的・空間的な関わりをダイナミックに分析し、クルド人問題、ナゴルノ＝カラバフ紛争など、トルコ周辺の民族やナショナリズムの諸問題を歴史的な視点から見渡していく。

('22)<226.6>

鈴木真吾 著

近代オスマン帝国における国家医療の誕生

—湾岸都市イズミルの衛生と感染症

3001-1 A5 判上製 320頁 7,700円 (7,000円)

20世紀転換期、コレラや感染症のパンデミックを背景に、大帝国はいかに「地方」から医療・衛生制度を近代化していったのか。多彩な新資料や図版をもとに、都市社会史の手法を用いて、国家医療の形成を丹念に詳述する。

('24)<227>

鈴木慶孝 著

〈トルコ国民〉とは何か

—民主化の矛盾とナショナル・アイデンティティ

2696-0 A5 判上製 336頁 7,480円 (6,800円)

世俗主義／政教分離を国是としたトルコ。しかし1980年代以降イスラームが公的イデオロギー化され、クルド人などの民族的マイノリティー問題等により、その枠組みは動揺している。多様性を包摂した「国民統合」政策の抱える矛盾と困難を描き出す。

('20)<312.266>

坂本勉 著

イスタンブル交易圏とイラン

—世界経済における近代中東の交易ネットワーク

2207-8 A5 判上製 352頁 6,930円 (6,300円)

近代以降にイスタンブルを中心に形成され、イランにまで広がった大規模な交易圏。ヨーロッパの資本主義経済の影響にさらされた交易圏が、自らを再編成しながら今日まで力強く生き延びた理由を比較関係史の観点から解明。

('15)<678.226>

山口元樹 著

インドネシアのイスラーム改革主義運動

—アラブ人コミュニティの教育活動と社会統合

2517-8 A5 判上製 296頁 7,040円 (6,400円)

彼らはいかにして「国民」になったのか？ イスラーム運動と国民国家が交錯する中で揺れ動く、外来系マイノリティのアイデンティティ。その変容の軌跡を描く気鋭の力作。第17回東南アジア史学会賞受賞。

('18)<224>

■ 西洋史（古代～近世）

ピーター・ブラウン 著／戸田聡 訳

貧者を愛する者

—古代末期におけるキリスト教的慈善の誕生

1932-0 四六判上製 314頁 4,180円 (3,800円)

キリスト教社会において美徳とされる「貧者への愛」は、紀元四～五世紀に誕生し、その後のキリスト教会を中心とした社会システムを創成する新機軸となった。古代末期研究の泰斗、ピーター・ブラウンが独自の視点で読み解く。

【図】('12)<192.3>

中西恭子 著

ユリアヌスの信仰世界

2382-2 A5判上製 360頁 8,250円 (7,500円)

やんごとなき生まれの文人が政治に出遭う時、本人さえも予想もしなかったデストピアが開かれてゆく。「背教者」として知られる古代ローマの哲人皇帝ユリアヌスの信仰世界を、精緻な史料分析によって明らかにする意欲作。

('16)<289.3>

神崎忠昭 著

新版 ヨーロッパの中世

2808-7 A5判並製 480頁 3,300円(3,000円)

庶民の暮らし、ヨーロッパを取り巻くさまざまな隣人たちとの関わり、地勢や天変地異といったさまざまな“歴史”までも網羅することにより、より深いレベルで西洋中世史を理解できる。新たに文献案内も加えた、全面改訂版。

('22)<230.4>

ジャイルズ・コンスタブル 著／
高山博 監訳

十二世紀宗教改革

一修道制の刷新と西洋中世社会

2134-7 A5判上製 712頁 9,900円 (9,000円)

『ベネディクトゥス戒律』への回帰、その西欧修道理念に基づく生活への回帰に、十二世紀宗教改革の真の姿を見る中世宗教学の金字塔、待望の邦訳。

【図】('14)<192.3>

神崎忠昭 編

断絶と新生

一 中近世ヨーロッパとイスラームの信仰・思想・統治

2322-8 A5判上製 280頁 3,850円 (3,500円)

異文化との接触や宗教改革、体制の激変など、中近世キリスト教世界とイスラーム世界を襲った幾度も断絶を人びとはいかに受け止め、乗り越えようとしたのか。遺された史料から、彼らを取り巻く世界や時代の刻印を読み解く。

('16)<192.3>

赤江雄一・岩波敦子 編著

中世ヨーロッパの「伝統」

一 テクストの生成と運動

2819-3 A5判上製 246頁 3,850円 (3,500円)

キリスト教・イスラーム文化圏を対象として、言葉が、モノが、いかに産出され、複製され、受容され、そして伝播していったのかを辿り、伝統のダイナミズムを明らかにしていく。第一線の研究者たちによる論文集。

('22)<230>

長谷部史彦 編著

地中海世界の旅人

一 移動と記述の中近世史

2129-3 A5判並製 328頁 3,850円 (3,500円)

10世紀～17世紀。西アジアや北アフリカ、そしてヨーロッパを旅した人々は、その情景、自身の思索、異文化との接触交流をいかに記述したのか。遺された多様な史料から、彼らを取り巻く世界や時代の刻印を読み解いてゆく。

【図】('14)<230.4>

■ 西洋史（ヨーロッパ各国）

ピーター・サルウェイ 編／南川高志 監訳

ローマ帝国時代のブリテン島

1641-1 A5判上製 424頁 5,280円 (4,800円)

新たな発見により、伝統的な歴史理解とは異なる解釈が提示されているローマ帝国時代のブリテン島。前1世紀から5世紀まで、カエサルcomesから古代の終焉期までのブリテン諸島の実相を様々な視点から立体的に描く。オックスフォードブリテン諸島の歴史第1巻 ('11)<233>

ウエンディ・デイヴィス 編／鶴島博和 監訳
ヴァイキングからノルマン人へ

1643-5 A5 判上製 448 頁 8,140 円(7,400 円)

790 年代に始まったヴァイキングの襲来から、1066 年のノルマン人の到来までのおよそ 300 年間のブリテン諸島を概観。ヴァイキング、君主およびその他の政治構造、領主と労働者との関係等、鍵となるトピックを網羅。オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 3 巻 ('15)〈233〉

バーバラ・ハーヴェー 編／吉武憲司 監訳

12・13世紀 1066年～1280年頃

1644-2 A5 判上製 512 頁 6,380 円 (5,800 円)

イングランドのノルマン征服から 1282 年エドワード 1 世のウェールズ侵攻前夜までのブリテン諸島の歴史を、「征服」、「政治」、「経済」、「宗教」、「文化」、「王権」という 6 つの視点から明らかにする。

オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 4 巻 ('12)〈233〉

ラルフ・グリフィス 編／北野かほる 監訳

14・15世紀

1645-9 A5 判上製 578 頁 5,280 円 (4,800 円)

1272 年のエドワード一世のイングランド王即位から 1509 年のヘンリー八世の王位継承までの激動の時代をあつかう。中世から近世への大転換を、政治・文化・経済・社会・宗教などの視点から立体的に描きだす。

オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 5 巻 ('09)〈233〉

パトリック・コリンソン 編／井内太郎 監訳

16世紀 1485～1603年

1646-6 A5 判上製 480 頁 5,280 円 (4,800 円)

ルネサンスと宗教改革が起こり二人の王が三つの王国を治めることになる 16 世紀ブリテン諸島。この時代を政治、経済、社会、文化などの多角的な視点から立体的に描く画期的な通史。

オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 6 巻 ('10)〈233〉

ジェニー・ウァーモールド 編／西川杉子 監訳

17世紀 1603～1688年

1647-3 A5 判上製 452 頁 7,480 円(6,800 円)

イングランド・アイルランド・スコットランドの三国からなる複合君主国に対する希望と失望。混乱の渦にありながら形成されていくブリテン式の「国家形成」とは。そのプロセスとそこで花開いた文化の諸相を細緻に描く。オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 7 巻 ('15)〈233〉

ポール・ラングフォード 編／坂下史 監訳

18世紀 1688～1815年

1648-0 A5 判上製 376 頁 6,380 円 (5,800 円)

議会王政、合同法、植民地の拡大、フランスとの対抗、アメリカの独立——。ブリテン諸島のすべての地域が、経済発展と政治的安定によって徐々に一体化へと向かいながら、帝国として成長していく世紀を活写する。

オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 8 巻 ('13)〈233〉

コリン・マシュー 編／君塚直隆 監訳

19世紀 1815～1901年

1649-7 A5 判上製 504 頁 5,280 円 (4,800 円)

世界的覇権を誇るイギリス帝国最盛期を、学際的なアプローチから描く。多面的なテーマを細密に描く、ヴィクトリア朝ならびにイギリス帝国史。

オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 9 巻 ('09)〈233〉

キース・ロビンズ 編／秋田茂 監訳

20世紀 1901～1951年

1650-3 A5 判上製 376 頁 6,380 円 (5,800 円)

ヴィクトリア女王が死去した 1901 年から第 2 次チャーチル内閣成立の 1951 年までの、帝国の最盛期が再編を繰り返しつつ徐々に終焉に向かう過渡期の 50 年を、時代の転換をつくったキーワードをおいながら展望する。オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 10 巻 ('13)〈233〉

キャスリーン・パーク 監修／西沢保 監訳

20世紀 1945年以後

1651-0 A5判上製 370頁 7,040円 (6,400円)

イングランド一国史観を超えて、ブリテン諸島諸地域の構造的関係を視野に、政治、経済、社会、文化の変容を描く「ブリテン諸島」の通史。ローマ帝国時代からはじまったブリテン諸島歴史の叙述が本巻で結末を迎える。オックスフォードブリテン諸島の歴史第11巻('14)<233>

エドモンド・キング 著／吉武憲司 監訳

中世のイギリス

1323-6 A5判上製 482頁 4,180円 (3,800円)

政治史だけでなく、経済や文化、地方の状況を描くことにより、議会に象徴される、イギリス政治共同体の発展の時代背景や、その周縁スコットランド・ウェールズとの関係など、多様な中世イギリスの姿を伝える。

【図】(06)<233.04>

松田隆美 著

チョーサー『カンタベリー物語』

—ジャンルをめぐる冒険

2560-4 四六判上製 256頁 2,640円 (2,400円)

カンタベリー大聖堂への巡礼の途上、職業も身分も異なる巡礼たちが語る多種多様な物語は、豊かな世界を描き出し、物語文学のジャンルを拡張した。神が細部に宿る物語世界のダイナミズムを丁寧に描く。

世界を読み解く一冊の本 ('19)<931>

松井清 著

アルスター長老教会の歴史

—スコットランドからアイルランドへ

2210-8 A5判上製 320頁 5,940円 (5,400円)

北アイルランド紛争の一方の当事者であるプロテスタントの中心をなす長老派の辿ってきた400年にわたる歴史を、社会史家の立場から生き生きと描き出す。現在の北アイルランド社会の理解にもつながる一冊。

('15)<198.52>

藤山一樹 著

イギリスの対独「宥和」

—一九二四—一九三〇年—ヨーロッパ国際秩序の再編

2595-6 A5判上製 304頁 5,940円 (5,400円)

第一次世界大戦が終結しても反目続けるフランスとドイツを前に、ヴェルサイユ条約の修正を選んだ1920年代後半のイギリス外交を政策決定者の対外認識から再検討し、従来の「宥和=失敗」説を問い直す試み。

('19)<319.330>

永嶋友 著

第二次世界大戦期イギリスのラジオと二つの戦争文化

—BBC、プロパガンダ、モダニズム

2982-4 A5判上製 376頁 8,030円 (7,300円)

BBCラジオの詳細な分析を通じて、第二次大戦期イギリスのラジオ文化史を描き出すとともに、「ラジオモダニズム」の様相を明らかにする。

慶應義塾大学法学研究会叢書 別冊20 ('24)<019>

中村優介 著

イギリスの戦後ヨーロッパ構想とフランスの再興

—大陸と大西洋のはざままで

2904-6 A5判上製 312頁 5,500円 (5,000円)

ド・ゴール率いる自由フランス支持へと舵を切るまでのイギリス外務省内の合意形成、またアメリカを説得するまでの外交交渉の過程を分析し、戦後ヨーロッパの力の真空を埋めるといふ構想のもとに発揮した外交力を検証する。

('23)<319.33>

R. J. W. エヴァンズ 著／新井皓士 訳

バロックの王国

—ハプスブルグ朝の文化社会史 1550-1700年

2025-8 A5判上製 598頁 10,450円 (9,500円)

バロックとカトリシズム興隆の時代へと中欧の姿が大きく変容する17世紀。およそ600年続いたハプスブルグ王朝の基礎を築くこの時代の深奥を、中欧歴史研究の碩学、R. J. W. エヴァンズが精緻に描く。

('13)<234.6>

クリスティーン・ル・ボゼック 著／藤原翔太 訳
女性たちのフランス革命

2794-3 四六判上製 224頁 2,640円(2,400円)

(22)<367.235>

藤原翔太 著

ブリュメール 18日

—革命家たちの恐怖と欲望

2959-6 四六判上製 200頁 2,640円(2,400円)

(24)<235.06>

渡邊啓貴 著

シャルル・ドゴール

—民主主義の中のリーダーシップへの苦闘

2045-6 四六判上製 392頁 3,520円(3,200円)

パンと武器のために立ち上がれ！ 「自由・平等・友愛」の社会を目指したフランス革命は女性たちにとって何を意味したのか。政治に覚醒した市井の女性たちの「リアル」を明らかにする。

ナポレオンはどのようにして担ぎ上げられたのか。革命期に発展した民主主義を制御できなかった革命家たちは、みずから権威主義体制を望み、形成していく。その震源となったクーデタの過程と内実に迫る。

両世界大戦から戦後冷戦へと続く激動のヨーロッパを舞台に、「現代フランスを築いた父」ドゴールの生涯を生き生きと描く、渾身の書き下ろし。彼の「行動の自由を得るための外交」に焦点を当てつつ、知られざる素顔へとせまる。

【図】(13)<312.35>

菅野賢治 著

フランス・ユダヤの歴史(上)

—古代からドレフュス事件まで

2360-0 A5判上製 448頁 5,500円(5,000円)

「フランス・ユダヤ」の道程を語り下ろす、2000年の歴史絵巻、全2巻！ 上巻では、中世のラシによる聖典注解、旧体制下に花開いたユダヤ教文化、19世紀末のドレフュス事件まで、異文化の相克とアイデンティティー構築の過程をたどる。

(16)<199.02>

菅野賢治 著

フランス・ユダヤの歴史(下)

—二〇世紀から今日まで

2361-7 A5判上製 384頁 4,950円(4,500円)

「フランス・ユダヤ」の道程を語り下ろす、2000年の歴史絵巻、全2巻！ 下巻では、兩大戦間期のアシュケナジ移民、ヴァイシー政権下の迫害から、シオニズム賛否に揺れる現代まで、「フランス人」と「ジュイフ」の二重性を生きる人々の感性を探る。

(16)<199.02>

飯田恭 著

農場と森林のプロイセン史

—一六〜一九世紀の御領地・御領林経営

2800-1 A5判上製 384頁 6,600円(6,000円)

近世ドイツ・プロイセンの農場領主制（ゲーツヘルシャフト）の歴史を、森林の役割にも注目しながら、数多くの原史料により濃密に描き出す。ヨーロッパ経済史の伝統あるテーマに新たな光を当てる国際水準の研究。

(22)<611.74>

高橋義彦 著

カール・クラウスと危機のオーストリア

—世紀末・世界大戦・ファシズム

2331-0 四六判上製 288頁 3,960円(3,600円)

オーストリア／ハプスブルク帝国の危機～ナチスの脅威に向き合い、それを乗り越えようとした孤高の言論人、カール・クラウス（1874-1936）の思想と行動を読み解き、危機の時代のウィーンの政治的・文化的状況を浮き彫りにする。

(16)<192.3>

高橋義彦 著

ウィーン 1938年 最後の日々

—オーストリア併合と芸術都市の抵抗

2972-5 四六判上製 296頁 2,970円(2,700円)

1938年3月、オーストリアはナチス・ドイツにより併合された。独立を守ろうとする首相たちや、フロイト、ウィトゲンシュタインから文化人・芸術家の抵抗や亡命を軸に、芸術都市ウィーンの緊迫した日々を描く注目作。

(24)<234.6>

アンドレアス・ヴィルシグ 他編／
板橋拓己・小野寺拓也 監訳

ナチズムは再来するのか？

—民主主義をめぐるヴァイマル共和国の教訓

2606-9 四六判並製 160 頁 1,980 円(1,800 円)

世界で最も民主主義的な憲法をもちながらも、わずか 14 年でナチスに破壊されてしまったヴァイマル共和国と現在の状況との共通点とはなにか。現代社会を覆うポピュリズムに、歴史の経験から警鐘を鳴らす。

(19)(234.072)

八嶋由香利 編著

スペイン危機の二〇世紀

—内戦・独裁・民主化の時代を生きる

2914-5 四六判上製 248 頁 2,640 円(2,400 円)

内戦で亡命を余儀なくされた文学者や芸術家たち。独裁政権下での検閲、民主化による「和解」のもとで沈黙を強いられた人々……。さらにカタルーニャ独立運動など、現在につながる問題の原点をたどり、新しい二〇世紀像を提示する注目作。

(23)(236.07)

ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳

赤い大公

—ハブスブルク家と東欧の 20 世紀

2135-4 四六判上製 512 頁 5,060 円(4,600 円)

ヒトラーとスターリンのはざまで、ウクライナ王になることを夢見たヴィルヘルム・フォン・ハブスブルクの数奇な運命と、20 世紀ヨーロッパ史の深暗部を鮮やかに描ききる不世出の歴史家、ティモシー・スナイダーの傑作。

【図】(14)(230.7)

ティモシー・スナイダー 著／
松井貴子 訳／梶さやか 解説

秘密の戦争

—共産主義と東欧の 20 世紀

2770-7 四六判上製 544 頁 4,950 円(4,500 円)

スターリンとヒトラーに蹂躪されたポーランドで、共産主義と民族主義に抗い、秘かな戦いをくり広げたヘンリク・ユゼフスキの数奇な生涯を通して、20 世紀東欧史の最深部を描き出すティモシー・スナイダーの出世作。

(21)(239)

ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳

ブラックアース (上)

—ホロコーストの歴史と警告

2350-1 四六判上製 308 頁 3,080 円(2,800 円)

前著『ブラッドランド』でホロコーストの歴史認識を根底から覆した気鋭の歴史家が、ヒトラー「生存圏」(レーベンスraum)の思想に鋭いメスを入れ、ホロコーストの真因を明らかにする傑作。

(16)(209.74)

ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳

ブラックアース (下)

—ホロコーストの歴史と警告

2351-8 四六判上製 372 頁 3,300 円(3,000 円)

ヒトラーとスターリンの狭間で、完膚なきまでに国家機構が破壊され、無法地帯に陥ったその地で、一体何が起こったのか。極限状況における悪(イープル)を問い直し、未来の大虐殺に警鐘を鳴らす世界的ベストセラー。

(16)(209.74)

立石洋子 著

スターリン時代の記憶

—ソ連解体後ロシアの歴史認識論争

2681-6 A5 判上製 368 頁 4,950 円(4,500 円)

独ソ戦や、スターリン体制による市民への大規模な抑圧は、ロシアの人びとの記憶に何を遺したのか——。体制転換後の新生ロシアにおけるソ連時代の歴史認識論争の実像を、歴史教育や歴史教科書をめぐる論争から明らかにする。

(20)(238.07)

河西陽平 著

スターリンの極東戦略 1941-1950

—インテリジェンスと安全保障認識

2911-4 A5 判上製 344 頁 4,950 円(4,500 円)

スターリン率いるソ連は、極東情勢の変容をどのように認識し、いかなる軍事・外交戦略を採用するに至ったのか。独ソ戦開戦時から冷戦開始後、朝鮮戦争とのかわりまでを、豊富な一次史料から読みとく試み。第 36 回アジア・太平洋賞(特別賞)受賞。

(23)(319.38)

ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳 暴政

—20世紀の歴史に学ぶ20のレッスン

2438-6 全書判並製 144頁 1,320円(1,200円)

政治においては、騙された、というのは言い訳にはならない——。気鋭の歴史家ティモシー・スナイダーが、現在、世界に台頭する圧政の指導者に正しく抗うための二〇の方法をガイドする。

(‘17)<311.04>

ウィリアム・マリガン 著／赤木完爾・今野茂充 訳 第一次世界大戦への道

—破局は避けられなかったのか

2445-4 四六判上製 424頁 3,520円(3,200円)

大國間の平和維持メカニズムはなぜ崩壊したのか。各國の国内情勢、外交の諸相、指導者の言動、軍部の計画や認識、世論の動向などの分析を通じて明快に解き明かす。大國が世界規模で複雑に交錯する現代にこそ、学ぶべき「歴史の教訓」がちりばめられた一冊。 (‘17)<209.6>

マーク・マゾワー 著／池田年穂 訳 国連と帝国

—世界秩序をめぐる攻防の20世紀

2243-6 四六判上製 288頁 3,080円(2,800円)

覇権を争う帝国の為政者たちは、国連に何を託したのか。20世紀ヨーロッパ史の大家マゾワーが描く、「逆説」の理想的国際平和機構論」。解説=渡邊啓貴

【図】(‘15)<329.33>

ソロモン・ヴォルコフ 著／亀山郁夫・梅津紀雄・前田和泉・古川哲 訳

シュスタコフヴィチとスターリン

2499-7 四六判上製 560頁 6,380円(5,800円)

スターリンによる大粛清の嵐のなか、シュスタコフヴィチは全体主義と芸術の相克をどのように乗り越えようとしたのか。天才芸術家と独裁者の奇妙な「共犯」関係を暴きだす快著。

(‘18)<762.38>

■ 西洋史 (南北アメリカ)

鈴木透 著

実験国家アメリカの履歴書 第2版

—社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡

2390-7 A5判並製 264頁 2,750円(2,500円)

植民地時代から現代までの変化をたどる新しい視点の好評テキストの改訂版。本版では、2000年代以降のブッシュ・オバマ政権時代を詳述する章を加筆。唯一の超大国アメリカを読みとくために必読の1冊。

(‘16)<253>

奥田暁代 著

アメリカ大統領と南部

—合衆国史の光と影

1773-9 A5判並製 336頁 3,080円(2,800円)

アメリカ大統領たちは、南部といかに向き合い、南部をいかに利用したのか。合衆国建国以来、いまだに衰えない南部の存在感と影響力。南部がアメリカの形成と再生に果たした役割を詳細に読み解く。

(‘10)<253>

寺崎陽子 著

アメリカ国立公園の誕生

—自然と近代国家の物語

2723-3 A5判上製 192頁 6,380円(5,800円)

1872年に誕生したアメリカの「国立公園」は、「保護」と「利用」の狭間でその「価値」をまぐるしく変化させつつ、しかし一つの〈システム〉として駆動してきた。自然との向き合い方からアメリカの近代化を描いた画期的研究。

(‘21)<629.453>

■ 文化史

H. パイロン・エアハート 著／宮家準 監訳／井上卓哉 訳

富士山

—信仰と表象の文化史

2542-0 四六判上製 376 頁 4,950 円 (4,500 円)

日本最高峰の霊山はなぜ、「信仰の対象と芸術の源泉」なのか。その山容に日本人は、そして外国人は何を見てきたのか。文献調査、フィールドワーク、インタビューからその多層的・複合的な姿を明らかにする。

(19)〈453.821〉

周永河 著／丁田隆 訳

食卓の上の韓国史

—おいしいメニューでたどる 20 世紀食文化史

2784-4 A5 判並製 440 頁 3,740 円 (3,400 円)

1876 年の開港以降、朝鮮半島には多くの外国人が流入し、西洋・中国・日本の食が朝鮮の料理を大きく変化させた。「食べること」をとおして韓国の歴史と社会をダイナミックに描く「食の人文学」!

(21)〈383.8〉

岩間一弘 著

中国料理の世界史

—美食のナショナリズムをこえて

2764-6 四六判並製 656 頁 2,750 円 (2,500 円)

国家建設とナショナリズムに注目しながら、アジアからアメリカ、ヨーロッパを縦横無尽に旅して、中国料理と中国系料理の巨大で口福な歴史を味わいなおす。第 44 回サントリー学芸賞・第 13 回辻静雄食文化賞受賞。

(21)〈383.8〉

岩間一弘 編著

中国料理と近現代日本

—食と嗜好の文化交流史

2643-4 A5 判上製 392 頁 5,720 円 (5,200 円)

中国料理をめぐる政治・社会情勢に着目しながら、東アジアにおける食の文化交流の多様な軌跡をひもとき、新たな史実を究明する。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書

(19)〈383〉

小倉孝誠 著

逸脱の文化史

—近代の〈女らしさ〉と〈男らしさ〉

2592-5 四六判上製 244 頁 2,640 円 (2,400 円)

近代フランスの社会は、男女の身体、情動、欲望をめぐるどのような規範を課し、逸脱はどのように表象されたのか? 小説、自伝、日記、医学書、性科学の啓蒙書などの言説をつづじて読み解いていく。

(19)〈192.1〉

渡邊拓也 著

ドラッグの誕生

—一九世紀フランスの〈犯罪・狂気・病〉

2640-3 A5 判上製 256 頁 4,400 円 (4,000 円)

なぜ、それまで医薬品であった大麻・阿片・モルヒネは〈ドラッグ〉となったのか。彼らに〈逸脱者〉の烙印を押ししたのは誰か。一九世紀フランスの社会病理を読み解き、現在に至る〈排除〉の起源を探る。

(19)〈368.8〉

スタン・ナイト 著／高宮利行 監修／安形麻理 訳

西洋活字の歴史

—グーテンベルクからウィリアム・モリスへ

2111-8 B4 判変型上製 108 頁 6,600 円 (6,000 円)

活版印刷の誕生から 20 世紀初頭までのすぐれた活字体を時代順に紹介。インクのにじみが見えるほどの迫力あるオリジナル写真と明快な解説で、西洋活字のつくりと歴史を同時に学べるヴィジュアル・ブック。

(14)〈749.41〉

石原あえか 編

産む身体を描く

—ドイツ・イギリスの近代産科医と解剖図

1933-7 四六判変型並製 96 頁 770円(700円)

ゲーテとその周辺の人物、画家で産婦人科医でもあったカール・グスタフ・カールス、18世紀以来のイギリスで関わった様々な人々を通して、産科が成立する過程と絵画芸術（解剖図）の関係を解き明かす。

慶應義塾大学教養研究センター選書11 (12)〈495.5〉

柳田利夫 著

ペルーの和食

—やわらかな多文化主義

2418-8 四六判変形並製 112 頁 770円(700円)

現代のペルーには、日本人移民が関わり影響を及ぼした多様な食文化がある。日本人移民の100年の歴史をひもとき、日本食・日本料理の変遷を明らかにし、やわらかな多文化主義を拓く。

慶應義塾大学教養研究センター選書16 (17)〈383.8〉

船山信次 著

毒と薬の文化史

—サブリメント・医薬品から危険ドラッグまで

2479-9 A5判並製 176 頁 2,640円(2,400円)

毒や薬にまつわる事件や事故、薬がたどってきた歴史、薬の危険性、薬を扱う専門家である薬剤師とその養成機関である大学薬学部、医薬分業の重要性、人を虜にしてしまう麻薬・覚醒剤・大麻や危険ドラッグを広く解説。

(17)〈491.5〉

武藤浩史・川端康雄・遠藤不比人・大田信良・木下誠 編

愛と戦いのイギリス文化史1900-1950年

1328-1 A5判並製 370 頁 2,750円(2,500円)

二度の世界大戦で「大英帝国」はどう変わったのか。階級、セクシュアリティ、ナショナリズム、メディアを切り口に、この時代のテキストとコンテクストを丁寧に読み解くことで、20世紀前半のイギリスの姿を浮き彫りにする。

(07)〈233.07〉

川端康雄・大貫隆史・河野真太郎・佐藤元状・秦邦生 編

愛と戦いのイギリス文化史1951-2010年

1878-1 A5判並製 486 頁 3,520円(3,200円)

現代イギリス文化研究の最前線！ 冷戦、ビートルズ、サッカー、パンク、映画、王室、サッチャー、YBA、そしてグローバリゼーション——。20世紀後半+現代のイギリスを領域横断的に語りつくす。

(11)〈233.07〉

■ 文化人類学

ターニャ・M・ラーマン 著／柳澤田実 訳

リアル・メイキング

—いかにして「神」は現実となるのか

2977-0 四六判並製 360 頁 3,520円(3,200円)

「神」のような信仰の対象になる、目に見えない存在は、信者にとっていかにして「現実(リアル)」になるのか。そのメカニズムを福音派をはじめとする宗教団体へのフィールドワークをもとに人類学的に考察する。

(24)〈161.3〉

竹村真一 著

宇宙樹

1003-7 A5判変型上製 200 頁 2,640円(2,400円)

人間と植物の共生にむけて、人間と自然との新しい関係についてエッセイ風のスタイルで読ませる現代思想。人間と植物がともに花開くための新たな文明の尺度を提起する。

(04)〈389〉

鈴木正崇 編

東アジアの民衆文化と祝祭空間

1711-1 四六判並製 462頁 2,200円(2,000円)

民衆文化のなかに普遍的な基層文化はあるのか。東アジアに共通なものなのか。観光や開発によって文化の再編成やあらたな再創造に向かいつつある状況をどう捉えるか。各分野の研究者が多角的に分析した連続講演の記録。慶應義塾大学東アジア研究所講座 (‘09)〈382.2〉

松村智雄 著

インドネシア国家と西カリマンタン華人
—「辺境」からのナショナリズム形成

2386-0 A5判上製 336頁 6,380円(5,800円)

西カリマンタンという地域は、インドネシアにおける辺境である。そこに暮らす華人たちは、インドネシアと中国という、ふたつの国家に翻弄され続けてきた。本書ではその60年の歩みを丹念に辿り、「辺境」に暮らす民衆の視点から歴史を考える。 (‘17)〈334.522〉

西本希呼 著

〈茨の国〉の言語

—マダガスカル南部タンルイ語の記述

2450-8 A5判上製 328頁 5,280円(4,800円)

アフリカ大陸の東海岸に位置する国、マダガスカル。遠く離れた東南アジア島嶼部やオセアニア地域と同じオーストロネシア語族の消えゆく言語を体系的に記述する、世界初の試み。第11回京都大学たちばな賞受賞。 (‘18)〈829.43〉

近藤祉秋 著

犬に話しかけてはいけない

—内陸アラスカのマルチスピーシーズ民族誌

2845-2 四六判並製 240頁 2,640円(2,400円)

内陸アラスカではかつて「犬に話しかけてはいけない」という禁忌があった——。マルチスピーシーズ民族誌と環境人文学の視点から、フィールドワークを通してアラスカ先住民の人々と「自然環境」との関わりを描く。 (‘22)〈382.539〉

岡田真弓 著

イスラエルの文化遺産マネジメント
—遺跡の保護と活用

2451-5 A5判上製 304頁 7,150円(6,500円)

文化遺産はいかに守られてきたのか。イスラエルにおける遺跡や歴史的建造物の保護と活用をめぐるさまざまな制度の変遷と実践の両面を多角的な視点から豊富なデータで包括的、実証的に検証する。 (‘17)〈228.5〉

渡辺靖 著

アフター・アメリカ

—ポストニアン軌跡と文化の政治学

1078-5 四六判上製 400頁 2,750円(2,500円)

歴代大統領を輩出した「ボストン・ブラーミン」とアメリカン・ドリームを体現した「ボストン・アイリッシュ」。2つの階層を対象にした3年余のフィールドワークを軸に、米国文化の最深部をえぐりだす。2004年度・サントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞受賞。(‘04)〈361.8〉

■ 地理

杉浦章介 著

トランスナショナル化する世界
—経済地理学の視点から

1619-0 A5判並製 168頁 2,200円(2,000円)

グローバル化の歴史をひもときながら、高度に国際分業された現代の経済を解説。地球規模、地域経済統合、国、地域、都市、と様々な空間的レベルにおいて立ち現れるトランスナショナル化の実態を捉えなおす。 (‘09)〈332.9〉

杉浦章介・松原彰子・渡邊圭一・長田進・武山政直・大島英幹 著

ジオ・メディアの系譜

—進化する地表象の世界

1739-5 A5判並製 164頁 2,200円 (2,000円)

世界を俯瞰する上で最も優れたメディアの一つ、ジオメディア（位置・地理情報を扱うメディア）の歴史を、紙の地図から近年のインターネット・GISによるモバイル化・リアルタイム化したものまで、系譜を明らかにする。

【図】(10)<290.1>

清水透・横山和加子・大久保教宏 編著

ラテンアメリカ

出会いのかたち

1723-4 A5判並製 446頁 3,850円 (3,500円)

歴史学、文化人類学、文学、政治学、経済学、法学…各分野でラテンアメリカ研究を専門とする14人が、研究テーマの選び方、研究の奥深い魅力を書き下ろした、体験的ラテンアメリカ研究入門。

【図】(10)<302.55>

心 理

■ 心理一般

伊東裕司 著

裁判員の判断の心理

—心理学実験から迫る

2605-2 新書判並製 106頁 770円(700円)

裁判員裁判が始まっておよそ10年。一般人が人間を裁くことの難しさに様々な議論や研究が行われてきた。本書では実験心理学の実証データを用い、感情が判断に及ぼす影響を分析。裁判員裁判の問題点と改善の糸口を探る。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita* ('19)<327.67>

今井芳昭 著

チームとリーダーシップの心理学

2932-9 新書判並製 112頁 770円(700円)

裁よりよいパフォーマンスをあげるためのチームワーク、リーダーシップのありかたとは何か? メンバーとリーダーの役割や相互作用、コミュニケーションについて、社会心理学にもとづいて考える一冊。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita* ('23)<327.67>

■ 臨床心理

吉川晴美・松井知子 編著

人間関係の理解と心理臨床

—家庭・園・学校・施設・職場の問題解決のために

2466-9 A5判並製 248頁 2,420円(2,200円)

人は生涯発達するととらえ、各発達段階における人間関係の象徴的問題を解説。さらに、ロールプレイ(心理劇)を用いた事例を紹介し、心理職を目指す者だけでなく教育現場でも役立つカウンセリングを通した問題解決法の習得をめざす。

(’17)<146.8>

村瀬嘉代子 著

子どものこころに寄り添う営み

2631-1 四六判上製 240頁 2,970円(2,700円)

虐待、不登校、発達障害、うつ病—。様々な問題を抱える子どもの背後に潜む心情にどう辿りつき、もつれた思いをいかに解いていくのか。稀代の臨床家が、子どものこころの治癒・成長をめざす人に、その真髄を伝えるエッセイ集。

(’19)<146.04>

日本心理劇学会 監修/
土屋明美・茨木博子・吉川晴美 編著

心理劇入門

—理論と実践から学ぶ

2703-5 A5判並製 276頁 2,640円(2,400円)

モレノが創始した「サイコドラマ」は、日本では「心理劇」と訳され、集団心理療法のひとつとして発展してきた。心理劇の基本を解説し、心理・医療・教育・福祉などの実践例を挙げることで、人間関係の問題解決や幸福追求のメソッドとしての可能性を探る。

(’20)<146.8>

高木源 著

こころの健康度を高めるセルフケアツール開発
—解決志向短期療法を検証する

2929-9 A5 判上製 256頁 4,950円 (4,500円)

解決志向短期療法 (SFBT) の効果とは何か。心理臨床だけでなくキャリア開発などでも用いられる注目の手法を、実証的に検証する画期的な研究書。セルフケアツール最終版を収録。

('23)<146.8>

増田健太郎 編著

学校の先生・S・Cにも知ってほしい
不登校の子どもに何が必要か

2238-2 四六判並製 224頁 2,200円 (2,000円)

不登校をどのように理解し、どのようにかわっていくべきか。予防と支援の視点から、不登校支援に長年携わっている専門家たちが結集し、大切なポイントを解説。

子どものこころと体シリーズ ('16)<371.45>

■ 認知心理

生田久美子・北村勝朗 編著

わざ言語

—感覚の共有を通しての「学び」へ

1804-0 A5 判上製 400頁 3,850円 (3,500円)

「わざ」の伝承を支える「ことば」に迫る。学習者が指導者から学ぶべきものとは何か？ それはどのような言葉で促されるのか？ という問題に焦点をあて、学習者の認知プロセスを明らかにする。

('11)<371.04>

安西祐一郎 著

Learning and Interaction:
From Cognitive Theories to Epistemology

2691-5 A5 判変型上製 1216頁 7,700円 (7,000円)

認識論、認知心理学、社会心理学、発達認知科学、認知神経科学、進化認知科学、コンピュータサイエンス、AI、ロボティクス等の学術分野を横断し、人間の基本的活動としての学習とインタラクションに関する諸研究を解説。(全英文)

('21)<141.51>

マイケル・トマセロ 著/辻幸夫・野村益寛・
出原健一・菅井三実・鍋島弘治朗・森吉直子 訳**ことばをつくる**

—言語習得の認知言語学的アプローチ

1533-9 A5 判上製 448頁 3,850円 (3,500円)

ことばは本能ではない！ 比較認知科学や発達心理学における豊富な研究データをもとに、“Usage-Based Model (用法基盤モデル)” のアプローチから、子どもの言語習得のプロセスを明示する。

【図】('08)<801.04>

高木佐保 著

ネコはここまで考えている

—動物心理学から読み解く心の進化

2843-8 四六判上製 192頁 2,200円 (2,000円)

ネコは伴侶動物として不動の人気を誇るが、他の動物と比較して認知研究は進んでいない。気鋭のネコ心理学者が、ネコの特性に適した独自の研究方法 (聴覚能力を生かす方法) を考案し、人類のきまぐれな親友ネコのミステリアスな心を覗く。

('22)<483.16>

■ 社会心理

広田すみれ・増田真也・坂上貴之 編著
心理学が描くリスクの世界 第3版
 一行動的意思決定入門

2334-1 A5判並製 296頁 2,640円(2,400円)

行動経済学を生み、医療や科学技術のリスクコミュニケーションにも欠かせない、意思決定とリスクに関する心理学的知見の基礎知識と最新の研究動向をいち早く紹介した入門書を全面改訂。幅広い分野の関心に応える充実した1冊。教科書にも最適。 (‘18)〈141.8〉

増田真也・広田すみれ・坂上貴之 編著
心理学が描くリスクの世界 Advanced
 一行動的意思決定の展開

2866-7 A5判並製 306頁 3,740円(3,400円)

行動経済学やリスクコミュニケーションの元になった心理学的知見を紹介・解説して好評を得た入門書『心理学が描くリスクの世界(第3版)』の姉妹編であり発展・応用編。類書にない充実度の「意思決定と生理」の章のほか14本のコラムも必読。 (‘23)〈141.8〉

中森弘樹 著

「死にたい」とつぶやく
 一座間9人殺害事件と親密圏の社会学

2818-6 四六判並製 328頁 1,980円(1,800円)

事件はなぜ起きたのか。「死にたい」とつぶやいた者たちは、本当に死を望んでいたのか。なぜ、家族ではなく、その外部に救いを求めたのか。SNSに溢れかえる「死にたい」の声に、私たちはどう向き合うべきか。俊英による快著。 (‘22)〈368〉

広田すみれ 著

5人目の旅人たち
 一「水曜どうでしょう」と藩士コミュニティの研究

2624-3 四六判並製 272頁 1,760円(1,600円)

HTBの「水曜どうでしょう」は、いかにして多くのファン(=藩士)にとって“人生になくてはならないコンテンツ”にまでなったのか? 自らもファンである社会心理学者がこの番組が支持され続ける秘密に迫る。第35回電気通信普及財団賞テレコム社会科学賞奨励賞受賞。 (‘19)〈699.67〉

■ 精神医学

猪子香代 著

子どものうつ病
 一理解と回復のために

1980-1 四六判並製 256頁 2,640円(2,400円)

思春期特有の心理状態とうつの関係について解説し、さらに発達障害をもつ子どもとうつのリスクについて説明を加えます。また、友だちとの関係のとり方など親には言えない悩みについても、子どもの立場を配慮してアドバイスします。 (‘12)〈493.937〉

田中康雄 著

支援から共生への道
 一発達障害の臨床から日常の連携へ

1639-8 四六判上製 244頁 1,980円(1,800円)

発達障害という診断をもつ子ども、そして保護者に、医師として何ができるのか。注目の児童精神科医が、診療室を出て自ら教室や福祉施設へ足を運び、「連携」を培っていく心の軌跡。支援に携わる方々へのエールとなる書。 【図】(‘09)〈493.937〉

田中康雄 著

支援から共生への道 II

—希望を共有する精神医療を求めて

2375-4 四六判上製240頁 1,980円(1,800円)

クリニックを開院した著者が、日々の臨床の中で面接という出会いに込める思いを綴る。医療や心理の臨床に携わる方々、保護者にとって必読の書。全国の保護者から絶大な人気を誇る児童精神科医が臨床への真摯な思いをぶつけた随筆集第2弾！

(’16)〈493.937〉

村田豊久 著

子どものこころの不思議

—児童精神科の診療室から

1638-1 四六判上製320頁 3,080円(2,800円)

子どものこころはどう育つのか、発達障害とは何なのか。長年の臨床経験をもとに、エピソードをまじえ、子どもの発達段階に合わせてこころの育ちを解説。子どものこころの臨床の真髓がここに。

【図】(’09)〈493.937〉

小倉清 著

子どものこころ

—その成り立ちをたどる

0634-4 四六判並製296頁 2,640円(2,400円)

誕生から乳幼児期、小・中・高校にかけての子どものこころの形成・発達過程を、豊富な具体例を通してわかりやすく解説。著者は児童青年精神医学界で活躍中の臨床医。父母、教師に一読をすすめる。

(’96)〈371.45〉

黒木俊秀 編著

発達障害の疑問に答える

2236-8 四六判並製200頁 1,870円(1,700円)

発達障害の特性について「発達障害とは何か」「診断と治療」「保育園・幼稚園や学校での対応」「当事者や保護者・きょうだいへの配慮」と大切なポイントに焦点を当てて、研究・臨床、支援に携わる第一人者が解説。

子どものこころと体シリーズ (’15)〈493.937〉

宗 教

■宗教一般

大谷栄一・菊地暁・永岡崇 編著

日本宗教史のキーワード

—近代主義を超えて

2535-2 四六判並製 450頁 3,190円(2,900円)

これまでの宗教学では捉えきることができなかった／光を当てられてこなかった日本宗教史の重要トピックについて、キーワード集という形をとって紹介。もう一度「宗教とは何か？」を問い直す1冊。

(‘18)<162.1>

熊倉敬聰 著

汎瞑想

—もう一つの生活、もう一つの文明へ

1934-4 四六判変型並製 148頁 770円(700円)

現代日本を取り巻く過剰な資本主義。この貨幣記号増殖への異常な執着状態から脱するための手段として“瞑想”を提言し、“もう一つの文明”の可能性を模索する。

慶應義塾大学教養研究センター選書12 (‘12)<113>

澤井義次 著

ルードルフ・オットー 宗教学の原点

2645-8 四六判上製 336頁 3,850円(3,500円)

キリスト教神学からいかに宗教学は生まれたのか？ 宗教学の祖ルードルフ・オットーの〈三つの顔〉——キリスト教神学者、哲学者、宗教学者——を有機的に連関させる思想の全貌を明らかにする。今日の宗教学の在り方を問う。

(‘19)<161>

ダン・ペトレスク、テレザ・クリアーナ＝ペトレスク 編／佐々木啓・奥山史亮 訳

エリアーデ＝クリアーナ 往復書簡 1972 - 1986

2247-4 A5判上製 264頁 6,050円(5,500円)

宗教学の世界的泰斗ミルチャ・エリアーデと異端の弟子ヨアン・クリアーナが、1972年から1986年にわたり、母国語ルーマニア語で交わした111通の往復書簡。2人の異なる宗教学者の対話から、新たな宗教学の可能性を問う。

(‘15)<979.1>

ロバート・J・パロー、レイチェル・M・マックリアリー 著／田中健彦 訳／大垣昌夫 解説

宗教の経済学

—信仰は経済を発展させるのか

2683-0 四六判上製 264頁 2,970円(2,700円)

ヴェーバー以来の宗教と経済の研究は、経済理論と実証分析によって更新された。著者たち自身によるマクロデータ分析、基本となる理論モデル、ヴェーバー仮説の自然実験による研究等を紹介した新しい「宗教の経済学」を展望する1冊。

(‘21)<161.3>

ターニャ・M・ラーマン 著／柳澤田実 訳

リアル・メイキング

—いかにして「神」は現実となるのか

2977-0 四六判並製 360頁 3,520円(3,200円)

「神」のような信仰の対象になる、目に見えない存在は、信者にとっていかにして「現実(リアル)」になるのか。そのメカニズムを福音派をはじめとする宗教団体へのフィールドワークをもとに人類学的に考察する。

(‘24)<161.3>

■ 仏教

フレデリック・ジラルド 訳 (仏文) 仏教聖典叢書「大蔵経」の中の一巻「大乘起信論」を世界的仏教学者がフランス語に翻訳。井筒俊彦『意識の形而上学』第一部「存在論的視座」のフランス語訳も併載。

Traité sur l'acte de foi dans le Grand Véhicule

1058-7 B5判変型上製380頁 5,280円(4,800円) The Izutsu Library Series on Oriental Philosophy 2 ('10)<183.95>

大橋良介 / ロルフ・エルバーフェルト 編訳 (独文) 道元『正法眼蔵』より「現成公案」「心不可得」「空華」「有時」「山水経」「祖師西來意」「生死」「全機」「海印三昧」の9編をドイツ語訳。和文原典を併載した対訳に、詳細な注と論考を付す。

Dōgen „Shōbōgenzō“,
Ausgewählte Schriften

1201-7 B5判変型上製328頁 7,150円(6,500円) The Izutsu Library Series on Oriental Philosophy 3 ('05)<188.8>

高木神元 著 青年期から晩年まで時代背景にそくして空海の足跡を丁寧にとどりながら、『讐替指帰』『請来目録』『般若心経秘鍵』などの代表著作を読み解き、その核心たるマンドラ思想の萌芽と体系化の流れを、迫力ある筆致で描き出す。

空海の座標
—存在とコトバの深秘学

2309-9 四六判上製312頁 3,080円(2,800円) ('16)<188.52>

藤井淳著 官僚を目指していた空海が大学を辞め、二十四歳で著した『三教指帰』。激動の時代背景や神話・伝承、『日本書紀』などの歴史書と照らし合わせ、若き空海の葛藤と執筆の隠された意図に迫る。

空海『三教指帰』
—桓武天皇への必死の諫言

2561-1 四六判上製224頁 2,640円(2,400円) ('22)<188.54>

■ キリスト教

長谷川修一 著 旧約聖書の書物としての成立をたどり、著者たちが「文字」のもつ信頼性を武器に、自らのアイデンティティを懸けて繰り広げた思想史上の「戦い」を考古学・聖書学の知見に基づき鮮やかに読み解く、刺激的な一冊。

旧約聖書
—〈戦い〉の書物

2563-5 四六判上製256頁 2,640円(2,400円) **世界を読み解く一冊の本** ('20)<193.1>

ピーター・ブラウン 著 / 戸田聡 訳 キリスト教社会において美德とされる「貧者への愛」は、紀元四～五世紀に誕生し、その後のキリスト教会を中心とした社会システムを創成する新機軸となった。古代末期研究の泰斗、ピーター・ブラウンが独自の視点で読み解く。

貧者を愛する者
—古代末期におけるキリスト教的慈善の誕生

1932-0 四六判上製314頁 4,180円(3,800円) **【図】**('12)<192.3>

ジャイルズ・コンスタブル 著／
高山博 監訳

十二世紀宗教改革

—修道制の刷新と西洋中世社会

2134-7 A5判上製 712頁 9,900円(9,000円)

『ベネディクトゥス戒律』への回帰、その西欧修道理念に基づく生活への回帰に、十二世紀宗教改革の真の姿を見る中世宗教学の金字塔、待望の邦訳。

(‘14)〈192.3〉

田上雅徳 著

入門講義 キリスト教と政治

2183-5 四六判並製 292頁 2,640円(2,400円)

キリスト教は、どのように世俗の権力（国家）から影響を受け、どのように影響を与えてきたのか？ 「共同性」「終末意識」などをキーワードに語りおろした、キリスト教思想史の入門書。

(‘15)〈311.23〉

浅見雅一・野々瀬浩司 編著

キリスト教と寛容

—中近世の日本とヨーロッパ

2587-1 A5判上製 288頁 3,850円(3,500円)

宗教改革の時代、キリスト教はいかに異端、異教、異文化を認識し、ときに排斥しつつ共存してきたのか。宗教的マイノリティの視点も取り入れ、日本における「寛容」とヨーロッパにおける「寛容」を第一人者たちが問い直す。

(‘19)〈192.1〉

橋本功・八木橋宏勇 著

聖書と比喻

—メタファで旧約聖書の世界を知る

1766-1 A5判並製 256頁 2,750円(2,500円)

メタファの仕組みを解析しながら、数千年前に描かれた難解な古代ヘブライ語の表現世界をやさしく読み解いていく。『旧約聖書』をこれから読む人も読み直す人にも新しい発見がある一冊。

(‘11)〈193.1〉

■ イスラム教

大川玲子 著

クルアーン

—神の言葉を誰が聞くのか

2555-0 四六判上製 224頁 2,420円(2,200円)

極めて難解とされるイスラムの聖典『クルアーン』。ではどう読めばよいのか？ 聖典を読む困難と楽しさを、丁寧に解説。信徒のみならず、人類にとつての「聖典」となる可能性を問う。

世界を読み解く一冊の本

(‘18)〈167.3〉

慶應義塾大学地域研究センター 編

21世紀とイスラム

—その多様性と現代的課題

1052-5 B6判並製 228頁 1,540円(1,400円)

イスラム学の第一線の研究者が、「イスラムとは何か」という初歩的な問いから、その世界観や価値観を論じ、トルコ、中近東、東南アジア等の多様なイスラム社会が抱える諸問題を徹底討議する。

地域研究講座

(‘03)〈302〉

大川玲子 著

リベラルなイスラム

—自分らしくある宗教講義

2713-4 四六判並製 288頁 2,200円(2,000円)

クルアーンという豊かなテキストを「リベラル」な解釈へと開き、変革を期すムスリムたちに着目。他者を認め、自分らしくあることを目指す「読み」の奥深さと、その実践を見ていく。

(‘21)〈167.3〉

アル＝マーワルディー 著／湯川武 訳／
社団法人日本イスラム協会 協力

統治の諸規則

1238-3 A5 判上製 704 頁 8,800 円(8,000 円)

中世イスラーム国法学の祖、アル＝マーワルディー（974～1058年）の古典的名著をアラビア語原典より邦訳。イマームを頂点とする法理論を樹立し、イスラーム法学の礎を築いたといわれる古典。

（'06）〈322.28〉

澤井真 著

イスラームのアダム

一人間をめぐるイスラーム神秘主義の源流

2712-7 A5 判上製 288 頁 4,950 円(4,500 円)

旧約聖書に登場する、「最初の人類」として特別な存在であるアダム。その存在は、イスラーム神秘主義の文脈でいかに解釈されてきたのか。宗教学的視点からの詳細な分析を通し、イスラームにおける人間存在の意味を考察する。2021 年度日本宗教学会賞、印度学宗教学会賞受賞。

（'20）〈167〉

小野仁美 著

イスラーム法の子ども観

ージェンダーの視点でみる子育てと家族

2641-0 A5 判上製 288 頁 6,380 円(5,800 円)

イスラーム教徒の日常生活の規範を記すイスラーム法が、いかに「子ども」や「家族」、「子育て」を規定していたのか。古典イスラーム法学書を中心に、ジェンダー視点を交えて家族像を探る。第 15 回女性史学賞受賞。

（'19）〈322.28〉

■ 宗教（その他）

澤井義次 著

シャンカラ派の思想と信仰

2357-0 A5 判上製 368 頁 8,800 円(8,000 円)

インド最大の哲学者といわれるシャンカラの宗教的著作の言葉は、彼を信仰する人びとにどのような意味世界を与え、また、それらは彼らの具体的宗教伝統とどのように接合されるのか。新たな宗教学的パースペクティブを提示する画期的な一冊。

（'16）〈126.6〉

社 会

■ 社会一般

高木聖・村田雅之・大島武 著

はじめて学ぶ社会学 第2版

2308-2 A5判並製 160頁 1,980円(1,800円)

はじめて社会学にふれる人のための好評テキスト第2版！ 基礎的な概念や用語を身近な事例を挙げながら懇切丁寧に解説。社会を見る目、問題の本質を知る手がかりを得るのに最適の1冊。

(‘16)<361>

塩原良和 著

分断と対話の社会学

—グローバル社会を生きるための想像力

2423-2 四六判並製 224頁 2,750円(2,500円)

効率化し分断され、常に自己革新を迫られる高度資本主義社会。一人一人の人間が生きていくために必要な「批判的想像力」を養うための入門書。さらに深く考えたい読者に、各章末に「キーワード解説」「ブックガイド」も掲載。

(‘17)<361.5>

井庭崇 編著／宮台真司・熊坂賢次・公文俊平 著

社会システム理論

—不透明な社会を捉える知の技法

1892-7 四六判並製 352頁 2,640円(2,400円)

断片化し、多様化する現代社会を、一挙に捉える！ 気鋭の社会学者・井庭崇が、宮台真司、熊坂賢次、公文俊平という当代きっての論客を迎え、社会システム理論の本質を徹底討論。

リアリティ・プラス

(‘11)<361.04>

井庭崇 編著／中埜博・江渡浩一郎・中西泰人・竹中平蔵・羽生田栄一 著

パターン・ランゲージ

—創造的な未来をつくるための言語

1987-0 四六判並製 432頁 2,750円(2,500円)

応急処置的な社会から、創造的な社会へ。気鋭の研究者・井庭崇が、中埜博、江渡浩一郎、中西泰人、竹中平蔵、羽生田栄一という各界のフロントランナーを迎え、「パターン・ランゲージ」の可能性について徹底討論！

リアリティ・プラス

(‘13)<361>

井庭崇 編著／鈴木寛・岩瀬直樹・今井むつみ・市川力 著

クリエイティブ・ラーニング

—創造社会の学びと教育

2572-7 四六判並製 672頁 3,960円(3,600円)

子どもたちの創造力を育む、クリエイティブ・ラーニングの可能性について、気鋭の研究者・井庭崇が、鈴木寛、岩瀬直樹、今井むつみ、市川力という教育界のフロントランナーを迎え、徹底討論。

リアリティ・プラス

(‘19)<375.1>

岡原正幸 編著

感情を生きる

—パフォーマティブ社会学へ

2123-1 新書判並製 136頁 770円(700円)

関係性の違和感や社会的居場所のなさから生まれる様々な「感情」を、どのようにして客体化していけばよいのか。現代の「生」の根源を探求する、生と感情の社会学。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ar incognita (‘14)<361>

小熊英二 著

アウトテイクス

—小熊英二論文集

2239-9 四六判上製 376頁 2,860円(2,600円)

【図】('15)〈121.6〉

岡倉天心、新渡戸稲造、矢内原忠雄、柳田國男、丸山眞男、大江健三郎、小田実——。日本思想史を彩る思想家の核心に迫り、近代日本社会の集合的な意識のありようを浮き彫りにする。

有末賢 著

生活史宣言

—ライフヒストリーの社会学

1883-5 A5判上製 404頁 4,620円(4,200円)

('12)〈361.16〉

現代社会学における生活史研究の位置づけと意味を再定義するとともに、質的社会学の観点から、その方法論上の主要課題と新たな可能性を論じる。

鹿又伸夫 著

何が進学格差を作るのか

—社会階層研究の立場から

2167-5 新書判並製 110頁 770円(700円)

世代的に繰り返される学歴再生産は階級が作り出すのか。文化資本論、相対的リスク回避説、トラッキング説、地位達成モデルなど、ライバル説を比較する。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita* ('14)〈371.3〉

小熊祐子・富田眞紀子・今村晴彦 著

サクセスフル・エイジング

—予防医学・健康科学・コミュニティから考えるQOLの向上

2089-0 A5判並製 248頁 3,520円(3,200円)

超高齢社会を迎え、健康的に歳をかさねることは喫緊のテーマである。「予防医学」「心理学」「コミュニティ研究」の専門家たちが、QOL向上／健康維持・増進について考えた一冊。

【図】('14)〈498.021〉

日本消費者教育学会関東支部 監修／
神山久美・中村年春・細川幸一 編著**新しい消費者教育 第2版**

—これからの消費生活を考える

2633-5 B5判並製 120頁 1,980円(1,800円)

消費者問題・運動の歴史や消費者法・行政の基本的な仕組みと役割を平易に解説、楽しい授業アイデアを盛り込んだ定番テキスト。第2版では国連SDGsの採択や民法改正による成年年齢の引下げなどを反映、「環境」の章を新設した。

('19)〈365.8〉

西村隆男 編著

消費者教育学の地平

2411-9 A5判上製 372頁 4,950円(4,500円)

持続可能な消費と生産を実現するためには日々の商品選択行動から、社会の在るべき姿を求め変革していかなければならない。教育学をはじめ、社会科学、生活科学などの分野の第一線で活躍する研究者11名による消費者教育学の集大成。

('17)〈365.8〉

橋長真紀子 著

**パーソナルファイナンス
教育の理論と実証**

—大学生の消費者市民力の育成

2540-6 A5判上製 304頁 7,480円(6,800円)

欧米でのパーソナルファイナンス(PF)教育の位置づけやカリキュラムを整理。そして、日米700名ずつの大学生を対象としたアンケート調査結果をもとに、両者の金融に関する意識の違いを明示し、PF教育の有効性を説く。

('18)〈338.12〉

渡辺靖 著

アフター・アメリカ

—ポストニエンの軌跡と〈文化の政治学〉

1078-5 四六判上製 400頁 2,750円(2,500円)

歴代大統領を輩出した「ボストン・ブラーミン」とアメリカン・ドリームを体現した「ボストン・アイリッシュ」。2つの階層を対象にした3年余のフィールドワークを軸に、米国文化の最深处をえぐりだす。2004年度・サントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞受賞。('04)〈361.8〉

ハワード・S・ベッカー 著／後藤将之 訳
アート・ワールド

2324-2 A5判並製 484頁 5,280円(4,800円)

誰もがアーティストになりうる時代の「創造のプロセス」を鮮やかに解明し、全包括的な「アート・ワールド」の理論を提示する、アメリカを代表する社会学者ベッカーの傑作。

(‘16)(702.37)

■ 社会調査

慶應義塾大学教養研究センター 監修／
西山敏樹・常盤拓司・鈴木亮子 著
実地調査入門—社会調査の第一歩

2256-6 A5判並製 144頁 1,760円(1,600円)

はじめて社会調査を行う学生を対象に、調査の計画・実施とデータ分析の基礎について、事例を交えながら説明。データの収集法や分析法はもちろん、成果をレポートやプレゼンテーションにまとめる際のポイントまで解説した入門書。

アカデミック・スキルズ

(‘15)(361.9)

慶應義塾大学教養研究センター 監修
西山敏樹・鈴木亮子・大西幸周 著
データ収集・分析入門

—社会を効果的に読み解く技法

2050-0 A5判並製 184頁 1,980円(1,800円)

正しいデータ分析とは、どのようなものか？ 研究者、大学生、大学院生、社会人に向けて、モラルや道徳を守りながら、人や組織の行動を決定づけるデータを収集・分析し、考察や提案にまとめる手法を紹介。

アカデミック・スキルズ

(‘13)(361.9)

儘田徹 著

はじめて学ぶ社会調査

—リサーチ・マインドを磨く8つのレクチャー

1979-5 A5判並製 176頁 2,000円

学部生はもちろん、社会調査の基礎を学びたい大学院生や社会人のニーズにも応える入門書。量的データ、質的データの収集・分析から倫理面まで、社会調査の基本的な考え方と進め方を体系的、具体的に解説する。

(‘12)(361.9)

S.ヴォーン・J.S.シューム・J.シナグブ 著／
井下理 監訳・田部井潤・柴原宜幸 他訳
グループ・インタビューの技法

0729-7 A5判並製 228頁 2,860円(2,600円)

米国で一般的な社会調査法の一つであるグループ・インタビューを、教育・心理学・マーケティング、コミュニケーション等への応用に主眼をおき、理念・準備・実施から分析までを具体的に解説する。

(‘99)(361.9)

加藤文俊 著

キャンプ論

—あたらしいフィールドワーク

1695-4 A5判変型並製 224頁 1,980円(1,800円)

今日から始められる、フィールドワーク入門！ 「キャンパス（教室）」に閉じこもった知の獲得方法から脱し、まちへ出かけて、いろいろな人とコミュニケーションを築くあたらしいフィールドワークを提案する。

【図】(‘09)(002.7)

浜日出夫・有末賢・竹村英樹 編著

被爆者調査を読む

—ヒロシマ・ナガサキの継承

1956-6 A5判上製 316頁 4,180円(3,800円)

非被爆者である我々は、原爆の記憶を継承することができるのか。歴史に埋もれ忘れ去られた被爆者調査を読みなおし、(生存者)である我々の〈立場性〉と、ヒロシマ・ナガサキの継承の可能性をいま改めて考える。

(‘13)(369.37)

田辺俊介 著
ナショナル・アイデンティティ
の国際比較

1712-8 A5判上製 288頁 5,500円(5,000円)

国際比較サーベイ調査のデータ分析を通じ、曖昧に語られがちなナショナル・アイデンティティという概念を明確にする意欲作！ 理論的・歴史的観点等を踏まえながら、量的調査データの統計分析を用いて詳細に論じる。

(‘10)<311.3>

■ コミュニティ

今村晴彦・園田紫乃・金子郁容 著
コミュニティのちから

—“遠慮がちな” ソーシャル・キャピタルの発見

1752-4 四六判上製 320頁 2,750円(2,500円)

健康でかつ医療費が低い地域の背景に、複雑な医療問題が見事に解決された背後に「コミュニティのちから」が存在する。そのちからをどう発揮させて「いいコミュニティ」をどう作るか。豊富な事例に基づいてそのレシピを示す。

(‘10)<498.021>

アラン・ケレハー 著／
竹之内裕文・堀田聰子 監訳
コンパッション都市

—公衆衛生と終末期ケアの融合

2826-1 四六判上製 384頁 4,620円(4,200円)

人間に不可避の老い、病、死、そして喪失を受けとめ、支え合うコミュニティをつくるにはどうすればよいか。「コンパッション都市」の基本的な思想・理論とともに、実践に向けたモデルを詳しく解説。

(‘22)<498>

横山千晶 著
コミュニティと芸術

—パンデミック時代に考える創造力

2739-4 四六判変型並製 152頁 770円(700円)

ストリート・アートや、オリンピック・文化オリンピアド構想の現状をふまえ、アフターコロナのコミュニティづくりにとって重要な鍵となる「芸術」と「創造力」について考察。クリエイティブの意味を再考し、人間存在の意義を問う。

慶應義塾大学教養研究センター選書21 (‘21)<704>

■ メディア論

ニック・クドリー 著／山腰修三 監訳
メディア・社会・世界

—デジタルメディアと社会理論

2544-4 A5判並製 448頁 5,060円(4,600円)

メディアを通じて秩序化される現代社会、そこで作用する権力作業。さまざまな社会理論を渉猟しながら、メディアが飽和する時代の正義や倫理とは何かを問う、メディア理論研究の第一人者の重要著作、待望の邦訳！

(‘18)<361.45>

大石裕 著
コミュニケーション研究 第5版

—社会の中のメディア

2810-0 A5判並製 330頁 2,970円(2,700円)

広範なコミュニケーションを考える入門書。コミュニケーションが社会の中で果たす役割、ソーシャルメディアや新たなメディアの社会的影響などを体系的に整理し、図表を掲げわかりやすく解説。

(‘22)<361.45>

山腰修三 編著

入門メディア・コミュニケーション

2444-7 A5判並製244頁 2,750円(2,500円)

法学・政治学・社会学・社会心理学の学問領域を横断したアプローチで、インターネットを含むメディアのしくみと問題点をわかりやすく解説、大きく社会を揺るがせた主要ニュースの背景もとりあげ、メディアの問題点に迫る。 (‘17)〈361.45〉

池上彰・大石裕・片山杜秀・駒村圭吾・山腰修三 著

ジャーナリズムは甦るか

2199-6 四六判並製176頁 1,320円(1,200円)

ジャーナリストの池上彰、メディア研究者の大石裕らが、日本のジャーナリズムの問題点やこれからのあるべき姿について熱く語る！ 原発報道から歴史認識問題まで、メディア、ジャーナリズムの現状と将来を考える。 【図】(‘15)〈070.21〉

大石裕 著

批判する／批判されるジャーナリズム

2397-6 四六判上製224頁 1,980円(1,800円)

メディア政治がポピュリズムの流れを加速する民主主義社会において、ジャーナリズムは鋭い問題提起を行い続けることができるのだろうか？ 自由で多様な言論の場としてのメディアとこれからのジャーナリズムのありべき姿を探る。 (‘17)〈070.21〉

田中 瑛^{あき}

〈声なき声〉のジャーナリズム

—マイノリティの意見をいかに掲げ上げるか

2963-3 四六判上製288頁 3,520円(3,200円)

誰もが情報を発信し、フェイクニュースが氾濫するこの時代に、ジャーナリストは「真正性」をいかに担保し、マイノリティの声を掲げ上げ、活性化させるべきなのか。SNS時代のジャーナリズム論。 (‘24)〈070.14〉

山腰修三 編著

対立と分断の中のメディア政治

—日本・韓国・インドネシア・ドイツ

2822-3 A5判上製248頁 3,520円(3,200円)

ポピュリズムの興隆など、民主主義とメディアの現代的危機をもたらしている対立や分断の政治を生み出す条件や特徴を、各国の事例から明らかにする。学際的なアプローチからメディアと政治の関係性に迫る！ 慶應義塾大学東アジア研究所叢書 (‘22)〈070.14〉

朝日新聞社ジャーナリスト学校・慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所編

報道現場

1761-6 四六並製200頁 2,200円(2,000円)

「アスベスト被害」「ワーキングプア」「医療事故」など新聞とテレビが近年行った報道の中から、現場からの生きた報道を通じて、ジャーナリズムの「あるべき姿」、そして新たな可能性を探る試み。 【図】(‘10)〈070.4〉

佐藤元状・坂倉杏介 編

メディア・リテラシー入門

—視覚表現のためのレッスン

1736-4 四六判変型並製120頁 770円(700円)

メディアの読み方を考える。マンガ、映画、ビデオ・アートなどのさまざまなメディアの新しい“読み方”を紹介し、面白さを体感させるメディア・リテラシー入門書。 慶應義塾大学教養研究センター選書7 (‘10)〈361.453〉

ジェニファー・M・ソール 著／小野純一 訳

言葉はいかに人を欺くか

—嘘、ミスリード、犬笛を読み解く

2745-5 四六判上製306頁 3,520円(3,200円)

嘘をつくことと、ミスリードして意図的に誤解させることには、倫理的にどんな違いがあるのだろうか。日常会話から政治における嘘や欺瞞、人種差別の発言まで、多くの事例を読み解き、言葉による印象・感情操作のメカニズムを明らかにする。 (‘21)〈801.01〉

マイク・ロスチャイルド 著／烏谷昌幸・昇亜美子 訳
陰謀論はなぜ生まれるのか
 —Qアノンとソーシャルメディア

2936-7 四六判並製 378 頁 2,970 円(2,700 円)

アメリカ連邦議会議事堂襲撃事件はなぜ起こったのか？
 世界中を震撼させた「Qアノン」現象の根源に分け入り、
 権威や既存メディアに疑問を抱き陰謀論を信じる人々の
 深層に迫る、傑作ノンフィクション。

(‘24)〈312.53〉

岩崎達也 著

実践メディア・コンテンツ論入門

2031-9 A5 判並製 224 頁 2,750 円(2,500 円)

「メディアとはなにか」の基礎理論の紹介から、スポー
 ツイベントとメディアの関係、メディアミックスの変遷
 からメディアの未来形に至るまで、クリエイターでもあ
 る著者が多角的な角度から解説する実践入門書。

(‘13)〈361.45〉

大石裕・山腰修三・中村美子・田中孝宜 編著
メディアの公共性
 —転換期における公共放送

2377-8 A5 判並製 260 頁 2,750 円(2,500 円)

メディア環境・政治・社会・経済構造の急激な変化の中
 で、問い直される「メディアの公共性」。世界的に関心
 の高まる公共放送の国際的な動向と、今後の方向性を解
 説する入門書。放送業界をめざす学生、メディア関係者
 は、必携の一冊。

(‘16)〈699.2〉

山本信人 監修／慶應義塾大学メディア・コミュニ
 ケーション研究所・NHK 放送文化研究所 編
ジャーナリズムの国籍
 —途上国におけるメディアの公共性を問う

2283-2 A5 判上製 276 頁 4,180 円(3,800 円)

急速に変貌を遂げるメディア状況のなかジャーナリズムの
 国籍性とメディアの公共性は変質を余儀なくされた。10
 の事例から途上国を取りあげることで、ジャーナリズムの
 苦悩と挑戦をめぐり出し、これからのわたしたちのジャー
 ナリズム観・市民観を再考する試み。 【図】(‘15)〈070〉

李光鎬 著

「領土」としてのメディア

—ディアスポラの母国メディア利用

2354-9 新書判並製 112 頁 770 円(700 円)

異郷にあるなら誰しもが、アイデンティティを揺さぶら
 れずにはいられない。複雑多様な母国への想いは、ごく
 何気ない、メディアの利用に託されているのだ——

ディアスポラの日常から眺望する、グローバル化の此岸。
 慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita* (‘16)〈334.4〉

金美林 著

**韓国映像コンテンツ産業の
 成長と国際流通**

—規制から支援政策へ

2011-1 A5 判上製 256 頁 3,300 円(3,000 円)

韓国文化コンテンツ振興院政策研究チーム、韓国映画振
 興委員会メンバーの経験を持つメディア研究者が、映像
 コンテンツ産業の黎明期から国際流通までの発展を、政
 府の初期の規制とその後の支援政策とともに実証的に解
 明。

(‘13)〈699.221〉

ピーター・シリングスバーク 著／
 明星聖子・大久保讓・神崎正英 訳
ゲーテンベルクからグーグルへ

—文学テキストのデジタル化と編集文献学

1671-8 A5 判上製 374 頁 3,520 円(3,200 円)

文学研究は何に基づいて行われるのか。デジタルの「本」
 の氾濫は、文学研究の制度、ひいては、人文学研究の制
 度全体に根本から揺さぶりをかける。“Google ショック”
 の本質を衝く必読書！

(‘09)〈020〉

ルー・バーナード、キャサリン・オプライエン・オキーフ、
 ジョン・アンズワース 編／明星聖子、神崎正英 監訳

人文学と電子編集

—デジタル・アーカイブの理論と実践

1774-6 A5 判並製 536 頁 5,280 円(4,800 円)

書物のデジタル化の現場で、いま、どのような変化がお
 きているのか。デジタルの「本」の今後を導く電子テキ
 スト編集のガイドラインを集約。図書館、電子出版関係
 者、そして「本」の未来を考えるすべての人に必携の
 書。

(‘11)〈021.49〉

大尾侑子 著

地下出版のメディア史

—エロ・グロ、珍書屋、教養主義

2803-2 A5判上製496頁 4,950円(4,500円)

軟派出版の世界で、道楽知識人たちは国家権力と戯れ、一大文化空間を築いた。「低俗」出版文化の歴史と「書物」「エロ」への欲望を可視化する意欲作。第44回日本出版学会賞奨励賞・第9回内川芳美記念メディア学会賞受賞。 ('22)<023.1>

小平麻衣子・井原あや・尾崎名津子・徳永夏子 編

サンリオ出版大全

—教養・メルヘン・SF文庫

2940-4 四六判上製434頁 3,960円(3,600円)

詩とメルヘン、いちご新聞、リリカ、サンリオ SF 文庫、映画……。数々の出版物と〈ギフト〉を世に送り出した、1960年代から1980代までのサンリオの多彩な文化事業に迫る。 ('24)<023.1>

谷原吏 著

〈サラリーマン〉のメディア史

2832-2 四六判上製292頁 2,640円(2,400円)

昭和・平成の映画、雑誌、ドラマ、漫画など…サラリーマンがサラリーマンをまなざすメディアの分析を通じ、大衆化と差異化という視点から、日本社会を支える〈普通の人々〉の通史を描く。 ('22)<361.84>

小林龍生 著

EPUB 戦記

—電子書籍の国際標準化バトル

2363-1 四六判上製260頁 3,300円(3,000円)

日本語の電子書籍を可能にした世界標準フォーマット“EPUB3”。デジタル社会で少数言語を救うための道程は、困難の連続だった。EPUB 策定を通して、改めて「書物の未来」を考える。 ('16)<021.4>

橋宗吾 著

学術書の編集者

2352-5 四六判上製224頁 1,980円(1,800円)

名古屋大学出版会の編集長として、数々の記念碑的な企画を世に送り出し、日本の学術書出版を牽引する著者が、編集・本造りの実際について縦横に語る、現役編集者必携、志望者必読のしなやかな鋼の如き編集論。 ('16)<021.4>

広田すみれ 著

5人目の旅人たち

—「水曜どうでしょう」と藩士コミュニティの研究

2624-3 四六判並製272頁 1,760円(1,600円)

HTBの「水曜どうでしょう」は、いかにして多くのファン(=藩士)にとって“人生になくてはならないコンテンツ”にまでなったのか？ 自らもファンである社会心理学者がこの番組が支持され続ける秘密に迫る。第35回電気通信普及財団賞テレコム社会科学賞奨励賞受賞。 ('19)<699.67>

■ ジェンダー

富田裕子・G.ダニエルズ 編／横山千晶 監訳

国際的視野からみる**近代日本の女性史**

—政治経済・労働・セクシュアリティ

2702-8 A5判上製456頁 7,920円(7,200円)

近代日本において女性解放運動家たちは、女性の地位を向上させるためにかに活動したのか。国内外の第一級の研究者たちが様々な視点から読み解く、日本の女性史研究のメルクマルとなる一冊。 慶應義塾大学法学研究会叢書別冊17 ('20)<367.21>

徳座晃子 著

(英文)

The Rise of the Feminist Movement in Japan

0731-8 B5判変型上製 304頁 3,300円(3,000円)

('99)<367.21>

平塚らいてう、市川房枝らと共に婦人参政権運動を推進し、治安警察法第五条第二項修正などを闘いとり、戦後の混乱期に主婦連合会を創設した奥むめお。彼女に焦点を当てて、日本の婦人運動史を描く。

崔誠姫 著

女性たちの韓国近現代史

—開国から「キム・ジョン」まで

2989-3 四六判並製 224頁 2,860円(2,600円)

('24)<367.221>

韓国併合、戦争協力と犠牲、独裁政権、民主化運動、フェミニズム……。開国から現代にいたるまで、朝鮮・韓国の女性はどうか、どう変わっていったのか。有名・無名のさまざまな女性たちに光を当て、近現代韓国の歴史を描きだす。

木下頌子・渡辺一暁・飯塚理恵・小草泰 編訳

分析フェミニズム基本論文集

2855-1 A5判並製 308頁 3,300円(3,000円)

('22)<367.2>

英米系の分析哲学と呼ばれる潮流のなかでフェミニズムに関わるさまざまな問いに取り組む分野「分析フェミニズム」。近年盛り上がりを見せる同分野の代表的な論文8本を形而上学、認識論、倫理学の主要なトピックから紹介する。

森田成也 著

マルクス主義、フェミニズム、セックスワーク論

—搾取と暴力に抗うため

2734-9 四六判上製 320頁 3,520円(3,200円)

('21)<367.2>

広がった格差の中で女性への差別と暴力を構造的にとらえながら、ネオリベリズムがもたらした女性搾取のための詭弁「セックスワーク論」を正面から批判し、資本主義と男性支配という現代の支配的な社会システムの悪辣さを白日のもとにさらす。

ケイト・マン 著／小川芳範 訳

ひれふせ、女たち

—ミソジニーの論理

2635-9 A5判並製 448頁 3,520円(3,200円)

('19)<367.2>

「女性嫌悪」とされるミソジニーとは何か？ 家長长制を維持するための「魔女狩り」のメカニズムを明らかにする革新的なフェミニズム思想のベストセラー。「ミソジニー」についての初めての研究書であり、フェミニズム思想を刷新した注目作。

シーラ・ジェフリーズ 著／
GC ジャパン 翻訳グループ 訳
美とミソジニー

—美容行為の政治学

2817-9 四六判上製 368頁 3,520円(3,200円)

('22)<356.7>

美容行為（産業から日常的なものまで）を、男性支配と女性の従属を促進させる「有害な文化習慣」としてとらえ、西洋中心的・男性中心的価値観を痛烈に批判する。韓国・脱コルセット運動の原点にもなった、ラディカルフェミニズムの名著。

キャスリン・ストック 著／中里見博 訳／千田有紀 解説

マテリアル・ガールズ

—フェミニズムにとって現実とはなぜ重要か

2987-9 四六判上製 384頁 3,960円(3,600円)

('24)<367.9>

生物学的性別よりもジェンダーを優先する、いわゆる「ジェンダーアイデンティティ理論」が生まれた思想的背景を丁寧に説明し、「ジェンダーアイデンティティ」とは何かを明らかにする。

佐藤文香 著

女性兵士という難問

—ジェンダーから問う戦争・軍隊の社会学

2835-3 四六判上製 330頁 2,640円(2,400円)

('22)<390>

女性兵士は男女平等の象徴か？ 戦争や軍隊は、どのような男性や女性によって担われ、いかなる加害／被害関係を生起させているのか。既存のジェンダー秩序を自明のものとすることなく、批判的に検証する。第15回昭和女子大学女性文化研究賞受賞。

クラウディア・ゴールドイン 著／鹿田昌美 訳
なぜ男女の賃金に格差があるのか
 —女性の生き方の経済学

2847-6 四六判並製 400頁 3,740円(3,400円)

20世紀アメリカの女性たちはどのように「家族」と「キャリア」を選択してきたのか。100年間の男女平等への道筋をたどりながら、膨大なデータによる実証分析から賃金格差の原因を抉り出す。著者は23年ノーベル経済学賞を受賞した。(23)<366.38>

樋口美雄・田中慶子・中山真緒 編

日本女性のライフコース

—平成・令和期の「変化」と「不変」

2921-3 四六判上製 280頁 2,420円(2,200円)

女性の働き方や生き方は、平成・令和期において、昭和の慣習からどれだけ変貌を遂げたのか？ また、いまだに変わっていないのは、どんな事柄なのか？ 長期追跡調査から、女性のライフコースの多様性を分析・解説する。(23)<367.21>

杉山恵子 著

ジェシー・ターボックス・ピールズのアメリカ

—写真が映し出した世紀末のアメリカ

1880-4 四六判上製 272頁 3,080円(2,800円)

女性像からみる19世紀末アメリカ。いまは忘れられた女性の写真家ジェシー・ターボックス・ピールズ(1870-1942)と彼女が撮影した5名の人物たちが目指した「新しいアメリカ」とは、どのような姿であったのか。(11)<285.3>

■ 家族論

津谷典子・阿藤誠・西岡八郎・福田亘孝 編著

少子高齢時代の女性と家族

—パネルデータから分かる日本のジェンダーと親子関係の変容

2498-0 A5判上製 368頁 4,950円(4,500円)

『結婚と家族に関する国際比較調査(JGGS)』の大規模パネルデータを基に、進学、就業から結婚、出産、育児、そして介護まで広範なライフステージに焦点を当て、日本社会の変容と少子化の深因を描き出す。(18)<334.31>

小泉明子 著

同性婚論争

—「家族」をめぐるアメリカの文化戦争

2700-4 四六判並製 240頁 2,200円(2,000円)

わたしたちは「家族」になれるのか？ アメリカの同性愛者の権利運動が、福音派を中心とする保守から激しい反動を受けながらも、いかに2015年に同性婚(婚姻の平等)を実現したのか、その半世紀以上にわたる歴史を辿り、日本の議論に架橋する。(20)<367.9>

高橋美恵子 編著

ワーク・ファミリー・バランス

—これからの家族と共働き社会を考える

2779-0 四六判並製 288頁 2,750円(2,500円)

スウェーデン・ドイツ・オランダの子育て世代にインタビュー調査し、男女が共に家族と仕事を両立するための政策がどのように機能し、どんな課題があるのかを生活の中からリアルに描き出す。日本が目指すべき稼得・ケア共同型社会のあり方を探る意欲的な一冊。(21)<366.7>

渡辺秀樹 著

モデル構成から家族社会学へ

2122-4 新書判並製 104頁 770円(700円)

現代社会における家族の所相やその変容を扱う「家族社会学」。その第一人者である著者の研究成果を収録し、海外の研究者たちとの出会いやその影響など、公表されていない裏側も述べられる一冊。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (14)<361.63>

デビッド・ノッター 著

純潔の近代

—近代家族と親密性の比較社会学

1423-3 四六判上製256頁 2,750円(2,500円)

わたしたちが当たり前のように思っている「愛」や「恋愛」は、歴史の産物にほかならない。日米の比較を軸に、近代日本における「愛」の歴史を辿り、日本近代の家族制度、結婚制度、文化の特徴をあきらかにする。

【図】('07)〈367.4〉

■ 現代日本社会論

中森弘樹 著

失踪の社会学

—親密性と責任をめぐる試論

2481-2 A5 判上製 368 頁 4,620 円(4,200 円)

失踪が惹起する実存的な問いを突きつめ、あなたや私がそこにいる、という一見自明の事態を根底から見つめなおす、気鋭の力作。日本社会学会第17回奨励賞・日本社会病理学会学術奨励賞（出版奨励賞）受賞。

('17)〈368〉

中森弘樹 著

「死にたい」とつぶやく

—一座間9人殺害事件と親密圏の社会学

2818-6 四六判並製328頁 1,980円(1,800円)

事件はなぜ起きたのか。「死にたい」とつぶやいた者たちは、本当に死を望んでいたのか。なぜ、家族ではなく、その外部に救いを求めたのか。SNSに溢れかえる「死にたい」の声に、私たちはどう向き合うべきか。俊英による快著。

('22)〈368〉

酒井正 著

日本のセーフティーネット格差

—労働市場の変容と社会保険

2649-6 四六判上製352頁 2,970円(2,700円)

「雇用が不安定な者ほどセーフティーネットも脆弱」というパラドキシカルな現状にどう対応すべきか。今後の改革のための指針を、「エビデンス」をもとに模索する力作！ 第63回日経・経済図書文化賞、第43回労働関係図書優秀賞、第42回サントリー学芸賞受賞。 ('20)〈364〉

朝田佳尚 著

監視カメラと閉鎖する共同体

—敵対性と排除の社会学

2586-4 A5 判上製 208 頁 4,400 円(4,000 円)

異物を敵視し、不安に揺れる私たち。なぜ監視カメラの急速な拡大が生じたのか。誰がその設置活動を担ったのか。日本社会の監視化の実態を鋭く捉えなおす力作。

('19)〈316.1〉

平田知久 著

ネットカフェの社会学

—日本の個性をアジアから開く

2590-1 A5 判上製 392 頁 4,950 円(4,500 円)

日本のネットカフェはなぜ個室なのか。アジア九都市との比較研究を通して、日本のネットカフェの特異性とコミュニケーションの可能性を探る。

('19)〈673.9〉

福田雄 著

われわれが災禍を悼むとき

—慰霊祭・追悼式の社会学

2654-0 四六判上製244頁 3,300円(3,000円)

「たまたま被災してしまった」という「偶然性」。この苦難とともに向き合い、語り、祈ることには、いかなる社会的意味があるのか。その意味を後世に託し、折り合いをつけながら生きていくための営為を辿った力作。2021年度印度学宗教学会賞受賞。 ('20)〈369.3〉

阪本真由美 著

阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか —被災者支援の30年と未来の防災

3002-8 四六判並製 224頁 2,640円(2,400円)

阪神・淡路大震災から30年。未曾有の被害をもたらした原因は何だったのか。行政アドバイザーとして被災者支援に長年携わる著者が、東日本大震災、能登半島地震、世界の事例をもとに、日本特有の防災対策システムの限界を指摘し、改革を提言する。
(24)<362>

野島那津子 著

診断の社会学

—「論争中の病」を患うということ

2726-4 A5判上製 240頁 4,180円(3,800円)

痛みや苦しみを患いながらも、医療者によって「疾患」を診断されず、あるいは診断を受けても、他者から「病い」を認められない。そんな「病い」を生きる人びとの生の困難と希望を描く。
(21)<498.04>

小熊英二・樋口直人 編

日本は「右傾化」したのか

2694-6 四六判並製 376頁 2,200円(2,000円)

ヘイトスピーチ、排外主義運動の顕在化、日本会議の台頭、改憲潮流、ネットに溢れかえる右派的言説——。はたして本当に、日本は「右傾化」したのか。個々の政権の消長を超えた次元で、日本社会全体の構造変化のなかで捉える。
(20)<311.3>

小熊英二・上野陽子 著

<癒し>のナショナリズム

—草の根保守運動の実証研究

0999-4 四六判上製 232頁 1,980円(1,800円)

保守運動「新しい歴史教科書をつくる会」の活動を担う、<普通>の市民たちのメンタリティを実証的に分析。共同性の喪失による人々の心の闇を見つめ、現代日本のナショナリズムの行方を問う。
【図】(03)<311.3>

井田良・太田達也 編

いま死刑制度を考える

2100-2 四六判並製 208頁 2,200円(2,000円)

最大の問題でありながら建設的・生産的な議論が行われない「死刑制度」。この閉塞状況を打開し相互の理解を深めるため、第一線の法律家たちが制度の存廃と今後のあり方をめぐる冷静な議論を積み重ねる。
(14)<326.41>

小林裕子 著

司法通訳人という仕事

—知られざる現場

2637-3 四六判並製 208頁 1,980円(1,800円)

法廷における通訳人の仕事は正しく歌舞伎における「黒子」である。黒子であるからこそ司法通訳にはプロフェッションとしての仕事が求められる。我が国の司法通訳に足りないものは何か。その現場から提言する。
(19)<327.6>

モリス・パーマン 著／込山宏太 訳

神経症的な美しさ

—アウトサイダーがみた日本

2856-8 A5判並製 352頁 4,180円(3,800円)

禅、民芸、京都学派、小説、アート、オタクカルチャーなど、広範囲にわたる文化事象を参照しながら、日本の精神と文化がアメリカとの接触の中でどう変容してきたかをたどり、その中にアメリカ型資本主義の限界を越える可能性を見出す。
(22)<302.1>

■ 都市論

十時厳周 編著

大都市圏の拡大と地域変動

—神奈川県横須賀市の事例

0407-4 A5 判上製 414 頁 9,460 円 (8,600 円)

戦後日本社会の変動の結果が地域社会の社会構造の中にいかなる形で現われてくるかを、東京大都市圏の一部に属する神奈川県横須賀市を対象として行なった調査を基礎に実証的に解明する。

慶應義塾大学法学研究会叢書47

(’89)〈361.7〉

長谷川一 著

ディズニーランド化する社会で 希望はいかに語りうるか

—テクノロジーと身体の変遷

2140-8 四六判並製304頁 2,750円(2,500円)

「それなりに愉しく幸福な絶望」の日常に絡めとられた私たちに、いかなる「生」が可能なのか？ 才気溢れる筆致で描く、希望のメディア論。

(’14)〈361.5〉

山本薫子 著

立ち退かされるのは誰か？

—ジェントリフィケーションと脅かされるコミュニティ

2998-5 四六判並製 288 頁 2,970 円 (2,700 円)

近年欧米で再評価が進む都市社会学者、ルース・グラス。彼女が目にした 1960 年代ロンドンの移民を襲った居住危機と、現代都市（バンクーバー、横浜・寿町）が抱える問題の共通点をフィールドワークを交えてさぐる、注目の書。

(’24)〈362〉

村上しほり 著

神戸 閨市からの復興

—占領下にせめぎあう都市空間

2566-6 A5 判上製 388 頁 4,620 円 (4,200 円)

「日本一の大閨市場」とも称された神戸 三宮の閨市。当時の人びとの活動や都市の様子を、新聞記事の引用と聞き取り調査、豊富な視覚資料にもとづき生き生きと描く。新たな都市空間の近現代史。2018 年度日本都市計画学会石川奨励賞など、3 つの学術賞を受賞！ (’18)〈518.8〉

■ 環境

A・ライト、E・カッツ 著／岡本裕一朗・田中朋弘 監訳

哲学は環境問題に使えるのか

—環境プラグマティズムの挑戦

2612-0 A5 判上製 464 頁 5,940 円 (5,400 円)

現実の環境問題について対処できない、従来の非-人間中心主義的な「環境倫理学」を批判し、プラグマティズムの転回によって新たな地平を切り開いた記念碑的アンソロジー。現代の環境倫理学の議論は本書を抜きに語れない。

(’19)〈519〉

青木淳一・一ノ瀬大輔・小林宏充 編著

環境学入門

—法学・経済学・自然科学から学ぶ

2957-2 A5 判並製 208 頁 1,980 円 (1,800 円)

20 世紀終盤から問題がより顕著にあらわれはじめて、現在も継続している環境問題である、「循環型社会」、「生物多様性」、「気候変動と温暖化対策」をテーマとして、それぞれを法学、経済学、自然科学の観点から解説。

(’24)〈519〉

一ノ瀬友博 編著

生態系減災 Eco-DRR

—自然を賢く活かした防災・減災

2717-2 A5判並製 228頁 3,300円 (3,000円)

近い将来の巨大地震・津波、河川氾濫などの増加・激甚化、さらに人口減少・超高齢化といった課題を抱えるなか、自然災害に強く持続可能な社会構築が喫緊の課題である。実証研究から政策・実践への応用まで、生態系減災を学ぶ決定版。
(21)〈369.3〉

山本信人 監修／井上真 編著

**東南アジア地域研究入門
1 環境**

2394-5 A5判並製 368頁 3,960円(3,600円)

これから東南アジアを本格的に学ぶ方へ、研究ガイドの決定版！ 本巻では、東南アジアの生態史を概観し、人間と自然生態系の関係である「生業」に着目するとともに、近年の重要な論点や現代トピックを整理し将来の課題を展望する。
(17)〈223〉

■ 国際社会

マーク・マゾワー 著／池田年穂 訳

国連と帝国

—世界秩序をめぐる攻防の 20 世紀

2243-6 四六判上製 288頁 3,080円(2,800円)

覇権を争う帝国の為政者たちは、国連に何を託したのか。20 世紀ヨーロッパ史の大家マゾワーが描く、「逆説」の理想的国際平和機構論」。解説=渡邊啓貴
(15)〈329.33〉

ピーター・ピオット 著／宮田一雄・

大村朋子・樽井正義 訳

ノー・タイム・トゥ・ルーズ

—エボラとエイズと国際政治

2197-2 四六判上製 498頁 2,970円(2,700円)

アフリカの熱帯雨林から国際政治のジャングルへ。エボラウイルス発見者の一人であり、元 UNAIDS (国連合同エイズ計画) 事務局長を務めた著者が綴る、波乱万丈の回想録。
(15)〈498〉

ピーター・ピオット 著／

宮田一雄・樽井正義 訳

エイズは終わっていない

—科学と政治をつなぐ9つの視点

2541-3 四六判上製 256頁 2,970円(2,700円)

いまま毎日約 5,000 人が HIV に感染し、約 3,000 人が死亡しているエイズ。その流行初期からエイズ問題と対峙してきた、科学者・臨床医・元 UNAIDS 事務局長の著者が、パリのコレージュ・ド・フランスで行った講義録の邦訳。
(19)〈498.6〉

翁邦雄 著

移民と AI は日本を変えるか

2611-3 四六判仮フランス装 224頁 2,200円(2,000円)

救世主か、それとも破壊者か？ 人口減少が進む日本社会に移民と AI (人工知能) が与える影響について、期待や恐れ、悲観や諦観を排しニュートラルなスタンスで現状と将来を解説した注目作！
(19)〈334.31〉

小泉康一・川村千鶴子 編著

多文化「共創」社会入門

—移民・難民とともに暮らし、互いに学ぶ社会へ

2371-6 A5判並製 218頁 2,420円(2,200円)

多様なルーツをもつ人々とともに暮らし、いのちを育み、まちを創る。地域の取組みから世界情勢まで移民・難民に関する基礎と現実をやさしく解説。高校・大学の授業や自治体・企業研修に最適の入門書！
(16)〈361.45〉

小泉康一 編著

「難民」をどう捉えるか

—難民・強制移動研究の理論と方法

2607-6 A5 判上製 408 頁 4,950 円 (4,500 円)

難民研究の対象領域、主要論点、分析方法を学際的・国際的視野から整理、基本文献から最新の事例まで包括的に紹介。研究者はじめ、自治体・政府・国際機関職員、NGO 関係者らに知的プラットフォームを提供する研究手引書。 (‘19)(369.38)

川村千鶴子 編著

いのちに国境はない

—多文化「共創」の実践者たち

2393-8 四六判並製 248 頁 2,200 円 (2,000 円)

日本人の多様化と外国人の流入により、多文化化が進む日本。いま必要なのは、多文化化のリスクを熟知し、「共創」の果実を社会に届けられる「いのちのケア」の「実践者」たちだ。学校、企業、病院……、第一線の現場から実践者たちのナマの声を届ける。 (‘17)(361.5)

柳瀬房子 著

難民に冷たい国？ ニッポン

—支援と審査の現場から

2968-8 四六判並製 336 頁 2,200 円 (2,000 円)

長らく難民支援に携わってきた著者が、出会った人々との豊富なエピソードを紹介しつつ、国籍や在留資格をはじめ出入国管理の仕組みを平易に解説。日本の難民支援の歴史と現状を学び、多文化共生に向けた課題を考える一冊。 (‘24)(361.5)

土田千愛 著

日本の難民保護

—出入国管理政策の戦後史

2938-1 A5 判上製 256 頁 4,620 円 (4,200 円)

日本は、難民政策をとりながら、いかにして出入国管理における国家主権を維持してきたのか。「庇護希望者」に、いかに救いの手を差し伸べるか。戦後日本の出入国管理政策の政策形成プロセスの検証から明らかにする。 (‘24)(369.38)

川村千鶴子 著

多文化都市・新宿の創造

—ライフサイクルと生の保障

2266-5 A5 判上製 424 頁 6,050 円 (5,500 円)

「日本で最も外国人の集まる街」＝「新宿」の外国人問題について長年にわたりフィールドワークを続けてきた著者が、「都市と市民のグローバル化」の実態と経験を「ライフサイクル」の視点で描き出す。貴重なエピソードが満載。 (‘15)(334.1)

オリヴィエ・ブランシャール、ダニ・ロドリック 編／
月谷真紀 訳／吉原直毅 解説**格差と闘え—政府の役割を再検討する**

2805-6 四六判上製 400 頁 3,520 円 (3,200 円)

ビケティ『21 世紀の資本』以降、格差をめぐって具体的な対策が期待され、その役割として政府による政策の力が見直されるようになってきた。世界トップレベルの経済学者を中心に、政策論の意見を闘い合わせたシンポジウムの記録。 (‘22)(361.8)

鈴木真弥 著

現代インドのカーストと不可触民

—都市下層民のエスノグラフィー

2282-5 A5 判上製 288 頁 6,600 円 (6,000 円)

厳しい差別を受けてきた都市の清掃カースト（パールミーキ）を事例に取り上げ、いまだ減ることのない彼らに対する暴力・差別行為に抗する組織的活動や地位向上運動から、カーストの現代的特質を論じる。第 28 回アジア・太平洋賞、平成 28 年度・第 11 回樫山純三賞受賞。【図】(‘15)(566.2)

アン・ダナム 著／加納啓良 監訳／
前山つよし 訳**インドネシアの農村工業**

—ある鍛冶村落の記録

2259-7 A5 判上製 504 頁 9,460 円 (8,600 円)

インドネシア・中部ジャワの一農村における鍛冶業は、なぜ生き延びてきたのか。経済統計と民族史データからその構造を精緻に分析し、1970 年代以降徐々に「貧困」を脱していく村の姿を丹念に描く。 (‘15)(566.2)

鈴木正崇 編

アジアの文化遺産

—過去・現在・未来

2235-1 四六判並製472頁 2,200円(2,000円)

われわれは文化遺産とどのように付き合い、活用し、未来に託していくべきか。文化遺産を単に保護・保存されるべき遺物として過去の中に閉じ込めるのではなく、「生きている遺産」として多元的に把握する試み。

東アジア研究所講座

【図】(15)〈709.28〉

■ スポーツ

松橋崇史・金子郁容・村林裕 著

スポーツのちから

—地域をかえるソーシャルイノベーションの実践

2372-3 四六判並製212頁 2,640円(2,400円)

活気のあるまちには理由がある。スポーツで人と人がつながれば、大きな「ちから」が生まれる。全国各地の成功事例から豊かなまちをつくるための考え方と方法を示す！

(16)〈780.21〉

吉田恭子 著

ベースボールを読む

2138-5 四六判変型並製116頁 770円(700円)

アメリカの「国民的遊戯」と称されるベースボールが文学作品や映像作品で表現される際の特徴を分析し、そこに透けて見えるアメリカ文化の姿、人々の希望と欲望、“神話”としてのベースボールを考察。

慶應義塾大学教養研究センター選書14 (14)〈930.29〉

慶應義塾体育会蹴球部黒黄会 編

慶應義塾体育会蹴球部百年史

0796-9 B5判上製704頁 19,800円(18,000円)

日本ラグビーのルーツ校、慶應義塾蹴球部の百年の足跡を明らかにした大著。膨大な資料を駆使して書き下ろした年史を中心に、貴重な写真を豊富に収録した。広く、ラグビー関係者・愛好者の必読の書。

(00)〈783〉

松尾俊治 著

神宮へ行こう

0826-3 四六判並製266頁 1,650円(1,500円)

東京六大学野球リーグ75年のエピソードとユニークな人物列伝を、毎日新聞野球担当記者として長年取材しつづけた著者（慶大野球部OB）が、軽妙なタッチで紹介する、野球ファン待望のエッセイ集。

【図】(00)〈783.7〉

教 育

■ 教育一般

井庭崇 編著／鈴木寛・岩瀬直樹・今井むつみ・市川力 著

クリエイティブ・ラーニング

—創造社会の学びと教育

2572-7 四六判並製 672 頁 3,960 円 (3,600 円)

子どもたちの創造力を育む、クリエイティブ・ラーニングの可能性について、気鋭の研究者・井庭崇が、鈴木寛、岩瀬直樹、今井むつみ、市川力という教育界のフロントランナーを迎え、徹底討論。

リアリティ・プラス (19)〈375.1〉

内田良 著

教育現場を「臨床」する

—学校のリアルと幻想

2905-3 四六判並製 224 頁 1,980 円 (1,800 円)

学校における喫緊の課題である「部活動」「校則」「虐待といじめ」などの問題を、著者独自の観点から多角的にデータを丁寧に分析。その結果から見える「真実」、そして子どもたちや教師たちの「苦悩」がどこにあるのかを明らかにする。

(23)〈372.1〉

田中佑弥 著

学校に行かない子どもの社会史

—不登校とフリースクールの源流

2995-4 A5 判上製 256 頁 3,960 円 (3,600 円)

「学校に行かない子ども」という問題は、どのように生まれたのか。そして学校に行かないことを、文部省が「誰にも起こりうるもの」であると認識するに至った過程はどのようなものだったのか。多様な人びとの「声」から再構成する。

(24)〈371.45〉

北條雅一 著

少人数学級の経済学

—エビデンスに基づく教育政策へのビジョン

2888-9 四六判上製 304 頁 2,970 円 (2,700 円)

少人数学級による学力・非認知能力の向上、学校教員の過重労働の軽減、教員不足解消への採用方策、教員のウェルビーイング、政策のコスト・パフォーマンス分析などの論点を、エビデンスを重視して検証する。

現代経済解説シリーズ (23)〈371.3〉

山本正身 著

日本教育史

—教育の「今」を歴史から考える

2131-6 A5 判並製 516 頁 3,300 円 (3,000 円)

「国家による国民形成」から「個人々の生の充実」をめざして。教育とは何か？ 誰のための教育なのか？ 「近代教育」が発足・確立した明治以降を中心とする、古代から現代までの日本の教育の歴史を概観。

【図】(14)〈372.1〉

福澤諭吉 著／山内慶太・西川俊作 編

福澤諭吉 教育論

—独立して孤立せず

2943-5 四六判並製 524 頁 2,530 円 (2,300 円)

教育者・福澤諭吉はどのような理念に基づき慶應義塾を創立し、教育事業を実践していったのか。現代人にも示唆に富む、その教育論を集成。慶應義塾のモラルコードである「修身要領」も収載した決定版。

(24)〈370.4〉

眞壁宏幹 編

西洋教育思想史 第2版

2658-8 A5判並製 688頁 4,180円(3,800円)

思想家の言説ばかりではなく、その周縁をも丁寧に考慮していくことにより、西洋教育思想の深淵にせまる。教育思想史テキストの決定版。第2版ではモンテーニュの教育観、ユダヤの教育思想史、保守派の教育論が加筆された。
(20)(371.23)

眞壁宏幹 著

ヴァイマル文化の芸術と教育

—バウハウス・シンボル生成・陶冶

2661-8 A5判上製 416頁 6,600円(6,000円)

古典的価値の崩壊、教育の大衆化に直面し、「現代(モデルネ)」に要請される「新しい人間」の創造を目指したバウハウス。その思想と実践をつなぎ合わせ、ヴァイマル文化のなかに一つの〈星座〉を描き出す。
(20)(707)

安藤寿康・鹿毛雅治 編

教育心理学

2035-7 A5判並製 364頁 2,500円

教育を科学的に把握するための基本となる〈発達〉と〈学習〉の心理学的メカニズムや、教育における学習環境のあり方と実践的な問題をわかりやすく解説したテキスト。
(13)(371.4)

井下千以子 編著

思考を鍛えるライティング教育

—書く・読む・対話する・探究する力を育む

2830-8 A5判並製 298頁 2,750円(2,500円)

「書くという学習経験を通して、考えるプロセスを支援する」ライティング教育についての最新の知見を集成。様々な観点からの実践報告と分析から、「書く力」を育むための方策を提示する。
(22)(816)

藤森智子 著

日本統治下台湾の「国語」普及運動

—国語講習所の成立とその影響

2306-8 A5判上製 394頁 7,700円(7,000円)

台湾総督府による日本語教育は、1930年代以降、台湾各地に設けられた「国語講習所」によって飛躍的に普及した。日本の「国語」普及政策とその実態を、文献調査とフィールドワークから明らかにしつつ、その意味を読み解く。
(16)(810.9)

山本正身 編

アジアにおける「知の伝達」の伝統と系譜

1941-2 A5判上製 376頁 3,850円(3,500円)

前近代のアジア、イスラーム世界には「知の伝達媒体」としてどのような「教育メディア」が存在したのか、そして「知の伝達」の営為にどのような影響を与えたのか。歴史・社会背景を踏まえ、新たな教育史像を再定義する。
(12)(372.2)

中西千春 著

(英文)

A Teaching Approach to Japanese College Students' EFL Writing

1276-5 B5判変型上製 216頁 3,520円(3,200円)

英語力初級～中級の学生を10年以上指導してきた著者が、仮説を実証する形で、大学生のライティング力を伸ばす教育方法についてまとめた成果。(EFL = English as a Foreign Language) (全英文)
(06)(830.7)

杉野俊子 著

(英文)

Nikkei Brazilians at a Brazilian School in Japan :

Factors affecting language decisions and education

1546-9 B5判変型上製 274頁 6,600円(6,000円)

浜松市のブラジル人学校を研究対象とし、日系ブラジル人の親が子どもの教育をブラジル人学校(ポルトガル語で教育)に託す要因を、教育観と言語選択という視点から歴史的・社会的・政治経済的側面にわたって分析・考察。
(08)(801.03)

生田久美子・北村勝朗 編著

わざ言語

—感覚の共有を通しての「学び」へ

1804-0 A5判上製400頁 3,850円 (3,500円)

「わざ」の伝承を支える「ことば」に迫る。学習者が指導者から学ぶべきものとは何か？ それはどのような言葉で促されるのか？ という問題に焦点をあて、学習者の認知プロセスを明らかにする。

(‘11)〈371.04〉

山内祐平・森玲奈・安斎勇樹 著

ワークショップデザイン論 第2版

—創ることで学ぶ

2720-2 A5判変型並製264頁 1,980円(1,800円)

ワークショップの「企画—運営—評価」のサイクルを、理論をもとにわかりやすく解説する構成はそのままだが、第2版では、適切な課題設定の仕方や、ファシリテーションについての最新の知見も盛り込み、さらに利便性を向上。

(‘21)〈379.6〉

谷口忠大・石川竜一郎 編著

コミュニケーション場の

メカニズムデザイン

2773-8 A5判並製288頁 2,970円 (2,700円)

誰もが経験する、コミュニケーションの失敗に対し、「場」のメカニズムに注目し、実践と理論の両方から検討。ビブリオバトル、ディベート、演劇ワークショップ等についての分析と、メカニズムデザイン、自然言語処理の論理的知見を加える。

(‘21)〈361.45〉

伊藤隆二 著

こころの時代の教育

0410-4 四六判上製272頁 1,600円

「こころの時代」の到来を告げ、家庭・学校・社会での教育が目指すべき方向と方法を示した教育書。本書により、「こころの教育」が各方面に芽吹きはじめるであろう。

【学】(‘89)〈370.4〉

原田亜紀子 著

デンマークのシティズンシップ教育

—ユースカウンシルにおける若者の政治参加

2825-4 A5判上製264頁 3,300円(3,000円)

政治参加を実現していく若者の育成がここにある！ デンマークの若者が政治参加のベースとしての対話と政策提言の発信方法を学ぶ過程を明示し、これからの日本の若者の政治参加の可能性や課題を提言する。

(‘22)〈372.389〉

■ 児童心理

小倉清 著

子どものこころ

—その成り立ちをたどる

0634-4 四六判並製296頁 2,640円(2,400円)

誕生から乳幼児期、小・中・高校にかけての子どものこころの形成・発達過程を、豊富な具体例を通してわかりやすく解説。著者は児童青年精神医学界で活躍中の臨床医。父母、教師に一読をすすめる。

(‘96)〈371.45〉

鯨岡峻 著

子どもは育てられて育つ

—関係発達の世代間循環を考える

1780-7 A5判上製332頁 3,300円(3,000円)

いま、子育て・保育・教育を問い直す。「育ての歪み」・「育ちの危うさ」にどう向かうか。「関係発達論」の提唱者である著者が、保育や障害児教育の現場の事例を挙げながら、子育て・保育・教育の何が問題なのかを解く。

(‘11)〈371.45〉

■ 初等・中等教育

ジェーン・R・マーティン 著／生田久美子 監訳

学校は私たちの「^{グッドライフ}良い生活」だった

2769-1 四六判上製 356頁 3,960円(3,600円)

「教える」「学ぶ」という新たな「知」を探求し続けてきた教育哲学者ジェーン・R・マーティンが、「アメリカ教育史」が語り忘れていたことを物語のように語り、教育学における「進歩主義教育」そのものを問い直す。

(21)〈371.253〉

大津由紀雄・窪蘭晴夫 著

ことばの力を育む

1471-4 B5判並製 200頁 1,760円(1,600円)

新しい小学校学習指導要領で必修化された「外国語活動」の実践方法を示すサブテキスト。子どもたちがことばの仕組みについての関心を深め、その楽しさに気づき、存分に活用できるようにするために理論と教材を提示。

(08)〈375.893〉

大津由紀雄・亘理陽一 編著

どうする、小学校英語？

—狂騒曲のあとさき

2788-2 四六判並製 360頁 2,420円(2,200円)

小学校の英語教育は、始まって20年を経た今でも多くの問題が山積している。本書は、必修化をめぐる当時の議論の基本となる12名の論考を再編。さらに、各執筆者が現状を踏まえてそれぞれの論点を検証し、英語教育への提言へとつなげる。

(21)〈375.893〉

慶應義塾幼稚舎「疎開学園の記録」編集委員会編

慶應義塾幼稚舎疎開学園の記録 上

2284-9 B5判並製 314頁 2,750円(2,500円)

70年前慶應義塾幼稚舎の生徒は、親元を離れ、伊豆修善寺さらには青森木造へと疎開した。食料難に苦しみ、敵機に脅えながらも元気に活動する生徒と、それを励ます教員の姿を、数々の貴重な証言をもとに描き出す。

(15)〈372.1〉

慶應義塾幼稚舎「疎開学園の記録」編集委員会編

慶應義塾幼稚舎疎開学園の記録 下

2388-4 B5判並製 304頁 2,750円(2,500円)

70年前慶應義塾幼稚舎の生徒は、親元を離れ、伊豆修善寺さらには青森木造へと疎開した。疎開中の生徒、教員の文章、当時を語る寄稿やインタビューをもれなく収め、一私立小学校の戦時の姿を浮き彫りにする。

(16)〈372.1〉

慶應義塾幼稚舎「疎開学園の記録」編集委員会編

慶應義塾幼稚舎疎開学園の記録(別巻)

2516-1 B5判並製 196頁 2,750円(2,500円)

70年前、慶應義塾幼稚舎の疎開した生徒と教員の生活を、貴重な証言や資料とともに明らかにする「疎開学園の記録」。別巻では、「修善寺 幼稚舎疎開学園の碑」建立の記録の他、元幼稚園舎主任 清岡暎一資料等を収録。

(18)〈372.1〉

岩田健 著／吉岡正紘・近藤由紀彦・山内慶太 編

岩田健小学校劇脚本集

—指導者の劇作り入門

2442-3 A5判並製 304頁 3,300円(3,000円)

慶應義塾幼稚舎で演劇部を創設し、学校劇作家・彫刻家として活躍した岩田健の小学校劇の脚本を一冊に集成。生徒の芸術的な創造性を伸ばすことを常に心がけていた著者によるエッセイを付す。

(17)〈376〉

満留昭久 編

学校の先生にも知ってほしい

慢性疾患の子どもの学校生活

2094-4 四六判並製 240頁 2,200円(2,000円)

慢性疾患をもつ病弱児童が学校生活を送るにあたり、保護者と学校関係者が知っておくべき基礎的な知識をコンパクトに収録。病気の基礎知識、学校生活での配慮事項などを病気ごとに解説。

子どものこころと体シリーズ (‘14)〈493.93〉

黒木俊秀 編著

発達障害の疑問に答える

2236-8 四六判並製 200頁 1,870円(1,700円)

発達障害の特性について「発達障害とは何か」「診断と治療」「保育園・幼稚園や学校での対応」「当事者や保護者・きょうだいへの配慮」と大切なポイントに焦点を当てて、研究・臨床、支援に携わる第一人者が解説。

子どものこころと体シリーズ (‘15)〈493.937〉

西間三馨 編著

学校の先生にも知ってほしい

アレルギーの子どもの学校生活

2237-5 四六判並製 224頁 1,980円(1,800円)

喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、食物アレルギーへの学校対応について、第一線の専門医が具体的に説明する。文部科学省「学校給食における食物アレルギー対応指針」も解説。

子どものこころと体シリーズ 【図】(‘15)〈493.931〉

増田健太郎 編著

学校の先生・S・Cにも知ってほしい

不登校の子どもの何が必要か

2238-2 四六判並製 224頁 2,200円(2,000円)

不登校をどのように理解し、どのようにかかわっていくべきか。予防と支援の視点から、不登校支援に長年携わっている専門家たちが結集し、大切なポイントを解説。

子どものこころと体シリーズ (‘16)〈371.45〉

■ 高等教育・大学論

荒木淳子・伊達洋駆・松下慶太 著

キャリア教育論

—仕事・学び・コミュニティ

2231-3 A5判並製 232頁 2,200円(2,000円)

大学で学ぶことは、将来のキャリアにどのようにつながっていくのか。授業、インターンシップや就職活動、そして就職後の働き方・学び方について、学習研究や教育学、心理学、経営学の諸理論からわかりやすく解説。

(‘15)〈377.9〉

小林雅之・山田礼子 編著

大学のIR

—意思決定支援のための情報収集と分析

2279-5 A5判並製 212頁 2,750円(2,500円)

学生募集、教育の質保証、外部評価対応、情報公開等々……大学につきつけられた喫緊の課題に対応するためには、学内の様々な情報を収集・分析する必要がある。大学改革の本丸ともいえるIRとは何か。その理論と実践を分かりやすく解説。

(‘16)〈810.9〉

白井厚 監修／

慶應義塾大学経済学部白井ゼミナール 著

共同研究 太平洋戦争と慶應義塾 本文篇

1710-4 A5判並製 164頁 2,640円(2,400円)

太平洋戦争当時の在學生1700名余りから回答を得たアンケートをもとに戦時下の学生の心を発掘したゼミの共同研究の成果。一義塾にとどまらない戦時史研究の貴重な史料。1999年刊の初版収録の「戦没者名簿」は義塾から別途刊行。

(‘09)〈377.28〉

神吉創二 著

伝記 小泉信三

2159-0 A5判並製 240頁 2,640円(2,400円)

【図】('14)<289.1>

塾長として戦時の慶應義塾を守り、戦後は文筆家として日本の幅広い層に影響を与え、今上天皇の皇太子時代の御教育常時参与として世に知られる小泉信三。その生涯を、平易な文体で描いた待望の伝記。

安西祐一郎 著

未来を先導する大学

—慶應義塾長、世界の学長と語る

1094-5 四六判並製 246頁 1,760円(1,600円)

日本の大学は、直面する時代状況と正面から向き合って、なにをなすべきなのか。慶應義塾長が、世界を先導する欧米やアジアの大学の総長・学長、日本財界、行政府等のトップリーダーと、大学について率直に語り合う対話集。 ('04)<377.04>

慶應義塾大学博士課程教育リーディング
プログラム「超成熟社会発のサイエンス」編
超成熟社会発展のサイエンス
—超成熟社会をリードするグローバル博士人材の育成

2265-8 四六判並製 272頁 1,760円(1,600円)

大変革の時代を担う人材の育成のために、産業界、国際機関、国・地方の政策決定の場で活躍できる「俯瞰力」「独創的な企画力」「高いマネジメント力」をもった新しい型の「博士」について、世界の5大学学長が討論する。 ('15)<377>

孫福弘・小島朋之・熊坂賢次 編著

未来を創る大学

—慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)挑戦の軌跡

1097-6 A5判上製 482頁 3,850円(3,500円)

SFCの構想段階から、90年の開設、現在に至るまでの大学改革への挑戦を詳細に検証する画期的な大学経営論。世間に衝撃を与えた先駆的な大学改革のプロセスを紹介し、SFCがめざす大学像を浮き彫りにする。 ('04)<377.28>

徳田英幸・村井純・千代倉弘明・金子郁容 編著

コラボレーション!

—SFCという「融合の現場」

1384-7 B5判変型並製 208頁 2,200円(2,000円)

SFCという「現場」で起こった、個々の研究領域の融合と、そこから示された鮮やかな未来的ビジョンとは？ コラボレーション研究を促進する「3層串刺しモデル」とは？ 学際複合領域研究の新たなスタイルを提示する。 ('07)<007>

岡部光明 著

私の大学教育論

—慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスでの実践

1325-0 四六判上製 254頁 1,980円(1,800円)

大学は社会においてどのような機能を果たすべきか。また、大学教員はどのような任務を果たすことが求められているのか。高等教育機関のあり方について、自らの実践をもとに書き綴ったエッセイ集。 【図】('06)<377.04>

岡部光明 著

大学生へのメッセージ

—遠く望んで道を拓こう

1696-1 四六判上製 438頁 3,080円(2,800円)

慶應義塾大学 SFC にて長く教鞭を執った著者が、自らの経験に基づき学問への取り組み方をアドバイス。これまでの教育・研究実践において、著者が伝えてきたこと、そして学生から受け取ってきたことは何か。 【図】('09)<377>

岡部光明 著

大学院生へのメッセージ

—未来創造への挑戦

1858-3 四六判上製 320頁 2,640円(2,400円)

慶應義塾大学 SFC にて長く教鞭を執った著者による、大学院における教育・研究のあり方についてのエッセイ・論文・書評などを集成。学部教育に重点がおかれた前著『大学生へのメッセージ』と補完的關係にある。 ('11)<377.04>

加藤三明・山内慶太・大澤輝嘉 編著
慶應義塾 歴史散歩 キャンパス編
 2469-0 A5判並製212頁 2,750円(2,500円)

安政五(一八五八)年開校の慶應義塾のキャンパスはまさに歴史の宝庫。震災や戦災といった幾多の苦難を乗り越えて発展してきたキャンパスの史跡、歴史ある建造物を隈なく解説するキャンパス・ガイド。「三田評論」の好評連載を書籍化。(17)<377.28>

加藤三明・山内慶太・大澤輝嘉 編著
慶應義塾 歴史散歩 全国編
 2470-6 A5判並製200頁 2,750円(2,500円)

全国津々浦々、果てはアメリカ、韓国まで。慶應義塾関係の史跡・ゆかりの地は広がっている。全国200カ所以上の史跡を訪ね歩いて解説する、歴史散歩のガイドブック。「三田評論」の好評連載を書籍化。(17)<377.28>

阿久澤武史 著
キャンパスの戦争
 一慶應日吉1934-1949
 2867-4 A5判並製288頁 2,970円(2,700円)

青春を謳歌していた慶應義塾大学の予科生たちが学ぶモダンな校舎はいかにして兵士たちが行き交う空間となったのか。連合艦隊司令部地下壕で知られる日吉キャンパスの誕生より米軍からの返還までを描く「戦争とキャンパス」の昭和史。(23)<377.28>

■ 家庭教育

渡辺徳三郎 著／山内慶太 編
新版 福澤諭吉 家庭教育のすすめ
 2385-3 四六判並製384頁 2,640円(2,400円)

慶應義塾幼稚舎でながく教諭をつとめ、幼稚舎長の重責を担った著者が、みずからの教育経験をふまえて福澤諭吉の教育論を再構成し、現代の保護者に家庭教育の大切さを語った著作に、教育にかかわるエッセイと付録を増補。(16)<379.9>

福沢諭吉 著／岩崎弘 訳・解説
現代語訳 童蒙おしえ草 ひびのおしえ
 1203-1 B5判変型上製368頁 3,300円(3,000円)

福沢諭吉が翻訳紹介したイソップ物語などの西洋の道徳童話集『童蒙おしえ草』と、わが子のために綴った『ひびのおしえ』を、子どもたちやその保護者にも読みやすいように、慶應義塾幼稚舎教諭の記者が現代語化。【図】(06)<913.8>

マティアス・ドゥブケ、ファブリッツィオ・ジリボッティ 著／
 鹿田昌美 訳／大垣昌夫 解説
子育ての経済学
 一愛情・お金・育児スタイル
 2711-0 四六判並製416頁 2,640円(2,400円)

先進国の子育てが全体的に「過保護」に変容してきたのはなぜか? 基本となる3つの育児スタイル、経済的な仮説をベースに、世界各国のデータ・歴史資料等を駆使して分析する。「教育の経済学」のスタンダードとなる一冊。(20)<599>

■ 特別支援教育

宍戸和成・古川勝也・徳永豊 監修／
小林秀之・澤田真弓 編

視覚障害教育の基本と実践

2861-2 A5判並製 200頁 2,420円(2,200円)

第一線の執筆陣による、特別支援教育カリキュラムに準拠した総合テキスト。教材・教具から自立活動の基本と指導、点字指導や歩行指導、情報機器の活用、職業や福祉制度まで、視覚障害教育の全体像を網羅。

特別支援教育のエッセンス (‘23)〈378.1〉

宍戸和成・古川勝也・徳永豊 監修／
宍戸和成・原田公人・庄司美千代 編

聴覚障害教育の基本と実践

2862-9 A5判並製 200頁 2,420円(2,200円)

はじめて学ぶ人や特別支援に携わる人に向けた入門テキスト。ひとりひとりの子どもに合わせたコミュニケーションの取り方や指導法、卒業後の支援まで、聴覚障害教育の第一人者が伝授する。

特別支援教育のエッセンス (‘23)〈378.1〉

宍戸和成・古川勝也・徳永豊 監修／
佐藤克敏・武富博文・徳永豊 編

知的障害教育の基本と実践

2863-6 A5判並製 200頁 2,420円(2,200円)

知的障害の特性をふまえ、新学習指導要領に準拠した学校教育活動への理解を促す。また、キャリア教育や生涯学習、合理的配慮、関係機関との連携など、実践的に役立つ内容をまとめた新しいテキスト。

特別支援教育のエッセンス (‘23)〈378.1〉

宍戸和成・古川勝也・徳永豊 監修／
徳永豊・吉川知夫・一木薫 編

肢体不自由教育の基本と実践

2864-3 A5判並製 200頁 2,420円(2,200円)

肢体不自由の子どもたちの困難さをふまえて、教材や教具を活用した学習指導や、就学前から卒業後の継続的な支援方法について理解する。これから学ぶ人、現在支援に携わる人のための最良のテキスト。

特別支援教育のエッセンス (‘23)〈378.1〉

宍戸和成・古川勝也・徳永豊 監修／
齊藤宇閑・肥後祥治・徳永豊 編

自閉スペクトラム症教育の基本と実践

2865-0 A5判並製 176頁 2,420円(2,200円)

通常学級においても知識や支援が求められる、「自閉スペクトラム症(ASD)」教育の基本をバランスよく学べる実践ガイド。特別支援学級、通常学級での指導の工夫から支援の実際までをわかりやすく解説。

特別支援教育のエッセンス (‘23)〈378.1〉

篠山大明 著

児童精神科医が語る あらためてきちんと知りたい発達障害

2917-6 四六判並製 224頁 2,090円(1,900円)

「発達障害」を知りたいすべての人に——。そもそもどんな障害なのか、「治る」ものなのか、周りの人たちはどうしたらいいのか。日々子どもたちの診療にあたっている児童精神科医がわかりやすく解説。本田秀夫氏(精神科医)推薦！ (‘23)〈493.76〉

香川邦生・大内進 編著／日本リハビリテーション連携科学学会教育支援研究会 企画
インクルーシブ教育を支える
センター的機能の充実

—特別支援学校と小・中学校等との連携
2742-4 A5判並製 264頁 2,640円(2,400円)

特別支援学校のセンター的機能への取組みについての5年にわたる調査研究に基づき、現場での課題を明示し、校内の改革や小・中学校や医療との連携など、先駆的な実践例を紹介。日本のインクルーシブ教育システム発展のための書。 (‘21)〈378〉

日本肢体不自由教育研究会 監修

肢体不自由教育の基本とその展開

1409-7 A5 判並製 264 頁 2,420 円 (2,200 円)

特別支援教育を前提に、肢体不自由教育で特に必要な知識、指導の考え方、指導内容など、基本を解説。重複障害の増加と個々の教育的ニーズにも対応。また、動作法、作業療法や音楽療法などについても紹介する。

肢体不自由教育シリーズ (07)〈378.3〉

徳永豊 著

**重度・重複障害児の
対人相互交渉における共同注意
—コミュニケーション行動の基盤について**

1575-9 A5 判上製 168 頁 3,960 円 (3,600 円)

乳幼児が獲得する「共同注意」の形成までを「三項関係形成モデル」として示し、障害が重度な子どもの事例研究によって、「自分の理解」や「他者への働きかけ」「対象物の操作」の発達の筋道を示す。

(09)〈378〉

一木薫 著

**重度・重複障害教育における
カリキュラム評価**—自立活動の課題とカリキュラム・マネジメント
2697-7 A5 判上製 208 頁 4,180 円 (3,800 円)

「個を基点とする教育」として「自立活動」が実施されるようになって半世紀。「自立活動」を教師はどう捉え指導を行ってきたのか。教師、保護者への綿密な調査を元に、これまでの成果と課題を探り出し、これからの重度・重複障害教育の指針を提示する渾身の書。

(20)〈378〉

徳永豊 編著

**障害の重い子どもの目標設定ガイド 第2版
—授業における「Sスケール」の活用**

2732-5 A5 判並製 88 頁 1,100 円 (1,000 円)

知的障害などで学ぶことの困難さが大きい子どもの学習評価の画期的なツールである「Sスケール（学習到達度チェックリスト）」の仕組み、具体的な活用方法、実践事例を解説。*本書を購入すると「学習到達度チェックリスト」等をダウンロードし使用できる。

(21)〈378〉

徳永豊・田中信利 編著

**障害の重い子どもの発達理解ガイド
—教科指導のための「段階意義の系統図」の活用**

2608-3 A5 判並製 88 頁 1,100 円 (1,000 円)

乳児の発達とその系統性を基礎に、障害の重い子どもの目標設定のための、確かな根拠を提供。さらに、発達の系統性や発達段階ごとのつながりを活用し、学びの順序性について授業の実践事例とともに解説する。

(19)〈378〉

一木薫 著

**特別支援教育のカリキュラム・マネジメント
—段階ごとに構築する実践ガイド**

2756-1 A5 判並製 96 頁 1,210 円 (1,100 円)

特別支援学校等への指導実績が豊富な著者が、10 のステップに分けて、自校の課題の洗い出し、基本の解説や事例を紹介。さらに筆者が開発したツールを用いて具体的な解決方法へ導く実践的な解説書。

(21)〈378〉

香川邦生 編著／
猪平真理・大内進・牟田口辰己 共同執筆
五訂版**視覚障害教育に携わる方のために**
2367-9 A5 判並製 320 頁 3,300 円 (3,000 円)

視覚に障害をもつ子どもの特性や心理を踏まえ、乳幼児期から学校教育を経て社会的自立に至るまで、発達段階に合わせた養育・指導上の配慮を解説。教員はもとより、保護者やボランティアにとっても必読の書。

(16)〈378.1〉

猪平真理 編著

視覚に障害のある乳幼児の育ちを支える

2497-3 A5 判並製 200 頁 2,200 円 (2,000 円)

—大切な乳幼児期の発達を促すために—
長年、視覚障害に関わる医療や教育に携わってきた著者たちが、支援や指導の基本、保護者支援の具体的な方法と配慮の仕方を伝える待望の書。

(18)〈378.1〉

牟田口辰己 著

盲児に対する点字読み指導法の研究一点字読み熟達者の手の使い方の分析を通して
2398-3 A5判上製 224頁 5,500円(5,000円)視覚障害教育の中でも特に専門性が求められるのが点字教育である。教育現場での四半世紀にわたる地道な実践をもとに、子どもの点字読速度の発達過程を探り、点字読み熟達者の調査から効率的な両手の使い方を追究する。
(17)(378.18)

文部省 著作

遊びの指導の手引

0544-6 A5判並製 320頁 1,068円(971円)

養護学校における遊びの指導を紹介している。遊びの指導は、精神薄弱児の学習上の特性をふまえ、遊びを学習の中心にすえて、児童の身体活動を活発にし、仲間との関わりを促し、意欲的な活動を育てる。

文部省・文部科学省著作物 (93)(378)

文部省 著作

日常生活の指導の手引改訂版

0556-9 A5判並製 312頁 1,014円(922円)

本書は領域・教科を合わせた指導の最も基礎的な内容を取扱う日常生活の指導について解説し、多くの指導事例を紹介したものである。

文部省・文部科学省著作物 (94)(378)

大野清志・村田茂 編

動作法ハンドブック 基礎編 改訂版
—初心者のための技法入門

0977-2 A5判並製 240頁 2,640円(2,400円)

1993年発行の『動作法ハンドブック—初心者のための技法入門』の改訂版。脳性まひの子どもについて、動作の改善のために開発された「動作法」訓練を実践する人の必携の書。

(03)(378)

大野清志・村田茂 監修

動作法ハンドブック 応用編
—行動問題、心の健康、スポーツへの技法適用

0978-9 A5判並製 308頁 3,300円(3,000円)

脳性まひの子どもの動作改善のために開発された「動作法」を、行動問題の改善やスポーツ技能の向上などに応用した技法書。脳性まひ児だけでなく、一般の人が健康な日常生活を過ごすために効果のある動作法を紹介。

(03)(378)

田中真理・川住隆一・菅井裕行 編著

東日本大震災と特別支援教育
—共生社会にむけた防災教育を

2323-5 A5判並製 244頁 3,300円(3,000円)

自閉症などの発達障害や、重度・重複障害の子どもたちと保護者の被災体験は、特別支援教育や防災対策に大きな課題を露呈した。東日本大震災の被災体験から、インクルーシブな防災教育を提言。

(16)(378)

田中真理・滝吉美知香 編著

発達障害と出会うとき
—事例と研究知見から考える自己理解と支援

2944-2 A5判並製 224頁 2,970円(2,700円)

人は自らの、そして他者の「発達障害」特性とどのように出会うのか。真に対等な共生意識を育むには、どのような自己理解・他者理解が求められるのか。事例、研究知見と支援をつなぐ試み。

(24)(493.7)

牛島定信 著

心の健康を求めて
—現代家族の病理

0722-8 四六判並製 274頁 2,530円(2,300円)

精神科医として多くの患者の心を癒してきた著者の、現代人へのメッセージ。精神病理の病態や患者の家族へのアドバイス等を、豊富な症例を挙げてわかりやすく述べる。

(98)(493.7)

■ 博物館学

ミヒヤエル・パーモンティエ 著／眞壁宏幹 訳

ミュージアム・エデュケーション

—感性と知性を拓く想起空間

1967-2 四六判上製 300頁 4,180円(3,800円)

ミュージアムの使命は、モノが物語るその歴史や思想と向き合い、「自分」について、そして「自分」と世の中とのつながりを再構築していく空間を創造することである。その新しいあり方として、ヴァーチャル・ミュージアムの試みを紹介する。 (‘12)〈069〉

眞壁宏幹・眞壁ゼミ 著

デジタル世界図絵

—ヴァーチャル・ミュージアムの取組み

2859-9 新書判並製 112頁 770円(700円)

自分がこれまで関わってきた人やモノを通して自己形成について考察を深めるための「ヴァーチャル・ミュージアム デジタル世界図絵」という取組み。その具体的事例とともに、教育的可能性を提示する。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (‘22)〈371〉

中尾知彦 著

アーツ・マネジメントの基本

2766-0 新書判並製 120頁 770円(700円)

内外の動向と歴史を踏まえた標準的な内容の「アーツ・マネジメント」。非営利と営利の芸術組織のアーツ・マネージャーにとって習得が不可欠となる基本書。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (‘21)〈709〉

芸術

■ 芸術一般

横山千晶 著

コミュニティと芸術

—パンデミック時代に考える創造力

2739-4 四六判変型並製 152頁 770円(700円)

ストリート・アートや、オリンピック・文化オリンピックド構想の現状をふまえ、アフターコロナのコミュニティづくりにとって重要な鍵となる「芸術」と「創造力」について考察。クリエイティブの意味を再考し、人間存在の意義を問う。

慶應義塾大学教養研究センター選書21 (‘21)〈704〉

中尾知彦 著

アーツ・マネジメントの基本

2766-0 新書判並製 120頁 770円(700円)

内外の動向と歴史を踏まえた標準的な内容の「アーツ・マネジメント」。非営利と営利の芸術組織のアーツ・マネージャーにとって習得が不可欠となる基本書。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (‘21)〈709〉

ハワード・S・ベッカー 著／後藤将之 訳

アート・ワールド

2324-2 A5判並製 484頁 5,280円(4,800円)

誰もがアーティストになりうる時代の「創造のプロセス」を鮮やかに解明し、全包括的な「アート・ワールド」の理論を提示する、アメリカを代表する社会学者ベッカーの傑作。

(‘16)〈702.37〉

眞壁宏幹 著

ヴァイマル文化の芸術と教育

—バウハウス・シンボル生成・陶冶

2661-8 A5判上製 416頁 6,600円(6,000円)

古典的価値の崩壊、教育の大衆化に直面し、「現代(モデルネ)」に要請される「新しい人間」の創造を目指したバウハウス。その思想と実践をつなぎ合わせ、ヴァイマル文化のなかに一つの〈星座〉を描き出す。

(‘20)〈707〉

眞壁宏幹・眞壁ゼミ 著

デジタル世界図絵

—ヴァーチャル・ミュージアムの取組み

2859-9 新書判並製 112頁 770円(700円)

自分がこれまで関わってきた人やモノを通して自己形成について考察を深めるための「ヴァーチャル・ミュージアム デジタル世界図絵」という取組み。その具体的事例とともに、教育的可能性を提示する。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (‘22)〈371〉

横山千晶 著

ジョン・ラスキンの労働者教育

—「見る力」の美学

2515-4 四六判変型並製 120頁 770円(700円)

19世紀イギリスの思想家ジョン・ラスキンが労働者大学で行った教育の実態を平易に描きだし、ラスキンと労働者たちの実践が、現代における教養教育(再生)へのヒントとなりうることを示唆する。

慶應義塾大学教養研究センター選書18 (‘18)〈707.7〉

■ 美学

ウンベルト・エーコ 著／和田忠彦 監訳／
石田隆太・石井沙和 訳／山本芳久 解説
中世の美学
—トマス・アクィナスの美の思想
2846-9 四六判上製 352頁 4,620円(4,200円)

「暗黒の中世」を打ち崩す、美に溢れた世界——。
中世に美学は存在しないという定説を覆し、一貫した美
の思想が流れることを明らかにした、エーコの原点にし
て『薔薇の名前』に結実する名著、待望の邦訳刊行。
(‘22)〈701.1〉

ネルソン・グッドマン 著／戸澤義夫・松永伸司 訳
芸術の言語
2224-5 四六判上製 352頁 5,060円(4,600円)

芸術を〈記号システム〉として解説し、記号の一般理論
を構築する。絵画、音楽、ダンス、文学、建築……芸術
へのアプローチを根本的に転換した 20 世紀美学の最重
要著作を邦訳。

(‘17)〈701.1〉

源河亨 著
知覚と判断の境界線
—「知覚の哲学」基本と応用
2426-3 四六判上製 264頁 3,740円(3,400円)

この一冊で「知覚の哲学」の全貌がわかる。「知覚の哲学」
の基本トピックを整理・紹介しつつ、心理学・認知科学・
美学などの知見を交え、「見ることと考えることの境界線」
を探る、現代哲学の最先端。

(‘17)〈115〉

リチャード・ウォルハイム 著／松尾大 訳
芸術とその対象
2684-7 四六判上製 320頁 4,620円(4,200円)

再現や表現、意図の意味など、美学の基本問題について
現在の定説を基礎づけた 1968 年刊行のロングセラー。
芸術作品を哲学的に考察し、文化や社会においてそれら
がどのような役割を果たしているか明らかにする。

(‘20)〈701.1〉

アーサー・C・ダントー 著／松尾大 訳
ありふれたものの変容
—芸術の哲学
2484-3 四六判上製 372頁 5,060円(4,600円)

アンディ・ウォーホルの《プリロ・ボックス》はなぜ芸術
なのか？ 芸術表象を独自に解釈し、メタファー、表現、
様式を体系的に説明する。平凡なものがどのように芸術に
なるのか、哲学的に明らかにする 20 世紀美学最大の成果。
(‘17)〈701〉

松永伸司 著
ビデオゲームの美学
2567-3 A5 判並製 376頁 3,520円(3,200円)

産業規模の拡大とともに、文化的重要性が増しつつある
ビデオゲーム。スペースインベーダー、スーパーマリオ
ブラザーズ等、多くの事例をとりあげながら、ビデオゲー
ムを芸術哲学の観点から考察し、理論的枠組みを提示す
る画期的な一冊。
(‘18)〈797.9〉

セオドア・グレイシック 著／源河亨・木下頌子 訳
音楽の哲学入門
2588-8 四六判上製 208頁 2,750円(2,500円)

気鋭の研究者による、音楽の哲学および芸術の哲学の入門
書。単なる音と音楽の違い、音楽鑑賞に必要な知識、音楽
と情動の関係、音楽経験がもたらすスピリチュアリティなど、
古くから議論されてきた問題を取りあげ、音楽を哲学的
的に考察する。
(‘19)〈760.1〉

源河亨 著

悲しい曲の何が悲しいのか

—音楽美学と心の哲学

2634-2 四六判上製 228頁 2,750円(2,500円)

「音楽聴取」に焦点をあわせ、美的判断の客観主義を擁護する立場をとりつつ、音とは何か、なぜ人は悲しい音楽を聴くのか、音楽と情動はどのように結びついているのか、などさまざまなトピックについて論じていく野心作。

('19)<702.37>

ジョゼフ・カーマンほか 著／福中冬子 訳・解説

ニュー・ミュージコロジー

—音楽作品を「読む」批評理論

1978-8 A5判並製 468頁 3,520円(3,200円)

ポスト構造主義、記号論、ジェンダー論など幅広い領域にクロスオーバーする理論と動機に基盤をおく「ニュー・ミュージコロジー」の全容を、世界的権威の主要論文の翻訳および訳者の詳細な解説で紹介する、本格的入門書。

('13)<761>

ジャン＝マリー・シェフェール 著／久保昭博 訳

なぜフィクションか？

—ごっこ遊びからバーチャルリアリティまで

2575-8 A5判上製 352頁 5,500円(5,000円)

物語論、哲学、人類学、心理学、認知科学等の観点から、文学や映画からビデオゲームにいたるあらゆるフィクションの形式を分析し、フィクションを人類に普遍的に備わる「心的能力」としてとらえなおす。

('19)<701>

ジョルジョ・アガンベン 著／高桑和巳 編訳

ニンファ その他のイメージ論

2142-2 四六判上製 272頁 3,520円(3,200円)

重要論文「ニンファ」をはじめ、アガンベンのイメージ論、絵画論 20 篇を編訳者が独自に集成。イメージを問い求めるなかで、折に触れて書き継がれた論考群から、アガンベンの唱える美学・政治・倫理が浮き彫りになる。

('15)<704>

■ 美術

池野絢子 著

アルテ・ポーヴェラ

—戦後イタリアにおける芸術・生・政治

2318-1 A5判上製 384頁 5,940円(5,400円)

戦後イタリアの芸術運動「アルテ・ポーヴェラ」とはいったい何だったのか？ その特異な前衛芸術運動の歴史的変遷を辿りつつ、個々の芸術家の作品を地政学的観点から捉えなおし、一連の活動の輪郭を浮かび上げさせる力作。

('16)<702.37>

島田真琴 著

アート・ロー入門

—美術品にかかわる法律の知識

2741-7 A5判並製 362頁 3,740円(3,400円)

近年、世界的美術品市場は急拡大しており、それに伴いアートをめぐる紛争も多発している。弁護士はもちろん、美術品を仕事で扱う人をはじめ、アートに関わる全ての方が活用できるよう、幅広い観点から、アートをめぐる法律についてわかりやすく解説。

('21)<709.1>

島田真琴 著

アート・ローの事件簿

—盗品・贋作と「芸術の本質」篇

2883-4 四六判並製 232頁 2,420円(2,200円)

ダ・ヴィンチ、エゴン・シーレ作品といった著名な絵画の真贋や盗品に関する事件など数々の裁判事件を紹介。美術品にまつわる事件の「面白さ」に加え、アート法の世界を楽しむことのできる 1 冊。

('23)<709>

島田真琴 著

アート・ローの事件簿

—美術品取引と権利のドラマ篇

2884-1 四六判並製 232頁 2,420円(2,200円)

アートマーケットが盛況のいま、比例して美術品に関する裁判事件も増加している。アートと著作権、外国の美術館からの取り戻し、環境保全に関する事件など、特にアートとマーケットにかかわる数々の裁判事件を紹介する。

(‘23)〈709〉

島田真琴 著

美術館・博物館の事件簿

2999-2 四六判並製 240頁 2,640円(2,400円)

日本の3つの「ダリ展」、大英博物館の収蔵品、琉球王家の遺骨、表現の不自由展、重要文化財准贓観音立像…。アートの世界の内幕と真実とは？ 16の法廷ドラマと15のコラムから美術館・博物館の舞台裏を明らかにする。

(‘24)〈709〉

林温 著

日本美術がワカル本

—「女性性」の文化

2488-1 新書判並製 100頁 770円(700円)

味があるのはワカルけど、ホントのところはワカラナイ日本の美術。浮世絵、仏像、水墨画——。西洋・中国と比べて見えてくる、「女性性」の伝統をこの一冊でダイジェスト。日本美術で感動するための入門書。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (‘17)〈702.1〉

内藤正人 著

浮世絵とパトロン

—天皇・将軍・大名の愛した名品たち

2118-7 四六判並製 224頁 2,750円(2,500円)

葛飾北斎『西瓜図』、歌川国芳『山王祭礼』、などの名品の数々を、天皇や将軍や大名たちはどのように愛し収集したのか。江戸初期から幕末までの作品を丁寧に読み解き、浮世絵の文化的・歴史的背景を浮き彫りにする。

【図】(‘14)〈721.8〉

浮世絵ってどうやってみるんだ？ 会議編

触れ、語れ

—浮世絵をめぐる知的冒険

1836-1 四六判変型並製 114頁 770円(700円)

慶應義塾が所有する浮世絵コレクションを通じて、江戸時代の出版文化を知る。また、視覚障害者のための触図を作る試みから、新たな表現力や想像力を養う方法を模索する。

慶應義塾大学教養研究センター選書9 (‘11)〈721.8〉

慶應義塾大学アート・センター 編

瀧口修造 1958 —旅する眼差し

1662-6 [写真集]B5判変型上製 144頁+[解説書]B5判変型並製 224頁+付録4種 55,000円(50,000円)

詩人・瀧口修造が、1958年にヨーロッパを周遊した際、みずからシャッターを切り、遺した写真を集成。写真集に加え、瀧口綾子宛書簡、解題、旅程を収録した「解説書」などを特製ボックスに収めた愛蔵版。

(‘09)〈748〉

安藤京子 著

緑の画家 鈴木信太郎

—喪失と折り

2188-0 四六判上製 144頁 2,970円(2,700円)

鈴木信太郎(1895～1989年)は、15歳で白馬会洋画研究所に入所、のちに石井柏亭に師事し、一陽会を結成した洋画家。その複雑で奥行きのある緑を使う画風から、「緑の画家」と評された。没後25年を記念してはじめての評伝を刊行。

(‘14)〈723.1〉

望月典子 著

タブローの「物語」

—フランス近世絵画史入門

2709-7 新書判並製 104頁 770円(700円)

タブロー(tableau)とは、板あるいは画布に絵の具で描かれた、持ち運び可能なイメージを意味するフランス語。このタブローから西洋絵画の歴史を捉えなおし、そこに何が描かれてきたかを論じる。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita (‘20)〈723.35〉

石多正男 著

リット 歌曲と絵画で学ぶドイツ文化史

—中世・ルネサンスから現代まで

2147-7 A5判並製 344頁 2,970円(2,700円)

【図】('14)〈234〉

音楽、絵画、ドイツ社会史それぞれの領域に関心のある読者の知識をつなぎ、ドイツの文化と社会に対する一層の理解を促す良質な新しいタイプの、ドイツ文化入門書！

エセル・メレ 著／寺村祐子 訳・著

植物染色

1123-2 A5判変型並製 112頁 2,200円(2,000円)

【図】('04)〈753.8〉

世界的染織家エセル・メレの著書“Vegetable Dyes”を、日本の羊毛染織の第一人者が初翻訳、紹介。夫人と日本との関わりを中心にした解説「メレ夫人とニッポン」を取めた、染織愛好家向けのブックレット。カラー口絵4頁。

高山晶 著

ピエール・バルブト

—知られざるオリエンタリスト

1481-3 四六判上製 284頁 3,520円(3,200円)

【図】('08)〈289.3〉

謎の日本美術蒐集家バルブトと明治の挿絵本。フランス寓話と浮世絵が出会ったとき——、浮かび上がる日仏文化交流史のひとつを紹介する。第24回(2008年)ヨゼフ・ロゲンドルフ賞受賞。

■ 写真

荒金直人 著

写真の存在論

—ロラン・バルト『明るい部屋』の思想

1670-1 四六判上製 168頁 2,420円(2,200円)

('09)〈740.4〉

ロラン・バルト最期のテキスト『明るい部屋』に深く寄り添い、バルトが企てた「写真の存在論」を引き受け、写真と経験、経験と存在、存在と写真の関係を読み解く注目の書。

杉山恵子 著

ジェシー・ターボックス・ピールズのアメリカ

—写真が映し出した世紀末のアメリカ

1880-4 四六判上製 272頁 3,080円(2,800円)

('11)〈285.3〉

女性像からみる19世紀末アメリカ。いまは忘れられた女性の写真家ジェシー・ターボックス・ピールズ(1870-1942)と彼女が撮影した5名の人物たちが目指した「新しいアメリカ」とは、どのような姿であったのか。

■ デザイン

脇田玲 著

デザイン言語入門

—モノと情報を結ぶデザインのために知っておきたいこと

1692-3 四六判上製 154頁 1,980円(1,800円)

('09)〈757.04〉

デザイン言語とは何か？人と人工物の理想的なインタラクションをデザインするために、デザイン言語のさまざまな知見を提供する。『デザイン言語』『デザイン言語2.0』に続く第3弾。

奥出直人・後藤武 編

デザイン言語

—感覚と論理を結ぶ思考法

0912-3 A5判並製344頁 2,640円(2,400円)

イメージや空間を操作し創造するためのツールとしてのデザイン＝言語。デジタル情報環境が拡張する中で、デザインに失われつつある身体性を回復するために、「感覚」と「論理」の統合による新たなデザイン(思考法)を提示。 ('02)<757>

脇田玲・奥出直人 編

デザイン言語 2.0

—インタラクシオンの思考法

1236-9 A5判並製352頁 2,750円(2,500円)

『デザイン言語』の第2弾。より実作(デザインプロセス)に重きを置いた構成で、優れたデザインが創造される現場の思考法がわかる。身体性と知覚のデザインを基軸に、テクノロジーと感覚の新しい関係性に着目する。 ('06)<757.04>

山中俊治・脇田玲・田中浩也 編著

X - DESIGN

—未来をプロトタイプングするために

2012-8 A5判並製288頁 2,640円(2,400円)

世界の第一線で活躍するデザイナーやアーティストをディレクターとした、「モノづくり」の新しい形を探る10の実験工房の活動とその成果を追う。『デザイン言語』『デザイン言語 2.0』から進化した、刺激的な挑戦! ('13)<757.04>

スタン・ナイト著/高宮利行監修/安形麻理訳

西洋活字の歴史

—ゲーテンベルクからウィリアム・モリスへ

2111-8 B4判変型上製108頁 6,600円(6,000円)

活版印刷の誕生から20世紀初頭までのすぐれた活字体を時代順に紹介。インクのにじみが見えるほどの迫力あるオリジナル写真と明快な解説で、西洋活字のつくりと歴史を同時に学べるヴィジュアル・ブック。 【図】('14)<749.41>

阿部卓也 著

杉浦康平と写植の時代

—光学技術と日本語のデザイン

2880-3 A5判上製488頁 4,400円(4,000円)

杉浦康平は写植という新たな技術といかに向きあい、日本語のデザインと格闘したのか。杉浦康平が日本語のレイアウトやブックデザインに与えた決定的な影響を明らかにする。第77回毎日出版文化賞特別賞・第45回サントリー学芸賞・第45回日本出版学会賞受賞。 ('23)<749.1>

多木陽介 著

プロジェクトイスタの控えめな創造力

—イタリアンデザインの静かな革命

2985-5 四六判並製288頁 4,180円(3,800円)

デザイン黎明期の戦後イタリアで建築家やデザイナーとして生きた彼らは、自らを「プロジェクトイスタ」と称した。人びとの暮らしに寄り添い、人間的なクリエイションに心血を注いだ探究者たちの理念と行動、そしてその継承可能性に迫る。 ('24)<757.023>

音楽

滝藤早苗 著

ライヒャルト

—ゲーテ時代の指導的音楽家

2489-8 A5判上製592頁 15,400円(14,000円)

ライヒャルトは、プロイセンの宮廷音楽長を務めながら、世界初の音楽評論家としても活躍し、近代ドイツ文化に大きな影響を与えた。ゲーテをはじめ、錚々たる面々と交流をもち、ジャンルを問わない活躍を見せた才人の生涯を、鮮麗に描く。第3回西脇順三郎賞受賞 ('17)<762>

太田峰夫 著

バルトーク

音楽のプリミティヴィズム

2472-0 A5判上製 280頁 4,950円(4,500円)

バルトークの創作における、モダニスト作曲家としての一面と、文化ナショナリズムの一面とが、どのような関わりをもっていたのかを分析し、バルトークの作品様式にも同じ二面性があらわれていることを論証する。

(17)<762.347>

ソロモン・ヴォルコフ 著／亀山郁夫・梅津紀雄・前田和泉・古川哲 訳

シヨスタコーヴィチとスターリン

2499-7 四六判上製 560頁 6,380円(5,800円)

スターリンによる大粛清の嵐のなか、シヨスタコーヴィチは全体主義と芸術の相克をどのように乗り越えようとしたのか。天才芸術家と独裁者の奇妙な「共犯」関係を暴きだす快著。

(18)<762.38>

きむそんみん

金成 玫 著

日韓ポピュラー音楽史

—歌謡曲から K-POP の時代まで

2935-0 四六判並製 312頁 2,750円(2,500円)

今や世界的人気を誇る K-POP アーティストたち。彼らの活躍の裏には日韓がおりなした数十年にわたる歴史があった。日本と韓国はいかに自己／他者のイメージを構築し、欲望しあい、「POPの夢」を見たか。もうひとつの日韓戦後史を描き出す。

(24)<767.8>

■ 映画

滝浪佑紀 著

小津安二郎 サイレント映画の美学

2619-9 A5判上製 340頁 4,620円(4,200円)

ハリウッド映画に強く魅せられた若き日の小津はどのように映画表現を發展させたのか。ハリウッド映画との比較、ヨーロッパ前衛映画論への参照から、初期小津作品の映画の達成を検証する野心作。

(19)<778.21>

佐藤元状・富塚亮平 編著

『ドライブ・マイ・カー』論

2881-0 四六判並製 256頁 2,420円(2,200円)

アカデミー賞国際長編映画賞、カンヌ国際映画祭脚本賞、全米批評家協会賞 4 冠などに輝いた濱口竜介監督の『ドライブ・マイ・カー』。世界を席巻した本作について、アメリカ、日本、香港、台湾、韓国の研究者が徹底分析。

(23)<778.213>

佐藤元状 著

グレアム・グリーン
ある映画的人生

2510-9 四六判上製 368頁 3,080円(2,800円)

文学史と映画史を交差させながら、シネフィルで映画批評家だった小説家グレアム・グリーン創造の軌跡をよみがえらせ、グリーンを〈遅れてきたモダニスト〉として捉えなおす。第 10 回表象文化論学会賞受賞。

(18)<930.28>

■ 演劇

高橋悠介 著

禪竹能楽論の世界

2099-2 A5 判上製 472 頁 7,260 円(6,600 円)

ポスト世阿弥時代に「天下第一の上手」と称えられた能作者、金春禪竹（1405～70 前後）。その身体論や世界観を、荒ぶる神と仏が織りなす宗教思想のダイナミズムの中から明らかにする。能楽研究・思想史研究に新たな地平を切り拓く一書。 ('14)〈773.8〉

渡辺保 著

吉右衛門

—「現代」を生きた歌舞伎役者

2902-2 四六判上製 352 頁 3,520 円(3,200 円)

歌舞伎の世界に現代にも通じる「人間」を発見し、先人からの型を身体化すると同時に、現代的な意味を付与した吉右衛門。細部にこそ神が宿る吉右衛門の舞台の景色を描いて、その芸を後世に伝える。 ('23)〈774.28〉

石川巧 著

レーゼ・ドラマ

読む戯曲の読み方

—久保田万太郎の台詞・ト書き・間

2853-7 A5 判上製 256 頁 5,500 円(5,000 円)

久保田万太郎は自身の創作世界をどのように構築していったのか、小山内薫らと始めた〈古劇研究会〉、小説と戯曲を溶解させたかのようなト書き、草創期のNHKラジオ・ドラマに深く関わったことなど、万太郎の戯曲世界を読み解いていく。 ('22)〈912.6〉

石川実 著／訳

新体シェイクスピア

0921-5 A5 判並製 160 頁 2,200 円(2,000 円)

学校演劇を長く指導してきた著者がその体験をもとに、シェイクスピアの名作のハイライト場面はそのままに、「語り」を導入して短時間で上演できるように考案したシナリオ集。 【学】('02)〈932.5〉

石川実 著／訳

続・新体シェイクスピア

1898-9 A5 判並製 256 頁 2,420 円(2,200 円)

名作を短時間で上演できるように考案したシナリオ集第2弾。シェイクスピア劇のエッセンスを味わう読み物としても最適。収録作品は『ジュリアス・シーザー』『冬物語』『オセロウ』『リア王』『マクベス』。 ('11)〈932.5〉

田中實 著

シェイクスピアの宇宙

—英知は時空を超えて

1697-8 A5 判上製 308 頁 3,520 円(3,200 円)

シェイクスピア作品にちりばめられた機智に富んだ数々の名言から文体論の研究まで、シェイクスピアを多角的にみつめ、その奥深い世界を多角的に探求した研究書。 ('09)〈932.5〉

■ 舞踊

アニエス・イズリーヌ 著／岩下綾・松澤慶信 訳

ダンスは国家と踊る

—フランス コンテンポラリー・ダンスの系譜

1786-9 四六判上製 312頁 3,080円(2,800円)

「調和」、「秩序」、「中央集権」を表象していたフランスのダンスは、20世紀、多くの革新的試みの洗礼を受ける。今ふたたび国家と手を取り合い踊り始めるのか。身体を揺さぶるコンテンポラリー・ダンスの世界。

【図】('10)〈769.35〉

川崎市岡本太郎美術館・
慶應義塾大学アート・センター 編

土方巽の舞踏 (CD-ROM 付)

—肉体のシュルレアリスム 身体のオントロジー

1051-8 B5判並製 200頁 5,280円(4,800円)

本邦初公開を含む 600点余りの写真や交流のあった芸術家たちの証言などから、舞踏家土方巽の全貌に迫る。土方巽の二大代表作『肉体の叛乱』『痲瘡譚』の貴重な舞台記録映像(各10分・CD-ROM)を初提供。

【図】('04)〈769.1〉

細江英公 写真／鎌鼬美術館 編著

鎌鼬 田代の土方巽

2387-7 B5判(ヨコ)上製 64頁 2,970円(2,700円)

写真家・細江英公が、舞踏家・土方巽を撮影した『鎌鼬』を、秋田県田代の鎌鼬美術館の編集により再構成した「田代バージョン」。写真17葉を収め、さらに東京、筑波の写真も掲載。瀧口修造の序文、横尾忠則のポスター、解説付。

('16)〈769.1〉

シルヴィア・バジェス 著／パトリック・ドゥヴォス 監訳／
北原まり子・宮川麻理子 訳

欲望と誤解の舞踏

—フランスが熱狂した日本のアヴァンギャルド

2410-2 A5判並製 384頁 5,940円(5,400円)

日本の前衛芸術「舞踏」は、フランスでどのように受容され、発展したのか? 舞踏をめぐる文化のダイナミズムを明らかにし、身振りを介した日欧の歴史を亡霊のごとく浮かび上がらせる、革新的な日本文化受容論。

('17)〈769.1〉

文 学

■ 日本文学

田坂憲二 著

日本文学全集の時代

—戦後出版文化史を読む

2511-6 四六判上製 296頁 2,640円(2,400円)

六〇年代を中心に多くの文学全集が妍を競っていた頃、出版社は叡智を傾けて様々な企画を練っていた。出版がもっとも光り輝いていた〈あの時代〉を、文学全集の書誌学的調査を通して詳細に描き出す。

(‘18)〈918.6〉

田坂憲二 著

源氏物語の政治と人間

2473-7 A5 判上製 408頁 9,350円(8,500円)

古代から現代に到るまで、無数の人々を惹きつけてきた物語を四つの視角から読み解き、緻密極まりないその構造を明らかにする。『源氏物語』研究における〈政治の季節〉を牽引してきた著者の、物語読解へのあらたな挑戦を集成する、待望久しい論文集。

(‘17)〈919.268〉

佐谷眞木人 著

江戸の花道

—西鶴・芭蕉・近松と読む軍記物語

2890-2 四六判上製 272頁 3,520円(3,200円)

西鶴・芭蕉・近松の諸作品から幕末の河竹黙阿弥の歌舞伎に至るまで、その特徴的な作品を幅広く取り上げてその影響を詳細に検討し、江戸文芸の「花道」にあらわれた近世の世界認識を提示する。

(‘23)〈910.25〉

桑原三郎 著

福澤諭吉と桃太郎

—明治の児童文化

0621-4 A5 判上製 404頁 5,126円(4,660円)

赤本豆本の桃太郎から日本国の桃太郎へ変わる過程、明治初期のキリスト教の子供向け啓蒙書、明治6年「小学読本」の野球の挿絵等、文明開化期の日本の児童文化、児童文学について幅広く紹介している。

(‘96)〈909〉

坂口周 著

意志薄弱の文学史

—日本現代文学の起源

2366-2 A5 判上製 456頁 4,180円(3,800円)

近代から現代に至る文学の「視覚性」に注目し、日本に脈々と流れる「曖昧」の系譜を辿ることで、「意志」をめぐる近代の激しい攻防をあぶりだす。日本文学史を読むかえる、俊英による革命的な文学論。

(‘16)〈910.26〉

飛ヶ谷美穂子 著

漱石の書齋

—外国文学へのまなざし 共鳴する孤独

2490-4 四六判上製 304頁 2,750円(2,500円)

ピーコック、ブラウニング、シェンケヴィイチ、ウィリアム・シャープなど、漱石の蔵書を手がかりに作品を読み解き、〈東洋と西洋〉、〈影響と需要〉という二項対立を超えた、その〈現代性〉を明らかにする。

(‘17)〈910.268〉

永井荷風 著／持田叙子・高柳克弘 編著
美しい日本語 荷風Ⅰ
季節をいとおしむ言葉

2616-8 四六判上製 228頁 2,970円(2,700円)

永井荷風の生誕 140 年、没後 60 年を記念して、荷風研究の第一人者で作家・持田叙子、気鋭の俳人・高柳克弘が、荷風の美しい日本語を詩・散文、俳句から選りすぐり、堪能できる全三巻のアンソロジー、第一巻。

(19)〈910.268〉

永井荷風 著／持田叙子・高柳克弘 編著
美しい日本語 荷風Ⅱ
人生に口づけする言葉

2617-5 四六判上製 224頁 2,970円(2,700円)

永井荷風「生誕 140 年、没後 60 年」記念出版。荷風の美しい日本語を堪能できるアンソロジーを全 3 巻で刊行。第Ⅱ巻「人生に口づけする言葉」では、楽しさを発見する達人荷風をテーマに収録。

(20)〈910.268〉

永井荷風 著／持田叙子・高柳克弘 編著
美しい日本語 荷風Ⅲ
心の自由をまもる言葉

2618-2 四六判上製 224頁 2,970円(2,700円)

永井荷風「生誕 140 年、没後 60 年」記念出版。荷風の美しい日本語を堪能できるアンソロジーを全 3 巻で刊行。第Ⅲ巻「心の自由をまもる言葉」では、いのちを稀有に自由に生きた荷風をテーマに収録。

(20)〈910.268〉

持田叙子 著

荷風へ、ようこそ

1609-1 四六判上製 336頁 3,080円(2,800円)

快適な住居、美しい庭、手作りの原稿用紙、気ままな散歩、温かい紅茶——。荷風作品における女性性や女性的な視点に注目し、新たな荷風像とその文学世界を紡ぎ出す。第 31 回サントリー学芸賞受賞。

【図】(09)〈910.268〉

持田叙子 著

おとめ座の荷風

2901-5 四六判上製 256頁 2,970円(2,700円)

知的な女性芸術家の出現に熱く期待した明治の若き荷風のあけぼのを、荷風の活躍を庇護した森鷗外、女性芸術を愛した上田敏、そして恋の詩人・与謝野晶子を織り交ぜて論じ、「おとめ」の文学史を新たにつむぐ。

(23)〈910.268〉

持田叙子 著

泉鏡花

—百合と宝珠の文学史

1972-6 四六判上製 352頁 3,080円(2,800円)

幻想の魔術師・泉鏡花の隠された別側面——百合と宝石のごとくかくわしく華やかに輝く豊穡な世界観を明らかにし、多様な日本近代文学史の中に位置づける試み。繊細な視点と筆致の冴える珠玉の本格評論。

【図】(12)〈910.268〉

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題

異郷論・祭祀論

2548-2 四六判上製 296頁 3,080円(2,800円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈迦空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、「異郷論」、「聖水信仰論」、「祭祀論」などでとらえるものである。

精選折口信夫Ⅰ (18)〈918.68〉

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題

文学発生論・物語史論

2549-9 四六判上製 292頁 3,080円(2,800円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈迦空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、「貴種流離譚」や「笑いの文学」、「源氏物語論」などの物語史とともにとらえるものである。

精選折口信夫Ⅱ (18)〈918.68〉

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題
短歌史論・逍空短歌編

2550-5 四六判上製304頁 3,080円(2,800円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈逍空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、古典短歌、近代短歌の本質論とみずみずしい心の秘奥を短歌実作に見る。

精選折口信夫Ⅲ (18)〈918.68〉

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題
芸能史論

2551-2 四六判上製308頁 3,080円(2,800円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈逍空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、百年前・千年前に滅びた芸能の発生展開を再構築していく折口の芸能史論を集成。

精選折口信夫Ⅳ (19)〈918.68〉

折口信夫 著／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題
随想ほか・逍空詩編

2552-9 四六判上製356頁 3,080円(2,800円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈逍空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。本巻は、日本の文学をはぐくんだ風土の随想を中心に、賤い切れぬけがれを吐露した逍空の詩を収録。

精選折口信夫Ⅴ (19)〈918.68〉

折口信夫 著／國學院大學折口博士記念古代研究所 監修／岡野弘彦 編／長谷川政春 解題
アルバム

2553-6 四六判上製232頁 3,080円(2,800円)

折口信夫(1887年～1953年)の学問研究および釈逍空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作からのアンソロジー。最終巻では、既巻の巻立てにそうように、写真・図・直筆の書画等で折口の幼年時からの足跡を辿りなおす。

精選折口信夫Ⅵ (19)〈918.68〉

岡野弘彦 著

折口信夫の晩年

2476-8 四六判上製304頁 3,520円(3,200円)

折口信夫生誕130年を記念して復刊する本書は、昭和22年から28年9月の逝去まで、折口の晩年を共に生活した著者による追憶の書である。折口信夫の生きる姿をまざまざと写し出すその鮮烈な印象は21世紀の現在もいささかも古びることがない。

(17)〈910.268〉

持田叙子 著

折口信夫 秘恋の道

2532-1 四六判上製480頁 3,520円(3,200円)

学問と創作を稀有なかたちで一体化させた、折口信夫。かれの思考とことばには、燃えさかる恋情が隠されていた。大阪の少年時代から、若き教師時代、そして晩年まで、歓びと悲しみに彩られた人生をたどる、渾身の評伝／物語。

(18)〈910.268〉

若松英輔 著

叡知の詩学 小林秀雄と井筒俊彦

2269-6 四六判上製192頁 2,200円(2,000円)

日本古典の思想性を「詩」の言葉で論じた小林秀雄——。古今・新古今の歌に日本の哲学を見出した井筒俊彦——。二人の巨人を交差させ、詩と哲学の不可分性に光をあてる、清廉な一冊。第2回西脇順三郎学術賞受賞。

(15)〈910.268〉

越知保夫 著／若松英輔 編

新版 小林秀雄 越知保夫全作品

2260-3 四六判上製556頁 3,740円(3,400円)

美と愛と聖性を鮮烈に論じた代表作「小林秀雄論」、フランス文学論、芸術論、古典論「好色と花」など、越知保夫(1911～1961)の全作品に、書簡2篇、若松英輔氏による新解説、索引などを加えた新版。

(16)〈918.68〉

坂本忠雄 著

小林秀雄と河上徹太郎

2422-5 四六判上製256頁 3,300円(3,000円)

近代日本文学に創造的文芸批評を確立した小林秀雄(1902-83)と河上徹太郎(1902-80)。二人の最晩年まで身近にいた著者が、小林秀雄の求心力と河上徹太郎の遠心力を対比させながら、その作品と生涯の友情に迫る。
(17)〈910.268〉

岡本英敏 著

福田恆存

2128-6 四六判上製208頁 2,860円(2,600円)

批評家・翻訳家・劇作家として活躍した福田恆存の多面的な文学的営為を追いながら、その核心に育まれたことば=思想をひとつひとつ剔抉していく。生誕102年、没後20年を記念する孤高の文学者の神髄に迫る新鋭の本格文芸評論。
【図】(14)〈910.268〉

江藤淳 講演

江藤淳 漱石と近代日本文学

1912-2 B5変型音声CD3枚+解説冊子16頁 6,600円(6,000円)

慶應義塾大学在学中に「三田文学」からデビューを飾り、戦後日本を代表する文芸評論家となった江藤淳の漱石論、近代文学論を存分に肉声で伝える。

CDシリーズ 慶應義塾の名講義・名講演 (12)〈910.268〉

遠藤周作 著／加藤宗哉 編

『沈黙』をめぐる短篇集

2343-3 四六判上製320頁 3,300円(3,000円)

遠藤周作没後20年、世界を震撼させた作品『沈黙』発表50年を記念する小説集。1954年に発表された幻の処女作(?)「アフリカの体臭—魔窟にいたコリンヌ・リュシェール」を初めて収録。

(16)〈913.6〉

菅野昭正 編著

遠藤周作 神に問いかけつづける旅

2708-0 四六判上製160頁 2,970円(2,700円)

人生の同伴者としてのイエス・キリストを見出そうとした遠藤周作。小説の登場人物たちは、いまなにを語りかけてくるのか。日本ではじめての本格的なカトリック世界を築き上げた作家を、世田谷文学館の連続講座を基にして解明する。
(20)〈910.268〉

今井真理 著

それでも神はいる

—遠藤周作と悪

2254-2 四六判上製176頁 1,980円(1,800円)

『沈黙』で世界的に知られる遠藤周作(1923-1996)が没してまもなく20年となる。20代から「人間に潜む悪」に多大な関心を寄せ、それは晩年まで変わることがなかった。「遠藤周作の悪」を取り上げたのはじめての遠藤周作論。
(15)〈910.268〉

加藤宗哉 著

吉行淳之介

—抽象の閃き

2381-5 四六判上製192頁 3,080円(2,800円)

吉行淳之介の主要な作品の生成をたどりながら、あらたなる吉行文学の本質—「現実から非現実への飛翔」「心理ではなく生理のメカニズムの抽象化」「繰り返された改稿の果てにたどりついた文体の美」等を論じた意欲作。
(16)〈910.268〉

久保田淳 著

「うたのことば」に耳をすます

2698-4 四六判上製448頁 4,950円(4,500円)

古典和歌から現代短歌まで、歌に通底しているものとはなにか。歌の研究の具体的な事例を、高校生にも十分理解できるように語り、「歌の未来」を読み手に託すエッセイ集。第43回現代短歌大賞受賞。
(20)〈911.04〉

中村喙夫 著

久保田万太郎

—その戯曲・俳句・小説

2219-1 四六判上製208頁 3,080円(2,800円)

久保田万太郎(1889-1963)は、劇団「文学座」を立ち上げ、俳誌「春燈」を創刊する等、大正・昭和の文壇・劇壇に一つの時代を築いた。没後五十年を越えて毀誉褒貶に満ちみちる万太郎の人間を語り、その戯曲、俳句、小説の魅力の精髓に迫る。 【図】('15)910.268)

高柳克弘 著

どれがほんと？

—万太郎俳句の虚と実

2513-0 四六判上製184頁 1,760円(1,600円)

虚と実のはざまにたゆたう普遍的な詩情を、卓越した言葉の芸で生み出し続けた久保田万太郎。だれもが感受するその特質と危うい魅力を、俳句の本質に迫りつつ、はじめて論じきった若手俳人の画期的評論。 ('18)911.36)

高柳克弘 著

隠された芭蕉

2942-8 四六判上製264頁 2,750円(2,500円)

芭蕉の俳句は、言葉で一つの世界を創り出そうとする強靱な意思に満ちあふれている。子規・虚子らの近代以降の俳句観によって、実作者や研究者に注目されてこなかった「隠された芭蕉」の表現方法に注目し、次代の新しい表現を切りひらく芭蕉論。 ('24)911.32)

石川巧 著

レーゼ・ドラマ

読む戯曲の読み方

—久保田万太郎の台詞・ト書き・間

2853-7 A5 判上製256頁 5,500円(5,000円)

久保田万太郎は自身の創作世界をどのように構築していったのか、小山内薫らと始めた〈古劇研究会〉、小説と戯曲を溶解させたかのようなト書き、草創期のNHKラジオ・ドラマに深く関わったことなど、万太郎の戯曲世界を読み解いていく。 ('22)912.6)

内田百閒 著

百鬼園 戦前・戦中日記上

2603-8 四六判上製402頁 4,950円(4,500円)

内田百閒生誕 130 年記念。未発表日記を初公開。昭和 11 年 1 月 1 日から『東京焼盡』につながる昭和 19 年 10 月末日まで「極めて特異な作家」百閒 47 歳から 55 歳の日常の記録。 ('19)915.6)

内田百閒 著

百鬼園 戦前・戦中日記下

2604-5 四六判上製384頁 4,950円(4,500円)

内田百閒生誕 130 年記念。未発表日記を初公開。昭和 11 年 1 月 1 日から『東京焼盡』につながる昭和 19 年 10 月末日まで「極めて特異な作家」百閒 47 歳から 55 歳の日常の記録。 ('19)915.6)

三田文学会 編

創刊一〇〇年 三田文学名作選

1748-7 A5 判並製734頁 1,760円(1,600円)

明治 43 年 5 月に発行された第一号「三田文学」以降のすべての掲載作の中から、珠玉の小品を選出し、収録した名作選。小説、評論、戯曲、詩歌、随筆、追悼文のほか、編集後記や雑記、当時の広告(書籍)も掲載。 【図】('10)918.6)

三田文学編集部 編

増補版 三田文学名作選

—創刊八二〇号

2886-5 A5 判並製874頁 2,860円(2,600円)

「三田文学」創刊 820 号記念出版。創刊者・永井荷風から谷崎潤一郎、芥川龍之介、井伏鱒二、石坂洋次郎、松本清張、安岡章太郎、遠藤周作、三島由紀夫、小川国夫などの名作を掲載。今回、新たに 21 作を追加。 ('23)918.6)

三田文学会 編

三田文學総目次 増補版

2030-2 B5 判上製函入 656 頁 19,800 円(18,000 円)

('13)<910.5>

2010 年に創刊 100 年を迎えた三田文学の、創刊号から 100 年記念号までの目次を網羅。執筆者索引も併載し、多士済々の三田文学出身文人たちがこの一冊で分かる。

山川方夫 著／坂上弘 編

展望台のある島

2273-3 四六判上製 320 頁 3,300 円(3,000 円)

【図】('15)<913.6>

芥川賞と直木賞のふたつの賞の候補になりながら、受賞にいたらぬまま 34 歳で交通事故のため急逝した山川方夫。没後 50 年にして、山川方夫のショートショートと純文学作品は新生する。

足立康 著

猫越山

2055-5 四六判上製 200 頁 2,200 円(2,000 円)

('13)<913.6>

戦時下に渋谷で事故死した幽霊の父と老人になった息子が「秘め事」を語りう表題作ほか、アメリカ研究者でもある著者の 1971 年から 2010 年までに執筆された全 6 編の自選短編小説集。

小平麻衣子・井原あや・尾崎名津子・徳永夏子 編

サンリオ出版大全

—教養・メルヘン・SF 文庫

2940-4 四六判上製 434 頁 3,960 円(3,600 円)

('24)<023.1>

詩とメルヘン、いちご新聞、リリカ、サンリオ SF 文庫、映画……。数々の出版物と〈ギフト〉を世に送り出した、1960 年代から 1980 代までのサンリオの多彩な文化事業に迫る。

■ 中国文学

佐藤一郎 著

中国文学史

0194-3 A5 判並製 158 頁 1,320 円(1,200 円)

('85)<920.2>

本書は、「先秦時代の文学」から時代を追って「清代の文学」までの文学の流れと共に、それぞれの文学者が果たした役割その民族的特色をも鮮明に浮かび上らせている。

武田雅哉 著

西遊記

—妖怪たちのカーニヴァル

2556-7 四六判上製 248 頁 2,200 円(2,000 円)

('19)<923.5>

映画やマンガにリメイクされつづける『西遊記』は子ども向けの本ではない？ 長大な物語のあらすじを追いながら、中国の誇る〈神怪小説〉のなりたちと伝播を、妖怪たちの目線から語りつくす。

世界を読み解く一冊の本

関根謙 著

抵抗の文学

—国民革命軍将校阿壠の文学と生涯

2313-6 四六判上製 352 頁 6,600 円(6,000 円)

('16)<920.28>

「南京陥落」を中国人としてはじめて長篇小説に書きあげた幻の作家・阿壠の獄死はなにを意味するか。政治権力闘争のはざままで歴史から抹消され、獄死後の 1980 年に名誉回復となった文学者・阿壠研究の礎となる記念碑的作品。

■ 英米文学

不破有理 著

「アーサー王物語」に憑かれた人々 —19世紀英国の印刷出版文化と読者

2887-2 四六判変型並製 156頁 770円(700円)

はるか昔のイギリスを舞台としながらも、今なお新しい作品が登場し、人々を魅了し続けるアーサー王伝承の持つ魅力とはなにか。新たな書誌学的アプローチを通して、伝承の転機に関わった声なき人々の声を届ける。

慶應義塾大学教養研究センター選書23 (23)〈023.33〉

松田隆美 著

チヨースー『カンタベリー物語』 —ジャンルをめぐる冒険

2560-4 四六判上製 256頁 2,640円(2,400円)

カンタベリー大聖堂への巡礼の途上、職業も身分も異なる巡礼たちが語る多種多様な物語は、豊かな世界を描き出し、物語文学のジャンルを拡張した。神が細部に宿る物語世界のダイナミズムを丁寧に描く。

世界を読み解く一冊の本 (19)〈931〉

石川実 著／訳

新体シェイクスピア

0921-5 A5判並製 160頁 2,200円(2,000円)

学校演劇を長く指導してきた著者がその体験をもとに、シェイクスピアの名作のハイライト場面はそのままに、「語り」を導入して短時間で上演できるように考案したシナリオ集。

【学】(02)〈932.5〉

石川実 著／訳

続・新体シェイクスピア

1898-9 A5判並製 256頁 2,420円(2,200円)

名作を短時間で上演できるように考案したシナリオ集第2弾。シェイクスピア劇のエッセンスを味わう読み物としても最適。収録作品は『ジュリアス・シーザー』『冬物語』『オセロウ』『リア王』『マクベス』。

(11)〈932.5〉

田中實 著

シェイクスピアの宇宙

—英知は時空を超えて

1697-8 A5判上製 308頁 3,520円(3,200円)

シェイクスピア作品にちりばめられた機智に富んだ数々の名言から文体論の研究まで、シェイクスピアを多角的にみつめ、その奥深い世界を多角的に探求した研究書。

(09)〈932.5〉

石川実 著

沙翁と福翁に学ぶ生きる知恵

1379-3 四六判並製 192頁 2,200円(2,000円)

面白うてやがて身につまされる翁の語り。シェイクスピアが芝居で語り、福澤諭吉が文明開化への道筋を見極めた目で説いた「処世の知恵」を、傘寿を迎えるシェイクスピア研究者が人生を振り返りながら読み解く処世訓。

【図】(07)〈932〉

新見肇子 著

(英文)

Blake's Dialogic Texts

1317-5 B5判変型上製 396頁 7,150円(6,500円)

ウィリアム・ブレイクに関する論文16篇を集めた論集。古今の作家、科学者などの言説との批判的対話の過程がテキストを形成する、ブレイクの「対話的特質」(パフチン)を明らかにする。

(06)〈931.2〉

三馬志伸 著

(英文)

ジェイン・オースティンの作品を当時の社会状況というコンテキストの中で捉えながら、各作品に示されたオースティン独特の社会哲学を浮かび上がらせる。

Jane Austen In and Out of Context

1961-0 B5判変型上製176頁 4,400円(4,000円)

('12)<930.268>

坂本光 著

英国ゴシック小説の系譜

2021-0 四六判上製160頁 2,200円(2,000円)

主に19世紀英国の「ゴシック小説」を取り上げ、現在にいたるゴシック的物語の系譜をたどっていきながら、「怪物」、「旅」、「写真」、「博物館」、「自己像」という視点から読み解き、その成り立ちと物語構造を明らかにする。
【図】('13)<930.26>

川端康雄 著

オーウェル『一九八四年』

—ディストピアを生き抜くために

2557-4 四六判上製256頁 2,420円(2,200円)

全体主義国家によって分割統治された近未来世界を描く、世界的ベストセラー『一九八四年』。ビッグ・ブラザーが支配する徹底した監視・管理社会を描き、「ポスト真実」の時代を先取りしたディストピアに希望はあるのか。

世界を読み解く一冊の本 ('22)<933>

武藤浩史 著

D. H. ロレンス研究

—小説・思想・本文校訂

2857-5 A5判上製504頁 8,800円(8,000円)

20世紀イギリス文学の雄D. H. ロレンスを文学・思想・歴史研究のさまざまな視座から読み直す。その思想を新たに位置づけ、自伝的小説*Sons and Lovers*のイメージを刷新する読みを提示する。

慶應義塾大学法学研究会叢書 別冊18 ('22)<930.28>

萩原眞一 著

イエイツ —自己生成する詩人

1735-7 四六判変型並製100頁 770円(700円)

「老境に差ししかかって創作意欲が減退するのは、ひとえに性的能力が衰退したからに他ならない」と考えたイエイツは、ある若返り手術を受けた。創造的営為とセクシュアリティの関係に注目し、後期イエイツ作品を検証する。
慶應義塾大学教養研究センター選書5 ('10)<931.7>

巽孝之 著

アメリカ文学史

—駆動する物語の時空間

0914-7 A5判並製320頁 2,640円(2,400円)

「ロード・ナラティヴ」としてのアメリカ文学史という、第一人者によるまったく新しい魅力的な「通史」。初学者のためのすぐれた読書ガイドであり、それ自体、読む楽しみを満喫できる1冊でもある。

【図・学】('03)<930.29>

常山菜穂子 著

アンクル・トムとメロドラマ

—19世紀アメリカにおける演劇・人種・社会

1364-9 四六判変型並製104頁 770円(700円)

19世紀のアメリカで大ヒットを記録した『アンクル・トムの小屋』を例に、演劇と社会の結びつきを明らかにするとともに、その作品の内に意識的／無意識的に織り込まれたアメリカの姿を描く。

慶應義塾大学教養研究センター選書4 ('07)<772.53>

横山千晶 編著

深読み名作文学

O. ヘンリー 「最後の一葉」

2211-5 A5判並製260頁 2,640円(2,400円)

O. ヘンリーが生み出した名作「最後の一葉」を原作で読み、さらにこの物語に潜む「謎」解きを楽しみ、O. ヘンリーの生きた時代の文化を心ゆくまで味わう一冊。英語の文学作品を読み解くコツも伝授。

【図】('15)<933>

佐藤元状 著

グレアム・グリーン ある映画的人生

2510-9 四六判上製368頁 3,080円(2,800円)

文学史と映画史を交差させながら、シネフィルで映画批評家だった小説家グレアム・グリーン^の創造の軌跡をよみがえらせ、グリーンを〈遅れてきたモダニスト〉として捉えなおす。第10回表象文化論学会賞受賞。

('18)〈930.28〉

秋草俊一郎 著

アメリカのナボコフ

—塗りかえられた自画像

2522-2 四六判上製360頁 3,080円(2,800円)

『ロリータ』によってスキャンダラスな形で知られたナボコフは、いかにアメリカの大家作家へと上りつめたのか。亡命者から「世界文学」への道程を歩んでいった作家の姿を、本邦初公開となる新資料を通じて描きだしナボコフ像を一新する。

('18)〈930.28〉

リチャード・J・キング 著／坪子理美 訳

クジラの海をゆく探査者たち 上

—『白鯨』でひもとく海の自然史

2836-0 四六判並製320頁 3,300円(3,000円)

「白い鯨（モービー・ディック）」を追って世界の海を冒険する物語『白鯨』。その博物学的内容を現代科学の知見と現場での取材で検証していく。ヒトとクジラの交流を追う壮大なプロジェクトが始まる。

('22)〈452〉

リチャード・J・キング 著／坪子理美 訳

クジラの海をゆく探査者たち 下

—『白鯨』でひもとく海の自然史

2837-7 四六判並製312頁 3,520円(3,200円)

「世界の十代小説」のひとつである『白鯨』。物語と同じ航路をたどり、世界をめぐる旅も終りを迎える。ヒトが鯨や他の海の生物、海洋に及ぼした影響を検証し、環境保護の観点から再び物語をとらえ直す。

('22)〈452〉

ハロルド・フレデリック 著／久我俊二 訳

詐欺師ジョエル・ソープの変貌

1865-1 A5 判上製356頁 5,720円(5,200円)

19世紀米国のリアリズム作家が英国社会を鋭く描いた小説。舞台は19世紀末のロンドン。ジョエル・ソープは詐欺行為に近い手法で株の売買を行い、巨額の資産を築いていくが……。

慶應義塾大学法学研究会叢書別冊15 ('11)〈933.6〉

ブレイク・スコット・ボール 著／今井亮一 訳

スヌーピーがいたアメリカ

—『ピーナッツ』で読みとく現代史

2899-5 四六判上製368頁 3,960円(3,600円)

「スヌーピー」で知られる漫画『ピーナッツ』は、冷戦期のアメリカ社会とどう向き合ったのか。そこに作者チャールズ・M・シュルツが込めたメッセージとは。コミック、ファンレター、未公開資料などから探る、戦後アメリカのすがた。

('23)〈334.453〉

■ フランス文学

小倉孝誠 著

恋するフランス文学

1990-0 四六判並製276頁 3,520円(3,200円)

お針子、人妻、娼婦、ボヘミアンの恋、さらには同性愛と近親愛。「愛の国」の「愛のかたち」をなぞるように、最高に甘く、そして苦いフランス文学を味わいつくす。7幕の舞台からなる、フランス文学への誘い。

【図】('12)〈950.26〉

井田三夫 著

テオフィル・ド・ヴィオー

—文学と思想

1475-2 A5判上製848頁 11,660円(10,600円)

知られざるマニエリスム詩人の世界。17世紀フランスに彗星のごとく現れたテオフィル・ド・ヴィオー（1590-1626）、その波瀾にみちた生涯と夢幻的な作品の数々を論じた本邦初のヴィオー研究書。

慶應義塾大学法学研究会叢書別冊14

('08)〈951〉

井田三夫 著

ネルヴァルの幻想世界

—その虚無意識と救済願望

1152-2 A5判上製504頁 8,030円(7,300円)

初期の詩篇からその死まで。19世紀フランス後期ロマン派の詩人・作家ジェラルド・ド・ネルヴァルの多彩なテキストを網羅的に読み解き、その夢と狂気、幻想世界の遍歴を追う。

慶應義塾大学法学研究会叢書別冊13

【図】('05)〈950.268〉

大鐘敦子 著

サロメのダンスの起源

—フロベール・モロー・マルメ・ワイルド

1503-2 四六判上製408頁 6,050円(5,500円)

文学・美術界で脈々と生み出される〈宿命の女〉に、フロベールのサロメがどのような影響を与えたのか、19世紀後半のサロメ神話の形成過程について芸文間の比較研究を行い、その一大潮流を明らかにする。

【図】('08)〈950.28〉

大鐘敦子 著

(仏文)

La genèse de la danse de Salomé

L'« Appareil scientifique » et la symbolique polyvalente dans *Hérodiade* de Flaubert

1231-4 B5変型上製328頁 13,200円(12,000円)

聖書の逸話である「サロメのダンス」を初めて言語化したフロベールの最晩年の作『三つの物語』の最後の短編『ヘロディアス』を、政治・民族・宗教・神話・語法・文体・リズム・音韻などから総合的に研究したモノグラフィー。

('06)〈953.6〉

新島進 編

ジュール・ヴェルヌが描いた横浜

—「八十日間世界一周」の世界

1737-1 四六判変型並製120頁 770円(700円)

2009年、開港150周年を迎えた横浜の開港当時の姿を、ジュール・ヴェルヌの傑作『八十日間世界一周』から読み解く。

慶應義塾大学教養研究センター選書6

('10)〈953.6〉

坂本浩也 著

プールの黙示録

—『失われた時を求めて』と第一次世界大戦

2208-5 四六判上製308頁 3,520円(3,200円)

作家にとって、大戦は何を意味したのか？ 同時代につくられた戦争の表象の総体をあらわす「戦争文化」という観点から、『失われた時を求めて』を読みなおし、プールの政治的・社会的・美学的ポジションを再定義する意欲作。

('15)〈950.28〉

櫻木泰行 著

プールの詩学

0683-2 A5判上製568頁 9,900円(9,000円)

プールが、その作品の中において生涯追求した恋愛そして芸術を「現象学的光学」「色彩光学」「時学光学」……、一言で言えば「詩学」とでもいふべき視点から解き明かす論考集。

慶應義塾大学法学研究会叢書別冊12

('99)〈950.278〉

真屋和子 著

(仏文)

L'« art caché » ou le style de Proust

0824-9 B5判変型上製320頁 13,619円(12,381円)

『失われた時を求めて』におけるプールのヴィジョンを、絵画という視覚芸術の助けを借り、また、文体分析や「生成研究」ともいわれる草稿研究を取り入れて、X線透視にも似た手法で明らかにする。

('01)〈950.278〉

原大地 著

マラルメ 不在の懐胎

2143-9 四六判上製348頁 3,080円(2,800円)

【図】(14)〈951〉

芸術に計り知れない影響を与えつづけるフランス近代詩の巨人が、〈理念〉の追求の末に到達した詩境とは何だったのか。新たに訳した14の詩作品の全文を注意深く読み込むことで、詩人の「思考」に肉薄する。

朝吹亮二 著

アンドレ・ブルトンの詩的世界

2272-6 A5判上製272頁 5,390円(4,900円)

シュルレアリストの「帝王」、ブルトンの詩の世界を読み解く。『地の光』などを精読しながら、謎めいた詩的イマージュに迫る、ブルトン詩研究の集大成。

慶應義塾大学法学研究会叢書別冊16 (15)〈950.28〉

■ ドイツ文学

石原あえか 著

科学する詩人 ゲーテ

1727-2 四六判上製310頁 3,080円(2,800円)

ゲーテは、詩人であり、高級官吏であり、自然研究者であった。当時の最先端の科学に積極的に関与しながらも、等身大の人間の視点を失うことなく、誠実に自然と対話し続けたゲーテの詩と科学の交感を描く。第32回サントリー学芸賞受賞。 【図】(10)〈940.268〉

小名木榮三郎 著

自然と対話する魂の軌跡

—アーダルベルト・シュティフター論

0551-4 A5判上製564頁 8,580円(7,800円)

自然を愛する19世紀の詩人シュティフターは、自然と対話して実は人間を、世界を描いている。詩人の自然論を中心に、その延長線上に論文を配した著者の長年の研究の集大成である。

慶應義塾大学法学研究会叢書別冊11 (94)〈940.268〉

小名木榮三郎 著

ホーフマンスタールの青春

—夢幻の世界から実在へ

0493-7 A5判上製372頁 5,940円(5,400円)

19世紀から20世紀の初めにかけて抒情詩をはじめ幅広い分野で多様な作品を生み出したホーフマンスタール。その青春の時代に注目し内面の成長過程を通じて、その真の姿、作品を探る。

慶應義塾大学法学研究会叢書別冊9 (92)〈940.278〉

明星聖子 著

カフカらしくないカフカ

2150-7 四六判上製288頁 2,640円(2,400円)

フェリスと出会ってなぜ書けたのか。あの恋は本当に恋だったのか。『判決』の、『変身』の秘密は、彼らの〈恋〉にある。スリリングな展開でカタルシスに導く、強いカフカ！

【図】(14)〈940.28〉

関口裕昭 著

評伝 パウル・ツェラン

1399-1 四六判上製512頁 5,060円(4,600円)

戦後ヨーロッパを代表するドイツ系ユダヤ人の詩人、パウエル・ツェラン。栄光と奈落の間に生きた激動の半世紀を、新資料を含む一次資料や、ツェランの知人・友人へのインタビュー成果を交えて描いた初の本格評伝。

(07)〈941.7〉

関口裕昭 著

パウル・ツェランとユダヤの傷

—《間テキスト性》研究

1864-4 A5判上製 514頁 7,480円(6,800円)

20世紀最大と言われるユダヤ系詩人パウル・ツェラン。「傷」が無数の言葉の線となり、やがて子午線を結ぶ。詩人の言葉に織り込まれた膨大な引用を丁寧に読み解いていくことで、「ユダヤ精神」なるものを明らかにする。
(11)〈941.7〉

■ 海外文学（その他）

藤谷道夫 著

ダンテ『神曲』における数的構成

2338-9 四六判変型並製 112頁 770円(700円)

ダンテの『神曲』は、誰もが知る中世文学の金字塔だが、世界の文学の中でも例を見ない緻密な数的構成によって創られている。ダンテがどのように14233行にも及ぶ『神曲』という大伽藍を建造したかを解説。

慶應義塾大学教養研究センター選書 15 (16)〈971〉

図師宣忠 著

エーコ『薔薇の名前』

—迷宮をめぐる〈はてしない物語〉

2559-8 四六判上製 244頁 2,640円(2,400円)

『薔薇の名前』の緻密な物語は、ディティールを押さえてこそ楽しめる！ エーコの想像力の源泉にして「舞台装置」である中世ヨーロッパを、背景知識から丁寧に解説。知の巨人が綿密に作り上げた「中世」の世界を読み解いてみよう。世界を読み解く一冊の本
(17)〈973〉

金田一真澄 編著

ロシア文学への扉

—作品からロシア世界へ

1365-6 A5判並製 166頁 2,420円(2,200円)

「黎明期から18世紀」、「19世紀」、「20世紀」の3つの時代に区切り、その時代の代表的作家の生涯、代表作品のストーリー、作品の背景などを見開きで紹介。ロシア文学に触れたいと思う人が最初に手に取るべき一冊。

【図】(07)〈980.2〉

熊野谷葉子 著

ロシア歌物語ひろい読み

—英雄叙事詩、歴史歌謡、道化歌

2419-5 四六判変型並製 144頁 770円(700円)

豊かな口承文芸を誇るロシアの「歌物語」を語る文学読み物。ロシアの大地に生まれた英雄叙事詩「プイリーナ」や歴史歌謡、道化歌などの代表作を紹介する。

慶應義塾大学教養研究センター選書 17 (17)〈981〉

今福龍太 著

ボルヘス『伝奇集』

—迷宮の夢見る虎

2562-8 四六判上製 240頁 2,200円(2,000円)

幻想小説の巨匠ボルヘス(1899-1986)が1944年に発表した短編小説集『伝奇集』を、その出自や読書遍歴、視力の喪失といったパーソナルヒストリーとも照らし合わせ読み解く、必読のボルヘス論。

世界を読み解く一冊の本 (19)〈990〉

中谷彩一郎 著

『ダフニスとクロエー』の世界像

—古代ギリシアの恋物語

2813-1 四六判変型並製 114頁 770円(700円)

ロンゴス作『ダフニスとクロエー』は、現代ではギリシア古典としての地位を確立している。本書では、一見すると素材で単純な物語がいかに緻密に構成されたものであるのか、その奥深さを明らかにする。

慶應義塾大学教養研究センター選書 22 (22)〈991〉

■ 詩

新倉俊一 著

西脇順三郎 絵画的旅

1432-5 四六判上製210頁 3,080円(2,800円)

【図】(07)〈911.52〉

詩は絵のごとし。エクゼキアスのキュリックス、ピカン《アヴィニヨンの娘》から写楽《中山富三郎の宮城野》まで。作中にあらわれた豊富な絵画的イメージをテーマに、西脇詩の魅力の秘密に迫る。

西脇順三郎 著／新倉俊一 編
翻訳詩集—チオイス詩集 荒地／四つの四重奏曲
(エリオット) 詩集 (マラルメ)

1373-1 四六判上製378頁 5,280円(4,800円)

第Ⅲ巻は、近代ヨーロッパを代表する詩人たちの名詩篇を西脇訳で読む。〔解説〕城戸朱理 他に『回想の西脇順三郎』よりエッセイ「西脇先生と言語学と私」(井筒俊彦)を再録。

西脇順三郎コレクションⅢ 【図】(07)〈918.68〉

西脇順三郎 著／新倉俊一 編

評論集 2

—ヨーロッパ文学

1375-5 四六判上製536頁 6,160円(5,600円)

明快でユニークな体系が、日本の文学的思考を一新させた驚異の芸術論。今なお現代的であり続ける。〔解説〕異孝之 他に『回想の西脇順三郎』よりエッセイ「西脇順三郎とフランス文学」(佐藤朔)を再録。

西脇順三郎コレクションⅤ 【図】(07)〈918.68〉

西脇順三郎 著／新倉俊一 編

随筆集

1376-2 四六判上製304頁 5,280円(4,800円)

田園の旅、路傍の植物観察記など、詩・評論とは違った顔を見せる味わい深いエッセイを収録。〔解説〕八木幹夫 他に『回想の西脇順三郎』よりエッセイ「西脇順三郎アラベスク」(吉岡実)を再録。

西脇順三郎コレクションⅥ 【図】(07)〈918.68〉

吉増剛造 著

GOZO ノート 1
コジキの思想

2339-6 四六判上製320頁 3,850円(3,500円)

言語のアヴァンギャルドをひた走る吉増剛造 自選エッセイ・コレクション第1巻〈詩論〉。怒涛の1960～80年代に、詩をめぐって書きつづられた、過激にして優美なベスト・エッセイ集! 解説=平野啓一郎。

('16)〈914.6〉

吉増剛造 著

GOZO ノート 2
航海日誌

2340-2 四六判上製304頁 3,850円(3,500円)

言語のアヴァンギャルドをひた走る吉増剛造 自選エッセイ・コレクション第2巻〈旅〉。1960～80年代の混沌とした世界を、夢のようにかけまわった、旅の記録／記憶。〈GOZO〉とともに、日本を、世界を旅する一冊。解説=長野まゆみ。

('16)〈914.6〉

吉増剛造 著

GOZO ノート 3
(わたしは映画だ)

2341-9 四六判上製304頁 3,850円(3,500円)

言語のアヴァンギャルドをひた走る吉増剛造 自選エッセイ・コレクション第3巻〈イメージ〉。映画・写真・絵画・舞踏・マンガ、あらゆるイメージをめぐる思考の軌跡! 対談=荒木経惟。

('16)〈914.6〉

高橋潤二郎 著

鑑賞 経営寓句

1652-7 四六判上製 304頁 2,420円(2,200円)

('09)(911.304)

企業経営と現代社会に関わる日々の所感を、近世から現在まで選りすぐった俳人 66 人の名句に託して綴ったユニークなエッセイ集。その寓意は企業経営にとどまらず、より広く国家や人生の経営におよんでいる。

井上輝夫 著

井上輝夫詩論集 詩心をつなぐ

2302-0 四六判上製 360頁 3,960円(3,600円)

('16)(902.1)

生死の不条理を超えた境地をたずねて詩人たちの門をたたく 井上輝夫の遺作。西脇順三郎とボードレールを中心に、透谷、有明、漱石、啄木、入沢康夫、大岡信、江森國友、飯島耕一の人と作品を縦横に論じ、近代／現代詩の創作の真髄に迫る。

高橋通男 著

ヘレニズムの詩とホメーロス
—アポローニオス・ロディオス研究

1130-0 A5 判上製 346頁 4,400円(4,000円)

('05)(991.1)

ヘレニズムの代表的な学者詩人アポローニオス・ロディオスの叙事詩を中心に、模倣とアリュージョンという詩作の技法を分析し、変革の時代に文学と学問の総合を目指した詩の本質を読み解く。

小浜俊郎 著

詩 場所なるもの
—フランス近代詩人論 II

0344-2 A5 判上製 400頁 7,700円(7,000円)

近代詩の発端をロマン主義に求め、それが象徴主義を経て 20 世紀に展開し、複雑な屈折をたどる様を、アポリネール、ジャコブ、ミロシュ、スガラン等の詩を通じて考察する。

慶應義塾大学法学研究会叢書別冊8

('92)(951)

■ 随筆

小泉信三 著／山内慶太・神吉創二・都倉武之・松永浩気 編

小泉信三エッセイ選 1
善を行うに勇なれ

2383-9 四六判上製 304頁 3,080円(2,800円)

戦前・戦中の慶應義塾長として、また戦後、日本を代表する言論人として執筆した、数多のモラル・バックボーンとなる文章に加え、東京オリンピック、皇太子殿下(今上天皇)に関わるエッセイ等六十余篇を収録。歿後 50 年記念出版。

('16)(914.6)

小泉信三 著／山内慶太・神吉創二・都倉武之・松永浩気 編

小泉信三エッセイ選 2
私と福澤諭吉

2384-6 四六判上製 304頁 3,080円(2,800円)

福澤諭吉の膝下に育ち、慶應義塾長を長く務めた小泉が描く、追憶の福澤像の数々。近代日本の偉人を温かい眼差しで見つめ、独立自尊の精神を継承する。慶應義塾ひいては近代日本の一つの思想体系をあぶり出す。

('17)(914.6)

小泉信三 著／山内慶太・神吉創二 編

練習は不可能を可能にす

1062-4 四六判上製 328頁 2,640円(2,400円)

果敢なる闘士たれ、潔き敗者たれ——。スポーツを語って人生の生き方におよぶ、名文集。気品あふれる文章を味わえる一冊。

('04)(780.4)

小泉妙著／山内慶太・神吉創二・都倉武之編

父小泉信三を語る

1526-1 四六判上製332頁 2,640円(2,400円)

【図】('08)〈289.1〉

小泉信三(1888-1966)生誕120年を記念して企画された、エッセイストとしても著名な小泉信三の二女による聞き書き。良き家庭人としての小泉信三の姿が、エスプリのきいた娘の語りで活きいきとよみがえる。

山内慶太・神吉創二・都倉武之編

アルバム 小泉信三

1665-7 A4判変型並製128頁 3,080円(2,800円)

【図】('09)〈289.1〉

日本を代表する知識人として活躍し、皇太子殿下(今上天皇)のご教育にもかかわった小泉信三の生涯の軌跡を、図版約300点と豊富な解説で伝えるオールカラー愛蔵版。小泉信三の講演二編を収めた「特別付録CD」を付す。

服部禮次郎著

慶應ものがたり

—福澤諭吉をめぐる—

0828-7 四六判上製468頁 4,400円(4,000円)

【図】('01)〈377.28〉

福澤諭吉と慶應義塾に対する幼年期からの関わりを福澤没後百年を期にまとめた著述集。若い世代に向けて、福澤諭吉の思想を語り、慶應義塾草創期から現在に至るまでの足跡を振り返る。

高橋誠一郎著

新編 随筆慶應義塾

1668-8 四六判上製404頁 3,520円(3,200円)

【図】('09)〈914.6〉

慶應義塾の歴史と人物を描く『随筆 慶應義塾(正)(続)』を新編集で復刊。慶應義塾普通科入学以来、八十年余を送った三田での生活のなかから生まれた痛快な出来事、恩師や朋友、後輩への追憶などを情感あふれる文章で綴る。

高橋誠一郎著

新編 虎が雨

1847-7 四六判変型上製函入224頁 7,150円(6,500円)

('11)〈914.6〉

高橋誠一郎の描く大磯についての随筆集(『虎が雨』、一九九四年)を新編集・函入り愛蔵版で刊行。大磯の情景を描くとともに、著者の生活の中心であった慶應義塾での生活を窺うこともできる。

石川忠雄著

未来を創るころ

0705-1 四六判上製336頁 2,420円(2,200円)

('98)〈370.4〉

日本が21世紀を切り拓く、魅力ある国になるためには今何をなすべきかを、16年間慶應義塾長をつとめ、日本の教育界をリードしてきた著者が提言する。

鳥居泰彦著

回想 慶應義塾

1993-1 A5判上製600頁 6,380円(5,800円)

('13)〈377.28〉

福澤諭吉が慶應義塾を創ってから155年、変遷する社会のなかで社中の支援を得ながら着実に発展してきた慶應義塾の道のり、そして歴代塾長の先導と実践の軌跡を丹念にひもといてゆく。

速水融著

歴史学との出会い

1743-2 四六判上製258頁 2,640円(2,400円)

【図】('10)〈204〉

日本における歴史人口学の礎を築いた碩学によるエッセイ集。歴史学のあり方を常に問い続けてきた著者が、学匠や古典、新しい研究手法などとのさまざまな「出会い」を振り返る。

速水融 著

汽車とレコード

1756-2 四六判上製 328頁 3,080円(2,800円)

歴史人口学者が綴る「旅」と「音楽」の思い出。「阿房列車」のレールの響きに、手廻し蓄音器から流れ出るモーツァルト……。歴史人口学を日本に導入した碩学が、研究生生活の傍ら書き綴った旅と音楽に関するエッセイ集。

【図】('10)<290.9>

池井優 著

第二の故郷 三田の山

0789-1 四六判並製 252頁 2,750円(2,500円)

専門の日本外交史以外でも才筆をふるってきた著者が、義塾での出来事、自身の生い立ち、身の回りの出来事など、折にふれ、長年書きためてきた文章をまとめたもの。ユーモアと滋味にあふれる好エッセイ集。

('00)<289.1>

生田正輝 著

回想五十年 慶應義塾と私

1346-5 四六判上製 240頁 3,300円(3,000円)

学徒動員による戦争体験から復学後のマス・コミュニケーション研究者としての歩み、そして、大学経営に関わるなかで直面した大学紛争の激動……。慶應義塾創立150年を期に、いま静かに振りかえる「私の慶應義塾史」。

【図】('07)<916>

藤澤益夫 著

長寿譚

1055-6 A5判上製 816頁 7,260円(6,600円)

古今東西の生と死をめぐる多彩な想念、説話などを集めた大著。事典的アンソロジーとして、挨拶・スピーチの題材にも活用できる座右の一冊。愛書家による愛書家のための型破りな類話集。

('04)<902.09>

吉田小五郎 著

吉田小五郎随筆選 (全3巻+別冊)

2057-9 四六判上製函入平均 366頁 33,000円(30,000円)

没後30年を機に、元慶應義塾幼稚舎長吉田小五郎の名随筆を新編集で3巻に収める。教え子に慕われた教育者、日本を代表するキリシタン史研究者等、様々な側面から培った観察眼とその描写は、時代を超えて読む者を惹きつける。

('13)<914.6>

沢田允茂 著

昭和の一哲学者

—戦争を生きぬいて

1047-1 A5判上製 214頁 3,080円(2,800円)

生い立ちの記から、学問への情熱、苛酷な運命に遭遇した若き日、教育者・哲学者として活躍した、戦後を綴る貴重なドキュメント。今、「昭和」という時代を考えるために格好の自伝的エッセイ。

【図】('03)<289.1>

松崎欣一 著

三田演説会と 慶應義塾系演説会

0691-7 A5判上製 620頁 8,800円(8,000円)

明治初年以來四半世紀にわたって行われた福澤諭吉と慶應義塾に関わる人々による「演説」と「演説会」の実践の跡を当時の新聞記事や活動記録などから丹念にたどった大著である。平成11年度義塾賞受賞。

福澤研究センター叢書 ('98)<377.21>

池井優 著

慶應義塾大学法学部 政治学科百年小史

—師友人物記

0718-1 A5判並製 296頁 2,200円(2,000円)

政治学科卒の各界で活躍する方々のエピソード、歴代専任教員のプロフィール、巻末に政治学科百年表を付す。人々の生の声を通して“政治学科百年”を位置づける。

慶大法学部政治学科開設百年記念論文集 ('98)<377.28>

慶應義塾大学法学部 編

語り継ぐ三田法学の伝統

—慶應義塾大学法学部法律学科史

1176-8 A5 判並製 492 頁 3,740 円(3,400 円)

('06)〈377.28〉

三田山上に展開した先学の研究・教育の事跡をたどり、師友が出会い、人間的にも学問的にも親しく交わりを重ね合う場としての「三田法学」を綴る、過去も現在も変わることない伝統を確認し、未来をも展望する。

丸山徹 著

春宵

0415-9 B6 判上製 278 頁 3,080 円(2,800 円)

('89)〈914.6〉

三田育ちの数理経済学者が、懐かしい人を想い、落花流水に心をひそめて書きとめた、折々の身辺雑記。「春宵」、「桐一葉」、「梅と親父と天神さま」など、文芸の香り高いエピソードの花束。

笠井昭次 著

三十年一日

—百花誰が為に開く

1070-0 四六判上製 448 頁 3,300 円(3,000 円)

('04)〈336.9〉

会計理論研究の碩学、笠井昭次慶大名誉教授の初の随筆集。恩師山榘忠恕先生のこと、通信教育部での授業、海外留学での思い出などを熱く、ときにユーモラスに綴る。人間・笠井昭次を伝える一冊。

竹中淑子 著

時有ってか尽きん

0850-8 四六判並製 272 頁 2,200 円(2,000 円)

('01)〈914.6〉

イギリス・メキシコへの旅の思い出、戦争を体験する中での青春期の回想、父と祖父への追憶をみずみずしい感性で綴ったエッセイ集。歳月を見つめなおす心が映し出される。著者は慶大経済学部教授（数学）。

竹中淑子 著

漢詩を詠む日々

1905-4 四六判変型上製 208 頁 2,200 円(2,000 円)

('11)〈921〉

漢詩との出会いが、定年後の人生を変えた。人生の経験は感性を豊かにし、書物の知性を深く受けとめることができる。自身のルーツや海外の旅先、愛読書の世界、閑適の日々を詠む漢詩と随筆。

足立康 著

雑記帖のアメリカ

0848-5 四六判上製 392 頁 2,750 円(2,500 円)

【図】('01)〈914.6〉

「酒場の判事」ロイ・ビーン、「アメリカ開拓者の案内人」サカガウイアなど、アメリカ西部の人物記を中心に、アメリカ研究者である著者のエッセイ、創作、評論を収録した珠玉作品集。

桑原三郎 監修

巖谷小波日記

〔自明治二十年
至明治二十七年〕

—翻刻と研究

0688-7 B5 判上製 400 頁 7,700 円(7,000 円)

('98)〈915.6〉

『こがね丸』、『日本昔噺』など、数々の名作により日本民話を定着させた巖谷小波の明治中期の日記を忠実に翻刻、我国児童文学の先導者の日常と芸術観が明らかにされる。年次別の研究論文を付す。

白百合児童文化研究センター叢書

慶應婦人三田会〔プロジェクト F〕編

慶應義塾で学んだ女性たち

—独立自尊へのあゆみ

1497-4 四六判上製 368 頁 2,750 円(2,500 円)

【図】('08)〈367.21〉

慶應義塾で学んだ女性 20 人が拓く“わが道”。福澤諭吉の言葉を励みとして、国内外で先導的な活躍をしてきた 20 人の女性たち、自らの力で拓いた道程を生きいきと記す。

矢嶋康次 著
とき すみ か
記憶の居場所
—エコノミストがみた日常

2781-3 四六判版フランス装 240頁 1,980円(1,800円)

平成の「失われた 30 年」の激流を逡巡迂回しながら渡りきり、節目で怜悯なコメントを発信しつづけてきた人気エコノミストが“フツのオジサン”目線で捉えたこの国の変容を、自らの歩みとともに綴る痛快経済エッセイ！

(21)<330.4>

■ 読書論

佐々木敦 著
あなたは今、この文章を読んでいる。
—パラフィクションの誕生

2162-0 四六判並製 296頁 2,200円(2,000円)

円城塔、伊藤計劃、筒井康隆、辻原登、舞城王太郎、ジョン・バーズ、コルタサル、ジーン・ウルフ——。メタフィクションの臨界点を突破する、2010年代のための衝撃のフィクション論。

(14)<901.3>

小平麻衣子 著
小説は、わかってくればおもしろい
—文学研究の基本 15 講

2591-8 A5 判並製 264頁 2,640円(2,400円)

自由に読むには、修業がいる。テキスト分析のポイントを知り、資料を探し、〈あなたらしく〉と〈客観性〉をレポートで表現しよう！

(19)<907>

エミリー・アプター 著／秋草俊一郎・今井亮一・坪野圭介・山辺弦 訳
翻訳地帯
—新しい人文学の批評パラダイムにむけて

2518-5 A5 判上製 420頁 6,050円(5,500円)

戦争とは、誤訳や食い違いの極端な継続にほかならない。ポスト 9.11 の混迷する世界状況を、人文学の観点から緻密に分析し、翻訳研究と文学を融合させる斬新な試み。

(18)<002.04>

松田隆美・徳永聡子 編
世界を読み解く一冊の本

2181-1 A5 変型判上製 298頁 3,300円(3,000円)

一冊の書物は世界の真理をどのように収めようとしたのか。古今東西の辞典、神学書、哲学書、歴史書といった書物を各専門家が一冊ずつ選び、その内容と時代背景と造本について濃密に論じる、刺激的な 11 の論考集。

(14)<020.4>

若澤佑典 著
文芸共和国の歩き方
—書棚を遊歩するためのキーワード集

2956-5 四六判変型並製 112頁 770円(700円)

本を探し、ことばに触れ、思考の森を歩く旅人は、あれやこれやと「動く」ことで、その散策を満喫しています。読書をめぐる十一の動作から、書棚の迷い人たちに「書国漫遊のモデル・プラン」を提供する。

慶應義塾大学教養研究センター選書 24 (24)<019>

■ 文献学

徳永聡子 編著

出版文化史の東西

—原本を読む楽しみ

2220-7 四六判並製 240頁 2,970円(2,700円)

【図】('15)〈023.02〉

時代によって変わりゆく書物に刻み込まれた歴史を読み解くおもしろさを、日英・日西交流史四〇〇周年を記念し、日本、イギリス、スペインの中世から近代までの出版文化史としてたどる。

松田隆美 編

旅の書物／旅する書物

2261-0 A5変型判上製 240頁 3,300円(3,000円)

【図】('15)〈020.2〉

探書は愛書家を旅に駆り立て、書を携えて旅に出れば、未知との遭遇が旅行記に結実する。旅と書物の緊密な関係を3つの視点〈探書と旅〉〈旅の記録と旅の実際〉〈フィクションと旅〉から分析する9篇の論考。

明星聖子・納富信留 編

テキストとは何か

—編集文献学入門

2280-1 A5判並製 274頁 2,420円(2,200円)

('15)〈020〉

テキストを疑え！ 印刷されたテキスト、検索されたテキストをより主体的に、より深く楽しく読み解くための知の技法。

語 学

■ 英語

橋本功 著

英語史入門

1179-9 A5判並製 240頁 2,640円(2,400円)

英語の成り立ちとその背景にある歴史と文化、言語としての特徴（英語の方言や、文字と音声、語形、語法など）、西洋文化の軸である聖書との関係をわかりやすく解説した「英語史」の入門書。

【図】(‘05)〈830.2〉

津田幸男 著

英語支配とことばの平等

1304-5 四六判上製 266頁 2,640円(2,400円)

英語の「一言語独裁」により、非英語話者は「不平等」と「言語権の侵害」を被っていると説き、「コミュニケーションの平等」を実現するために必要な「ことばの平等」の重要性を説く。

【図】(‘06)〈830.4〉

井上逸兵 著

グローバルコミュニケーションのための英語学概論

2213-9 A5判並製 262頁 2,970円(2,700円)

英語は、グローバル化やテクノロジーの発展とともに日々変化を遂げている。アングロ・サクソンの民族語としての英語という歴史を踏まえつつ、現代までの英語学のエッセンスを網羅的に紹介する。

(‘15)〈830.1〉

ヤマナカチユル、ラリー・E・スミス著/井上逸兵ほか訳

世界の英語と社会言語学

—多様な英語でコミュニケーションする

2056-2 A5判上製 352頁 3,190円(2,900円)

グローバル化が進み、非英語母語話者が世界中で英語を日々使用している状況の中で、多様化してゆく“英語”の姿を社会言語学の立場からひもとく。進化するグローバル化世界の異文化コミュニケーション論テキスト。

(‘13)〈830.4〉

井上逸兵 著

もっともシンプルな英語ライティング講義

2789-9 A5判並製 160頁 1,980円(1,800円)

段落とパラグラフの違いや、日本と欧米におけるライティングの思考の違いをふまえ、英文の基本構造をもっともシンプルに解説。アカデミックなシーンでも、ビジネスにおいても、英語で、書く・読む・プレゼンする技術を獲得できる一冊。

(‘22)〈836〉

奥田暁代 著

大学で学ぶ英語の教科書

2310-5 A5判並製 192頁 2,200円(2,000円)

英語力を身につけながら「大学で学ぶ」ことを学び、発見し、自ら学んでいくことを楽しむための最適なテキスト。

(‘16)〈830〉

小宮繁・小菅隼人 著

学びなおし English

2301-3 A5判並製 160頁 1,980円(1,800円)

('16)<830>

「かつて英語を学んだけれど、すっかり忘れてしまった」「何から勉強しなおしたらいいの?」という久しぶりの英語に自信のない方、もう一度英語の世界に入りたいという方のための「英語を学びなおす第一歩」。

慶應義塾大学経済学部英語部会 編

Study Skills for College English 2nd Edition

1794-4 B5判並製 100頁 1,000円

('11)<830>

自分の考え方を論理的に展開する英文パラグラフの書き方、読んだ文章をパラフレーズして自分の英語表現にまとめる技術、効果的な英語プレゼンテーションの方法などを徹底的に訓練する。

日向清人 著

ビギナーのための法律英語 第2版

1973-3 四六判並製 296頁 2,200円(2,000円)

('12)<320.7>

ビジネス英語のプロである著者が、仕事の現場で見聞きする法律英語の実際に即して「ビジネスで使う法律英語」をまとめた基本用例集。第2版では昨今の法律改正や実務の変化に合わせて例文を再吟味し、巻末には練習問題を追加。

日向清人 著

ビギナーのための経済英語 第2版
—経済・金融・証券・会計の基本用例320

2452-2 四六判並製 272頁 2,200円(2,000円)

('17)<223>

グローバルな活躍を目指すビジネスパーソンが、業務で必要な情報を英語で得るために役立つ重要表現を収録。ひととおり目を通せば、英字新聞の経済・金融面や企業の英文業績報告書を難なく読めるレベルに。金融業界への就職を目指す学生も必読の1冊。

日向清人・斉藤祥子 著

ビギナーのための基本看護英和用語集

2751-6 四六判並製 224頁 2,420円(2,200円)

('21)<492.9>

ビジネス英語書籍に定評のある日向清人氏と、看護師の臨床実習指導やアメリカで日本語／英語遠隔遠隔医療通訳士として活躍する斉藤祥子氏が、看護の実践を踏まえた基本的な重要単語をセレクト。現場で長く使える基本用語集。

松崎久純 著

英語で仕事をしたい人の必修 14 講

2758-5 A5判並製 242頁 2,640円(2,400円)

('21)<670.93>

多くの英語学習本を執筆し、25ヶ国100都市以上での業務経験を持つグローバル人材育成の専門家／経営コンサルタントである著者が、本当に必要とされる英語力や効果的な学習法などを14回の講義形式でわかりやすく解説する。

中国語

村越貴代美 著

初級中国語テキスト
まなんで (CD付)

2189-7 B5判並製 168頁 2,750円(2,500円)

('14)<820>

先生が授業で繰り返し説明する重要ポイントをまとめて掲載、本文中の中国語や区分をすべて掲載した「新しいタイプの教科書」。

■ドイツ語

七字眞明・山口祐子 著

はじめて学ぶドイツ語文法

2897-1 B5判並製 96頁 2,640円(2,400円)

ドイツ語初習者が基礎・初級文法を短期間でマスターするための入門テキスト。全20課で初級文法を完全習得し、日常会話に必要な基礎的な知識とコミュニケーション・スキルを含めた「ドイツ語 A2 レベル (CEFR)」の到達を目指す。 (23)〈845〉

■スペイン語

岡本信照 著

スペイン語の世界

2533-8 四六判並製 266頁 1,760円(1,600円)

21ヶ国の公用語として、一大言語圏を形成するスペイン語の奥深き世界を描く、画期的入門書。写真・図版、コラムや年表、文献案内も充実。重要語句を太字にしたレイアウトで、スペイン語初学者必携！

(18)〈860〉

■ロシア語

ナコルチェフスキー・アンドレイ／
金沢大東 著

白い金 (CD-ROM付)

—推理小説によるロシア語中級コース

0893-5 B5判並製 202頁 3,960円(3,600円)

モスクワと東京を舞台にしたロシア語による推理小説をテキストに、ロシアと日本の風土・文化に根づいたロシア語表現、文法・語法を学ぶことができるように工夫された、多機能かつユニークなテキスト。CD-ROM付。

(02)〈880〉

人文科学総記

慶應義塾大学法学部 編

慶應の教養学

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1592-6 A5判上製 462頁 6,050円(5,500円)

慶應義塾大学が輩出した研究者たちの手による記念出版、全12巻。執筆者：久我俊二、浅井静雄、池上昌、磯崎敦仁、井田三夫、大出敦、奥田暁代、小名木榮三郎、角谷善朗、許光俊、小瀬村誠治、小屋逸樹、辻幸夫、鈴木恵美子、鈴木透、坪川達也、本谷裕子、安田淳、林秀光 (08)〈041〉

慶應義塾日吉キャンパス
極東証券寄附公開講座編集委員会 編

「学ぶこと」を考える

0874-4 四六判並製 232頁 2,420円(2,200円)

先行きが不透明だからこそ必要な、新しい時代をよりよく生きるための指針を求めて、伝統芸能、芸術、ジャーナリズム、NPO、医療といった分野の最前線で活躍する第一人者が語る「学びの現場」からのメッセージ。

【図】(01)〈041〉

慶應義塾日吉キャンパス
極東証券寄附公開講座編集委員会 編

「学ぶこと」を考える 2

0958-1 四六判並製 204頁 2,200円(2,000円)

音楽、ビジネス、ジャーナリズム、スポーツ、医療といった分野の最前線で活躍する第一人者が「学びの現場」を語る講演集のパート2。

(02)〈041〉

慶應義塾大学通信教育部 編

講演集 1 わが学問わが教育

0667-2 四六判並製 180頁 1,320円(1,200円)

慶應に学び、研究者として今日に至る過程を楽しみ語られる先生方と、大学に学ぶ意義を分かち合う書。

講演者：鳥居泰彦、村田昭治、内池慶四郎、倉沢康一郎、池田真朗

講演集シリーズ1

(97)〈041〉

R.W. デイヴィス 編／鷲見誠一・田上雅徳 監訳

西洋における近代的自由の起源

1397-7 A5判上製 460頁 7,810円(7,100円)

「自由」の創始者といわれる古代ギリシアから、国家の専制に牽制を加えた中世ローマ教会、議会による君主への抵抗理論が生まれた17世紀イングランドまで、英米の第一人者の研究者たちが再検討を行った画期的論考集。

慶應義塾大学法学研究会叢書76

(07)〈311.23〉

社会科学

法律
政治
経済
経営・ビジネス
社会科学総記

法律

■ 法律一般

霞信彦 編／原禎嗣・神野潔・兒玉圭司・三田奈穂・高田久実 著

法学概論【第二版】

2814-8 A5判並製 204頁 1,980円(1,800円)

法律世界への実践的アプローチまで踏み込みながら、法学における共通認識や基礎的事項を理解する。随所に基礎的事項や法制史的なコラムを折り込みながら読者を法の世界へと誘う。日本法制史の研究者の手により書き上げられた法学入門の最新版。 (22)(321)

松本和彦 著

カントの批判的法哲学

2531-4 A5判上製 896頁 16,500円(15,000円)

カント最晩年の著作『法論の形而上学的基礎論』は、従来カント哲学研究によって『純粹理性批判』『実践理性批判』における「批判哲学」とは矛盾する老衰の作として捉えられてきた。しかしそれは真に正しいのか。カントの哲学、法哲学を解明する大作。 (18)(133)

岩谷十郎・片山直也・北居功 編

法典とは何か

2187-3 A5判並製 304頁 2,860円(2,600円)

『法典』とは何なのか？『法律』と『法典』とは何が違うのか？これは素朴でありながら、解答の難しい問題である。豪華執筆陣による多面的な視点から、この『法典』の意味を探究し、読者に問いかける基礎法学入門書！ (14)(322)

ヘルムート・コーイング 著／松尾弘 訳

法解釈学入門

2365-5 四六判並製 144頁 2,420円(2,200円)

法学の基礎中の基礎である、法律解釈の歴史や手法、裁判官による法形成、法体系の捉え方等を、コンパクトかつ本格的に学べる入門書。法律学に取り組む方すべての人に向けたドイツ法学の泰斗コーイングの名著。 (16)(321)

ジョゼフ・ラズ 著／松尾弘 訳

法体系の概念 第2版

—法体系論序説 解説追補版

1871-2 A5判上製 344頁 6,380円(5,800円)

普遍的な法体系は存在するのか？法改正が進展する現在、法分析への視点を提供する本書の意義はきわめて高い。訳者による詳細な解説を付した新版として、法体系論の到達点である本書が待望の復刊！ (11)(321.1)

森征一・岩谷十郎 編

法と正義のイコノロジー

0656-6 四六判並製 336頁 2,860円(2,600円)

一見日常と関わりの薄い「法」。しかし法を意識的に捉える市民なくして社会の成熟はない。本書は豊富な絵画を用い、法と正義の概念をイコノロジー（図像解釈学）の手法で説いた、斬新な法文化論である。 (97)(321.1)

Keio UP 選書

(97)(321.1)

法学部法律学科開設 100 年記念
国際シンポジウム委員会 編

21 世紀における法の課題と 法学の使命

0552-1 A5 判上製 382 頁 6,050 円 (5,500 円)

21 世紀を迎えるにあたり、我が国の法律学がこれにいかに対応すべきかという問題を掲げ、人権と法、紛争と法、経済生活と法、犯罪と法、租税と法というサブ・テーマを選び、内外の専門家が討議する。

慶應義塾大学法学研究会叢書 56 (‘94)〈320.4〉

霞信彦 著

軍法会議のない「軍隊」

—自衛隊に軍法会議は不要か

2453-9 四六判並製 192 頁 1,980 円 (1,800 円)

憲法改正が議論される現在にこそ、すでに忘れ去られ葬り去られようとしている軍の司法制度に関する、いづれにも偏ることのない客観的かつ正確な情報を提示し、軍と司法の関係を問う。

(‘17)〈393.3〉

マーサ・ヌスバウム 著／河野哲也 監訳

感情と法

—現代アメリカ社会の政治的リベラリズム

1719-7 A5 判上製 570 頁 5,280 円 (4,800 円)

差別意識を助長する「嫌悪感」と「恥辱感」など少数派の排除につながる「感情」を明らかにし、フェミニズムや共同体主義とは異なる視点から、リベラリズムへの新たな視座を提供するアメリカ哲学界の泰斗による大著。

(‘10)〈321.1〉

マーサ・ヌスバウム 著／河野哲也 監訳

良心の自由

—アメリカの宗教的平等の伝統

1814-9 A5 判上製 640 頁 5,720 円 (5,200 円)

合衆国憲法に定められた「信教の自由」をめぐるさまざまな最高裁判例を参照し、現在へと至るまでの歴史を分析。アメリカが建国当初に持っていた宗教的自由、平等を、リベラリズムの観点から力強く擁護する。

【図】(‘11)〈323.53〉

日向清人 著

ビギナーのための法律英語 第 2 版

1973-3 四六判並製 296 頁 2,200 円 (2,000 円)

ビジネス英語のプロである著者が、仕事の現場で見聞きする法律英語の実際に即して「ビジネスで使う法律英語」をまとめた基本用例集。第 2 版では昨今の法律改正や実務の変化に合わせて例文を再吟味し、巻末には練習問題を追加。

(‘12)〈320.7〉

池田眞朗 著

ビジネス法務学の誕生

3000-4 A5 判上製 240 頁 3,080 円 (2,800 円)

新しい学問分野「ビジネス法務『学』』とは何か？ 昨今の著しい社会の変化やきの激しいビジネスは、旧来の法律学では対処できなくなった。持続可能性、また「ルール創り」の観点から、新たな学問を提唱し、その内容を明らかにした基本書。

(‘24)〈324〉

工藤北斗 著

工藤北斗の司法試験予備試験 最速の「合格り方」

2232-0 A5 判並製 160 頁 1,760 円 (1,600 円)

これから司法試験を受験し、法曹を目指そうとする方々に向けて、司法試験、予備試験の概略・特徴をはじめ、その学習のエッセンスを、著名司法試験講師が解説する。

(‘15)〈327.07〉

細川幸一 著

新版 大学生が知っておきたい

生活のなかの法律

815-5 B5 判並製 112 頁 1,980 円 (1,800 円)

2022 年 4 月からいよいよ始まった「18 歳成人」。その法律の改正や変更点、大学生に関係する環境の変化を反映した最新版！ 身につけておきたい法律の知識を、学生生活、就職、結婚、老後といったライフステージに分けて解説。

(‘22)〈320〉

細川幸一 著

大学生が知っておきたい

消費生活と法律 第2版

2912-1 B5判並製 112頁 2,200円 (2,000円)

陥りやすい消費トラブルのための「法律の知恵」を身に付ける「賢い消費者」へのパスポート！ とりまく消費社会を理解し、消費者としての法律の知識や消費トラブルを豊富な図表とともに、やさしく解説する最新版。

('23)<365>

小林裕子 著

司法通訳人という仕事

—知られざる現場

2637-3 四六判並製 208頁 1,980円(1,800円)

法廷における通訳人の仕事は正しく歌舞伎における「黒子」である。黒子であるからこそ司法通訳にはプロフェッションとしての仕事求められる。我が国の司法通訳に足りないものは何か。その現場から提言する。

('19)<327.6>

福田守利 著

(英文)

Legal Problems of Japanese-Americans

0242-1 A5判上製 242頁 3,520円 (3,200円)

連邦法と州法という特殊な法システムの米国内における外国人としての、日本人及び日系米人の法律問題を総括的に扱った日米相互理解に必読の研究書。全英文。

('80)<322.953>

KEIGLAD 編

(英文)

Comparative Legal Education from Asian Perspective

2463-8 B5判変型上製 192頁 1,980円(1,800円)

東南アジア各国の執筆者によるアジアの視点からの法学教育・法曹育成教育を中心に取り上げ、日本をはじめとした各国の法学教育の諸相を比較し、グローバル法曹人材の育成を展望する。

Programs for Asian Global Legal Professions Series I ('17)<321>

KEIGLAD 編

(英文)

Challenges for Studying Law Abroad in the Asian Region

2504-8 B5判変型上製 256頁 1,980円(1,800円)

東南アジア各国の執筆者によるアジアの視点からの法学教育・法曹育成教育を中心に取り上げ、日本をはじめとした各国の法学教育の諸相を比較し、グローバル法曹人材の育成を展望する。

Programs for Asian Global Legal Professions Series II ('18)<321>

KEIGLAD 編

(英文)

How Civil Law is Taught in Asian Universities

2589-5 B5判変型上製 362頁 1,980円(1,800円)

アジアの国々で民法をどう教えられるか？をテーマとするシリーズ第3巻。メコン川流域アジア諸国の大学により各国の具体的な状況を論じながら、共通事例問題を設定し、各国での解釈手法までを提示する意欲的な巻。

Programs for Asian Global Legal Professions Series III ('19)<320.7>

KEIGLAD 編

(英文)

How Public Law Is Taught in Asian Universities

2660-1 B5判変型並製 184頁 1,980円(1,800円)

メコン川流域アジア諸国の大学により、憲法をテーマとした各国の具体的な状況を論じる、Programs for Asian Global Legal Professions Series の第4巻

Programs for Asian Global Legal Professions Series IV ('20)<321>

KEIGLAD 編

(英文)

Promoting the Rule of Law in Asian Dynamics

2728-8 B5判変型上製 200頁 1,980円(1,800円)

PAGLEP プログラム成果の総括巻。アジアの視点からの「Rule of Law」という課題を中心に、日本をはじめとした各国の法の諸相を比較し、今後のグローバル法曹人材の育成及び法の展開を展望する。

Programs for Asian Global Legal Professions Series V ('21)<320.7>

深沢瞳 著

ベトナム民法典の誕生

—「民法」の私法化と法の支配の醸成

2875-9 A5判上製 184頁 3,960円 (3,600円)

社会主義国家ベトナム。はたして法の支配は醸成されているのか？ その民法典の制定・変容のプロセスに焦点を当てながら、政治に対する法の意義の変容を考察する、開発法学の名著。

('23)<323.01>

■ 憲法

吉田成利 著

大学生のための日本国憲法入門

2647-2 A5判並製 168頁 1,650円 (1,500円)

「憲法」には何が書いてあるか？ 憲法はなぜあるのだろうか？ 基礎教養としての日本国憲法を、話題となった事例や、身近なニュース事例などをとり上げながらわかりやすく説明する日本国民の必読書！ 付録として、日本国憲法全文を掲載。

('20)<323.14>

慶應義塾大学法学部 編

慶應の法律学 公法 I

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1581-0 A5判上製 410頁 6,050円 (5,500円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全12巻。執筆者：柳沢謙次、柳瀬昇、青柳幸一、青柳卓弥、浅野善治、新井誠、有澤知子、岡田俊幸、葛西まゆこ、小谷順子、駒村圭吾、小山剛、山本龍彦

('08)<323.04>

慶應義塾大学法学部 編

慶應の法律学 公法 II

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1582-7 A5判上製 412頁 6,050円 (5,500円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全12巻。執筆者：青木淳一、馬川千里、大内義三、神尾真知子、北原宗律、草薙真一、田村泰俊、手塚貴大、藤原淳一郎、皆川治廣、渡井理佳子、明石欽司、池島大策

('08)<323.04>

ライナー・ヴァール 著／小山剛 監訳

憲法の優位

1997-9 A5判上製 384頁 6,600円 (6,000円)

ドイツ立憲主義の確立期、基本法下における立憲主義の完成期、そして国民国家の変容という観点から、ライナー・ヴァール教授の著作を編成。基本法と連邦憲法裁判所の下で実現した「憲法の優位」が含意するものは何か。

慶應義塾大学法学研究会叢書84 ('12)<323.34>

ライナー・ヴァール 著／小山剛・

石塚壮太郎 監訳

ドイツ憲法の道程

2796-7 A5判上製 360頁 7,700円 (7,000円)

基本法の基本法たる所以は何か？ 隆盛期を迎えたドイツ憲法学の重要基本問題を読み解き、その発展の変遷と根本原理・原則を解明し、ライナー・ヴァール『憲法の優位』を補完する。

('22)<323.34>

上代庸平 著

自治体財政の憲法的保障

2593-2 A5判上製 352頁 6,050円 (5,500円)

財政憲法の規範力による国家の財政行為の拘束から財政憲法原則が導出される過程に焦点をあてることで、自治体財政保障のための具体的な解決策を示し、我が国憲法学に与えられる示唆を得る気鋭の研究。

('19)<323.34>

石塚壯太郎 編

プラットフォームと権力

—How to tame the Monsters

2979-4 四六判上製 312 頁 2,970 円(2,700 円)

プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指すシリーズ。第Ⅱ巻では、プラットフォーム権力の統制理論と手法が、憲法や競争法などの視点から検討される。

怪獣化するプラットフォーム権力と法Ⅱ巻 ('24)<321>

駒村圭吾 編

プラットフォームとデモクラシー

—How to settle the battle of Monsters

2980-0 四六判上製 368 頁 2,970 円(2,700 円)

プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指すシリーズ。第Ⅲ巻では、プラットフォームの台頭と「デモス」の変容が検討されデモクラシーの未来が展望される。

怪獣化するプラットフォーム権力と法Ⅲ巻 ('24)<321>

磯部哲 編集代表/河嶋春菜・柴田洋二郎・堀口悟郎・水林翔 編

プラットフォームと社会基盤

—How to engage the Monsters

2981-7 四六判上製 328 頁 2,970 円(2,700 円)

プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指すシリーズ。第Ⅳ巻では、プラットフォームの参入と健康・教育・労働の視点を交錯させウェルビーイングの課題を提言する

怪獣化するプラットフォーム権力と法Ⅳ巻 ('24)<321>

■ 民法

池田真朗 著

新標準講義 民法債権総論 全訂 3 版

2628-1 A5 判上製 304 頁 2,750 円(2,500 円)

はじめて債権法を学ぶ一般読者から法曹実務家を志す学生まで、すべての人が実社会で民法の知識を役立てることを目指した「法律学習の新標準」テキスト。2020 年改正民法に対応し、全面的に書き直された待望の第 3 版。

('19)<324.5>

池田真朗 著

新標準講義 民法債権各論 第 2 版

2578-9 A5 判上製 264 頁 2,750 円(2,500 円)

「ルール創り」の発想から説く法律学の最新「標準」授業。2020 年改正民法に対応し、契約不適合責任、定型約款等の改正項目に加え、配偶者居住権や QR コード決済にまで言及。進路アドバイスや出題形式解説など、学習者のためのノウハウも満載！

('19)<324.5>

松尾弘 著

民法

2926-8 A5 判上製 960 頁 5,940 円(5,400 円)

物権法、家族法改正など、最新の改正民法を反映。松尾教授の好評テキスト『民法の体系』を、利用しやすい民法総則から始まる方式に再構成し民法分野を 1 冊でカバーする最新テキスト。司法試験、公務員試験など、各種資格試験対策に最適。

('23)<324>

松尾弘 著

債権法改正を読む

—改正論から学ぶ新民法

2474-4 A5 判並製 336 頁 2,970 円(2,700 円)

2020 年施行民法改正の内容は多岐にわたり、形式的な文言の修正・補充から、規定の実質的変更、改正前民法になかった規定の創設、そして民法の基本思想に関わる修正も含む。民法改正の流れを追うことにより、改正点・改正趣旨を「理解」し、民法をより深く「学ぶ」。

('17)<324>

松尾弘 著

家族法改正を読む

—親族・相続法改正のポイントとトレンド

2629-8 A5判並製 160頁 1,980円 (1,800円)

平成30年から令和元年にかけて相次いで行われた家族法改正の全体像を把握し、簡単に改正ポイントを理解する好適書。特別養親子の改正までカバーする。

('19)<326.3>

松尾弘 著

物権法改正を読む

—令和3年民法・不動産登記法改正等のポイント

2759-2 A5判並製 200頁 2,420円 (2,200円)

法制審議会（民法・不動産登記法部会）幹事、松尾弘教授による、好評「改正法を読む」シリーズの最新作。2021年4月に成立した、物権法改正・不動産登記法改正、新法・相続取得土地の国庫帰属法のポイントを解説する必読の改正民法解説書。

('21)<324.2>

平野裕之 著

新・考える民法Ⅰ 民法総則第2版

2891-9 A5判並製 288頁 3,080円 (2,800円)

司法試験の論文試験には何が求められるのか？ 考え抜く力を養う記述、解説の詳細さはそのままに、各問題のレベルをより実際の問題に近づけ、「模範答案例」を付した平野教授の民法事例演習書・民法総則の第2版。

('23)<327.07>

平野裕之 著

新・考える民法Ⅱ 物権・担保物権

2601-4 A5判並製 352頁 3,080円 (2,800円)

司法試験について、その出題の趣旨、論点の重要度、答案作成に関するコメントなどを随所に付け、改正民法に対応した解説で重要論点を徹底解明。答案構成サンプルも付し、実際の論文試験で圧倒的な論文を書く力を養う、究極の民法事例演習書第Ⅱ巻！

('19)<324.4>

平野裕之 著

新・考える民法Ⅲ 債権総論第2版

2969-5 A5判並製 264頁 2,640円 (2,400円)

司法試験受験生にも人気の平野裕之教授による論文演習書シリーズ、債権総論の第2版！ 問題をより実践的なレベルに近づけ、「模範答案例」を追加。実際の答案を考えるさいに参考になる、法律関係の図解も加えた最新版。

('24)<327.07>

平野裕之 著

新・考える民法Ⅳ 債権各論

2699-1 A5判並製 352頁 3,080円 (2,800円)

考えに考え抜き、改正民法をコンプリートする至高の演習書・第Ⅳ巻・債権各論！ 受験生に支持のあつ著者が、完璧な改正民法の論点・論述を解き明かす。司法試験受験生必携。「改正民法演習シリーズ」(全4巻)完結巻。

('20)<327.07>

平野裕之 著

新債権法の論点と解釈 第2版

2714-1 A5判並製 592頁 4,180円 (3,800円)

新民法の論点は何か？ どう解釈すべきか？ 必要に応じて内容を調べられる改正法概説書。改正法を勉強する切実な必要性に迫られている方に向け、これまでの議論の全てを補充・集約・展開。平野教授の手による解説・解釈書の決定版！

('21)<324.4>

平野裕之 著

製造物責任法の論点と解釈

—詳解・分析「欠陥」「証明」の裁判例

2782-0 A5判並製 544頁 4,950円 (4,500円)

制定施行から25年を超える製造物責任法。蓄積された裁判例を法の中核的要件である「欠陥」の法的意義、その証明問題に絞り徹底的に分析・解説。300を超える判例を分析した製造物の実務・法務にかかわる全ての人に向けた必読参考書！

('21)<324.55>

平野裕之 著

高齢者向け民間住宅の論点と解釈

—有料老人ホーム・サ高住入居契約の法的分析

22839-1 A5判並製 352頁 4,180円(3,800円)

「高齢者福祉」の理念を実現するための契約、法律構成はどうあるべきなのか？ 超高齢化が進む現代社会における、介護等の福祉サービスが付いた高齢者向けの民間住居（居住施設）を中心に、その私法上の問題点を鋭く検討する！ (‘22)〈369.26〉

平野裕之 著

保証・人的担保の論点と解釈

2714-1 A5判並製 592頁 4,180円(3,800円)

保証を中心とする人的担保。その論点の全て！ 連帯保証、共同保証、根保証はもちろん、併存的債務引受、独立損害担保、経営指導念書についても言及。保証を中心とした人的担保をめぐる論点のすべてを扱う解説書。 (‘24)〈324.52〉

池田真朗 著

ボワソナードとその民法 増補完結版

2772-1 A5判上製 616頁 7,480円(6,800円)

ボワソナードが起草した旧民法財産法分野の諸研究の先端を把握しつつ、親族法・相続法分野の立法過程の研究を加え、2020年施行の債権法改正・相続法改正に浮かび上がるその民法理論を探究して現在に投影する、堂々の増補完結版。 (‘21)〈324.04〉

斎藤和夫 著

ドイツ強制抵当権の法構造

—「債務者保護」のプロイセン法理の確立

0980-2 A5判上製 402頁 8,910円(8,100円)

「実体法と手続法の交錯」の典型的・象徴的テーマとしてのドイツ強制抵当権制度の沿革・内容について正面から採り上げ、「近代抵当権論」のシェーマを批判的に克服しながら、担保法学の新たな指導理念を追求。慶應義塾大学法学研究会叢書71 (‘03)〈324.934〉

斎藤和夫 著

ドイツ強制抵当権とBGB 編纂

—ドイツ不動産強制執行法の理論的・歴史的・体系的構造

1881-1 A5判上製 888頁 13,200円(12,000円)

ドイツにおける「強制抵当権制度の法形成」、「統一的民法典編纂過程」、「三基軸抵当法体系論」の3つの課題を追求・解明し、日本法への示唆を行う。慶應義塾大学法学研究会叢書81 (‘11)〈327.934〉

津田利治・内池慶四郎 編著

神戸寅次郎 民法講義

0619-1 A5判上製 492頁 7,260円(6,600円)

そのオーソドックスな解釈理論は現在の判例学説と一致するところが少なくない。明治後半から大正末期の注釈法学の黄金時代の代表的学者の1人である神戸寅次郎の現在の意義を窺い知ることができる。慶應義塾大学法学研究会叢書60 (‘96)〈324〉

津田利治 著

横槍 民法總論(法人ノ部)

0642-9 A5判上製 130頁 2,750円(2,500円)

著者が積年の会社法研究を土台として民商法の法人制度を統合的に体系化した畢生の著作。利益法学の方法論を厳密に実践した解釈論から民法典の各規定を分析究明し通説を批判した学問的意義は大きい。慶應義塾大学法学研究会叢書66 (‘96)〈324.12〉

慶應義塾大学内池研究会・みなと会 編

法、言葉、忘れ得ぬ人々

—内池慶四郎随想録

2153-8 四六判上製 224頁 2,200円(2,000円)

慶應義塾大学内池研究会機関誌「流石」をはじめ、「三色旗」「三田評論」などに寄稿したエッセイなどを中心に編纂。法と言葉と解釈の問題を法哲学的思惟のもと鋭く洞察する「法と言葉」なども収録した、内池慶四郎先生不朽の随想録。 (‘14)〈320.4〉

池田真朗 著

新世紀民法学の構築

—民と民との法を求めて

2223-8 四六判上製 224 頁 2,310 円(2,100 円)

池田民法学の核心となる債権譲渡の学問的發展から、債権譲渡から金融法への發展、法学教育、日本民法の国際的展開など、池田先生の著作を読む全ての方に対して、池田民法学の全体像、そして今後の民法学の發展を伝える！

('15)<324>

片山直也・北居功・武川幸嗣・北澤安紀 編

池田眞朗先生古稀記念論文集

民法と金融法の新時代

2657-1 A5判上製 720 頁 13,200 円(12,000 円)

民法・金融法界の第一線で活躍する豪華執筆陣により、池田眞朗先生の古稀を記念して編まれた研究論文集。施行迫る改正民法の課題をはじめとした、新時代の民法学、金融法学の課題と呼ぶにふさわしい論文が集成。

('20)<324.04>

片山直也 著

財産の集会的把握と詐害行為取消権

—詐害行為の基礎理論 第 2 卷

2955-8 A5判上製 480 頁 7,920 円(7,200 円)

法秩序の重層構造と動態的法形成。この分析視角と問題意識を深化させ、「財産の集会的把握」という新たな現代的課題に挑む、詐害行為の基礎理論第 2 卷。

('24)<324.4>

■ 民事訴訟法

慶應義塾大学法学部 編

慶應の法律学 民事手続法

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1586-5 A5判上製 260 頁 4,950 円(4,500 円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全 12 卷。執筆者：石川明、石渡哲、河原田有一、坂原正夫、宗田親彦、永井博史、芳賀雅顕、三木浩一、山田恒久

('08)<327.2>

春日偉知郎 著

比較民事手続法研究

—実効的権利保護のあり方

2347-1 A5判上製 352 頁 8,250 円(7,500 円)

民事裁判における秘密保護手続、EU の民事訴訟における証拠の取扱い、ドイツやオーストリアの新仲裁法等のテーマついて、裁判に現れた具体例を取り上げながら、実務上の議論に焦点を当て、わが国の同種問題の解決策を導く。

('16)<327.93>

石川明教授記念手続法研究所 編

比較民事手続法のトレンド I

2602-1 A5判上製 320 頁 5,280 円(4,800 円)

ドイツ、ヨーロッパ稀代の研究者による講演を集成。民事訴訟法を初めとした海外の民事手続法の潮流を掴み、比較法研究の契機を提供する最上の翻訳叢書第 I 卷。

('19)<327.9>

金美紗 著

**民事訴訟における
当事者の主張規律**

2667-0 A5判上製／392 頁 7,150 円(6,500 円)

実効的な主張規律が存在するアメリカ法を比較法的対象とし、わが国に適した規律、そして実務における当事者および訴訟代理人の主張活動を効果的に律することのできる規準として主張規律を考察する気鋭の研究。

('20)<327.2>

川嶋隆憲 著

民事訴訟における 後訴遮断理論の再構成

2798-1 A5判上製 276頁 5,500円 (5,000円)

わが国の「既判力理論」、その補充法理としての「信義則理論」が直面する理論的課題に対し、英米法の「後訴遮断理論」に新たな手掛かりを得て再考。既判力規範と信義則規範の具体的な運用指針を提供することを試みる先駆的研究。 (22)〈327.933〉

芳賀雅顕 著

外国判決の承認

2506-2 A5判上製 544頁 8,250円 (7,500円)

判決の国際的調和とは何か—
外国判決承認制度を私権実現の制度であると明確に意識しながら、その要件及び効果の側面から、また比較法的手法も用いながら、繊細かつ明確に解き明かす。 (18)〈329.87〉

坂原正夫 著

民事訴訟法における 訴訟終了宣言の研究

1747-0 A5判上製 678頁 11,000円(10,000円)

日本における訴訟終了宣言を論じる珠玉の体系書。ドイツにおける制度の現状と問題点、その発展と形成、比較法的・法制史的視点、日本法における解釈論など、内在する論点を余すところなく体系的に考察。 (10)〈327.2〉

慶應義塾大学法学研究会叢書80

(10)〈327.2〉

■ 民事法 (その他)

慶應義塾大学法学部 編

慶應の法律学 民事法

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1584-1 A5判上製 420頁 6,050円 (5,500円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全12巻。執筆者：新井誠、池田真朗、斎藤和夫、七戸克彦、水津太郎、平野裕之、前田美千代、松尾弘、小宮山宏之、日向野弘毅、宗田貴行 (08)〈324.04〉

(08)〈324.04〉

森征一・池田真朗 編

私権の創設とその展開

内池慶四郎先生追悼論文集

2097-5 A5判上製 658頁 14,300円(13,000円)

「源流から大河へ」。内池慶四郎博士の門下生を中心とした15編の結集。内池博士の法律行為論も所収し、債権法改正が間近に迫る現在、各テーマを通じて今後の民事法の動向を展望する。慶應内池民法学の承継を示す追悼論文集。 (13)〈324.04〉

(13)〈324.04〉

島田真琴 著

イギリス取引法入門

2112-5 A5判並製 348頁 4,180円 (3,800円)

最も国際競争力のある取引法として認知されているイギリス法を、近年の法令・判例に基づき、契約から過失責任、信託、担保までわかりやすく解説。国際訴訟、国際契約交渉、英文契約書作成といった取引法務の実践面も紹介。 (14)〈324.933〉

(14)〈324.933〉

岡伸浩 著

倒産法実務の理論研究

2218-4 A5判上製 344頁 7,040円 (6,400円)

「理論と実務の架橋」を目指したロースクール制度が充足して10年。今こそ「実務に生きる理論」「理論の支えある実務」を感得できるシリーズを刊行。第1巻は「倒産法実務の理論研究」。 (15)〈324.04〉

民事法実務の理論研究 I

(15)〈324.04〉

斎藤和夫 著

民事保全法

—民事紛争最前線

2193-4 A5判並製 312頁 4,180円 (3,800円)

民事保全の全体構造を理解する。具体例に即し簡潔・明快に解説するテキスト！ 民事保全は民事訴訟、強制執行へと続く民事紛争の最前線。図解を多数使用しながら、読みやすく、理解しやすい、通読ができる唯一の教科書。

(14)<321>

■ 知財法

島田真琴 著

アート・ロー入門

—美術品にかかわる法律の知識

2741-7 A5判並製 362頁 3,740円(3,400円)

近年、世界の美術品市場は急拡大しており、それに伴いアートをめぐる紛争も多発している。弁護士はもちろん、美術品を仕事で扱う人をはじめ、アートに関わる全ての方が活用できるよう、幅広い観点から、アートをめぐる法律についてわかりやすく解説。

(21)<709.1>

島田真琴 著

アート・ローの事件簿

—盗品・贋作と「芸術の本質」篇

2883-4 四六判並製 232頁 2,420円(2,200円)

ダ・ヴィンチ、エゴン・シーレ作品といった著名な絵画の真贋や盗品に関する事件など数々の裁判事件を紹介。美術品にまつわる事件の「面白さ」に加え、アート法の世界を楽しむことのできる1冊。

(23)<709>

島田真琴 著

アート・ローの事件簿

—美術品取引と権利のドラマ篇

2884-1 四六判並製 232頁 2,420円(2,200円)

アートマーケットが盛況のいま、比例して美術品に関する裁判事件も増加している。アートと著作権、外国の美術館からの取り戻し、環境保全に関する事件など、特にアートとマーケットにかかわる数々の裁判事件を紹介する。

(23)<709>

島田真琴 著

美術館・博物館の事件簿

2999-2 四六判並製 240頁 2,640円 (2,400円)

日本の3つの「ダリ展」、大英博物館の収蔵品、琉球王家の遺骨、表現の不自由展、重要文化財盗賊観音立像…。アートの世界の内幕と真実とは？ 16の法廷ドラマと15のコラムから美術館・博物館の舞台裏を明らかにする。

(24)<709>

竹内誠也 著

詳解 国際知的財産法

—TRIPs 協定解釈と加盟国実施

2801-8 A5判並製 336頁 3,960円 (3,600円)

知的所有権の貿易関連の側面に関する協定、TRIPs、総則、特許、反競争、意匠、商標、著作権などの各条項の解釈、また各国における国内の実施状況について解説。国際知的財産法を理解するテキスト！

(22)<507.2>

■ 労働法

星田淳也 著

働くなればこれだけは
知っとけ！ 労働法

2927-5 四六判並製 280頁 1,980円(1,800円)

労働の場面で起きるたいていの問題に対処可能になる！
就職活動中の方、一般の会社員の方、そして経営者の方
も含めて、最低限知っておくべき労働法の内容を実用的
にわかりやすく解説！

('23)<366.14>

■ 商法

慶應義塾大学法学部 編

慶應の法律学 商事法

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1585-8 A5判上製 282頁 4,950円(4,500円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記
念出版、全12巻。執筆者：大賀祥充、岡本智英子、加
藤修、来住野究、島田志帆、杉田貴洋、諏訪野大、高田
晴仁、藤田祥子、山本爲三郎

('08)<325.04>

鈴木千佳子 著

入門講義 会社法 第3版

2919-0 A5判並製 328頁 2,970円(2,700円)

会社法をビジネス用途で身につけようとする方、また各
種試験で勉強する必要のある方へ向けて、適宜な分量で
会社法の基本を抑える。最新の令和元年改正やコーポ
レート・ガバナンス・コードなどを盛り込み、より使い
やすくなった最新第3版！

('23)<325.2>

山本爲三郎 著

株式譲渡と株主権行使

2431-7 A5判上製 480頁 7,370円(6,700円)

初学者が会社法の全体像をつかみ、最後まで飽きずに読
了できるようまとめた入門書。条文の趣旨にそって重要
な論点を丁寧にわかりやすく解説。学説上カギとなる判
例や今日的トピックはコラムで紹介。

慶應義塾大学法学研究会叢書87

('13)<325.2>

慶應義塾大学商法研究会 編

会社法以前

0889-8 A5判上製 636頁 9,020円(8,200円)

平成11年に逝去した津田利治・慶應義塾大学名誉教授
の、戦前から戦後にかけての論考19本を集大成、津田
商法学の今日的意義を世に問う。透徹した法理論と、利
益状況を求める厳密な法解釈論に溢れた学界待望の書。

慶應義塾大学法学研究会叢書72

('03)<325.2>

隅谷史人 著

独仏指図の法理論

—資金移動取引の基礎理論

2358-7 A5判上製 296頁 8,140円(7,400円)

ドイツ法、フランス法それぞれの「指図」の沿革および
学説の展開から、これらの背後にある理論的背景を明晰
にし、現在の資金移動取引の基礎理論、ひいては私法学
上の基礎法理として一般的指図理論の構築を希求する気
鋭の研究書。

('16)<322.934>

並木和夫 著

内部者取引の研究

0637-5 A5判上製 224頁 3,960円 (3,600円)

内部者取引の規制立法についての体系的研究書。アメリカ合衆国の実例を引いて、刑事制裁、公正性、制限付情報均等論、市場に対する詐欺の理論等、その理論的裏付けや問題点について詳細に論じる。

慶應義塾大学法学研究会叢書64 (’96)〈338.16〉

慶應義塾大学商法研究会 編著

下級審商事判例評釈

(昭和40年～44年)

0333-6 A5判上製 456頁 6,380円 (5,800円)

昭和40年～44年の下級審判例52件の評釈を収録。激動の商事判例を理論的に検討する共同研究の成果。

慶應義塾大学法学研究会叢書45 (’85)〈325.098〉

慶應義塾大学商法研究会 編著

下級審商事判例評釈

(昭和45年～49年)

0310-7 A5判上製 630頁 9,130円 (8,300円)

判例法の転換期である昭和45年～49年の下級審商事判例78件の評釈を収録。大法廷判決の原審等、興味深い事例を理論的に分析する。

慶應義塾大学法学研究会叢書42 (’84)〈325.098〉

慶應義塾大学商法研究会 編著

下級審商事判例評釈

(昭和50年～54年)

0617-7 A5判上製 596頁 9,240円 (8,400円)

慶應義塾大学商法研究会の多彩なメンバーによる下級審商事判例評釈の第4冊目。昭和50年から54年までの65件を収録。

慶應義塾大学法学研究会叢書58 (’95)〈325.098〉

慶應義塾大学商法研究会 編著

下級審商事判例評釈

(昭和55年～59年)

0618-4 A5判上製 492頁 8,800円 (8,000円)

昭和56年の商法大改正をはさむ昭和55年から59年までの48件の判例評釈を収録。

慶應義塾大学法学研究会叢書59 (’95)〈325.098〉

慶應義塾大学商法研究会 編著

下級審商事判例評釈

(昭和60年～63年)

0736-5 A5判上製 456頁 7,150円 (6,500円)

慶應義塾大学商法研究会が同大学法学部機関誌『法学研究』に発表してきた下級審商事判例研究を判例年月日順にまとめた判例評釈シリーズ。昭和60年から63年までの40件を収録。

慶應義塾大学法学研究会叢書68 (’99)〈325.098〉

慶應義塾大学商法研究会 編著

下級審商事判例評釈

(平成元年～5年)

1217-8 A5判上製 520頁 7,700円 (7,000円)

慶應義塾大学商法研究会が発表してきた下級審商事判例研究を判例年月順にまとめた判例評釈シリーズ。平成元年～5年までを収録。

慶應義塾大学法学研究会叢書74 (’06)〈325.098〉

慶應義塾大学商法研究会 編著

下級審商事判例評釈

(平成6年～10年)

1218-5 A5判上製 472頁 7,150円 (6,500円)

商法の頻繁な改正時期に入り、判例の研究はいよいよ重要性を増している。平成6年から10年までの30件の判例評釈を収録。

慶應義塾大学法学研究会叢書75 (’06)〈325.098〉

慶應義塾大学商法研究会 編著

下級審商事判例評釈

(平成 11 年～ 15 年)

1782-1 A5 判上製 720 頁 10,120 円(9,200 円)

慶應義塾大学商法研究会 編著 『下級審商事判例評釈』シリーズ最新巻。慶應義塾大学法学部紀要『法学研究』に掲載された、平成 11 年から平成 15 年の下級審商事判例評釈を集成。

慶應義塾大学法学研究会叢書79 (‘10)〈325.098〉

慶應義塾大学商法研究会 編著

下級審商事判例評釈 第 10 巻

(平成 16 年～ 20 年)

2271-9 A5 判上製 840 頁 11,880 円(10,800 円)

企業社会の生きた事実が映し出される下級審商事判例の研究を通して、商法のあるべき法理を追究する「下級審商事判例評釈」シリーズの 10 冊目。平成 16 年から平成 20 年の判例評釈 49 件を収録する

慶應義塾大学法学研究会叢書86 (‘15)〈325.098〉

■ 刑法

井田良 著

変革の時代における理論刑法学

1386-1 A5 判上製 256 頁 3,080 円(2,800 円)

刑事立法の新動向の評価、刑法学の在り方、違法論および責任論の基礎、量刑判断の枠組みなど、変革する時代において刑法学が直面する根本問題に正面から立ち向かう著者珠玉の論文集。

(‘07)〈326〉

佐藤拓磨 著

未遂犯と実行の着手

2379-2 A5 判上製 312 頁 7,150 円(6,500 円)

未遂犯の処罰根拠論および実行の着手論に関する日本・ドイツの議論を比較して、我が国解釈論の深化を試みる。未遂犯の主たる処罰根拠を行為の規範違反性に求めつつ、その処罰範囲を制約する方向での理論構成を探る、精緻な理論研究。

(‘16)〈326.15〉

甲斐克則 編訳

海外の安楽死・自殺幫助と法

2263-4 A5 判上製 192 頁 5,060 円(4,600 円)

医事法の第一人者、甲斐克則教授編訳のもと、アメリカをはじめ、ドイツ、フランス、そして積極的に安楽死を認めるオランダ等、代表的な国々の法とその運用を、当該国の代表的な研究者が紹介・解説する。

(‘15)〈490.15〉

安富潔 著

刑事実務の基礎知識 特別刑法入門 1 [第2版]

2704-2 A5 判並製/304 頁 3,850 円(3,500 円)

実際の刑務実務の現場で直感しやすい、経済犯罪・薬物犯罪・性犯罪関連の法律を中心に厳選し、解説した特別刑法の入門書籍。収録法律の最新改正、最新判例を追加し、全面的に見直した第 2 版!

(‘20)〈326.8〉

安富潔 著

刑事実務の基礎知識 特別刑法入門 2

2610-6 A5 判並製 304 頁 3,850 円(3,500 円)

「刑法」以外の各種法律に定められている刑罰法規の総称である「特別刑法」。この膨大な数に上る特別刑法のなかから、実際の刑事実務の知識として必須となるものを知的財産法、労働法、環境法等から厳選しコンパクトに解説を加えた特別刑法入門の第 2 巻。(‘19)〈326.8〉

横濱和弥 著

**国際刑法における上官責任と
その国内法化**

2737-0 A5 判上製 400 頁 6,050 円 (5,500 円)

組織上位者の刑事責任を問うことに特化した理論的枠組の1つ「上官責任」。この概念の形成過程と成立要件を精緻に分析し、比較法的検討を通じて、我が国における上官責任の立法のあり方について、具体的な提言を行う気鋭の研究。(21)(329.7)

橋本広大 著

**国際組織犯罪対策における刑事規制
—処罰の早期化・犯罪収益規制とイギリス比較法**

2848-3 A5 判上製 312 頁 5,940 円 (5,400 円)

グローバル化の進展により脅威を増す国際組織犯罪。コモン・ローの伝統と判例法により支えられているイギリスを比較法の対象とすることにより、処罰の早期化と犯罪収益規制に新たな理論的基盤を提供する気鋭の研究。(22)(329.7)

■ 刑事訴訟法

安富潔 著

刑事訴訟法講義 第5版

2718-9 A5 判上製 464 頁 3,740 円 (3,400 円)

平成 28 年改正刑事訴訟法全施行後の重要判例、実務の動き、犯罪捜査規範および通信傍受規則等のその後の改正など、をフォロー加筆修正。前版や他の刑事訴訟法テキストでは分かりづらい部分をよりイメージしやすく理解しやすく解説した最新版！(21)(327.6)

■ 刑事政策・刑事法全般

太田達也 著

**刑の一部執行猶予改訂増補版
—犯罪者の改善更生と再犯防止**

2543-7 A5 判上製 352 頁 4,950 円 (4,500 円)

2016 年から施行された刑の一部執行猶予制度。その本来の在り方を模索しながら、全部執行猶予の一部取消制度を検討する新章を追加し、今後の制度設計をも提唱する。研究者はもちろん実務家にも必携の書籍、改訂増補版。(18)(326.46)

太田達也 著

仮釈放の理論

—矯正・保護の連携と再犯防止

2485-0 A5 判上製 416 頁 5,720 円 (5,200 円)

仮釈放から自由刑のあり方を考える。仮釈放の原理や正当化根拠に立ち返り、制度を理論的に考察。科学的検証のない政策に十分な効果は期待できないが、原理原則のない政策は無軌道となる。将来に亘って妥当性を有する仮釈放制度の理論的支柱を考察する。(17)(326.46)

小林良樹 著

犯罪学入門

—ガバナンス・社会安全政策のアプローチ

2594-9 A5 判並製 224 頁 2,750 円 (2,500 円)

あなたが当事者ならどう考えますか？ 犯罪等の問題を必ずしも専門に取り扱ったことのない読者を主な対象とする入門テキスト。類書にはない領域「ガバナンス」「社会安全政策」の観点から犯罪学の考え方や手法をやさしく解説。(19)(326.46)

尾崎愛美 著

**犯罪捜査における
情報技術の利用とその規律**

2920-6 A5 判上製 296 頁 7,150 円 (6,500 円)

飛躍的に進化を遂げた情報通信技術 (ICT) と犯罪捜査の在り方。——「監視型捜査」という新たな捜査の類型について、刑事法学、憲法学の考察を通じて、その統制手法を論じる進取の研究。

('23)<327.63>

加藤久雄 著

**人格障害犯罪者に対する刑事制裁論
—確信犯罪人の刑事責任能力・処分論を中心にして**

1740-1 A5 判上製 364 頁 6,820 円 (6,200 円)

確信犯罪人に対する「社会治療」による社会復帰の可能性を探究。現在の刑事政策論の問題について、人間の尊厳維持のために死刑廃止論を前提に論究する。

慶應義塾大学法学研究会叢書78

('10)<326.3>

太田達也 編

(英文)

**Victims and Criminal Justice:
Asian Perspective**

0983-3 A5 判並製 324 頁 5,940 円 (5,400 円)

アジアの国々における犯罪被害者支援の考え方を、広く世界へ発信する初めての試み。アジア各国の被害者学および犯罪被害者の支援の発展と最近の傾向を分析する。

慶應義塾大学法学研究会叢書73

('03)<326.92>

井田良・太田達也 編

いま死刑制度を考える

2100-2 四六判並製 208 頁 2,200 円 (2,000 円)

最大の問題でありながら建設的・生産的な議論が行われない「死刑制度」。この閉塞状況を打開し相互の理解を深めるため、第一線の法律家たちが制度の存廃と今後のあり方をめぐる冷静な議論を積み重ねる。

('14)<326.41>

慶應義塾大学法学部 編

慶應の法律学 刑事法

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1583-4 A5 判上製 338 頁 5,500 円 (5,000 円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全 12 巻。執筆者:内海朋子、太田達也、坂田仁、佐藤拓磨、島岡まな、末道康之、富田信穂、フィリップ・オステン、南由介、安富潔、五十子敬子

('08)<326.04>

太田達也 著

**犯罪被害者への賠償をどう実現するか
—刑事司法と損害回復**

2951-0 四六判上製 480 頁 3,520 円 (3,200 円)

犯罪被害者への損害賠償の実現に向け、司法関係者のほとんどが無理だとしてきた従来の状況を打破し、警察、検察、刑務所、保護観察所といった刑事司法機関が犯罪者による被害者への賠償に向け為しうる方策について提案する。

('24)<326.3>

■ 国際法

明石欽司 著

ウェストファリア条約

—その実像と神話

1629-9 A5 判上製 628 頁 9,900 円 (9,000 円)

近代国際法や近代欧州国際関係の原点とされるウェストファリア条約。その理解を正確なものとし、近代国家や近代国家系の形成過程、そして近代国際法の形成過程を問い直す世界水準の研究書。

('09)<329.66>

明石欽司 著

不可視の「国際法」

—ホプズ・ライブニッツ・ルソーの可能性

2570-3 A5判上製 608頁 8,250円 (7,500円)

「負の国際法意識」を克服せよ。啓蒙期「知の巨人」たちは「国際法」とは無関係なのか。現在の一般的知識からは影となっている事実を焦点を当て、彼らの「法」「国家」「主権」理論を論理的に描き出す。国際法史研究の深化を問う最高水準の研究。 (18)<329>

明石欽司・韓相熙 編著

近代国際秩序形成と法

—普遍化と地域化のはざままで

2898-8 A5判上製 320頁 6,050円 (5,500円)

多様な価値が共存する現代国際社会に一元的に適用されるべき法規範である国際法。その背後にある、欧州中心主義的思考に無自覚の裡に掬め捕られてはいないか。「国際法の普遍化過程」を再考し、その普遍性や「欧州中心主義」を問い直す。 (23)<329>

中村洗 編／大森正仁 補訂

前原光雄 国際法論集

1866-8 A5判上製 372頁 6,380円 (5,800円)

中村洗によって編纂された国際法研究者・前原光雄の著作集。紛争解決、安全保障、平和問題に焦点を当てて選ばれた論説を中心に、戦後日本における国際法研究の進展を示す。

慶應義塾大学法学研究会叢書82

(11)<329.04>

大森正仁 著

国際責任の履行における賠償の研究

2514-7 A5判上製函入 344頁 6,380円 (5,800円)

これまでの国際責任法に関する様々な活動や著作を概観のうえ、賠償に関してなされた法典化作業の分析と国際判例、国際的事例を取り上げる。さらに現在の国際法における賠償の機能について考察を加える。

慶應義塾大学法学研究会叢書88

(18)<167.1>

新垣修 著

時を漂う感染症

—国際法とグローバル・イシューの系譜

2762-2 四六判上製 370頁 2,970円 (2,700円)

ペスト、コレラ、天然痘、エイズ、SARS、新型コロナウイルス…。感染症と国際法がどのように交わり、変化し、次の世代に継承されていったのか。「国際法」というレンズを通して描きながら、現在世界が直面する問題に切り込む意欲作。 (21)<329>

■ 法制史

三田古代史研究会 編

法制と社会の古代史

2230-6 A5判上製 336頁 9,350円 (8,500円)

三田古代史研究会の創設25周年記念論文集。日本古代の法と秩序、政務と人物、生活と信仰など法制と社会に関わる問題を多角的かつ実証的に解明する。

(15)<210.3>

霞信彦 著

明治初期刑事法の基礎的研究

0461-6 A5判上製 354頁 7,700円 (7,000円)

仮刑律より旧刑法に至る、いわゆる明治初期刑法典の内容研究、明法寮を中心に行われた刑事に係わる伺・指令裁判の構造分析、明治15年陸軍刑法編纂に関する論考など11論文を収録。

慶應義塾大学法学研究会叢書50

(90)<326.02>

霞信彦 著

明治初期伺・指令裁判体制の一掬

2294-8 A5 判上製 272 頁 6,600 円 (6,000 円)

明治初期、刑事裁判の実決を担当した者と司法省との間で交わされた伺・指令を基軸としておこなわれた「伺・指令裁判体制」。今日残された史料の解明を通じて、制度的・人的側面から明らかにする。

('16)<327.6>

岩谷十郎 著

明治日本の法解釈と法律家

1917-7 A5 判上製 656 頁 10,560 円(9,600 円)

未知の法制度への転換に法律家はいかに呼応したか？明治初期から大正期の陪審法に至るまでの法曹三者による法廷運営の中に、彼らの「目の高さ」に映じた変革の実相を読み込み、制度の「内側」からの視点で近代法史を描写する。慶應義塾大学法学研究会叢書83

('12)<322.16>

出口雄一 著

戦後法制改革と占領管理体制

2433-1 A5 判上製 520 頁 7,480 円(6,800 円)

戦後日本史の起点ともなる占領期。この極めて混乱した権力・政治状況下における法制改革の実態と占領管理の構造を解明する。占領期前後の日本の法制度・法文化の跋行した歩みをまさに連続性をもって描く、学界未到の領域への挑戦的著作。

('17)<322.16>

小沢奈々 著

大正期日本法学とスイス法

2201-6 A5 判上製 352 頁 7,700 円 (7,000 円)

従来ほとんど顧みられてこなかった我が国におけるスイス法の影響。法学者たちの人的交流の局面と、制度解釈の学説史的な局面とに分け、詳細かつ総合的な視点から、近代日本におけるスイス法の影響を比較法史的に論じる。第13回(2015年度)天野和夫賞受賞作。('15)<321.21>

呉迪 著

近代東アジア憲法の歴史的交響
—理論の継受と規範の形成

2993-0 A5 判上製 312 頁 5,720 円 (5,200 円)

日本・中国、両国における憲法の基本概念から解きおこし、当時の中国の憲法制定と明治憲法、そして相互の憲法学の関係、また近代における中国の憲法学教育における日本の要素をも考察しながら、両国の憲法、憲法学の継受と発展の歴史を繙く。('24)<324.4>

田村次朗 著

競争法におけるカルテル規制の再構築
—日米比較を中心として

2748-6 A5 判上製 208 頁 4,180 円 (3,800 円)

米国反トラスト法の運用に伴って形成されてきた、法適用にあたっての分析枠組みを解説し、日本の独禁法政策に理論的示唆を提供する。

慶應義塾大学法学研究会叢書91 ('21)<335.57>

■ その他

岡本正 著

災害復興法学

2163-7 A5 判並製 320 頁 3,080 円 (2,800 円)

東日本大震災直後から無料法律相談を通じて集められた4万人を超える被災者の「声」を元に、法律的課題の発見から政策提言まで、巨大災害時の生活再建支援、災害復旧・復興支援に必要となる「防災リーガル・リテラシー」を提唱する。【図】('14)<321>

岡本正 著

災害復興法学Ⅱ

2536-9 A5 判並製 352 頁 3,080 円 (2,800 円)

東日本大震災 4 万件、広島土砂災害 250 件、そして熊本地震 1 万 2 千件のリーガル・ニーズを徹底解析。更なる復興、そして防災・減災へ。リーガル・レジリエンスの獲得を目指し、新たな防災教育をデザインする第Ⅱ巻。

(18)(321)

岡本正 著

災害復興法学Ⅲ

2918-3 A5 判並製 416 頁 3,300 円 (3,000 円)

慶應義塾大学で誕生し全国へ広がる人気講座の最新刊が遂に登場。感染症、地震、津波、台風、豪雨を乗り越え次の百年へ叡智を繋ぐ政策ドキュメンタリー。「災害復興法学」は、生活復興基本法を目指してオール・ハザード・アプローチへと至る。

(23)(321)

六車明 著

環境法の考えかたⅠ

—「人」という視点から

2404-1 四六判並製 288 頁 2,860 円(2,600 円)

環境法はもっと面白く、その裾野は広い。公害や環境保全といった問題だけでなく、「認知症」や「躁鬱」といった“個々の人”の環境の問題までを考える。社会問題の書籍として読めるだけでなく、弁護士、企業法務担当者、CSR 担当者にも必携の 1 冊。

(17)(519.12)

六車明 著

環境法の考えかたⅡ

—企業と人とのあいだから

2405-8 四六判並製 264 頁 2,860 円(2,600 円)

会社や企業のまわりにある環境とは何だろうか？ 企業、またその中で働く人、その周りにいる人…すべての人にとってよい環境とは何だろうか。社会問題の書籍として読めるだけでなく、弁護士、企業法務担当者、CSR 担当者にも必携の 1 冊。

(17)(519.12)

青木淳一・一ノ瀬大輔・小林宏充 編著

環境学入門

—法学・経済学・自然科学から学ぶ

2957-2 A5 判並製 208 頁 1,980 円 (1,800 円)

20 世紀終盤から問題がより顕著にあらわれはじめて、現在も継続している環境問題である、「循環型社会」、「生物多様性」、「気候変動と温暖化対策」をテーマとして、それぞれを法学、経済学、自然科学の観点から解説。

(24)(519)

政治

■ 政治一般

慶應義塾大学法学部 編

慶應の政治学 政治・社会

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1587-2 A5 判上製 340 頁 5,500 円(5,000 円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全 12 巻。執筆者：麻生良文、有末賢、大石裕、大沢秀介、大山耕輔、桐谷仁、河野武司、小杉八朗、小林良彰、佐次清隆之、八川敏昭、真鍋一史

(‘08)<310.4>

慶應義塾大学法学部 編

慶應の政治学 政治思想

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1589-6 A5 判上製 262 頁 4,950 円(4,500 円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全 12 巻。執筆者：有賀誠、安西敏三、石川晃司、菅野聡美、菊池理夫、向山恭一、佐藤瑠威、堤林剣、萬田悦生、山口晃

(‘08)<311.04>

慶應義塾大学法学部 編

慶應の政治学 地域研究

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1590-2 A5 判上製 300 頁 5,500 円(5,000 円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全 12 巻。執筆者：家近亮子、上野俊彦、粕谷祐子、国分良成、嵯峨隆、菅原和行、関根政美、山田辰雄、山本信人、吉武信彦

(‘08)<311.04>

慶應義塾大学東アジア研究所 編

慶應義塾大学東アジア研究所 10 周年
(地域研究センター 30 周年) 記念講演集

アジア・アフリカ研究—現在と過去との対話

2192-7 A5 判並製 268 頁 2,200 円(2,000 円)

政治、歴史、文化人類学、外交についての第一人者による連続講演に、東アジア研究所の過去の研究プロジェクトなどの資料、座談会を加えた記念刊行物。

(‘15)<220.04>

リア・グリーンフェルド 著／小坂恵理 訳／
ちやういくまん
張彥啓 解説

ナショナリズム入門

2775-2 四六判上製 272 頁 2,970 円(2,700 円)

既存の「ナショナリズム」研究に、決定的に欠けていた「ネーション」概念の詳細な起源とその政治、経済、文化、精神への影響を論じる。ナショナリズム研究の泰斗が長年にわたる研究をコンパクトに解説した入門書。

(‘23)<311.3>

ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳

暴政

—20 世紀の歴史に学ぶ 20 のレッスン

2438-6 全書判並製 144 頁 1,320 円(1,200 円)

政治においては、騙された、というのは言い訳にはならない——。気鋭の歴史家ティモシー・スナイダーが、現在、世界に台頭する圧政の指導者に正しく抗うための二〇の方法をガイドする。

(‘17)<311.04>

ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳
自由なき世界 上
 —フェイクデモクラシーと新たなファシズム
 2665-6 四六判上製 276頁 2,750円(2,500円)

法の支配を無効化し、民主主義を混乱に陥れ、歴史を葬り去る「永遠の政治」。プーチンによる「永遠」の体制は、純潔無垢なるロシアの復活を唱え、EUの破壊を画策し、遂にはウクライナの混乱に乗じてクリミアを併合する。
 ('20)<312.38>

ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳
自由なき世界 下
 —フェイクデモクラシーと新たなファシズム
 2666-3 四六判上製 248頁 2,750円(2,500円)

ヨーロッパにおける相次ぐ右派政権の誕生、イギリスのEU離脱、アメリカのトランプ大統領誕生。西側を結束させてきた民主主義の価値観は、いまなぜ動揺し、世界は混乱しているのか。新たなファシズムの台頭に警鐘を鳴らす。
 ('20)<312.38>

デイヴィッド・レオポルド、マーク・スティアーズ 編著／山岡龍一、松元雅和 監訳
政治理論入門 —方法とアプローチ
 1854-5 A5判上製 366頁 3,740円(3,400円)

政治理論の方法論をめぐって、分析哲学、実証的社会科学、歴史学、現実政治、批判理論、イデオロギー論等との関係からその多様性を紹介する、ミラー、スウィフトらのオックスフォード大学での連続講義をもとにまとめた画期的な一冊。
 ('11)<311>

堤林剣 著
政治思想史入門
 2336-5 A5判並製 408頁 3,300円(3,000円)

ホメロスからルソーまで批判的思考を鍛える新しいテキスト。古代ギリシア、プラトンから近代までのさまざまな思想家の理論や学説に言及し、政治思想の多様な観念とそれらの歴史的展開について論じる。
 ('16)<311.2>

梅澤佑介 著
市民の義務としての〈反乱〉
 —イギリス政治思想史におけるシティズンシップ論の系譜
 2682-3 四六判上製 344頁 3,520円(3,200円)

イギリス政治思想家たちの「市民の義務」としての「抵抗・反乱」の概念の生成を歴史的アプローチによって検証する。その系譜から20世紀前半最大の政治思想家ハロルド・ラスキの可能性に新たな光を当てた意欲作。
 ('20)<311.233>

根岸毅 著 (英文)
The Methodological Foundations of the Study of Politics
 0643-5 A5判上製 126頁 3,300円(3,000円)

政治学はパラダイムの概念が当てはまらない類の学問である。本書はこの種の学問の構造を明らかにし、政治学をそのように構成する筋道を示し、その作業の中心となる国家の何たるかを解明する。全英文。
 慶應義塾大学法学研究会叢書65 ('96)<311.16>

根岸毅・大石裕 編
変動する政治と社会
 —解説の手法
 0744-0 A5判並製 292頁 2,750円(2,500円)

永田えり子、吉野耕作、清原慶子、サム・ジェームソン、陸培春、ゲブハルト・ヒールシャーらによる6講演。「変動する政治と社会」の状況を多角的に論じ、解説の手法を提示する。
 慶大法学部政治学科開設百年記念講座 ('99)<361.4>

霜野寿亮 著
政治権力研究の理論的課題
 0476-0 A5判上製 332頁 6,820円(6,200円)

序言・問題の確認、第1部・権力研究と政治学の理論、第2部・権力研究と社会学の理論、第3部・〈主意主義〉的権力概念の道程、結言・目標としての〈主意主義〉的権力論。
 慶應義塾大学法学研究会叢書51 ('91)<311>

田中宏・大石裕 編

政治・社会理論のフロンティア

0717-4 A5 判上製 420 頁 2,200 円(2,000 円)

国家と権力、政治理論、社会理論、政治コミュニケーションを柱に、現実の問題と向かい合い、政治・社会理論の新たな展開をめざす 13 論文を収録。

慶大法学部政治学科開設百年記念論文集 ('98)<311.04>

奈良和重 著

**イデオロギー批判のプロフィール
—批判的合理主義からポストモダニズムまで**

0568-2 A5 判上製 594 頁 9,460 円(8,600 円)

ポバーとカミュの独自の思想のパラダイムに端を発する著者の思想的立場より、「イデオロギー批判」という特定のバースペクティブから、我々の時代批判と時代診断の諸相を考察した論文集。

慶應義塾大学法学研究会叢書57 ('94)<311.04>

イアン・シャピロ 著／中道寿一 訳

民主主義理論の現在

1722-7 四六判上製 280 頁 3,520 円(3,200 円)

機能不全の民主主義を救うには？ 熟議民主主義ははたして有効か？ 鍵は支配を最小化する権力関係にある。分裂した現代社会にふさわしい政治理論の再構築を試みた、現代アメリカ政治理論の重鎮の重要著作、待望の本邦初訳登場。 【図】('10)<311.7>

細谷雄一・板橋拓己 編著

民主主義は甦るのか？

—歴史から考えるポピュリズム

2946-6 四六判上製 304 頁 2,200 円(2,000 円)

ポピュリズムは民主主義をどのように崩壊させていくのか。また衰退した民主主義はどうすれば再生できるのか。現代の難問を解く上で、歴史からのヒントを与える。水島治郎、五百旗頭薫、村井良太、竹中治堅ほかによる注目作。 ('24)<311.7>

小林良彰・岡田陽介・鷲田任邦・金兌希 著

代議制民主主義の比較研究

—日米韓 3ヶ国における民主主義の実証分析

2127-9 A5 判上製 336 頁 3,960 円(3,600 円)

民主主義の「擬制」が機能しているかどうかを実証的に明らかにしながら、その「機能」という点から新たな指標を構築する。選挙公約、政治意識、議会を融合して分析し、日米韓の政治過程の比較政治研究を行う珠玉の研究。 ('14)<311.7>

河村和徳 著

電子投票と日本の選挙ガバナンス

—デジタル社会における投票権保障

2765-3 A5 判上製 248 頁 5,500 円(5,000 円)

なぜ日本では電子投票が広がらないのか？ 選挙の現場における ICT (情報通信技術) 活用を、「投票権保障」の観点から検討し、選挙における情報技術活用のネックとなっている「壁」を具体的に分析し、ICT 活用の将来を考える。 ('21)<314.8>

石塚壮太郎 編

プラットフォームと権力

—How to tame the Monsters

2979-4 四六判上製 312 頁 2,970 円(2,700 円)

プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指すシリーズ。第Ⅱ巻では、プラットフォーム権力の統制理論と手法が、憲法や競争法などの視点から検討される。

怪獣化するプラットフォーム権力と法Ⅱ巻 ('24)<321>

駒村圭吾 編

プラットフォームとデモクラシー

—How to settle the battle of Monsters

2980-0 四六判上製 368 頁 2,970 円(2,700 円)

プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指すシリーズ。第Ⅲ巻では、プラットフォームの台頭と「デモス」の変容が検討される。

怪獣化するプラットフォーム権力と法Ⅲ巻 ('24)<321>

磯部哲 編集代表 / 河嶋春菜・柴田洋二郎・堀口悟郎・水林翔 編
プラットフォームと社会基盤
 —How to engage the Monsters

2981-7 四六判上製 328頁 2,970円(2,700円)

プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指すシリーズ。第IV巻では、プラットフォームの参入と健康・教育・労働の視点を交錯させウェルビーイングの課題を提言する

怪獣化するプラットフォーム権力と法IV巻 (24)<321>

桂木隆夫 著

慈悲と正直の公共哲学
 —日本における自生的秩序の形成

2174-3 A5判上製 306頁 5,720円(5,200円)

江戸期の武士と商人(軍事と商業)の相互性と、両者のバランス感覚としてのヒューマンイズムが育んだ自生的秩序が日本の公共性の核心にあることを、「慈悲」と「正直」を鍵語に解き明かす。現代の公共哲学に歴史からの再考を迫る、知的冒険の書。 [図] ('14)<121.5>

河野有理 著

田口卯吉の夢

2040-1 四六判上製 352頁 3,520円(3,200円)

田口卯吉が夢見た「自己利益のみを追う人々が共存する、世界大に広がる秩序」。妥協なき彼の思想を、『日本開化小史』をはじめとする彼自身のテキストと同時代のコンテキストとを綿密にたどり、解き明かす。明治思想史を刷新する力作。 [図] ('13)<289.1>

蔭山宏 著

崩壊の経験
 —現代ドイツ政治思想講義

2061-6 四六判上製 592頁 5,720円(5,200円)

ワイマール時代ドイツの人びとの経験とその崩壊を〈現代〉の始まりととらえ、政治が議会を越えて市民生活と文化領域に拡散する一方で「点化」する状況を分析する。圧倒的なボリュームによる異色の入門書!

('13)<311.234>

■ 政治史

笠原英彦 編

日本行政史

1784-5 A5判並製 336頁 3,300円(3,000円)

古代から近代に至るまで幅広い実績のある編者による「日本行政史」のテキスト。日本の「行政文化」「官僚文化」を明らかにし、真の政治主導による政策形成に必要な歴史的視点を提示する。

('10)<312>

笠原英彦・玉井清 編

日本政治の構造と展開

0713-6 A5判上製 396頁 2,860円(2,600円)

混迷する日本政治の構造と展開を、歴史的(古代から現代まで)、理論的(規範的分析から経験的分析まで)視点から分析する13論文を収録。

慶大法学部政治学科開設百年記念論文集 ('98)<312.1>

玉木寛輝 著

昭和期政軍関係の模索と総力戦構想
 —戦前・戦中の陸海軍・知識人の葛藤

2671-7 A5判上製 336頁 7,150円(6,500円)

昭和戦前期における在郷軍人と陸軍中央のせめぎあいとは何だったのか。また総力戦の危機の時代に「統帥権の独立」は容認されるものであったのか。軍と知識人の、武力によらず目的を達成しようとする総力戦論を探る、注目の書。 ('20)<392.1>

玉井清 著

第一回普選と選挙ポスター

—昭和初頭の選挙運動に関する研究

2018-0 A5 判上製 424 頁 7,260 円(6,600 円)

第一回普選（昭和 3 年 2 月 20 日実施）当時の希少な選挙ポスターやビラ、立候補挨拶状や推薦状を紹介するとともに、繰り広げられた選挙戦の実際と有権者の政治への参加意識を読み解く。

慶應義塾大学法学研究会叢書85 ('13)<314.85>

鷺見誠一・蔭山宏 編

近代国家の再検討

0716-7 A5 判上製 376 頁 2,860 円(2,600 円)

政治思想史の大きな流れを見つづ 20 世紀の政治史を省察し、経済を扱うには小さすぎ、文化を扱うには大きすぎる「近代国家」の仕組みと在り方を問う。

慶大法学部政治学科開設百年記念論文集 ('98)<311.04>

池井優 著

三訂 日本外交史概説

0265-0 A5 判上製 412 頁 4,180 円(3,800 円)

日本の大国化とともに大きな広がりを見せた戦後の日本外交を、明治初期から今日に至る日本外交の転換点に重点を置いて記述。巻末に 1992 年刊行以降 2005 年迄の年表を付す。

('92)<319.1>

添谷芳秀 著

入門講義 戦後日本外交史

2583-3 A5 判並製 332 頁 2,640 円(2,400 円)

憲法、日米安保、歴史問題、沖縄基地問題、北方領土問題……。日本が抱える外交問題の起源はここにあった。占領期から現在までの日本外交を、変動する国際政治のなかで読みとき、将来への視界を切りひらく、日本外交史入門の決定版。

('19)<319.1>

鈴木宏尚 著

池田政権と高度成長期の日本外交

2069-2 A5 判上製 256 頁 4,620 円(4,200 円)

冷戦という状況を利用しつつ、米国との関係を緊密化し、欧州にも外交的地平を拓けていった池田勇人政権。経済成長を軸に国内の政治的安定と国際的地位の向上を目指した外交の構図を大胆に描く、意欲作。

('13)<319.1>

小林良彰 編

日本政治の過去・現在・未来

0743-3 A5 判並製 292 頁 2,750 円(2,500 円)

日本の政治の過去を振り返り、現状を再確認し、未来を志向するための視座を提供する。講演者：利光三津夫、中村勝範、堀江湛、住田良能、橋本五郎、塩田潮、江口克彦、小泉純一郎。

慶大法学部政治学科開設百年記念講座 ('99)<310.4>

■ 日本政治

慶應義塾大学法学部 編

慶應の政治学 日本政治

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1588-9 A5 判上製 296 頁 5,500 円(5,000 円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全 12 巻。執筆者：市川太一、上野利三、小川原正道、笠原英彦、佐々木信夫、清水唯一朗、田中直樹、玉井清、中村勝範、増山幹高

('08)<312.1>

大石裕 著

国家・メディア・コミュニティ

2787-5 A5判上製 284頁 5,060円(4,600円)

近代国民国家の成立と維持にマス・コミュニケーションの普及と発達が与えた影響を、国家・メディア・コミュニティの三者の連関から読み解く。また、書籍や沖縄地方紙等を対象に、歴史認識問題について考察を進める。
慶應義塾大学法学研究会叢書92 (22)〈361.45〉

小熊英二・樋口直人 編

日本は「右傾化」したのか

2694-6 四六判並製 376頁 2,200円(2,000円)

ヘイトスピーチ、排外主義運動の顕在化、日本会議の台頭、改憲潮流、ネットに溢れかえる右派的言説——。はたして本当に、日本は「右傾化」したのか。個々の政権の消長を超えた次元で、日本社会全体の構造変化のなかで捉える。
(20)〈311.3〉

■ 行政学

小田勇樹 著

国家公務員の中途採用

—日英韓の人的資源管理システム

2632-8 A5判上製 276頁 7,150円(6,500円)

独自に収集した海外の職歴データを基に、キャリアパスの実態や組織業績への影響を分析。民間任用者の有効活用策を国際比較から探り、「働き方改革」時代の公務員の人材登用に示唆を与える。
(19)〈317.3〉

大山耕輔 著

現代日本行政の比較分析

—信頼・環境・ガバナンス

2974-9 A5判上製 320頁 6,820円(6,200円)

現代日本行政における信頼、環境、ガバナンスの三つの重要問題について、政府ではなく市民の視点からさまざまなレベルで比較のなかに位置づけ、定量的手法も加えて分析する。
慶應義塾大学法学研究会叢書94 (24)〈317〉

ティモシー・ベズリー 著／溝口哲郎 訳／
下松真之 解説**良い政府の政治経済学**

2973-2 A5判並製 330頁 4,400円(4,000円)

民主主義体制における政府や政治家の行動を理論化した「政治経済学」の定番中級テキスト。「よい政治、良い政府」とは何か？ この問題を考えるすべての人にヒントとツールを与える。
(24)〈331〉

■ 地方自治

小熊祐子・富田真紀子・今村晴彦 著

サクセスフル・エイジング

—予防医学・健康科学・コミュニティから考えるQOLの向上

2089-0 A5判並製 248頁 3,520円(3,200円)

超高齢社会を迎え、健康的に歳をかさねることは喫緊のテーマである。「予防医学」「心理学」「コミュニティ研究」の専門家たちが、QOL向上／健康維持・増進について考えた一冊。
【図】(14)〈498.021〉

牧紀男 著

平成災害復興誌

—新たななる再建スキームをめざして

2910-7 四六判並製 224頁 2,750円(2,500円)

雲仙普賢岳噴火災害から、阪神・淡路大震災、東日本大震災まで。平成は数多くの自然災害に翻弄される時代となった。これらの復興の軌跡を振り返り、気象災害や大規模地震への備えを考える。令和の復興像を描く現代復興小史。
(23)〈369.3〉

宮崎雅人 著

自治体行動の政治経済学

—地方財政制度と政府間関係のダイナミズム

2571-0 A5 判上製 192頁 3,300円(3,000円)

地方税や地方交付税などの一般財源をめぐる中央政府の政策誘導と自治体の意思決定とのダイナミックな関係を明らかにし、自治体の自立的で地域性に富む多様な取組みを生むための地方財政制度のあり方に示唆を与える。
(18)〈349.21〉

■ アジア・太平洋政治

添谷芳秀 編著

秩序変動と日本外交

—拡大と収縮の七〇年

2315-0 A5 判上製 276頁 4,730円(4,300円)

「憲法九条」と「日米安保」という異なる時代環境の産物を抱え続ける日本外交。「拡大」と「収縮」の誘因がせめぎ合う日本外交の七〇年を振り返り、今後を考えるための視座を提供する、注目の一冊。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 (16)〈319.1〉

長田彰文 著

世界史の中の近代日韓関係

2058-6 四六判並製 288頁 2,640円(2,400円)

日韓関係をめぐり、大国はどのように動いたのか？ 19世紀以来、米国、ロシア、中国などが織りなす力関係に翻弄される韓国（朝鮮）と日本の関係をたどり、二国間関係に世界の動きから新しい光をあてた一冊。

(13)〈319.102〉

若宮啓文 著

日韓の未来をつくる

2226-9 四六判並製 312頁 2,750円(2,500円)

日韓両国はどのようにお互いの過去を乗り越え未来を作っていけばよいのだろうか？ 文学、スポーツ、芸能、ジャーナリズム、NGOなど、韓国の各分野で活躍する知識人とのインタビューから考える一冊。

韓国知識人との対話 I (15)〈302.21〉

添谷芳秀 著

米中の狭間を生きる

2227-6 四六判並製 232頁 2,750円(2,500円)

韓国が直面する課題は日本にとって他人事か？ 政治・外交分野におけるエキスパートたちとの対話を通して聞こえてきた本音から、岐路に立つ東アジアのゆくえと日韓協力の可能性を考える。

韓国知識人との対話 II (15)〈302.21〉

朴敬珉 著

**朝鮮引揚げと
日韓国交正常化交渉への道**

2520-8 A5 判上製 256頁 5,500円(5,000円)

敗戦後、朝鮮半島から引揚げを余儀なくされた日本人。彼らの私有財産の没収に対する認識／対応と日本政府の行動は、相互に関連性を持ちながら調和してゆく。その後の日韓請求権問題や今日の歴史認識問題との連続性を明らかにする注目作。

(18)〈369.37〉

春木育美・薛東勲 編著

韓国の少子高齢化と格差社会
—日韓比較の視座から

1889-7 A5 判上製 324 頁 4,180 円(3,800 円)

少子高齢化、経済格差の深化、移民の増大による多民族・多文化社会への変貌。韓国は先進国へと飛躍する一方で、新たな社会問題に直面している。日韓に共通する社会的課題を分析し問題提起を行う。

慶應義塾大学東アジア研究所 現代韓国研究シリーズ (11)(302.21)

康元澤・浅羽祐樹・高選圭 編著

日韓政治制度比較

2119-4 A5 判上製 196 頁 4,180 円(3,800 円)

首相や大統領のリーダーシップ、分割政府(ねじれ国会)、選挙制度改革、政党規律、首都移転機能などをテーマに、政治制度論にもとづいて、日韓の第一人者が1つの章を完全共同執筆した比較研究の書籍化。

慶應義塾大学東アジア研究所 現代韓国研究シリーズ (15)(312.1)

小此木政夫 著

朝鮮分断の起源

—独立と統一の相克

2545-1 A5 判上製 584 頁 8,800 円(8,000 円)

第二次世界大戦と米ソ冷戦という二つの大戦争の狭間に生まれた朝鮮分断の悲劇とは何だったのか。民族と国家が織りなす過酷な現代政治のドラマを緻密に描き出す。

第31回アジア・太平洋賞大賞、第14回樞山純三賞受賞。
慶應義塾大学法学研究会叢書 89 (18)(319.21)

カーター・J・エッカート 著／松谷基和 訳

韓国軍事主義の起源

—青年朴正熙と日本陸軍

2976-3 A5 判上製 512 頁 7,920 円(7,200 円)

満洲国軍官学校で朴正熙は何を血肉化したのか。韓国近代史の核心である「軍事主義」と、それを体現する「朴正熙」の満洲時代に迫る、朝鮮史研究の泰斗による集大成。

(24)(221.07)

西野純也 編著

激動の朝鮮半島を読みとく

2874-2 四六判並製 360 頁 2,200 円(2,000 円)

紆余曲折をたどる日韓関係や、容易に先が読めない北朝鮮の動向をどうとらえるべきか。政治・外交安保・経済・社会の各分野の第一人者たちが、今後を見通す材料を提供する。

慶應義塾大学東アジア研究所講座 (302.21)

磯崎敦仁 編著

北朝鮮を解剖する

2996-1 A5 判上製 240 頁 3,850 円(3,500 円)

謎に包まれた国、北朝鮮。政治・外交・経済はもちろん、文学・音楽・映画・言語まで、多角的なアプローチで、その知られざる姿を明らかにする。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 (302.21)

高橋伸夫 著

中国共産党の歴史

2754-7 四六判上製 384 頁 2,970 円(2,700 円)

国際的影響力を強める中国と、その政権を握る結党100年を迎えた中国共産党。壮大な理想とリアリズムの間で揺れ動いた毛沢東、鄧小平、習近平らの思想と行動、そして彼らが引き起こした歴史的事件を通じてその実像を解き明かす。

(21)(315.22)

段瑞聡 編著

現代中国の国家形成

—中華民国からの連続と断絶

2950-3 A5 判上製 264 頁 5,720 円(5,200 円)

中華人民共和国は、中華民国からどのような面を継承し、またどんな面を継承しなかったのか。現在の中国という国の統治や制度のありかたを考えるのに重要な示唆をあたえる注目作。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 (312.22)

衛藤安奈 著

熱狂と動員

— 中華民国からの連続と断絶

2285-6 A5 判上製 544 頁 7,700 円(7,000 円)

1920 年代、開港都市として急激な経済成長をとげた広東・上海・武漢の三都市を対象に、中国共産党と国民党がそれぞれの思惑から労働運動を動員に利用していく過程を、豊富な史料を通じて浮かび上がらせた注目の書。

('15)<366.622>

波多野澄雄・久保亨・中村元哉 編著

日中終戦と戦後アジアへの展望

2486-7 A5 判上製 320 頁 4,620 円(4,200 円)

日中戦争をとらえなおす国際共同研究シリーズ第 6 巻。1945 年の日中終戦のグローバルなインパクトとその遺産を、日本・中国・台湾・韓国・英国の研究者が多角的に分析する。

日中戦争の国際共同研究6 ('17)<332.22>

鄭浩瀾・中兼和津次 編著

**毛沢東時代の政治運動と
民衆の日常**

2729-5 A5 判上製 320 頁 5,720 円(5,200 円)

毛沢東時代、繰り返し展開されてきた政治運動に対して、民衆はどのように考え、対応したのか？ 日記などのさまざまな一次資料を使って民衆の生の声を集め、今日につながる当時の基層社会の底流を探る

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 ('21)<312.22>

山口信治 著

毛沢東の強国化戦略 1949-1976

2776-9 A5 判上製 480 頁 5,940 円(5,400 円)

朝鮮戦争、台湾海峡危機、和平演變の脅威、中ソ関係の悪化などの国際情勢の変動が、いかに毛沢東の脅威認識に影響を与え強国化に向かわせたかを一次資料から丹念に検証する。政治・外交軍事・経済にまたがる意欲作。

慶應義塾大学東アジア研究所現代中国研究選書 ('21)<312.22>

段瑞聰 著

蒋介石の戦時外交と戦後構想

— 1941 - 1971 年

2730-1 A5 判上製 496 頁 7,480 円(6,800 円)

失地回復、不平等条約の撤廃、アジア諸民族の独立を掲げつつ、米英ソに依存し、国連構想および戦後日本との和解を模索した蒋介石。「日記」など一次資料を駆使し、未完に終わった「革命」の軌跡をたどる。第 2 回林同春記念・孫文記念館学術賞受賞。

('21)<319.22>

国分良成・小嶋華津子 編

現代中国政治外交の原点

2095-1 A5 判上製 432 頁 4,400 円(4,000 円)

いまや世界第二の経済大国となり、国際社会において台頭しつつある中国が直面する、国内政治と外交の面でのさまざまな問題について、現代中国政治史上においてその起源を明らかにし、それらを貫くロジックとは何かを探る。

('13)<312.22>

加茂具樹・林載桓 編著

現代中国の政治制度

— 時間の政治と共産党支配

2505-5 A5 判上製 224 頁 4,400 円(4,000 円)

人代改革、幹部選抜任用、刑事司法等、現代の中国政治を構成する具体的な制度の変化に焦点を当て、歴史的要因を重視しながらそれらを読み解き、将来を展望する一冊。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 ('18)<312.22>

磯部靖 著

中国 統治のジレンマ

— 中央・地方関係の変容と未完の再集権

2648-9 A5 判上製 304 頁 5,720 円(5,200 円)

現代中国における中央・地方の関係はどのように変化し、またどのように論じられてきたのか。再分権を進める習近平政権を考える上で示唆となる新たな分析モデルを提示する。

慶應義塾大学法学研究会叢書90 ('19)<312.22>

廉舒 著

中国外交とプラグマティズム

—一九五〇年代における中国の対英政策

2376-1 A5 判上製 288 頁 5,500 円(5,000 円)

中国外交においてイデオロギー優先と考えられていた冷戦期でも、「中間地帯」としてのイギリスを重要視しプラグマティックな判断を下していたことを実証的に明らかにする。中国という国の今後の外交戦略の本質を探る上で示唆を与える一冊。
(16)〈319.220〉

崔慶原 著

冷戦期日韓安全保障関係の形成

2139-2 A5 判上製 292 頁 4,730 円(4,300 円)

日韓両国は、1960 年代末から 70 年代中盤までの時期、政治的利害対立をはらみつつ、安全保障領域における協力関係をどのように構築したのか。その政治過程と関係の変容の様相をさぐる。
(14)〈319.102〉

小嶋華津子・磯部靖 編著

中国共産党の統治と基層幹部

2877-3 A5 判上製 320 頁 5,720 円(5,200 円)

中国共産党の統治が続いてきたのはなぜか？ 政権成立直後を中心に、支配の末端を担う基層幹部の役割に焦点をあて、現代への連続性を探る試み。
慶應義塾大学東アジア研究所叢書 (23)〈319.102〉

呉茂松 著

現代中国の維権運動と国家

2191-0 A5 判上製 328 頁 5,060 円(4,600 円)

1990 年代以降、多様な領域で繰り広げられている〈権利侵害に対する抵抗と要求〉を綿密に分析し、運動が台頭するプロセスとメカニズムを解明することから、現代中国社会の変容と国家の反応を論ずる。
(14)〈332.22〉

鈴木隆 著

中国共産党の支配と権力

—党と新興の社会経済エリート

1951-1 A5 判上製 440 頁 7,480 円(6,800 円)

中国共産党はいかにして一党独裁を維持しているのか？ 新興エリート層を取り込みつつある共産党の実態と現代中国政治の展望についての、最新かつ画期的な実証研究。第 34 回発展途上国研究奨励賞受賞。
(12)〈315.22〉

小嶋華津子 著

中国の労働者組織と国民統合

—工会をめぐる中央-地方間の政治力学

2725-7 A5 判上製 344 頁 5,720 円(5,200 円)

中国共産党中央の熾烈な権力闘争の下で、労働者が生活を守られ、国民として統合されたのはなぜか。労働者統合の組織「工会」を事例に、人びとの生活を守る「安定化装置」がどのように機能したのかを探る、注目の書。
(21)〈312.22〉

王雪萍 編著

戦後日中関係と廖承志

—中国の知日派と対日政策

2087-6 A5 判上製 400 頁 4,620 円(4,200 円)

日本生まれの中国人で、戦後、周恩来の下で対日業務・情報収集の責任者であった廖承志(りょうしょうし)と、その下の組織横断的なグループの活動についての、日本で初めての本格的な論考集。
慶應義塾大学東アジア研究所 現代中国研究シリーズ (13)〈319.210〉

高橋伸夫 編著

現代中国政治研究ハンドブック

2209-2 A5 判並製 320 頁 3,520 円(3,200 円)

現代中国政治の海外を含む主な研究・文献を分野別に整理し、問題設定・研究アプローチ・今後の課題と研究の方向性を見取り図を明快に描く、最新の研究ガイド。
慶應義塾大学東アジア研究所 現代中国研究シリーズ (15)〈312.22〉

安田淳・門間理良 編著

台湾をめぐる安全保障

2316-7 A5 判上製 256 頁 4,180 円(3,800 円)

台湾の軍事戦略や中国の空域統制・対台湾政策、台米関係などから、中国・台湾の安全保障に関する専門研究者たちが、日本を含む東アジア安全保障の今後のシナリオを展望する。

慶應義塾大学東アジア研究所 現代中国研究シリーズ (16)〈319.224〉

小嶋華津子・島田美和 編著

中国の公共性と国家権力

—その歴史と現在

2406-5 A5 判上製 192 頁 3,740 円(3,400 円)

生存・生活のために築かれた多層的な「公共空間」は、近現代中国の国民国家建設の過程でいかなる役割を果たしてきたか。国家のありようを、人びとのつながりと国家権力との相互作用として描き出す。

慶應義塾大学東アジア研究所 現代中国研究シリーズ (17)〈302.22〉

加茂具樹 編著

中国対外行動の源泉

2408-9 A5 判上製 240 頁 4,400 円(4,000 円)

現代中国の対外行動はどのように形作られているのか？ 国際的要因、および統治構造による国内政治的要因からその源泉を明らかにする試み。

慶應義塾大学東アジア研究所 現代中国研究シリーズ (17)〈319.224〉

木下恵二 著

近代中国の新疆統治

—多民族統合の再編と帝国の遺産

2841-4 A5 判上製 256 頁 4,950 円(4,500 円)

「中華」という伝統的アイデンティティ、そして秩序の安定維持のための「自治的状况」の容認。二つの「帝国の遺産」が近代の再編において新疆統治にもたらした影響を探る。

慶應義塾大学東アジア研究所選書 (22)〈222.8〉

福田円 著

中国外交と台湾

—「一つの中国」原則の起源

2010-4 A5 判上製 424 頁 7,480 円(6,800 円)

朝鮮戦争停戦から文革前夜へと至る時期に、アメリカ、ソ連、フランス、アジア・アフリカ諸国などとの交渉を通じてなされた台湾問題をめぐる中国外交の選択を、「一つの中国」原則の起源という視点から論じる。第 25 回アジア・太平洋賞受賞。

(13)〈319.22〉

黄璋 著

中国の高齢者福祉政策

—人口減少社会に向けての制度設計

2894-0 A5 判上製 432 頁 6,930 円(6,300 円)

急速に少子高齢化が進む中国。年金・医療・介護などの社会保障制度や高齢者支援政策の実態と課題とは何か。豊富な行政資料と住民・関係者へのアンケート調査の分析から明らかにし、持続可能な今後の方向性を模索する注目の一冊。

(23)〈369.26〉

山本信人 監修／井上真 編著

東南アジア地域研究入門 1 環境

2394-5 A5 判並製 368 頁 3,960 円(3,600 円)

これから東南アジアを本格的に学ぶ方へ、研究ガイドの決定版！ 本巻では、東南アジアの生態史を概観し、人間と自然生態系の関係である「生業」に着目するとともに、近年の重要な論点や現代トピックを整理し将来の課題を展望する。

(17)〈223〉

山本信人 監修／宮原暁 編著

東南アジア地域研究入門 2 社会

2395-2 A5 判並製 356 頁 3,960 円(3,600 円)

これから東南アジアを本格的に学ぶ方へ、研究ガイドの決定版！ 本巻では、人々が生きる日常、そして「社会」の根底にある構造を、「あいだ」という視点から人類学的に問い直し、その多様性の淵源を描き出す。

(17)〈223〉

山本信人 監修・編著

東南アジア地域研究入門**3 政治**

2396-9 A5 判並製 344 頁 3,960 円(3,600 円)

これから東南アジアを本格的に学ぶ方へ、研究ガイドの決定版！ 本巻では、アメリカで発展した東南アジア研究と日本型の地域研究、両者の再検討と止揚から新たな分析枠組みを提示し、東南アジア地域独自の政治動態を描き出す。

(17)<223>

慶應義塾大学地域研究センター 編

変わる東南アジア

一危機の教訓と展望

0904-8 B6 判並製 258 頁 1,540 円(1,400 円)

東南アジアは民主化に伴う政治不安・経済問題を取り越えて、近年、政治・経済分野でのパートナーシップが生まれつつある。その現状と課題を、政治・経済・外交など各分野の専門家 6 人が明快に分析。

地域研究講座 (02)<302.23>

西直美 著

イスラーム改革派と社会統合

一タイ深南部におけるマレー・ナショナリズムの変容

2858-2 A5 判上製 280 頁 5,500 円(5,000 円)

仏教徒が多数を占めるタイにおいてマレー系イスラーム教徒が多く住む深南部。イスラーム改革派「サラフィー主義」とその教育が「マレー・ナショナリズム」の影響力を相対化しているといわれる状況を、フィールドワークをふまえて分析する。

(22)<167.2>

慶應義塾大学地域研究センター 編

アジア・太平洋新秩序の模索

0579-8 B6 判並製 308 頁 1,282 円(1,165 円)

アジア・太平洋地域における新秩序形成のための地域要因をそれぞれの視点から分析する。鈴木佑司、木村汎、岡部達味、中江要介、小此木政夫、松本三郎、山影進、関根政美各氏の講演を収録した。

地域研究講座 (94)<319.2>

伊藤融 著

新興大国インドの行動原理

一独自リアリズム外交のゆくえ

2695-3 四六判並製 260 頁 2,400 円

日本にとって「重要だが理解できない国」インド。中国が存在感を増すなかで、アジアの一大パワーを狙う、インド外交の見えざる行動様式をあぶりだす。

(20)<319.25>

田所昌幸 編

素顔の現代インド

2740-0 四六判並製 312 頁 1,980 円(1,800 円)

海外を含めた第一線の研究者が歴史、外交、経済など多面的なアプローチでインドの姿を解説。ステレオタイプや一方的な思い入れを捨てて現代インドを正確に理解するためのすぐれた入門書。

東アジア研究所講座 (21)<302.25>

木村真希子 著

終わらなき暴力とエスニック紛争

一インド北東部の国内避難民

2746-2 A5 判上製 204 頁 5,500 円(5,000 円)

「南アジアのバルカン」とも言われるインド北東部は、複雑な民族構成に起因する紛争が多発し、政治的合意が得られたあとも多くの住民が避難を余儀なくされている。避難民や運動指導者らに行った聞き取り調査をもとに、現代の難問に挑んだ一冊。

(21)<316.825>

■ 中東・アフリカ政治

鈴木慶孝 著

〈トルコ国民〉とは何か

—民主化の矛盾とナショナル・アイデンティティー
2696-0 A5 判上製 336 頁 7,480 円(6,800 円)

世俗主義／政教分離を国是としたトルコ。しかし 1980 年代以降イスラームが公的イデオロギー化され、クルド人などの民族的マイノリティー問題等により、その枠組みは動揺している。多様性を包摂した「国民統合」政策の抱える矛盾と困難を描き出す。 (20)〈312.266〉

山本達也 著

革命と騒乱のエジプト

—ソーシャルメディアとピーク・オイルの政治学
2141-5 四六判上製 232 頁 2,750 円(2,500 円)

エジプトで、何が、起きているのか。2011 年の革命、2013 年の騒乱とその後を情報通信技術とエネルギー関連技術の視角から鮮やかに読み解く、俊英の快著。

【図】(14)〈312.42〉

井上一明 著

ジンバブウェの政治力学

0868-3 A5 判上製 380 頁 5,940 円(5,400 円)

現在のアフリカにおいて望ましい国家の役割とは何か。「ローデシア」の誕生と崩壊、その後の「ジンバブウェ共和国」の独立から現在に至る軌跡を政治学の視点から検証し、国家の果たすべき役割を模索する。

慶應義塾大学法学研究会叢書 70 (01)〈312.483〉

■ EU・ロシア政治

細谷雄一 著

倫理的な戦争

—トニー・ブレアの栄光と挫折
1687-9 四六判上製 448 頁 3,080 円(2,800 円)

戦争によって「正義」を実現することは可能なのか。「国際コミュニティ」の結束をめざしたブレア外交の軌跡と挫折を考察し、21 世紀の国際政治が直面する難題を問う一冊。著者渾身の書き下ろし。第 11 回読売・吉野作造賞受賞。 【図】(09)〈319.33〉

細谷雄一 著

迷走するイギリス

—EU 離脱と欧州の危機
2373-0 四六判並製 224 頁 1,980 円(1,800 円)

2016 年のイギリス国民投票による EU 離脱という結果は世界の政治経済を震撼させた。孤高の道を歩むイギリスがめざす方向は？ イギリス外交史・国際政治の第一人者がヨーロッパ統合の歴史的背景からイギリス政治社会とヨーロッパを展望する。 (16)〈319.33〉

渡邊啓貴 著

シャルル・ドゴール

—民主主義の中のリーダーシップへの苦闘
2045-6 四六判上製 392 頁 3,520 円(3,200 円)

両世界大戦から戦後冷戦へと続く激動のヨーロッパを舞台に、「現代フランスを築いた父」ドゴールの生涯を生き生きと描く、渾身の書き下ろし。彼の「行動の自由を得るための外交」に焦点を当てつつ、知られざる素顔へとせまる。 【図】(13)〈312.35〉

アンドレアス・ヴィルシング 他編／
板橋拓己・小野寺拓也 監訳
ナチズムは再来するのか？
—民主主義をめぐるヴァイマル共和国の教訓
2606-9 四六判並製 160頁 1,980円(1,800円)

世界で最も民主主義的な憲法をもちながらも、わずか14年でナチスに破壊されてしまったヴァイマル共和国と現在の状況との共通点とはなにか。現代社会を覆うポピュリズムに、歴史の経験から警鐘を鳴らす。

(19)(234.072)

横手慎二 著

現代ロシア政治入門 第2版

2346-4 A5判並製 188頁 2,640円(2,400円)

現代ロシアの政治を学ぶために、最初に読むべき1冊。わが国にとって、そして世界にとって、ロシアのありようが日まぐるしく変化した最近の10年間についての記述を加えた、待望の第2版。

(16)(312.38)

斎藤元秀 著

ロシアの対日政策 (上)

—帝政ロシアからソ連崩壊まで

2424-9 A5判上製 368頁 5,060円(4,600円)

第二次世界大戦後、米国と激しく覇権を競った超大国ソ連。上巻では、豊富な資料を渉猟し、帝政ロシアからスターリン、フルシチョフ、そしてソ連最後のゴルバチョフ政権までの対日政策とその戦略を読み解く。

(18)(319.103)

斎藤元秀 著

ロシアの対日政策 (下)

—新生ロシアからプーチンまで

2425-6 A5判上製 352頁 5,060円(4,600円)

米国一極支配に対抗し、国際政治に影響力を及ぼし続ける北の隣国ロシア。下巻では、ロシアの対米・対中政策を睨みつつ、新生ロシア誕生からプーチン政権までの対日政策を検討し、北方領土、安全保障、エネルギー政策の側面から今後を展望する。

(18)(319.103)

河西陽平 著

スターリンの極東戦略 1941-1950

—インテリジェンスと安全保障認識

2911-4 A5判上製 344頁 4,950円(4,500円)

スターリン率いるソ連は、極東情勢の変容をどのように認識し、いかなる軍事・外交戦略を採用するに至ったのか。独ソ戦開戦時から冷戦開始後、朝鮮戦争とのかわりまでを、豊富な一次史料から読みとく試み。第36回アジア・太平洋賞〈特別賞〉受賞。

(23)(319.38)

ピーター・ボマランツェフ 著／池田年穂 訳

プーチンのユートピア

—21世紀ロシアとプロパガンダ

2512-3 四六判並製 324頁 3,080円(2,800円)

カネと権力に塗れたシュールな世界で、新たな独裁体制を築くプーチン。クレムリンに支配されたメディアの内側から、21世紀のロシア社会とプロパガンダの実態を描く話題作。

(18)(302.38)

マーシ・ショア 著／池田年穂 訳／岡部芳彦 解説

ウクライナの夜

—革命と侵攻の現代史

2828-5 四六判上製 288頁 2,750円(2,500円)

マイダン革命・クリミア侵攻・ドンバス紛争——。2014年以降のウクライナで一体何が起きていたのか。大文字の歴史に、多様なウクライナ社会の証言者たちの声を織り交ぜながら立体的に描き出す、“生の声”による現代史。

(22)(238.6)

慶應義塾大学法学研究会 編

ソヴィエト政治の歴史と構造

—中澤精次郎論文集

0498-2 A5判上製 530頁 8,140円(7,400円)

故慶應義塾大学教授中澤精次郎氏のソヴィエト学の集大成。旧ソ連に対する精緻な実証性と深い思想性に基礎づけられた「禁欲的」な研究姿勢とから、読者は貴重な示唆を得るであろう。

慶應義塾大学法学研究会叢書53

(92)(312.38)

■ 南北アメリカ政治

西山隆行・前嶋和弘・渡辺将人 著 混迷のアメリカを読みとく 10の論点

2986-2 四六判並製 256頁 2,200円(2,000円)

経済的にも政治的にも分断が進む、超大国アメリカ。選挙や議会制度のしくみから、中間層の喪失と経済、政治不信、文化戦争、対外関係まで、世界が目にするアメリカの課題を、10の論点からあぶりだす。

(24)<312.53>

ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳 アメリカの病

―パンデミックが暴く自由と連帯の危機

1314-4 四六判上製 150頁 2,640円(2,400円)

世界一の超大国アメリカで、コロナウイルスの犠牲者が最も多いのはなぜか。医療ミスにより、生死の淵を彷徨うなかで、コロナ禍に遭遇した著者による病床からの緊急レポート！ アメリカを蝕む真の「病」とは何か。

(21)<302.53>

J.L. ギャデイス 著／赤木完爾 訳 アメリカ外交の大戦略

―先制・単独行動・覇権

1314-4 四六判上製 150頁 2,640円(2,400円)

アメリカの外交・安全保障政策（大戦略：Grand Strategy）に〈奇襲〉の衝撃がもたらした影響を、19世紀以来の安全保障をめぐるアメリカ合衆国の歴史的な体験に位置づけて議論する。

【四】(06)<319.53>

タナハシ・コーツ 著／池田年穂 訳 世界と僕のあいだに

2391-4 四六判上製 192頁 2,640円(2,400円)

これがお前の国なんだよ。―― アメリカにあって黒人であるということ、この国の歴史を、この肉体とこの運命を生き抜くことを説く、父から息子への長い長い手紙。2015年度全米図書賞受賞の大ベストセラー。

(17)<316.853>

タナハシ・コーツ 著／奥田暁代 訳 美しき闘争

2437-9 四六判上製 244頁 2,970円(2,700円)

ブラック・ナショナリストの父ポール・コーツと、自らの身を守って生きる、息子タナハシ。クラックと銃に溢れ、一瞬にして奈落に落ちるアメリカ社会の容赦ない現実を力強く生き抜く、父と息子の物語。

(17)<316.853>

タナハシ・コーツ 著／ 池田年穂・長岡真吾・矢倉喬士 訳 僕の大統領は黒人だった（上）

―バラク・オバマとアメリカの8年

2705-9 四六判上製 272頁 2,750円(2,500円)

アフリカ系アメリカ人が辿った過酷な歴史を踏まえながら、アメリカ初の黒人大統領バラク・オバマと黒人社会が歩んだ8年の軌跡を丁寧に辿り、圧倒的な賛辞を集めた全米ベストセラー。アメリカを震撼させた「賠償請求訴訟」を収録。

(20)<312.53>

タナハシ・コーツ 著／ 池田年穂・長岡真吾・矢倉喬士 訳 僕の大統領は黒人だった（下）

―バラク・オバマとアメリカの8年

2706-6 四六判上製 240頁 2,750円(2,500円)

アメリカ政治の本質に根強く残る白人至上主義が、アメリカ初の「白人」大統領ドナルド・トランプを誕生させたことを明らかにするBLM運動を理解するための必読の書。バラク・オバマへのインタビューを基に描かれた「僕の大統領は黒人だった」を収録。

(20)<312.53>

カーラ・コルネホ・ヴィラヴィセンシオ 著／
池田年穂 訳

わたしは、不法移民

—ヒスパニックのアメリカ

2896-4 四六判並製 240頁 2,640円(2,400円)

1100万の見えないアメリカ人。不当な労働によって搾取され、虐げられ、精神を病む不法移民の実情を克明に描き、彼らの人間としての尊厳を取り戻す珠玉のノンフィクション。

(‘23)〈334.453〉

キャシー・パーク・ホン 著／池田年穂 訳

マイナーな感情

—アジア系アメリカ人のアイデンティティ

2991-6 四六判並製 248頁 2,750円(2,500円)

「模範的なマイノリティ」と言われながらマイノリティとしての存在感すらないアジア系アメリカ人の複雑な感情を克明に描き、彼らの人間としての尊厳を取り戻す珠玉のノンフィクション。

(‘24)〈34.453〉

小泉明子 著

同性婚論争

—「家族」をめぐるアメリカの文化戦争

2700-4 四六判並製 240頁 2,200円(2,000円)

わたしたちは「家族」になれるのか？ アメリカの同性愛者の権利運動が、福音派を中心とする保守から激しい反動を受けながらも、いかに2015年に同性婚（婚姻の平等）を実現したのか、その半世紀以上にわたる歴史を辿り、日本の議論に架橋する。

(‘20)〈367.9〉

ブレイク・スコット・ホール 著／
今井亮一 訳

スヌーピーがいたアメリカ

—『ピーナッツ』で読みとく現代史

2899-5 四六判上製 368頁 3,960円(3,600円)

「スヌーピー」で知られる漫画『ピーナッツ』は、冷戦期のアメリカ社会とどう向き合ったのか。そこに作者チャールズ・M・シュルツが込めたメッセージとは。コミック、ファンレター、未公開資料などから探る、戦後アメリカのすがた。

(‘23)〈334.453〉

ピーター・テミン 著／栗林寛幸 訳／猪木武徳 解説

なぜ中間層は没落したのか

—アメリカ二重経済のジレンマ

2674-8 四六判上製 352頁 2,970円(2,700円)

深刻な対立が続くアメリカの「分断」はなぜ起こったのか。富裕部門と貧困部門の二極化を固定化する政策、教育制度、人種・ジェンダー差別の存在。発展途上国を想定したアーサー・ルイスの「二重経済」モデルによってアメリカの「現実」を明快に分析する。

(‘20)〈332.53〉

マイク・ロスチャイルド 著／鳥谷昌幸・昇亜美子 訳

陰謀論はなぜ生まれるのか

—Qアノンとソーシャルメディア

2936-7 四六判並製 378頁 2,970円(2,700円)

アメリカ連邦議会議事堂襲撃事件はなぜ起こったのか？ 世界中を震撼させた「Qアノン」現象の根源に分け入り、権威や既存メディアに疑問を抱き陰謀論を信じる人々の深層に迫る、傑作ノンフィクション。

(‘24)〈312.53〉

矢澤達宏 著

ブラジル黒人運動とアフリカ

—ブラック・ディアスポラが父祖の地に向けてきたまざし

2596-3 A5判上製 266頁 5,500円(5,000円)

米州最大の黒人人口を擁するブラジル。黒人たちは逆境との闘いのなかで父祖の地アフリカをどう位置づけてきたのか？ 19世紀～1970年代のブラジルで黒人がみせてきた行動・言論・思想の断面から、「黒人大国」の抱えるジレンマを読み解く意欲作。

(‘19)〈316.862〉

■ 軍事・戦争

小林良樹 著

なぜ、インテリジェンスは必要なのか

2752-3 四六判上製 384頁 2,970円(2,700円)

安全保障政策を判断するうえでは、我々にも必須となる「インテリジェンス」。多くの方々に向けて、国家のインテリジェンス機能に関する理解を少しでも深めてもらうことを目的として執筆された教養書！

(‘21)〈391.6〉

マーク・M・ローエンタール 著／茂田宏 監訳

インテリジェンス

—機密から政策へ

1826-2 A5 判上製 428頁 4,200円

米国で最も読まれているインテリジェンスの入門書。最新のインテリジェンス機関の機能と役割、情報収集と分析、政策決定者および議会との関係など、インテリジェンスのプロセスの重要性をバランスよく理解できる。

(‘11)〈391.6〉

北岡元 著

インテリジェンス入門 第2版

—利益を実現する知識の創造

1682-4 四六判上製 296頁 2,640円(2,400円)

インテリジェンスの本質と苦悩がここにある。基礎理論から組織・制度設計、ビジネスへの応用まで包括的に解説。「判断と行動のための知識」を理解するための定番テキスト。最新動向をふまえた第2版。

【図】(‘09)〈336.17〉

北岡元 著

ネクスト・インテリジェンス

—高度情報化時代の「利益を実現する知識」

2953-4 四六判並製 192頁 2,420円(2,200円)

急速なデジタル化により情報の洪水におぼれそうな現代、「判断・行動のための知識」をいかに手に入れるか？安全保障・ビジネスにわたる代表的な理論と多様な事例を紹介し、新たなインテリジェンス創造モデルを提示する。

(‘24)〈336.17〉

福田充 著

テロとインテリジェンス

—覇権国家アメリカのジレンマ

1731-9 四六判上製 254頁 2,750円(2,500円)

アメリカの危機管理体制とインテリジェンスにおける変遷を紹介し、拡大しつづける組織と予算、そして人権・プライバシー保護やメディアの報道の自由との関係など、さまざまな矛盾をかかえる現状と今後の課題を分析。

【図】(‘10)〈316.4〉

小林良樹 著

テロリズムとは何か

—〈恐怖〉を読み解くリテラシー

2680-9 四六判上製 352頁 2,970円(2,700円)

「テロ」とは果たして何なのか。終わることのないテロの問題は、我々にも決して無関係ではありえない。理論と実際の両面を知悉する著者がテロ問題全体像の素描を試みる。

(‘20)〈316.4〉

宮岡勲 著

入門講義 安全保障論 第2版

2931-2 A5 判並製 266頁 2,750円(2,500円)

欧米の政治思想や国際政治理論をベースに、ウクライナ情勢や東アジアの国際環境の変化、日本の安保3文書改定などををはじめ、大幅に加筆修正した増補改訂版。

(‘23)〈319.8〉

中島信吾 著

戦後日本の防衛政策

—「吉田路線」をめぐる政治・外交・軍事

1215-4 A5 判上製 336 頁 5,280 円(4,800 円)

戦後防衛政策の原型はいかにして形作られ、定着したのか——。アメリカは日本に何を求めたのか——。日米の膨大な資料を基に、戦後日本の政軍関係と、アメリカからみた同盟国としての日本の位置づけを解き明かし、戦後史に切り込む本格的実証研究。 (‘06)<393>

霞信彦 著

軍法会議のない「軍隊」

—自衛隊に軍法会議は不要か

2453-9 四六判並製 192 頁 1,980 円(1,800 円)

憲法改正が議論される現在にこそ、すでに忘れ去られ葬り去られようとしている軍の司法制度に関する、いずれにも偏ることのない客観的かつ正確な情報を提示し、軍と司法の関係を問う。 (‘17)<393.3>

津山謙 著

「軍」としての自衛隊

—PSI参加と日本の安全保障政策

2467-6 A5 判上製 448 頁 5,940 円(5,400 円)

日本の安全保障政策が根本的に転換されようとしている今、その契機となった PSI (アメリカ主導の大量破壊兵器拡散への対抗枠組) への参加過程と、そこでの自衛隊の活動の実態を初めて明らかにする、改憲論議にあたり必読の重要文献。 (‘17)<392.1>

J.L.ギャデイス著／赤木完爾・齊藤祐介訳

歴史としての冷戦

—力と平和の追求

1081-5 A5 判上製 620 頁 6,600 円(6,000 円)

20 世紀後半の国際政治の基調を形作った冷戦の発端から始まり、米ソ両国の競争的な共存の契機となったキューバ・ミサイル危機までの国際政治史を、冷戦のイデオロギー闘争の視点からひもとく。 (‘04)<319.02>

高橋伸夫 編

アジアの「核」と私たち

—フクシマを見つめながら

2093-7 四六判並製 356 頁 1,980 円(1,800 円)

核の「平和利用」と「軍事利用」の線引きは可能なのか？核兵器の拡散や原子力発電所の建設増加で注目されるアジア諸国の核を、「フクシマ」の経験と教訓から多角的に考察する。

東アジア研究所講座

【図】(‘14)<319.8>

■ 国際政治

慶應義塾大学法学部 編

慶應の政治学 国際政治

—慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集

1591-9 A5 判上製 378 頁 5,500 円(5,000 円)

慶應義塾大学法学部が輩出した研究者たちの手による記念出版、全 12 巻。執筆者：赤木完爾、池井優、小此木政夫、片桐庸夫、倉田秀也、田中俊郎、西野純也、服部一成、松村正義、宮坂直史、安江則子、渡邊啓貴

(‘08)<319.04>

富田広士・横手慎二 編

地域研究と現代の国家

0714-3 A5 判上製 452 頁 3,080 円(2,800 円)

現代国家の中長期的視野の特性、実態を、そのアイデンティティ、機能拡大と役割再編、国際環境への適応の問題点から解明する 15 論文を収録。

慶大法学部政治学科開設百年記念論文集 (‘98)<311.04>

西岡洋子 著
**国際電気通信市場における
 制度形成と変化**
 —腕木通信からインターネット・ガバナンスまで
 1425-7 A5 判上製 308 頁 4,950 円(4,500 円)

ナポレオン戦争時代の腕木通信に国際電気通信市場の秩序の原型を探り、制度変化の歴史からインターネット・ガバナンスの意味を明らかにする。

('07)<694.1>

添谷芳秀・赤木完爾 編
冷戦後の国際政治
 —実証・政策・理論

冷戦の終焉を契機とし、これまでの国際政治研究の限界を問い、新たなフロンティアを切り開く。変動する現実の諸相を論じ、パラダイム転換を展望する。

0715-0 A5 判上製 316 頁 2,750 円(2,500 円)

慶大法学部政治学科開設百年記念論文集 ('98)<319.04>

モーリス・ヴァイス 著／
 細谷雄一・宮下雄一郎 監訳
戦後国際関係史
 —二極化世界から混迷の時代へ
 2534-5 A5 判並製 416 頁 3,850 円(3,500 円)

国際政治史の世界的権威が、激動の戦後史を外交や軍事のみならず、経済・社会・文化の広い視点からダイナミックに描き出す。日本や中国を含む東アジア地域についての記述を大幅に追加した最新版の翻訳。

('18)<319>

森聡・福田円 編著
入門講義 戦後国際政治史

米・中・露の大国外交とヨーロッパ・中東・アジアの地域情勢が複雑に絡み合う現代。主要国の外交や地域政治の構図とその変化、激動する時代に日本がどう向き合ってきたかを浮き彫りにする、新しい視点の入門書。

2793-6 A5 判並製 320 頁 2,860 円(2,600 円)

('22)<319>

細谷雄一 編著
戦後アジア・ヨーロッパ関係史
 —冷戦・脱植民地化・地域主義
 2289-4 A5 判上製 312 頁 4,400 円(4,000 円)

戦後国際政治史における「アメリカ中心の視点」を相対化し、脱植民地化以降のアジア・ヨーロッパ諸国の水平的な関係への移行、そして多極化・地域統合から地域間関係への萌芽というダイナミックな変化を読み解く試み。
 慶應義塾大学東アジア研究所叢書

('15)<319>

赤木完爾・国際安全保障学会 編著
**国際安全保障がわかる
 ブックガイド**
 2933-6 A5 判並製 288 頁 2,200 円(2,000 円)

古典的名著からテーマ別の最新の重要書まで 123 冊をとりあげ、背景・概要とその現代的な位置づけを明らかにする。第一線の専門家たちによる、国際安全保障を理解し、不確実な世界を読み解く入り口となるブックガイド！！

('24)<319.8>

巖網林・田島英一 編著
アジアの持続可能な発展に向けて
 —環境・経済・社会の視点から
 2105-7 A5 判上製 340 頁 6,820 円(6,200 円)

急速な経済成長の一方にある、環境問題の深刻化や格差の拡大。これらの歪みを是正し、「持続可能な社会」を築くためには何が求められているのか？ 地域特有の課題を通して、複合的視座から考える。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 ('13)<361.7>

経 済

■経済一般

中島隆信 著

経済学ではこう考える

2133-0 四六判並製 224 頁 1,650 円(1,500 円)

世の中の「なぜ？」を経済学的思考で解き明かす！「伝統文化」や「宗教活動」のなかにも潜む経済合理性を、わかりやすく切れ味鋭い文章で解説。人間の幸せを実現する道具としての経済学の懐の深さを学べる入門書。

(‘14)〈331〉

中島隆信 著

「笑い」の解剖

—経済学者が解く 50 の疑問

2614-4 四六判薄紙上製 212 頁 1,980 円(1,800 円)

人はなぜ笑うのか—。考えてみると、実はよくわからない「笑い」という現象について、経済学者が独自の発想を披瀝。笑いとはどのようなプロセスから生まれるのか、そのメカニズムを「笑いの四段階説」というオリジナルな手法を用いて解明を試みる。

(‘19)〈141.6〉

矢野誠・中澤正彦 編著

なぜ科学が豊かさにつながらないのか？

2185-9 四六判並製 244 頁 1,980 円(1,800 円)

問題は市場の「質」である！市場は科学と暮らしをつなぐパイプ役。このパイプが詰まっているから、科学をうまく役立てられないのだ。ならばと、理系・文系研究者らが結集し、上質なパイプ作り＝経済活性化の筋道を示す。

【図】(‘15)〈404〉

オリヴィエ・ブランシャール、ダニ・ロドリック 編／
月谷真紀 訳／吉原直毅 解説

格差と闘え—政府の役割を再検討する

2805-6 四六判上製 400 頁 3,520 円(3,200 円)

ピケティ『21世紀の資本』以降、格差をめぐって具体的な対策が期待され、その役割として政府による政策の力が見直されるようになってきた。世界トップレベルの経済学者を中心に、政策論の意見を闘い合わせたシンポジウムの記録。

(‘22)〈361.8〉

関谷喜三郎・池野秀弘・大島考介・
木村雄一・安田武彦 著

はじめて学ぶ経済学 第3版

2795-0 A5 判並製 170 頁 1,980 円(1,800 円)

経済学初学者のための入門書を最新の動向にあわせて改訂した第3版。経済学部はもちろん、会計・マーケティング・経営戦略などを学ぶ学生にも必要なマイクロ／マクロ経済学の基礎知識を精選、徹底して平易・丁寧解説する。

(‘22)〈331〉

前田章 著

はじめて学ぶ経営経済学

1021-1 A5 判並製 300 頁 2,200 円(2,000 円)

オーソドックスなマイクロ経済学のポイントを欧米ビジネススクール流に書き換えた画期的入門書。「経営戦略論」「企業財務」「意思決定論」の基礎がわかる。(2色刷)

(‘03)〈331〉

樋口美雄・駒村康平・齋藤潤 編著
超成熟社会発展の経済学
 —技術と制度のイノベーションが切拓く未来社会
 2098-2 四六判並製 346頁 2,200円(2,000円)

人口構造の変化や経済成長の鈍化等の現状を踏まえたく
 えて、20年後の高質化された生活と超成熟社会の実現
 のため、必要な施策や経済システムを検討し、さらに第
 一線で活躍している企業人から主要産業での現状と可能
 性が紹介される。 (13)<332.107>

駒村康平・齋藤潤 編著
2035年の経済社会とイノベーション
 —超成熟社会発展の経済学Ⅱ
 2190-3 四六判並製 300頁 2,200円(2,000円)

慶應義塾大学大学院での講義書籍化、第2弾。20年後
 の経済と社会を見据え、新しい経済システムの必要性を
 主張する。今後成長が期待されている主な産業分野の企
 業活動や研究開発についても紹介。 (14)<332.107>

日向清人 著
ビギナーのための経済英語 第2版
 —経済・金融・証券・会計の基本用例320
 2452-2 四六判並製 272頁 2,200円(2,000円)

グローバルな活躍を目指すビジネスパーソンが、業務で
 必要な情報を英語で得るために役立つ重要表現を収録。
 ひとつお目を通せば、英字新聞の経済・金融面や企業
 の英文業績報告書を難なく読めるレベルに。金融業界へ
 の就職を目指す学生も必読の1冊。 (17)<223>

朝岡敏行 編著
マーケティングと消費者
 1508-7 A5判並製 248頁 3,190円(2,900円)

マーケティングの誕生から発展への歴史、4Pなどマネ
 ジリアル・マーケティングの基礎知識、そして情報技術
 革新・法令遵守・環境保護など最新の課題までを網羅し
 た超入門テキスト。
 入門消費経済学5 (12)<331.87>

隅田和人・直井道生・奥村保規 編著
都市・地域・不動産の経済分析
 2120-0 A5判上製 348頁 4,400円(4,000円)

住宅、税・金融、地域振興・観光、情報化など、現代日
 本経済の重要課題を取り上げ理論、実証、政策の各面か
 ら分析する。新進気鋭の若手研究者16人による都市・
 空間経済学の最新の研究成果。 (14)<332.9>

塩澤修平 編
高橋誠一郎 人と学問
 1755-5 四六判並製 232頁 2,750円(2,500円)

経済学のみならず、浮世絵コレクター、演劇人、文学者、
 文部大臣としても活躍した高橋の姿を、渡辺保、犬丸治、
 内藤正人、佐藤禎一、猪木武徳、坂本達哉、福岡正夫、
 丸山徹の各氏が活き活きと語る。 【図】(10)<289.1>

速水融 著
歴史学との出会い
 1743-2 四六判上製 258頁 2,640円(2,400円)

日本における歴史人口学の礎を築いた碩学によるエッセ
 イ集。歴史学のあり方を常に問い続けてきた著者が、学
 匠や古典、新しい研究手法などとのさまざまな「出会い」
 を振り返る。 【図】(10)<204>

福岡正夫 著
経済学わが道
 1861-3 四六判上製 416頁 4,180円(3,800円)

丘の上で60年余を経済学とともに歩んできた著者が、
 自らの歩みを振り返り、恩師の追憶、海外での研究生活
 と交友の思い出、そして自らの趣味を綴る。米寿を迎え
 た理論経済学の泰斗のエッセー集。 【図】(11)<331.04>

岡部光明 著

現代経済学を超えて

1945-0 A5判並製 124頁 1,100円 (1,000円)

(12)(331.04)

矢嶋康次 著

記憶の居場所

—エコノミストがみた日常

2781-3 四六判版フランス装 240頁 1,980円(1,800円)

SFCにて教鞭を執った著者による、明治学院大学国際学部での最終講義録。経済学の有効性とその限界を指摘するとともに、その限界を克服するための提言を行う。

平成の「失われた30年」の激流を逡巡迂回しながら渡りきり、節目で惨憺なコメントを発信しつづけてきた人気エコノミストが“フツのオジサン”目線で捉えたこの国の変容を、自らの歩みとともに綴る痛快経済エッセイ！

(21)(330.4)

谷口和弘 著

日本の資本主義とフクシマ

—制度の失敗とダイナミック・ケイバビリティ

1991-7 四六判上製 370頁 3,850円(3,500円)

ケイバビリティ論など経営組織研究の先端理論を駆使して福島原発事故の発生・拡大メカニズムを描写、日本の資本主義社会を「呪縛」する根源的要因を浮き彫りにした問題作。日本社会の再生を担う各界リーダー必読の書。

(12)(332.106)

リチャード R. ネルソン 著／後藤晃 訳

月とゲットー

—科学技術と公共政策

2001-2 四六判上製 204頁 2,750円(2,500円)

人類は月に人を送り込むという困難なことを成し遂げる一方で、大勢の人の貧困問題を解決できていない。こうした公共政策の失敗について3つのケーススタディを用い、変動する現実のなかでのフレームワークを提示する。

【図】(12)(333)

R・フィスマン、M・A・ゴールドン 著／
山形浩生・守岡桜 訳／溝口哲郎 解説

コラプション

—なぜ汚職は起こるのか

2626-7 四六判上製 386頁 2,970円(2,700円)

世界中の国が汚職・腐敗に苦しんでいる。その原因は「悪人」にあるのではなく「構造」にある。「汚職の均衡」がなぜ起こるのか、なくすにはどうすればよいのか。気鋭の経済学者と政治学者が最新の知見をまとめた汚職撲滅のバイブル！

(19)(368.6)

ティモシー・ベズリー 著／溝口哲郎 訳／
下松真之 解説

良い政府の政治経済学

2973-2 A5判並製 330頁 4,400円 (4,000円)

民主主義体制における政府や政治家の行動を理論化した「政治経済学」の定番中級テキスト。「よい政治、良い政府」とは何か？ この問題を考えるすべての人にヒントとツールを与える。

(24)(331)

クリストフ・リュトゲ 著／嶋津格 訳

「競争」は社会の役に立つのか

—競争の倫理入門

2638-0 四六判上製 240頁 2,420円(2,200円)

現代社会において「競争」を倫理的に擁護できるのか。ドイツの応用倫理学者が経済のみならず、教育・環境・医療・政治・メディアの分野における競争の重要性を説く。資本主義が嫌いな人のための「競争の倫理」。

(20)(361.3)

ベンジャミン・ホー 著／庭田よう子 訳／
佐々木宏夫 解説

信頼の経済学

—人類の繁栄を支えるメカニズム

2882-7 四六判上製 336頁 3,520円(3,200円)

人間が少人数の集まりから巨大な社会を築く根底には「信頼」のメカニズムが働いている。市場、法、貨幣から医学、科学技術、気候問題まで「信頼」なくては存立しない。気鋭の経済学者による骨太な一冊。

(23)(331)

マティアス・ドゥブケ、ファブリツィオ・ジリボッティ 著／
鹿田昌美 訳／大垣昌夫 解説
子育ての経済学

—愛情・お金・育児スタイル
2711-0 四六判並製 416 頁 2,640 円 (2,400 円)

先進国の子育てが全体的に「過保護」に変容してきたのはなぜか？ 基本となる 3 つの育児スタイル、経済学的な仮説をベースに、世界各国のデータ・歴史資料等を駆使して分析する。「教育の経済学」のスタンダードとなる一冊。
(‘20)〈599〉

北條雅一 著

少人数学級の経済学

—エビデンスに基づく教育政策へのビジョン
2888-9 四六判上製 304 頁 2,970 円 (2,700 円)

少人数学級による学力・非認知能力の向上、学校教員の過重労働の軽減、教員不足解消への採用方策、教員のウェルビーイング、政策のコスト・パフォーマンス分析などの論点を、エビデンスを重視して検証する。
現代経済解説シリーズ (‘23)〈371.3〉

クラウディア・ゴールディン 著／鹿田昌美 訳
なぜ男女の賃金に格差があるのか

—女性の生き方の経済学
2847-6 四六判並製 400 頁 3,740 円 (3,400 円)

20 世紀アメリカの女性たちはどのように「家族」と「キャリア」を選択してきたのか。100 年間の男女平等への道筋をたどりながら、膨大なデータによる実証分析から賃金格差の原因を抉り出す。著者は 23 年ノーベル経済学賞を受賞した。
(‘23)〈366.38〉

ギャレット・ジョーンズ 著／飯嶋貴子 訳

移民は世界をどう変えてきたか

—文化移植の経済学
2961-9 四六判上製 272 頁 3,300 円 (3,000 円)

人類は太古から「移動」してきた。現在の経済大国は、移民が持ち込んだ文化（文化移植）によって繁栄がもたらされたのか。その影響を経済学と長期的なデータを計量分析することによって明らかにする。
(‘24)〈334.4〉

ロバート・J・パロー、レイチェル・M・マックリアリー 著／
田中健彦 訳／大垣昌夫 解説

宗教の経済学

—信仰は経済を発展させるのか
2683-0 四六判上製 264 頁 2,970 円 (2,700 円)

ヴェーバー以来の宗教と経済の研究は、経済理論と実証分析によって更新された。著者たち自身によるマクロデータ分析、基本となる理論モデル、ヴェーバー仮説の自然実験による研究等を紹介した新しい「宗教の経済学」を展望する 1 冊。
(‘21)〈161.3〉

ハーワード・スティーヴン・フリードマン 著／南沢篤花 訳

命に〈価格〉をつけられるのか

2736-3 四六判上製 320 頁 2,970 円 (2,700 円)

9.11 テロの犠牲者、殺人事件、死亡事故の賠償金はどうに決められるのか？ 経済学者、統計の専門家、規制当局が駆使する「統計的生命価値 (VSL)」の豊富な例をわかりやすく解説し、「人の命」とは何かという問題に向き合う。
(‘21)〈114.2〉

杉浦章介 著

トランスナショナル化する世界

—経済地理学の視点から
1619-0 A5 判並製 168 頁 2,200 円 (2,000 円)

グローバル化の歴史をひもときながら、高度に国際分業された現代の経済を解説。地球規模、地域経済統合、国、地域、都市、と様々な空間的レベルにおいて立ち現れるトランスナショナル化の実態を捉えなおす。
(‘09)〈332.9〉

杉浦章介・松原彰子・渡邊圭一・長田進・武山政直・大島英幹 著

ジオ・メディアの系譜

—進化化する地表象の世界
1739-5 A5 判並製 164 頁 2,200 円 (2,000 円)

世界を俯瞰する上で最も優れたメディアの一つ、ジオメディア（位置・地理情報を扱うメディア）の歴史を、紙の地図から近年のインターネット・GIS によるモバイル化・リアルタイム化したものまで、系譜を明らかにする。
(‘10)〈290.1〉

■ 経済史

浜野潔・井奥成彦・中村宗悦・岸田真・永江雅和・牛島利明 著

日本経済史 1600-2015

—歴史に読む現代

2335-8 A5判並製 384頁 3,080円 (2,800円)

近世の経済学的遺産が近代的工業化に果たした役割を重視しながら近世から現代までを鳥瞰する、日本経済史の好評テキストの改訂版。各章末尾に新たな視点でのトピックを追加したほか、アベノミクス等の経済動向についても増補・改稿。 (17)<332.105>

鎮日雅人 編

信用貨幣の生成と展開

—近世～現代の歴史実証

2693-9 A5判上製 472頁 7,150円 (6,500円)

「歴史実証」の手法に基づき、貨幣と信用の関係を、藩札の流通や当事者の関与の仕方などから捉えた画期的な研究。「ヨーロッパのレンズ」を外し、インド・中国を含む、アジアの視点を加えることで見えてくる新しい信用貨幣のかたちを考察する。 (20)<337.21>

高槻泰郎 編著

豪商の金融史

—廣岡家文書から解き明かす金融イノベーション

2833-9 四六判上製 336頁 2,970円 (2,700円)

世界初の先物取引が行われた大坂堂島米市場で活躍した豪商、加島屋。彼らが大名相手に駆使した手法は現代の金融技術に比するものであった。近年発見された廣岡家文書を分析、江戸時代から昭和に亘る激動の歴史を追う。 (22)<338.21>

藤井典子 著

徳川期の銭貨流通

—貨幣経済を生きた人々

2994-7 A5判上製 352頁 5,500円 (5,000円)

徳川期の貨幣システムを制度面からではなく、人々の暮らしと密接不可分に結びついていた流通実態から繙き、庶民の優れた金銭感覚の源泉を探る。近世日本貨幣史に新しい視点をもたらす一冊。 (24)<337.21>

中西聡 著

資産家資本主義の生成

—近代日本の資本市場と金融

2576-5 A5判上製 544頁 10,450円 (9,500円)

事業家・企業家・投資家として財や資金の循環を担った地方資産家たちの姿を経済統計や各社の決算書類、家内文書などの膨大な資料をもとに描き出し、成立期日本の資本主義社会が「資産家資本主義」と言える性格を持っていたことを実証的に解明する。 (19)<332>

公益財団法人高梨本家(上花輪歴史館) 監修／井奥成彦・中西聡 編著

醤油醸造業と地域の工業化

—高梨兵左衛門家の研究

2349-5 A5判上製 616頁 7,480円 (6,800円)

日本最大の醤油産地 野田の最有力醸造家に関する初の総合研究。一業専心的な醤油醸造家・資産家として高梨家が果たした地域社会への貢献、地域の工業化や関東市場との関わりを、3万点に及ぶ史料から明らかにする。 (16)<588.6>

井奥成彦・中西聡 編著

醸造業の展開と地方の工業化

—近世・近代日本の地域経済

2908-4 A5判型上製 480頁 9,350円 (8,500円)

近世後期以降、地方からの工業化を支える厚い層を形成してきた醸造業について、これまでの研究蓄積の少ない地域やテーマもカバーし、醸造業が日本独自の産業化・工業化に果たした役割を明らかにする。慶應義塾大学産業研究所叢書 (23)<588.5>

杉山伸也 著

日英経済関係史研究 1860～1940

2399-0 A5 判上製 448 頁 4,400 円 (4,000 円)

幕末から第2次大戦までの日英関係を広くグローバル・ヒストリーのなかに位置づけ、アジアを舞台として英国への依存から自立、協調と競争、対立、そして戦争へと向かう近代日本の姿を克明に描き出した珠玉の論考。

('17)〈332.106〉

杉山伸也 著

近代日本の「情報革命」

2967-1 A5 判上製 432 頁 9,460 円 (8,600 円)

近代日本の産業化をささえた明治政府の郵便・電信政策、情報インフラ・ネットワークの構築と地域経済への影響を明らかにし、「文明の利器」を手掛りに福澤諭吉「民情一新」を問い直す。

('24)〈692.1〉

古田和子 編著

都市から学ぶアジア経済史

2597-0 四六判並製 456 頁 2,200 円 (2,000 円)

アジア各地の都市を取り上げ、16～21世紀にかけてのアジア経済の歴史を描き出す。香港、シンガポール、深圳といった中心都市だけでなく、プネー、台南など一見周縁とみられる都市にも注目する。アジア経済史の副読本に最適。

東アジア研究所講座 ('19)〈332.2〉

藤原淳一郎 著

十九世紀米国における電気事業規制の展開

0418-0 A5 判上製 230 頁 4,950 円 (4,500 円)

近年の「政府規制緩和」の動きの中で、いまだ「自然独占」・「地域独占」の色彩が強い電気事業。本書は電気事業の開始された十九世紀米国における法規制を検証し、「自然独占」・「地域独占」のルーツを探る。

慶應義塾大学法学研究会叢書48 ('89)〈540.9253〉

ジャレド・ダイヤモンド、ジェイムズ・A・ロビンソン 編著／小坂恵理 訳

歴史は実験できるのか

—自然実験が解き明かす人類史

2519-2 四六判上製 320 頁 3,080 円 (2,800 円)

「実験」が不可能な歴史事象に対して、歴史学、経済学、政治学など幅広い専門家たちが、新しい比較研究・自然実験の手法を駆使して奴隷貿易からフランス革命の影響まで、世界史の謎に挑む！

('18)〈209〉

■ 経済理論

フランチェスコ・グァラ 著／
瀧澤弘和 監訳／水野孝之 訳

制度とは何か

—社会科学のための制度論

2565-9 四六判上製 352 頁 3,520 円 (3,200 円)

社会における習慣、ルール、貨幣、結婚といった「制度」はなぜ「存在」するのか。社会科学の各分野が独自に分析してきた問題を、ゲーム理論、分析哲学（社会存在論）といったツールを駆使して、共通の土台を作ることを目指した野心的な試み。

('18)〈331〉

石橋春男・橋口宏行・中藤和重 著

よくわかる！ミクロ経済学入門

2137-8 A5 判並製 172 頁 1,980 円 (1,800 円)

現実経済と経済学の発展の歴史から、市場の仕組みと働き、そして喫緊の政策課題まで、経済学を学ぶ人に必須の基礎知識を厳選し、やさしく解説した初学者のためのミクロ経済学「超入門」テキスト！

('14)〈331〉

安達貴教 著

データとモデルの実践ミクロ経済学
—ジェンダー・プラットフォーム・自民党

2797-4 A5 判並製 256 頁 2,970 円 (2,700 円)

「ジェンダー」「プラットフォーム」「自民党」といった現代日本における喫緊のテーマを対象にした著者自身の研究成果をまとめ、ミクロ経済学の「実践」の新たな可能性を示す。教科書の「先」を知りたい人のための研究書。
(22)335.57

藤田康範 著

経済戦略のためのモデル分析入門

1853-8 A5 判並製 288 頁 3,080 円 (2,800 円)

政府の関税政策や CO₂ 排出割当政策、さらに企業の SWOT 分析や海外移転戦略など経済・経営課題の具体的な意思決定をとりあげ、戦略立案の考え方と手法を分かりやすく解説する。
(11)331.19

デイヴィッド・ルイス 著／瀧澤弘和 訳

コンヴェンション
—哲学的研究

2738-7 四六判上製 320 頁 4,620 円 (4,200 円)

20 世紀後半のもっとも重要な哲学者といわれるルイス。本書は、ゲーム理論、言語哲学、制度論などに多大な影響を与えたが、その難解さゆえ「読まれざる古典」であった。半世紀を経て、詳細な解説とともに邦訳なる。
(21)116.3

坂井豊貴 編著

メカニズムデザインと意思決定のフロンティア

2144-6 A5 判上製 200 頁 3,080 円 (2,800 円)

ミクロ経済学やゲーム理論の知見に基づき、市場システム等の改良を目指す「メカニズムデザイン」や近年話題を集める「意思決定理論」など、実用化が期待される最先端の研究事例を紹介する。
(14)331.19

石橋春男・橋口宏行・河口雄司 著

よくわかる！マクロ経済学入門

2151-4 A5 判並製 168 頁 1,980 円 (1,800 円)

景気の不思議を解明する！ ニュースに出てくる経済指標の読み方から、為替と貿易の関係、政府・日本銀行の役割と現実の取り組みまで、マクロ経済を理解するための基礎知識を厳選し、やさしく解説した「超」入門テキスト！
(15)331

マーカス・K・ブルネルマイヤー、リカルド・レイス 著／栗林寛幸・小谷野俊夫 訳／青木浩介 解説

マクロ金融危機入門
—バブルはなぜ繰り返すのか

2988-6 四六判並製 192 頁 2,750 円 (2,500 円)

世界金融危機以降、その原因に関する研究が膨大になされた。現代の経済危機は、マクロ経済と金融が密接に関係している。本書では最新の理論と豊富な事例がコンパクトに説明される。学生・ビジネスパーソンともに役立つ一冊。
(24)338.2

辻村雅子・辻村和佑 著

マクロ経済統計と構造分析
—もう一つの国民経済勘定体系を求めて

2761-5 A5 判並製 400 頁 3,740 円 (3,400 円)

経済活動の把握に挑んだ人々の紆余曲折の歴史を辿りつつ、SNA 諸勘定の理論と構造を体系的に説明。実物経済への影響力をますます強める金融市場の動きを精緻に捉えるべく、新たなマクロ経済統計のあり方を考察する。
(21)331.19

ジョン・マクミラン 著／瀧澤弘和・木村友二 訳

新版 市場を創る
—バザールからネット取引まで

2783-7 A5 判並製 384 頁 2,970 円 (2,700 円)

古今東西の市場の豊富な事例と、経済学の先端研究をベースにした「市場設計」について理論・実践ともに一流の学者が書いた先駆的な書。初学者には経済学入門として、ビジネスパーソンには実際の市場を考える上で参考になる。
(21)331.845

オリバー・ハート 著／鳥居昭夫 訳

企業契約金融構造

1717-3 A5判上製 324頁 3,520円 (3,200円)

('10)<335>

契約論の〈新古典〉邦訳成る。著者が中心となって発展させてきた不完備契約論を基に、企業の境界や企業金融の構造をめぐる問題に理論的視座を与える。企業理論に関する必読の書。

ヘンリー・ハンズマン 著／米山高生 訳

企業所有論

—組織の所有アプローチ

2585-7 A5判上製 450頁 6,600円 (6,000円)

('19)<335.3>

株主が所有する株式会社が唯一効率的な形態であるという偏見を覆し、企業形態の多様性を具体例で示した古典的著作。企業理論、組織の経済学などに関心のある人の必読文献。

竹中康治・小林信治 著

寡占企業と推測的変動

2664-9 A5判上製 304頁 4,620円 (4,200円)

('20)<364>

寡占企業の行動を解き明かすための重要な概念でありながら十分な説明がなされてこなかった「推測的変動」について徹底的に考察する。最終章に日本の軽自動車産業についての実証分析を加えた。

石橋孝次 著

産業組織

—理論と実証の接合

2763-9 B5判並製 560頁 4,950円 (4,500円)

('21)<335.3>

ミクロ経済学初級を学んだ学習者に向け、発展著しい産業組織論を体系的に解説する。基礎から最先端までの理論を丹念に解説することで理解を深め、研究論文への橋渡しを行う。

ラグラム・ラジャン／ルイジ・ジンガレス 著
堀内昭義／アブレウ聖子／有岡律子／
関村正悟 訳

セイヴィング キャピタリズム

1168-3 A5判上製 450頁 3,850円 (3,500円)

('06)<332>

自由な金融市場の重要性を強調しつつ、国際比較や歴史的視点を踏まえ、資本主義市場がしばしば政治的に歪められてしまう原因を明らかにした、米国のベストセラーの翻訳。

ラグラム・ラジャン 著／北村礼子 訳／小林慶一郎 解説

苦悶する中央銀行

—金融政策の意図せざる結果

2990-9 四六判並製 192頁 2,200円 (2,000円)

('24)<338.4>

世界の中央銀行が金融緩和を長く続けた結果、新たなリスクが生じるようになった。経済問題の解決を何でも中央銀行に求める過剰な期待が経済・金融を不安定にする。インド準備銀行の総裁も経験した銀行論の大家が警鐘を鳴らす。

リチャード R. ネルソン・シドニー G. ウィンター 著／後藤晃・角南篤・田中辰雄 訳

経済変動の進化理論

1389-2 A5判上製 532頁 6,160円 (5,600円)

('07)<331.19>

20世紀後半を代表する経済学〈現代の古典〉の翻訳。「進化理論」を基に経済・社会のダイナミックな変動の解明のための理論を構築し、社会科学の新しいプラットフォームを提示する。

山内弘隆・上山信一 編著

公共の経済・経営学

1963-4 A5判並製 412頁 3,740円 (3,400円)

('12)<341>

経済学と経営学の双方の立場から、公共の問題解決方法を提示。経済原則と経営改革を重視する自治体ガバナンスの新しい潮流を明らかにする実践的テキスト。医療、教育、道路、空港、河川、農業の6つの分野から最新のケースを紹介。

山内弘隆 編著

運輸・交通インフラと民力活用
—PPP / PFIのファイナンスとガバナンス

2132-3 A5判並製 352頁 3,960円 (3,600円)

財政赤字のもとでの交通社会資本の抜本的な再整備に、2011年PFI法改正の成果をいかに取り入れるか。経済理論に基づく基礎知識から、日本の現状と課題、イギリスとアジアの状況と事例紹介、国際研究動向まで、理論に基づく実務を意識して解説。【図】('14)(681)

春日教測・宍倉学・鳥居昭夫 著

ネットワーク・メディアの経済学

2158-3 A5判上製 344頁 4,400円 (4,000円)

衛星放送、ケーブルテレビ、インターネットなど、次々に誕生した新メディアは、情報社会をどのように変えたのか？情報財の特殊性とメディア産業の課題を解き明かし、公共放送を含め望ましい市場競争のあり方を提示する最新の研究！ ('14)(699.21)

牧厚志 著

談合・価格協定事件の経済分析
—裁判例を用いた「法と経済学」の実証研究

2823-0 四六判上製 388頁 6,050円 (5,500円)

価格協定事件や入札談合事件に関する法務資料をもとに、計量経済学的な実証分析を行う。「法と経済学」の分野でも、実際の判例を用いた研究は少ない。それらの経済事件は、消費者に多大な損害を与えることが知られている。 ('22)(335.57)

■ **マルクス経済学**

大西広 著

マルクス経済学 第3版

2675-5 A5判並製 368頁 2,970円 (2,700円)

新古典派経済学とマルクス経済学を接合し、現代資本主義社会を鋭く分析する慶應のマル経教科書、決定版が完成！著者の不断の研究活動に基づいた解説の改良・追加が全章にわたって行われ、より本格的で“生きたマル経”を学べる1冊に。 ('20)(331.6)

延近充 著

21世紀のマルクス経済学

2222-1 A5判並製 364頁 3,080円 (2,800円)

マルクス経済学の基礎理論を丁寧に解説し、様々なトピックをわかりやすく説明しながら、膨大な資本のグローバルな運動によって規定される現代資本主義の危機の構造と1990年代以降の日本経済の構造の変化を明らかにする。 ('15)(331.6)

大西広 編著

マルクス派数理政治経済学

2777-6 A5判上製 240頁 2,970円 (2,700円)

中間層の動向や税制・社会保障政策が政権交代に与える影響、米中覇権争いと経済の再ブロック化の意味など、具体的・今日的課題を取り上げ、精緻な数理モデルを用いて新たな視角と知見を提供する。現代に呼吸するマルクス経済学の最前線へ！ ('21)(331.6)

■ 経済学史・経済思想

D・ウェイド・ハンズ 著／高見典和・原谷直樹・若田部昌澄 監訳

ルールなき省察

—経済学方法論と現代科学論

2508-6 A5 判上製 540頁 6,600円 (6,000円)

長い間、論争の続いた経済学方法論の領域において、科学哲学・科学論の影響を中心に広範にサーヴェイしたテキスト。本書は経済学史、経済学方法論、経済学の哲学の分野で世界的なスタンダードとなっている。

(18)<331.16>

小畑二郎 著

経済学の歴史

2175-0 A5 判並製 328頁 2,860円 (2,600円)

経済学がこれまでどのような問題と取り組み、どのような考え方を重視し、何について議論してきたのかを明らかにし、経済学の歴史、多様性、方法論を理解することで、現代の経済学がどのような問題に答えようとしているのかを知るための一冊。

(14)<331.04>

小畑二郎 著

ヒックスと時間

—貨幣・資本理論と歴史理論の総合

1820-0 A5 判上製 368頁 5,280円 (4,800円)

ケインズからヒックスへの継承、オーストリア学派からの吸収と彼らとの論争などを丹念にたどり、「不確実性」と「時間」をキーワードにヒックス後期の「歴史理論」へと結実する知的道程を明らかにする。

(11)<331.74>

ナヒド・アスランベイグイ、
ガイ・オークス 著／安達貴教 訳
ジョーン・ロビンソンとケインズ
—最強の女性経済学者はいかにして生まれたか
2840-7 A5 判上製 416頁 5,940円 (5,400円)

20世紀を代表する女性経済学者、ジョーン・ロビンソンは、男性社会であるケンブリッジ大学のなかで、いかにしてキャリアを築き、ケインズに認められたのか。ケインズをめぐる学者達の人間模様を、膨大な書簡から詳細に描き出す。

(22)<331.16>

池田幸弘・小室正紀 編著

近代日本と経済学

—慶應義塾の経済学者たち

2244-3 A5 判上製 428頁 4,840円 (4,400円)

福沢諭吉をはじめ慶應義塾ゆかりの主だった学者たちは、近代日本における経済学の発展にどのような足跡をのこしたのだろうか。研究と教育に生涯を捧げた経済学者たちの足跡から近代日本経済学の水脈を辿る。

(15)<331.21>

小室正紀 編著

幕藩制転換期の経済思想

2332-7 A5 判上製 314頁 5,500円 (5,000円)

19世紀への変わり目、天明から文化へ至る40年間は、文化が爛熟に向かい、社会や経済が深い所で静かに大きく変わった。本書は、その時代の経済思想に焦点をしばり、さまざまな角度から光をあてる。

(16)<331.21>

■ 日本経済

翁邦雄 著

移民とAIは日本を変えるか

2611-3 四六判版フランス装 224頁 2,200円(2,000円)

救世主か、それとも破壊者か？ 人口減少が進む日本社会に移民とAI（人工知能）が与える影響について、期待や恐れ、悲観や諦観を排しニュートラルなスタンスで現状と将来を解説した注目作！

(‘19)(334.31)

黒瀬浩一 著

時代の「見えない危機」を読む —迷走する市場の着地点はどこか—

2677-9 四六判版上製 564頁 2,970円(2,700円)

長期の投資哲学、世界の覇権国・米国の経済・金融史、日本経済の動向を三本柱に据え、市場動向を的確に察知する力をつけるヒントを満載。単なる金融市場の時事解説とは一線を画す、スケールの大きな現代経済・金融論。

(‘20)(338.04)

河野龍太郎 著

成長の臨界

—「飽和資本主義」はどこへ向かうのか—

2834-6 四六判上製 548頁 2,750円(2,500円)

ローマクラブの『成長の限界』から50年、世界経済は新たな局面に突入している。新しい秩序はどう形成されるのか？ 著名エコノミストが現況を怜悯に分析し、迫り来る次の世界を展望する、読み応え十分の一書！

現代経済解説シリーズ (‘22)(330.4)

河野龍太郎 著

グローバルインフレーションの深層

2934-3 四六判上製 336頁 1,760円(1,600円)

コロナ禍を機に、急激なインフレが世界を襲った。この困難な局面を打開してために何が必要なのか。理論・歴史・政治・国際的視点から、金融経済の行方を鋭利に読み解く、著名エコノミストによる未来を見極めるための作品。

(‘23)(330.4)

佐藤朋彦 著

家計簿と統計

—数字から見える日本の消費生活—

2689-2 四六判並製 224頁 1,760円(1,600円)

千差万別の家計簿も、集めてみると時代の傾向が浮き彫りになる。日本の生活スタイルの変化から統計数字を読むコツ、ネット上での様々な数値の探し方まで、楽しく読みながら、自分の生活に数字をどう活かすかも学べるおもしろ読み物。

(‘20)(365.4)

山本勲・石井加代子・樋口美雄 編

コロナ禍と家計のレジリエンス格差

2879-7 A5判上製 248頁 4,400円(4,000円)

日本を代表する家計パネルデータを用いて家計、働き手、消費者の行動にどのような差異が生じたのかを分析し、予測困難な時代に必要な家計行動、働き方、危機対応、政策対応とは何かを明らかにする、コロナ禍に焦点を当てた実証的研究。

(‘23)(365.4)

宇南山卓 著

現代日本の消費分析

—ライフサイクル理論の現在地—

2895-7 A5判上製 532頁 7,480円(6,800円)

消費税率引き上げ、老後の生活資金不足問題など、わが国の消費にまつわる多様な現象を「ライフサイクル理論」を用いて一貫した視点から分析。経済環境の変化が家計行動をどう変えるか。第66回日経・経済図書文化賞、第45回サントリー学芸賞受賞。

(‘23)(331.87)

瀧澤弘和・小澤太郎・塚原康博・
中川雅之・前田章・山下一仁 著
経済政策論

—日本と世界が直面する諸課題

2262-7 A5 判並製 408 頁 3,520 円 (3,200 円)

財政、社会保障、労働市場、エネルギー、環境、農業など、日本経済の抱える課題を切り口として経済政策を論じるという新しいアプローチの教科書。政策の背後にある考え方を丁寧に解説、現実の経済政策を評価する「目」を養う。 (‘16)〈333〉

吉野直行・亀田啓悟・中東雅樹・中田
真佐男 編著

日本経済の課題と針路

—経済政策の理論・実証分析

2204-7 A5 判上製 364 頁 4,840 円 (4,400 円)

日本経済の重要課題をとりあげ、過去四半世紀の経済政策を、最先端の経済理論と統計手法を駆使して分析・評価。新進気鋭の研究者たちが、財政・金融の両面から日本経済復活への知見を提供する。 (‘15)〈332.107〉

野村浩二 著

日本の経済成長とエネルギー

—経済と環境の両立はいかに可能か

2753-0 A5 判上製 288 頁 3,520 円 (3,200 円)

日本のエネルギー効率が経済成長下でこそ改善されてきた事実を示し、経済と両立する環境エネルギー政策を提言。2050 年「脱炭素社会」を見据え、経済停滞を招く拙速な環境規制に警鐘を鳴らす！

慶應義塾大学産業研究所選書 (‘21)〈501.6〉

四方理人・宮崎雅人・田中聡一郎 編著

収縮経済下の公共政策

2501-7 A5 判上製 336 頁 4,620 円 (4,200 円)

日本経済が「収縮」に向かうなか、格差と貧困、人口減少と地方経済の衰退、社会保障の限界と財政運営の困難など、喫緊の政策課題が表面化している。緻密なデータ・歴史分析ならびに国際比較に基づいた 14 本の論考により、日本の新たな政策課題を提示する。 (‘18)〈301〉

内閣府経済社会総合研究所企画・監修／
井堀利宏 編集

財政政策と社会保障

1678-7 A5 判上製 560 頁 5,720 円 (5,200 円)

内閣府経済社会総合研究所で進めてきたプロジェクト「バブル／デフレ期の日本経済と経済政策研究」の成果。第 5 巻は、長期不況下における財政赤字の分析と社会保障制度のあり方を論じる。

バブル／デフレ期の日本経済と経済政策5 (‘10)〈332.107〉

黒田誼 著

米作農業の政策効果分析

2241-2 A5 判上製 264 頁 4,950 円 (4,500 円)

日本の農業改革の方向性が不透明ななか、本書は精緻で頑健な計量分析により、戦後の保護的農業政策の影響を明らかにし、今後の日本農業の近代化・合理化へ確かな根拠と筋道を示す。

総合研究 現代日本経済分析 第Ⅱ期 (‘15)〈332.107〉

黒田誼 著

日本農業の生産構造と生産性

—戦後農政の帰結と国際化への針路

2448-5 A5 判上製 584 頁 9,900 円 (9,000 円)

戦後 40 年にわたる日本農業の発展と停滞を描き、戦後農政がもたらした影響を計量分析手法で包括的に分析した記念碑的著作。TPP 問題を含め、今後の農業政策論議の基盤となる研究。

(‘17)〈611〉

黒田昌裕 著

科学技術と日本の経済成長

—知的資本投資の効果測定

2925-1 A5 判上製 352 頁 6,930 円 (6,300 円)

経済成長の源泉が機械・設備投資から知的財産投資へとシフトする一方、日本にはそれらを成長へと結び付ける「経済構造」がまだ作られていない。精緻な実証分析で現状を明らかにし、科学技術振興政策と経済産業政策との戦略的統合を提唱する。 (‘24)〈332.107〉

寺西重郎 著

歴史としての大衆消費社会

—高度成長とは何だったのか？

2447-8 A5判上製 384頁 4,950円 (4,500円)

日本伝統の資本主義が育んだ文化と精神を再評価し、1000年の歴史のなかで戦後70年の意味を問い直した野心的著作。高度成長の「呪縛」を乗り越え、日本再構築に向けた針路を示す。

総合研究 現代日本経済分析 第Ⅱ期 (17)〈332.107〉

要藤正任 著

ソーシャル・キャピタルの経済分析

—「つながり」は地域を再生させるか？

2564-2 A5判上製 272頁 5,060円 (4,600円)

投資が「効く」地域と「効かない」地域は何が違うのか？地域の信頼関係や互酬性、ネットワークがもたらす経済効果を定量的に測定。「つながる力」を親から子へ継承し、豊かで持続可能な地域社会の担い手を育成するための方途を提案する。

(18)〈333〉

遠藤正寛 著

北海道経済の多面的分析

—TPPによる所得増加への道筋

2161-3 A5判上製 336頁 4,620円 (4,200円)

国際経済学の分析法を用いて北海道経済の構造を客観的に把握するとともに、貿易自由化（TPP）の中で道民全体が経済的な豊かさを得られる方策を提言する。

(14)〈332.11〉

■ 国際経済

清田耕造 著

日本の比較優位

—国際貿易の変遷と源泉

2374-7 A5判上製 248頁 4,950円 (4,500円)

戦後、世界に冠たる経済大国にまでの上り上がった日本が、もう一度世界経済の中でプレゼンスを取り戻すには何が必要か。貿易理論とデータを駆使してわが国の比較優位の変遷と現状を解明し、今後の発展に向けての方向性を探る。

(16)〈678.21〉

遠藤正寛 著

輸入ショックの経済学

—インクルーシブな貿易に向けて

2928-2 四六判上製 224頁 2,640円 (2,400円)

輸入は〈脅威〉になりうるか？中国等からの輸入の影響はどれくらいあるのか。製造業の雇用や賃金へのインパクトを詳細なデータに基づき分析し「負」の影響を緩和する政策を検討する。第64回エコノミスト賞受賞。

現代経済解説シリーズ (23)〈678〉

佐藤清隆 著

円の実力

—為替変動と日本企業の通貨戦略

2924-4 四六判上製 288頁 2,970円 (2,700円)

2022年からの円安進行によって、円の実質実効為替レートは1970年代前半と同等にまで低下したといわれる。最新の企業調査に基づく著者オリジナルの経済分析によって、今日のわが国と円の「真の姿」をわかりやすく説明。

現代経済解説シリーズ (23)〈333〉

■ 金融

石橋春男・高木信久・橋口宏行 著

よくわかる！ ファイナンス入門

2125-5 A5判並製 172頁 1,980円 (1,800円)

貨幣誕生の歴史から、証券会社・銀行の行動と役割、金融商品の仕組み、そして近年の金融政策の目的や背景まで、ファイナンスを知るための基礎知識を厳選し、やさしく解説した初学者向けの「超入門」テキスト！

('14)〈338.0〉

吉野直行・山上秀文 著

金融経済 第3版

— 実際と理論

2402-7 A5判並製 288頁 2,750円 (2,500円)

経済、財政、国際金融などの関連分野に触れつつ、金融経済の実際面から解説することで理論にも興味を持ち学習できるよう工夫したテキスト。第3版ではマイナス金利政策はじめアベノミクスの下での政策など、新しい大きな変化に対応。

('17)〈338〉

白塚重典 著

金融政策

— 理論と実践

2893-3 A5判並製 316頁 2,970円 (2,700円)

長年の中央銀行エコノミストとしての経験を基に、理論と実務の双方の視点からバランスのとれた金融政策論を講義。基本項目を網羅しつつ、最新必須のトピックまでを余さず丁寧に解説する、著者の持ち味と独自性溢れるテキスト。

('23)〈338.3〉

植田和男 編著

世界金融・経済危機の全貌

— 原因・波及・政策対応

1775-3 A5判上製 480頁 6,380円 (5,800円)

2007年夏のパリバ・ショックに始まり、2008年9月のリーマン・ショックをきっかけに一気に拡大した一連の金融危機を徹底分析。危機後の中長期的な財政フレーム、政策運営のあり方までも視野に入れた、本格的な論考を集成。

('10)〈338.9〉

早川英男 著

金融政策の「誤解」

— “壮大な実験”の成果と限界

2356-3 四六判上製 304頁 2,750円 (2,500円)

黒田東彦日銀総裁が遂行する「異次元緩和」政策は目標に至らないまま「マイナス金利」という奥の手を導入した。日銀きっての論客と言われた筆者が、ついに沈黙を破って持論を開陳する。第57回エコノミスト賞受賞！

現代経済解説シリーズ ('16)〈338.3〉

田中隆之 著

金融政策の大転換

— 中央銀行の模索と課題

2930-5 A5判上製 336頁 5,940円 (5,400円)

1998年の日銀法改正以来、日本の金融政策は「非伝統的金融政策」の導入と、黒田日銀総裁の指揮下での大胆な「異次元緩和」政策という二回の大きな変革を経験した。本書はこれまでの経緯と今後の行方を理論・実証両面から分析する。

('23)〈338.3〉

中妻照雄・白塚重典 編

現代金融と日本経済

— 市場・制度・政策の課題と展望

2854-4 A5判上製 240頁 4,400円 (4,000円)

どのような方法でわが国の経済的安定を取り戻すか？金融分析の精鋭たちが理論・実証両面から、中央銀行デジタル通貨、ESG投資、保険市場、法人税改革など多角的視点から現状を概観・展望する、切れ味鋭い論考集。

('23)〈338.21〉

小倉義明 著

地域金融の経済学

—人口減少下の地方活性化と銀行業の役割

2757-8 四六判上製 272頁 2,970円(2,700円)

多様化する金融サービスへの適合、金融機関同士の経営統合など、現在地方金融機関が直面する喫緊の課題への対応策を丁寧に分析し、地域社会とともにどう生き延びていくかを解説する。第62回エコノミスト賞受賞。

現代経済解説シリーズ

(‘21)〈338.6〉

嘉治佐保子・中妻照雄・福原正大 編

フィンテックの経済学

—先端金融技術の理論と実践

2613-7 A5判並製 292頁 2,970円(2,700円)

キャッシュレス化は進むのか？ 変革に付随した新しいビジネスはどう展開されるか？ 実務にとどまらず経済学的視点を踏まえて第一線の研究者・専門家が先端金融技術の現在と未来、リスクや問題を総合的に解説・展望する最良の入門書。

(‘19)〈338〉

駒村康平 編

エッセンシャル

金融ジェロントロジー 第2版

—高齢者の暮らし・健康・資産を考える

2923-7 A5判並製 320頁 3,520円(3,200円)

長生きは、病気や介護、認知症などによって心身の機能低下や不安の増大を伴う。将来起こり得る問題に備え、お金をどう活かすべきか——。高齢者を中心に置いた金融サービスのあり方を示す必読書、4年ぶりの大幅改訂。

(‘23)〈338.21〉

西村閑也・鈴木俊夫・赤川元章 編著

国際銀行とアジア 1870～1913

1890-3 A5判上製 1552頁 55,000円(50,000円)

19世紀末から20世紀初頭のアジアを舞台に繰り広げられた、国際銀行の活動の実態と経済発展のメカニズムを、類例なき緻密さで解明する。各国に眠る金融機関の1次資料などを発掘して描かれた、国際金融史研究の金字塔。

(‘14)〈338.63〉

齊藤壽彦 著

近代日本の金・外貨政策

1891-0 A5判上製 1648頁 44,000円(40,000円)

世界の「信認」獲得を目指した高橋是清ら国際金融家たちの活躍と苦闘を軸に据え、国際的な金本位制の成立・崩壊過程を描きつつ、日本の正貨政策の全貌と国際金融システムの本質を解き明かした日本金融史研究の金字塔。

【図】(‘15)〈337.3〉

辻幸民 著

実践ファイナンス論

2964-0 A5判並製 292頁 2,970円(2,700円)

実際のデータとプログラムを使いながら、ファイナンスの理論を現実に適用する際の意義と問題点を解説。公認会計士・税理士、証券アナリストやファイナンシャルプランナーを目指す人々の「分かりそうで、分からない」を氷解させる。

(‘24)〈338.01〉

内田浩史 著

現代日本の金融システム

—パフォーマンス評価と展望

2983-1 四六判上製 484頁 3,850円(3,500円)

バブルとその崩壊から不良債権問題、世界金融危機など、アップダウンを繰り返しつつ、30年にわたる長期停滞からの脱出を模索してきたわが国の金融システム。その何が機能し、何が足りなかったのかを明らかにする渾身の一書！

(‘24)〈338.21〉

■ 財政

宮崎雅人 著

自治体行動の政治経済学

—地方財政制度と政府間関係のダイナミズム

2571-0 A5判上製 192頁 3,300円 (3,000円)

地方税や地方交付税などの一般財源をめぐる中央政府の政策誘導と自治体の意思決定とのダイナミックな関係を明らかにし、自治体の自立的で地域性に富む多様な取組みを生むための地方財政制度のあり方に示唆を与える。

('18)〈349.21〉

■ 産業

片野歩・阪口功 著

日本の水産資源管理

—漁業衰退の真因と復活への道を探る

2580-2 四六判上製 304頁 2,750円 (2,500円)

日本は、漁獲量が60年前と同水準にまで後退した。わが国の水産業に必要なことは科学的根拠に基づく資源管理の推進と幅広い情報の開示だと考え、漁業法改正を契機に再び漁業が勢いを取り戻すための方策を提示する。

現代経済解説シリーズ

('19)〈663.6〉

ハロルド・L・ヴォーゲル 著／助川たかね 訳

エンタテインメント・ビジネス

—その産業構造と経済・金融・マーケティング

2064-7 A5判並製 728頁 8,800円 (8,000円)

米国のトップアナリスト、ハロルド・ヴォーゲルが、経済・マーケティング・財務・会計の視点からエンタテインメントビジネスの製作プロセスと産業構造を横断的・網羅的に分析した名著の待望の邦訳。

('13)〈670〉

太田和博・青木亮・後藤孝夫 編者

総合研究 日本のタクシー産業

—現状と変革に向けての分析

2439-3 A5判並製 384頁 4,400円 (4,000円)

市民の“足”として定着しているタクシーについて、その市場の現状を把握・分析し、低運賃設定やライドシェア、IT化の進展などの最新の情報もふまえてその全貌を解説する画期的な1冊。2018年度日本交通学会賞(著書の部)受賞。

('17)〈685.5〉

■ 労働

山田久 著

失業なき雇用流動化

—成長への新たな労働市場改革

2345-7 四六判上製 280頁 2,750円 (2,500円)

働き方を変えれば、日本が変わる！働く人々が職場や会社を安心して自由に移動できるよう、新たな雇用スタイルの導入や就労・再就職支援システムの構築などを提言。成長につながる「働き方改革」の具体策がここにある。

現代経済解説シリーズ

('16)〈366.21〉

玄田有史 編

人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか

2407-2 四六判版フランス装 336頁 2,200円(2,000円)

企業業績は回復し人手不足の状態なのに賃金が思ったほど上がらないのはなぜか？この問題に対して22名の気鋭の労働経済学者、エコノミストらが一堂に会し、多方面から議論する読み応え十分な経済学アンソロジー。

(17)<366.4>

神林龍 著

正規の世界・非正規の世界

—現代日本労働経済学の基本問題

2482-9 A5判上製 456頁 5,280円(4,800円)

現代の労働市場で最も顕著な問題を「正規の世界と非正規の世界の不釣り合いな関係」と捉え、1世紀にも及ぶ市場の変化を労働経済学・数量経済史・法と経済学など多彩なアプローチ・分析手法を用いて概観する。第58回エコノミスト賞・第41回労働関係図書優秀賞受賞。(17)<366.21>

樋口美雄・石井加代子・佐藤一磨 著

格差社会と労働市場

—貧困の固定化をどう回避するか

2507-9 A5判上製 244頁 3,960円(3,600円)

「一億総中流」時代が去り、日本でも格差が拡がっている。新たなパネルデータを使ってこの主因を解明し、不平等の拡大と固定化をストップさせるための方策を労働経済学の視点から分析する本格的な研究。

(18)<361.8>

阿部正浩・山本勲 編

多様化する日本人の働き方

—非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る

2494-2 A5判上製 280頁 4,620円(4,200円)

長時間労働は正や賃上げなど、正社員の働き方の再検討が進んでいる。だが、非正規雇用者、女性、高齢者が働く場を効率化することで、就業率をさらに高め、少子高齢化に十分対応可能な労働環境を整備できる。わが国の将来に向けて、その方策を考察・提言する。(18)<366.021>

樋口美雄／労働政策研究・研修機構 編

コロナ禍における個人と企業の変容

—働き方・生活・格差と支援策

2780-6 A5判上製 384頁 4,950円(4,500円)

百年に一度の災禍が世界を襲った2020年。この激変は誰の働き方を変え、生活や意識・所得格差にどんな変化をもたらしたのか？多角的な観点からわが国の雇用・労働環境を俯瞰分析した、経済学・社会学研究者による総合研究！

(21)<366.021>

樋口美雄／労働政策研究・研修機構 編

検証・コロナ期日本の働き方

—意識・行動変化と雇用政策の課題

2885-8 A5判上製 368頁 5,280円(4,800円)

コロナウイルス蔓延から3年。この間、何が変わり、何が変わらなかったのか。専門家がさまざまな角度から変化の軌跡と雇用・労働政策の課題を明示した、わが国コロナ期労働市場の総合的分析。

(23)<366.021>

玄田有史・萩原牧子 編

仕事から見た「2020年」

—結局、働き方は変わらなかったのか？

2806-3 四六判版フランス装 280頁 1,980円(1,800円)

コロナショックは人々の暮らしと働き方にどんな影響をもたらしたのか。リクルートワークス研究所が実施したパネル調査データを用いて「2020年に起こったこと」を仕事の観点から明らかにする貴重な「歴史証言」書。

(22)<366.21>

川上淳之 著

「副業」の研究

—多様性がもたらす影響と可能性

2733-2 四六判上製 324頁 2,970円(2,700円)

「サイドビジネス」的位置づけではなく、ワーキングプアの副業という課題、本業へのスキルアップ効果など、経済学的視点から多面的にアプローチした「新しい働き方」理解のための本格的な決定版！2021年度労働関係図書優秀賞受賞。

現代経済解説シリーズ

(21)<366.29>

デヴィッド・オーター、デヴィッド・A・ミンデル、
エリザベス・B・レイノルズ 著/月谷真紀 訳

The Work of the Future

—AI時代の「よい仕事」を創る

2913-8 四六判上製 248頁 2,860円(2,600円)

マサチューセッツ工科大学(MIT)の研究者チームによる「未来の仕事」プロジェクトが、テクノロジーと労働の行く末を精査する。AIなどの技術進歩の影響と労働者の環境の問題や改革、イノベーションのための政策を提案する。 (23)〈366〉

梅崎修 著

日本のキャリア形成と労使関係

—調査の労働経済学

2790-5 A5判上製 400頁 6,600円(6,000円)

日本型雇用システムの「現在地」を明らかにするべく、実地での聞き取り調査と質問紙調査を用いて、数字や統計からでは見えてこない真の実態を理論体系の上にエビデンスとして補強する。働き方の実像に迫る力作。

(21)〈366.21〉

樋口美雄・田中慶子・中山真緒 編

日本女性のライフコース

—平成・令和期の「変化」と「不変」

2921-3 四六判上製 280頁 2,420円(2,200円)

女性の働き方や生き方は、平成・令和期において、昭和の慣習からどれだけ変貌を遂げたのか？ また、いまだに変わっていないのは、どんな事柄なのか？ 長期追跡調査から、女性のライフコースの多様性を分析・解説する。

(23)〈367.21〉

■ 社会保障

西村周三 監修/国立社会保障・人口問題研究所 編

地域包括ケアシステム

—「住み慣れた地域で老いる」社会をめざして

2022-7 A5判上製 344頁 5,280円(4,800円)

人々が住み慣れた地域で、親しい人々に囲まれながら、充実した医療・ケアを享受できる社会を実現するための「地域包括ケアシステム」を提唱する。

国立社会保障・人口問題研究所研究叢書 (13)〈369.26〉

西村周三 監修/国立社会保障・人口問題研究所 編

社会保障費用統計の理論と分析

—事実に基づく政策論議のために

2126-2 A5判上製 330頁 4,950円(4,500円)

OECD/ILO両基準統計の定義・構成を実務担当者が解説した決定版。さらに、少子高齢化、財政、雇用、女性・家族問題など重要課題との関連を、長期時系列データや国際比較データを駆使して詳細に分析。

国立社会保障・人口問題研究所研究叢書 (14)〈364.021〉

田辺国昭・岡田徹太郎・泉田信行 監修/

国立社会保障・人口問題研究所 編

日本の居住保障

—定量分析と国際比較から考える

2744-8 A5判上製 316頁 4,400円(4,000円)

いま、この国で誰が住環境の危機にさらされているのか？ 日本社会の実態を明らかにしつつ、先進諸国の経験とアイデアに学び、住まいと暮らしを守るための選択肢を提示する。

国立社会保障・人口問題研究所研究叢書 (21)〈365.31〉

真屋尚生 編著

社会保護政策論

—グローバル健康福祉社会への政策提言

2109-5 A5判並製 392頁 5,060円(4,600円)

豊かな社会における新しい貧困など、従来の社会保障政策では対応しきれない問題が深刻化・複雑化している。すべての人々が社会的排除と戦い、社会的参加と包摂をめざす「社会保護」の実現に向けた、初の問題提起と政策提言。 (14)〈364〉

権丈善一 著

再分配政策の政治経済学Ⅰ

—日本の社会保障と医療 第2版

1167-6 A5判上製 410頁 3,740円 (3,400円)

公共政策のもつ「所得の再分配」という側面に着目し、民主主義社会における統治者と有権者の間の権力の作用や価値判断の問題を明示的に扱った政治経済学的分析を行う。社会保障の経済研究に新たな視点で切り込む。

(05)〈364.1〉

権丈善一 著

社会保障の政策転換

—再分配政策の政治経済学Ⅴ

1596-4 四六判並製 336頁 1,760円 (1,600円)

崩壊する医療介護に、不信高まる年金に、疲弊する地方に、そして手付かずの少子化に、この処方箋が効く！ますます混迷を深める日本社会に「積極的社会保障政策」という内需主導型の新たな経済成長論を展開する。

(09)〈364.1〉

権丈善一 著

医療介護の一体改革と財政

—再分配政策の政治経済学Ⅵ

2195-8 A5判上製 484頁 5,060円 (4,600円)

「医療介護の一体改革」の言葉を生んだ制度改革のキーパーソンが、一連の改革過程をたどりながら、社会保障の意義と役割、制度の仕組みと改革の概要、さらに医療と政治経済との関わりを平易に解説。真の改革へ道筋を示す。

(16)〈498.13〉

権丈善一 著

年金、民主主義、経済学

—再分配政策の政治経済学Ⅶ

2196-5 A5判上製 512頁 5,060円 (4,600円)

この10年に及ぶ社会保障制度論議の混迷の原因と民主主義が内包する問題とを明快に指摘。そして、公的年金保険の意義と役割、一連の改革の内容を詳しく解説しつつ、喫緊に取り組むべき課題を提示する。

(16)〈364.6〉

井伊雅子 著

地域医療の経済学

—医療の質・費用・ヘルスリテラシーの効果

2958-9 四六判上製 400頁 3,300円 (3,000円)

人々が安心して暮らしていくためにはどんな情報やサービスが必要かを、地域医療の視点から丁寧に解説。診療や医師の「質」の問題、統計・エビデンスの扱いの問題、医療情報の開示など、国際比較を交え斬新な切り口から検討する。第67回日経・経済図書文化賞受賞。(24)〈332.107〉

翁百合 著

国民視点の医療改革

—超高齢社会に向けた技術革新と制度

2441-6 四六判上製 256頁 2,750円 (2,500円)

医師・薬局など医療サービス提供者からの視点だけでなく、利用者=患者側の便益にも、より配慮した制度設計を、事例を紹介しながら検討。超高齢社会に向けて大転換を迫られる日本の医療を幅広いテーマから論じ、提言を行う。

現代経済解説シリーズ (17)〈498.13〉

西沢和彦 著

医療保険制度の再構築

—失われつつある「社会保険としての機能」を取り戻す

2707-3 四六判上製 288頁 2,970円 (2,700円)

国民の暮らしと健康を守る公的医療保険制度を、どのように次世代へとつないでいくか。データとエビデンスを精査・駆使してこれからの医療保険財政と医療提供体制のあり得べき姿を模索する意欲作。

現代経済解説シリーズ (20)〈364.4〉

田中秀明 著

「新しい国民皆保険」構想

—制度改革・人的投資による経済再生戦略

2916-9 四六判上製 336頁 2,970円 (2,700円)

日本の社会保障、教育と人材育成、税制の問題を、データに基づき徹底解明し、解決のための具体策を模索する。さらに、制度改定プロセスを国際比較により他の先進諸国から学ぶ、総合的な一書。

現代経済解説シリーズ (23)〈364〉

酒井正 著

日本のセーフティーネット格差
—労働市場の変容と社会保険

2649-6 四六判上製 352頁 2,970円 (2,700円)

「雇用が不安定な者ほどセーフティーネットも脆弱」とい現状にどう対応すべきか。今後の改革のための指針を、「エビデンス」をもとに模索する力作! 第63回日経・経済図書文化賞、第43回労働関係図書優秀賞、第42回サントリー学芸賞受賞。
現代経済解説シリーズ (‘20)〈364〉

■ 環境経済・資源

山口明日香 著

森林資源の環境経済史

—近代日本の産業化と木材

2242-9 A5判上製 296頁 4,950円 (4,500円)

日本の近代化における産業・情報インフラの整備に投入された木材資源に着目することで、日本の森林資源と産業化との関係性を明らかにし、持続可能な経済社会のあり方を歴史から問い直す。環境経済史の新たな地平を拓く野心的研究! (‘15)〈334〉

佐藤正弘 著

水資源の国際経済学

—気候・人口問題と水利用のネットワーク化

2214-6 A5判上製 336頁 5,500円 (5,000円)

21世紀、人類最大の難問は「水」である。本書はバーチャル・ウォーター貿易を介して干ばつへの対応や地下水・生態系の保全を図る、新たな水利用の理論を提示する。環境経済学の最先端研究!
総合研究 現代日本経済分析 第二期 (‘15)〈332.107〉

細田衛士・大沼あゆみ 編著

環境経済学の政策デザイン

—資源循環・低炭素・自然共生

2600-7 A5判上製 272頁 3,960円 (3,600円)

環境問題を解決するための最新かつ精緻な議論。廃棄物・地球温暖化・生物多様性の問題に関わる政策目標を理論・実証面から徹底的に分析する。
(‘19)〈519.1〉

和気洋子・早見均 編著

地球温暖化と東アジアの国際協調

—CDM事業化に向けた実証研究

1087-7 A5判上製 272頁 3,850円 (3,500円)

中国での植林活動による現場経験と緻密な経済・統計分析に基づき、クリーン開発メカニズム(CDM)事業化の実現可能性を検証。環境と経済とが調和する持続的發展を目指し、東アジア連携への方策を提言する。
慶應義塾大学産業研究所叢書 (‘04)〈519.04〉

佐藤一光 著

環境税の日独比較

—財政学から見た租税構造と導入過程

2380-8 A5判上製 234頁 5,280円 (4,800円)

日独の環境税の制度に着目し、その歴史的経緯や政治過程を丹念に繙くとともに、産業への影響を定量的に分析。「望ましい税制とは何か」をゴールに据え、これからの日本の財政を考える。
(‘16)〈345.1〉

■ 地域経済

後藤康浩 著

アジア都市の成長戦略

—「国の経済発展」の概念を変えるダイナミズム
2524-6 四六判上製 292頁 2,750円(2,500円)

アジア各国の首都のみならず、主要都市が軒並み拡張を続け、「国単位」のメルクマールに代わる「都市(地域)単位」の成長・発展モデルがアジアで育成されたことを解説する。2018年度岡倉天心記念賞受賞。
現代経済解説シリーズ (18)<318.9>

中川雅之・山崎福寿 編著

アジアの国際不動産投資

—市場・制度・透明性
2659-5 A5判上製 240頁 4,400円(4,000円)

成長セクターであるアジアの不動産市場について、投資に関する各国の制度やその市場の透明性を分析。さらに市場の透明性が経済成長に与える影響を考察し、日本経済、不動産市場への示唆を与える。
(20)<673.9>

慶應義塾大学地域研究センター 編

アジア・太平洋経済圏の新時代

0488-3 B6判並製 290頁 1,282円(1,165円)

アジアの経済発展を中に捉え、それをとりまく環太平洋経済圏の直面する課題を論じる。大来佐武郎、小島清、長峯晴夫、下村恭民、小林規威、石田英夫、広野良吉、鳥居泰彦各氏の講演を収録した。
地域研究講座 (91)<332.2>

木村福成・大久保敏弘・安藤光代・松浦寿幸・早川和伸 著

東アジア生産ネットワークと経済統合

2333-4 A5判上製 240頁 4,620円(4,200円)

世界金融危機、東日本大震災、タイ洪水、3つの危機をのりこえたレジリエントな東アジア生産ネットワーク。日本はこの優れた国際分業ネットワークをいかに活用していくべきなのか。
慶應義塾大学東アジア研究所叢書 (16)<509.22>

津谷典子・菅桂太・四方理人・吉田千鶴 編著

人口変動と家族の実証分析

2673-1 A5判上製 384頁 4,620円(4,200円)

少子・高齢化時代の日本とアジアの人口変動と、結婚・出産・働き方の実相を、詳細なデータと緻密な分析で明らかにする。人口学と経済学の最前線で研究する研究者たちによる論集。
(20)<334.3>

柯隆 著

中国「強国復権」の条件

—「一帯一路」の大望とリスク
2509-3 四六判並製 408頁 2,200円(2,000円)

新しいシルクロード・ネットワークの構築や国際金融機関の中核を担うなど、覇権回復への旺盛な意欲を世界に発信している中国。しかし、その足元は十分に安定的なのか？
気鋭の中国人エコノミストが自国の状況を余すところなく解き明かす！ 第13回樫山純三賞受賞。(18)<302.22>

柯隆 著

「ネオ・チャイナリスク」研究

—ヘゲモニーなき世界の支配構造
2747-9 四六判上製 352頁 2,640円(2,400円)

中国とビジネスを行う企業にとってだけでなく国際社会にとって、「チャイナリスク」の定義がいま大きく変わりつつある。新旧体制が複雑に混在しつつも覇権奪取へと邁進する強国の実態を、中国人エコノミストが切れ味よく解説する本格的現代中国論。
(21)<302.22>

唐木圀和 著

中国経済近代化と体制改革

1358-8 A5 判上製 330 頁 3,080 円 (2,800 円)

改革・開放の歴史的展開を追いながら、その権力闘争、イデオロギー論争、産業・貿易・商業政策にまで幅広く目を配り、中国型「社会主義市場経済」の将来を冷徹な視点で読み解いた珠玉の論考集。

慶應義塾大学商学会商学研究叢書20 (07)(332.22)

渡辺幸男 著

現代中国産業発展の研究

—製造業実態調査から得た発展論理

2317-4 A5 判上製 352 頁 4,950 円 (4,500 円)

著しい経済発展を遂げた現代の中国と、高度成長期の日本には、ある種の共通性を見いだすことができる。日中両国で膨大な調査を行った著者が、その比較の視点から、中国産業発展の論理を追究する。

(16)(509.222)

植田浩史・三嶋恒平 編著

中国の日系企業

—蘇州と国際産業集積

2701-1 A5 判上製 448 頁 8,250 円 (7,500 円)

中国蘇州市に進出する日系企業を対象に、それらの現地法人がどのような経営戦略をもって事業を展開し、地域の企業や他の外資系企業と競争し生き残っているのか。詳細なフィールドワークと分析を通じて明らかにする。

慶應義塾大学東アジア研究所叢書 (21)(509.222)

孟若燕 著

中国経済の生産性分析 1992-2010

2878-0 A5 判上製 336 頁 3,300 円 (3,000 円)

何が中国に高成長をもたらしたのか。本書は、精緻な実証分析により労働・資本・生産性それぞれの経済成長への貢献を測定。不透明さを増す中国経済の今後を見通すべく、その基底と構造を解明する一冊。

慶應義塾大学商学会商学研究叢書24 (23)(332.22)

黄璋 著

中国の高齢者福祉政策

—人口減少社会に向けての制度設計

2894-0 A5 判上製 432 頁 6,930 円 (6,300 円)

急速に少子高齢化が進む中国。年金・医療・介護などの社会保障制度や高齢者支援政策の実態と課題とは何か。豊富な行政資料と住民・関係者へのアンケート調査の分析から明らかにし、持続可能な今後の方向性を模索する注目の一冊。

(23)(369.26)

片山ゆき 著

十四億人の安寧

—デジタル国家中国の社会保障戦略

2984-8 四六判上製 336 頁 3,300 円 (3,000 円)

14 億の民、2.8 億の高齢者を抱える巨大国家は現在、経済・人口・財政面で三重苦に直面している。最新デジタル技術を擁する民間企業を巧みに巻き込みながら、大変貌を遂げつつある中国社会保障の知られざる側面を解説する意欲作！

(24)(364.022)

倉沢愛子 編著

消費するインドネシア

2015-9 A5 判上製 320 頁 3,960 円 (3,600 円)

世界 4 位の人口をかかえ、著しい経済成長を遂げるインドネシア。近代的なショッピングモールと路地裏の露天商が共存する空間で、伝統と現代をともにライフスタイルに取り込む中間層の遅しさを徹底的な現地調査により明らかにする。

(13)(365.022)

アン・ダナム 著／加納啓良 監訳／前山つよし 訳

インドネシアの農村工業

—ある鍛冶村落の記録

2259-7 A5 判上製 504 頁 9,460 円 (8,600 円)

インドネシア・中部ジャワの一農村における鍛冶業は、なぜ生き延びてきたのか。経済統計と民族史データからその構造を精緻に分析し、1970 年代以降徐々に「貧困」を脱していく村の姿を丹念に描く。

(15)(332.107)

佐野陽子 著

ドバイのまちづくり

—地域開発の知恵と発想

1689-3 四六判並製 288 頁 2,860 円(2,600 円)

産業インフラ整備、国際ハブ戦略、外国人雇用政策など、砂漠に囲まれた小さな港町から国際都市へと変貌したドバイの成長要因を解き明かす。まちおこしの発想を転換させ、「地方の時代の成長戦略」を描くための「地域開発読本」。(09)(332.27)

ピーター・テミン 著／栗林寛幸 訳／猪木武徳 解説

なぜ中間層は没落したのか

—アメリカ二重経済のジレンマ

2674-8 四六判上製 352 頁 2,970 円(2,700 円)

深刻な対立が続くアメリカの「分断」はなぜ起こったのか。富裕部門と貧困部門の二極化を固定化する政策、教育制度、人種・ジェンダー差別の存在。発展途上国を想定したアーサー・ルイスの「二重経済」モデルによってアメリカの「現実」を明快に分析する。(20)(332.53)

赤川元章 著

ドイツ金融資本と世界市場

0583-5 A5 判上製 508 頁 5,874 円(5,340 円)

1914 年以前のドイツ資本主義の対外発展プロセスを金融資本運動の世界的展開の観点から、とくにドイツ大銀行の起業家的性格に注目しつつ、実証主義的立場に立脚して分析・解明したものである。慶應義塾大学商学会商学研究叢書18 (94)(332.34)

■ 統計学

広田すみれ 著

読む統計学 使う統計学 第2版

2036-4 A5 判並製 260 頁 2,640 円(2,400 円)

社会の事象を説明する学問として統計学を説明する、ユニークで親切的な教科書の好評に応える改訂版。解説を充実させ、統計ソフト「R」を使った演習を導入、事例データもコラムも刷新。初学者が「読んでわかり、必ず使える」1冊。(13)(417)

秋山裕 著

統計学基礎講義 第3版

2807-0 B5 判並製 426 頁 3,960 円(3,600 円)

回帰分析が最短距離で使えるようになると好評の統計学の中級教科書を改訂！ 演習問題の豊富さ、解説の丁寧さ、Excel 操作手順の詳細な記述等はそのままに、初学者向けに数式の解説を随所に追加した第3版。(22)(417)

イアン・ハッキング 著／
広田すみれ・森元良太 訳

確率の出現

2103-3 A5 判上製 404 頁 4,180 円(3,800 円)

イアン・ハッキングの出世作、待望の邦訳！ フーコーの考古学の手法を用い、確率の「出現」を1660年前後の10年間に起こった歴史的必然として、医学などの関わり深いその前史から鮮やかに描き出す。確率の本質に迫る好著。【図】(13)(417.1)

経営・ビジネス

■ 経営・ビジネス一般

慶應義塾大学ビジネス・スクール 著

経営人材を育てる！

—CEO 人材欠乏症の日本を変える

2096-8 四六判並製 264頁 1,980円(1,800円)

リーダーシップ、グローバル人材、起業家精神、日本企業の国際化など、いま話題の 이슈について第一線の研究者が最新の議論を展開し、これからの時代にあるべき経営と人材像を提示する。

(13)(335.04)

慶應義塾大学ビジネス・スクール 責任編集

検証 ビジネススクール

—日本でMBAを目指す全ての人に

1617-6 A4判変型並製 192頁 2,200円(2,000円)

日本にあるビジネススクールを紹介するムック。KBS 卒業生 600人・企業 150社の人事担当者へのアンケートをベースに、MBA(経営学修士)の社会的評価を検証する。さらに、広く MBA 教育の全貌を紹介する。

(09)(335.1)

中島隆信 著

「笑い」の解剖

—経済学者が解く 50の疑問

2614-4 四六判薄紙上製 212頁 1,980円(1,800円)

人はなぜ笑うのか—。考えてみると、実はよくわからない「笑い」という現象について、経済学者が独自の発想を披瀝。笑いとはどのようなプロセスから生まれるのか、そのメカニズムを「笑いの四段階説」というオリジナルな手法を用いて解明を試みる。

(19)(141.6)

リチャード・N・ラングロウ 著／谷口和弘 訳

消えゆく手

—株式会社と資本主義のダイナミクス

1875-0 A5判上製 208頁 3,080円(2,800円)

広く経済人に贈る、ラングロウ理論の入門書。シュンペーター、チャンドラーなどの業績をたどりつつ、企業家、株式会社、資本主義市場の関係を明らかにし、企業の境界論・ケイバビリティ論のエッセンスを伝える名著。

(11)(335.4)

金子郁容・國領二郎・巖網林 編

社会イノベーターへの招待

—「変化をつくる」人になる

1768-5 A5判並製 280頁 3,300円(3,000円)

NPOや社会起業、まちづくりなど、実際の活動事例から「変化をつくる」ための方法を紹介する。社会起業家を志望する人はもちろん、「変化をつくりたい」すべての人におすすめの入門書。

(10)(335.8)

石田英夫 編著／星野裕志・竹内伸一・

国保祥子・八木陽一郎 著

地域と社会を変えた起業家たち

2113-2 A5判並製 324頁 3,740円(3,400円)

事業の創出を通して地域を活性化し、社会問題を解決していく起業家たち。彼らはいかなる問題に直面し、どのような決断をしたのか？ インタビューや企業・地域調査をもとに、選りすぐりの事例を長短 20編のケースで紹介。

ケース・ブックV (14)(335.2)

飯塚倫子 編著

〈善い〉ビジネスが成長を生む —破壊と包摂のイノベーション

2776-7 四六判上製 458頁 2,420円(2,200円)

グローバルな社会課題の解決に挑むビジネスリーダーたちへのインタビューなどを基に、新事業の創出によって取り残された人々を包摂する「DII思考」を抽出、〈善い〉ビジネスのためのイノベーション・エコシステムの形成要因を導き出す。 (‘21)〈336.17〉

山中直明 編著／中村武宏・崔真淑 著 ビヨンド 5G が描く未来

—2030年の技術・暮らし・ビジネス
2778-3 四六判並製 212頁 1,980円(1,800円)

自動車の自動運転から工場などのローカル 5G、ヘルスケア、さらに次世代型サッカー観戦まで、ビジネスヒントとそれを支える最先端の技術・システムを豊富な事例・図版とともに紹介。DXをビジネスに実装する1ランク上の解説書！ (‘22)〈007.3〉

樋口美雄・駒村康平・齋藤潤 編著 超高齢・人口減少社会のイノベーション —超成熟社会発展の経済学Ⅲ

2312-9 四六判並製 284頁 2,200円(2,000円)

「超成熟社会」の持続的な発展のためには、制度と技術の両面にわたるイノベーションが不可欠である。高齢化・人口減少の問題に立ち向かう最先端の技術を紹介、技術と経済社会との連携の視点を提供する。 (‘16)〈367.7〉

谷口和弘・河原茂晴・高部大問 編著 サステナビリティ時代の会社 —21世紀のコーポレート・エコノミー

2952-7 四六判並製 288頁 2,640円(2,400円)

脱炭素化社会へのシフトが進むなか、企業にとってSDGs、ESGの問題は真剣に取り組むべき課題になった。本書では、企業のサステナビリティに関する議論を、国・地域・企業・個人のレベルに分け、実践事例も交えながら、その具体的な道筋を論じる。 (‘24)〈336〉

池田眞朗 著

ビジネス法務学の誕生

3000-4 A5判上製 240頁 3,080円(2,800円)

新しい学問分野「ビジネス法務『学』」とは何か？ 昨今の著しい社会の変化やきの激しいビジネスは、旧来の法律学では対処できなくなった。持続可能性、また「ルール創り」の観点から、新たな学問を提唱し、その内容を明らかにした基本書。 (‘24)〈324〉

■ 経営戦略

渡辺林治 編著／篠原欣貴・薩佐恭平 著

小売業の実践 SDGs 経営

2831-5 四六判並製 352頁 2,200円(2,000円)

独自に収集した企業データを基に、小売業の現状と課題を分析。また、先駆的なスーパー・百貨店5社の実践例を紹介し、経営理念から戦略立案、そして店舗・商品・接客など競争力の向上に至るSDGsの推進プロセスを提案する。 (‘22)〈673.7〉

ウィリアム・ダガン 著／星野裕志 訳 ナポレオンの直観

—「戦略」の秘密を解き明かす10の物語
2229-0 四六判並製 386頁 2,970円(2,700円)

ナポレオン、ムハマド・ユヌス、福澤諭吉——歴史上の偉人たちはいかにして正しい選択を導き出したのか？ 歴史を動かした「戦略」が生まれた過程を追い、10人の優れた実践家たちがひらめかせた「戦略的直観」の秘密に迫る。 (‘15)〈391.3〉

高木晴夫 監修／竹内伸一 著

ケースメソッド教授法入門

—理論・技法・演習・ココロ

1787-6 A5判並製356頁 3,080円 (2,800円)

慶應ビジネス・スクールでのケースメソッド授業を模擬体験できる。「学びの共同体」構築をめざす大学・高校教員や企業内研修担当者はもちろん MBA を志す人も、必読。授業ライブ DVD2 枚付。

('10)<377.15>

北岡元 著

ネクスト・インテリジェンス

—高度情報化時代の「利益を実現する知識」

2953-4 四六判並製192頁 2,420円(2,200円)

急速なデジタル化により情報の洪水におぼれそうな現代、「判断・行動のための知識」をいかに手に入れるか？ 安全保障・ビジネスにわたる代表的な理論と多様な事例を紹介し、新たなインテリジェンス創造モデルを提示する。

('24)<336.17>

■ 経営組織・マネジメントリン・シャープ・ペイン 著／
梅津光弘・柴柳英二 訳**ハーバードのケースで学ぶ 企業倫理**

—組織の誠実さを求めて

0780-8 B5判並製344頁 6,380円 (5,800円)

企業倫理を確立する、新しい時代の経営戦略とは？ 経営の問題と倫理の問題の深い結びつきを示すハーバード・ビジネス・スクールのケースを素材に、〈組織の誠実さ〉の重要性について貴重な示唆を与える。

('99)<335.15>

佐藤剛 著

組織自律力

—マネジメント像の転換

1307-6 四六判上製244頁 3,080円(2,800円)

組織は管理できるのか？ 全体を把握し、的確に命令を下すマネジャー。そんな幻想を捨てたとき、自律した個々人が一つの目標に向かって協働する躍動的な組織の姿が見えてくる。新たなマネジャー像とその役割を提示。

('06)<336.3>

蘭千壽・河野哲也 編著

組織不正の心理学

1388-5 A5判並製210頁 2,420円 (2,200円)

頻発する組織不祥事を防ぐ処方箋！ 倫理性が高く、活力ある組織づくりのための倫理教育プログラムを、心理学を使った新しい企業倫理学が提示する注目の一冊。組織の倫理教育、倫理基準作り役に役立つテキスト。

('07)<335.15>

金子隆 著

日本型 IPO の不思議

—価格形成の歪みを解き明かす

2816-2 四六判並製256頁 2,640円(2,400円)

なぜ日本の IPO はリターンが異常に高いのか？ 日本型総合証券モデル下のブックビルディング方式で公開価格が極端に低く設定される原因を解明し、その解決策を提示。経済成長に向け、新興企業も投資家も健全に育つ証券市場へ！

('22)<335.44>

ルス・マルティネリ他 著／
当麻哲哉 監訳／長嶺七海 訳**グローバルプロジェクトチームのまとめ方**

—リーダーシップの新たな挑戦

2245-0 A5判並製224頁 3,960円 (3,600円)

なぜ国内の優秀なプロマネたちはグローバルで失敗するのか。そこに潜むワナとグローバルチーム成功の秘訣を、インテル社のプロマネらが事例を交えて解き明かす。グローバルビジネス勝利の方程式。

('15)<336>

今井芳昭 著

チームとリーダーシップの心理学

2932-9 新書判並製 112 頁 770 円 (700 円)

よりよいパフォーマンスをあげるためのチームワーク、リーダーシップのありかたとは何か? メンバーとリーダーの役割や相互作用、コミュニケーションについて、社会心理学にもとづいて考える一冊。

慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita* ('23)(361.4)

木戸一夫 著

補完性の理論

2722-6 A5 判上製 166 頁 2,200 円 (2,000 円)

高揚感として知覚されるスーパーモジュラーゲームの性質や、規模の経済・範囲の経済といった経済性やネットワーク外部性由来の経済効果、様々なタイプの利益をもたらす特性について補完性の概念を軸に分類・整理する。

慶應義塾大学商学会商学研究叢書23 ('21)(335.1)

■ 生産管理

坂爪裕 著

改善活動のマネジメント

—問題発見・解決能力を組織に蓄積する

2246-7 A5 判上製 240 頁 2,970 円 (2,700 円)

〈改善〉を組織の〈文化〉にする! 企業事例から改善活動の失敗原因を解明。改善サイクルを日常業務に埋め込み成長へとつなげるノウハウを伝授。日常的・継続的に問題発見・問題解決し続ける組織作りの方法を提案する。

('15)(509.6)

■ 保険

堀田一吉 著

保険学講義

2724-0 A5 判並製 256 頁 2,420 円 (2,200 円)

身近でありながら、よく理解されていない「保険」を体系的に学ぶための新スタンダードテキスト。保険の歴史と理論、市場・金融・行政との関わり、そしてIT・グローバル化の影響まで、保険の役割と最新潮流を分かりやすく解説。

('21)(339)

庭田範秋 著

保険理論の展開

1510-0 A5 判上製 332 頁 3,300 円 (3,000 円)

慶應義塾保険学会による特別企画として、庭田範秋慶應義塾大学名誉教授の代表作(初版1966年、有斐閣)を復刻刊行。高度成長下の1960年代、保険の金融的機能に着目し、その後の保険研究に多大な影響を与えた庭田学説の記念碑的著作。

('10)(339.1)

田畑康人・岡村国和 編著

人口減少時代の保険業

1824-8 A5 判上製 336 頁 3,300 円 (3,000 円)

人口減少が保険事業に与える影響に着目しながら、保険商品・サービス開発、ビジネスモデル、経営戦略、海外進出、さらに保険行政における最新の動向を紹介し、戦略・政策提言を行う。研究者・実務家による共働研究。

慶應義塾保険学会叢書4 ('11)(339.21)

堀田一吉・山野嘉朗 編著

高齢者の交通事故と補償問題

2198-9 A5 判上製 248 頁 3,300 円 (3,000 円)

高齢者をめぐる交通事故の現状と特徴を分析、海外の事例を紹介しつつ、その補償方法を考察する。高齢者を排除しない交通社会の構築に向け、保険の役割を問い直す。生損保実務家に必読の書。

慶應義塾保険学会叢書5

【図】('15)<681.3>

堀田一吉・山野嘉朗・加瀬幸喜 編著

デジタル化時代の自動車保険

2804-9 A5 判上製 336 頁 3,300 円 (3,000 円)

テレマティクス、自動運転車など〈人とモノのモビリティ〉を取り巻く変化は、現代の社会課題を解決する一方、新たな問題を引き起こす。各分野の専門家が集結し、自動車と社会そして保険の未来を俯瞰する。

慶應義塾保険学会叢書6

('22)<339.9>

柳瀬典由 編著

企業のリスクマネジメントと保険

—日本企業を取り巻く環境変化とERM・保険戦略

2948-0 A5 判上製 240 頁 3,520 円 (3,200 円)

リスクマネジャー、損害保険会社、保険ブローカーなどの多彩な視点から日本企業のリスクマネジメントの実態と課題を整理し、キャプティブやパラメトリック保険などの最新事例を紹介。ERM とその一環としての保険戦略を提言する。

慶應義塾保険学会叢書7

('24)<339>

■ マーケティング

梅沢昌太郎 編著

現代商業学

1788-3 A5 判並製 248 頁 2,750 円 (2,500 円)

NPO、共同組合、ソーシャル・マーケティングなど広範な視点と最新の研究をもとに商業学のフロンティアへ切り込み、現代社会における商業の役割をより広く深く、積極的にとらえる新型テキスト。

('10)<670.1>

堀越比呂志 著

アメリカ・マーケティング研究史 15 講

—対象と方法の変遷

2844-5 A5 判並製 272 頁 2,640 円 (2,400 円)

マーケティングが、技術革新や消費者行動など現実社会の変化を受けてその対象を拡大し、生産から販売まで企業の意思決定全体をカバーする重要な活動へと成長していく過程を読み解く、マーケティング研究史の決定版テキスト！

('22)<675.025>

羽生正宗 著

医療ツーリズム

—アジア諸国の状況と日本への導入可能性

1904-7 A5 判上製 240 頁 3,520 円 (3,200 円)

マレーシア、シンガポール、インド、タイ、韓国の医療状況を調査するとともに、大きな市場として期待される中国の富裕層にも調査し、日本における医療ツーリズムの導入可能性を探る。

('11)<498.04>

■ 人事

山内麻理 著

雇用システムの多様化と国際的収斂 —グローバル化への変容プロセス

2023-4 A5判上製 240頁 5,280円 (4,800円)

「日本型」雇用システムを長期的な動態過程のなかで捉え直し、グローバル化によって変貌する「日本的経営」の未来像を映し出す。第36回労働関係図書優秀賞受賞。

慶應義塾大学産業研究所叢書

(13)<335>

一守靖 著

日本的雇用慣行は変化しているのか —本社人事部の役割

2321-1 A5判上製 232頁 5,060円 (4,600円)

日系・米系双方の企業への独自調査によって、本社人事部門とラインとの協働作業である人的資源管理 (HRM) の実態と変容を描き出し、さらなる雇用環境の変化に伴う HRM 諸制度のあり方を展望する。

慶應義塾大学産業研究所叢書

(16)<335>

八代充史・井原久光・牛島利明・梅崎修・島西智輝・南雲智映・山下充編

日産・ルノー アライアンス オーラルヒストリー

—グローバル提携時代の雇用・労使関係
2721-9 四六判上製 320頁 3,960円 (3,600円)

バブル崩壊後、国際資本提携時代への画期となった日産自動車とルノーとのアライアンスとその後の改革の経緯を、労使各部門の責任者への聞き取りにより、多面的・客観的に描き出した貴重な記録。

慶應義塾大学産業研究所選書

(21)<537.067>

中村天江 著

採用のストラテジー

2672-4 A5判上製 324頁 4,950円 (4,500円)

「新卒採用」への過度な偏重から脱却し、働き方改革やタレントマネジメントなど新たなパラダイムを取り込んだ画期的な採用論。日本の雇用の特殊性を考慮した「採用のホイールモデル」を構築し、採用の戦略を多面的に分析した包括的研究。

(20)<336.42>

山内祐平 編著

活躍する若手社員をどう育てるか —研究データからみる職場学習の未来

2792-9 A5判並製 192頁 2,640円 (2,400円)

活躍する若手社員 = 「仕事から学び、成長し続ける」若手を育てるにはどうすればいいのか? マイナビと山内研究室 (東京大学) の共同研究から知見と提言を発信。企業の人事担当者、若手社員を指導する管理職必読の1冊。

(22)<336.47>

尹秀鍾 著

中国現地法人の労務管理 Q&A

2521-5 A5判並製 304頁 3,300円 (3,000円)

中国で「本当に困った」労務問題 77 の事例を、簡潔で分かりやすい Q&A 形式で解説。日系企業が実際によく直面する中国労務管理の相談事例を集約し、また中国各地域で異なる実務運用もフォロー。

(18)<336.4>

星田淳也 著

働くなればこれだけは 知っとけ! 労働法

2927-5 四六判並製 280頁 1,980円 (1,800円)

労働の場面で起きるたいていの問題に対処可能になる! 就職活動中の方、一般の会社員の方、そして経営者の方も含めて、最低限知っておくべき労働法の内容を実用的にわかりやすく解説!

(23)<366.14>

■ 仕事術・自己啓発

高田朝子 著

人脈のできる人

一人は誰のために「一肌ぬぐ」のか？

1762-3 四六判並製 224 頁 1,980 円 (1,800 円)

人脈とは何か。外資系証券会社勤務を経て、現在ビジネススクールで教鞭をとる著者が「人脈」の構造を明らかにする。“デキる”ビジネスパーソンへの丁寧なインタビューをもとに、人脈作りのプロセスを紐解く。

('10)<336.49>

井庭崇・井庭研究室 著

プレゼンテーション・パターン

—創造を誘発する表現のヒント

1989-4 四六判並製 168 頁 1,540 円 (1,400 円)

魅了するプレゼンは当たり前。聴いた人まで触発されて、アイデアを次々と出してしまおうような創造的なプレゼンのヒントを 34 パターンで解説。グッドデザイン賞受賞。

パターン・ランゲージ・ブックス ('13)<336.17>

山内祐平・森玲奈・安斎勇樹 著

ワークショップデザイン論 第2版

—創ることで学ぶ

2720-2 A5判変型並製 264 頁 1,980 円 (1,800 円)

ワークショップの「企画—運営—評価」のサイクルを、理論をもとにわかりやすく解説する構成はそのままに、第2版では、適切な課題設定の仕方や、ファシリテーションについての最新の知見も盛り込み、さらに利便性を向上。

('21)<379.6>

谷口忠大・石川竜一郎 編著

コミュニケーション場の

メカニズムデザイン

2773-8 A5判並製 288 頁 2,970 円 (2,700 円)

誰もが経験する、コミュニケーションの失敗に対し、「場」のメカニズムに注目し、実践と理論の両方から検討。ビブリオバトル、ディベート、演劇ワークショップ等についての分析と、メカニズムデザイン、自然言語処理の論理的知見を加える。

('21)<361.45>

井下千以子 著

思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版

2577-2 A5判並製 176 頁 1,320 円 (1,200 円)

累計3万部の好評レポート・論文入門書の第3版。文献の調べ方・読み方から、フォーマットを使った書き方までを懇切丁寧に解説。また、「引用」時の注意点の追記や重要単語の索引を付し、利便性を向上。

('19)<816.5>

ウィリアム・ジンサー 著／染田屋茂 訳

誰よりも、うまく書く

—心をつかむプロの文章術

2774-5 四六判並製 384 頁 2,970 円 (2,700 円)

アメリカで30年以上読み継がれ、類型150万部の売上をほこる不朽の名著、待望の邦訳!「よい文章とは何か?」「どうやったら上手く書けるのか?」といった普遍的なテーマを軸にユーモアを織り交ぜながら「自分らしさ」を追及していく。

('21)<816.5>

狩野光伸 著

論理的な考え方伝え方

—根拠に基づく正しい議論のために

2267-2 A5判並製 176 頁 1,980 円 (1,800 円)

グローバルに通じる考え方とは? 科学や学問の考え方とは? 反知性主義ってどうしたら回避できる? 意見の違いを受け止めて、新しい考えを広めるときに、感情や抑制でなく、理解と納得で進める「議論 argument」の方法を解説。

('15)<809.6>

ジョエル・ベスト 著／飯嶋貴子 訳

Think critically

クリティカル・シンキングで真実を見極める

2786-8 四六判並製 208 頁 2,200 円 (2,000 円)

「クリティカル・シンキングは重要である」とはよく言われますが、実際どういうことなのでしょう。社会学者であるベストが、議論のあり方、問題設定、データの見方、分析の切り口など、基本を一から丁寧に説明します。
(‘21)〈141.5〉

■ 会計・財務

友岡賛 編

会計学

1427-1 A5 判並製 258 頁 2,750 円 (2,500 円)

会計は誰のためのものなのか、何のためにあるのか、などといった本質的な問題に始まり、会計の諸原則、財務諸表の基本的な仕組み、財務諸表の分析方法、会計制度などを簡潔かつ明瞭に解説した新スタンダード・テキスト。本文 2 色刷。
(‘07)〈336.9〉

友岡賛 著

会計学の基本問題

2344-0 A5 判上製 320 頁 4,730 円 (4,300 円)

会計とは何か？ 利益の意義や簿記と会計の関係を問い直し、会計および会計学の歴史過程を辿りながら、これからの会計研究の在り方を示唆する。会計本質論のエッセンスが凝縮された論文集。
(‘16)〈336.9〉

友岡賛 著

会計と会計学のレーゾン・デートル

2491-1 A5 判上製 304 頁 3,300 円 (3,000 円)

会計が守るべき構造とは何か？ 果たすべき機能とは何か？ 時価評価の導入をはじめ今日まで続く会計制度改革の流れを鳥瞰し、その意味と意義、今後の行方を著者独自の歴史的・理論的視点から論じる。
慶應義塾大学商学会 商学研究叢書 22
(‘18)〈336.9〉

友岡賛 著

日本会計史

2546-8 四六判上製 232 頁 2,640 円 (2,400 円)

奈良時代の納税管理から江戸期・豪商たちが編み出した日本固有の帳合法を経て、明治期・複式簿記の受容、そして会計原則と監査制度をめぐる昭和期の挑戦と挫折…。会計制度・会計学の発展過程をたどった、初めての日本会計通史！
(‘18)〈336.9〉

友岡賛 著

会計学を索ねて

—基礎概念と存在理由

2849-0 四六判上製 240 頁 2,750 円 (2,500 円)

会計や会計学は何のためにあるのか、誰のためにあるのか？ 発生主義と実現主義、取得原価主義と時価主義など会計実務・理論上の重要な基礎概念を取り上げ、その意義と今日的な論争点について、深く、しかし平易に問い直す。
(‘22)〈336.9〉

R・H・バーカー 著／
友岡賛・小林麻衣子 訳

会計士の歴史

1269-7 四六判並製 124 頁 1,650 円 (1,500 円)

会計士はどこからきたのか？ 19 世紀から 20 世紀初頭のイギリス・北米を舞台に、近代会計士の起源と発展の過程を明らかにし、その本質を問いかける。世界の研究者に影響を与えた名著ながら、平易簡潔で読みやすい。会計士を目指す方々にお勧めの一冊。
(‘06)〈336.97〉

黒川行治 著

会計と社会

—公共会計学論考

2468-3 A5 判上製 760 頁 5,170 円 (4,700 円)

公共哲学、社会政策論などの知見を踏まえ、「社会と会計」「市場と会計」「個人・組織と会計」「環境と会計」「公共・政府と会計」という五つの視点から、会計が果たすべき役割を問い直した公共会計学の記念碑的著作。

慶應義塾大学商学会商学研究叢書21 (17)〈336.9〉

山口操 著

原価会計情報システム論

0436-4 A5 判上製 340 頁 4,070 円 (3,700 円)

原価計算を、企業、経営管理、会計等その背景領域との有機的関連の下に考察し、その総合的、徹底的解明に挑んだ労作。計算的、組織的、社会的、三位一体の接近思考を基底に据えて本質に迫る。

慶應義塾大学商学会商学研究叢書16 (89)〈336.85〉

守永誠治 著

非営利組織体会計の研究

—民法 34 条法人・社会福祉法人・宗教法人を中心として

0428-9 A5 判上製 250 頁 2,750 円 (2,500 円)

公益法人会計基準の再検討を行い、社会福祉法人経理準則の特徴を分析し、受託会計を求める宗教法人会計等との整合性の可能なことを理論的・技術的にモデル例をあげて論じている。

慶應義塾大学商学会商学研究叢書15 (89)〈336.9〉

笠井昭次 著

会計的統合の系譜

—会計構造論の類型論的体系化

0437-1 A5 判上製 730 頁 7,700 円 (7,000 円)

従来と全く異なる視軸から会計構造論の分類枠組と分析視点とを構想し、これまでに提唱されてきたいわゆる勘定理論を再構成した。その上で会計の技術的特質としての二面性の諸相を探究したものである。

慶應義塾大学商学会商学研究叢書17 (89)〈336.9〉

友岡賛・木村太一 著

入門講義 簿記論

2947-3 A5 判並製 170 頁 2,640 円 (2,400 円)

それって仕訳はどうなるの? 「これを述べなければ複式簿記の構造を説明しえない」という内容に絞り込み、丁寧に仕訳をたどりながら解説。簿記・会計の初学者に最適の入門テキスト。

(24)〈336〉

■ 起業エリック・ポール、ジョセフ・リビューマ 著／
國領二郎 監訳／宮地恵美・樺澤哲 編訳**アントレプレナーの経営学 1**

—戦略・起業・イノベーション

2291-7 A5 判並製 296 頁 3,960 円 (3,600 円)

ビジネス実践と理論研究を橋渡しする「アントレプレナー」必携テキスト! 起業はもちろん、企業内での新規事業創造に対しても豊かな知見を提供してくれる「実務に役立つ経営学」の決定版。すべてのビジネスリーダーに贈る!

(16)〈335.1〉

エリック・ポール、ジョセフ・リビューマ 著／
國領二郎 監訳／宮地恵美・樺澤哲 編訳**アントレプレナーの経営学 2**

—リーダーシップ・組織・新トピックス

2292-4 A5 判並製 226 頁 3,520 円 (3,200 円)

古典から最新研究まで幅広く渉猟し、名著・重要文献の要点を簡潔に整理した「実務に役立つ経営学」の決定版。第2巻は「人と組織の動かし方」と「変革者」に焦点を当てた「ビジネスリーダー」必読の1冊。

(16)〈335.1〉

エリック・ボール、ジョセフ・リピューマ 著／
國領二郎 監訳／宮地恵美・樺澤哲 編訳

アントレプレナーの経営学 3

—国際ビジネス・ファイナンス

2293-1 A5判並製 208頁 3,520円 (3,200円)

MBAの必読文献・重要理論が並ぶ「1ランク上」の経営学テキスト。第3巻は「ボーン・グローバル」企業をはじめ事業の国際展開と、行動科学も反映した金融論を中心として、経済・経営理論を「使える知識」として紹介する。
(16)〈335.1〉

社会科学総記

神保謙・廣瀬陽子 編

流動する世界秩序と グローバルガバナンス

2868-1 A5判上製 256頁 2,750円 (2,500円)

現代世界の紛争や協調はどのような原因やメカニズムで生じているのか。さまざまな地域の実例にフォーカスしつつ、政策の実践と理論・分析枠組みを相互作用させて検証する。

シリーズ 総合政策学をひらく (‘23)〈319〉

宮代康丈・山本薫 編

言語文化と コミュニケーション

2869-8 A5判上製 276頁 2,750円 (2,500円)

言語そのもの、言語活動に関わる政策・教育、政策に関わる言語活動という3つの柱を中心に、言語文化とコミュニケーションをめぐる先端的なトピックを第一線の研究者が多彩に論じる。

シリーズ 総合政策学をひらく (‘23)〈301.6〉

宮垣元・琴坂将広 編

社会イノベーションの 方法と実践

2870-4 A5判上製 280頁 2,750円 (2,500円)

社会課題を解決する革新的な方法はどうか生み出され、展開するのか。その具体的なプロセスをつぶさに検証し、総合政策学の現在地を発信する。

シリーズ 総合政策学をひらく (‘23)〈360〉

新保史生・和田龍磨 編

公共政策と変わる法制度

2871-1 A5判上製 298頁 2,750円 (2,500円)

これからの公共政策の考え方、分析と評価、方向性について概観し、技術革新や社会変容に伴い生じる新たな政策課題と指針を提示して政策立案と法制度の整備のあり方を考える。

シリーズ 総合政策学をひらく (‘23)〈301〉

桑原武夫・清水唯一朗 編

総合政策学の方法論的展開

2872-8 A5判上製 256頁 2,750円 (2,500円)

総合政策学にはどのような方法があるのか。総合政策学の革新と創造は「いかにリアリティに迫れるのか」という一点に向かっている。第一線で活躍する執筆陣が、方法論をめぐる壮大な旅へといざなう。

シリーズ 総合政策学をひらく (‘23)〈319〉

鷺見誠 一編

現代意識の諸相 —学問・芸術からの照射

0745-7 A5判並製 324頁 2,750円 (2,500円)

現代人の思考・意識について、学問・芸術の視点からの再確認を試みる6講演。講演者：養老孟司、高島通敏、川本三郎、坂上弘、小此木啓吾、斎藤慶典

慶大法学部政治学科開設百年記念講座 (‘99)〈304〉

自然科学

理工
医学
自然科学総記

理 工

■ 科学一般

ランディ・オルソン 著／坪子理美 訳
なぜ科学はストーリーを必要としているのか
—ハリウッドに学んだ伝える技術

2523-9 四六判並製 368 頁 3,080 円 (2,800 円)

ハーバード大学で博士号を取得し、終身在職権を得るも、その地位を捨て、ハリウッドで一から映画を学んだ教授。科学者が持つべき「専門知識を伝える技術」を、一流のストーリー術を学んで身につけることを提唱する。

〔18〕〈407〉

宮橋裕司 著

民話が語る自然科学

—見つめなおす郷土の風景

1602-2 A5 判並製 256 頁 2,750 円 (2,500 円)

日本の民話約 3,000 話を自然科学の観点から読み解く教養書。民話を紡いだ日本人の豊かな想像力、忘れられた郷土の自然が今よみがえる。付録には、掲載した民話の位置がわかる「民話マップ」を掲載。

〔図〕〈09〉(388.1)

国立研究開発法人科学技術振興機構
研究開発戦略センター 編

科学をめざす君たちへ

—変革と越境のための新たな教養

2403-4 四六判並製 396 頁 1,650 円 (1,500 円)

科学と社会の未来を見通す珠玉の講演録！ 文系・理系双方から日本を代表する研究者らが結集。トランス・サイエンス時代を迎え、科学技術開発の方向や、科学と社会との関係を問い直す。知的興奮と刺激にあふれた一冊。

〔17〕〈407〉

■ 物理学

青木健一郎 著

現代物理学を学びたい人へ

—原子から宇宙まで

1830-9 A5 判並製 342 頁 3,080 円 (2,800 円)

すべての自然現象は物理学によって説明できる。私たちの身近で起こる「なぜ」を、ミクロからマクロの世界で詳細に解説。実際の実験授業の内容と結果を反映しているため、大変分かりやすく実践的な書。

〔図〕〈11〉〈420〉

下村裕 著

ケンブリッジの卵

—回る卵はなぜ立ち上がりジャンプするのか

1334-2 四六判上製 260 頁 2,200 円 (2,000 円)

物理学で長年解けなかった、「立ち上がる回転ゆで卵」の謎をどのようにして解明したのか。「回転ゆで卵の飛び跳ね」という未知の現象をいかに発見し実証したのかを、英国留学の日常とともに伝える発見ものがたり。

〔図〕〈07〉〈423〉

ジャーナル・ウォーカー 著／下村裕 訳

犬も歩けば物理にあたる

—解き明かされる日常の疑問

2164-4 四六判並製 224 頁 2,200 円 (2,000 円)

食卓、お風呂、スポーツなど、日常におけるちょっとした疑問や身近に感じる不思議な現象 90 題を、物理学の立場から楽しく、かつ分かりやすく解説。「なぜ温水よりも熱湯のほうが早く凍るのか」…あなたにはわかりますか？

【図】('14)〈460.4〉

■ 天文学

岡朋治 著

銀河の中心に潜むもの

—ブラックホールと重力波の謎にいどむ

2492-8 四六判並製 120 頁 1,980 円 (1,800 円)

宇宙年齢 138 億年、銀河系年齢 132 億年、地球年齢 46 億年—。銀河はどうなっているのか、どうして遠い宇宙のことがわかるのかをわかりやすく解説。著者の視線で日々の研究の進展と学者としての解釈を織り込みながら、銀河研究の最先端を紹介していく。

(‘18)〈443.6〉

■ 地学

杉本憲彦・杵島正洋・松本直記 著

はじめて学ぶ大学教養地学

2662-5 A5 判並製 336 頁 2,750 円 (2,500 円)

固体地球、大気海洋、天文の 3 部構成で、それぞれの専門家が基礎から最新の知識まで、わかりやすく解説。文系・理系を問わず、すべての大学生に向けた新しい地学テキスト！

(‘20)〈450〉

松原彰子 著

自然地理学 第 6 版

—地球環境の過去・現在・未来

2652-6 B5 判並製 248 頁 2,640 円 (2,400 円)

地球環境の保全および防災・減災のために必要な基礎知識ともの見方を自然地理学の立場から解説した入門書。大気・海洋・地盤環境の過去から現在までの変化過程とその原因、さらに将来予測について、図表のデータを更新して詳細な説明を追加した第 6 版。(‘20)〈450〉

松原彰子 著

Holocene Geomorphic Development of Coastal Ridges in Japan

2215-3 B5 変型判上製 176 頁 5,280 円 (4,800 円)

海面上昇期における環境を復元する方法として、それまで用いられてこなかった化石分析を取り入れ、完新世を通しての約 1 万年間における、日本の砂州地形発達史を明らかにする画期的研究。〈全英文〉。

(‘15)〈454.7〉

柏木洋彦・鹿園直建 著

地球温暖化シミュレーション

—地質時代の炭素循環

2202-3 A5 判上製 184 頁 3,520 円 (3,200 円)

地球上の炭素の移行プロセスに注目した「炭素循環モデル」を使ったコンピュータシミュレーションにより、「新生代」(過去約 6500 万年)の気候変動を復元する方法を解説する。未来予想の可能性を考えるヒントが満載。

(‘15)〈451.35〉

■ 工学

西山敏樹 著

工学部生のための研究の進めかた — “使いやすさ” の追究と倫理的配慮

2503-1 A5判並製 / 128頁 2,200円 (2,000円)

人に関わる工学研究は、従来のものづくり研究の進めかたとは本質的に異なる部分が続くもある。それら要点や注意点をコンパクトにまとめた、学生にとっても教員にとっても役立つ、使い勝手の良い一冊。

(‘18)〈507〉

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科編

システムデザイン・ マネジメントとは何か 第2版

2906-0 A5判並製 160頁 2,750円 (2,500円)

システムズエンジニアリング、システム×デザイン思考、プロジェクトマネジメントを基盤に、SDM学の構築と人材の育成を行ってきた慶應SDMの全貌を紹介！第2版では、AIやDX、VR/ARといった新技術を含め、情報を大幅アップデート。

(‘23)〈491.3〉

D・D・ウォルデン、G・J・ロードラー、K・J・フォルスバーク、R・D・ハメリン、T・M・ショーツ編 / 西村秀和監訳

システムズエンジニアリング ハンドブック 第4版

2574-1 B5判並製 304頁 6,600円 (6,000円)

学生および実践を行うプロフェッショナルのためにシステムズエンジニアリング (SE) の学問分野および実践を定義し、内容および実践に関してシステムズエンジニアリング分野を理解するために信頼できる参考資料を提供する。

(‘19)〈509.6〉

オリヴィエ・L・デ・ヴェック他著 / 春山真一郎監訳

エンジニアリングシステムズ — 複雑な技術社会において人間のニーズを満たす

2110-1 A5判並製 248頁 3,960円 (3,600円)

これからの通信・交通・電力といった大規模な社会基盤システムは、人や社会の多種多様な要求に応えながら、想定外の結果にも速やかに対処できなければならない。新たな取り組みを提唱する待望の邦訳シリーズ第一弾！

Engineering Systems

(‘14)〈509.6〉

ステイブン・D・エッピンジャー他著 / 西村秀和監訳

デザイン・ストラクチャー・マトリクスDSM — 複雑なシステムの可視化とマネジメント

2179-8 A5判並製 340頁 6,600円 (6,000円)

デザイン・ストラクチャー・マトリクス (DSM) 法の基礎知識や基本的な考え方を解説し、あわせてすでにDSM法を導入して成功を収めている44の適用事例をカラー印刷によってわかりやすく詳細に紹介。

Engineering Systems

(‘14)〈509.6〉

岡田有策 著

ヒューマンファクターズ概論 — 人間と機械の調和を目指して

1173-7 A5判並製 228頁 2,750円 (2,500円)

快適・安全・安心を向上させる「ヒューマンファクターズ」を紹介し、ヒューマンエラーの再発防止策の検討方法や、ユーザビリティ、ユニバーサルデザインなどの重要性を提案する。

(‘05)〈501.8〉

アーサー・D・フィスク他著 / 福田亮子監訳

高齢者のためのデザイン — 一人にやさしいモノづくりと環境設計へのガイドライン

2059-3 A5判並製 368頁 4,400円 (4,000円)

幅広い領域において、高齢者に配慮したデザインをおこなうための指針を、基礎編・デザインガイドライン・応用事例・チュートリアル・総括の5つのカテゴリによって、わかりやすく解説。

(‘13)〈501.8〉

松岡由幸 監修／加藤健郎・佐藤弘喜・佐藤浩一郎 編

デザイン科学概論

—多空間デザインモデルの理論と実践

2502-4 A5判並製 232頁 2,640円 (2,400円)

「デザイン科学」に関する初の教科書。デザイン科学の枠組みと代表的な理論である「多空間デザインモデル」を解説し、理論をデザイン（設計）の実践に応用した事例を数多く紹介する。

(‘18)〈501.8〉

西山敏樹 編著

近未来の交通・物流と都市生活

—ユニバーサルデザインとエコデザインの融合

2304-4 A5判並製 204頁 2,970円 (2,700円)

早くて、便利で、サービスも行き届いた交通とは？ 実践事例として、電動低床フルフラットバス、病院内自動運転車、農都共生支援システム、IoT タグ交通運輸情報システム、小型無人ヘリコプターを紹介。自動運転、蓄電池などの未来技術にも言及。

(‘16)〈680〉

西山敏樹 編著

福祉技術と都市生活

—高齢者・障がい者・外国人・子どもと親への配慮

2413-3 A5判並製 184頁 2,970円 (2,700円)

誰もが快適に過ごせる都市環境をつくろう！ 「高齢者」「障がい者」「外国人」「子どもとその親」という新しい4つの視点で、最適な福祉技術を考える。障がい者差別解消法という“合理的配慮”にも言及。

(‘17)〈369〉

西山敏樹 編著

交通サービスの革新と都市生活

—行動の意思決定を有効に支援する技術

2478-2 A5判並製 132頁 2,970円 (2,700円)

人工知能やIoT技術の進展で、大きく変容しようとしている都市交通。フットワークの軽い「軽薄短小」と、生活の質を上げる「個重視」のサービスが、未来の都市生活シーンをどのように変えていくのか。

(‘17)〈681.8〉

■ 建築

井庭崇 編著／中埜博・江渡浩一郎・中西泰人・竹中平蔵・羽生田栄一 著

パターン・ランゲージ

—創造的な未来をつくるための言語

1987-0 四六判並製 432頁 2,750円 (2,500円)

応急処置的な社会から、創造的な社会へ。気鋭の研究者・井庭崇が、中埜博、江渡浩一郎、中西泰人、竹中平蔵、羽生田栄一という各界のフロントランナーを迎え、「パターン・ランゲージ」の可能性について徹底討論！

リアリティ・プラス

(‘13)〈361〉

小檜山雅之、ホルヘ・アルマザン、紙田和代 著

都市・建築レジリエンスデザイン入門

フィックス型 A5判 192頁相当 1,980円 (1,800円)

都市計画と防災建築の基礎知識から、人の命を守り心の快復を助ける「レジリエントなまちづくり」のアイデアまで、豊富なカラー図版をもとに解説する最新テキスト。大学生はもちろん、自治体の防災・まちづくり担当者にも最適。

電子書籍のみの商品です

(20)

青井哲人 著

ヨコとタテの建築論

—モダン・ヒューマンとしての私たちと建築をめぐる10講

2860-5 四六判並製 304頁 2,970円 (2,700円)

当たり前をじっくり考え直すこと、学び直すこと。私たち＝現生人類の本性に立ち返り、建築の思考をいきいきと語る。東京藝術大学大学院の講義から生まれた出色の入門書。

(‘23)〈520.4〉

多木陽介 著

プロジェクトイスタの控えめな創造力
—イタリアンデザインの静かな革命

2985-5 四六判並製 288頁 4,180円(3,800円)

デザイン黎明期の戦後イタリアで建築家やデザイナーとして生きた彼らは、自らを「プロジェクトイスタ」と称した。人びとの暮らしに寄り添い、人間的なクリエイションに心血を注いだ探究者たちの理念と行動、そしてその継承可能性に迫る。 ('24)<757.023>

稲葉なおと 著

絹の襻

—富岡製糸場に受け継がれた情熱

2970-1 四六判上製 344頁 2,750円(2,500円)

明治の工場建築は、いくたびかの消滅の試練を乗り越え、なぜ世界遺産登録に至ることができたのか。登録から10年を経て初めて明かされる、富岡製糸場の「語られざる秘話」。その核心に迫る渾身のノンフィクション。 ('24)<639>

牧紀男 著

平成災害復興誌

—新たななる再建スキームをめざして

2910-7 四六判並製 224頁 2,750円(2,500円)

雲仙普賢岳噴火災害から、阪神・淡路大震災、東日本大震災まで。平成は数多くの自然災害に翻弄される時代となった。これらの復興の軌跡を振り返り、気象災害や大規模地震への備えを考える。令和の復興像を描く現代復興小史。 ('23)<369.3>

生物学

リチャード・J・キング 著／坪子理美 訳

クジラの世界をゆく探究者たち 上

—『白鯨』でひもとく海の自然史

2836-0 四六判並製 320頁 3,300円(3,000円)

「白い鯨（モービー・ディック）」を追って世界の海を冒険する物語『白鯨』。その博物学的内容を現代科学の知見と現場での取材で検証していく。ヒトとクジラの交流を追う壮大なプロジェクトが始まる。 ('22)<452>

リチャード・J・キング 著／坪子理美 訳

クジラの世界をゆく探究者たち 下

—『白鯨』でひもとく海の自然史

2837-7 四六判並製 312頁 3,520円(3,200円)

「世界の十代小説」のひとつである『白鯨』。物語と同じ航路をたどり、世界をめぐる旅も終りを迎える。ヒトが鯨や他の海の生物、海洋に及ぼした影響を検証し、環境保護の観点から再び物語をとらえ直す。 ('22)<452>

高木佐保 著

ネコはここまで考えている

—動物心理学から読み解く心の進化

2843-8 四六判上製 192頁 2,200円(2,000円)

ネコは伴侶動物として不動の人気を誇るが、他の動物と比較して認知研究は進んでいない。気鋭のネコ心理学者が、ネコの特性に適した独自の研究方法（聴覚能力を生かす方法）を考案し、人類のきまぐれな親友ネコのミステリアスな心を覗く。 ('22)<483.16>

パトリシア・B・マコーネル 著／村井理子 訳

犬と会話する方法

—動物行動学が教える人と犬の幸せ

2941-1 四六判並製 352頁 2,640円(2,400円)

何千頭もの問題行動を抱えた犬と人と向き合ってきたドクトレーナー／動物行動学者が、犬の学び方や人との違いをふまえて、よりよい関係を築き、共に幸せに生きるための心得と方法を伝授するベストセラーエッセイ、待望の邦訳！ ('24)<645.6>

斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子 監修／
岸田拓土 著
クジラの鼻から進化を覗く

2295-5 四六判並製 138 頁 2,200 円(2,000 円)

小笠原から極北アラスカ、そして南太平洋バヌアツへ。嗅覚をキーワードに、クジラの進化を追いかけた。日本の調査捕鯨問題にも一石を投じた一冊。

遺伝子から探る生物進化 1 ('16)<467.5>

斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子 監修／
入江直樹 著
胎児期に刻まれた進化の痕跡

2296-2 四六判並製 148 頁 2,200 円(2,000 円)

私たち人間を含めた動物が胎児(胚)のとき、遠い何億年も前のご先祖様と同じ姿をしていたかどうか—進化発生学(エボデボ)にまつわる 150 年以上も未解明の大問題に挑んだ著者を待ち受けていた結末とは!

遺伝子から探る生物進化 2 ('16)<467.5>

斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子 監修／
柿原恵子 著
植物の世代交代制御因子の発見

2297-9 四六判並製 178 頁 2,420 円(2,200 円)

生物の形づくりにかかわる遺伝子に着目すれば、進化の過程で異なる形をもつようになった理由がわかるのではないか—。植物の形や生活の様式を変える遺伝子を発見することとなったヒメツリガネゴケの研究を紹介!

遺伝子から探る生物進化 3 ('16)<467.5>

斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子 監修／宮正樹 著
新たな魚類大系統

—遺伝子で解き明かす魚類 3 万種の由来と現在
2298-6 四六判並製 232 頁 2,640 円(2,400 円)

世界の海や川には 33,462 種の魚がいる! 遺伝子と比較して魚の過去を復元したところ、教科書を書き換える予想外の結果が次々と得られた。分子系統学が解き明かす魚類 5 億年の進化史。

遺伝子から探る生物進化 4 ('16)<467.5>

斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子 監修／
土松隆志 著
植物はなぜ自家受精をするのか

2299-3 四六判並製 170 頁 2,640 円(2,400 円)

ある植物は自家受精ばかり行ない、また別の植物は自家受精をかくくなく拒む。このちがいは何なのか。長年の論争に遺伝子解析から挑む、遺伝子から解き明かす進化の最前線を紹介するシリーズ、第 5 弾!

遺伝子から探る生物進化 5 ('17)<467.5>

斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子 監修／
奥山雄大 著
多様な花が生まれる瞬間

2300-6 四六判並製 196 頁 2,640 円(2,400 円)

チャルメルソウ類の研究からたどり着いたのは、進化生物学で最古のテーマでもある「種の起原」という最も挑戦的な問題だった。花とその花粉を運ぶ虫との共生関係から、種の分化という謎に迫る。

遺伝子から探る生物進化 6 ('18)<467.5>

沼田治 著

ノーベル賞に二度も輝いた不思議な生物
—テトラヒメナの魅力

2538-3 四六判並製 128 頁 1,980 円(1,800 円)

ダイニン、テロメア、リボザイム、ヒストンアセチラーゼ、テロメア RNA、スキャン RNA と、次々と(2 件のノーベル賞受賞を含む)重要な発見に結びついた、優れた生物・テトラヒメナの魅力を紹介。

('18)<483.16>

伊藤祥輔・柴原茂樹・錦織千佳子 監修
色素細胞 第 2 版

—基礎から臨床へ

2252-8 B5 判並製 328 頁 8,250 円(7,500 円)

日本色素細胞学会の中核メンバーと新進気鋭の色素研究者が、全 21 章のなかで色素細胞の基礎から臨床までを、豊富な文献とともに解説する。

('15)<481.1>

Robert C. King, Pamela K. Mulligan, William D. Stansfield 編 / 公益財団法人遺伝学普及会 監訳

遺伝学辞典

2525-3 A5判上製674頁 16,500円(15,000円)

遺伝学やライフサイエンス関連事項 7,340 項目を収録し、有用なデータを盛り込んだ充実の 6 つの付録を用意。また、遺伝学上重要な 1,036 件の歴史的出来事を年表として収録し、日本遺伝学会などが見直しを進める新和名を併記した、最も信頼できる遺伝学辞典！ ('18)<467.033>

日本バイオインフォマティクス学会 編

バイオインフォマティクス入門 第2版

2791-2 B5判並製200頁 2,970円(2,700円)

発行部数1万部を超える、バイオインフォマティクス技術者認定試験公式教科書の改訂版。近年の研究・開発動向を反映して、深層学習や AI、研究倫理・法令について増補。同分野に関心を持つ全ての初学者におすすめの一冊。 ('21)<467.3>

■ コンピュータ

羽室英太郎 著

サイバーセキュリティ入門

—図解×Q&A【第2版】

2827-8 A5判並製512頁 3,520円(3,200円)

コロナ禍で大きく変わったセキュリティ！ 企業のセキュリティ担当者から一般のユーザーまで、Q&Aと豊富なイラストで、サイバーセキュリティのポイントと基本を視覚的に理解してやさしく解説。定番セキュリティ書籍の最新第2版！ ('22)<007.6>

三上喜貴・中平勝子・児玉茂昭 著

言語天文台からみた世界の情報格差

2178-1 四六判上製336頁 4,180円(3,800円)

言語天文台という、ユニークなデータマイニングの装置を開発した筆者と世界の仲間たちの開発物語。巨大なウェブ宇宙を相手どったデータ収集の苦勞、開発の過程で生まれた世界の仲間との意外な出会い、などが縦横に語られる。 ('14)<802>

長尾確 著

ディスカッションを科学する

—人間と人工知能の共生

2493-5 A5判並製210頁 3,960円(3,600円)

人工知能は私たちを賢くしてくれるか？ 人工知能技術を駆使して、ディスカッションを客観的に分析するための手法を詳細に紹介。そこから、ディスカッション能力を鍛える方法や効率的な会議の進め方が見えてきた。 ('18)<007.1>

小林龍生 著

EPUB 戦記

—電子書籍の国際標準化バトル

2363-1 四六判上製260頁 3,300円(3,000円)

日本語の電子書籍を可能にした世界標準フォーマット“EPUB3”。デジタル社会で少数言語を救うための道程は、困難の連続だった。EPUB 策定を通して、改めて「書物の未来」を考える。 ('16)<021.4>

■ エネルギー

福田裕穂・稲田のりこ 編
スーパーバイオマス
—植物に学ぶ、植物を活かす—

2303-7 A5判並製 184頁 3,520円 (3,200円)

少ない肥料で大きく育ち、多くの二酸化炭素を固定できるスーパー植物。その開発から、植物バイオマスを用いた高付加価値な製品展開まで、最新のバイオ技術をわかりやすく解説。

(’16)<501.6>

医学

■ 医学一般

満留昭久 著

こころをつなぐ小児医療

2043-2 四六判上製 272 頁 3,080 円 (2,800 円)

(13)〈493.9〉

著者の小児科医師としての 40 年間の経験から、医療の技術だけでなく医療に携わる者の“こころ”について具体的なエピソードとともに語り、また現代社会で小児科医が果たしてほしい役割について提言する。

石原あえか 編

産む身体を描く

—ドイツ・イギリスの近代産科医と解剖図

1933-7 四六判変型並製 96 頁 770 円 (700 円)

ゲーテとその周辺の人物、画家で産婦人科医でもあったカール・グスタフ・カールス、18 世紀以来のイギリスで関わった様々な人々を通して、産科が成立する過程と絵画芸術（解剖図）の関係を解き明かす。

慶應義塾大学教養研究センター選書11 (12)〈495.5〉

羽生正宗 著

医療ツーリズム

—アジア諸国の状況と日本への導入可能性

1904-7 A5 判上製 240 頁 3,520 円 (3,200 円)

マレーシア、シンガポール、インド、タイ、韓国の医療状況を調査するとともに、大きな市場として期待される中国の富裕層にも調査し、日本における医療ツーリズムの導入可能性を探る。

(11)〈498.04〉

日向清人・斉藤祥子 著

ビギナーのための

基本看護英和用語集

2751-6 四六判並製 224 頁 2,420 円 (2,200 円)

ビジネス英語書籍に定評のある日向清人氏と、看護師の臨床実習指導やアメリカで日本語／英語遠隔遠隔医療通訳士として活躍する斉藤祥子氏が、看護の実践を踏まえた基本的な重要単語をセレクト。現場で長く使える基本用語集。

(21)〈492.9〉

神庭重信 著

思索と想い

—精神医学の小径で

2117-0 四六判上製 432 頁 4,070 円 (3,700 円)

日本精神医学界の泰斗によるエッセイ集。医師としての矜持、医学教育などについて真摯な思索を語る。また、著者が出会った人物、書物、芸術作品へのオマージュも掲載。

(14)〈493.7〉

ピーター・ピオット 著／宮田一雄・大村朋子・樽井正義 訳

ノー・タイム・トゥ・ルーズ

—エボラとエイズと国際政治

2197-2 四六判上製 498 頁 2,970 円 (2,700 円)

アフリカの熱帯雨林から国際政治のジャングルへー。エボラウイルス発見者の一人であり、元 UNAIDS（国連合同エイズ計画）事務局長を務めた著者が綴る、波乱万丈の回想録。

(15)〈498〉

ピーター・ピオット 著／
宮田一雄・樽井正義 訳
エイズは終わっていない
—科学と政治をつなぐ9つの視点
2541-3 四六判上製 256頁 2,970円(2,700円)

いまでも毎日約5,000人がHIVに感染し、約3,000人が死亡しているエイズ。その流行初期からエイズ問題と対峙してきた、科学者・臨床医・元UNAIDS事務局長の著者が、パリのコレージュ・ド・フランスで行った講義録の邦訳。
(19)〈498.6〉

■ 医学専門

田村京子 著
生体臓器移植の倫理
—臓器をめぐる逡巡と規範
2716-5 A5判上製 320頁 7,150円(6,500円)

脳死下移植・心停止下移植の件数と比べ、いまだ十分な議論がなされていない生体臓器移植。医療関係者と患者、双方の声を聴き、生体臓器移植が倫理的に許容されるための要件について、現象学的身体論や他者論の知見を交えながら明らかにする意欲作。
(20)〈490.15〉

バイオメカニズム学会 編
バイオメカニズム 24
—研究成果の活用
2526-0 B5判上製函入 196頁 22,000円(20,000円)

バイオメカニズム・シンポジウムの発表演題の中から厳選された17題に、特別にトピック1題を加えた、計18題の論文集。全体を4部に分けて構成した。部は「1部：身体計測・評価」、「2部：生理学・運動学」、「3部：義肢・装具」、「4部：歩行・走行・スポーツ」の4つ。(18)〈491.3〉

バイオメカニズム学会 編
バイオメカニズム 26
—動きの巧みさの解析と身体機能の評価
2906-0 B5判上製函入 218頁 22,000円(20,000円)

生物の形態・運動・機能について、総合的な分析とその工学的応用を目指す学問領域『バイオメカニズム』。本巻では、霊長類の歩行、幼児の能力、装具シューズの開発、障害者コミュニケーションエイド等をテーマを扱う18題の論文を収録。
(23)〈491.3〉

デヴィット・トーマス・スターン 編／天野隆弘 監修
医療プロフェッショナルリズムを測定する
—効果的な医学教育をめざして
1709-8 A5判上製 384頁 7,150円(6,500円)

医師としての義務の遂行・患者の利益を追求する・社会正義を実現するなど、医療者のプロフェッショナルリズムへの関心が高まる中、具体的な評価法を記した日本の医学教育に待望の翻訳。医学生への指導書として最適。
(11)〈490.7〉

米井嘉一 著
抗加齢医学入門 第3版
2581-9 A5判上製 320頁 4,400円(4,000円)

健康長寿を目指し、身体年齢を若く保つために、今、何をなすべきか。老化の仕組みを追及し、加齢や老化現象多角的に立ち向かう。抗加齢医療を実践する医師が、抗加齢医学をわかりやすく詳説。最新の知見を取り入れた第3版。
(19)〈491.358〉

村井純 監修／秋山美紀・中澤仁・當仲香 編著
価値創造の健康情報プラットフォーム
—医療データの活用と未来
2240-5 A5判上製 256頁 3,300円(3,000円)

健康・医療に関する情報を最大限活用し、社会に革新をもたらすための仕組み＝健康情報プラットフォームとは何か。その設計のあり方や政策・法制度との関連、最新事例などを徹底解説。
(16)〈680〉

遠城寺宗徳 著
遠城寺式乳幼児分析的発達検査法
 —九州大学小児科改訂新装版
 1621-3 解説書 A5判 64頁 880円(800円)
 検査用紙 B4判50枚1組 880円(800円)

簡便な検査法によって、子どもの発達を各機能に分析して測定。心身障害児の状態、発達の様相を短時間に診断でき、正常児においては、発達指導の基礎資料を得るのに便利である。装丁、検査カードのイラストや一部解説文を刷新。
 ('09)〈493.91〉

星浩司・宮里恭子 著
小児失語症の言語回復
 —ランドー・クレフナー症候群と自閉症の比較から
 2639-7 A5判上製 200頁 6,600円(6,000円)

ヒトは言語をどのように獲得し、発達していくのか。生物言語学の見地から、言語理解と発話のメカニズムを解明し、言語回復への道筋を探る。
 ('19)〈493.937〉

野村龍太 著
**実中研流 世界標準システム
 のつくり方**
 2824-7 四六判上製 208頁 2,200円(2,000円)

公益財団法人実験動物中央研究所(実中研)は、従来の「発がん性試験」を根底から変えるマウスとそれを安定供給する世界標準システムを構築した。日本発の世界標準に挑んだ感動の記録。
 六匹のマウスから3
 ('22)〈491.358〉

■ 家庭の医学

井上浩義 著
からだによいオイル
 —健康と美容をかなえる油の教科書
 2305-1 四六判並製 184頁 1,540円(1,400円)

油ドクターによるオイルのバイブル！ この本で、オイルの特性・選び方・摂り方や、脂質についての基礎知識を身につけて、豊かな食生活と健康で安らかな毎日をごきましょう。
 ('16)〈498.55〉

菅沼安嬉子 著
正しく食べて健康に生きよう
 1672-5 A5判並製 272頁 2,640円(2,400円)

内科医師であり産業医でもある著者がすすめる現代「食の養生訓」。「未病」の段階から食生活を改善し、健康をとりもどすためのアドバイスイラスト満載で説明。環境汚染、薬害などの問題点もわかりやすく解説。
 【図】('09)〈498.5〉

神崎仁 著
耳鳴りを治す 改訂版
 —コントロールしながらうまくつきあう
 2101-9 四六判並製 204頁 1,650円(1,500円)

耳鳴りの仕組みを分かりやすく説明し、治療の目標をより明快に「耳鳴りをコントロールし、苦痛をやわらげること」において執筆。改訂に当たり、新たな検査法、治療法、症例等を加筆・増補。
 ('13)〈496.6〉

神崎仁 著
認知症にならないための生活習慣
 2234-4 四六判並製 192頁 1,760円(1,600円)

元慶應義塾大学病院院長が説く認知症にならないための生活習慣。臨床医として、患者とともに長く人生を過ごして来た著者が、高齢者の生活習慣の改善に役立つ生きた情報を心を込めて提言。
 ('15)〈493.75〉

神崎仁・隈部まち子 著

おまかせしない医療

—自立した患者になるために

1197-3 四六判並製 282頁 1,980円(1,800円)

新しい医師と患者関係をかたちづくり、良質の医療を受けるために必要な情報をまとめた患者のための医療案内ガイド。希望する医療を受けるために医師と患者から送る「おまかせしない医療」のメッセージ。

(05)〈498.04〉

猪子香代 著

子どものうつ病

—理解と回復のために

1980-1 四六判並製 256頁 2,640円(2,400円)

思春期特有の心理状態とうつの関係について解説し、さらに発達障害をもつ子どもとうつのリスクについて説明を加えます。また、友だちとの関係のとり方など親には言えない悩みについても、子どもの立場を配慮してアドバイスします。

(12)〈493.937〉

■ 薬学

服部豊 著／慶應義塾大学薬学部 監修

薬剤師のための症候学 第2版

1928-3 A4判並製 128頁 3,300円(3,000円)

新コアカリキュラムに準拠した疾患を網羅し、各症状ごとに「定義」「病態生理」「分類と考えられる疾患」「トリアージ」を丁寧に解説。薬剤処方や服薬指導のための最新の基礎知識を提供する。

(12)〈491.61〉

自然科学総記

高桑和巳 編

新生

—生命の教養学 X

2155-2 A5 判並製 256 頁 2,640 円 (2,400 円)

「生命」の「あらたま」を探し求めて。脳科学、発生物学、分子生物学、生態学、書物史、哲学、日本政治思想史、アメリカ研究、マーケティング、経営情報システム研究の専門家が「新生」を語る。

(‘14)<461.04>

高桑和巳 編

性

—生命の教養学 11

2264-1 A5 判並製 284 頁 2,640 円 (2,400 円)

すべてのひとが「当事者」である性の問題。セックス／セクシュアリティ／ジェンダーの区別および相互浸透のありさまを段階的に捉える「性の手ほどき」。

(‘15)<467.3>

赤江雄一 編

食べる

—生命の教養学 12

2432-4 A5 判並製 312 頁 2,640 円 (2,400 円)

「食べる」をテーマに、ローカルとグローバル化との関係、日本における食の持続可能性とその危機、食文化の生成発展のさまざまな姿、また食と健康をめぐる東西の医学の過去と現在、そして食の未来（革命）を語っていく。

(‘17)<498.5>

赤江雄一 編

飼う

—生命の教養学 13

2537-6 A5 判並製 256 頁 2,640 円 (2,400 円)

身近なペットと人との関係、養殖や畜産、そして実験動物から古代ローマの奴隷やナチズム、そして現代日本の人身売買まで見渡す。さらに、人体の腸内の微生物の機能をあきらかにし、飼うことの倫理学を中心に置く。

(‘18)<460.4>

荒金直人 編

組織としての生命

—生命の教養学 15

2598-7 A5 判並製 240 頁 2,640 円 (2,400 円)

慶應義塾大学で行われたオムニバス講義の書籍化。生命を一つの組織と捉え、生物学から哲学分野まで理系・文系問わず様々なジャンルからアプローチする。「生命とは何か」といった問いを深く考察させる一冊。

(‘19)<460>

西尾宇広 編

生命の経済

—生命の教養学 16

2676-2 A5 判並製 260 頁 2,640 円 (2,400 円)

細胞はなぜ無駄な抗体を作るのか、脳はなぜ不合理な判断をするのか？ 生産と消費、交換と搾取、競争と協力といった私たちの経済的な営みに着目し、多様な生命と組織が織りなす生と死のダイナミズムを捉え直す。

(‘20)<461.04>

欧文書籍

■ 哲学・思想

-
- 井筒俊彦 著 (英文) 1964年に発表された井筒俊彦の代表的英文著作。イスラームの聖典『コーラン』に示されている、創造主である神と被造物たる人との関係を分析するコーラン論。井筒著作を特徴づける、意味論的方法およびオリジナルなテキスト読みが顕著な一冊。 ('15)〈120.8〉
- 井筒俊彦 著** (英文)
God and Man in the Koran
 Semantics of the Koranic Weltanschauung
 2281-8 B5変型判並製272頁 7,040円(6,400円)
-
- 井筒俊彦 著 (英文) イスラーム神学において、信仰の概念がいかにして生まれ、理論的に完成していったのか、その過程を詳述する、コーラン論の名著。信仰の概念とそれに関連する諸鍵概念を意味論的に分析し、それらが織りなす概念的なネットワークを叙述する。 ('16)〈167.1〉
- 井筒俊彦 著** (英文)
The Concept of Belief in Islamic Theology:
 A Semantic Analysis of Īmān and Islām
 2288-7 B5変型判並製288頁 7,040円(6,400円)
-
- 杉野俊子 著 (英文) 浜松市のブラジル人学校を研究対象とし、日系ブラジル人の親が子どもの教育をブラジル人学校（ポルトガル語で教育）に託す要因を、教育観と言語選択という視点から歴史的・社会的・政治経済的側面にわたって分析、考察。 ('08)〈801.03〉
- 杉野俊子 著** (英文)
Nikkei Brazilians at a Brazilian School in Japan :
 Factors affecting language decisions and education
 1546-9 B5判変型上製274頁 6,600円(6,000円)
-
- 中西千春 著 (英文) 英語力初級～中級の学生を10年以上指導してきた著者が、仮説を実証する形で、大学生のライティング力を伸ばす教育方法についてまとめた成果。(EFL = English as a Foreign Language) (全英文)。 ('06)〈830.7〉
- 中西千春 著** (英文)
A Teaching Approach to Japanese College Students' EFL Writing
 1276-5 B5判変型上製216頁 3,520円(3,200円)
-
- 福澤諭吉著/デイヴィッド・A・ディルワース/
 G・キャメロン・ハースト, III 訳 (英文) 福澤の思索力が最も充実した壮年期の著作(1875年刊行)で、最高傑作の一つと名高い『文明論之概略』の英訳。近代日本を啓蒙し、先導した福澤諭吉の著作を、国内外の読者に向けて英訳で刊行するシリーズの第1巻。
福澤諭吉著/デイヴィッド・A・ディルワース 訳 (英文)
An Outline of a Theory of Civilization [文明論之概略]
 1560-5 B5判変型並製320頁 3,520円(3,200円)
 The Thought of Fukuzawa Vol.1 ('08)〈083〉
-
- 福澤諭吉著/デイヴィッド・A・ディルワース 訳 (英文) 最新の英語訳で贈る福澤諭吉の名著。福澤の著作を国内外の読者に向けて、英訳で刊行する「The Thought of Fukuzawa (福澤の思想)」シリーズ第2冊目。
福澤諭吉著/デイヴィッド・A・ディルワース 訳 (英文)
An Encouragement of Learning
 [学問のすゝめ]
 1684-8 B5判変型並製192頁 3,520円(3,200円)
 The Thought of Fukuzawa Vol.2 ('12)〈002〉
-

福澤諭吉著／ヘレン・ポールハチュエット 訳 (英文)

Fukuzawa Yukichi on Women and the Family

2414-0 B5判変型並製 432頁 7,700円(7,000円)

福澤諭吉が公と私の場で著した女性論・家族論の代表作 11編と、家族との関係性が窺える 53通の書簡を選出し、福沢の文体を活かした英語に翻訳。最新の研究成果にもとづいた詳細な注、索引付き。世界における福澤研究を牽引する一冊。
(17)<367.1>

福澤諭吉著／西澤直子・アルベルト・ミヤマルティン 編(英文)

“A Message of Farewell to Nakatsu” by Fukuzawa Yukichi: Multilingual Edition with Commentaries in English and Japanese

2799-8 A5判上製 234頁 2,200円(2,000円)

1871年、福澤が青年期を過ごした中津の人びとに向けて執筆したエッセイを、12か国語に翻訳。基本情報や背景の解説(日本語と英語)、年譜も収録。
(22)<367.21>

■ 心理

安西祐一郎 著

Learning and Interaction:

From Cognitive Theories to Epistemology

2691-5 A5判変型上製 1216頁 7,700円(7,000円)

認識論、認知心理学、社会心理学、発達認知科学、認知神経科学、進化認知科学、コンピュータサイエンス、AI、ロボティクス等の学術分野を横断し、人間の基本的活動としての学習とインタラクションに関する諸研究を解説。(全英文)
(21)<141.51>

フレデリック・ジラルル 訳 (仏文)

Traité sur l'acte de foi dans le Grand Véhicule

1058-7 B5判変型上製 380頁 5,280円(4,800円)

仏教聖典叢書「大藏経」の中の一巻「大乘起信論」を世界的仏教学者がフランス語に翻訳。井筒俊彦『意識の形而上学』第一部「存在論的視座」のフランス語訳も併載。
The Izutsu Library Series on Oriental Philosophy 2 (10)<183.95>

■ 宗教

大橋良介／
ロルフ・エルバーフェルト 編訳 (独文)

Dōgen „Shōbōgenzō“, Ausgewählte Schriften

1201-7 B5判変型上製 328頁 7,150円(6,500円)

道元「正法眼蔵」より「現成公案」「心不可得」「空華」「有時」「山水経」「祖師西来意」「生死」「全機」「海印三昧」の9編をドイツ語訳。和文原典を併載した対訳に、詳細な注と論考を付す。
The Izutsu Library Series on Oriental Philosophy 3 (05)<188.8>

■ 社会

徳座晃子 著

(英文)

The Rise of the Feminist Movement in Japan

平塚らいてう、市川房枝らと共に婦人参政権運動を推進し、治安警察法第五条第二項修正などを闘いとり、戦後の混乱期に主婦連合会を創設した奥むめお。彼女に焦点を当てて、日本の婦人運動史を描く。

0731-8 B5判変型上製304頁 3,300円(3,000円)

(‘99)<367.21>

■ 文学

新見肇子 著

(英文)

Blake's Dialogic Texts

ウィリアム・ブレイクに関する論文16篇を集めた論集。古今の作家、科学者などの言説との批判的対話の過程がテキストを形成する、ブレイクの「対話的特質」(バフチン)を明らかにする。

1317-5 B5判変型上製396頁 7,150円(6,500円)

(‘06)<931.2>

三馬志伸 著

(英文)

Jane Austen In and Out of Context

ジェイン・オースティンの作品を当時の社会状況というコンテキストの中で捉えながら、各作品に示されたオースティン独特の社会哲学を浮かび上がらせる。

1961-0 B5判変型上製176頁 4,840円(4,400円)

(‘12)<930.268>

大鐘敦子 著

(仏文)

La genèse de la danse de Salomé
L'« Appareil scientifique » et la symbolique polyvalente dans *Hérodiade* de Flaubert

聖書の逸話である「サロメのダンス」を初めて言語化したフロベールの最晩年の作『三つの物語』の最後の短編『ヘロディアス』を、政治・民族・宗教・神話・話法・文体・リズム・音韻などから総合的に研究したモノグラフィー。

1231-4 B5変型上製328頁 13,200円(12,000円)

(‘06)<953.6>

真屋和子 著

(仏文)

L'« art caché » ou le style de Proust

『失われた時を求めて』におけるブルーストのヴィジョンを、絵画という視覚芸術の助けを借り、また、文体分析や「生成研究」ともいわれる草稿研究を取り入れて、X線透視にも似た手法で明らかにする。

0824-9 B5判変型上製320頁 13,619円(12,381円)

(‘01)<950.278>

■ 法律

-
- KEIGLAD 編** (英文) 東南アジア各国の執筆者によるアジアの視点からの法学教育・法曹育成教育を中心に取り上げ、日本をはじめとした各国の法学教育の諸相を比較し、グローバル法曹人材の育成を展望する。
Comparative Legal Education from Asian Perspective
 2463-8 B5判変型上製 192頁 1,800円 Programs for Asian Global Legal Professions Series I ('17)<321>
-
- KEIGLAD 編** (英文) 東南アジア各国の執筆者によるアジアの視点からの法学教育・法曹育成教育を中心に取り上げ、日本をはじめとした各国の法学教育の諸相を比較し、グローバル法曹人材の育成を展望する。
Challenges for Studying Law Abroad in the Asian Region
 2504-8 B5判変型上製 256頁 1,980円(1,800円) Programs for Asian Global Legal Professions Series II ('18)<321>
-
- KEIGLAD 編** (英文) アジアの国々で民法をどう教えられるか?をテーマとするシリーズ第3巻。メコン川流域アジア諸国の大学により各国の具体的な状況を論じながら、共通事例問題を設定し、各国での解釈手法までを提示する意欲的な巻。
How Civil Law is Taught in Asian Universities
 2589-5 B5判変型上製 362頁 Programs for Asian Global Legal Professions Series III ('19)<320.7>
-
- KEIGLAD 編** (英文) メコン川流域アジア諸国の大学により、憲法をテーマとした各国の具体的な状況を論じる、Programs for Asian Global Legal Professions Series の第4巻
How Public Law Is Taught in Asian Universities
 2660-1 B5判変型並製 184頁 1,980円(1,800円) Programs for Asian Global Legal Professions Series IV ('20)<321>
-
- KEIGLAD 編** (英文) PAGLEP プログラム成果の総括巻。アジアの視点からの「Rule of Law」という課題を中心に、日本をはじめとした各国の法の諸相を比較し、今後のグローバル法曹人材の育成及び法の展開を展望する。
Promoting the Rule of Law in Asian Dynamics
 2728-8 B5判変型上製 200頁 1,980円(1,800円) Programs for Asian Global Legal Professions Series V ('21)<320.7>
-
- 福田守利 著** (英文) 連邦法と州法という特殊な法システムの米国内における外国人としての、日本人及び日系米人の法律問題を総括的に扱った日米相互理解に必読の研究書。全英文。
Legal Problems of Japanese-Americans
 0242-1 A5判上製 242頁 3,520円 (3,200円) ('80)<322.953>
-
- 太田達也 編** (英文) アジアの国々における犯罪被害者支援の考え方を、広く世界へ発信する初めての試み。アジア各国の被害者学および犯罪被害者の支援の発展と最近の傾向を分析する。
Victims and Criminal Justice: Asian Perspective
 0983-3 A5判並製 324頁 5,940円 (5,400円) 慶應義塾大学法学研究会叢書73 ('03)<326.92>
-

■ 政治

根岸毅 著

(英文)

The Methodological Foundations of the Study of Politics

0643-5 A5 判上製 126 頁 3,300 円 (3,000 円)

政治学はパラダイムの概念が当てはまらない類の学問である。本書はこの種の学問の構造を明らかにし、政治学をそのように構成する筋道を示し、その作業の中心となる国家の何たるかを解明する。全英文。

慶應義塾大学法学研究会叢書65

('96)<311.16>

■ 自然科学

松原彰子 著

(英文)

Holocene Geomorphic Development of Coastal Ridges in Japan

2215-3 B5 変型判上製 176 頁 5,280 円(4,800 円)

海面上昇期における環境を復元する方法として、それまで用いられてこなかった化石分析を取り入れ、完新世を通しての約 1 万年間における、日本の砂州地形発達史を明らかにする画期的研究。

('15)<454.7>

慶應義塾

福澤諭吉著／マリオン・ソシエ・西川俊作編 西洋事情

0877-5 四六判上製 386頁 3,300円(3,000円)

西洋の先端技術や社会制度など、近代化に必要な情報と知識を、自らの渡米・渡欧体験をもとにわかりやすく体系的に紹介した西洋文明入門書。幕末・維新期の日本人に多大な影響を与えた大ベストセラー。

福澤諭吉著作集1※コンパクト版あり 【図・学】('02)<081.6>

福澤諭吉著／中川真弥編 世界国尽窮理図解

0878-2 四六判上製 482頁 3,520円(3,200円)

子どもたちに近代的知識の基礎を楽しく説明した入門書を収録。七五調で世界の地理風俗を綴った『世界国尽』(せかいづくし)のほか、『訓蒙窮理図解』(きんもうきゅうりずかい)、『童蒙教草』(どうもうおしえぐさ)、『文字之教』を収録。

福澤諭吉著作集2 【図・学】('02)<081.6>

福澤諭吉著／小室正紀・西川俊作編 学問のすゝめ

0879-9 四六判上製 288頁 2,200円(2,000円)

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云えり」の名言ではじまる、近代日本を代表する著作。明治維新を迎え、これからの時代の新しい「知」のあり方を説いた、福澤思想のエッセンス。

福澤諭吉著作集3※コンパクト版あり 【図・学】('02)<081.6>

福澤諭吉著／戸沢行夫編 文明論之概略

0880-5 四六判上製 418頁 3,300円(3,000円)

『学問のすゝめ』、『福翁自伝』と並ぶ、福澤諭吉の代表作。達意の文章、豊富な事例、緻密な分析で文明の本質を体系的に説き明かし、「多事争論」「自由な気風」の精神から、あらためて日本(近代)の歩みを問うた名著。

福澤諭吉著作集4※コンパクト版あり 【図・学】('02)<081.6>

福澤諭吉著／西川俊作・山内慶太編 学問之独立 慶應義塾之記

0881-2 四六判上製 494頁 2,860円(2,600円)

政治からの教育の独立をめざし、慶應義塾における実践とともに多岐にわたる活動を行った福澤による教育論。学校教育・家庭教育から社会教育まで、現代人が直面する様々な課題にも多くの示唆を与える全60著作。

福澤諭吉著作集5 【図・学】('02)<081.6>

福澤諭吉著／小室正紀編 民間経済録 実業論

0882-9 四六判上製 416頁 3,520円(3,200円)

西南戦争後のインフレから松方デフレを経て起業勃興へ。変動する明治揺籃期の経済状況をリアルに見据えつつ、天下万事「官」主導の時代に、立国の基礎たる「一身独立」の実業を望んだ福澤の経済論集。

福澤諭吉著作集6 【図・学】('03)<081.6>

福澤諭吉著／寺崎修編 通俗民権論 通俗国権論

0883-6 四六判上製 392頁 2,860円(2,600円)

たび重なる士族の反乱、国会開設運動など、噴出する様々な政治的課題を、「官」にのみ依存するのではなく、「一身独立」した「民」の力を高め、その協調、調和によって解決していこうと説いた福澤の政治論集。

福澤諭吉著作集7 【図・学】('03)<081.6>

福澤諭吉 著／岩谷十郎・西川俊作 編

時事小言 通俗外交論

0884-3 四六判上製 470 頁 2,860 円(2,600 円)

一国の独立維持と経済発展を図るための内政と外交のプログラムを綴った渾身の力作『時事小言』。西洋列強に触まれつつある東アジア諸国との葛藤を脱するまでの曲折と、安政条約の改正に関する時事論を収録。

福澤諭吉著作集8

【図・学】(03)(081.6)

福澤諭吉 著／坂本多加雄 編

丁丑公論 瘠我慢の説

0885-0 四六判上製 338 頁 3,300 円(3,000 円)

西郷隆盛を擁護した『丁丑公論』（ていちゅうこうろん）、武士の意気地を説いた『瘠我慢の説』など、16 著作を収録。「伝統的なもの」との関わりをなかで、一国独立のために、日本人の根本精神を説いた必読の一冊。

福澤諭吉著作集9

【図・学】(02)(081.6)

福澤諭吉 著／西澤直子 編

日本婦人論 日本男子論

0886-7 四六判上製 408 頁 2,860 円(2,600 円)

新時代の女性のあり方を日常生活に根ざした身近な例から説き、また封建的規範に縛られた男性の意識改革をもうながし、各々が独立した男女・家族関係であるべきことを主張した、今いよいよ光彩を放つ女性論集。

福澤諭吉著作集10

【図・学】(03)(081.6)

福澤諭吉 著／服部禮次郎 編

福翁百話

0887-4 四六判上製 398 頁 3,200 円

宇宙の広大さにくらべ、人間はまるで蛆虫のようで、人生は一時の戯れにすぎないが、その戯れを戯れとせず、日々を熱心かつ真剣に過ごすことこそ「独立自尊」の主義である——。モラリスト福澤、老成円熟の境地。

福澤諭吉著作集11 ※コンパクト版あり 【図・学】(03)(081.6)

福澤諭吉 著／松崎欣一 編

福翁自伝 福澤全集緒言

0888-1 四六判上製 582 頁 3,520 円(3,200 円)

「一身にして二生」を生きた痛快な人生行路を、臨場感あふれる筆致で描いた自伝文学の最高傑作『福翁自伝』。著訳活動に込めた思いを自ら綴った『福澤全集緒言』。次世代に託す「遺言」ともいえる、最晩年の2 著作を収録。

福澤諭吉著作集12 ※コンパクト版あり 【図・学】(03)(081.6)

福澤著作集のうち以下のものにはコンパクト版（普及版）があります。

西洋事情	1622-0	B6 判変型並製368 頁	1,540 円	(1,400 円)	(09)
学問のすゝめ	1623-7	B6 判変型並製288 頁	1,100 円	(1,000 円)	(09)
文明論之概略	1624-4	B6 判変型並製418 頁	1,540 円	(1,400 円)	(09)
福翁百話	1625-1	B6 判変型並製398 頁	1,540 円	(1,400 円)	(09)
福翁自伝 福澤全集緒言	1626-8	B6 判変型並製582 頁	1,760 円	(1,600 円)	(09)

福澤諭吉 著／ディヴィッド・A・デイルワース／
G・キヤメロン・ハースト, III 訳 (英文)

An Outline of a Theory of Civilization [文明論之概略]

1560-5 B5判変型並製 320 頁 3,520 円(3,200 円)

福澤の思索力が最も充実した壮年期の著作（1875 年刊行）で、最高傑作の一つと名高い『文明論之概略』の英訳。近代日本を啓蒙し、先導した福澤諭吉の著作を、国内外の読者に向けて英訳で刊行するシリーズの第1 巻。

The Thought of Fukuzawa Vol.1

(08)(083)

福澤諭吉 著／ディヴィッド・A・デイルワース 訳(英文)

An Encouragement of Learning

[学問のすゝめ]

1684-8 B5判変型並製 192 頁 3,520 円(3,200 円)

最新の英語訳で贈る福澤諭吉の名著。福澤の著作を国内外の読者に向けて、英訳で刊行する「The Thought of Fukuzawa（福澤の思想）」シリーズ第2 冊目。

The Thought of Fukuzawa Vol.2

(12)(002)

福澤諭吉著／ヘレン・ポールハチュエット 訳 (英文)

Fukuzawa Yukichi on Women and the Family

2414-0 B5判変型並製432頁 7,700円(7,000円)

福澤諭吉が公と私の場で著した女性論・家族論の代表作 11 編と、家族との関係性が窺える 53 通の書簡を選出し、福沢の文体を活かした英語に翻訳。最新の研究成果にもとづいた詳細な注、索引付き。世界における福澤研究を牽引する一冊。
(17)<367.1>

福澤諭吉著／西澤直子・アルベルト・ミヤマルティン 編 (英文)

“A Message of Farewell to Nakatsu” by Fukuzawa Yukichi: Multilingual Edition with Commentaries in English and Japanese

2799-8 A5 判上製 234 頁 2,200 円 (2,000 円)

1871 年、福澤が青年期を過ごした中津の人びとに向けて執筆したエッセイを、12 か国語に翻訳。基本情報や背景の解説 (日本語と英語)、年譜も収録。
(22)<367.21>

福澤諭吉著／富田正文 校注

福翁自伝

0838-6 四六判並製390頁 1,650円(1,500円)

激動の近代日本を導いた福澤諭吉の痛切な人生を描いた、自伝文学の最高傑作。読みやすく、また充実した注が付された本書を、新世紀の幕明けとともに、新装版として刊行。(新装版)

【図・学】(01)<289.1>

[本文編] 佐志傳・[註釈編] 河北展生 編著

「福翁自傳」の研究 (本文編・註釈編)1295-6 B5 判上製 (函入) (全 2 巻セット [分売不可])
本文編352頁/註釈編428頁 29,700円(27,000円)

福澤諭吉の代表作に厳密な考証による本文校訂と註釈を施した研究者必携の書。『慶應義塾百年史』編纂に際して、富田正文を中心に発足した懇話会「自伝を読む会」での研究成果を盛り込んだ、「自伝」研究の集大成。

(06)<289.1>

福澤諭吉著／加藤紳一郎 訳

現代語訳 女大学評論 新女大学

2710-3 新書判並製 176 頁 1,320 円 (1,200 円)

江戸時代の貝原益軒「女大学」を批判した「女大学評論」、そして、あらたな時代の女性のための書として著した「新女大学」。福澤諭吉による 2 編の女性論を平易な文体で現代語訳。読みやすさを重視し、語注も付す。

(20)<121.6>

福澤諭吉著／伊藤正雄 訳

現代語訳 文明論之概略

1744-9 四六判上製 612 頁 3,850 円 (3,500 円)

理解しやすい現代文と詳しい解説で読む名著。渾身の力で書き下ろした『文明論之概略』(明治八年)の現代語訳、待望の復刊。時代の転換期に何度でも読み返されるべき、「半開国 = 日本」への診断と処方箋。

(10)<121.6>

福澤諭吉著／山内慶太・西川俊作 編

福澤諭吉 教育論

— 独立して孤立せず

2943-5 四六判並製 524 頁 2,530 円 (2,300 円)

教育者・福澤諭吉はどのような理念に基づき慶應義塾を創立し、教育事業を実践していったのか。現代人にも示唆に富む、その教育論を集成。慶應義塾のモラルコードである「修身要領」も収録した決定版。

(24)<370.4>

青木功一 著

福澤諭吉のアジア

1763-0 A5 判上製 512 頁 9,350 円 (8,500 円)

福澤諭吉は何ゆえ「脱亜論」を執筆したのか。『時事新報』の詳細な解説によって新たな福澤諭吉の地平を拓きながら、志半ばで早世した著者の先駆的な論考を集成。福澤諭吉研究における貴重な遺産を現代に甦らせる。

(11)<121.6>

福沢諭吉 著／岩崎弘 訳・解説

現代語訳

童蒙おしえ草 ひびのおしえ

1203-1 B5判変型上製368頁 3,300円(3,000円)

福沢諭吉が翻訳紹介したイソップ物語などの西洋の道徳童話集『童蒙おしえ草』と、わが子のために綴った『ひびのおしえ』を、子どもたちやその保護者にも読みやすいように、慶應義塾幼稚舎教諭の訳者が現代語化。

【図】('06)〈913.8〉

福沢諭吉事典編集委員会 編

福沢諭吉事典

1800-2 A5判上製函入1,164頁 15,400円(14,000円)

福沢諭吉生誕175年・慶應義塾創立150年記念出版。今、時代をひらく勇氣と出会う。66年の生涯とその思想、日常の素顔など福澤の全身像がみえる画期的な個人事典。現代の課題に通じる多くの知見に溢れる。

('10)〈289.1〉

松崎欣一 著

語り手としての福沢諭吉

—ことばを武器として

1170-6 四六判上製 320頁 2,800円

身体表現としての演説・対話から、「雅俗めちゃめちゃ」の文体を創り出した著述活動に至るまで、ことばを縦横無尽に駆使した福沢諭吉。その先駆的な「演説」の実際を鮮やかに描く。

【図】('05)〈289.1〉

西川俊作 著

福沢諭吉の横顔

0684-9 四六判並製 282頁 2,420円(2,200円)

没後百年たった今も福沢諭吉に関する研究は絶えることがない。本書は、著者自らが採り当てた資料や記録の見直し等を通じ、実に様々な顔をもつ福沢諭吉の語られざる「素顔」に迫る温故知新の試論集。

Keio UP 選書

('98)〈289.1〉

西川俊作・松崎欣一 編

福沢諭吉論の百年

0732-7 四六判並製 336頁 2,420円(2,200円)

没後百年を迎えた福沢諭吉を、混迷の世紀末を超え、いまあらためて時代の「テキスト」としてひもとこうとする読者におくる、異色出色の福沢諭吉論18篇。『三田評論』創刊百年記念出版。

Keio UP 選書

('99)〈289.1〉

伊藤正雄 編

明治人の観た福沢諭吉

1654-1 四六判上製 248頁 3,520円(3,200円)

福地桜痴、中江兆民、徳富蘇峰、三宅雪嶺、陸羯南など福澤の同時代人や、明治に生まれた正宗白鳥、津田左右吉らによる福沢諭吉評価を、原典から集成。『資料集成明治人の観た福沢諭吉』(1970年当社刊)の復刊(改題)。

('09)〈289.1〉

アルバート・M・クレイグ 著／足立康・梅津順一 訳

文明と啓蒙

—初期福沢諭吉の思想

1683-1 A5判上製 250頁 3,500円

西洋の啓蒙思想を自在に駆使して、日本を近代化へと牽引した福澤の思想的源泉を実証的に考究する。ハーヴァード燕京研究所の碩学による待望の福沢論。

【図】('09)〈289.1〉

小川原正道 著

福沢諭吉の政治思想

1930-6 A5判上製 304頁 4,500円

近代日本政治史・思想史における重要性にもかかわらず、十分な検討が行われてこなかった福澤の議会論、憲法論、天皇論、外交論等を分析。これらの領域にあらわれた政治思想の構築過程と構造を論じ、様々な反響、政府との相剋を新資料に基づき明らかにする。 ('12)〈311.21〉

藤江邦男 著

実学の理念と起業のすすめ

—福澤諭吉と科学技術

1075-4 四六判並製 204頁 2,200円(2,000円)

('04)<336.9>

起業家精神を読み解く。科学に裏付けられた「実学」を称揚した福澤諭吉、福澤の「実学」の実践者たる北里柴三郎、藤原銀次郎らを通して、「現代の起業家像」を問う。

西澤直子 著

福澤諭吉と女性

1907-8 四六判上製 304頁 2,750円(2,500円)

('11)<367.1>

「男子亦この書を読むべし」。明治の日本で、「男女平等」を公言した福澤諭吉。彼の近代化構想に女性はいかなる位置を占めたのか。福澤の真意を読み解き、今もなお古びることのない「近代人」としての肖像を鮮やかに描き出す。

西澤直子 著

福澤諭吉とフリーラヴ

2116-3 四六判上製 280頁 3,080円(2,800円)

('14)<361.63>

近代社会における新しい家族の姿はどうあるべきなのか。人びとの一生を左右する「家」をどのように考えるのか。さまざまな機会に揺れ動きながら、両性関係と家族のゆくえを見つめ続けた福澤諭吉のあらたな側面に迫る。

渡辺徳三郎 著／山内慶太 編

新版 福澤諭吉 家庭教育のすすめ

2385-3 四六判並製 384頁 2,640円(2,400円)

('16)<379.9>

慶應義塾幼稚舎でながく教諭をつとめ、幼稚舎長の重責を担った著者が、みずからの教育経験をふまえて福澤諭吉の教育論を再構成し、現代の保護者に家庭教育の大切さを語った著作に、教育にかかわるエッセイと付録を増補。

加藤三明・山内慶太・大澤輝嘉 著

福澤諭吉 歴史散歩

1984-9 A5判並製 200頁 2,750円(2,500円)

【図】('12)<289.1>

福澤諭吉の自伝『福翁自伝』に沿いながら、中津・大阪・東京・ロンドン・パリなどの福澤諭吉ゆかりの地を辿りながら、彼が生きた時代の背景を知ることができる一冊。史跡めぐり愛好者にもおすすめ。

姜兌琬 著

福沢諭吉の初期思想

—近代的概念の受容と変容

2838-4 A5判上製 208頁 4,950円(4,500円)

('22)<121.6>

幕末～明治初年、福沢諭吉が読み込んだ西洋の書籍と、それを翻訳・翻案して刊行した書籍の文章とを丹念に検討し、そこにあらわれる翻訳思想、西洋の近代的概念の受容・変容過程を読み解く。

太田昭子 著

ヴィクトリア朝の福澤諭吉と岩倉使節団

—幕末維新期における〈知〉をめぐる旅

2892-6 A5判上製 368頁 7,590円(6,900円)

慶應義塾大学法学研究会叢書 別冊19('23)<210.593>

ヴィクトリア朝全盛期、イギリスを訪れた福澤諭吉、新高襄、久米邦武と岩倉使節団。幕末維新の時代に彼らは何を求めたのか。

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編

小幡篤次郎著作集 第一巻

2820-9 四六判上製函入 424頁 4,620円(4,200円)

('22)<081>

福澤諭吉のもっとも信頼する協力者の一人であった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第一巻では、天変地異にまつわる迷信を正し、科学的根拠を解説した翻訳書『天変地異』等を収録。

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編
小幡篤次郎著作集 第二巻

2876-6 四六判上製函入 488頁 5,280円(4,800円)

福沢諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第二巻では、トクヴィルの翻訳『上木自由之論』、J・S・ミルの翻訳『弥児氏宗教三論』等を収録。
 ('23)<081.6>

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編
小幡篤次郎著作集 第三巻

2907-7 四六判上製函入 504頁 5,500円(5,000円)

福沢諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第三巻では、フランシス・ウェーランドの*The Elements of Political Economy*の翻訳である『英氏経済論』を収録。
 ('23)<081.6>

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編
小幡篤次郎著作集 第四巻

2937-4 四六判上製函入 544頁 5,940円(5,400円)

福沢諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第四巻では、「小学歴史階梯」「小学歴史 巻一～巻三」、2020年に新たに発見された「小学地誌階梯」等を収録。
 ('24)<081.6>

小幡篤次郎 著／小幡篤次郎著作集編集委員会 編
小幡篤次郎著作集 第五巻

2971-8 四六判上製函入 712頁 7,480円(6,800円)

福沢諭吉の弟子であり協力者でもあった小幡篤次郎(1842～1905)の著作を、全5巻+別巻にまとめた初の著作集。第五巻では、「英式艦砲全書 一～二」「船用汽機新書 巻之一～二」「書簡集」を収録。
 ('24)<081.6>

小泉信三 著／山内慶太・神吉創二 編
練習は不可能を可能にす

1062-4 四六判上製 328頁 2,640円(2,400円)

果敢なる闘士たれ、潔き敗者たれ——。スポーツを語って人生の生き方におよぶ、名文集。気品あふれる文章を味わえる一冊。

('04)<780.4>

小泉信三 著／山内慶太・神吉創二・都倉武之・松永浩気 編
**小泉信三エッセイ選1
 善を行うに勇なれ**

2383-9 四六判上製 304頁 3,080円(2,800円)

戦前・戦中の慶應義塾長として、また戦後、日本を代表する言論人として執筆した、数多のモラル・バックボーンとなる文章に加え、東京オリンピック、皇太子殿下(今上天皇)に関わるエッセイ等六十余篇を収録。歿後50年記念出版。
 ('16)<914.6>

小泉信三 著／山内慶太・神吉創二・都倉武之・松永浩気 編
**小泉信三エッセイ選2
 私と福澤諭吉**

2384-6 四六判上製 304頁 3,080円(2,800円)

福澤諭吉の膝下に育ち、慶應義塾長を長く務めた小泉が描く、追憶の福澤像の数々。近代日本の偉人を温かい眼差しで見つめ、独立自尊の精神を継承する。慶應義塾ひいては近代日本の一つの思想体系をあぶり出す。
 ('17)<914.6>

小泉妙 著／山内慶太・神吉創二・都倉武之 編
父小泉信三を語る

1526-1 四六判上製 332頁 2,640円(2,400円)

小泉信三(1888-1966)生誕120年を記念して企画された、エッセイストとしても著名な小泉信三の二女からの聞き書き。良き家庭人としての小泉信三の姿が、エスプリのきいた娘の語りで生きいきとよみがえる。
 【図】('08)<289.1>

山内慶太・神吉創二・都倉武之 編

アルバム 小泉信三

1665-7 A4判変型並製 128頁 3,080円(2,800円)

日本を代表する知識人として活躍し、皇太子殿下（今上天皇）のご教育にもかかわった小泉信三の生涯の軌跡を、図版約300点と豊富な解説で伝えるオールカラー愛蔵版。小泉信三の講演二編を収めた「特別付録CD」を付す。

【図】('09)〈289.1〉

神吉創二 著

伝記 小泉信三

2159-0 A5判並製 240頁 2,640円(2,400円)

塾長として戦時の慶應義塾を守り、戦後は文筆家として日本の幅広い層に影響を与え、今上天皇の皇太子時代の御教育常時参与として世に知られる小泉信三。その生涯を、平易な文体で描いた待望の伝記。

('14)〈289.1〉

江藤淳 講演

江藤淳 漱石と近代日本文学

1912-2 B5変型音声CD3枚+解説冊子 16頁 6,600円(6,000円)

慶應義塾大学在学中に「三田文学」からデビューを飾り、戦後日本を代表する文芸評論家となった江藤淳の漱石論、近代文学論を存分に肉声で伝える。

CDシリーズ 慶應義塾の名講義・名講演 ('12)〈910.268〉

鈴木孝夫 講演

鈴木孝夫 世界の中の日本と日本語

1913-9 B5変型音声CD2枚+解説冊子 16頁 5,500円(5,000円)

日本と日本語の行く末を案じ、言語教育政策と日本人論の強烈な論客である鈴木のエネルギッシュな講義内容は、聴く者を圧倒し、そして力強く励ます。

CDシリーズ 慶應義塾の名講義・名講演 ('12)〈810.4〉

高橋誠一郎 著

新編 随筆慶應義塾

1668-8 四六判上製 404頁 3,520円(3,200円)

慶應義塾の歴史と人物を描く『随筆 慶應義塾（正）（続）』を新編集で復刊。慶應義塾普通科入学以来、八十年余を送った三田での生活のなかから生まれた痛快な出来事、恩師や朋友、後輩への追憶などを情感あふれる文章で綴る。

【図】('09)〈914.6〉

高橋誠一郎 著

新編 虎が雨

1847-7 四六判変型上製函入 224頁 7,150円(6,500円)

高橋誠一郎の描く大磯についての随筆集（『虎が雨』、一九九四年）を新編集・函入り愛蔵版で刊行。大磯の情景を描くとともに、著者の生活の中心であった慶應義塾での生活を窺うこともできる。

('11)〈914.6〉

石川忠雄 著

未来を創るころ

0705-1 四六判上製 336頁 2,420円(2,200円)

日本が21世紀を切り拓く、魅力ある国になるためには今何をなすべきかを、16年間慶應義塾長をつとめ、日本の教育界をリードしてきた著者が提言する。

('98)〈370.4〉

安西祐一郎 著

未来を先導する大学
—慶應義塾長、世界の学長と語る

1094-5 四六判並製 246頁 1,760円(1,600円)

日本の大学は、直面する時代状況と正面から向き合って、なにをなすべきなのか。慶應義塾長が、世界を先導する欧米やアジアの大学の総長・学長、日本財界、行政府等のトップリーダーと、大学について率直に語り合う対話集。

('04)〈377.04〉

安西祐一郎 著

教育が日本をひらく

—グローバル世紀への提言

1495-0 四六判上製 336 頁 2,200 円 (2,000 円)

慶應義塾長、日本私立大学連盟会長であり日本の教育界の先導役として活躍中の著者が、国際化、多様化の現代社会に必要な「未来を拓いていく人材」を育てる「教育」について、「教育立国日本」の指針を、情熱的に著したエッセイ集。 【図】(‘08)〈370.4〉

小川原正道 著

慶應義塾の近代アメリカ留学生

—文明の「知」を求めた明治の冒険

2900-8 四六判上製 268 頁 3,520 円 (3,200 円)

近代日本において、アメリカへ渡った留学生たちは何を目的として、何を学んだのか。そして、日本の近代化にどのような役割を果たしたのか。当時の資料を駆使し、慶應義塾を中心とした私学の留学生たちの個々の事績を明らかにする。 (‘23)〈377.6〉

加藤三明・山内慶太・大澤輝嘉 編著

慶應義塾 歴史散歩 キャンパス編

2469-0 A5 判並製 212 頁 2,750 円 (2,500 円)

安政五（一八五八）年開校の慶應義塾のキャンパスはまさに歴史の宝庫。震災や戦災といった幾多の苦難を乗り越えて発展してきたキャンパスの史跡、歴史ある建造物を隈なく解説するキャンパス・ガイド。「三田評論」の好評連載を書籍化。 (‘17)〈377.28〉

加藤三明・山内慶太・大澤輝嘉 編著

慶應義塾 歴史散歩 全国編

2470-6 A5 判並製 200 頁 2,750 円 (2,500 円)

全国津々浦々、果てはアメリカ、韓国まで。慶應義塾関係の史跡・ゆかりの地は広がっている。全国 200 カ所以上の史跡を訪ね歩いて解説する、歴史散歩のガイドブック。「三田評論」の好評連載を書籍化。 (‘17)〈377.28〉

阿久澤武史 著

キャンパスの戦争

—慶應日吉 1934-1949

2867-4 A5 判並製 288 頁 2,970 円 (2,700 円)

青春を謳歌していた慶應義塾大学の予科生たちが学ぶモダンな校舎はいかにして兵士たちが行き交う空間となったのか。連合艦隊司令部地下壕で知られる日吉キャンパスの誕生より米軍からの返還までを描く「戦争とキャンパス」の昭和史。 (‘23)〈377.28〉

服部禮次郎 著

慶應ものがたり

—福澤諭吉をめぐる

0828-7 四六判上製 468 頁 4,400 円 (4,000 円)

福澤諭吉と慶應義塾に対する幼年期からの関わりを福澤没後百年を期にまとめた著述集。若い世代に向けて、福澤諭吉の思想を語り、慶應義塾草創期から現在に至るまでの足跡を振り返る。 【図】(‘01)〈377.28〉

服部禮次郎 著

福澤諭吉と門下生たち

1496-7 A5 判上製 488 頁 3,850 円 (3,500 円)

福澤諭吉とその門下生の絆に着目し、慶應義塾草創期から 20 世紀にかけて、福澤の精神を受け継いだ門下生たちの人生模様を、講演録・史蹟めぐり・墓所掃苔記などで紹介する著述集。 【図】(‘09)〈289.1〉

鳥居泰彦 著

回想 慶應義塾

1993-1 A5 判上製 600 頁 6,380 円 (5,800 円)

福澤諭吉が慶應義塾を創ってから 155 年、変遷する社会のなかで社中の支援を得ながら着実に発展してきた慶應義塾の道のり、そして歴代塾長の先導と実践の軌跡を丹念にひもといてゆく。 (‘13)〈377.28〉

吉田小五郎 著

吉田小五郎随筆選 (全3巻+別冊)

2057-9 四六判上製函入平均366頁 33,000円(30,000円)

没後30年を機に、元慶應義塾幼稚舎長吉田小五郎の名隨筆を新編集で3巻に収める。教え子に慕われた教育者、日本を代表するキリシタン史研究者等、様々な側面から培った観察眼とその描写は、時代を超えて読む者を惹きつける。

('13)<914.6>

孫福弘・小島朋之・熊坂賢次 編著

未来を創る大学

—慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)挑戦の軌跡

1097-6 A5判上製482頁 3,850円(3,500円)

SFCの構想段階から、90年の開設、現在に至るまでの大学改革への挑戦を詳細に検証する画期的な大学経営論。世間に衝撃を与えた先駆的な大学改革のプロセスを紹介し、SFCがめざす大学像を浮き彫りにする。

('04)<377.28>

生田正輝 著

回想五十年 慶應義塾と私

1346-5 四六判上製240頁 3,300円(3,000円)

学徒動員による戦争体験から復学後のマス・コミュニケーション研究者としての歩み、そして、大学経営に関わるなかで直面した大学紛争の激動……。慶應義塾創立150年を期に、いま静かに振り返る「私の慶應義塾史」。

【図】('07)<916>

池田幸弘・小室正紀 編著

近代日本と経済学

—慶應義塾の経済学者たち

2244-3 A5判上製428頁 4,840円(4,400円)

福沢諭吉をはじめ慶應義塾ゆかりの主だった学者たちは、近代日本における経済学の発展にどのような足跡をのこしたのだろうか。研究と教育に生涯を捧げた経済学者たちの足跡から近代日本経済学の水脈を辿る。

('15)<331.21>

慶應義塾大学法学部 編

語り継ぐ三田法学の伝統

—慶應義塾大学法学部法律学科史

1176-8 A5判並製492頁 3,740円(3,400円)

三田山上に展開した先学の研究・教育の事跡をたどり、師友が出会い、人間的にも学問的にも親しく交わりを重ね合う場としての「三田法学」を綴る、過去も現在も変わるこたない伝統を確認し、未来をも展望する。

('06)<377.28>

池井優 著

慶應義塾大学法学部
政治学科百年小史

—師友人物記

0718-1 A5判並製296頁 2,200円(2,000円)

政治学科卒の各界で活躍する方々のエピソード、歴代専任教員のプロフィール、巻末に政治学科百年表を付す。人々の生の声を通して「政治学科百年」を位置づける。

慶大法学部政治学科開設百年記念論文集 ('98)<377.28>

池井優 著

第二の故郷 三田の山

0789-1 四六判並製252頁 2,750円(2,500円)

専門の日本外交史以外でも才筆をふるってきた著者が、義塾での出来事、自身の生き立ち、身の回りの出来事など、折にふれ、長年書きためてきた文章をまとめたもの。ユーモアと滋味にあふれる好エッセイ集。

('00)<289.1>

慶應義塾体育会蹴球部黒黄会 編

慶應義塾体育会蹴球部百年史

0796-9 B5判上製704頁 19,800円(18,000円)

日本ラグビーのルーツ校、慶應義塾蹴球部の百年の足跡を明らかにした大著。膨大な資料を駆使して書き下ろした年史を中心に、貴重な写真を豊富に収録した。広く、ラグビー関係者・愛好者の必読の書。

('00)<783>

松崎欣一 著
三田演説会と
慶應義塾系演説会

0691-7 A5判上製 620頁 8,800円 (8,000円)

明治初年以來四半世紀にわたって行われた福澤論吉と慶應義塾に関わる人々による「演説」と「演説会」の実践の跡を当時の新聞記事や活動記録などから丹念にたどった大著である。平成11年度義塾賞受賞。

福澤研究センター叢書 (98)(377.21)

野村英一 著

三田の政官界人列伝

1249-9 四六判上製 356頁 4,400円 (4,000円)

「抵抗の精神」と「独立自尊の気概」をもった54人の人物像を紹介。明治から昭和初期までの慶應義塾出身の政治家・官僚の人物像を通して、近代の黎明期から昭和の動乱期までを語り、「真の政治家・官僚とは何か」を示す。

(06)(312.8)

白井厚 監修／
慶應義塾大学経済学部白井ゼミナール 著
共同研究 太平洋戦争と慶應義塾 本文篇

1710-4 A5判並製 164頁 2,640円 (2,400円)

太平洋戦争当時の在學生1700名余りから回答を得たアンケートをもとに戦時下の学生の心を発掘したゼミの共同研究の成果。一義塾にとどまらない戦時史研究の貴重な史料。1999年刊の初版収録の「戦没者名簿」は義塾から別途刊行。

(09)(377.28)

岩田健 著／吉岡正統・近藤由紀彦・山内慶太 編
岩田健小学校劇脚本集
—指導者の劇作り入門

2442-3 A5判並製 304頁 3,300円 (3,000円)

慶應義塾幼稚舎で演劇部を創設し、学校劇作家・彫刻家として活躍した岩田健の小学校劇の脚本を一冊に集成。生徒の芸術的な創造性を伸ばすことを常に心がけていた著者によるエッセイを付す。

(17)(376)

慶應義塾幼稚舎「疎開学園の記録」編集委員会 編
慶應義塾幼稚舎疎開学園の記録 上

2284-9 B5判並製 314頁 2,750円 (2,500円)

70年前慶應義塾幼稚舎の生徒は、親元を離れ、伊豆修善寺さらには青森木造へと疎開した。食料難に苦しみ、敵機に脅えながらも元気に活動する生徒と、それを励ます教員の姿を、数々の貴重な証言をもとに描き出す。

(15)(372.1)

慶應義塾幼稚舎「疎開学園の記録」編集委員会 編
慶應義塾幼稚舎疎開学園の記録 下

2388-4 B5判並製 304頁 2,750円 (2,500円)

70年前慶應義塾幼稚舎の生徒は、親元を離れ、伊豆修善寺さらには青森木造へと疎開した。疎開中の生徒、教員の文章、当時を語る寄稿やインタビューをもれなく収め、一私立小学校の戦時の姿を浮き彫りにする。

(16)(372.1)

慶應義塾幼稚舎「疎開学園の記録」編集委員会 編
慶應義塾幼稚舎疎開学園の記録 (別巻)

2516-1 B5判並製 196頁 2,750円 (2,500円)

70年前、慶應義塾幼稚舎の疎開した生徒と教員の生活を、貴重な証言や資料とともに明らかにする「疎開学園の記録」。別巻では、「修善寺 幼稚舎疎開学園の碑」建立の記録の他、元幼稚舎主任 清岡暎一資料等を収録。

(18)(372.1)

叢書・シリーズ・著作集一覧

各書の概要と価格については、該当頁をご覧ください。

目次

アカデミック・スキルズ	241 頁	CD シリーズ 慶應義塾の名講義・名講演	258 頁
井筒俊彦英文著作翻訳コレクション	241 頁	肢体不自由教育シリーズ	258 頁
井筒俊彦全集	242 頁	シリーズ 総合政策学をひらく	258 頁
遺伝子から探る生物進化	242 頁	精選 折口信夫	258 頁
Engineering Systems	242 頁	世界を読み解く一冊の本	259 頁
オックスフォードブリテン諸島の歴史	243 頁	総合研究 現代日本経済分析 第Ⅱ期	259 頁
小幡篤次郎著作集	243 頁	地域研究講座	259 頁
怪獣化するプラットフォーム権力と法	243 頁	東南アジア地域研究入門	260 頁
韓国知識人との対話シリーズ	243 頁	特別支援教育のエッセンス	260 頁
慶應義塾大学教養研究センター選書	244 頁	西脇順三郎コレクション	260 頁
慶應義塾大学産業研究所選書	245 頁	日中戦争の国際共同研究	260 頁
慶應義塾大学商学会商学研究叢書	246 頁	入門 消費経済学	261 頁
慶應義塾大学産業研究所叢書	246 頁	バブル/デフレ期の日本経済と経済政策	261 頁
慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集	247 頁	東アジア研究所講座	261 頁
慶應義塾大学東アジア研究所叢書	247 頁	福澤諭吉著作集	262 頁
慶應義塾大学東アジア研究所 現代中国研究シリーズ	249 頁	The Thought of Fukuzawa	262 頁
慶應義塾大学東アジア研究所 現代韓国研究シリーズ	249 頁	文部省・文部科学省 著作物	263 頁
慶應義塾福沢研究センター叢書	249 頁	リアリティ・プラス	263 頁
慶應義塾大学法学研究会叢書	250 頁	IPrograms for Asian Global Legal Professions Series	264 頁
慶應義塾大学法学研究会叢書 別冊	253 頁	The Izutsu Library Series on Oriental Philosophy	264 頁
慶應義塾大学法学部政治学科 開設百年記念講座	254 頁		
慶應義塾大学法学部政治学科 開設百年記念論文集	254 頁		
慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita	254 頁		
慶應義塾保険学会叢書	255 頁		
Keio UP 選書	255 頁		
ケース・ブック	256 頁		
現代経済解説シリーズ	256 頁		
国立社会保障・人口問題研究所研究叢書	257 頁		
子どものこころと体シリーズ	257 頁		

アカデミック・スキルズ

アカデミック・スキルズ (第3版) —大学生のための知的技法入門	佐藤望編著／湯川武・横山千晶・ 近藤明彦著	-1960-3	2012	19頁
グループ学習入門—学びあう場づくりの技法	新井和広・坂倉杏介著	-2039-5	2013	19頁
データ収集・分析入門 —社会を効果的に読み解く技法	西山敏樹・鈴木亮子・ 大西幸周著	-2050-0	2013	19頁
資料検索入門—レポート・論文を書くために	市古みどり編／ 上岡真紀子・保坂陸著	-2051-7	2014	19頁
学生による学生のためのダメレポート脱出法	慶應義塾大学日吉キャンパス 学習相談員著	-2177-4	2014	20頁
実地調査入門—社会調査の第一歩	西山敏樹・常盤拓司・鈴木亮子著	-2256-6	2015	20頁
クリティカル・リーディング入門 —人文系のための読書レッスン	大出敦著	-2274-0	2015	20頁
プレゼンテーション入門 —学生のためのプレゼン上達術	大出敦編著／直健介著	-2573-4	2020	20頁

井筒俊彦英文著作翻訳コレクション [全7巻・全8冊]

老子道德経	井筒俊彦著／古勝隆一訳	-2071-5	2017	35頁
クルアーンにおける神と人間 —クルアーンの世界観の意味論	井筒俊彦著／鎌田繁監訳／仁子寿晴訳	-2416-4	2017	35頁
存在の概念と実在性	井筒俊彦著／鎌田繁監訳／仁子寿晴訳	-2073-9	2017	35頁
言語と呪術	井筒俊彦著／安藤礼二監訳／小野純一訳	-2457-7	2018	35頁
イスラーム神学における信の構造 —クルアーンの世界観の意味論	井筒俊彦著／鎌田繁監訳／仁子寿晴訳	-2458-4	2018	35頁
東洋哲学の構造 —エラノス会議講演集	井筒俊彦著／澤井義次監訳／ 金子奈央・古勝隆一・西村玲訳	-2459-1	2019	35頁
スーフィズムと老荘思想 上 —比較哲学試論	井筒俊彦著／仁子寿晴訳	-2460-7	2019	35頁
スーフィズムと老荘思想 下 —比較哲学試論	井筒俊彦著／仁子寿晴訳	-2461-4	2019	35頁

井筒俊彦全集 [全12巻・別巻]

第一巻	アラビア哲学 1935年-1948年	井筒俊彦著	-2071-5	2013	33頁
第二巻	神秘哲学 1949年-1951年	井筒俊彦著	-2072-2	2013	33頁
第三巻	ロシアの人間 1951年-1953年	井筒俊彦著	-2073-9	2014	33頁
第四巻	イスラーム思想史 1954年-1975年	井筒俊彦著	-2074-6	2014	33頁
第五巻	存在顕現の形而上学 1978年-1980年	井筒俊彦著	-2075-3	2014	33頁
第六巻	意識と本質 1980年-1981年	井筒俊彦著	-2076-0	2014	33頁
第七巻	イスラーム文化 1981年-1983年	井筒俊彦著	-2077-7	2014	34頁
第八巻	意味の深みへ 1983年-1985年	井筒俊彦著	-2078-4	2014	34頁
第九巻	コスモスとアンチコスモス 1985年-1989年	井筒俊彦著	-2079-1	2015	34頁
第十巻	意識の形而上学 1987年-1993年	井筒俊彦著	-2080-7	2015	34頁
第十一巻	意味の構造 1992年	井筒俊彦著	-2081-4	2015	34頁
第十二巻	アラビア語入門	井筒俊彦著	-2082-1	2016	34頁
別巻	井筒俊彦全集別巻 (講演音声 CD付き)	井筒俊彦著	-2083-8	2016	34頁

遺伝子から探る生物進化

1	クジラの鼻から進化を覗く	岸田拓土著	2295-5	2016	217頁
2	胎児期に刻まれた進化の痕跡	入江直樹著	-2296-2	2016	217頁
3	植物の世代交代制御因子の発見	榊原恵子著	-2297-9	2016	217頁
4	新たな魚類大系統	宮正樹著	-2298-6	2016	217頁
5	植物はなぜ自家受精をするのか	土松隆志著	-2299-3	2017	217頁
6	多様な花が生まれる瞬間	奥山雄大著	-2300-6	2018	217頁

Engineering Systems

エンジニアリングシステムズ —複雑な技術社会において人間のニーズを満たす デザイン・ストラクチャー・マトリクス DSM	オリヴィエ・L・デ・ヴェック 他著/春山真一郎 監訳	-2110-1	2014	214頁
—複雑なシステムの可視化とマネジメント	スティーブン・D・エッピン ジャー 他著/西村秀和 監訳	-2179-8	2014	214頁

オックスフォードブリテン諸島の歴史 [全11巻]

- | | | | | | | |
|----|----------------------|-------------------------|---------|------|----|---|
| 1 | ローマ帝国時代のブリテン島 | ピーター・サルウェイ編／南川高志監訳 | -1641-1 | 2012 | 63 | 頁 |
| 2 | ポスト・ローマ | トマス・チャールズ＝エドワーズ編／常見信代監訳 | -1642-8 | 2010 | — | |
| 3 | ヴァイキングからノルマン人へ | ウエンディ・デイヴィス編／鶴島博和監訳 | -1643-5 | 2015 | 64 | 頁 |
| 4 | 12・13世紀 1066年～1280年頃 | バーバラ・ハーヴェー編／吉武憲司監訳 | -1644-2 | 2012 | 64 | 頁 |
| 5 | 14・15世紀 | ラルフ・グリフィス編／北野かほる監訳 | -1645-9 | 2009 | 64 | 頁 |
| 6 | 16世紀 1485年～1603年 | パトリック・コリンソン編／井内太郎監訳 | -1646-6 | 2010 | 64 | 頁 |
| 7 | 17世紀 1603年—1688年 | ジェニー・ウァーモールド編／西川杉子監訳 | -1647-3 | 2015 | 64 | 頁 |
| 8 | 18世紀 1688年～1815年 | ポール・ラングフォード編／坂下史監訳 | -1648-0 | 2013 | 64 | 頁 |
| 9 | 19世紀 1815年～1901年 | コリン・マシュー編／君塚直隆監訳 | -1649-7 | 2009 | 64 | 頁 |
| 10 | 20世紀 1901年～1951年 | キース・ロビンズ編／秋田茂監訳 | -1650-3 | 2013 | 64 | 頁 |
| 11 | 20世紀 1945年以後 | キャスリーン・パーク監修／西沢保監訳 | -1651-0 | 2014 | 65 | 頁 |

小幡篤次郎著作集 [全5巻]

- | | | | | | | |
|----------|-----|-----------------------|---------|------|----|---|
| 小幡篤次郎著作集 | 第一巻 | 小幡篤次郎著／小幡篤次郎著作集編集委員会編 | -2820-9 | 2022 | 47 | 頁 |
| 小幡篤次郎著作集 | 第二巻 | 小幡篤次郎著／小幡篤次郎著作集編集委員会編 | -2876-6 | 2023 | 47 | 頁 |
| 小幡篤次郎著作集 | 第三巻 | 小幡篤次郎著／小幡篤次郎著作集編集委員会編 | -2907-7 | 2023 | 47 | 頁 |
| 小幡篤次郎著作集 | 第四巻 | 小幡篤次郎著／小幡篤次郎著作集編集委員会編 | -2937-4 | 2024 | 47 | 頁 |
| 小幡篤次郎著作集 | 第五巻 | 小幡篤次郎著／小幡篤次郎著作集編集委員会編 | -2971-8 | 2024 | 47 | 頁 |

怪獣化するプラットフォーム権力と法 [全4巻]

- | | | | | | | |
|-----|---|------------------------------|---------|------|-----|---|
| II | プラットフォームと権力
—How to tame the Monsters | 石塚壮太郎編 | -2979-4 | 2024 | 144 | 頁 |
| III | プラットフォームとデモクラシー
—The Future of Another Monster `Demos` | 駒村圭吾編 | -2980-0 | 2024 | 144 | 頁 |
| IV | プラットフォームと社会基盤
—How to engage the Monsters | 磯部哲編集代表／河嶋春菜・柴田洋二郎・堀口悟郎・水林翔編 | -2981-7 | 2024 | 144 | 頁 |

韓国知識人との対話シリーズ [全3巻]

- | | | | | | | |
|---|-----------|-------|---------|------|-----|---|
| 1 | 日韓の未来をつくる | 若宮啓文著 | -2226-9 | 2015 | 164 | 頁 |
| 2 | 米中の狭間を生きる | 添谷芳秀著 | -2227-6 | 2015 | 164 | 頁 |

慶應義塾大学教養研究センター選書

- | | | | | | |
|----|--|--------------------|---------|------|------|
| 1 | モノが語る日本の近現代生活 | 桜井準也著 | -1082-2 | 2004 | — |
| 2 | ことばの生態系
—コミュニケーションは何でできているか | 井上逸兵著 | 品切 | 2005 | — |
| 3 | 『ドラキュラ』からブンガク
—血、のみならず、口のすべて | 武藤浩史著 | 品切 | 2006 | — |
| 4 | アンクル・トムとメロドラマ
—19世紀アメリカにおける演劇・人種・社会 | 常山菜穂子著 | -1364-9 | 2007 | 123頁 |
| 5 | イエイツ—自己生成する詩人 | 萩原真一著 | -1735-7 | 2010 | 123頁 |
| 6 | ジュール・ヴェルヌが描いた横浜
—「八十日間世界一周」の世界 | 新島進編 | -1737-1 | 2010 | 125頁 |
| 7 | メディア・リテラシー入門
—視覚表現のためのレッスン | 佐藤元状・坂倉杏介編 | -1736-4 | 2010 | 85頁 |
| 8 | 身近なレトリックの世界を探る
—ことばからころへ | 金田一真澄著 | -1835-4 | 2011 | 40頁 |
| 9 | 触れ、語れ—浮世絵をめぐる知的冒険 | 浮世絵ってどうやってみるんだ?会議編 | -1836-1 | 2011 | 110頁 |
| 10 | 牧神の午後—マラルメを読もう | 原大地著 | 品切 | 2011 | — |
| 11 | 産む身体を描く
—ドイツ・イギリスの近代産科医と解剖図 | 石原あえか編 | -1933-7 | 2012 | 220頁 |
| 12 | 汎瞑想—もう一つの生活、もう一つの文明へ | 熊倉敬聡著 | -1934-4 | 2012 | 77頁 |
| 13 | 感情資本主義に生まれて
—感情と身体の新たな地平を模索する | 岡原正幸著 | -2042-5 | 2013 | — |
| 14 | ベースボールを読む | 吉田恭子著 | -2138-5 | 2014 | 95頁 |
| 15 | ダンテ『神曲』における数的構成 | 藤谷道夫著 | -2338-9 | 2016 | 127頁 |
| 16 | バルーの和食—やわらかな多文化主義 | 柳田利夫著 | -2418-8 | 2017 | 70頁 |
| 17 | ロシア歌物語ひろい読み
—英雄叙事詩、歴史歌謡、道化歌 | 熊野谷葉子著 | -2419-5 | 2017 | 127頁 |
| 18 | ジョン・ラスキンの労働者教育
—「見る力」の美学 | 横山千晶著 | -2515-4 | 2018 | 107頁 |
| 19 | 『修身論』の「天」
—阿部泰蔵の翻訳に隠された真相 | アルベルト・ミヤンマルティン著 | -2599-4 | 2019 | 47頁 |
| 20 | 理性という狂気
—G・パタイユから現代世界の倫理へ | 石川学著 | -2669-4 | 2020 | — |
| 21 | コミュニティと芸術
—パンデミック時代に考える創造力 | 横山千晶著 | -2739-4 | 2021 | 84頁 |
| 22 | 『ダフニスとクロエ』の世界像
—古代ギリシアの恋物語 | 中谷彩一郎著 | -2813-1 | 2022 | 127頁 |
| 23 | 「アーサー王物語」に憑かれた人々
—19世紀英国の印刷出版文化と読者 | 不破有理著 | -2887-2 | 2023 | 122頁 |

24 文芸共和国の歩き方
—書棚を遊歩するためのキーワード集

若澤佑典著 -2956-5 2024 133 頁

慶應義塾大学産業研究所選書

日本の産業構造	尾崎巖著	品切	2004	—
資金循環分析の軌跡と展望	辻村和佑編著	品切	2004	—
戦後労働史研究 早矢仕不二夫オーラルヒストリー	早矢仕不二夫著／梅崎修・ 島西智輝・南雲智映編	品切	2008	—
アメリカ経済センサス研究	菅幹雄・宮川幸三著	品切	2008	—
中国経済の地域構造	王在喆著	品切	2009	—
OECD 生産性測定マニュアル	ポール・シュライア著／ 清水雅彦監訳／佐藤隆・木崎徹訳	品切	2009	—
宇宙太陽発電衛星のある地球と将来	吉岡完治・松岡秀雄・早見均編著	品切	2009	—
戦後労働史研究 能力主義管理研究会オーラルヒストリー	八代 充史・梅崎修・島西智輝・ 南雲智映・牛島利明編	品切	2010	—
戦後労働史研究 金杉秀信オーラルヒストリー	金杉秀信著／伊藤隆・梅崎修・ 黒澤博道・南雲智映編	品切	2010	—
小尾恵一郎著作集 上巻 家計労働供給の観測と理論	小尾 恵一郎 著	品切	2010	—
数量経済史の原点—近代移行期の長州経済	西川俊作 著／牛島利明・斎藤修編	-2024-1	2013	—
小尾恵一郎著作集 下巻 経済事象に潜在する構造の探求	小尾 恵一郎 著	品切	2014	—
戦後労働史研究 『新時代の「日本的経営」』オーラルヒストリー	八代 充史・牛島利明・南雲智映・ 梅崎修・島西智輝編	-2194-1	2015	—
戦後労働史研究 日産・ルノー アライアンス オーラルヒストリー	八代充史・井原久光・牛島利明・梅崎 修・島西智輝・南雲智映・山下充 編	-2721-9	2021	205 頁
日本の経済成長とエネルギー —経済と環境の両立はいかに可能か	野村浩二 著	-2753-0	2021	188 頁

慶應義塾大学商学会商学研究叢書 [14～24 巻]

14	増補 新種保険論	庭田範秋著	品切	1992	—
15	非営利組織体会計の研究 —民法 34 条法人・社会福祉法人・宗教法人を中心として	守永誠治著	-0428-9	1989	208 頁
16	原価会計情報システム論	山口 操著	-0436-4	1989	208 頁
17	会計的統合の系譜—会計構造論の類型論的体系化	笠井昭次著	-0437-1	1989	208 頁
18	ドイツ金融資本と世界市場	赤川元章著	-0583-5	1994	196 頁
19	社会保障の発展構造	藤沢益夫著	品切	1997	—
20	中国経済近代化と体制改革	唐木園和著	-1358-8	2007	197 頁
21	会計と社会—公共会計学論考	黒川行治著	-2468-3	2017	208 頁
22	会計と会計学のレーゾン・デートル	友岡賛著	-2491-1	2018	207 頁
23	補完性の理論	木戸一夫著	-2722-6	2021	203 頁
24	中国経済の生産性分析 1992-2010	孟若燕著	-2878-0	2023	198 頁

慶應義塾大学産業研究所叢書

先物・オプション市場の計量分析	岩田暁一著	品切	1997	—
実証経済分析の基礎	中島隆信・吉岡完治編	品切	1997	—
中国の環境問題—研究と実践の日中関係	小島朋之編	品切	2000	—
アジア地域経済の再編成	佐々木楊子・木村福成編	品切	2000	—
中国の経済成長—地域連関と政府の役割	王在喆著	品切	2001	—
環境分析用産業関連表	吉岡完治他著	品切	2001	—
「豆炭」実験と中国環境問題 —瀋陽市 / 成都市におけるケーススタディ	山田辰雄編	品切	2001	—
著作物流通と独占禁止法	石岡克俊著	品切	2001	—
研究開発人材のマネジメント	石田英夫編著	品切	2002	—
資金循環分析—基礎技法と政策評価	辻村和佑・溝下雅子著	品切	2002	—
参入・退出と多角化の経済分析 —工業統計データに基づく実証理論研究	清水雅彦・宮川幸三著	品切	2003	—
資本の測定—日本経済の資本深化と生産性	野村浩二著	品切	2004	—
地球温暖化と東アジアの国際協調 —CDM 事業化に向けた実証研究	和気洋子・早見均編著	-1087-7	2004	198 頁
労使関係の変容と人材育成	戎野淑子著	品切	2006	—
環境分析用産業関連表とその応用	中野諭・早見均・中村政男・ 鈴木将之著	品切	2008	—
中国の地域産業構造分析	宮川幸三・王在喆・胡祖耀・ 清水雅彦・新井益洋・石田幸造著	品切	2008	—

国際資金循環分析—基礎技法と応用事例	辻村和佑・辻村雅子著	品切	2008	—
中国女性の就業行動 —「市場化」と都市労働市場の変容	馬欣欣著	品切	2011	—
雇用システムの多様化と国際的収斂 —グローバル化への変容プロセス	山内麻理著	-2023-4	2013	205 頁
日本的雇用慣行は変化しているのか —本社人事部の役割	一守靖著	-2321-1	2016	205 頁
醸造業の展開と地方の工業化 —本近世・近代日本の地域経済	井奥成彦・中西聡編著	2908-4	2023	181 頁

慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集 [全 12 巻]

慶應の法律学 公法Ⅰ	慶應義塾大学法学部編	-1581-0	2008	143 頁
慶應の法律学 公法Ⅱ	慶應義塾大学法学部編	-1582-7	2008	143 頁
慶應の法律学 刑事法	慶應義塾大学法学部編	-1583-4	2008	154 頁
慶應の法律学 民事法	慶應義塾大学法学部編	-1584-1	2008	148 頁
慶應の法律学 商事法	慶應義塾大学法学部編	-1585-8	2008	150 頁
慶應の法律学 民事手続法	慶應義塾大学法学部編	-1586-5	2008	147 頁
慶應の政治学 政治・社会	慶應義塾大学法学部編	-1587-2	2008	158 頁
慶應の政治学 日本政治	慶應義塾大学法学部編	-1588-9	2008	162 頁
慶應の政治学 政治思想	慶應義塾大学法学部編	-1589-6	2008	158 頁
慶應の政治学 地域研究	慶應義塾大学法学部編	-1590-2	2008	158 頁
慶應の政治学 国際政治	慶應義塾大学法学部編	-1591-9	2008	175 頁
慶應の教養学	慶應義塾大学法学部編	-1592-6	2008	138 頁

慶應義塾大学東アジア研究所叢書

慶應義塾大学地域研究センターは、2003年10月東アジア研究所に改組されました。

朝鮮戦争 —休戦 50 周年の検証・半島の内と外から	赤木完爾編著	品切	2003	—
東アジアの女神信仰と女性生活	野村伸一編著	品切	2004	—
東アジア経済研究のフロンティア	赤川元章・唐木圀和編著	品切	2004	—
グローバル・ナショナル・ローカルの現在	山本純一・野村亨編著	品切	2006	—
EU の公共政策	和気洋子・伊藤規子編著	品切	2006	—
東アジアにおけるアメリカ憲法	大沢秀介・小山剛編著	品切	2006	—
日中戦争とイスラーム —満蒙・アジア地域における統治・懐柔政策	坂本勉編著	品切	2008	—
東アジアの電子ネットワーク戦略	関根政美編	品切	2008	—

北朝鮮と人間の安全保障	小此木政夫・磯崎敦仁編	品切	2009	—
東南アジアからの問いかけ	山本信人 著	品切	2009	—
協働体主義 —中間組織が開くオルタナティブ	田島英一・山本純一編著	品切	2009	—
東アジア自転車産業論 —日中台における産業発展と分業の再編	渡辺幸男・周立群・駒形哲哉編著	品切	2009	—
東アジアにおける公共性の変容	藤田弘夫編著	品切	2010	—
現代における人の国際移動 —アジアの中の日本	吉原和男 編著	-1929-0	2013	—
中国の市場秩序 —17世紀から20世紀前半を中心に	古田和子編著	品切	2013	—
朝鮮半島の秩序再編	小此木政夫・西野純也編著	品切	2013	—
太平洋島嶼地域における情報通信政策 と国際協力	菅谷実編著	品切	2013	—
日本帝国勢力圏の東アジア都市経済	柳沢遊・木村健二・浅田進史編著	品切	2013	—
アジアの持続可能な発展に向けて —環境・経済・社会の視点から	蔽網林・田島英一編著	-2105-7	2013	176 頁
戦後アジア・ヨーロッパ関係史 —冷戦・脱植民地化・地域主義	細谷雄一編著	-2289-4	2015	176 頁
秩序変動と日本外交—拡大と収縮の七〇年	添谷芳秀編著	-2315-0	2016	164 頁
東アジア生産ネットワークと経済統合	木村福成・大久保敏弘・安藤光代・ 松浦寿幸・早川和伸著	-2333-4	2016	197 頁
現代中国の政治制度 —時間の政治と共産党支配	加茂見樹・林 載桓編著	-2505-5	2018	166 頁
中国料理と近現代日本 —食と嗜好の文化交流史	岩間一弘編著	-2643-4	2019	69 頁
アジア的空間の近代 —知とパワーのグローバル・ヒストリー	山本 信人 編著	-2663-2	2020	61 頁
毛沢東時代の政治運動と民衆の日常	鄭浩淵・中兼和津次編著	-2729-5	2021	166 頁
中国の日系企業 —蘇州と国際産業集積	植田浩史・三嶋恒平編著	-2701-1	2021	198 頁
台湾で日本人を祀る —鬼から神への現代人類学	三尾裕子編著／ 藤野陽平・原英子	-2812-4	2022	60 頁
対立と分断の中のメディア政治 —日本・韓国・インドネシア・ドイツ	山腰修三編著	-2822-3	2022	85 頁
中国共産党の統治と基層幹部	小嶋 華津子・磯部靖編	-2822-3	2023	167 頁
現代中国の国家形成 —中華民国からの連続と断絶	段瑞聡編著	-2950-3	2024	165 頁
北朝鮮を解剖する	磯崎敦仁 編著	-2996-1	2024	165 頁

慶應義塾大学東アジア研究所 現代中国研究シリーズ

救国、動員、秩序 —変革期中国の政治と社会	高橋伸夫編著	品切	2010	—
現代中国外交の六十年 —変化と持続	添谷芳秀編著	品切	2011	—
党国体制の現在 —変容する社会と中国共産党の適応	加茂具樹・小嶋華津子・星野昌裕・ 武内宏樹著	品切	2012	—
戦後日中関係と廖承志 —中国の知日派と対日政策	王雪萍 編著	-2087-6	2013	167 頁
現代中国政治研究ハンドブック	高橋伸夫編著	-2209-2	2015	167 頁
台湾をめぐる安全保障	安田淳・門間理良編著	-2316-7	2016	168 頁
中国の公共性と国家権力	小嶋華津子・島田美和編著	-2406-5	2017	168 頁
中国対外行動の源泉	加茂具樹 編著	2408-9	2017	168 頁

慶應義塾大学東アジア研究所 現代韓国研究シリーズ

韓国の少子高齢化と格差社会 —日韓比較の視座から	春木育美・東勲 編著	-1889-7	2011	163 頁
転換期の東アジアと北朝鮮問題	小此木政夫・文正仁・西野純也著	品切	2012	—
日韓政治制度比較	康元澤・浅羽祐樹・高選圭著	-2119-4	2015	165 頁

慶應義塾福沢研究センター叢書

三田演説会と慶應義塾系演説会	松崎欣一著	-0691-7	1998	131 頁
評伝 奥山春枝—近代起業家の誕生とその生涯	坂井達朗著	品切	2010	—

慶應義塾大学法学研究会叢書

- | | | | | | |
|----|---|--------------------------------|----|------|---|
| 1 | 民事訴訟法研究 | 伊東 乾著 | 品切 | 1959 | — |
| 2 | 古代政治思想史論考 | 石井良博著 | 品切 | 1959 | — |
| 3 | 経済法の基本問題 | 峯村光郎著 | 品切 | 1959 | — |
| 4 | 人工受精の諸問題—その実体と法的側面 | 小池隆一・田中実・人見康子編 | 品切 | 1960 | — |
| 5 | 外交と国際政治—理論と歴史 | 内山正熊著 | 品切 | 1960 | — |
| 6 | 産業社会学序説 | 米山桂三著 | 品切 | 1960 | — |
| 7 | アメリカの民主政治 | 藤原守胤著 | 品切 | 1970 | — |
| 8 | アメリカにおける連邦と州の法律問題 | 平 良著 | 品切 | 1961 | — |
| 9 | 日本外交史関係文献目録 | 英 修道編 | 品切 | 1968 | — |
| 10 | 農業法人の研究 | 宮崎俊行著 | 品切 | 1961 | — |
| 11 | 準契約及事務管理の研究 | 小池隆一著 | 品切 | 1962 | — |
| 12 | ソヴェートの市民—全体主義における日常生活 | A. インケレス・R. パウアー著
／生田正輝訳 | 品切 | 1963 | — |
| 13 | 西ドイツ株式法草案および理由書（1960） | 慶應義塾大学商法研究会訳 | 品切 | 1966 | — |
| 14 | 訴訟上の和解の研究 | 石川 明著 | 品切 | 1966 | — |
| 15 | 捕獲法の研究 | 前原光雄著 | 品切 | 1967 | — |
| 16 | 私法学の諸問題 | 西本辰之助著 | 品切 | 1967 | — |
| 17 | 律令制とその周辺 | 利光三津夫著 | 品切 | 1967 | — |
| 18 | 未完の革命—工業化とマルクス主義の動態 | A. B. ウラム著 / 奈良和重訳 | 品切 | 1968 | — |
| 19 | 現代法哲学の諸問題—法存在論的研究 | A. カウフマン著 /
宮沢浩一・渋谷勝久・原秀男訳編 | 品切 | 1968 | — |
| 20 | 出訴期限規則略史—明治時効法の系譜 | 内池慶四郎著 | 品切 | 1968 | — |
| 21 | 神戸寅次郎著作集（上） | 慶應義塾大学法学研究会編 | 品切 | 1969 | — |
| | 神戸寅次郎著作集（下） | 慶應義塾大学法学研究会編 | 品切 | 1970 | — |
| 22 | 西独株式法 | 慶應義塾大学商法研究会訳 | 品切 | 1982 | — |
| 23 | 外交史論集 | 英 修道著 | 品切 | 1969 | — |
| 24 | 民事慣例類集 | 手塚豊・利光三津夫編著 | 品切 | 1969 | — |
| 25 | 新株引受権の法理—株主地位の再検討 | 阪埜光男著 | 品切 | 1969 | — |
| 26 | 近代日本政治史の展開 | 中村菊男著 | 品切 | 1970 | — |
| 27 | The Basic Structure of Australian Air Law | 栗林忠男著 | 品切 | 1970 | — |
| 28 | ドイツ連邦共和国における公法の発展 | C. H. ウーレ著 / 田口精一訳 | 品切 | 1970 | — |
| 29 | 現代日本農業法学の課題 | 宮崎俊行著 | 品切 | 1971 | — |
| 30 | 日本における政党と政治意識 | 中村菊男編 | 品切 | 1971 | — |
| 31 | 法論理学の原理と方法 | イルマー・タンメロ著 / 平良・吉野一訳 | 品切 | 1971 | — |
| 32 | 中国外交と東南アジア | 松本三郎著 | 品切 | 1971 | — |
| 33 | 現代日本外交史論 | 内山正熊著 | 品切 | 1971 | — |

- | | | | | | |
|----|--|---|---------|------|------|
| 34 | 下級審商事判例評釈(昭和30年～39年) | 慶應義塾大学商法研究会編著 | 品切 | 1972 | — |
| 35 | 続律令制とその周辺 | 利光三津夫著 | 品切 | 1973 | — |
| 36 | 会社法の諸問題 | 高鳥正夫著 | 品切 | 1973 | — |
| 37 | 刑事裁判と国民性 | 青柳文雄著 | 品切 | 1976 | — |
| 38 | 強制執行法関係論文集 | ゲルハルト・リュケ著/石川明訳 | 品切 | 1976 | — |
| 39 | 西独における法曹教育と裁判所構成法 | ウィルヘルム・K・ゲック著/
慶應義塾大学司法制度研究会訳 | 品切 | 1980 | — |
| 40 | 律令制の研究 | 利光三津夫著 | 品切 | 1981 | — |
| 41 | 議決権代理行使の研究 | 加藤修著 | 品切 | 1982 | — |
| 42 | 下級審商事判例評釈(昭和45年～49年) | 慶應義塾大学商法研究会編著 | -0310-7 | 1984 | 151頁 |
| 43 | ヘック・利益法学 | P.ヘック著/津田利治訳 | 品切 | 1985 | — |
| 44 | 住民訴訟の諸問題 | 金子芳雄著 | 品切 | 1985 | — |
| 45 | 下級審商事判例評釈(昭和40年～44年) | 慶應義塾大学商法研究会編著 | -0333-6 | 1985 | 151頁 |
| 46 | 憲法と民事手続法 | K. H. シュワーブ・P. ゴット
ヴァルト・M. フォルコン
マー、P. アレンス著/石川明・
出口雅久編訳 | -0388-6 | 1988 | — |
| 47 | 大都市圏の拡大と地域変動
—神奈川県横須賀市の事例 | 十時巖周編著 | -0407-4 | 1989 | 92頁 |
| 48 | 十九世紀米国における電気事業規制の展開 | 藤原淳一郎著 | -0418-0 | 1989 | 182頁 |
| 49 | 仮の権利保護をめぐる諸問題 | 石川 明著 | 品切 | 1991 | — |
| 50 | 明治初期刑事法の基礎的研究 | 霞 信彦著 | -0461-6 | 1990 | 155頁 |
| 51 | 政治権力研究の理論的課題 | 霜野寿亮著 | -0476-0 | 1991 | 159頁 |
| 52 | 刑事手続とコンピュータ犯罪 | 安富 潔著 | 品切 | 1992 | — |
| 53 | ソヴィエト政治の歴史と構造
—中澤精次郎論文集 | 慶應義塾大学法学研究会編 | -0498-2 | 1992 | 171頁 |
| 54 | 民事訴訟法における既判力の研究 | 坂原正夫著 | 品切 | 1993 | — |
| 55 | 多国籍企業税法—移転価格の法理 | 木村弘之亮著 | 品切 | 1968 | — |
| 56 | 21世紀における法の課題と法学の使命 | 国際シンポジウム委員会編 | -0552-1 | 1993 | 141頁 |
| 57 | イデオロギー批判のプロフィール
—批判的合理主義からポストモダニズムまで | 奈良和重著 | -0568-2 | 1994 | 160頁 |
| 58 | 下級審商事判例評釈(昭和50年～54年) | 慶應義塾大学商法研究会編著 | -0617-7 | 1995 | 151頁 |
| 59 | 下級審商事判例評釈(昭和55年～59年) | 慶應義塾大学商法研究会編著 | -0618-4 | 1995 | 151頁 |
| 60 | 神戸寅次郎民法講義 | 津田利治・内池慶四郎編著 | -0619-1 | 1996 | 146頁 |
| 61 | 国家と権力の経済理論 | 田中 宏著 | 品切 | 1996 | — |
| 62 | アメリカ合衆国大統領選挙の研究 | 太田俊太郎著 | 品切 | 1996 | — |
| 63 | 法学における体系思考と体系概念
—価値判断法学とトピック法学の懸け橋 | C-W. カナリス著/
木村弘之亮代表訳 | 品切 | 1996 | — |
| 64 | 内部者取引の研究 | 並木和夫著 | -0637-5 | 1996 | 151頁 |
| 65 | The Methodological Foundations of
the Study of Politics | 根岸 毅著 | -0643-6 | 1996 | 159頁 |

- 66 横槍民法總論 津田利治著 -0642-9 1996 146 頁
- 67 帝大新人会研究 中村勝範編 -0654-2 1997 54 頁
- 68 下級審商事判例評釈(昭和60～63年) 慶應義塾大学商法研究会編著 -0736-5 1999 151 頁
- 69 ハイテク犯罪と刑事手続
(52『刑事手続とコンピュータ犯罪』増補改訂版) 安富 潔著 品切 2000 —
- 70 ジンバブウェの政治力学 井上一明著 -0868-3 2001 170 頁
- 71 ドイツ強制抵当権の法構造
—「債務者保護」のプロイセン法理の確立 斎藤和夫著 -0980-2 2003 146 頁
- 72 会社法以前 慶應義塾大学商法研究会 -0889-8 2003 149 頁
- 73 Victims and Criminal Justice:Asian
Perspective 太田達也編 -0983-3 2003 154 頁
- 74 下級審商事判例評釈(平成元年～5年) 慶應義塾大学商法研究会編著 -1217-8 2006 151 頁
- 75 下級審商事判例評釈(平成6年～10年) 慶應義塾大学商法研究会編著 -1218-5 2006 151 頁
- 76 西洋における近代的自由の起源 R.W. デイヴィス編/鷲見誠一・
田上 雅徳監訳 -1397-7 2007 138 頁
- 77 自由民権運動の研究
—急進的自由民権運動家の軌跡 寺崎修著 -1474-5 2008 54 頁
- 78 人格障害犯罪者に対する刑事制裁論
—確信犯罪人の刑事責任能力論・処分論を中心にして 加藤久雄 著 -1740-2 2010 154 頁
- 79 下級審商事判例評釈(平成11年～15年) 慶應義塾大学商法研究会編著 -1782-1 2010 152 頁
- 80 民事訴訟法における訴訟終了宣言の研究 坂原正夫著 -1747-0 2010 148 頁
- 81 ドイツ強制抵当権とBGB編纂
—ドイツ不動産強制執行法の理論的・歴史的・体系的構造 斎藤和夫著 -1881-1 2011 146 頁
- 82 前原光雄 国際法論集 中村沈編/大森正仁補訂 -1866-8 2011 155 頁
- 83 明治日本の法解釈と法律家 岩谷十郎著 -1917-7 2012 156 頁
- 84 憲法の優位 ライナー・ヴァール著/小山剛監訳 -1997-9 2012 143 頁
- 85 第一回普選と選挙ポスター
—昭和初頭の選挙運動に関する研究 玉井 清著 -2018-0 2013 162 頁
- 86 下級審商事判例評釈(平成16年～20年) 慶應義塾大学商法研究会編著 -2271-9 2015 152 頁
- 87 株式譲渡と株主権行使 山本爲三郎著 -2431-7 2017 150 頁
- 88 国際責任の履行における賠償の研究 大森正仁著 -2514-7 2018 155 頁
- 89 朝鮮分断の起源—独立と統一の相克 小此木政夫著 -2545-1 2018 61 頁
- 90 中国 統治のジレンマ
—中央・地方関係の変容と未完の再集権 磯部靖著 -2648-9 2019 166 頁
- 91 競争法におけるカルテル規制の再構築
—日米比較を中心として 田村次朗 著 -2748-6 2021 156 頁
- 92 国家・メディア・コミュニティ 大石裕著 -2787-5 2022 163 頁
- 93 天皇・皇室制度の研究
—天皇制国家形成期の法と政治 笠原英彦著 -2811-7 2022 52 頁

- 94 現代日本行政の比較分析
—信頼・環境・ガバナンス 大山耕輔著 -2974-9 2024 163 頁

慶應義塾大学法学研究会叢書 別冊

- | | | | | | |
|----|---|------------------------------|---------|------|-------|
| 1 | ジュリヤン・グリーン | 佐分純一著 | 品切 | 1964 | — |
| 2 | 象徴の意味—アメリカ文学古典の研究異稿 | D. H. ロレンス著/海野厚訳 | 品切 | 1972 | — |
| 3 | ポール・ヴァレリー | 山田直著 | 品切 | 1974 | — |
| 4 | 詩不可視なるもの | 小浜俊郎著 | 品切 | 1975 | — |
| 5 | Rhyme and Pronunciation (中英語の
脚韻と発音) : some studies of English
rhymes from Kyng Alisaunder to Skelton | 池上昌著 | 品切 | 1984 | — |
| 6 | シェイクスピア悲劇の研究—闇と光 | 黒川高志著 | 品切 | 1984 | — |
| 7 | 根源と流動
—Vorsokratiker・Herakleitos・Hegel 論攷 | 山崎照雄著 | -0314-5 | 1985 | 24 頁 |
| 8 | 詩場所なるもの
—フランス近代詩人論 (II) | 小浜俊郎著 | -0344-2 | 1992 | 129 頁 |
| 9 | ホーフマンスタールの青春
—夢幻の世界から実在へ | 小名木榮三郎著 | -0493-7 | 1992 | 126 頁 |
| 10 | ウィリアム・クーパー詩集
—『課題』と短編詩 | 林瑛二訳 | -0494-4 | 1992 | — |
| 11 | 自然と対話する魂の軌跡
—アーダルベルト・シュティフター論 | 小名木榮三郎著 | -0551-4 | 1994 | 126 頁 |
| 12 | プルーストの詩学 | 櫻木泰行著 | -0683-2 | 1999 | 125 頁 |
| 13 | ネルヴァルの幻想世界
—その虚無意識と救済願望 | 井田三夫著 | -1152-2 | 2005 | 125 頁 |
| 14 | テオフィル・ド・ヴィオー
—文学と思想 | 井田三夫著 | -1475-2 | 2008 | 125 頁 |
| 15 | 詐欺師ジョエル・ソープの変貌 | H. フレデリック著/久我俊二訳 | -1865-1 | 2011 | 124 頁 |
| 16 | アンドレ・ブルトンの詩的世界 | 朝吹亮二著 | -2272-6 | 2015 | 126 頁 |
| 17 | 国際的視野からみる近代日本の女性史 | 富田裕子、ダニエルズ・ゴードン編著/
横山千晶監訳 | -2702-2 | 2020 | 87 頁 |
| 18 | D. H. ロレンス研究
—小説・思想・本文校訂 | 武藤浩史著 | -2857-5 | 2022 | 123 頁 |
| 19 | ヴィクトリア朝の福澤諭吉と岩倉使節団
—幕末維新期における〈知〉をめぐる旅 | 太田昭子著 | -2892-6 | 2023 | 53 頁 |
| 20 | 第二次世界大戦期イギリスのラジオと二つの
戦争文化—(BBC、プロバガンダ、モダニズム) | 永嶋友著 | -2982-4 | 2024 | 65 頁 |

慶應義塾大学法学部政治学科
開設百年記念論文集 [全5巻・別巻1]

近代国家の再検討	鷺見誠一・蔭山宏編	-0716-7	1998	162	頁
政治・社会理論のフロンティア	田中宏・大石裕編	-0717-4	1998	160	頁
日本政治の構造と展開	笠原英彦・玉井清編	-0713-6	1998	161	頁
地域研究と現代の国家	富田広士・横手慎二編	-0714-3	1998	175	頁
冷戦後の国際政治—実証・政策・理論	添谷芳秀・赤木完爾編	-0715-0	1998	176	頁
政治学科百年小史—師友人物記	池井優著	-0718-1	1998	131	頁

慶應義塾大学法学部政治学科
開設百年記念講座 [全5巻]

二一世紀国際政治の展望	添谷芳秀編	品切	1999	—	
現代アジア危機からの再生	国分良成編	品切	1999	—	
日本政治の過去・現在・未来	小林良彰編	-0743-3	1999	162	頁
変動する政治と社会—解説の手法	根岸毅・大石裕編	-0744-0	1999	159	頁
現代意識の諸相—学問・芸術からの照射	鷺見誠一編	-0745-7	1999	211	頁

慶應義塾大学三田哲学会叢書 ars incognita

モデル構成から家族社会学へ	渡辺秀樹著	-2122-4	2014	89	頁
感情を生きる —パフォーマティブ社会学へ	岡原正幸編著	-2123-1	2014	81	頁
何が進学格差を作るのか —社会階層研究の立場から	鹿又伸夫著	-2167-5	2014	82	頁
小さな倫理学入門	山内志朗著	-2276-4	2015	38	頁
伊藤仁斎の思想世界 —仁斎学における「天人合一」の論理	山本正身著	-2275-7	2015	42	頁
「領土」としてのメディア —ディアスポラの母国メディア利用	李光鎬著	-2354-9	2016	86	頁
コミュニケーションの哲学入門	柏端達也著	-2392-1	2016	24	頁
智慧の系譜 —ロシアの愛智の精神と大乘仏教	谷寿美著	-2417-1	2017	27	頁
ゲームの面白さとは何だろうか	大森貴秀・原田隆史・ 坂上貴之著	品切	2017	—	
日本美術がワカル本—「女性性」の文化	林温著	-2488-1	2017	110	頁
裁判員の判断の心理—心理学実験から迫る	伊東裕司著	-2605-2	2019	723	頁

タブローの「物語」—フランス近世絵画史入門	望月典子著	-2709-7	2020	110	頁
アーツ・マネジメントの基本	中尾知彦 著	-2766-0	2021	106	頁
人間は利己的か—イギリス・モラリストの論争を読む	柘植尚則著	-2821-6	2022	39	頁
デジタル世界図絵—ヴァーチャル・ミュージアムの取組み	眞壁宏幹・眞壁ゼミ著	-2859-9	2022	106	頁
チームとリーダーシップの心理学	今井芳昭著	-2932-9	2023	73	頁
意識と目的の科学哲学	田中泉史・鈴木大地・ 太田紘史著	-2962-6	2024	38	頁

慶應義塾保険学会叢書

保険進化と保険事業	堀田一吉・岡村国和・石田成則編著	品切	2006	—
保険事業のイノベーション —商品開発・事業展開と経営革新	石田成則編著	品切	2008	—
保険学のフロンティア	石田重森編著	品切	2008	—
人口減少時代の保険業	田畑康人・岡村国和編著	-1824-8	2011	203 頁
高齢者の交通事故と補償問題	堀田一吉・山野嘉朗編著	-2198-9	2015	204 頁
デジタル化時代の自動車保険	堀田一吉・山野嘉朗・加瀬幸喜編著	-2804-9	2022	204 頁
企業のリスクマネジメントと保険 —日本企業を取り巻く環境変化とERM・保険戦略	柳瀬典由 編著	-2948-0	2024	204 頁

Keio UP 選書

成熟時代の日米論争	薬師寺泰蔵・添谷芳秀・吉野直行・ 田村次朗・田中俊郎著	品切	1996	—
マルチメディア社会の著作権	苗村憲司・小宮山宏之編著	品切	1997	—
「スポーツ医学」のすすめ I Basic	山崎元監修／慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター編	品切	1997	—
「スポーツ医学」のすすめ II Action	山崎元監修／慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター編	-0660-3	1997	—
法と正義のイコノロジー	森征一・岩谷十郎編	品切	1997	—
メルヘンの履歴書—時空を超える物語の系譜	宮下啓三著	品切	1997	—
デジタルメディア革命 —21世紀の人間／社会／教育	徳田英幸・梅垣理郎・武藤佳恭・ 村井純・花田光世・田村次朗・ 斎藤信男著	品切	1998	—
福沢諭吉の横顔	西川俊作著	-0684-9	1998	45 頁
奥野信太郎 中国随筆集	奥野信太郎著	品切	1998	—
ふだん着の福澤諭吉	西川俊作・西澤直子編	品切	1998	—
21世紀の医学—最先端技術と人に優しい医療	北島政樹・永田守男編	品切	1998	—
福澤諭吉論の百年	西川俊作・松崎欣一編	-0732-7	1999	45 頁

日本の医療行政—その歴史と課題	笠原英彦著	品切	1999	—
近代トルコ見聞録	長場紘著	品切	1999	—
東京のグランドデザイン —都市経営フォーラム講演録	伊藤滋著	品切	2000	—
知的創造時代の知的財産	清水啓助・井手秀樹・苗村憲司・ 馬場錬成・田村次朗・君嶋祐子編著	品切	2000	—
福澤諭吉を描いた絵師—川村清雄伝	林えり子著	品切	2000	—
罌堂 尾崎行雄	相馬雪香・富田信男・青木一能編著	品切	2000	—
21世紀のこどもたち —初等・中等教育のモデルを求めて	矢作恒雄・金子郁容他編著	品切	2001	—

ケース・ブック

I ケース・メソッド入門	石田英夫・星野裕志・大久保隆弘編著	品切	2007	—
II 挑戦する企業	石田英夫・星野裕志・大久保隆弘編著	品切	2007	—
III 日本型HRM	石田英夫著	品切	2008	—
IV 社会イノベータ	飯盛義徳著	品切	2009	—
V 地域と社会を変えた起業家たち	石田英夫編著／星野裕志・竹内伸一・ 国保祥子・八木陽一郎 著	-2113-2	2014	200 頁

現代経済解説シリーズ

失業なき雇用流動化—成長への新たな労働市場改革	山田久著	-2345-7	2016	192 頁
金融政策の「誤解」—“壮大な実験”の成果と限界	早川英男著	-2356-3	2016	190 頁
国民視点の医療改革—超高齢社会に向けた技術革新と制度	翁百合著	-2441-6	2017	195 頁
アジア都市の成長戦略 —「国の経済発展」の概念を変えるダイナミズム	後藤康浩著	2524-6	2018	196 頁
日本の水産資源管理—漁業衰退の真因と復活への道を探る	片野歩・阪口功著	-2580-2	2019	192 頁
日本のセーフティーネット格差 —労働市場の変容と社会保険	酒井正著	-2649-6	2020	195 頁
医療保険制度の再構築 —われつつある「社会保険としての機能」を取り戻す	西沢和彦著	-2707-3	2020	195 頁
「副業」の研究—多様性がもたらす影響と可能性	川上淳之著	-2733-2	2021	193 頁
地域金融の経済学—人口減少下の地方活性化と銀行業の役割	小倉義明著	-2757-8	2021	190 頁
成長の臨界—「飽和資本主義」はどこへ向かうのか	河野龍太郎著	-2834-6	2022	187 頁

少人数学級の経済学 —エビデンスに基づく教育政策へのビジョン	北條雅一著	-2888-9	2023	96 頁
「新しい国民皆保険」構想 —制度改革・人的投資による経済再生戦略	田中秀明著	-2916-9	2023	195 頁
輸入ショックの経済学—インクルーシブな貿易に向けて	遠藤正寛著	-2928-2	2023	189 頁
円の実力—為替変動と日本企業の通貨戦略	佐藤清隆著	-2924-4	2023	189 頁
地域医療の経済学 —医療の質・費用・ヘルスリテラシーの効果	井伊雅子著	-2958-9	2024	195 頁
十四億人の安寧—デジタル国家中国の社会保障戦略	片山ゆき著	-2984-8	2024	198 頁
現代日本の金融システム —パフォーマンス評価と展望	内田浩史著	-2983-1	2024	191 頁

国立社会保障・人口問題研究所研究叢書

日本社会の生活不安—自助・共助・公助の新たなかたち	西村周三監修	-1918-4	2012	—
地域包括ケアシステム —「住み慣れた地域で老いる」社会をめざして	西村周三監修	-2022-7	2013	194 頁
社会保障費用統計の理論と分析 —事実に基づく政策議論のために	西村周三監修	-2126-2	2014	194 頁
日本の居住保障 —定量分析と国際比較から考える	田辺国昭・岡田徹太郎・ 泉田信行監修	-2744-8	2021	194 頁

子どものころと体シリーズ

学校の先生にも知ってほしい 慢性疾患の子どもの学校生活	満留昭久編	-2094-4	2014	100 頁
発達障害の疑問に答える	黒木俊秀編著	-2236-8	2015	100 頁
学校の先生にも知ってほしい アレルギーの子どもの学校生活	西間三馨編著	-2237-5	2015	100 頁
学校の先生・SCにも知ってほしい 不登校の子どもに何が必要か	増田健太郎編著	-2238-2	2016	100 頁

CDシリーズ 慶應義塾の名講義・名講演

小泉信三 福澤諭吉を語る	小泉信三講演	品切	2011	—
西脇順三郎 最終講義	西脇順三郎講演	品切	2011	—
江藤淳 漱石と近代日本文学	江藤淳講演	-1912-2	2012	119 頁
鈴木孝夫 世界の中の日本と日本語	鈴木孝夫講演	-1913-9	2012	40 頁

肢体不自由教育シリーズ [全4巻]

1 肢体不自由教育の基本とその展開	日本肢体不自由教育研究会監修	-1409-7	2007	104 頁
2 コミュニケーションの支援と授業づくり	日本肢体不自由教育研究会監修	品切	2008	—
3 これからの健康管理と医療的ケア	日本肢体不自由教育研究会監修	品切	2008	—
4 専門性向上につなげる授業の評価・改善	日本肢体不自由教育研究会監修	品切	2009	—

シリーズ 総合政策学をひらく [全5巻]

流動する世界秩序とグローバルガバナンス	神保謙・廣瀬陽子編	-2868-1	2023	210 頁
言語文化とコミュニケーション	宮代康丈・山本薫編	-2869-8	2023	210 頁
社会イノベーションの方法と実践	宮垣元・琴坂将広編	-2870-4	2023	210 頁
公共政策と変わる法制度	新保史生・和田龍磨編	-2871-1	2023	210 頁
総合政策学の方法論的展開	桑原武夫・清水唯一朗編	2872-8	2023	210 頁

精選 折口信夫 [全6巻]

I 異郷論・祭祀論	折口信夫著・岡野弘彦編	-2548-2	2018	58 頁
II 文学発生論・物語史論	折口信夫著・岡野弘彦編	-2549-9	2018	58 頁
III 短歌史論・迢空短歌編	折口信夫著・岡野弘彦編	-2550-5	2018	58 頁
IV 文学発生論・物語史論	折口信夫著・岡野弘彦編	-2551-2	2019	59 頁
V 随想ほか・迢空詩編	折口信夫著・岡野弘彦編	-2552-9	2019	59 頁
VI アルバム	國學院大學折口博士記念古代研究所監修・ 折口信夫著・岡野弘彦編	-2553-6	2019	59 頁

世界を読み解く一冊の本 [全 10 巻]

大槻文彦『言海』—辞書と日本の近代	安田敏朗著	-2554-3	2018	40 頁
クルアーン—神の言葉を誰が聞くのか	大川玲子著	2555-0	2018	79 頁
西遊記—妖怪たちのカーニヴァル	武田雅哉著	2556-7	2019	37 頁
チョーサー『カンタベリー物語』—ジャンルをめぐる冒険	松田隆美著	2560-4	2019	65 頁
百科全書—世界を書き換えた百科事典	井田尚著	2558-1	2019	26 頁
ボルヘス『伝奇集』—迷宮の夢見る虎	今福龍太著	2562-8	2019	127 頁
旧約聖書—〈戦い〉の書物	長谷川修一著	2563-5	2020	78 頁
エーコ『薔薇の名前』—迷宮をめぐる〈はてしない物語〉	函師宣忠著	2559-8	2021	127 頁
空海『三教指帰』—桓武天皇への必死の諫言	藤井淳	2561-1	2022	78 頁
オーウェル『一九八四年』—ディストピアを生き抜くために	川端康雄著	2557-4	2022	123 頁

総合研究 現代日本経済分析 第Ⅱ期

米作農業の政策効果分析	黒田諠著	-2241-2	2015	188 頁
水資源の国際経済学	佐藤正弘著	-2214-6	2015	196 頁
歴史としての大衆消費社会—高度成長とは何だったのか？	寺西重郎著	2447-8	2017	189 頁

地域研究講座

地域研究と第三世界	慶應義塾大学地域研究センター編	-0440-1	1989	51 頁
アジア・太平洋経済圏の新時代	慶應義塾大学地域研究センター編	-0488-3	1991	197 頁
アジア・太平洋新秩序の模索	慶應義塾大学地域研究センター編	-0579-8	1994	169 頁
民族・宗教・国家—現代アジアの社会変動	慶應義塾大学地域研究センター編	品切	1995	—
シンポジウム 華南—華僑・華人の故郷	慶應義塾大学地域研究センター編	品切	1992	—
アジアの物流—現状と課題	慶應義塾大学地域研究センター編	品切	1997	—
アジアの金融・資本市場—危機の内層	慶應義塾大学地域研究センター編	品切	2000	—
変わる東南アジア—危機の教訓と展望	慶應義塾大学地域研究センター編	-0904-8	2002	169 頁
21 世紀とイスラーム—その多様性と現代的課題	慶應義塾大学地域研究センター編	-1052-5	2003	79 頁

東南アジア地域研究入門

1	環境	山本信人監修・井上真編著	-2394-5	2017	168	頁
2	社会	山本信人監修・宮原暁編著	-2395-2	2017	168	頁
3	政治	山本信人編著	-2396-9	2017	169	頁

特別支援教育のエッセンス [全5巻]

視覚障害教育の基本と実践	齊藤宇開・肥後祥治・徳永豊編	2861-2	2023	103	頁
聴覚障害教育の基本と実践	穴戸和成・原田公人・庄司美千代編	-2862-9	2023	103	頁
知的障害教育の基本と実践	佐藤克敏・武富博文・徳永豊編	-2863-6	2023	103	頁
肢体不自由教育の基本と実践	徳永豊・吉川知夫・一木薫編	-2864-3	2023	103	頁
自閉スペクトラム症教育の基本と実践	齊藤宇開・肥後祥治・徳永豊編	-2865-0	2023	103	頁

西脇順三郎コレクション [全6巻]

I	詩集 1—ambarvalia / 旅人かへらず / 近代の寓話	西脇順三郎著 / 新倉俊一編	品切	2007	—	
II	詩集 2—第三の神話 / 失われた時 / 豊饒の女神 / えてるにたす / 宝石の眠り	西脇順三郎著 / 新倉俊一編	品切	2007	—	
III	翻訳詩集—ヂオイス詩集 / 荒地 / 四つの四重奏 曲 (エリオット) / 詩集 (マラルメ)	西脇順三郎著 / 新倉俊一編	-1373-1	2007	128	頁
IV	評論集 1—超現実主義詩論 / シュルレアリスム 文学論 / 輪のある世界 / 純粹な鷺	西脇順三郎著 / 新倉俊一編	-1374-8	2007	—	
V	評論集 2—ヨーロッパ文学	西脇順三郎著 / 新倉俊一編	-1375-5	2007	128	頁
VI	随筆集	西脇順三郎著 / 新倉俊一編	-1376-2	2007	128	頁

日中戦争の国際共同研究

1	中国の地域政権と日本の統治	姫田光義・山田辰雄編	品切	2006	—	
2	日中戦争の軍事的展開	波多野澄雄・戸部良一編	品切	2006	—	
3	日中戦争期中国の社会と文化	エズラ・ヴォーゲル・平野健一郎編	品切	2010	—	
4	国際関係のなかの日中戦争	西村成雄・石島紀之・田嶋信雄編	品切	2011	—	
5	戦時期中国の経済発展と社会変容	久保亨・波多野澄雄・西村成雄編	品切	2014	—	
6	日中終戦と戦後アジアへの展望	波多野澄雄・久保亨・中村元哉編	-2486-7	2017	166	頁

入門 消費経済学 [全6巻]

- | | | | | | |
|---|-------------|-------------------|---------|------|-------|
| 1 | 経済と消費者 | 嶋村紘輝・酒井徹編著 | 品切 | 2009 | — |
| 2 | 金融と消費者 | 関谷喜三郎・関川靖編著 | 品切 | 2009 | — |
| 3 | 環境と消費者 | 石橋春男 編著 | 品切 | 2010 | — |
| 4 | 法と消費者 | 西村多嘉子・藤井千賀・森宮勝子編著 | 品切 | 2010 | — |
| 5 | マーケティングと消費者 | 朝岡敏行編著 | -1508-7 | 2012 | 178 頁 |
| 6 | 流通と消費者 | 岩永忠康・佐々木保幸編著 | 品切 | 2008 | — |

バブル／デフレ期の日本経済と経済政策 [全7巻]

- | | | | | | |
|---|--------------|--------------------------------|---------|------|-------|
| 1 | マクロ経済と産業構造 | 内閣府経済社会総合研究所 企画・監修／
深尾京司編集 | 品切 | 2009 | — |
| 2 | デフレ経済と金融政策 | 内閣府経済社会総合研究所 企画・監修／
吉川洋編集 | 品切 | 2009 | — |
| 3 | 国際環境の変化と日本経済 | 内閣府経済社会総合研究所 企画・監修／
伊藤元重編集 | 品切 | 2009 | — |
| 4 | 不良債権と金融危機 | 内閣府経済社会総合研究所 企画・監修／
池尾和人編集 | 品切 | 2009 | — |
| 5 | 財政政策と社会保障 | 内閣府経済社会総合研究所 企画・監修／
井堀利宏編集 | -1678-7 | 2010 | 188 頁 |
| 6 | 労働市場と所得分配 | 内閣府経済社会総合研究所 企画・監修／
樋口英雄編集 | 品切 | 2010 | — |
| 7 | 構造問題と規制緩和 | 内閣府経済社会総合研究所 企画・監修／
寺西 重郎編集 | -1680-0 | 2010 | — |

東アジア研究所講座

慶應義塾大学地域研究センターは、2003年10月東アジア研究所に改組されました。

- | | | | | |
|-------------------------|--------|---------|------|-------|
| 世界のなかの東アジア | 国分良成編 | 品切 | 2006 | — |
| 東アジアの近代と日本 | 鈴木正崇編 | 品切 | 2007 | — |
| 東アジアの民衆文化と祝祭空間 | 鈴木正崇編 | -1711-1 | 2009 | 71 頁 |
| 南アジアの文化と社会を読み解く | 鈴木正崇編 | 品切 | 2011 | — |
| アジアの「核」と私たち—フクシマを見つめながら | 高橋伸夫編 | -2093-7 | 2014 | 175 頁 |
| アジアの文化遺産—過去・現在・未来 | 鈴木正崇編 | -2235-1 | 2015 | 95 頁 |
| 都市から学ぶアジア経済史 | 古田和子編著 | -2597-0 | 2019 | 182 頁 |
| 素顔の現代インド | 田所昌幸編 | -2740-0 | 2021 | 169 頁 |

福澤諭吉著作集 [全 12 巻]

第 1 巻	西洋事情	福澤諭吉著／マリオン・ソシエ・西川俊作編	-0877-5	2002	42 頁
第 2 巻	世界国尽 窮理図解	福澤諭吉著・中川真弥編	-0878-2	2002	42 頁
第 3 巻	学問のすゝめ	福澤諭吉著／小室正紀・西川俊作編	-0879-9	2002	43 頁
第 4 巻	文明論之概略	福澤諭吉著／戸沢行夫編	-0880-5	2002	43 頁
第 5 巻	学問之独立 慶應義塾之記	福澤諭吉著／西川俊作・山内慶太編	-0881-2	2002	43 頁
第 6 巻	民間経済録 実業論	福澤諭吉著／小室正紀編	-0882-9	2003	43 頁
第 7 巻	通俗民権論 通俗国権論	福澤諭吉著／寺崎修編	-0883-6	2003	43 頁
第 8 巻	時事小言 通俗外交論	福澤諭吉著／岩谷十郎・西川俊作編	-0884-3	2003	43 頁
第 9 巻	丁丑公論 瘠我慢の説	福澤諭吉著／坂本多加雄編	-0885-0	2002	43 頁
第 10 巻	日本婦人論 日本男子論	福澤諭吉著／西澤直子編	-0886-7	2003	43 頁
第 11 巻	福翁百話	福澤諭吉著／服部礼次郎編	-0887-4	2003	44 頁
第 12 巻	福翁自伝 福澤全集緒言	福澤諭吉著／松崎欣一編	-0888-1	2003	44 頁

※福澤著作集のうち以下のものにはコンパクト版（普及版）があります。

西洋事情	1622-0	2009	44 頁
学問のすゝめ	1623-7	2009	44 頁
文明論之概略	1624-4	2009	44 頁
福翁百話	1625-1	2009	44 頁
福翁自伝 福澤全集緒言	1626-8	2009	44 頁

The Thought of Fukuzawa

1	An Outline of a Theory of Civilization [文明論之概略]	福澤諭吉著／ デヴィッド・A・デイルワース、 G・キャメロン・ハースト III 訳	-1560-5	2008	44 頁
2	An Encouragement of Learning [学問のすゝめ]	福澤諭吉著／ デヴィッド・A・デイルワース訳	-1684-8	2012	45 頁
3	Fukuzawa Yukichi on Women and the Family	福澤諭吉著／ ポールハチェットヘレン訳	-2414-0	2017	45 頁

文部省・文部科学省著作物

情緒障害児指導事例集—自閉児を中心として	文部省著	品切	1980	—
病弱教育の手引—病理・保健編	文部省著	品切	1981	—
病弱教育の手引—指導編	文部省著	品切	1985	—
歩行指導の手引	文部省著	品切	1985	—
観察と実験の指導	文部省著	品切	1986	—
視覚障害児のための言語の理解と表現の指導	文部省著	品切	1987	—
訪問教育の指導の実際	文部省著	-0398-5	1988	—
聾学校中学部国語（言語編教科書指導書）	文部省著	品切	1987	—
学校給食指導の手引き	文部省著	品切	1992	—
遊びの指導の手引	文部省著	-0544-6	1993	105 頁
日常生活の指導の手引（改訂版）	文部省著	-0556-9	1994	105 頁
中学校国語指導資料 国語科における学習指導と調査—作文の学習指導	文部省著	品切	1993	—
中学校社会指導資料 作業的、体験的学習の充実—社会化における学習指導の工夫と評価	文部省著	品切	1993	—
中学校特別活動指導資料 指導の改善と評価の工夫	文部省著	品切	1993	—
国語科教科書指導書—聾学校小学部2年用	文部省著	品切	2096	—
こくご☆こくご☆☆こくご☆☆☆教科書解説	文部科学省著	品切	2002	—
国語☆☆☆☆教科書解説	文部科学省著	品切	2002	—
さんすう☆さんすう☆☆さんすう☆☆☆教科書解説	文部科学省著	品切	2002	—
数学☆☆☆☆教科書解説	文部科学省著	品切	2002	—

リアリティ・プラス

社会システム理論—不透明な社会を捉える知の技法	井庭崇編著	-1892-7	2013	81 頁
パターン・ランゲージ—創造的な未来をつくるための言語	井庭崇編著	-1987-0	2013	81 頁
クリエイティブ・ラーニング—創造社会の学びと教育	井庭崇編著	-1987-0	2019	81 頁

Programs for Asian Global Legal Professions Series

Comparative Legal Education from Asian Perspective	KEIGLAD 編	-2463-8	2017	142 頁
Challenges for Studying Law Abroad in the Asian Region	KEIGLAD 編	-2504-8	2018	142 頁
How Civil Law Is Taught in Asian Universities	KEIGLAD 編	-2589-5	2019	142 頁
How Public Law Is Taught in Asian Universities	KEIGLAD 編	-2660-1	2020	142 頁
Promoting the Rule of Law in Asian Dynamics	KEIGLAD 編	-2728-8	2021	142 頁

The Izutsu Library Series on Oriental Philosophy

1	Lao-tzū The Way and Its Virtue	井筒俊彦訳／著	品切	2001	—
2	Traité sur l'acte de foi dans le Grand Véhicule	フレデリック・ジラル 著	-1058-7	2004	78 頁
3	Dōgen "Shōbōgenzō" Ausgewahlte Schriften	ロルフ・エルバーフェルト 著／大橋良介編訳	-1201-7	2006	78 頁
4	The Structure of Oriental Philosophy Collected Papers of the Eranos Conference vol. I	井筒俊彦著	(Hardcover 版) 品切 (Paperback 版) 品切	2008	—
	The Structure of Oriental Philosophy Collected Papers of the Eranos Conference vol. II	井筒俊彦著	(Hardcover 版) -1431-8 (Paperback 版) 品切	2008	—
5	Kūkai on the Philosophy of Language	高木 紳元、 トーマス・ドライトライン訳註	品切	2012	—

❖ 定期刊行物 ❖

■ 慶應義塾大学の各種機関誌

法学研究

(月刊)

慶應義塾大学法学研究会編

1部定価 1,100円(本体 1,000円) ㊦ 94円 年 11,000円(送料込)

三田商学研究

(隔月刊)

慶應義塾大学商学会編

1部定価 1,100円(本体 1,000円) ㊦ 310円 年 8,460円(送料込)

KEIO BUSINESS REVIEW

慶應義塾大学商学会編

1部定価 880円(本体 800円) ㊦ 310円

慶應義塾大学

大学院法学研究科論文集(年1回)

慶應義塾大学法学研究会編

1部定価 1,650円(本体 1,500円) ㊦ 310円

■ その他の定期刊行物

三田文学

(季刊)

三田文学会発行

1部定価 1,000円(本体 909円)

※直接のご注文は、三田文学会(Tel. 03-3451-9053)まで



子どもの心とからだを考え・支える人のために

教育と医学

編集 教育と医学の会（九州大学内） 発行 慶應義塾大学出版会 奇数月1日発行（偶数月27日発売）
A5判・88頁

教育と医学の会とは

1953（昭和28）年に九州大学の医学部と教育学部の教員が、子どもの健全な発達には教育と医学の連携が必要であるという理念のもとに結成されました。現在は、九州大学や福岡大学など福岡を中心とした有志教員（心理学、教育学、小児科学、精神医学、看護学など）が集まり編集にあたっています。

毎号、以下の3つの分野から1つを特集し、多角的な視点から、臨床家・実践家が解説します。

発達障害、特別支援教育	教育、医学、心理の視点から、臨床家・実践家が最新の知見、学校現場で役立つ情報を提供します。
子どもの心	いじめ、不登校などにも関連する、子どもの発達と心をめぐるさまざまな問題、その対策と支援を考えます。
教育方法	教授法、学級・学校経営、教員の働き方、コミュニケーションなど、喫緊の課題を取り上げます。

また、教育・心理・医学の分野における気鋭の論者・実践家による論考も連載中。これらの分野に関し新たな知見を得ることができます。

メールマガジン「教育と医学」も毎月配信中！ 下記 Web サイトからご登録下さい。

最新号の紹介、特集関連の新刊書や研修会の案内など情報満載です。本誌と併せてぜひご活用下さい。

特集テーマ

2024年（第72巻）

- 1・2月号 特集 生きる力を育む子育て——「令和の子育て」を考える
- 3・4月号 特集 発達障害のグレーゾーンの子どもたち——その理解と支援
- 5・6月号 特集 教師のキャリアを考える
- 7・8月号 特集 子どもを危険から守る——犯罪・非行・事故への対応と支援
- 9・10月号 特集 子ども的心と育ちを理解するツール
- 11・12月号 特集 早期教育の再考——多様な子どもへの支援を考える

定価 1部定価840円（本体764円）送料88円
定期購読料1年分（6冊）4,650円（税・送料込、発行所直接）

本誌のご購読について

本誌は、各号単独でもご購入できますが、定期購読をお勧めします。お近くの書店または本誌 web サイトからお申し込み下さい。（雑誌コード03023）
バックナンバーも同様にご注文いただけます。

『教育と医学』web サイト

<https://www.keio-up.co.jp/kyouikutoigaku/>



慶應カレンダー 2025

KEIO CALENDAR 2025

彩り美しい和・洋の貴重書を12カ月にあしらった
壁掛けカレンダー（A3判）です。

それぞれの貴重書の解説のほか、
義塾の主な記念日やキャンパスも紹介しています。



2025年1月

2025年構成

- 表紙 奥山儀八郎作『日本風景版画・三田慶應義塾』昭和17(1942)年 26.5×33cm (慶應義塾福澤研究センター蔵)
- 1月 古今和歌集三条抄 2帖 寛正4(1463)年 正珠軒患隆写 (慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵)
- 2月 典礼書 1月の暦(南西?)ドイツ、13世紀初期) 羊皮紙零葉 (慶應義塾図書館蔵)
- 3月 西村重長『上野池のはた桜之花見景』 大々判紅絵1枚 (慶應義塾蔵)
- 4月 北斎改为一『富嶽三十六景・甲州犬日峠』[天保前期] 刊 大判錦絵1枚 (慶應義塾蔵)
- 5月 『うらしま』江戸時代前期写 絵巻物 1軸 (慶應義塾図書館蔵)
- 6月 歌川広重『金澤八景』小泉夜雨[安政初年] 頃 越村屋平助刊大判錦絵1枚 (慶應義塾蔵)
- 7月 ラテン語時禱書(トゥール、1480・90年頃) 羊皮紙 174葉 (慶應義塾図書館蔵)
- 8月 弘法大師行状絵巻断簡 1幅 [室町初期] 写 (慶應義塾[センチュリー赤尾コレクション]蔵)
- 9月 紺紙金字一字蓮台法華経序品 1軸 [平安後期] 写 (慶應義塾[センチュリー赤尾コレクション]蔵)
- 10月 旅行者用携帯文庫(パリ、1802-12年) (慶應義塾図書館蔵)
- 11月 [文明二年十二月七日禁裏御会] 1軸 文明2(1470)年 飛鳥井雅康写 (慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵)
- 12月 楊洲橋本周延『幻燈写心鏡・学校試験』明治23(1890)年 横山良八 豎大判錦絵1枚 (慶應義塾図書館蔵 ボン錦絵コレクション)

A3判 1部1,200円(税込)

常備店・協力店一覧

小会出版物は下記の書店に常備しております。また、お求めの書籍が店頭にない場合でも、ご注文下されば取り寄せられます。

書店	
<北海道>	
札幌市	紀伊國屋書店 札幌本店 011-231-2131 コーチャンフォー ミュンヘン大橋店 011-817-4000 コーチャンフォー 新川通り店 011-769-4000 三省堂書店 札幌店 011-209-5600 MARUZEN& ジュンク堂書店 札幌店 011-223-1911 コーチャンフォー 美しが丘店 011-889-2000 くまざわ書店 アリオ札幌店 011-750-9225
函館市	くまざわ書店 函館ボールスター店 0138-44-1333 函館 蔦屋書店 0138-47-3771
小樽市	喜久屋書店 小樽店 0134-31-7077
旭川市	コーチャンフォー 旭川店 0166-76-4000 ジュンク堂書店 旭川店 0166-26-1120
釧路市	コーチャンフォー 釧路店 0154-46-7777
北見市	コーチャンフォー 北見店 0157-26-1122
<青森県>	
青森市	成田本店 しんまち店 017-723-2431 ブックスモア青森中央店 017-718-7839
八戸市	八戸ブックセンター 0178-20-8368
<岩手県>	
盛岡市	ジュンク堂書店 盛岡店 019-601-6161
<宮城県>	
仙台市	丸善 仙台アエル店 022-264-0151 あゆみ Books 仙台一番町店 022-211-6961 ヤマト屋書店 仙台三越店 022-393-8541 蔦屋書店 多賀城市立図書館 022-368-8860
多賀城市	
<秋田県>	
秋田市	ジュンク堂書店秋田店 018-884-1370 宮脇書店 秋田本店 018-825-5515
<山形県>	
山形市	八文字屋 本店 023-622-2150
<福島県>	
郡山市	ジュンク堂書店 郡山店 024-927-0440
会津若松市	くまざわ書店 会津若松店 0242-29-0711
いわき市	鹿島ブックセンター 024-628-2222
<茨城県>	
水戸市	川又書店 県庁店 029-301-1811 丸善日立店 0294-32-7401
つくば市	ACADEMIA イーアスつくば店 029-868-7407 未来屋書店 つくば店 029-839-2057 コーチャンフォー つくば店 029-893-2753
守谷市	フタバ図書 TERA 守谷店 029-747-1601
取手市	宮脇書店 取手本店 0297-71-5101
ひたちなか市	蔦屋書店 ひたちなか店 029-265-2300
<栃木県>	
宇都宮市	くまざわ書店 宇都宮インターパーク店 028-657-6320 くまざわ書店 宇都宮店 028-623-4471
鹿沼市	くまざわ書店 鹿沼店 0289-60-5261
<群馬県>	
前橋市	煥乎堂 027-235-8111 紀伊國屋書店 前橋店 027-220-1830 ブックマンズアカデミー 前橋店 027-280-3322 蔦屋書店 前橋みなみモール店 027-210-0886
高崎市	ブックマンズアカデミー 高崎市 027-370-6166 くまざわ書店 高崎市 027-310-3021 未来屋書店 高崎市 027-372-7344
伊勢崎市	丸善スマーク 伊勢崎店
太田市	ブックマンズアカデミー 太田店 027-640-1900 喜久屋書店 太田店 0276-47-8723
北群馬郡	丸善 ジョイホンパーク吉岡店 0279-26-9534
<埼玉県>	
さいたま市	BookDepot 書楽 048-859-4946 押田謙文堂 048-641-3141 紀伊國屋書店 さいたま新都心店 048-600-0830 ジュンク堂書店 大宮高島屋店 048-640-3111 須原屋 本店 048-822-5321 紀伊國屋書店 浦和パルコ店 048-871-2760 くまざわ書店 宮原店 048-661-8931 くまざわ書店 浦和美園店 048-791-2510
川越市	紀伊國屋書店 川越店 049-224-2573 ブックファースト ルミネ川越店 049-240-6212
熊谷市	くまざわ書店 アズセカンド店 048-525-6204
川口市	くまざわ書店 ララガーデン川口店 048-240-5150
秩父市	くまざわ書店 秩父店 0494-21-2111
入間市	くまざわ書店 入間店 04-2901-2340
桶川市	丸善 桶川店 048-789-0011
久喜市	ACADEMIA 菖蒲店 0480-87-1781 くまざわ書店 鷺宮店 0480-57-1012 蔦屋書店 フォレオ菖蒲店 0480-87-0800
富士見市	リプロ ららぽーと富士見店 049-275-1090 くまざわ書店 イオンタウンふじみ野店 047-360-0501
<千葉県>	
千葉市	三省堂書店 そごう千葉店 043-245-8331 くまざわ書店 ベリエ千葉本店 043-202-2900 くまざわ書店 蘇我店 043-209-2020 くまざわ書店 稲毛店 043-245-1561 志学書店 本店 043-224-7111 蔦屋書店 イオンモール幕張新都心 043-306-7361
船橋市	くまざわ書店 ららぽーと店 047-435-8381

	芳林堂書店 津田沼店	047-478-3737		三省堂書店 有楽町店	03-5222-1200
	ジュンク堂書店 南船橋店	047-401-0330		三省堂書店 農水省売店	03-3501-1881
松戸市	くまざわ書店 松戸店	047-360-0501	港区	くまざわ書店 品川店	03-3472-0481
	喜久屋書店 松戸店	047-393-8066		くまざわ書店 田町店	03-5476-0510
茂原市	蔦屋書店 茂原店	0475-27-2332		文喫	03-6438-9120
成田市	くまざわ書店 公津店	0476-26-5371		大垣書店 麻布台ヒルズ店	03-5570-1700
習志野市	丸善 津田沼店	047-470-8311	品川区	有隣堂 アトレ目黒店	03-3442-1231
	くまざわ書店 津田沼店	047-475-8311		フラヌール書店	03-6417-0302
柏市	紀伊國屋書店 セブンパークアリオ柏店	04-7160-8015	大田区	くまざわ書店 田園調布店	03-3722-4121
	くまざわ書店 柏高島屋店	04-7148-2382		くまざわ書店 グランドデュオ蒲田店	03-3737-5351
市原市	丸善 ユニモちはら台店	0436-26-7620		ブックファースト アトレ大森店	03-5767-6831
流山市	紀伊國屋書店 流山おおたかの森店	04-7156-6111	渋谷区	青山ブックセンター 本店	03-5485-5511
<東京都>				紀伊國屋書店 笹塚店	03-3485-0131
足立区	くまざわ書店 西新井店	03-5888-2840		有隣堂 アトレ恵比寿店	03-5475-8384
葛飾区	紀伊國屋書店アリオ亀有店	03-3602-2703		代官山 蔦屋書店	03-3770-2525
江東区	紀伊國屋書店 イトーヨーカドー木場店	03-6660-2502		Book & NHK 店	03-3481-1678
	丸善有明ガーデン店	03-5962-4180		HMV & BOOKS SHIBUYA	03-5784-3270
	有隣堂ららぽーと豊洲店	03-6204-2761		啓文堂書店渋谷店	03-5784-3800
	くまざわ書店アリオ北砂店	03-5653-2551	中野区	ブックファースト 中野店	03-3319-5161
墨田区	くまざわ書店 錦糸町店	03-5610-3034	杉並区	文禄堂 荻窪店	03-3392-2271
	三省堂書店 東京ソラマチ店	03-5610-2916		本屋 Title	03-6884-2894
台東区	有隣堂 上野店	03-5834-3260		八重洲ブックセンター 阿佐ヶ谷店	03-6915-1951
中央区	丸善 日本橋店	03-6214-2001	練馬区	ジュンク堂書店 大泉学園店	03-5947-3955
	教文館	03-3561-8447	世田谷区	三省堂書店 成城店	03-5429-2401
	銀座 蔦屋書店	03-3575-7755		紀伊國屋書店 玉川高島屋店	03-3709-2091
	タロー書房	03-3241-2701		文教堂書店 二子玉川店	03-5797-5168
	銀座堂書店 朝日新聞本社店	03-3543-2428		二子玉川 蔦屋家電	03-5491-8550
	誠品生活 日本橋店	03-6225-2871		本屋 B & B	03-6450-8272
豊島区	ジュンク堂書店 池袋本店	03-5956-6111	八王子市	くまざわ書店 八王子店	042-625-1201
	東京旭屋書店 池袋店	03-3986-0311		くまざわ書店 八王子オクトーレ店	042-631-5045
	三省堂書店 池袋本店	03-6864-8900		くまざわ書店 イーアス高尾店	042-668-8877
	くまざわ書店 西武池袋店	03-5957-1224	立川市	オリオン書房 ルミネ店	042-527-2311
新宿区	紀伊國屋書店 新宿本店	03-3354-0131		オリオン書房 ノルテ店	042-522-1231
	成文堂 本店	03-3203-4806		ジュンク堂書店 立川高島屋店	042-512-9910
	ブックファースト 新宿店	03-5339-7611	武蔵野市	啓文堂書店 吉祥寺店	0422-79-5070
	ブックファースト ルミネ新宿店	03-5339-7611		ジュンク堂書店 吉祥寺店	0422-28-5333
	くまざわ書店 都庁店	03-5320-7537		ブックファーストアトレ吉祥寺店	0422-23-7671
	書泉芳林堂書店 高田馬場店	03-3208-0241	三鷹市	啓文堂書店 三鷹店	0422-79-5840
千代田区	成文堂国会議事堂店	03-3581-3780	府中市	啓文堂書店府中本店	042-366-3151
	三省堂書店 神保町本店飯店舗	03-3233-3312	昭島市	くまざわ書店 昭島店	042-546-4851
	ジュンク堂書店 プレスセンター店	03-3502-2600	調布市	バルコブックセンター 調布店	042-489-5351
	紀伊國屋書店 大手町ビル店	03-3201-5084		くまざわ書店 調布店	042-490-2052
	東方書店	03-3294-1001	町田市	ブックファースト ルミネ町田店	042-739-5516
	内山書店	03-3294-0671		紀伊國屋書店 小田急町田店	042-710-7191
	東京堂書店 神田神保町店	03-3291-5181	小金井市	くまざわ書店 武蔵小金井北口店	042-385-2351
	農文協 農業書センター	03-6261-4760		くまざわ書店 イトーヨーカドー 武蔵小金井店	042-382-5020
	弁護士会館 ブックセンター	03-5157-5222	国分寺市	紀伊國屋書店 国分寺店	042-325-3991
	至誠堂書店霞ヶ関店	03-3581-2604		BOOKS 隆文堂	042-324-7770
	丸善 丸の内本店	03-5288-8881	国立市	増田書店	042-572-0262
	八重洲ブックセンター グランスタ八重洲店	03-6259-1167	武蔵村山市	オリオン書房 イオンモールむさし村山ミュージアム	042-567-6911
	丸善 お茶の水店	03-3295-5581	多摩市	MARUZEN 多摩センター店	042-355-3220

ACADEMIA くまざわ書店 桜ヶ丘店	042-337-2531	新発田市	コメリ書房 新発田店	0254-20-1011	
稲城市	コーチャンフォー 若葉台店	042-350-2800	< 富山県 >		
< 神奈川県 >			富山市	紀伊國屋書店富山店	076-491-7031
横浜市	ACADEMIA 港北店	045-914-3320		BOOKS なかだ 掛尾本店	076-492-1192
	丸善 日吉東急アベニュー店	045-594-8960		文苑堂書店 富山豊田店	076-433-8150
	紀伊國屋書店 横浜店	045-450-5901	高岡市	文苑堂書店 福田本店	0766-27-7800
	ブックファースト 青葉台店	045-989-1781		喜久屋書店 高岡店	0766-27-2455
	有隣堂 たまプラーザテラス店	045-903-2191	< 石川県 >		
	有隣堂 本店	045-261-1231	金沢市	うつのみや 本店	076-234-8111
	有隣堂 ルミネ横浜店	045-453-0811		明文堂書店 金沢ビーナス店	076-239-4400
	有隣堂 横浜駅西口店	045-311-6265	< 福井県 >		
	くまざわ書店 ランドマーク店	045-683-1021	福井市	紀伊國屋書店 福井店	0776-28-9851
	くまざわ書店 鶴見店	045-501-5211	< 山梨県 >		
	丸善 横浜みなとみらい店	045-323-9660	甲府市	朗月堂 本店	055-228-7356
	紀伊國屋書店 ららぽーと横浜店	045-938-4481		くまざわ書店 セレオ甲府店	055-221-1015
	八重洲ブックセンター 京急上大岡店	045-848-7383		柳正堂書店イオンタウン山梨中央店	055-236-9766
	有隣堂 戸塚モディ店	045-881-2661	甲斐市	くまざわ書店 双葉店	055-228-7356
	紀伊國屋書店西武東戸塚S.C. 店	045-820-1004	< 長野県 >		
川崎市	丸善 ラゾーナ川崎店	044-520-1869	長野市	平安堂 長野店	026-224-4550
	有隣堂 アトレ川崎店	044-200-6831	松本市	丸善 松本店	0263-31-8171
	紀伊國屋書店イトーヨーカドー川崎店	044-366-5080	岡谷市	笠原書店 岡谷本店	0266-23-5070
	文教堂書店 溝ノ口本店	044-812-0063	< 岐阜県 >		
	KaBoS 宮前平店	044-870-1221	岐阜市	カルコス 岐阜本店	058-294-7500
	くまざわ書店 さぎ沼店	044-870-1660		丸善 岐阜店	058-297-7008
相模原市	ACADEMIA くまざわ書店 橋本店	042-700-7020	大垣市	喜久屋書店 大垣店	0584-77-1717
	くまざわ書店 相模大野店	042-767-1285		ACADEMIA 大垣店	0584-77-6450
	中村書店 本店	042-750-2285	< 静岡県 >		
	ブックファースト ポーノ相模大野店	042-702-3555	静岡市	MARUZEN& ジュンク堂書店 新静岡店	054-275-2777
	くまざわ書店 相模原店	042-786-2031	浜松市	谷鳥屋 浜松本店	053-457-4165
横須賀市	文教堂 横須賀 MORE'S 店	046-822-2655	沼津市	くまざわ書店 沼津店	055-954-6980
	くまざわ書店 横須賀店	046-821-2403	三島市	いけだ書店 三島店	055-981-6941
平塚市	くまざわ書店 平塚店	0463-20-5111	< 愛知県 >		
	有隣堂 ららぽーと湘南平塚店	0463-74-6511	名古屋市	ウニタ書店	052-731-1380
鎌倉市	たらば書房	0467-22-2492		三省堂書店 名古屋本店	052-566-6801
藤沢市	KaBoS 藤沢店	0466-30-5744		MARUZEN 名古屋本店	052-238-0320
	ジュンク堂書店 藤沢店	0466-52-1211		ジュンク堂書店 名古屋店	052-589-6321
	有隣堂 藤沢店	0466-26-1411		ジュンク堂書店 名古屋栄店	052-261-5360
	有隣堂 テラスモール湘南店	0466-38-2121		らくだ書店 本店	052-731-7161
	湘南 蔦屋書店	0466-31-1510		紀伊國屋書店 mozo ワンダーシティ店	052-506-7671
茅ヶ崎市	長谷川書店 ネスパ茅ヶ崎店	0467-88-0008		丸善イオンタウン千種店	052-715-7911
厚木市	くまざわ書店 本厚木店	046-230-7077		丸善 ヒルズウォーク 徳重店	052-846-2610
	有隣堂 厚木店	046-223-4111		文喫 栄	052-228-1820
大和市	くまざわ書店 大和田	046-200-4110	豊橋市	精文館書店 本店	0532-54-2345
海老名市	蔦屋書店 海老名市立中央図書館	046-231-5530	一宮市	カルコス 一宮店	0586-72-2100
	有隣堂 ららぽーと海老名店	046-206-6651		くまざわ書店 一宮店	0586-23-3950
< 新潟県 >			豊田市	丸善 豊田 T-FACE 店	0565-41-3282
新潟市	紀伊國屋書店 新潟店	025-241-5281	西春日井郡	紀伊國屋書店 名古屋空港店	0568-39-3851
	ジュンク堂書店 新潟店	025-374-4411	< 三重県 >		
	蔦屋書店 南万代フォーラム店	025-249-0066	津市	別所書店 修成店	059-246-8822
	本の店 英進堂	0250-24-1187	四日市市	宮脇書店 四日市本店	059-359-5910
長岡市	蔦屋書店 長岡新保店	0258-22-6300		MARUZEN 四日市店	059-359-2340

< 滋賀県 >

大津市	大垣書店 フォレオ大津一里山店	077-547-1020
草津市	喜久屋書店 草津店	077-516-1118
	ジュンク堂書店 滋賀草津店	077-569-5553

< 京都府 >

京都市	大垣書店 京都本店	075-746-2211
	大垣書店 烏丸三条店	075-212-5050
	大垣書店 イオンモール KYOTO 店	075-692-3331
	大垣書店 イオンモール京都桂川店	075-925-1717
	アバンティブックセンター 京都店	075-682-5031
	丸善 京都本店	075-253-1599
	ブックファースト 西院店	075-950-5949
	くまざわ書店 四条烏丸店	075-255-6800
	くまざわ書店 桃山店	075-622-6065
	未来屋書店 高の原店	0774-73-1714
相楽郡	ACADEMIA けいはんな店	0774-98-4053

< 大阪府 >

大阪市	紀伊國屋書店 梅田本店	06-6372-5821
	ジュンク堂書店 大阪本店	06-4799-1090
	MARUZEN & ジュンク堂書店 梅田店	06-6292-7383
	梅田 葺屋書店	06-4799-1800
	ジュンク堂書店 天満橋店	06-6920-3730
	ジュンク堂書店 難波店	06-4396-4771
	ジュンク堂書店 近鉄あべのハルカス店	06-6626-2151
	ジュンク堂書店 上本町店	06-6771-1005
	丸善 高島屋大阪店	06-6630-6465
	紀伊國屋書店 天王寺ミオ店	06-6776-7091
	くまざわ書店 ボーズなんばパークス店	06-6644-1005
	喜久屋書店 阿倍野店	06-6634-8606
	大阪高裁内ブックセンター	06-6315-5511
	紀伊國屋書店 本町店	06-4705-4556
	紀伊國屋書店 京橋店	06-4801-9255
	文教堂書店 淀屋橋店	06-4707-3355
	紀伊國屋書店アリオ鳳店	072-260-3007
豊中市	田村書店 本部	06-6833-1152
高槻市	紀伊國屋書店 高槻阪急スクエア店	072-686-1195
	ジュンク堂書店 高槻店	072-686-5300
守口市	くまざわ書店 守口店	06-6997-6023
枚方市	枚方 葺屋書店	072-844-9000
八尾市	丸善 八尾アリオ店	072-990-0291
大東市	ACADEMIA くまざわ書店 すみのとう店	072-873-1241
和泉市	田村書店 ららぽーと和泉店	0725-90-4050
泉南市	未来屋書店 りんくう泉南店	072-482-0517

< 兵庫県 >

神戸市	ジュンク堂書店 三宮店	078-392-1001
	ジュンク堂書店 三宮駅前店	078-252-0777
	紀伊國屋書店 神戸店	078-265-1607
	喜久屋書店 神戸学園都市店	078-797-3977
	喜久屋書店 北神戸店	078-983-3755
	喜久屋書店 神戸南店	078-599-7345
	大垣書店 神戸ハーバーランドumi e 店	078-382-7112

尼崎市	くまざわ書店 あまがさき店	06-6470-3441
西宮市	ジュンク堂書店 西宮店	0798-68-6300
	ブックファースト阪急西宮ガーデンズ店	0798-62-6103
明石市	ジュンク堂書店 明石店	078-918-6670
姫路市	ジュンク堂書店 姫路店	079-221-8280
芦屋市	ジュンク堂書店 芦屋店	0797-31-7440
加古川市	紀伊國屋書店 加古川店	079-427-3311
川西市	紀伊國屋書店 川西店	072-740-2622
	西村書店	0790-42-5008

< 奈良県 >

奈良市	啓林堂書店 奈良店	0742-20-8001
	ジュンク堂書店 奈良店	0742-36-0801
	奈良 葺屋書店	0742-35-0600
大和郡山市	喜久屋書店 大和郡山店	0743-55-2200
橿原市	喜久屋書店 橿原店	0744-20-3151

< 和歌山県 >

和歌山市	TSUTAYA GARDEN パーク和歌山	073-480-5900
	宮脇書店 ロイネット和歌山店	073-402-1472
	くまざわ書店 和歌山M I O 店	073-421-3880

< 鳥取県 >

米子市	本の学校 今井ブックセンター	0859-31-5000
-----	----------------	--------------

< 島根県 >

松江市	今井書店 グループセンター店	0852-20-8811
出雲市	紀伊國屋書店 ゆめタウン出雲店	0853-24-7055

< 岡山県 >

岡山市	丸善 岡山シンフォニービル店	086-233-4640
	紀伊國屋書店 クレド岡山店	086-212-2551
	紀伊國屋書店 エブリー津高店	086-251-6811
	未来屋書店 岡山店	086-803-5571
倉敷市	喜久屋書店 倉敷店	086-430-5450

< 広島県 >

広島市	紀伊國屋書店 広島店	082-225-3232
	MARUZEN 広島店	082-504-6210
	ジュンク堂書店 広島駅前店	082-568-3000
	紀伊國屋書店 ゆめタウン広島店	082-250-6100
	フタバ図書 MEGA 祇園中筋店	082-830-0606
	広島 葺屋書店	082-501-5111
	大垣書店 ジアウトレット 広島店	082-208-3680

福山市	フタバ図書 ALTi 福山本店	084-973-8780
廿日市市	紀伊國屋書店 ゆめタウン廿日市店	0829-70-4966
安芸郡	フタバ図書 TERA 広島府中店	082-561-0770

< 山口県 >

山口市	文榮堂 山口大学前店	083-923-2319
下関市	くまざわ書店 下関店	083-228-0401
下松市	紀伊國屋書店 ゆめタウン下松店	0833-45-6152

< 徳島県 >

徳島市	紀伊國屋書店 徳島店	088-602-1611
	宮脇書店 徳島本店	088-663-6621
	小山助学館 本店	088-654-2135
板野郡	紀伊國屋書店 ゆめタウン徳島店	088-692-0513
	附家書店 松茂店	088-683-4721

272 常備店・協力店一覧

< 香川県 >

高松市	宮脇書店 総本店	087-823-3152
	宮脇書店 本店	087-851-3733
	くまざわ書店 高松店	087-869-2683
	ジュンク堂書店 高松店	087-832-0170
丸亀市	紀伊國屋書店 丸亀店	0877-58-2711

< 愛媛県 >

松山市	ジュンク堂書店 松山三越店	089-915-0075
新居浜市	宮脇書店 新居浜本店	0897-31-0586

< 高知県 >

高知市	金高堂書店 本店	088-822-0161
	金高堂朝倉ブックセンター	088-840-1363

< 福岡県 >

福岡市	紀伊國屋書店 福岡本店	092-434-3100
	丸善 博多店	092-413-5401
	HMV & BOOKS HAKATA	092-433-6580
	紀伊國屋書店 ゆめタウン博多店	092-643-6721
	ジュンク堂書店 福岡店	092-738-3322
	書齋りーぶる	092-713-1001
	文喫 福岡天神	092-717-5180
	くまざわ書店ららぽーと福岡店	092-588-5711

北九州市	ブックセンタークエスト 小倉本店	093-522-3914
	くまざわ書店 小倉店	093-512-1214
	喜久屋書店 小倉店	093-514-1400
	ブックセンタークエスト 黒崎本店	093-643-5530
	アカデミア サンリブシティ小倉店	093-932-7711
	丸善リバーウォーク北九州店	093-953-6790
久留米市	紀伊國屋書店 久留米店	0942-45-7170
糟屋郡	フタバ図書 TERA 福岡東店	092-939-7200

< 佐賀県 >

佐賀市	紀伊國屋書店 佐賀店	0952-36-8171
	くまざわ書店 佐賀店	0952-62-7325
	TSUTAYA 積文館書店 佐大通り店	0952-23-6531
武雄市	葦屋書店 武雄市図書館	0954-20-0300

< 長崎県 >

長崎市	紀伊國屋書店 長崎店	095-811-4919
佐世保市	くまざわ書店 佐世保店	0956-37-2895

< 熊本県 >

熊本市	葦屋書店 熊本三年坂	096-212-9101
	紀伊國屋書店 熊本はません店	096-377-1330
	長崎書店	096-353-0555
	長崎次郎書店	096-326-4410
	メトロ書店熊本本店	096-351-4646
荒尾市	紀伊國屋書店 あらおシティモール店	0968-64-8011
菊池郡	紀伊國屋書店 熊本光の森店	096-233-1700

< 大分県 >

大分市	くまざわ書店 大分明野店	097-552-7511
	紀伊國屋書店 アミュプラザおおい店	097-515-5050
	明林堂書店 大分本店	097-573-3400

< 宮崎県 >

宮崎市	葦屋書店 宮崎高千穂通り	0985-61-6711
-----	--------------	--------------

	未来屋書店 イオンモール宮崎店	0985-77-7507
	紀伊國屋書店 アミュプラザみやざき店	0985-61-1280
都城市	田中書店 妻ヶ丘店	0986-22-4488

< 鹿児島県 >

鹿児島市	紀伊國屋書店 鹿児島店	099-812-7000
	ブックスミスマジオブシア	099-813-7012
	ジュンク堂書店 鹿児島店	099-216-8838
	くまざわ書店鹿児島中央店	099-213-0447

< 沖縄県 >

那覇市	ジュンク堂書店 那覇店	098-860-7175
-----	-------------	--------------

大学生協・売店

< 北海道 >

札幌市	北海道大学生協 書籍部北部店	011-747-2182
	北星学園生協 SB 店	011-891-2313
	北海学園生協 書籍部会館店	011-811-8689
	北海道大生協 書籍部クラーク店	011-736-0916
函館市	公立ほこだて未来大学生協	0138-83-6061
小樽市	小樽商科大学生協 書籍部	0134-23-2298
旭川市	旭川大学生協 SB 店	0166-48-3121
江別市	札幌学院大学生協 書籍部	011-386-2970

< 青森県 >

弘前市	弘前大学生協書籍部 シェリア	0172-33-3742
-----	----------------	--------------

< 岩手県 >

盛岡市	岩手大学生協 中央店	019-652-2028
-----	------------	--------------

< 宮城県 >

仙台市	東北学院大学生協 土樋店	022-264-6325
	東北大学生協 文系書籍店	022-262-7463
	東北福祉大学 国見堂	022-271-8979

< 秋田県 >

秋田市	秋田大学生協 手形店	018-833-5865
-----	------------	--------------

< 山形県 >

山形市	山形大学生協 小白川店	023-641-4365
-----	-------------	--------------

< 福島県 >

福島市	福島大学生協 購買・書籍店	024-548-0091
-----	---------------	--------------

< 茨城県 >

水戸市	茨城大学生協 水戸書籍部	029-227-1865
	紀伊國屋書店 常磐大学ブックセンター	029-232-0008
つくば市	丸善 大学会館書籍部	029-858-0409
	丸善 筑波第一学群書籍部	029-858-0420
	丸善 図書館情報学群売店	029-852-4749

< 栃木県 >

宇都宮市	宇都宮大学生協 峰店	028-636-5723
------	------------	--------------

< 群馬県 >

前橋市	群馬大学生協 荒牧店購買書籍部	027-220-7195
高崎市	高崎経済大学生協 購買書籍店	027-343-2024
	紀伊國屋書店 群馬バース大学B.C	027-370-7881
太田市	紀伊國屋書店 関東学園ブックセンター	027-640-4012

< 埼玉県 >					
さいたま市	埼玉大学生協	048-854-9342	平塚市	紀伊國屋書店神奈川大学平塚キャンパスブックセンター	0463-59-4010
川越市	東京国際大学売店第一キャンパス	049-231-6963	川崎市	紀伊國屋書店 東海大学ブックセンター	0463-50-1250
飯能市	駿河台大学ショッピングセンター	042-972-1152		紀伊國屋書店 専修大学ブックセンター	044-933-0836
< 千葉県 >			< 新潟県 >		
千葉市	千葉大学生協 ブックセンター	043-254-1825	新潟市	新潟大学生協	025-262-6095
東金市	紀伊國屋書店 城西国際大学ブックセンター	0475-53-0064	< 富山県 >		
< 東京都 >			富山市	富山大学生協 書籍部五福店	076-433-3080
江東区	紀伊國屋書店 武蔵野大学有明B C	03-3527-6820	< 石川県 >		
豊島区	丸善 立教学院事業部書籍	03-3985-2771	金沢市	金沢大学生協 角間店	076-224-0905
新宿区	慶應義塾生協 信濃町店	03-3341-6355	< 福井県 >		
	早稲田大学生協 戸山店	03-3202-4204	福井市	福井大学生協	0776-21-3688
	早稲田大学生協コーププラザブックセンター	03-3202-3236	< 山梨県 >		
	紀伊國屋書店東京理科大学神楽坂BC	03-5206-3251	甲府市	山梨大学生協 購買書籍部	055-252-4757
千代田区	三省堂書店 明治大学駿河台店	03-5282-3480	都留市	都留文科大学 生協	0554-43-2106
	法政大学生協 書籍部市ヶ谷店	03-3265-4952	< 長野県 >		
	日本大学経済学部 桜門書房	03-3291-3403	松本市	信州大学生協 松本書籍部	0263-37-2983
	紀伊國屋書店 上智大学店	03-3238-3092	< 岐阜県 >		
文京区	東京大学生協 本郷書籍部	03-5841-2420	岐阜市	岐阜大学生協 中央店書籍部	058-230-1166
	東洋大学生協 白山店	03-3945-7527	大垣市	丸善 岐阜経済大学売店	0584-74-9797
	お茶の水女子大学生協 購買書籍部	03-3947-9449	< 静岡県 >		
	中央大学生協茗荷谷店	03-5978-4184	静岡市	静岡大学生協 静岡店	054-237-1427
港区	慶應義塾生協 三田書籍部	03-3455-6631		太陽堂書店 静岡県立大学店	054-262-7617
	慶應義塾生協 芝共立書籍部	03-6432-4207	< 愛知県 >		
	明治学院生協 購買書籍部白金店	03-3447-1631	名古屋市	ちくさ正文館名城大学内ブックショップ	052-833-8215
目黒区	東京大学生協 駒場書籍部	03-3469-7145	名古屋大学生協 書籍部ブックスフロア	052-781-9819	
	東京工業大学生協 大岡山店	03-3727-7357	名古屋大学生協 南部書籍部	052-781-5031	
渋谷区	國学院大学生協 渋谷店	03-5466-0166	名古屋大学生協 ブラザリーブル	052-831-1911	
	青山学院購買会 青山店	03-3409-9760	紀伊國屋書店 南山大学ブックセンター	052-837-5201	
杉並区	三省堂書店 明治大学和泉店	03-5301-2560	丸善 南山大学名古屋売店	052-838-5566	
世田谷区	東京農業大学生協 書籍部	03-3427-5713	愛知大学生協 笹島店	052-564-6192	
	日本大学商学部 桜門書房	03-3417-2278	豊橋市	愛知大学生協 愛大トリニテ	0532-47-5935
八王子市	東京都立大学生協 南大沢店	042-677-1413	刈谷市	愛知教育大学生協	0566-36-2404
	中央大学生協 多摩店	042-674-3032	愛知郡	愛知県立大学生協 書籍部	0561-61-0977
府中市	東京外国語大学生協ハッチポッチ	042-354-3062	知多郡	日本福祉大学生協 ウイル	0569-87-2304
町田市	法政大学生協 多摩店	042-783-2236	< 三重県 >		
	桜美林学園消費生活協同組合	042-797-0547	津市	三重大学生協 翠陵店	059-232-5007
	和光学園生協	044-988-1436	< 滋賀県 >		
小金井市	東京学芸大学生協 書籍店	042-324-6228	大津市	丸善 龍谷大学瀬田学舎購買部	077-543-5135
小平市	津田塾大学生協 購買書籍部	042-343-7073	彦根市	滋賀大学彦根地区生協 書籍部	0749-24-3256
国分寺市	東京経済大学生協 書籍店	042-324-4319	草津市	立命館大学生協 リンクショップ	077-561-2828
国立市	一橋大学生協 西ショップ	042-575-4184	< 京都府 >		
西東京市	紀伊國屋書店 武蔵野大学武蔵野B C	042-452-0915	京都市	京都大学生協 ブックセンタールネ	075-771-7336
< 神奈川県 >				京都大学生協 吉田店	075-752-1587
横浜市	神奈川大学生協 書籍店	045-481-4012		同志社生協 良心館ブック&ショップ	075-251-4427
	慶應義塾生協 日吉店	045-563-8487		立命館生協 ブックセンターふらっと	075-465-8288
	慶應義塾生協 矢上店	045-563-0941		龍谷大学生協 大宮店	075-352-3981
	横浜国立大学生協 学生会館店	045-335-1126		龍谷大学生協 R-UNI	075-642-0103
	横浜市立大学生協 八景購買書籍部	045-701-6054		大垣書店 仏教大学書籍部	075-491-2141
	関東学院 金沢文庫キャンパス購買部	045-784-8852		紀伊國屋書店 京都産業大学ブックセンター	075-708-1356
藤沢市	慶應義塾生協 藤沢店	0466-47-5300		丸善 京都女子大店	075-531-7304
				丸善 C S 京都学園大学 太秦店	075-406-1423

京田辺市	同志社生協 田辺店	0774-65-8372	< 佐賀県 >	佐賀市	佐賀大学生協 大学会館店	0952-25-4451
< 大阪府 >			< 長崎県 >	長崎市	長崎大学生協 文教店	095-845-5887
大阪市	大阪市立大学生協 書籍部杉本店	06-6605-3014			長崎大学生協 経済店	095-820-2924
	大阪経済大学生協	06-6379-2231		佐世保市	長崎県立大学生協	0956-48-3732
堺市	大阪府立大学生協 書籍部	072-259-1736	< 熊本県 >	熊本市	熊本大学生協 学館ショップ	096-345-6321
豊中市	大阪大学生協 豊中店	06-6841-4949			丸善 熊本学園大売店	096-364-1026
吹田市	大阪大学生協 工学部店	06-6877-6639	< 大分県 >	大分市	大分大学生協 ショップ	097-569-0016
	関西大学生協 書籍店	06-6368-7548		別府市	立命館アジア太平洋大学生協書籍部	0977-78-1171
高槻市	関西大学生協 高槻店	072-699-0275	< 宮崎県 >	宮崎市	宮崎大学生協 書籍購買店	0985-58-0612
茨木市	立命館生協 OICSHOP	072-645-4103	< 鹿児島県 >	鹿児島市	鹿児島大学生協 中央店	099-257-6710
八尾市	経法大書店	072-941-8211			紀伊國屋書店 鹿児島国際大学ブックセンター	099-261-9951
富田林市	丸善 キャンパスショップ大阪大谷大学店	0721-24-1078	< 沖縄県 >	中頭郡	琉球大学生協 中央店	098-895-6085
箕面市	大阪大学生協 箕面店	072-730-2743				
東大阪市	近畿大学生協 ShopLeaf	06-6725-3335				
< 兵庫県 >						
神戸市	TSUTAYA 甲南大学学生会館	078-441-7901				
	神戸大学生協 書籍部六甲店	078-882-3831				
	神戸大学生協 書籍部学生会館店	078-881-8847				
	丸善 神戸学院大学 KPC.D 号館	078-335-5709				
西宮市	関西学院大学生協 書籍部	0798-53-5233				
< 奈良県 >						
奈良市	丸善 奈良大学売店	0742-48-8754				
< 和歌山県 >						
和歌山市	和歌山大学生協	073-451-1406				
< 鳥取県 >						
鳥取市	鳥取大学生協 SHOP	0857-28-2333				
< 島根県 >						
松江市	島根大学生協 松江ショップ	0852-32-6242				
< 岡山県 >						
岡山市	岡山大学生協	086-256-4100				
< 広島県 >						
広島市	広島修道大学生協ブックストア	082-848-5125				
東広島市	広島大学生協 北1コープショップ	082-423-8285				
< 山口県 >						
山口市	山口県立大学生協ショップ	083-921-8011				
< 徳島県 >						
徳島市	徳島大学生協 書籍部常三島店	088-652-3248				
< 香川県 >						
高松市	香川大学生協 学館ショップ書籍部	087-833-5755				
< 愛媛県 >						
松山市	愛媛大学生協 城北ショップ	089-925-5801				
	松山大学生協同組合	089-924-9262				
< 高知県 >						
高知市	高知大学生協書籍部	088-840-1661				
< 福岡県 >						
福岡市	九州大学生協 皎皎舎店	092-805-7700				
	九州大学生協中央図書館店	092-707-6532				
	丸善 九州産業大学マイプラザ店	092-673-5145				
	西南学院大学生協	092-841-2400				
北九州市	北九州市立大学生協同組合	093-961-4430				

品切書目一覧

- ・各書目の左に付した番号は日本図書コード（ISBN）です。
- ・ISBNコードのうち国番号、出版社番号 978-4-7664 は省略して表示してあります。

【あ】

- 00489 アウグスチヌスと歴史的世界（近山金次）
- 00038 赤い鳥の時代（桑原三郎）
- 13243 アカデミック・スキルズ（佐藤望・湯川武・横山千品・近藤明彦）→第2版あり
- 07716 アカデミックライティング応用編（アンドルー・ルーマー、河内恵子、松田隆美）
- 07198 アカデミック・ライティング入門（磯貝友子）→第2版あり
- 04722 アクセス論（フランシス J. ベリガン／鶴木眞）
- 07525 浅利慶太の四季 著述集 1（浅利慶太）
- 07532 浅利慶太の四季 著述集 2（浅利慶太）
- 07549 浅利慶太の四季 著述集 3（浅利慶太）
- 07556 浅利慶太の四季 著述集 4（浅利慶太）
- 07853 浅利慶太の四季 著述集 4 巻セット（浅利慶太）
- 07334 アジア・インフラストラクチャー（藤原淳一郎）
- 09857 アジア環境子ども図鑑（新田義孝・吉岡完治・早見均）
- 10686 アジア金融危機とマクロ経済政策（吉野直行）
- 16039 アジア系専門職移民の現在（石井由香・関根政美・塩原良和）
- 08188 アジア地域経済の再編成（佐々波揚子・木村福成・浦田秀次郎）
- 10297 アジアのエネルギー・環境と経済発展（井手垂夫）
- 07709 アジアの環境文化（薬師寺泰蔵）
- 10174 アジアの金融市場（吉野直行）
- 07846 アジアの金融・資本市場（慶應義塾大学地域研究センター）
- 06733 アジアの物流（慶應義塾大学地域研究センター）
- 17326 アジアの文人が見た民衆とその文化（山本英史）
- 11539 あじさいセミナーろくⅠ（秋山哲之介）
- 12406 あじさいセミナーろくⅡ（秋山哲之介）
- 18347 あじさいセミナーろくⅢ（秋山哲之介）
- 24645 あじさいセミナーろくⅣ（秋山哲之介）
- 09611 明日の都市づくり（日端康雄・北沢猛）
- 08973 新しいカフカ（明星聖子）
- 05149 新しい時代の価値観（藤川吉美・周曉燕）
- 04999 新しい時代の幸福論（藤川吉美・周曉燕）
- 05262 新しい時代の社会像（藤川吉美・周曉燕）
- 03589 新しい障害幼児の指導（中村四郎）
- 09543 アダプティブテクノロジー（J. ラザーロ／安村通晃）
- 07389 アートとコンピュータ（藤幡正樹）
- 21491 アートは地域を変えたか（澤村明）
- 05255 アフリカ その政治と文化（小田英郎）
- 12420 アフリカとアジア（高梨和織）
- 00519 アフリカ民族主義の政治的構造（G.W. シェバード／小田英郎）
- 11539 あまいろ（天色）そよそよ（秋山哲之介著）
- 11607 アメリカ革命とジョン・ロック（大森雄太郎）
- 06238 アメリカ合衆国大統領選挙の研究（太田俊太郎）
- 15353 アメリカ経済センサス研究（菅幹雄・宮川幸三）
- 09741 アメリカ経済史の新潮流（岡田泰男・須藤功）
- 17852 アメリカ都市政治と官僚制（菅原和行）
- 17784 アメリカと日本の臨床医療（北野正躬）
- 10464 アメリカと東アジア（久保文明・赤木完爾）
- 01059 アメリカの社会保障（C.I. ショットランド／園乾治）

- 02094 アメリカの民主政治 (藤原守胤)
 03992 アメリカン・フロンティア (ウォルシュ/折原卓美)
 17708 アラビア哲学 (井筒俊彦)
 15155 アラブ諸国の情報統制 (山本達也)
 03572 アリストテレス (日本倫理学会)
 08522 アンシアン・レジーム期の結婚生活 (F. ルブラン/藤田苑子)
 07501 アンドレ・ジッド代表作選 (全5巻) (アンドレ・ジッド/若林真)
- 【い】
- 16367 生き延びること 生命の教養学V (慶應義塾大学教養研究センター)
 19764 イギリス映画と文化政策 (河島伸子・大田信良・大谷伴子)
 01905 イギリス演劇 (池上忠弘・金原正彦)
 08447 イギリス女性工場監督職の史的研究 (大森真紀)
 01615 イギリスの義務教育 (桑原三郎)
 07204 イギリス中世・チューダー朝演劇事典 (松田隆美・石井美樹子・奥田宏子)
 04814 イギリス道徳哲学の諸問題と展開 (日本倫理学会)
 08621 イギリス土地登記制度の研究 (金光寛之)
 04333 イギリスの児童福祉 (小松隆二)
 10891 イギリス文学と旅のナラティブ (河内恵子・松田隆美・坂本光)
 19665 「生きる力」を育む道徳教育 (柳沼良太)
 03060 池田成彬伝 (今村武雄)
 19924 新編 池田彌三郎の学問とその後 (井口樹生/藤原茂樹)
- 03374 いじめ (箭内仁・徳重篤史・須永和宏・富樫道明)
 10044 イジュティハードの門は閉じたのか (ワーイル・ハッラーク/奥田敦)
 11959 イスタンプル (長場紘)
 11942 イスラームの人権 (奥田敦)
 00465 イスラム法 (遠峰四郎)
 18972 一歩、一歩 (黒川徹)
 00601 イデオロギーと現代政治 (慶應義塾大学地域研究グループ)
 18446 いのちとからだのコミュニケーション (日本記号学会)
 15513 イノベーション創発論 (佐藤剛)
 12659 イノベーションと事業再構築 (十川廣國・榊原研互・高橋美樹・今口忠政・園田智昭)
 14035 イノベーション普及過程論 (青池慎一)
 14165 異文化接触から見る市民意識とエスニシティの動態 (石井香世子)
 06153 いま「人間」とは (日本倫理学会)
 21668 「移民国家ドイツ」の難民庇護政策 (昔農英明)
 15391 イメージの中の日本 (大石裕・山本信人)
 16855 EU 環境法 (庄司克宏)
 14226 EU 市民権と市民意識の動態 (鈴木規子)
 13274 EU 統合の軌跡とベクトル (田中俊郎・庄司克宏)
 11478 EU と市民 (田中俊郎・庄司克宏)
 15599 EU のガヴァナンスと政策形成 (田中俊郎・庄司克宏・浅見政江)
 12604 EU の公共政策 (和気洋子・伊藤規子)
 14486 EU の国際政治 (田中俊郎・小久保康之・鶴岡路人)
 07471 EU の法的課題 (石川明・櫻井雅夫)
 13953 医療政策は選挙で変える (権丈善一) →増補版あり
 14455 医療政策は選挙で変える 増補版 (権丈善一)
 11997 医療年金問題の考え方 (権丈善一)
 13168 DVD 岩倉使節団の米欧回覧 (企画: 米欧巡回覧の会 資料収集・ナレーション: 泉三郎)
 08324 巖谷小波 お伽作家への道 (勝尾金弥)
 17999 インターネットが変える選挙 (清原聖子・前嶋和弘)
 09529 インターネットを武器にした<ケリラ> (山本純一)
 18262 インテリジェンス (マーク・M・ローエンタール/茂田宏)
 09864 インテリジェンス入門 (北岡元) →第2版あり
 14998 イン・ビボ実験医学を拓く (野村達次・飯沼和正)

07907 インプロヴィゼーション・テクノロジーズ CD-ROM (日本版) (ウィリアム・フォーサイス／松澤慶信)

【う】

- 14929 ヴァナキュラー建築の居住環境性能 (村上周三)
 04944 ウィリアム・クーバー詩集 (林瑛二)
 08317 飢えた孔雀 (村野晃一)
 01738 上田保著作集 (上田保)
 04784 ヴェトナム戦争の起源 (赤木完爾)
 18606 『失われた時を求めて』交響する小説 (牛場暁夫)
 14196 失われた民主主義 (シーダ・スコッチボル／河田潤一)
 15711 宇宙太陽発電衛星のある地球と将来 (吉岡完治・松岡秀雄・早見均)
 04784 感染る (赤江雄一・高橋宣也)
 26151 運動+ (反)成長 身体医文化論Ⅱ (武藤浩史・樽沼範久)

【え】

- 11171 映画のなかの上海 (劉文兵)
 11850 英国におけるエンブレムの伝統 (カール・J・ヘルトゲン／川井万里子・松田美作子)
 09895 英語教育のグランド・デザイン (鈴木佑治)
 00106 英語の教室 (田村芳雄)
 00113 英語テスト問題集 (田村芳雄)
 13830 英語と文化 (唐須教光)
 00229 英作文・文法提要 (小林重雄・伊藤恭二郎)
 01967 英語史 (岩崎春雄)
 12079 HRM マスターコース (須田敏子)
 14356 越境 (アジア政経学会／高原明生・田村慶子・佐藤幸人)
 21705 越境的な規範の形成と執行 (杉浦章介)
 26250 エssenシャル金融ジェロントロジー→第2版あり
 08577 江藤淳 (田中和生)
 16329 江戸っ子菓子屋のおつまみ噺 (細田安兵衛)
 07754 江戸時代 朝鮮薬材調査の研究 (田代和生)
 09284 エネルギー・ガバナンスの行政学 (大山耕輔)
 15520 エピステモロジーの現在 (金森修)
 24201 エマソンの「文明」論 (山本品)
 03862 エンクロジャー (ターナー／重富公生)
 19382 演劇場裏の詩人 森鷗外 (井戸田総一郎)
 08454 演習 資源エネルギー論 (新田義孝)
 01196 遠城寺式 乳幼児分析的発達検査法 解説書 (遠城寺宗徳) →九州大学小児科改訂新装版あり
 12901 遠藤周作 (加藤宗哉)

【お】

- 13557 OECD 生産性測定マニュアル (P. シュライアー／清水雅彦／佐藤隆・木崎徹)
 14240 欧州公共圏 (安江則子)
 05828 オーストラリア社会問題入門 (V.J. カラン／関根・関根)
 04838 オーストラリアの企業環境と経営 (藤森三男)
 03794 オーストラリア労働組合入門 (B. フォード、D. ブラウマン／関根政美、関根薫)
 19351 沖縄の記憶 (奥田博子)
 06801 奥野信太郎 中国隨筆集 (奥野信太郎)
 11249 小山内薫 (小山内富子)
 15940 大人も学ぼう心と体と病気の知識 (菅沼安嬉子)
 19474 親子関係と家計行動のダイナミズム (樋口美雄・宮内環・C.R. マッケンジー)
 12505 折口学が読み解く韓国芸能 (伊藤好英)
 15568 オランダ医事刑法の展開 (P. タック／甲斐克則)
 12529 音楽 音風景と日常生活 (山岸美穂)
 04661 温故知新 (寺尾誠)
 07280 女? 日本? 美? (熊倉敬聡・千野香織)

【か】

- 10440 海城アジア (関根政美・山本信人)
 17791 貝殻追放 (全3巻セット) (水上瀧太郎)
 02209 外交史論集 (英修道)
 06481 外交・領事関係 (国際法事例研究会)
 11935 外国語教育のり・デザイン (平高史也・古石篤子・山本純一)
 00380 会社法 (高島正夫)
 04692 新版 会社法 (高島正夫)
 02285 会社法の諸問題 (増補版) (高島正夫)
 02698 改正会社法の基本問題 (高島正夫)
 06061 解説 宇宙法資料集 (栗林忠男・渡辺惺之・長田祐卓)
 16107 開拓使と幕臣 (門松秀樹)
 11911 開発経済学 (高梨和絨)
 05873 開発の国際法 (高島忠義)
 10761 解はひとつではない (福原義春・樺山絃一)
 15490 開放系言語学への招待 (唐須教光)
 13496 会話ではじめるロシア語 (CD2 枚付) (山田恒・東井ナチェージダ)
 09321 科学技術日本語案内 新訂版 (山崎信寿・富田豊・平林義彰)
 11331 輝く制服は個性と公益の結晶 (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
 02261 下級審商事判例訳 (昭和30年～39年) (慶應義塾大学商法研究会)
 01493 学習障害 (川村秀忠)
 05415 新版 学習障害 (川村秀忠)
 18415 学習障害 (幼) 児の学習意欲と遊び学習の支援 (川村秀忠)
 17203 学術論文の読み方・まとめ方 (三井宏隆)
 00168 学生生活方法論 (中村菊男)
 00236 学生フランス語第一部 (原宏・原田芳郎・片桐邦郎・小浜俊郎・中澤達夫・桜木泰行・佐藤真・山田直)
 07945 罌堂 尾崎行雄 (相馬雪香・富田信男・青木一能)
 16602 学問・スポーツ・芸術のスヌメ (開かれた学塾研究会)
 17951 家計労働供給の観測と理論 (小尾恵一郎)
 03947 賢く生きる (庭田範秋)
 02636 かずの本 (文部省)
 16015 家族・都市・村落生活の近現代 (平野敏政)
 03299 家族と法 (田中実・松浦千誉・雨宮孝子・小石侑子・永山榮子) →改訂版あり
 09291 家族と法 親族編 (田中実)
 09299 家族と法 (親族編) (田中実・松浦千誉・雨宮孝子・小石侑子・永山榮子)
 14004 家族と法 親族編 (新訂第二版) (田中実・松浦千誉・小石侑子・雨宮孝子・永山榮子)
 09307 家族と法 相続編 (田中実・松浦千誉・小石侑子・雨宮孝子・永山榮子)
 07013 家族法 (櫻井みや子)
 19948 語られなかった戦後日本外交 (池井優)
 04562 各国政治制度概説 (中村勝範)
 04951 学校給食指導の手引き (文部省著作)
 01561 学校保健の手引き (松島正視)
 18705 悲しみにある者 (ジョン・ディディオン／池田年穂)
 12161 仮名手本忠臣蔵 (上村以和於)
 19429 荷風と市川 (秋山征夫)
 10563 禍福こもごもの人生 (石川忠雄)
 13694 株式会社監査機構のあり方 (倉澤康一郎)
 00410 株式会社設立の法理 (大賀祥充)
 13199 株式投資のためのケインズ経済学 (新井啓)
 08942 株式持合と日本型経済システム (岡部光明)
 04258 改訂増補 貨幣金融史 (E. ビクター・モーガン／小竹豊治)
 16206 貨幣考古学序説 (櫻木晋一)
 13595 雷文化論 (妹尾堅一郎)
 19061 神の子 洪秀全 (ジョナサン・D・スペンス／佐藤公彦)

- 04449 仮の権利保護をめぐる諸問題 (石川明)
05705 カレッジライフのすすめ (古田精司)
06474 川を渡る (デイヴィッド B. シュウォルツ／富安芳和・根ヶ山公子)
07563 環境学事始め (川村晃生)
06757 環境コミュニケーション論 (藤江俊彦)
13571 環境制約と経済の再生産 (細田衛士)
15063 環境と消費者 (石橋春男)
08478 環境分析用産業連関表 (朝倉啓一郎・早見均・溝下雅子・中村政男・中野論・篠崎美貴・鷺津明由・吉岡完治)
15124 環境分析用産業連関表とその応用 (中野論・早見均・中村政男・鈴木将之)
19146 監獄行政官僚と明治日本 (小野修三)
11065 韓国社会と日本社会の変容 (服部民夫・金文朝)
11072 韓国・日本・「西洋」(渡辺浩・朴忠錫)
11461 韓国における市民意識の動態 (小此木政夫)
14653 韓国における市民意識の動態Ⅱ (小此木政夫・西野純也)
04845 韓国民事法の現代的諸問題 (金崎洙・石川明)
03596 観察と実験の指導 (文部省著作)
03473 患者の心理 (関計夫)
20425 感情資本主義に生まれて (岡原正幸)
01127 函数解析学 (丸山徹)
08690 簡単にわかる体のしくみと病気の起こり方 (菅沼安嬉子)
12192 ガンとして生きる (関根徳男)
08027 韓日社会組織の比較 (伊藤亜人・韓敬九)
02186 神戸寅次郎著作集 (下) (慶應義塾大学法学研究会)
02179 神戸寅次郎著作集 (上) (慶應義塾大学法学研究会)
- 【き】**
- 11584 記憶を紡ぐアメリカ (近藤光雄・鈴木透・M. W. エインジ)
09680 危機対応のエフィカシー・マネジメント (高田朝子)
10433 危機の朝鮮半島 (小此木政夫)
03121 企業組織と環境変化 (唐澤和義)
01097 企業と企業経済学 (E. シェファー／小高泰雄・小島三郎)
18866 起業と経済成長 (磯辺剛彦・矢作恒雄)
11829 企業のリスクマネジメント (青井倫一・竹谷仁宏)
12666 企業評価+企業倫理 (岡本大輔・梅津光弘)
19207 企業法の法理 (山本爲三郎)
02674 議決権代理行使の研究 (加藤修)
19405 「絆」を考える 文学部は考える2 (慶應義塾大学文学部編)
13564 基礎研究者の職務関与と人的資源管理 (義村敦子)
18736 期待を超えた人生 全盲の科学者が綴る教育・就職・家庭生活 (ローレンス・スキヤッデン／岡本明)
03435 北里柴三郎 (長木大三)
17333 貴重書デジタルアーカイブの実践技法 (檜村雅章)
19719 貴重書の挿絵とパラテキスト (松田隆美)
00144 基本英語学習ノート (山根勝亮)
06924 北里大学誕生の記 (長木大三)
16046 北朝鮮と人間の安全保障 (小此木政夫・磯崎敦仁)
04609 規範の基礎 (日本倫理学会)
18590 貴婦人ゴディヴァ (ダニエル・ドナヒュー／伊藤盡訳)
00120 基本英語精選問題集 (田村芳雄・西忠三郎)
00137 基本英語の学び方 (田村芳雄)
00854 規模とデモクラシー (R.A. ダール, E.R. タフティ／内山秀夫)
04388 キャンパスの歌 (池田真朗)
17692 救国、動員、秩序 (高橋伸夫)
11928 旧ソ連地域と紛争 (廣瀬陽子)
05163 窮民救助制度の研究 (稲葉光彦)
08607 教育愛 (牛島義友)

- 02995 教育課程編成の手引 (文部省)
14950 教育が日本をひらく (安西祐一郎)
18507 教育・健康と貧困のダイナミズム (樋口美雄・宮内環・C.R. マッケンジー)
04210 教育社会学 (仲康・岩内亮一)
06955 教育・就労・医療の最前線 (小谷津孝明・小松隆二・富安芳和)
02001 教育心理学 (斎藤幸一郎・並木博)
03466 教育心理学 改訂版 (斎藤幸一郎・並木博)
20357 教育心理学 (安藤寿康・鹿毛雅治)
04852 教育の機会均等から生涯学習へ (奥井晶)
09550 教育の理想 (村井実)
12536 「教育」を問う教育学 (田中克佳)
03664 行刑の理論 (吉田敏雄)
00588 共産主義と革命 (C.P. ブラック・T.P. ソーントン／中沢精二郎)
02308 強制執行法関係論文集 (ゲルハルト・リュケ／石川明)
00458 行政法総論 [改訂] (金子芳雄)
12857 京都議定書をめぐる国際交渉 (浜中裕徳)
15933 京都議定書をめぐる国際交渉 (改訂増補版) (浜中裕徳)
16862 協働主義 (田島英一・山本純一)
03534 競争時代の保険・共済 (庭田範秋)
10273 「教養」を考える (慶應義塾大学教養研究センター)
08041 金正日体制の北朝鮮 (伊豆見元・張達重)
07273 禁衛府の研究 (藤井徳行)
14011 近世京都の歴史人口学的研究 (浜野潔)
14134 近世・近現代考古学入門 (鈴木公雄ゼミナール)
03626 近代イギリス政治思想研究 (萬田悦生)
01950 近代英文学の一面 (上村達雄・海保眞夫)
23891 近代オリンピックのヒーローとヒロイン (池井優)
00861 近代化の挫折 (S..N. アイゼンシュタット／内山秀夫・馬場晴信)
00878 近代化のダイナミクス (C.E. ブラック／内山秀夫・石川一雄)
03824 近代経済思想史 (小泉信三・千種義人)
07990 近代交流史と相互認識Ⅰ (宮嶋博史・金容徳)
11089 近代交流史と相互認識Ⅱ (宮嶋博史・金容徳)
12727 近代交流史と相互認識Ⅲ (宮嶋博史・金容徳)
02582 近代思想史
04135 近代中国人物研究 (山田辰雄)
17210 近代中国における音楽教育思想の成立 (高セイ)
13908 近代的心性における学知と想像力 (和泉雅人・松村友視)
01899 近代ドイツ演劇 (宮下啓三)
04012 近代ドイツ政治思想研究 (多田真鋤)
15742 近代都市バルセロナの形成 (山道佳子・八嶋由香利・鳥居徳敏・木下亮)
07792 近代トルコ見聞録 (長場紘)
04302 近代日本社会調査史 (Ⅰ) (川合隆男)
04906 近代日本社会調査史 (Ⅱ) (川合隆男)
05743 近代日本社会調査史 (Ⅲ) (川合隆男)
07662 近代日本人のアメリカ観 (澤田次郎)
02223 近代日本政治史の展開 (中村菊男)
04234 近代日本政治の諸相 (中村勝範)
20487 近代日本と福澤諭吉 (小室正紀)
03848 近代日本における国家と倫理 (日本倫理学会)
14158 近代日本の政治意識 (笠原英彦)
17142 近代日本の仏教者 (小川原正道)
19368 近代東アジア世界と憲法思想 (國分典子)
06160 近代東アジアの政治変動と日本の外交 (波多野勝)
12895 近代フランスの誘惑 (小倉孝誠)

- 20081 金融危機と管理体制 (吉野直行・藤田康範)
 20340 金融経済 (吉野直行・山上秀文)
 22054 金融経済 (第2版) (吉野直行・山上秀文) →第3版あり
 15018 金融資産市場論 (吉野直行・藤田康範)
 17548 金融資産市場論Ⅱ (吉野直行・藤田康範)
 18774 金融資産市場論Ⅲ (吉野直行・藤田康範)
 20074 金融システムの現在 (吉野直行・藤田康範)
 17531 金融投資サービス論 (吉野直行)
 18767 金融投資サービス論Ⅱ (吉野直行・藤田康範)
 15056 金融と消費者 (関谷喜三郎・関川靖)
 04753 金融論 (塩澤修平)

【く】

- 01578 苦しみの雲を越えて (菅崎進・石田皎)
 13915 句題詩研究 (佐藤道生)
 09390 グループミーティングの戦略 (岩下貢)
 18729 グローバル R&D マネジメント (浅川和宏)
 18620 グローバル・イノベーション (若杉隆平・伊藤萬里)
 18682 グローバル・ガバナンスと EU の深化 (香川敏幸・市川顕)
 10488 グローバル時代の感染症 (竹内勤・中谷比呂樹)
 10372 グローバル・セキュリティ入門 (薬師寺泰蔵)
 12598 グローバル・ナショナル・ローカルの現在 (野村亨・山本純一)
 11256 軍事組織とジェンダー (佐藤文香)
 20548 軍事と公論 (尾原宏之)
 11874 君主の統治について (トマス・アキナス／柴田平三郎)

【け】

- 06788 KEIO SFC REVIEW No. 1 (慶應義塾大学湘南藤沢学会)
 06900 KEIO SFC REVIEW No. 2 (慶應義塾大学湘南藤沢学会)
 07129 KEIO SFC REVIEW No. 3 (慶應義塾大学湘南藤沢学会)
 07372 KEIO SFC REVIEW No. 4 (慶應義塾大学湘南藤沢学会)
 07693 KEIO SFC REVIEW No. 5 (慶應義塾大学湘南藤沢学会)
 08751 KEIO SFC REVIEW No. 6 (慶應義塾大学湘南藤沢学会)
 15728 慶應義塾史事典 (慶應義塾史事典編集委員会編)
 04593 慶應義塾消費組合史 (白井厚監修)
 09871 慶應義塾図書館蔵 図解 御伽草子 (石川透)
 17074 慶應義塾図書館の蔵書 (佐藤道生)
 15766 慶應義塾図書館和漢貴重書目録 (慶應義塾図書館)
 07044 慶應義塾の教育論 (三田教育会・鳥居泰彦・石川忠雄・中川真弥)
 15674 慶應義塾弁論部百三十年史 (慶應義塾大学弁論部・エルゴール会百三十年史編集委員会)
 20449 慶應義塾幼稚舎の理科教育 (慶應義塾幼稚舎理科編)
 03916 経済科学と批判的合理主義 (G. シャンツ・小島三郎)
 02704 経営政策とマネジメント・システム (慶應義塾大学ビジネス・スクール／伏見多美雄)
 04807 経営分析入門 (藤森三男)
 01806 経済学 (大熊一郎・富田重夫)
 07303 経済学による政府の役割分析 (慶應義塾大学経済学部現代経済学研究会)
 06016 経済学入門 (塩澤修平)
 10600 経済学の進路 (嘉治佐保子・柳川範之・白井義昌)
 01813 経済価値論 (遊部久蔵)
 00908 経済原論 (千種義人) →改訂版あり
 04173 経済原論講義要覧 (富田重夫) →改訂版あり
 05910 経済原論講義要覧 (改訂版) (富田重夫)
 21248 経済事象に潜在する構造の探求 (小尾恵一郎)

- 03725 経済史讀 '86 (渡辺國廣)
04876 経済史讀 '92 (渡辺國廣)
00922 経済史における人口 (社会経済史学会)
06740 経済史入門 (岡田泰男)
04715 経済史の風景 (渡辺國廣)
03510 経済史の方法 (渡辺國廣)
03169 経済数学講義 (丸山徹)
15308 経済政策 (大村達弥)
01820 経済政策学 (加藤寛)
15049 経済と消費者 (嶋村紘輝・酒井徹)
03114 経済発展理論 (P. A. ヨトボロス・J. B. ヌジェント/鳥居泰彦)
02070 経済法の基本問題 (峯村光郎)
02292 刑事裁判と国民性 (青柳文雄)
13670 刑事訴訟法講義 (安富潔)
17005 刑事訴訟法講義 第2版 (安富潔)
21699 刑事訴訟法講義 第3版 (安富潔)
24294 刑事訴訟法講義 第4版 (安富潔)
00472 刑事訴訟法入門 (青柳文雄)
05774 刑事法講義ノート (園田寿・荒川雅行・井田良)
06306 刑事法講義ノート (第2版) (園田寿・井田良・加藤克佳)
22788 刑事法実務の基礎知識 特別刑法入門 (安富潔) →第2版あり
04913 刑事手続とコンピューター犯罪 (安富潔・慶應義塾大学法学研究会叢書)
02735 慶大入試情報 (慶大入試情報編集部)
02902 慶大入試情報 '84 (慶大入試情報編集部)
02506 慶大入試のために
21361 刑の一部執行猶予 (太田達也) →改訂増補版あり
06023 刑法入門 (井田良)
20852 契約履行の動態理論Ⅰ (北居功)
20869 契約履行の動態理論Ⅱ (北居功)
12703 計量経済学のフロンティア (田中辰雄・中妻照雄)
06696 ケインズ「一般理論」とその理念 (千種義人)
03398 ケインズ研究 (J. フェンダー・坂本市郎)
14417 ケインズの思想 (小畑二郎)
12260 ケータイ研究の最前線 (日本記号学会)
00328 結果的加重犯の本質 (香川達夫)
05453 結婚への提言 (渡辺國廣)
06665 決断と誤断 (池井優)
02797 血友病児の教育 (永峯博)
03077 ケネー記 (渡辺國廣)
24621 ゲームの面白さとは何だろうか (大森貴秀・原田隆史・坂上貴之)
09000 研究開発人材のマネジメント (石田英夫)
13687 言語態分析 (原宏之)
18569 言語マイノリティを支える教育 (ジム・カミンズ/中島和子)
08126 現時法学の理論と実践 (宗田親彦)
02841 源氏物語研究および古典語論 (青山なを)
05132 現象学と倫理学 (日本倫理学会)
04890 現代アジアと国際関係 (三田ASEAN研究会)
09659 現代アジアの統治と共生 (唐木圀和・後藤一美・金子芳樹)
00526 現代アフリカの政治とイデオロギー (小田英郎)
03800 現代アメリカ社会と司法 (大沢秀介)
15384 現代アメリカのテレコミュニケーション政策過程 (清原聖子)
12840 現代アメリカの医療政策と専門家集団 (天野拓)
02940 現代会計監査 (会田義雄)
12062 現代会計論 (笠井昭次)

-
- 07914 現代金融危機の構造 (飯田裕康)
04432 現代経済史ヨーロッパ (渡辺國廣)
12475 現代国際商取引論 (荒畑治雄)
18231 現代国際商取引論 (第3版) (荒畑治雄)
21545 現代国際商取引論 (第4版) (荒畑治雄)
07747 現代国際法 (栗林忠男)
11270 現代語訳 特命全權大使 米欧回覧実記 (全5巻) (久米邦武/水澤周)
01349 現代催眠学 (蔵内宏和・前田重治)
10648 現代社会心理学 (青池慎一・榊博文)
05507 現代社会と家族的適応 (平野敏政)
11720 現代社会と著作権法 (苗村憲司・小宮山宏之)
10228 現代社会と労働 (菊野一雄)
08645 現代生命科学入門 (小比賀正敬・中島陽子)
00557 現代中国 (J.B. タウンゼント/小島朋之)
18255 現代中国外交の六十年 (添谷芳秀)
12338 現代中国政治と人民代表大会 (加茂具樹)
14264 現代中国の外交 (青山瑠妙)
07495 現代中国の政治 (小島朋之)
10549 現代中国の政治と官僚制 (国分良成)
15278 現代中国の中央・地方関係 (磯部靖)
06535 現代中国の党政関係 (唐亮)
09796 現代中国の歴史書 (山本英史)
08355 現代中東情報探索ガイド (長場紘)
12574 現代中東情報探索ガイド (改訂版) (長場紘)
09574 現代哲学入門 (西脇与作)
19290 現代における人の国際移動 (吉原和男)
17012 現代日本会計学説批判Ⅰ (笠井昭次)
17029 現代日本会計学説批判Ⅱ (笠井昭次)
17036 現代日本会計学説批判Ⅲ (笠井昭次)
17043 現代日本会計学説批判Ⅳ (笠井昭次)
02254 現代日本外交史論 (内山正徳)
06092 現代日本社会の変貌 (坂田義教・栗岡幹英)
06825 現代日本人の政治意識 (公平慎策)
14592 現代日本における政治参加意識の構造と変動 (三船毅)
17302 現代日本農業の政策過程 (本間正義)
06511 現代日本の公共政策 (鈴木守)
18514 現代日本の産業集積研究 (渡辺幸男)
11409 現代日本の社会意識 (渡辺秀樹)
14585 現代日本の地方選挙と住民意識 (河村和徳)
11393 現代日本の投票行動 (谷口尚子)
11386 現代日本の政策形成と住民意識 (佐々木寿美)
04326 現代の学校にもとめられるバリア・フリー環境 (野村みどり)
15421 現代の金融市場 (黒坂佳史・藤田康範)
00977 現代の経済像 (渡辺國廣)
05095 現代の社会変動 (十時巖周)
22030 現代の事例から学ぶサイエンスコミュニケーション (ジョン・K・ギルバート/小川義和・加納圭・常見俊直)
13823 現代の保健衛生 (慶應義塾大学保健管理センター)
16886 現代東アジア (国分良成)
01592 現代文化人論 第1巻 (中村勝範)
01608 現代文化人論 第2巻 (中村勝範)
00991 現代保険の課題と展望 (庭田範秋)
09840 現代マクロ経済学 (余語将尊・木村正信)
10846 現代マーケティング・コミュニケーション入門 (三宅隆之)
11638 現代マーケティング・コンセプト入門 (三宅隆之)
-

- 09055 現代ミクロ経済学 (余語尊尊)
 00687 現代ヨーロッパ史 (田中前三)
 00694 現代ヨーロッパ史第一部 (平山栄一)
 11751 現代流通概論 (金沢尚基)
 01882 現代倫理学の諸問題 (大谷愛人・池上明哉・小松光彦)
 10679 現代ロシアの経済構造 (塩原俊彦)
 03886 憲法と民事手続法 (K.H. シュワーブ / P. ゴットヴァルト / M. フォルコンマー)
 09918 原理主義と民主主義 (根岸毅)

【こ】

- 18453 小泉信三「福澤論吉を語る」(小泉信三)
 11904 恋の研究 (柴田陽弘)
 07938 公益学のすすめ (小松隆二)
 09925 公益とまちづくり文化 (小松隆二)
 09604 公益の色はどんな色 (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
 14073 公益の思いを紡ぐメッセージ (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
 16374 公益の扉をひらく私の挑戦 (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
 13151 公益を育む心の大地 (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
 15315 公益をひろげる勇気の詩 (うた) (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
 11034 抗加齢医学入門 (米井嘉一)
 18408 抗加齢医学入門 (第2版) (米井嘉一)
 17135 公共事業改革の政治過程 (三田紀路佳)
 12208 公共ホールの政策評価 (中矢一義)
 00960 工業化の比較史 (渡辺國廣)
 03893 公正と効率 (E.E. セイジャック / 藤井弥太郎)
 16800 構造問題と規制緩和 (内閣府経済社会総合研究所 / 寺西重郎編)
 19689 公智と実学 (猪木武徳)
 00212 高等英作文 (荒木良二・清水周裕)
 22900 行動する文学部 (慶應義塾大学文学部)
 15995 高度産業社会と構造的疎外 (三浦雄二)
 09932 幸福の逆説 (巽孝之・宮坂敬造・坂上貴之)
 20142 幸福の追求 イギリス領植民地期アメリカの社会史 (J. P. グリーン / 大森雄太郎)
 16114 工部省の研究 (柏原宏紀)
 03817 合理的期待入門 (M. カーター・R. マドック / 浜田文雅)
 04555 合理的な決定とは何か (藤川吉美)
 13205 高齢化社会と日本人の生き方 (小倉康嗣)
 09499 古貨幣七十話 (利光三津夫)
 02889 古貨幣夜話 (利光三津夫)
 05224 国語☆☆☆☆指導書 (文部省)
 05019 こくご☆☆☆☆指導書 (文部省)
 05002 こくご☆☆☆☆指導書 (文部省)
 09062 こくご☆☆ こくご☆☆ こくご☆☆☆☆ 教科書解説 (文部科学省)
 09079 国語☆☆☆☆教科書解説 (文部科学省)
 06443 国語科教科書指導書 豊学校小学部2年 (文部省作)
 15216 国際環境協力の新しいパラダイム (巖網林)
 16763 国際環境の変化と日本経済 (内閣府経済社会総合研究所企画・監修 伊藤元重)
 13779 国際環境法 (P. バーニー・A. ボイル / 池島大策・富岡仁・吉田脩)
 18552 国際関係のなかの日中戦争 (西村成雄・石島紀之・田嶋信雄)
 03176 国際経営の人間問題 (石田英夫)
 02834 国際経済法の基本問題 (櫻井雅夫)
 15292 国際資金循環分析 (辻村和佑・辻村雅子)
 14257 国際電気通信市場における制度形成と変化 (西岡洋子)
 04029 国際秩序の変化過程における発展途上国 (矢崎武夫)
 03909 国際比較調査の諸問題 (J. ベルティング / 川合隆男・鶴木眞)

- 09567 国際比較調査の方法と解析 (真鍋一史)
05903 国際貿易論 改訂版 (矢内原勝)
01851 国際貿易論 (矢内原勝)
01653 国際法学の諸問題 (前原光雄教授還暦記念論文集刊行会)
01752 国際法講義案 (平時) (前原光雄)
01769 国際法講義案 (戦時) (前原光雄)
04920 国際連合 (加藤俊作)
17913 黑板とワイン (熊倉敬聡・坂倉杏介ほか)
21156 国民の司法参加と刑事法学 (平良木登規男)
09819 ここで跳べ (飯田裕康・高草木光一)
01356 心で起こる体の病 (池見西次郎)
12246 心に架ける公益の虹 (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
06702 こころの教育論 (トーマス・リコーナ/三浦正)
07228 心の健康を求めて (牛島定信)
04104 こころの時代の教育 (伊藤隆二)
02032 国史 (河北展生・志水正司・高橋正彦・高瀬弘一郎)
03961 コスモスと社会 (吉田禎吾・宮家準)
17654 古代エジプトの歴史 (山花京子)
18316 古代オリエントの歴史 (小川英雄)
19535 古代学論究 (川崎晃)
01776 古代政治思想史 (石井良博)
10570 古代法解釈 (佐藤信夫)
国家承認 (国際法事例研究会)
13212 古代末期の形成 (ピーター・ブラウン/足立広明)
06207 国家と権力の経済理論 (田中宏)
08003 国家理念と対外認識 (朴忠錫・渡辺浩)
03954 国交再開・政府承認 (国際法事例研究会)
11614 ことばの生態系 (井上逸兵)
11966 子どもたちのメンタリティ危機 (須永和宏)
07570 子どもと共に (秦和之)
01370 子どものしつけと家庭教育 (関計夫)
01332 子供の心理療法 (森脇要・池田数好・高木俊一郎)
16916 子どもを救う「家庭力」(須永和宏)
01325 子にとって母とは何か (E. シュマルルオア/西谷謙堂)
01639 五年のあしあと (高村象平)
01295 この子らに何を学ぶか (牛島義友)
17388 小林秀雄 (越知保夫・若松英輔)
12994 コーポレート・ガバナンスと企業理論 (渡辺智子)
00632 コミュニケーション研究 (大石裕)
12581 コミュニケーション研究 第2版 (大石裕)
18323 コミュニケーション研究 第3版 (大石裕) →第4版あり
23372 コミュニケーション研究 第4版 (大石裕) →第5版あり
00793 コミュニケーション行動の理論 (慶應義塾大学新聞研究所)
14103 コミュニケーションの支援と授業づくり (日本肢体不自由教育研究会)
10181 コミュニケーションの政治学 (鶴木眞)
02667 コミュニケーション論 (生田正輝)
13472 コミュニティ・メディア (金山智子)
01936 新装版 古文書学 (伊木壽一/高橋正彦)
00076 古文書選 (一) 中世文書諸様式 (高橋正彦)
05965 古文書選 (一) 改訂版 (高橋正彦)
00083 古文書選 (二) 相良家讓状と戦国法 (高橋正彦)
05972 古文書選 (二) 改訂版 (高橋正彦)
02537 古文書選 (三) (高橋正彦)
02896 古文書選 (四) 反町文書 (高橋正彦)

- 01240 雇用・利子・収益率とジェラール曲線 (ジャン＝ピエール・ジェラール／石橋春男・関谷喜三郎)
 14110 これからの健康管理と医療的ケア (日本肢体不自由教育研究会)
 01240 コロナへの道 (牛島義友)
 13083 壊れゆく景観 (川村晃生・浅見和彦)

【さ】

- 01226 最新精神衛生 (高木四郎)
 20173 財政学の本質 (山田太門)
 08614 サイバード・スペースデザイン論 (渡邊朗子)
 08904 再分配政策の政治経済学 (権丈善一) →第2版あり
 03367 財務管理 [ケースブック] (鈴木貞彦) →改訂版あり
 06122 財務管理 (テキストおよびケース) (鈴木貞彦)
 18439 許害行為の基礎理論 (片山直也)
 06726 先物・オプション市場の計量分析 (岩田暁一)
 09239 サステナブル建築と政策デザイン (村上周三)
 09352 さまよえるグーテンベルク聖書 (富田修二)
 19085 さよなら、私のクィンターナ (ジョン・ディディオン／池田年穂)
 00885 産業化の社会的影響 (W.E. ムーア／井関利明)
 04968 産業社会の変貌 (野村隆夫)
 19832 サンゴ礁と人間 (近森正)
 14783 サンゴ礁の景観史 (近森正)
 05033 さんすう☆☆☆指導書 (文部省)
 05026 さんすう☆☆☆指導書 (文部省)
 09086 さんすう☆ さんすう☆☆ さんすう☆☆☆ 教科書解説 (文部科学省)
 09185 参入・退出と多角化の経済分析 (清水雅彦・宮川幸三)

【し】

- 13366 シニア派の自画像 (モハンマド＝ホセイン・タバータバーイー／森本一夫)
 11577 シヴィル・ソサエティ論 (洪沢雅英・山本正・小林良彰)
 02926 シェイクスピア劇の世界 (石川実)
 01974 シェイクスピア研究 (池上忠弘・黒川高志・石川実・金原正彦)
 19160 シェイクスピアとエンブレム (松田美作子)
 03084 シェイクスピア悲劇の研究 (黒川高志)
 04272 シェイクスピア四大悲劇 (石川実)
 03527 ジェヴォンズ評伝 (R. ケーネカンプ・丸山徹／内山智子・中山千佐子)
 02018 史学概論 (神山四郎)
 20043 詩学講義 無限のエコー (吉増剛造)
 06320 視覚障害教育に携わる方のために (香川邦生)
 07921 改訂版 視覚障害教育に携わる方のために (香川邦生)
 11515 三訂版 視覚障害教育に携わる方のために (香川邦生) →四訂版あり
 03879 視覚障害児のための言語の理解と表現の指導 (文部省)
 08676 色素細胞 (松本二郎・溝口昌子) →改訂版刊行予定あり
 15698 資源循環型社会のリスクとプレミアム (細田衛士)
 09178 資金循環分析 (辻村和佑・溝下雅子)
 10099 資金循環分析の軌跡と展望 (辻村和佑)
 14349 資源循環型社会 (細田衛士)
 20135 思考を鍛えるレポート・論文作成法 (井下千以子)
 21071 思考を鍛えるレポート・論文作成法 (第2版) (井下千以子) →第3版あり
 14981 私史・日本の実験動物 45年 (野村達次・飯沼和正)
 13717 詩集1 (西脇順三郎／新倉俊一)
 13724 詩集2 (西脇順三郎／新倉俊一)
 21682 私塾に学ぶ (慶應義塾福澤諭吉記念文明塾運営委員会編集)
 09468 思春期・青年期 青少年の悩みにこたえる (教育と医学の会)
 08010 市場・国家・国際体制 (小此木政夫・文正仁)

-
- 23785 システムデザイン・マネジメントとは何か (慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科)
→第2版あり
- 18217 自省する知 (慶應義塾大学三田哲学会)
- 10594 <次世代を育む心>の危機 (小此木啓吾・濱田庸子・山田康)
- 11119 四川省の環境問題 (山田辰雄・楊治敏)
- 12550 自然地理学 (松原彰子)
- 14851 自然地理学 第2版 (松原彰子)
- 18057 自然地理学 第3版 (松原彰子)
- 21064 自然地理学 第4版 (松原彰子)
- 24003 自然地理学 第5版 (松原彰子) →第6版あり
- 08669 自然と文学 (柴田陽弘)
- 18026 詩想の泉をもとめて (井上輝夫)
- 06276 持続可能性の経済学 (慶應義塾大学経済学部環境プロジェクト)
- 10112 時代のなかの歌舞伎 (上村以和於)
- 19955 自治体 ICT ネットワーキング (櫻井美穂子・國領二郎)
- 09017 自治体政策過程の動態 (伊藤修一郎)
- 06450 実学 日本の銀行 (黒田昌裕・玉置紀夫)
- 10136 実験国家 アメリカの履歴書 (鈴木透)
- 00441 執行契約の研究 (石渡哲)
- 06764 実証経済分析の基礎 (中島隆信・吉岡完治・池田明由・木村福成)
- 14547 実践的 MOT のススメ (田村新吾)
- 13021 実践プレゼンテーション入門 (三宅隆之)
- 09451 児童期 知と感性をそだてる (教育と医学の会)
- 09963 児童虐待の発見と防止 (ジェームズ・A・モンテリオン/加藤和生)
- 01219 児童精神医学各論 (高木四郎)
- 01202 児童精神医学総論 (高木四郎)
- 02865 児童文学と国語教育 (桑原三郎)
- 09635 児童文学の心 (桑原三郎)
- 06351 詩の真実とことば (高野守正)
- 15803 しのびよるシャーガス病 (竹内勤・三浦左千夫)
- 19115 死の欲動とモダニズム (遠藤不比人)
- 02346 詩 不可視なるもの (小浜俊郎)
- 02148 私法学の諸問題 (西本辰之助)
- 18675 司法積極主義の神話 (カーミット・ルーズヴェルト/大沢秀介)
- 06504 資本蓄積論 (寺出道雄)
- 10075 資本の測定 (野村浩二)
- 14363 市民社会 (アジア政経学会/竹中千春・高橋伸夫・山本信人)
- 14066 市民社会と地方自治 (片山善博)
- 12833 市民社会における制度改革 (浅野正彦)
- 12284 市民社会における政治過程の目韓比較 (小林良彰・任赫伯)
- 13632 市民社会の比較政治学 (小林良彰・富田広士・粕谷祐子)
- 11003 市民と武装 (小能英二)
- 12628 シモーヌ・ヴェイユの哲学 (ミクロス・ヴェトール/今村純子)
- 16596 社会イノベータ (飯盛義徳)
- 04524 社会科学概論 (寺尾誠)
- 06610 改訂 社会科学概論 (寺尾誠)
- 00762 社会学概論 (横山寧夫)
- 00724 社会的世界の探究 (山岸健)
- 06634 社会的世界の探究 [新增補] (山岸健)
- 03404 社会学と歴史学 (ピーター・バーグ/森岡敬一郎)
- 03671 社会学と社会心理学 (佐原六郎)
- 02728 社会学の文脈と位相 (山岸健) →改訂版あり
- 10778 社会学の文脈と位相 改訂版 (山岸健)
- 03039 社会学理論と社会思想 (横山寧夫)
-

- 00953 社会経済史 (C. プリンクマン／渡辺國廣)
01073 社会経済思想史・西欧編 (加田哲二)
01837 社会思想史 (古代・中世) (白井厚)
05736 社会人のための自学自習のノウハウ (関根徳男)
03732 社会心理学 (佐原六郎)
03268 社会生活の場面と人間 (慶應義塾大学文学部社会学研究室)
05248 社会・世論調査のデータ解析 (真鍋一史)
11225 社会調査入門 (K・F・パンチ／川合隆男)
02759 社会調査方法史 (ガーリー・イーストホープ／川合隆男・霜野寿亮)
12093 社会学的人間学 (山岸健)
02469 社会保障と個人保障 (庭田範秋)
13878 社会保障と日本経済 (京極高宣)
12086 社会保障の新たな制度設計 (城戸喜子・駒村康平)
01035 増補改訂 社会保障の基本理論 (庭田範秋)
17982 社会を生きる経済学 (慶應義塾大学経済学部)
15636 写真集 慶應義塾 150 年 (慶應義塾創立 150 年写真集編纂委員会)
15322 写真、その語りにくさを超えて (日本記号学会)
19399 ジャマノ編集長 学術論文出版のすすめ (ウィリアム・ジャマノ／松井貴子／原田範行)
01523 集団心理療法の技術 (森脇要)
07587 19 世紀アメリカの法と経済 (折原卓美)
07877 19 世紀フランス文学事典 (古屋健三・小渕昭夫)
08270 十九世紀フランス・バレエの台本 (平林正司)
03657 19 世紀ヨーロッパ音楽 (増補版) (徳永叙春)
20609 宗教改革と農奴制 (野々瀬浩司)
03305 宗教教育の歴史 (E.L. タウンズ・三浦正)
02872 重度発達障害児の指導カリキュラム (牛島義友)
08102 十二世紀ルネサンス (D. ラスカム／鶴島博和・吉武憲司)
02781 自由民権裁判の研究 (上) (手塚豊)
02681 自由民権裁判の研究 (中) (手塚豊)
02780 自由民権裁判の研究 (下) (手塚豊)
21767 自由・民権・平和 (松永昌三)
03329 住民訴訟の諸問題 (金子芳雄)
07648 熟年人生の経済学 (塩澤修平)
00175 受験期の心理 (仲脩三)
16169 シュターツカペレ・ドレスデン (エーバーハルト・シュタインドルフ／識名章喜)
02162 出訴期限規則略史 (内池慶四郎)
09703 首都圏の酸性雨 (慶應義塾大学理工学部環境化学研究室)
01691 首都圏の社会経済構造とその基礎資料 (矢崎武夫)
07464 主要国政治システム概論 (中村勝範)
11652 主要国政治システム概論 (改訂版) (中村勝範)
19030 生涯元気をめざして (神崎仁)
13090 蒋介石と新生活運動 (段瑞聰)
08966 蒋介石と南京国民政府 (家近亮子)
06283 障害学生の支援 (富安芳和・小松隆二・小谷津孝明)
01301 障害児教育とコミュニティー (牛島義友)
09482 障害児 障害のある人を支える (教育と医学の会)
05583 障害児と教育その心 (村田茂)
07594 障害者・家族・専門家の共働 (小谷津孝明・小松隆二・富安芳和)
01462 障害児の保健概論 (小村欣司)
21804 障害の重い子どもの目標設定ガイド (徳永豊) →第 2 版あり
10938 小学校での英語教育は必要か (大津由紀雄)
11713 小学校での英語教育は必要ない! (大津由紀雄)
18880 小学生のためのキャリア教育実践マニュアル (飯盛義徳・横尾敏史)
09222 少子高齢化と人事戦略 (古賀幸治)

- 01745 象徴主義の文学と現代 (上田保)
02339 象徴の意味 (D.H. ロレンス／海野厚)
01448 情緒障害児指導事例集 (文部省)
03640 少年倶楽部の頃 (桑原三郎)
00304 少年法改正 (宮沢浩一)
12222 情の技法 (坂本光・坂上貴之・宮坂敬造・岡田光弘・巽孝之)
12116 消費経済理論 (石橋春男)
15971 消費者間の相互作用についての基礎研究 (濱岡豊・里村卓也)
16947 消費者法の新展開 (宗田貴行)
12130 消費者問題 (呉世煌・西村多嘉子)
17975 情報セキュリティ入門 (羽室英太郎) →第2版
20067 情報セキュリティ入門 第2版 (羽室英太郎) →第3版あり
00397 商法総則商行為法 (高鳥正夫)
08409 情報とグローバル・ガバナンス (土屋大洋)
14172 情報による安全保障 (土屋大洋)
09154 情報リテラシー入門 (慶應義塾大学日吉メディアセンター編)
00717 情報理論と教育学 (Felix von Cube／西村皓・井上坦)
08430 条約法 (国際法事例研究会)
02971 小論と随想 (青山なを)
10921 昭和戦前期立憲政友会の研究 (奥健太郎)
11867 食餌の技法 身体医文化論Ⅳ (鈴木晃仁・石塚久郎)
02575 女性解放論集増訂版 (白井厚・白井莞子)
07600 女性と人権 (人見康子)
00090 書道 (高橋正彦)
16732 ショパンとヴァルス (平林正司)
03633 諸民族の音楽 (三谷陽子)
20913 書物の来歴、読者の役割 (松田隆美)
05101 ジョルジュ・キュルヴィッチにおける社会学思想 (I) (ジョルジュ・キュルヴィッチ／仲康)
06962 資料 北朝鮮研究 (小此本政夫・徐大爾)
03251 史料日本史 (高橋正彦・村山光一)
17494 ジョン・ラスキンと地の大聖堂 (アンドレ・エラル／秋山康男・大社貞子)
11218 深淵の旅人たち (河内恵子)
00298 人格責任論の研究 (大谷実)
01530 人格の心理的発達 (ビエール・ジャネー／関計夫)
02216 新株引受権の法理 (阪埜光男)
26687 新・考える民法Ⅲ 債権総論 (平野裕之) →第2版あり
02216 神経精神病診断と治療の手引 (中脩三・松本啓)
04067 人口学あ・ら・かると (安川正彬)
02087 人工受精の諸問題 (小池隆一・田中実・人見康子)
09673 信仰とテロリズム (A. フレイザー／加藤弘和)
17777 仁斎学の教育思想史的研究 (山本正身)
21941 『新時代の「日本的経営」』オーラルヒストリー (八代充史・牛島利明・南雲智映・梅崎修・島西智輝)
20906 神女列伝 比較神話学試論2 (森雅子)
09598 新世紀の保険 (庭田範秋)
07785 人生の半ば (湯浅謙二)
13014 人造美女は可能か? (巽孝之・荻野アンナ)
00274 親族・相続編 (今泉孝太郎・手塚豊)
09246 身体医文化論 (石塚久郎・鈴木晃仁)
13533 清代中国の地域支配 (山本英史)
15483 信託・証券化ファイナンス (吉野直行)
05439 信と知 (日本倫理学会)
05170 新版 経済原論 (千種義人)
17296 神秘哲学 (井筒俊彦)
03565 新聞報道のあり方 (生田正輝)
11324 人文地理学 (杉浦章介・松原彰子・武山政直)

- 06146 新保険学総論 (庭田範秋)
 02605 新編初歩ドイツ語 カセットテープのみ (大谷弘道・井戸田総一郎・岩下眞好・大畑純一・識名章喜)
 05187 シンポジウム 華南 (慶應義塾大学地域研究センター編)
 08706 信用理論史 (大友敏明)
 09130 心理学が描くリスクの世界 (広田すみれ・増田真也・坂上貴之)
 12611 心理学が描くリスクの世界 改訂版 (広田すみれ・増田真也・坂上貴之)
 08423 新律綱領・改定律例編纂史 (藤田弘道)
 01165 心理面接の技術 (前田重治)
 19221 人類・社会の新たな発展を目指してⅠ (所真理雄)
 19238 人類・社会の新たな発展を目指してⅡ (所真理雄)
 19245 人類・社会の新たな発展を目指してⅢ (所真理雄)

【す】

- 00021 随筆慶應義塾 (高橋誠一郎) →新編あり
 02773 随筆慶應義塾 続 (高橋誠一郎) →新編あり
 07655 随筆集 下湧別村 (桑原三郎)
 04098 スウェーデン犯罪防止委員会報告書概観 (坂田仁)
 05231 数学☆☆☆☆指導書 (文部省)
 09093 数学☆☆☆☆教科書解説 (文部科学省)
 22535 数理経済学の源流と展開 (武藤功・花園誠)
 20241 数量経済史の原点 (西川俊作／牛島利明・斎藤修)
 23303 すこやかに住まう すこやかに生きる (伊香賀俊治・星旦二・小川晃子・安藤真太郎)
 01707 図説慶應義塾百年小史 (慶應義塾)
 13519 Study Skills for College English (慶應義塾大学経済学部英語部会) →2nd Edition あり
 14721 スタンダール (高木信宏)
 09314 スタンダール変幻 (日本スタンダール研究会)
 06597 「スポーツ医学」のすすめⅠ Basic (慶應義塾大学スポーツ医学研究センター)
 06603 「スポーツ医学」のすすめⅡ Action (慶應義塾大学スポーツ医学研究センター)
 18293 スポーツは誰のためのものか (杉山茂)
 19856 スマートネットワークの未来 (山中直明)

【せ】

- 11782 西王母の原像 (森雅子)
 01455 生活指導の手引 (文部省) →版元変更
 03381 生活単元学習指導の手引 (文部省)
 80058 世紀末からの東南アジア (添谷芳秀・山本信人・青木健)
 14370 政策 (アジア政経学会／武田康裕・丸川知雄・巖善平)
 15186 政策過程分析の最前線 (草野厚)
 14479 政策分析技法の展開 (佐藤慶一)
 17937 生産システムの史的展開と比較研究 (前田淳)
 12888 政治改革とシヴィル・ソサエティ (洪沢雅英・山本正・河野武司)
 00656 政治学概論 (多田真鍬)
 04463 政治学と国家 (根岸毅)
 01660 政治家史論 (板倉卓造)
 01714 政治思想と政治制度 (島田久吉)
 04418 政治哲学史 (K.シュテルンベルク／多田真鍬)
 00649 政治哲学の諸問題 (多田真鍬)
 10792 政治と宗教の古代史 (三田古代史研究会)
 06467 成熟時代の日米論争 (薬師寺泰蔵・添谷芳秀・吉野直行)
 19580 聖書起源のイデオロム 42章 (デイヴィッド・クリスタル／橋本功・八木橋宏勇)
 04579 政治理論と政治思想 (多田真鍬)
 01554 精神医学的作業療法の実際 (長谷川峰子)
 20289 精神対話論 (メンタルケア協会)
 01257 精神薄弱児の治療教育 (上) (牛島義友)
 01264 精神薄弱児の治療教育 (下) (牛島義友)

-
- 01400 精神薄弱特殊学級教育課程編成の手引 (文部省) → 版元変更
01233 精神薄弱の医学 (L.S. ベンローズ／秋山聡平)
09475 成人・老年期 健康と生き方を考える (教育と医学の会)
20708 成長 (慶應義塾大学教養研究センター)
02193 西独株式法 (慶應義塾大学商法研究会)
02315 西独における法曹教育と裁判所構成法 (ウィルヘルム .K. ベック／慶應義塾大学司法制度研究会)
02599 生と死の心理学 (関計夫)
08652 青年 小泉信三の日記 (小泉信三)
06313 青年ヘーゲルの思索 (渋谷勝久)
18484 西部戦線異状あり (河内恵子)
08225 生命探究の姿勢 (西村顯治)
13489 生命と自己 生命の教養学Ⅱ (慶應義塾大学教養研究センター)
04319 生命と倫理 (日本倫理学会)
12871 生命の教養学 ぼくらはみんな進化する? (慶應義塾大学教養研究センター)
11263 生命の教養学へ (慶應義塾大学教養研究センター)
14219 生命を見る・観る・診る 生命の教養学Ⅲ (慶應義塾大学教養研究センター)
01790 西洋外交史 (内山正熊)
23273 西洋教育思想史 (眞壁宏幹) → 第2版あり
05279 西洋経済史 (近世) (寺尾誠)
05286 西洋経済史 (中世) (寺尾誠)
09161 西洋精神史における言語観の諸相 (中川純男)
18088 西洋思想における「個」の概念 (中川純男・田子山和歌子・金子善彦)
09512 西洋思想の日本的展開 (小泉仰／西洋思想受容研究会)
08348 西洋書体の歴史 (スタン・ナイト／高宮利行)
04500 西洋哲学史 (松本正夫)
02483 正論自由 (第一巻) (中村勝範)
02643 正論自由 (第二巻) (中村勝範・永久寿夫)
03022 正論自由 (第三巻) (中村勝範)
03282 正論自由 (第四巻) (中村勝範)
03770 正論自由 (第五巻) (中村勝範)
03978 正論自由 (第六巻) (中村勝範)
04395 正論自由 (第七巻) (中村勝範)
04739 正論自由 (第八巻) (中村勝範)
05088 正論自由 (第九巻) (中村勝範)
05477 正論自由 (第十巻) (中村勝範)
05866 正論自由 (第十一巻) (中村勝範)
06405 正論自由 (第十二巻) (中村勝範)
07037 正論自由 (第十三巻) (中村勝範)
07686 正論自由 (第十四巻) (中村勝範)
09277 正論自由 (第十五巻) (中村勝範)
17753 世界金融・経済危機の全貌 (植田和男)
05620 世界経済論 (竹森俊平)
15650 世界の中の日本の役割を考える (米欧亜回覧の会)
12239 世界のなかの東アジア (国分良成)
00342 責任能力基準の研究 (墨谷葵)
06641 節約と浪費 (P. ジョンソン／真屋尚生)
07396 セミナール地球環境論 (慶應義塾大学経済学部環境プロジェクト)
14028 せめて一時間だけでも (ペーター・シュナイダー／八木輝明)
19092 セル生産方式の編成原理 (坂爪裕)
02810 世論とマス・コミュニケーション (真鍋一史)
03275 世論の研究 (真鍋一史)
20005 戦後食糧行政の起源 (小田義幸)
01080 戦後西ドイツ経営経済学の展開 (小島三郎)
09192 戦後日米関係の国際政治経済分析 (小野直樹)
14530 戦後日本における市民意識の形成 (浜日出夫)
-

- 11416 戦後日本の社会と市民意識 (有木賢・関根政美)
- 17159 戦後労働史研究 金杉秀信オーラルヒストリー (金杉秀信／伊藤隆・梅崎修・黒澤博道・南雲智咲)
- 14790 戦後労働史研究 早矢仕不二夫オーラルヒストリー (早矢仕不二夫／梅崎修・島西智輝・南雲智咲)
- 21484 戦時期中国の経済発展と社会変容 (久保亨・波多野澄雄・西村成雄)
- 14622 戦時日本の国民意識 (玉井清)
- 11447 戦前日本人の対ドイツ意識 (岩村正史)
- 11430 戦前日本の政治と市民意識 (寺崎修・玉井修)
- 00663 全体主義の政治哲学 (多田真鋤)
- 11294 善人ゲールハルト (V. R. エムス／平尾浩三)
- 14127 専門性向上につなげる授業の評価・改善 (日本肢体不自由教育研究会)
- 09376 戦略家への道 (岩下貢)
- 20685 戦略史としてのアジア冷戦 (赤木完爾・今野茂充)
- 09406 戦略的ネゴシエーション (岩下貢)
- 09383 戦略的プレゼンテーション (岩下貢)
- 09437 戦略的マネジメント (岩下貢)
- 15575 戦略とは何か? (リチャード・ウィットントン／須田敏子・原田順子)
- 05491 戦略兵器削減交渉 (斎藤直樹)
- 05217 戦略防衛構想 (斎藤直樹)
- 16060 占領下日本の学校図書館改革 (中村百合子)
- 【そ】**
- 12345 総合政策学 (大江守之・岡部光明・梅垣理郎)
- 10235 総合政策学の最先端 I (岡部光明)
- 10242 総合政策学の最先端 II (金子郁容)
- 10259 総合政策学の最先端 III (梅垣理郎)
- 10266 総合政策学の最先端 IV (香川敏幸・小島朋之)
- 09628 漱石の源泉 (飛ヶ谷美穂子)
- 02742 早大入試情報 (早稲田大学英字新聞会)
- 02919 早大入試情報 '84
- 02513 早大入試のために
- 21606 宋代民事法の世界 (青木敦)
- 09208 創発型組織モデルの構築 (唐沢昌敬)
- 08331 争覇の経営戦略 製菓産業史 (森田克徳)
- 11195 争覇の流通イノベーション (森田克徳)
- 04005 増補 新種保険論 (庭田範秋)
- 05071 続 近代英文学の一面 (上村達雄・海保真夫)
- 02278 続 律令制とその周辺 (利光三津夫)
- 04043 続 律令制の研究 (利光三津夫)
- 05057 続 渡辺國廣メモ (渡辺國廣)
- 15230 ソシオセマンティクスを創る (深谷昌弘)
- 05811 卒業論文の足跡 (慶應義塾大学通信教育部)
- 02445 卒業論文の手引 (慶應義塾大学通信教育部)
- 06139 卒業論文の手引 (新版) (慶應義塾大学通信教育部)
- 09956 卒業論文の手引 (新装版) (慶應義塾大学通信教育部)
- 組織と管理 (C・バーナー)
- 20524 備える BCM から使える BCM へ (安井肇・あらた基礎研究所)
- 00311 ソビエト刑法 (中山研一)
- 00946 ソビエトの国民所得 (A. パーグソン／加藤寛・安平哲二・丹羽春喜)
- 05552 ソファで読む経営哲学 (清水龍盛)
- 09024 ソ連・ロシアの核戦略形成 (仙洞田潤子)
- 22573 ソロヴィヨフ 生の変容を求めて (谷寿美)
- 【た】**
- 06870 第一次世界大戦と日本海軍 (平間洋一)
- 20531 大学改革を問い直す (天野郁夫)

- 07624 大学生生活と読書 (慶應義塾大学通信教育部)
- 09505 大学生の条件大学教授の条件 (岡部光明)
- 01622 大学・大学教育・大学生 (峯村光郎)
- 11317 大学通信教育に学ぶ人のためのスタディガイド (三井宏隆・小町由香里)
- 08195 大学で学ぶ数学 (川添健)
- 18958 大学1年生のための中国語 (慶應義塾大学商学部中国語部会) →第2版あり
- 25840 大学1年生のための中国語 第2版 (慶應義塾大学商学部中国語部会)
- 25697 大学生が知っておきたい消費生活と法律 (細川幸一) →第2版あり
- 23204 大学生が知っておきたい生活のなかの法律 (細川幸一) →新版あり
- 19825 大学における戦没者追悼を考える (白井厚)
- 13502 大学2年生のための中国語 (慶應義塾大学商学部中国語部会) →第2版あり
- 23143 大学2年生のための中国語 第2版 (慶應義塾大学商学部中国語部会)
- 10907 大教院の研究 (小川原正道)
- 09888 滞郷音信 (田久保英夫)
- 02766 大工頭中井家文書 (高橋正彦)
- 08546 大正期日本のアメリカ認識 (長谷川雄一・庄治潤一郎・戸部良一・櫻井良樹・賀川真理・杉山肇・伊藤信哉・五味俊樹)
- 05613 大正デモクラシーと陸軍 (浅野和生)
- 07259 大都市圏産業集積の実態 (渡辺幸男)
- 15209 大都市郊外の変容と「協働」(大江守之・駒井正品)
- 06658 第二次世界大戦の政治と戦略 (赤木完爾)
- 14400 大日本帝国のクレオール (フェイ・阮・クリーマン/林ゆう子)
- 10341 証言 太平洋戦争下の慶應義塾 (白井厚・浅羽久美子・翠川紀子)
- 07730 共同研究 太平洋戦争と慶應義塾 (白井厚) →本文篇あり
- 20296 太平洋島嶼地域における情報通信政策と国際協力 (菅谷実)
- 10334 太平洋問題調査会の研究 (片桐庸夫)
- 18941 【対話】異形 (慶應義塾大学教養研究センター)
- 20029 【対話】共生 (慶應義塾大学教養研究センター)
- 13267 台湾における一党独裁体制の成立 (松田康博)
- 18392 たからものから公益へ (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
- 12055 多言語社会と外国人の学習支援 (日比谷潤子・平高史也)
- 07815 多国間交渉の理論と応用 (I.W. ザートマン/確水尊)
- 05408 多国籍企業税法 (木村弘之亮)
- 01103 多国籍企業の子会社 (ミシャレ、ドラビエール/野口祐)
- 19252 脱温暖化 地域からの挑戦 (黒田昌裕・大歳恒彦)
- 08232 脱芸術/脱資本主義論 (熊倉敏聡)
- 14639 多文化交差世界の市民意識と政治社会秩序形成 (関根政美・塩原良和)
- 14509 多文化社会アメリカの二言語教育と市民意識 (小林宏美)
- 11454 多文化世界における市民意識の比較研究 (山本信人)
- 14646 多文化多世代交差世界における市民意識の形成 (渡辺秀樹・有末賢)
- 11836 橋樑 翻刻と研究 (山田辰雄・家近亮子・浜口裕子)
- 15254 誕生と死 生命の教養学Ⅳ (慶應義塾大学教養研究センター)
- 12321 団体訴訟の新展開 (宗田貴行)
- 【ち】**
- 01288 知恵遅れの幼児の教育 (津守真)
- 15629 地球温暖化とエネルギー問題 (鄭雨宗)
- 16008 地球温暖化と地域別環境貢献度 (福井県・慶應義塾大学)
- 12987 地球学入門 (鹿園直建)
- 08720 地球環境外交と国内政策 (蟹江憲史)
- 05750 地球環境経済論(上) (慶應義塾大学経済学部環境プロジェクト)
- 05897 地球環境経済論(下) (慶應義塾大学経済学部環境プロジェクト)
- 16312 地球的課題と個人の役割 (渋谷雅英・山本正・国分良成・細谷雄一・西野純也)
- 10983 痴愚礼讃 (エラスムス/大出昌)
- 05699 「ちご」と「わらは」の生活史 (加藤理)

- 27431 地中海圏都市の活力と変貌 (神崎忠昭・長谷部史彦)
04357 地中海世界と宗教 (坂口昂吉)
09642 地方財政論 (平野正樹)
08171 地方自治の国際比較 (T. N. クラーク・小林良彰／三浦まり)
07211 地方自治の実証分析 (小林良彰)
11362 地方自治体をめぐる住民意識の動態 (小林良彰)
05316 地方制度と生活意識 (大淵英雄)
14615 地方分権時代の市民社会 (小林良彰・中谷美穂・金宗郁)
10167 地方分権と高齢者福祉 (小林良彰・名取良太)
05354 中学校国語指導資料 国語科における学習指導と評価 (文部省)
05347 中学校特別活動指導資料 指導の改善と評価の工夫 (文部省)
05361 中学校社会指導資料 作業的、体験的な学習の充実 (文部省)
18743 中華民国の憲政と独裁 1912—1949 (久保亨・嵯峨隆)
06498 中国怪異小説選 (八木章好)
18842 中国 改革開放への転換 (加茂具樹・飯田将史・神保謙)
19573 中国革命と軍隊 (阿南友亮)
06221 中国革命と国際環境 (高橋伸夫)
01721 中国関係条約取極目録 (英修道)
00595 中国共産党史 (B. I. シュウォルトツ／石川忠雄・小田英郎)
00540 中国共産党史研究 (石川忠雄)
19511 中国共産党の支配と権力 (鈴木隆)
15704 中国経済の地域構造 (王在詰)
01783 中国憲法史 (石川忠雄)
00564 中国国民党左派の研究 (山田辰雄)
06269 中国指導層の統計的分析 (中川昌郎)
18224 中国女性の就業行動 (馬欣欣)
03343 中国政治と大衆路線 (小島朋之)
10426 中国政治と東アジア (国分良成)
20494 中国哲学と現代科学 (唐沢昌敬)
05385 中国哲学への招待 (周曉燕)
04111 中国党軍関係の研究 中巻 (川島弘三)
04081 中国党軍関係の研究 上巻 (川島弘三)
04128 中国党軍関係の研究 下巻 (川島弘三)
16671 中国農村社会と革命 (鄭浩淵)
08119 中国の環境問題 (小島朋之)
08461 中国の経済成長 (王在詰)
21576 中国の経済成長と土地・債務問題 (徐一睿)
19740 中国の市場秩序 (古田和子)
18521 中国の自転車産業 (駒形哲哉)
00786 中国の政治とコミュニケーション (Alan P.L.Liu／慶應義塾大学新聞研究所)
10365 中国の空 日本の森 (橋本芳一・関根嘉香・王雪萍)
15285 中国の地域産業構造分析 (新井益洋・石田幸造・王在詰・胡祖耀・清水雅彦・宮川幸三)
12819 中国の地域政権と日本の統治 (姫田光義・山田辰雄)
17838 中国の朝鮮半島政策 (李成日)
11898 中国の貯蓄と金融 (唐成)
13038 中国の統治能力 (国分良成)
09758 中国文化大革命再論 (国分良成)
13359 中小企業金融と金融環境の変化 (吉野直行・藤田康範)
12451 中小企業金融と日本経済 (吉野直行・藤田康範・土居丈朗)
12468 中小企業の現状と中小企業金融 (吉野直行・渡辺幸男)
13427 中心と周縁からみた日韓社会の諸相 (伊藤亜人・韓敬九)
10914 中世環地中海圏都市の救済 (長谷部文彦)
01844 中世経済史 (寺尾誠)
15957 中世主義を超えて (松田隆美・原田範行・高橋勇)

- 09031 中世の春 (柴田平三郎)
 13403 挑戦する企業 (石田英夫・星野裕志・大久保隆弘)
 10389 朝鮮戦争 (赤木完爾)
 12000 朝鮮半島と国際政治 (鐸木昌之・平岩俊司・倉田秀也)
 20166 朝鮮半島の秩序再編 (小此木政夫・西野純也)
 01110 直線回帰と相関 (アレン・L. エドワーズ／並木博・小林ポオル・内藤俊史・佐伯千鶴子)
 08638 著作物流通と独占禁止法 (石岡克俊)
 02520 治療・改善処分の研究 (加藤久雄)
 16350 陳独秀の時代 (横山宏章)
- 【つ】
- 04685 通信教育日記 (関根徳男)
 12376 〈妻〉の歴史 (マリリン・ヤーロム／林ゆう子)
 01172 強い子弱い子 (遠城寺宗徳)
 20123 ツーリズム成長論 (櫻川昌哉・慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所)
- 【て】
- 14578 D.H. ロレンスとアメリカ／帝国 (富山太佳夫・立石弘道・宇野邦一・巽孝之)
 06795 デジタルメディア革命 (徳田英幸・梅垣理郎・武藤佳恭)
 23594 帝国日本の記憶 (三尾裕子・速藤央・植野弘子)
 17678 帝国の文化とリベラル・イングランド (大田信良)
 17180 低炭素社会におけるエネルギーマネジメント (村上周三 茅陽一・柏木孝夫・石谷久・中上英俊)
 17418 低炭素社会をデザインする (浜中裕徳)
 09420 ディベート戦略 (岩下貢)
 00403 手形法小切手法 (高島正夫)
 04678 適応の勧め (原栄吉)
 19597 敵対する思想の自由 (アンソニー・ルイス／池田年穂・初岡宏成)
 01134 できる子供できない子供 [改訂増補] (中脩三)
 01868 哲学 (沢田允茂)
 06993 データ分析入門 (パイロット版) (慶應義塾大学SFC研)
 07341 データ分析入門 (第2版) [JMP IN 対応] (慶應SFCデータ分析教育グループ)
 08515 データ分析入門 (第3版) [JMP IN 対応] (慶應SFCデータ分析教育グループ)
 09253 データ分析入門 (第4版) [JMP 日本語版／JMP IN 日本語版対応] (慶應SFCデータ分析教育グループ)
 09949 データ分析入門 (第5版) [JMP 日本語版／JMP IN 日本語版対応] (慶應SFCデータ分析教育グループ)
 12796 データ分析入門 (第6版) [JMP6.0 日本語版] (慶應SFCデータ分析教育グループ) →第7版あり
 15247 データ分析入門 (第7版) [JMP7.0 日本語版対応] (慶應SFCデータ分析教育グループ)
 16756 デフレ経済と金融政策 (内閣府経済社会総合研究所企画・監修 吉川洋)
 13229 デューラーとその故郷 (海津忠雄)
 00748 デュルケムと社会学 (H. アルバート／仲康・花田綾・由木義成)
 13816 テレビジョン解体 (日本記号学会)
 18859 「テル・ケル」は何をしたか (阿部静子)
 10990 テロ事件と子どもの心 (ニューヨーク教育相談室)
 11843 転回 (U. グッツォーニ／小松光彦)
 00625 転換期の政治意識 (公平慎策)
 19191 転換期の東アジアと北朝鮮問題 (小此木政夫・文正仁・西野純也)
 17906 転換期の歴史叙述 (大橋直義)
 08379 伝クセノボン「アテーナイ人の国制」の研究 (真下英信)
 05880 点字学習指導の手引 (改訂版) (文部省)
 08072 伝統中国の地域像 (山本英史)
- 【と】
- 05675 ドイツ語基本単語表現集 (慶應義塾大学経済学部ドイツ語教室)
 06290 ドイツ語基本単語表現集 (第2版) (慶應義塾大学経済学部ドイツ語教室)
 12390 ドイツ人の現実 (江沢建之助)
 08133 ドイツ農民戦争と宗教改革 (野々瀬浩司)

- 12277 ドイツ・バロック器楽論 (佐藤 望)
03749 ドイツ・ワイマル期の社会調査 (S.P. シャド・川合隆男・大淵英雄)
08256 東亜同文会と中国 (テキ新)
07839 東京のグランドデザイン (伊藤滋)
16145 統計学基礎講義 (秋山裕) →第2版あり
22252 統計学基礎講義 第2版 (秋山裕) →第3版あり
19108 党国体制の現在 (加茂具樹・小嶋華津子・星野昌裕・武内宏樹)
05422 動作法ハンドブック (基礎編) (大野清志・村田茂) →改訂版あり
16558 東南アジアからの問いかけ (山本信人)
03541 投票行動と政治意識 (堀江湛・梅村光弘)
02049 東洋史 (竹田龍児・伊藤清司・和田博徳・尾崎康)
06009 東洋的ロレンス論 (海野厚)
02858 動乱と警察 (瓜生敏雄)
14738 時を旅する 私の日本史探訪 (武田専)
05668 特殊教育の適正就学ハンドブック (加藤安雄)
18064 徳富蘇峰とアメリカ (澤田次郎)
19504 ドクトルたちの奮闘記 (石原あえか)
24775 独立自尊を生きて (福澤武)
07679 都市論と生活論の祖型 (川合隆男・藤田弘夫)
05767 徳倫理学の現代的意義 (日本倫理学会)
00731 増補 都市構造論 (山岸健)
05293 土地大国イギリスの終焉 (高橋裕一)
03411 土地の社会史 (J. ハバカク/高橋裕一)
00632 都民の選択 (堀江湛・岩男寿美子)
05644 虎が雨 (高橋誠一郎) →新編あり
12802 『ドラキュラ』からブンガク (武藤浩史)
13618 トランスナショナル時代のデジタル・コンテンツ (菅谷実・宿南達志郎)
05378 トリバリウムと労働 (菊野一雄)
12789 トルコ民族の世界史 (坂本勉) →新版あり

【な】

- 07075 「内向の世代」論 (古屋健三)
16909 中江兆民 翻訳の思想 (山田博雄)
17128 ナショナル・アイデンティティの国際比較 (田辺俊介)
17647 名だたる蔵書家、隠れた蔵書家 (佐藤道生)
08218 南極条約体制と国際法 (池島大策)

【に】

- 12826 ニクソン訪中と冷戦構造の変容 (増田弘)
17166 ニコラ・ブッサン (望月典子)
07419 二一世紀国際政治の展望 (添谷芳秀)
07112 21世紀の医学 (北島政樹・永田守男)
06412 21世紀、中小企業はどうなるか (佐藤芳雄)
08362 21世紀のこどもたち (矢作恒雄・金子郁容)
02933 二十世紀のフランス文学 (若林真・高島正明・白井浩司)
20920 20世紀ダンス史 (ナンシー・レイノルズ・マルコム・マコーミック/松澤慶信)
06368 20世紀を問う (F. フュレ/大宅由里子・神吉尚男)
08751 22世紀のグランドデザイン (竹村真一)
18460 西脇順三郎「最終講義」(西脇順三郎)
03480 日常生活とコミュニケーション (青池慎一・清原慶子・長尾真理・平野敏政・山岸健)
03756 日常生活と社会理論 (山岸健)
15537 日常生活と旅の社会学 (山岸健・山岸美穂)
06948 日常的世界の探究 (山岸健・山岸美穂)
03602 日米開戦外交の研究 (須藤眞志)
00830 日米間のコミュニケーション・ギャップ (生田正輝・辻村明)

-
- 02100 日米外交史関係文献目録 (英修道)
00847 日米経済関係 (金森久雄・加藤寛)
15735 日本経済史 (浜野潔・井奥成彦・中村宗悦・岸田真・永江雅和・牛島利明)
05309 日米経済摩擦 (落合浩太郎)
05651 改訂 日米経済摩擦 (落合浩太郎)
04265 日米民間経済外交 (木村昌人)
02117 日本外交史関係追補篇 (英修道)
03558 日米外交比較論 (H. M. ホーランド/池井優)
11096 日韓国際政治学の新天地 (大島英樹・文正仁)
19016 日韓新時代と共生複合ネットワーク (小此木政夫・河英善)
19009 日韓新時代と経済協力 (小此木政夫・河英善)
18996 日韓新時代と東アジア国際政治 (小此木政夫・河英善)
12734 日韓政治社会の比較分析 (服部民夫・張達重)
15223 日中環境政策協調の実践 (小島朋之・飯網林)
17586 日中戦争期中国の社会と文化 (エズラ・F・ヴォーゲル・平野健一郎)
14844 日中戦争とイスラーム (坂本勉)
12772 日中戦争の軍事的展開 (波多野澄雄・戸部良一)
15438 日本型 HRM (石田英夫)
15780 日本型企业文化論 (佐藤和)
01684 日本学開発 (小野正康)
10884 日本型賃金制度の行方 (須田敏子)
05200 日本企業による欧米企業の買収と経営 (鈴木貞彦)
15162 日本企業の経営革新 (今口忠政・李新建・申美花・野坂美穂)
00892 日本近代小説概論 (佐佐木一雄)
14462 日本経済と私と SFC (岡部光明)
05156 日本古代史叢説 (村山光一)
00533 日本古代政治史 (利光三津夫)
01912 日本古代の土地制度 (今宮新・村山光一)
03497 日本古代法制史 (利光三津夫)
01066 日本社会経済思想史 (加田哲二)
01646 日本社会と近代化 (米山桂三博士還暦記念論文編集委員会)
19184 日本社会の生活不安 (西村周三)
04791 日本社会福祉制度概説 (稲葉光彦)
00755 日本宗教の構造 (宮家準)
18033 日本石炭産業の衰退 (杉山伸也・牛島利明)
18873 日本石炭産業の戦後史 (島西智輝)
04227 日本中世政治史 (利光三津夫)
20623 日本帝国勢力圏の東アジア都市経済 (柳沢遊・木村健二・浅田進史)
11058 日本と韓国における政治とガバナンス (小林良彰・イムヒョクベック)
11355 日本における有権者意識の動態 (小林良彰)
00915 日本における経済社会の展開 (速水融)
07235 日本における西洋医学の先駆者たち (J. Z. パワース/金久・鹿島)
13182 日本の宇宙戦略 (青木節子) →第2版刊行予定あり
01516 日本の医学教育 (ジョーンズ.Z. パワース/金久卓也・鹿島友義)
07631 日本の医療行政 (笠原英彦)
12949 日本の英語教育に必要なこと
11805 日本の家計行動のダイナミズム [I] (樋口美雄・慶應義塾大学経商連携 21 世紀 COE)
12932 日本の家計行動のダイナミズム [II] (樋口美雄・慶應義塾大学経商連携 21 世紀 COE)
13854 日本の家計行動のダイナミズム [III] (樋口美雄・瀬古美喜・慶應義塾大学経商連携 21 世紀 COE)
15360 日本の家計行動のダイナミズム [IV] (樋口美雄・瀬古美喜・慶應義塾大学経商連携 22 世紀 COE)
16589 日本の家計行動のダイナミズム [V] (樋口美雄・瀬古美喜・照山博司)
17517 日本の家計行動のダイナミズム [VI] (樋口美雄・瀬古美喜・山本勲・照山博司)
18491 日本の家計行動のダイナミズム [VII] (瀬古美喜・照山博司・山本勲・樋口美雄)
-

- 19467 日本の家計行動のダイナミズム〔Ⅷ〕(瀬古美喜・照山博司・山本勲・樋口美雄)
 20463 日本の家計行動のダイナミズム〔Ⅸ〕(瀬古美喜・照山博司・山本勲・樋口美雄)
 11188 日本の経済外交と中国(徐承元)
 10068 日本の産業構造(尾崎巖)
 01479 日本の肢体不自由教育(村田茂)
 06573 新版 日本の肢体不自由教育(村田茂)
 00816 日本の政党と外交政策(堀江湛・池井優)
 14608 日本の市民社会におけるNPOと市民参加(羅一慶)
 15377 日本の世界貢献とシヴィル・ソサエティ(渋沢雅英・山本正・添谷芳秀)
 02957 日本の戦後外交史潮(原栄吉)
 11980 日本の知識戦略(栗原潤)
 10419 日本の東アジア構想(添谷芳秀・田所昌幸)
 26236 日本の東南アジア援助政策(大海渡桂子)
 14554 日本の民主主義(曾根泰教・大山耕輔)
 11379 日本における新しい市民意識(中谷美穂)
 07723 日本橋街並み商業史(白石孝)
 01929 日本橋街並み繁昌史(白石孝)
 01929 日本美術史Ⅰ(菅沼貞三)
 07778 日本文化の源流をたずねて(総野和子)
 09666 日本法制史 史料集(霞信彦・漆原徹・浜野潔)
 17340 日本法制史講義ノート(霞信彦・原禎嗣・神野潔・兒玉圭司・三田奈穂)
 19863 日本法制史講義ノート(第2版)(霞信彦・原禎嗣・神野潔・兒玉圭司・三田奈穂)
 13601 日本マーケティング史(森田克徳)
 03213 日本労働運動の先駆者たち(労働史研究同人会)
 19986 入門講義 会社法(鈴木千佳子)→第2版あり
 24270 入門講義 会社法 第2版(鈴木千佳子)→第3版あり
 09444 乳幼児期 ころの発達をはぐくむ(教育と医学の会)
 11485 ニュースの国際流通と市民意識(伊藤陽一)
 19641 ニュースの普及過程分析(青池慎一)
 14691 ニュース報道と市民の対外国意識(伊藤陽一・河野武司)
 01585 ニューヨーク滞在記(金久卓也)
 13380 ニューヨークの風(小田卓爾)
 07105 ニュージーランド入門(日本ニュージーランド学会)
 15506 ニューディール期民主党の変容(西川賢)
 09116 NY 発演劇リポート(小池美佐子)
 03237 人間生命を考える(慶應義塾大学文学部人間科学フォーラム)
 07020 人間性を育てる教育(古畑和孝)
 08713 人間的世界の探究(山岸健)
 03183 認知の構造(高野守正)

【ね】

- 08294 ネクラーフ選詩集(ニコライ・ネクラーフ・ウェロニカ・マカロワ・入野田義人)
 20678 ネット選挙が変える政治と社会(清原聖子・前嶋和弘)
 13625 ネット時代の社会関係資本形成と市民意識(菅谷実・金山智子)
 10617 年金改革と積極的社会保障政策(権丈善一)→第2版あり
 15988 年金改革と積極的社会保障政策 第2版
 16305 年金を選択する(駒村康平)

【の】

- 08393 農業は「株式会社」に適するか(宮崎俊行)
 02124 農業法人の研究(宮崎俊行)
 01547 脳循環の知識(相沢豊三)
 01141 脳髄の機能と教育(中脩三)
 01486 脳性まひ児の養護・訓練(大野清志・村田茂)

- 01509 脳性まひ児の養護・訓練の諸問題 (林邦雄・村田茂)
 12635 脳と精神 (川村光毅)
 08768 ノーサイドの笛 (遠山靖三)
 14431 矩を踰えて (霞信彦)

【は】

- 22511 バイオインフォマティクス入門 (日本バイオインフォマティクス学会) →第2版あり
 10969 バイオメカニズム 17 (バイオメカニズム学会)
 13052 バイオメカニズム 18 (バイオメカニズム学会)
 15445 バイオメカニズム 19 (バイオメカニズム学会)
 17609 バイオメカニズム 20 (バイオメカニズム学会)
 19559 バイオメカニズム 21 (バイオメカニズム学会)
 21569 バイオメカニズム 22 (バイオメカニズム学会)
 23556 バイオメカニズム 23 (バイオメカニズム学会)
 26885 バイオメカニズム 25 (バイオメカニズム学会)
 18637 排出権取引 (西條辰義・草川孝夫)
 12024 敗戦と民主化 (T. A. ピッソン／内山秀夫)
 08140 ハイテク犯罪と刑事手続 (安富潔)
 06719 ハイブリッド・キャピタリズム (藤森三男・榊原貞雄・佐藤和)
 11591 ハイブラウ／ロウブラウ (ローレンス・W・レヴィーン／常山菜穂子)
 26557 バウムガルテンの美学 (井奥陽子)
 08553 新訂 破産法概説 (宗田親彦)
 11669 破産法概説 (新訂第二版) (宗田親彦)
 12963 破産法概説 (新訂第三版) (宗田親彦)
 15544 破産法概説 (新訂第四版) (宗田親彦)
 05859 破産法研究 (宗田親彦)
 08096 パシフィック・ウェイ (カミセセ・マラ／小林泉・東裕・都丸潤子)
 05941 はじめての経済学 (岡田泰男・野澤素子・村田年) →第2版あり
 15131 はじめて学ぶ経済学 (石橋春男・関谷喜三郎・河口雄司) →第2版あり
 21149 はじめて学ぶ経済学 第2版 (関谷喜三郎・安田武彦・大木良子)
 19795 はじめて学ぶ社会調査 (儘田徹)
 05040 八角塔の窓から (丸山信)
 14943 発達障害児の学習意欲をはぐくむ (川村秀忠)
 03718 発達障害児の就学前期指導プログラム (川村秀忠)
 03138 発達障害児の早期指導プログラム (川村秀忠)
 20470 働き方と幸福感のダイナミズム (樋口美雄・赤林英夫・大野由香子)
 10532 働く女性たちのウェルネスブック (荒木葉子)
 13052 ハニーポット ネットワーク・セキュリティのおとりシステム (ランス・スピッツナー／電気通信大学小池研究室)
 11164 埴谷雄高の肖像 (白川正芳)
 12864 バブル文化論 (原宏之)
 07402 原敬と立憲政友会 (玉井清)
 05934 バリアフリー (野村みどり)
 02544 パレスチナとアラブ人 (鶴木眞)
 06108 ハワイ移民佐藤常蔵書簡 (柳田利夫・赤木妙子)
 05576 反近代思想論 (多田真鋤)
 00359 増補 犯罪学二五講 (宮澤浩一・加藤久雄)
 00366 犯罪学リーディングス (中山研一・宮澤浩一)
 03152 犯罪者処遇の思想 (坂田仁)
 02964 犯罪者処遇の理論と実践 (加藤久雄)
 10198 判断の論理学 (藤川吉美)

【ひ】

- 01189 PREB 学習レディネス診断検査法 解説書 (川村秀忠・村田茂・志田倫代) →他社取扱
 PREB 学習レディネス診断検査法 記録用紙→他社取扱
 PREB 学習レディネス診断検査法 検査用具→他社取扱

- 03008 美意識の現象学 (木幡順三)
06559 比較 裁判外紛争解決制度 (石川明・三上威彦)
00618 比較政治学の新動向 (バーナード・E. ブラウン／内山秀夫)
20845 美学から政治へ (石田圭子)
10105 美学特殊C (熊倉敬聡)
00427 比較法と社会理論 (J. ホール／宮本安美)
07983 東アジア経済協力の現状と可能性 (野副伸一・林英哲)
11041 東アジア経済協力の現状と可能性Ⅱ (野副伸一・林仁元)
10150 東アジア経済研究のフロンティア (赤川元章・唐木圀和)
16992 東アジア自転車産業論 (渡辺幸男・周立群・駒形哲哉)
13441 東アジア地域秩序と共同体構想 (小此木政夫・文正仁)
04166 東アジア鉄道国際関係史 (井上勇一)
12970 東アジアにおけるアメリカ憲法 (大沢秀介・小山剛)
17456 東アジアにおける公共性の変容 (藤田弘夫)
13786 東アジアにおけるシヴィル・ソサエティの役割 (渋沢雅英・山本正・小此木政夫・国分良成)
14189 東アジアの近代と日本 (鈴木正崇)
14820 東アジアの電子ネットワーク戦略 (関根政美)
13434 東アジアの中の日韓交流 (濱下武志・崔章集)
10310 東アジアの女神信仰と女性生活 (野村伸一)
11492 東アジアのメディア・コンテンツ流通 (菅谷実)
10457 東アジアのロシア (横手慎二)
08416 東アフリカ農耕民社会の研究 (坂本邦彦)
20197 ビギナーのための経済英語 (日向清人) →第2版あり
14493 ビギナーのための法律英語 (日向清人) →第2版あり
19887 美術コレクションを読む (遠山公一・金山弘昌)
03244 美術の心理 (関計夫)
07358 ビット産業社会における情報化と都市の将来 (伊藤滋／光多長温・日端康雄)
12352 ビフォア・セオリー (田辺秋守)
18019 100人で語る美術館の未来 (福原義春)
10303 ヒューマンサービスと信頼 (宮垣元)
13410 病院の組織構造分析と経営モデルの創造 (家里誠一)
03923 病気の子供の理解と援助 (山本昌邦)
05842 病気の子どもの理解と援助 改訂版 (山本昌邦)
02827 病弱教育指導要領解説 (文部省)
05484 病弱教育における養護・訓練の手引 (文部省)
03206 病弱教育の手引 - 指導編 (文部省)
02568 病弱教育の手引 病理・保健編 (文部省作)
01431 病弱児指導事例集 (文部省)
15452 表象メディア論講義 正義篇 (原宏之)
14332 評伝 エルゼ・ラスカー - シューラー (松下たえ子)
12918 評伝 岡部長職 (小川原正道)
17760 評伝 奥山春枝 (坂井達朗)
11140 評伝 西脇順三郎 (新倉俊一)
13748 評論集1 (西脇順三郎)
17500 貧困のダイナミズム (樋口美雄・宮内環・C.R. マッケンジー)

【ふ】

- 10693 ファイナンス入門 (新井啓)
20654 ファイナンスの基礎理論 (キース・カットバートソン、ダーク・ニッチェ／吉野直行)
13373 ファウスト 神話と音楽 (ハンス・ヨアヒム・クロイツァー／石原あえか)
16695 ファウストとホムンクルス (マンフレート・オステン／石原あえか)
14660 ファシズム前夜の市民意識と言論空間 (倉科岳志)
07488 フィールド・リサーチ (L. シャッツマン、A.L. ストラウス／川合隆男)

- 12710 風景の研究 (柴田陽弘)
 05064 風景的世界の探究 (山岸健)
 11553 ふうたお (慶應義塾大学経済学部中国語部会)
 00007 福翁自伝 (福沢諭吉)
 05590 新版 福翁自伝 (福沢諭吉) →新装版あり
 16534 複雑性の科学の原理 (唐沢昌敬)
 17593 福澤諭吉 家庭教育のすすめ (渡辺徳三郎/山内慶太)
 00014 福沢諭吉とその門下書誌 (富田正文・丸山信)
 08300 福澤諭吉の教育観 (桑原三郎)
 09727 福澤諭吉の「サイアンス」(永田守男)
 14523 福沢諭吉の思想と近代化構想 (寺崎修)
 09338 福澤諭吉の宗教観 (小泉仰)
 09345 福澤諭吉の法思想 (安西敏三・岩谷十郎・森征一)
 07761 福澤諭吉を描いた絵師 (林えり子)
 05323 福祉のこころと教育 (伊藤隆二)
 04241 福祉の経済学 (カトラー・下田直樹)
 01318 福祉の哲学と技術 (牛島義友)
 08737 福原義春の講演 (福原義春)
 14042 フーコーの後で (芹沢一也・高桑和巳)
 08201 ファイニー師「イスラーム神学五〇の教理」(奥田敦)
 00335 不真正不作為犯の理論 (日高義博)
 07082 ふだん着の福澤諭吉 (西川俊作・西澤直子)
 02056 物理学 (松信八十男)
 03930 不適応の精神分析 (前田重治)
 05330 不登校児が問いかけるもの (須永和宏)
 11201 腐敗と再生 身体医文化論Ⅲ (小菅隼人)
 14424 文誌む姿の西東 (田村俊作)
 14561 プライベートライフ (陳染/関根謙)
 17265 ブラウン判決の遺産 (ジェイムズ・T・バターソン/初岡宏成)
 06894 フラット化組織の管理と心理 (横田絵理)
 19481 プラトン 理想国の現在 (納富信留)
 02803 フランクリン抄 (渡辺國廣)
 20630 フランス憲政学の動向 (山元一・只野雅人)
 17890 フランス文学をひらく (慶應義塾大学文学部 フランス文学研究室)
 16770 不良債権と金融危機 (内閣府経済社会総合研究所企画・監修 池尾和人)
 20098 ふるさと投資ファンド (吉野直行・塩澤修平・嘉治佐保子)
 18828 ブレーズ ありのままの声で (ヴェロニク・ピュシヤラ/神月朋子)
 14837 ブロードバンド市場の経済分析 (田中辰雄・村上礼子・矢崎敬人)
 02063 文学 (村松暎・榎谷昭彦・宮下啓三・高山鉄男・海保真夫)
 10402 文学の子どもたち (柴田陽弘)
 19702 文化と霊性 (樫尾直樹)
 13335 文化の国際流通と市民意識 (伊藤陽一)
 06382 文章理解の方法 (浜田文雅)
 08584 文人たちのイギリス十八世紀 (海保真夫)
 19313 紛争と文化外交 (福島安紀子)
 12291 「文明」「開化」「平和」(村忠錫・渡辺浩)
 14806 文明社会の政治原理 (萬田悦生)
 18101 文明のサイエンス 人文・社会科学と古典的教養 (慶應義塾大学編)
 00069 文明論之概略 (伊藤正雄) →改題・再編集版あり

【へ】

- 11270 米欧回覧実記 (久米邦武・水澤周・米欧亜回覧の会) →普及版あり
 09369 平家物語から浄瑠璃へ (佐谷真木人)
 19375 ベッカー先生の論文教室 (ハワード・S・ベッカー)
 03190 ヘック・利益法学 (P.ヘック/津田利治)

- 05125 ベリーズ社会と現代 (稲葉安勇)
 08157 変革する思考 (U. グットォーニ／小松光彦)
 05729 変革の時代の組織 (唐沢昌敬)
 20883 ベンサムとイングランド国制 (小畑俊太郎)
 08034 変動期の日韓政治比較 (曾根泰教・崔章集)
 17722 ペンジャミン・フランクリン、アメリカ人になる (ゴードン・S・ウッド／池田年穂・金井光太郎・肥後本芳男)
 00700 変動期における軍部と軍隊 (慶應義塾大学地域研究グループ)

【ほ】

- 00250 法学教材 (手塚豊)
 24461 法学・経済学・自然科学から考える環境問題 (青木淳一・秋山豊子・大平哲・金谷信宏・小林宏充・杉本憲彦・六車明)
 10631 法学講義ノート (霞信彦)
 11645 法学講義ノート (第2版) (霞信彦)
 13663 法学講義ノート (第3版) (霞信彦)
 16121 法学講義ノート (第3版補訂版) (霞信彦)
 17241 法学講義ノート (第4版) (霞信彦)
 20265 法学講義ノート (第5版) (霞信彦)
 23112 法学講義ノート (第6版) (霞信彦)
 02476 法学新講 (慶應義塾法学教育研究会)
 00243 法学要説 (手塚豊)
 00496 封建制度 (F.L. ガンソーフ／森岡敬一郎)
 03701 法史学の諸問題 (利光三津夫)
 07266 法体系の概念 (ジョゼフ・ラズ／松尾弘) →解説追補版あり
 00373 法哲学 (峯村光郎)
 21088 報道人の作法 (伊藤友治)
 15070 法と消費者 (西村多嘉子・藤井千賀・森宮勝子)
 03985 訪問教育の指導の実際 (文部省)
 06337 法学における体系思考と体系概念 (C-W. カナリス／木村弘之亮)
 02247 法論理学の原理と方法 (イルター・タンメロ／平良・吉野一)
 02131 捕獲法の研究 (前原光雄)
 15612 保険学のフロンティア (石田重森)
 01011 保険経済学序説 (庭田範秋)
 01042 保険契約の法理 (倉沢康一郎)
 15346 保険事業のイノベーション (石田成則)
 03619 保健室のこどもたち (永井瑞江)
 12307 保険進化と保険事業 (堀田一吉・岡村国和・石田成則)
 01028 保険理論の新展開 (石田重森・真屋尚生)
 10716 北宋末の詞と雅楽 (村越貴代美)
 00823 北東アジアの均衡と動揺 (神谷不二)
 03350 歩行指導の手引 (文部省)
 12215 星の王子さま☆学 (片木智年)
 11423 ポスト・ウォー・シティズンシップの構想力 (萩原能久)
 14684 ポスト・ウォー・シティズンシップの思想的基盤 (萩原能久)
 16053 ポスト育児期の女性と働き方 (西村純子)
 16428 ポスト・ローマ (トマス・チャールズ・エドワーズ／常見信代)
 11010 墓標の民族学・考古学 (朽木量)
 04654 ボリビアにおける日本人移住者の環境と健康 (石井裕正・津金晶一郎)
 ポール・ヴァレリー (山田直)
 14394 ホルバインの生涯 (海津忠雄)
 改訂 法と家族

【ま】

- 07822 マグナ・カルタ (J.C. ホウルト／森岡敬一郎)
 08959 マクロ経済学入門講義 (田中宏)
 09260 マクロ経済と金融 (石橋春男・関谷喜三郎)
 16749 マクロ経済と産業構造 (内閣府経済社会総合研究所／深尾京司)

- 16336 マクロ経済の分析 (石橋春男・関谷喜三郎)
15148 マクロ経済理論の基礎 (藤田康範)
10327 マージェリー・ケンプ (久木田直江)
15681 マージェリー・ケンプの書 (石井美樹子・久木田直江)
16664 マス・コミュニケーション研究 (デニス・マクウェール／大石裕)
00809 マス・コミュニケーションの研究 (生田正輝)
15667 窓あるいは鏡 (水島久光・西兼志)
19818 「学ぶ力」を取り戻す (寺脇研)
24713 マニラ・ガレオン貿易 (宮田絵津子)
18194 魔法使いの国の掟 (福嶋伸洋)
08492 「豆炭」実験と中国の環境問題 (山田辰雄)
19658 マリーエンバートの悲歌 (M. ヴァルザー／八木輝明)
19153 マルクス経済学 (大西広)
22481 マルクス経済学 (大西広) →第3版あり
06528 マルチメディア社会の著作権 (苗村憲司・小宮山宏之)

【み】

- 02155 未完の革命 (A. B. ウラム／奈良和重)
10952 ミクロ経済学入門講義 (田中宏)
05927 三田の春秋 (小池基之)
19023 南アジアの文化と社会を読み解く (鈴木正崇)
19962 ミメシスの詩学 (安東伸介)
04746 宮崎澄夫先生を偲ぶ
16084 ミュージアム新時代 (建昌哲編)
13069 ミュージアム・パワー (高階秀爾・蓑豊)
04869 民事訴訟の理論と実践 (伊東乾)
05392 民事訴訟法における既判力の研究 (坂原正夫)
11027 耳鳴りを治す (神崎仁) →第2版あり
06115 民族・宗教・国家 (慶應義塾大学地域研究センター)
04425 民族宗教へのいざない (宮家準)
13106 民族の表象 (羽田功)
16930 新標準講義 民法債権各論 (池田真朗)
16138 新標準講義 民法債権総論 (池田真朗)
20272 新標準講義 民法債権総論 (第2版) (池田真朗)
19542 民法改正を読む (松尾弘)
00281 民法総論 (小池隆一)
05996 民法体系ノート (松尾弘)
06030 民法入門 (池田真朗)
06580 民法の体系 (松尾弘)
08560 民法の体系 (第2版) (松尾弘)
10006 民法の体系 (第3版) (松尾弘)
11560 民法の体系 (第4版) (松尾弘)
17081 民法の体系 (第5版) (松尾弘)
22771 民法の体系 (第6版) (松尾弘)
00267 民法要説 (今泉孝太郎・手塚豊)
06399 民法要説 (改訂版) (今泉孝太郎・手塚豊)

【め】

- 03046 明治近代警察の源流を探る
02988 明治刑法史の研究 (上) (手塚豊)
03091 明治刑法史の研究 (中) (手塚豊)
03428 明治刑法史の研究 (下) (手塚豊)
04777 明治民法史の研究 (下) (手塚豊)
05545 明治史研究雑纂 (手塚豊)
03688 明治自由党の研究 (上) (寺崎修)

- 03695 明治自由党の研究 (下) (寺崎修)
 06047 明治自由党の研究 (上) (改訂版) (寺崎修)
 06054 明治自由党の研究 (下) (改訂版) (寺崎修)
 02629 明治女学校の研究 (青山なを)
 04470 明治初期刑事法の研究 (中山勝)
 00052 資料集成 明治人の観た福澤諭吉 (伊藤正雄) → 『明治人の観た福澤諭吉』として復刊
 03855 明治法学会教育史の研究 (手塚豊)
 00434 明治法制史政治史の諸問題 (手塚豊教授退職記念論文集編集委員会)
 04296 明治民法史の研究 (上) (手塚豊)
 04197 明治立憲制と司法官 (楠精一郎)
 17067 明治留守政府 (笠原英彦)
 18330 名誉としての議席 (仲丸英起)
 12444 メキシコ、先住民共同体と都市 (禰野美帆)
 10501 メキシコ先住民社会と教会建築 (横山和加子)
 04142 眼のはたらきと学習 (原田政美)
 07099 めまいを治す (神崎仁)
 10495 めまいを治す (改訂版) (神崎仁)
 06627 メルヘンの履歴書 (宮下啓三)
 02438 免許法の手引 (慶應義塾大学通信教育部)
 14059 メンタルケア用語事典 (メンタルケア協会)
 09765 メンタルケア論 (メンタルケア協会)
 11812 メンタルケア論2 (メンタルケア協会)

【も】

- 04494 盲学校・聾学校及び養護学校高等部学習指導要領
 04487 盲学校・聾学校及び養護学校幼稚部教育要領・小学部・中学部学習指導要領
 00571 毛沢東主義の政治力学 (徳田教之)
 17050 模倣と新製 アカルチュレーションの明治日本 (前坊洋)
 16183 Mosaic (隈研吾・渋谷達郎)
 10822 モノが語る日本の近現代生活 (桜井準也)
 07006 モビリティ社会への展望 (富永健一・宮本光晴)
 12147 モラルとしての民主主義 (J. H. ハロウェル／山口晃)

【や】

- 16640 薬剤師のための症候学 (服部豊・慶應義塾大学薬学部) → 第2版あり
 17463 約束がたなぐ公益のこころ (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
 00939 やさしい人口学教室 (安川正彬)
 02711 安井てつと東京女子大学 (青山なを)

【ゆ】

- 19528 優秀で善良な学校 (トーマス・リコーナ、マシュー・デイビッドソン／柳沼良太・吉田誠)
 00045 諭吉 小波 未明 (桑原三郎)
 10051 友情は公益の湧く泉 (東北公益文科大学公益小論文編集委員会)
 08911 ユートピアの期限 (坂上貫之・巽孝之・宮坂敬造)
 14769 ユートピアの文学世界 (柴田陽弘)
 17968 「ゆとり」と生命をめぐる 生命の教養学Ⅵ (慶應義塾大学教養研究センター)
 19993 夢を考える 文学部は考える3 (慶應義塾大学文学部編)

【よ】

- 12567 溶解する<大学> (日本記号学会)
 01424 養護・訓練指導事例集肢体不自由教育編 (文部省)
 01417 養護・訓練指導事例集 精神薄弱教育編 (文部省)
 10396 読む統計学 使う統計学 (広田すみれ)
 20364 読む統計学 使う統計学 第2版 (広田すみれ)
 06252 ヨーロッパ近代政治社会思想史 (多田真樹)
 09109 ヨーロッパ史の時間と空間 (O. ハレットキ／鶴島博和他)

15179 ヨーロッパにおける政治思想史と精神史の交叉 (鷺見誠一・千葉眞)

22061 ヨーロッパの中世 (神崎忠昭)

16985 読んで歩いて日本橋 (白石孝)

08928 405日のいのち、きらめく (瀬川秀樹)

【ら】

16817 ライフサイエンスの産業経済分析 (中村洋)

19498 ライマン・ホームズの航海日誌 (川澄哲夫)

08997 ラテンアメリカの日系人 (柳田利夫・国本伊代・比嘉マルセロ・前山隆・三澤健宏・三田千代子・森幸一・赤木妙子)

【り】

07952 リエゾン・カンファレンス (乾吉佑/慶應義塾大学月が瀬リハビリテーションセンターリエゾン・カンファレンス研究会)

05781 陸の王者 慶應 (池井優)

04050 リコーナ博士の子育て入門 (トーマス・リコーナ/三浦正)

18576 リスクの誘惑 (宮坂敬造・岡田光弘・坂上貴之・坂本光・巽孝之)

26694 理性という狂気 (石川学)

03503 立憲思想 (ティアニー/鷺見誠一)

00502 立憲主義その成立過程 (C.H. マクワルワイン/森岡敬一郎)

04531 律令外古代法の研究 (長谷山彰)

05606 律令研究統紹 (利光三津夫)

02490 律令制の研究 (利光三津夫)

00984 領地制史論 (ブロック/渡辺國廣)

14387 リベラリズムと市民的不服従 (鈴木正彦)

10020 リベラリズムの再生 (施光恒)

14516 リベラルな多文化主義 (松元雅和)

11508 流体生命論 (日本記号学会)

15094 流通と消費者 (岩永忠康・佐々木保幸)

12123 流通・マーケティング (渡辺好章)

04548 領土 (国際法事例研究会)

15476 理論経済学の復権 (小澤太郎・グレーヴァ香子・中村慎助)

04340 臨床音声学の理論と実際 (濱崎健治)

04517 倫理学 (小泉仰)

04036 倫理学とは何か (日本倫理学会)

【れ】

03787 冷戦期の国際政治 (小此木政夫・赤木完爾)

12543 歴史学と社会理論 (ピーター・バーク/佐藤公彦) →第2版あり

01875 歴史哲学 (神山四郎)

18286 歴史に語られた遺跡・遺物 (桜井準也)

10839 レポート・卒論のテーマの決め方 (三井宏隆)

07242 レポート論文の書き方 上級 (櫻井雅夫) →改訂版あり

06689 レポート論文の書き方入門 (河野哲也)

06986 レポート論文の書き方 入門 改訂版 (河野哲也)

09697 レポート論文の書き方 入門 (第3版) (河野哲也) →第4版あり

18385 恋愛を考える 文学部は考える 1 (慶應義塾大学文学部編)

12048 レンブラントの聖書 (海津忠雄)

【ろ】

03831 聾学校中学部国語 (言語編) 教科書指導書 (文部省著作)

12642 労使関係の変容と人材育成 (戒野淑子)

16275 労働経済学の新展開 (清家篤・駒村康平・山田篤裕)

02612 労働市場と情報 (井関利明・石田英夫・佐野陽子)

16794 労働市場と所得分配 (内閣府経済社会総合研究所/樋口美雄)

14677 ロシアの市民意識と政治 (横手慎二・上野俊彦)

08539 ロシアの市場化と官僚的民主主義 (宮澤秀爾)

- 16404 論争! 経済危機の本質を問う (吉野直行・矢野誠・樋口美雄)
 18934 ロンドン物語 (河内恵子・松田隆美)
 01998 論理学 (大出晃・高野守正)
 18279 論理コミュニケーション (梅嶋真樹・山中保一・仁藤亜里・鈴鹿高校テキスト編集委員会) →第2版あり
 22214 論理コミュニケーション 第2版 (梅嶋真樹・仁藤亜里・齋田有里・日本論理コミュニケーション技術振興センター)
 13137 論理学の基礎と演習 (CD-ROM付) (ジョン・バーワイス Jon Barwise・ジョン・エチメンディ John Etchemendy・大沢秀介・白旗優・中川大・中戸川孝治・橋本康二)
 09413 論理的コミュニケーション戦略 (岩下貢)
 01981 論理の探究 (大出晃)

【わ】

- 03053 若き日のあゆみ (青山なを)
 01004 わが国近代保険学の発展 (庭田範秋)
 01677 わが事ひとのこと (高橋誠一郎)
 14141 <私たち>の場所 (ベンジャミン・バーバー／山口晃)
 05958 私の金融論 (板倉譲治)
 01271 私の特殊教育 (津守真)
 00670 私のみた日本外交 (石川忠雄)
 05460 私の夢 私の軌跡 (石川忠雄)
 21040 「私」を考える 文学部は考える (慶應義塾大学文学部編)
 04456 渡辺國廣メモ (渡辺國廣)
 10280 和のこころ Soul of Japan (佐藤昌三)
 11133 ワルラスの経済思想 (アントワヌ・ルベイロ／石橋春男・渡部茂)

【欧文書】

- 02407 Appraisal of Organization Effectiveness (清水龍登)
 14707 Civic Identities in Latin America? (狐崎知巳・出岡直也・本谷裕子)
 12925 Cognition et emotion dans le langage (川口順二・喜田浩平・前島和也)
 10747 Comparative Analysis of Mind (渡辺茂)
 14448 Comparative Social Cognition (渡辺茂・辻井岳雄・ジュリアン・ポール・キーナン)
 13922 Corners of the Mind (Neil McLynn・中川純男・西村太良)
 11546 Codices Keionenses (松田隆美)
 05118 Company Vitalization by Top Management in Japan (清水龍登)
 02360 Depreciation Accounting and Economic Analysis (峯村信吉)
 00199 Effective Writing in English (繁尾久・武田勝彦)
 10730 Enhancing Market Functions in Japan (吉野直行・犬飼重仁・玉木伸介)
 13939 Essays in the Foundations of Logical and Phenomenological Studies (岡田光弘)
 02353 Essays in the Theory of Wages and Prices (鈴木諒一)
 14776 Female Figurines with a Disk from the Southern Levant and the Formation of Monotheism (杉本智俊)
 19269 Future Trends in the Biology of Language (尾島司郎・大津由紀雄・J.F. コノリー・G. ティエリ)
 09987 How to Strengthen Banks and Develop Capital Markets in Post-Crisis Asia (吉野直行・吉富勝・白井早由里・長富祐一郎)
 06245 Human Resource Management in Japan (佐野陽子)
 11690 If an Elephant Loses Weight, It is Still an Elephant (アフターブ・セット)
 13304 Images and Reasoning (岡田光弘)
 02391 Inflation Accounting (峯村信吉)
 13946 Integration of Comparative Neuroanatomy and Cognition (渡辺茂・M.A. ホフマン)
 05637 Japanese Management Features (清水龍登)
 15643 Khmer People in Southern Vietnam (三上直光・大橋久利)
 04586 Konfession und Gesellschaft
 17579 Kukai on the Philosophy of Language (井筒俊彦／高木神元、トーマス・ドライトライン)
 13984 Mathematical Foundations of Measurement Theory (石川史郎)
 18095 Language and Magic (井筒俊彦)
 08591 Lao-tzū (井筒俊彦)
 10013 Le Japonisme dans la vie et l'oeuvre de Marcel Proust (鈴木順二)

-
- 06818 LES ANIMAUX DANS LA LITTERATURE (松原秀一・鈴木覺・福本直之・原野昇)
12253 Les heritages de George Sand aux XXe et XXIe siecles (日本ジョルジュ・サンド学会)
19276 Logic and Sensibility (渡辺茂)
11775 Minds of the Past (英・独・仏・日) (松田隆美・吉武憲司・和泉雅人・佐藤道生)
00182 Modernization in The U.S.A. (繁尾久・武田勝彦・中村恵)
16183 Mosaic Keio University Kuma Studio 2002-2008 (隈研吾／渋谷達郎)
00205 Myth and Reality (R. ケネディ・繁尾久・武田勝彦)
13700 Pilot Study 2002 of Asian Bond Markets (吉野直行・山上秀文・高橋亘)
28506 Politics, Economy and Law in Developing Asia (松尾弘)
15551 Presidential Bandwagon (粕谷祐子)
16152 Rational Animals, Irrational Humans (渡辺茂・A.B. ブライスデル・L. フーバー・A. ヤング)
13328 Reasoning and Cognition (ダニエル・アンドラー・小川芳範・岡田光弘・渡辺茂)
03015 Rhyme and Pronunciation (池上昌)
02384 Studies in The Recovery of Capital (峯村信吉)
17944 Study Skills for College English 2nd Edition (慶應義塾大学経済学部英語部会)
02230 The Basic Structure of Australian Air Law (栗林忠男)
02377 The Economic Theory of Insurance and Social Security (庭田範秋)
02025 The Golden Day of American Literature (山本晶・池田孝一)
02414 The Growth of Firms in Japan (清水龍登)
15117 The Japanese Economy A Market Quality Perspective (矢野誠)
09826 The New Wave in Northeast Asia (金胤亨・内田光穂)
14301 The Structure of Oriental Philosophy:Collected Papers of the Eranos Conference vol. I [Hard Cover] (井筒俊彦)
15407 The Structure of Oriental Philosophy:Collected Papers of the Eranos Conference vol. I [Paperback] (井筒俊彦)
14318 The Structure of Oriental Philosophy:Collected Papers of the Eranos Conference vol. II [Hard Cover] (井筒俊彦)
15414 The Structure of Oriental Philosophy:Collected Papers of the Eranos Conference vol. II [Paperback] (井筒俊彦)
11287 THE MANDALA OF THE MOUNTAIN (宮家準／関守ゲイノー)
13458 TOTALITE EN EXCES (細貝健司)
13311 Towards New Logic and Semantics (岡田光弘)
17920 Work Behavior and Human Resource Management in Japanese Firm (大藪毅)
-

著訳編者索引

なお、6～15は新刊案内の頁です。

- 【あ】
- 相原耕作 あいはらこうさく……47
 青井哲人 あおいあきひと……215
 青木敦 あおきあつし……51
 青木健一郎 あおきけんいちろう 212
 青木功一 あおきこういち……46,232
 青木淳一 あおきじゅんいち
 ……………9,92,157
 青木亮 あおきまこと……192
 青山瑠妙 あおやまるみ……166
 赤江雄一 あかえゆういち……63,224
 赤川元章 あかがわもとあき191,199
 赤木完爾 あかぎかんじ
 ……………12,68,172,175,176
 明石欽司 あかしきんじ……154,155
 安形麻理 あがためり……69,112
 アガンベン, G. ……………32,109
 秋草俊一郎 あきくさしゅんいちろう
 ……………33,124,133
 秋田茂 あきたしげる……64
 秋山美紀 あきやまみき……221
 秋山裕 あきやまゆたか……199
 阿久澤武史 あくざわたけし
 ……………56,102,237
 朝岡敏行 あさおかとしゆき……178
 朝田佳尚 あさだよししたか……90
 浅羽祐樹 あさばゆうき……165
 朝日新聞社ジャーナリスト学校……85
 朝吹亮二 あさぶきりょうじ……126
 浅見雅一 あさみまさかず……52,79
 アスランベイグイ, N. ……………186
 安達香織 あだちかおり……51
 安達貴教 あだちたかのり 183,186
 足立康 あだちやすし
 ……………45,121,132,233
 阿藤誠 あとうまこと……89
 阿南友亮 あなみゆうすけ……61
 アプター, E. ……………33,133
 アブレウ聖子 あぶれうせいこ……184
 阿部卓也 あべたくや……112
 阿部正弘 あべまさひろ……193
 天野隆弘 あまのたかひろ……221
 新井和広 あらいかずひろ……19
 新井皓士 あらいひろし……65
 新垣修 あらかきおさむ……50,155
 荒金直人 あらかねなおと 111,224
 荒木淳子 あらきじゅんこ……100
 蘭千壽 あららぎちとし……202
 有岡律子 ありおかりつこ……184
 有末賢 ありすえけん……57,82,83
 アル＝マーワルディー……80
 アルマザン, J. ……………215
 安西敏三 あんざいとしみつ……45
 安西祐一郎 あんざいゆういちろう
 ……………74,101,226,236
 安斎勇樹 あんざいゆうき……98,206
 アンズワース, J. ……………86
- 安藤京子 あんどうきょうこ……110
 安藤寿康 あんどうじゅこう……97
 安藤光代 あんどうみつよ……197
 安藤礼二 あんどうれいじ……35,36
 アンダーラ, D. ……………225
- 【い】
- 李光鏞 いーごあんほ……86
 飯嶋貴子 いいじまたかこ
 ……………13,21,50,180,207
 飯田恭 いいだたかし……66
 飯田隆 いいだたかし……41
 飯塚倫子 いいづかみちこ……201
 飯塚理恵 いいづかりえ……31,88
 井伊雅子 いいまさこ……14,195
 井内太郎 いうちたろう……64
 井奥成彦 いおくしげこ……181
 生田久美子 いくたくみこ……74,98,99
 生田正輝 いくたまさき……131,238
 池井優 いけいまさる
 ……………131,162,238
 池上彰 いけがみあきら……85
 池田年穂 いけだとしほ
 ……………12,29,30,55,56,67,68,93,
 ……………158,159,171-173
 池田光 いけだひかる……59
 池田真朗 いけだまさお144,146-148
 池田彌三郎 いけだやさぶろう……59
 池田幸弘 いけだゆきひろ 186,238
 池野絢子 いけのあやこ……32,109
 池野秀弘 いけのひでひろ……177
 石井加代子 いしかかよこ……187,193
 石井沙和 いしいさわ……25,108
 石神裕 いしがみひろゆき……51
 石川明教授記念手続法研究所……147
 石川巧 いしかわたくみ 114,122
 石川忠雄 いしかわただお
 ……………130,236,237
 石川実 いしかわみのる 114,122
 石川竜一郎 いしかわりゆういちろう
 ……………98,206
 石田知子 いしだともこ……37
 石田英夫 いしだひでお……200
 石多正男 いしたまさお……111
 石田隆太 いしだりゅうた……25,108
 石塚壮太郎 いしづかそうたろう
 ……………11,144,160
 石橋孝次 いしばしこうじ……184
 石橋春男 いしばしはるお 182,190
 石原あえか いしはらあえか
 ……………70,126,220
 泉田信行 いずみだのぶゆき……194
 イズリース, A. ……………115
 磯崎敦仁 いそざきあつひと 12,165
 磯部哲 いそべてつ……11,144,161
 磯部靖 いそべやすし……166,167
- 板橋拓己 いたばしたくみ
 ……………12,67,160,171
 井田尚 いだひさし……26
 井田良 いだまこと……91,152,154
 井田三夫 いだみつお……125
 市川力 いちかわちから……81,96
 一木薫 いちきかおる……103,104
 市古みどり いちこみどり……19
 一ノ瀬大輔 いちのせだいすけ
 ……………9,92,157
 一ノ瀬友博 いちのせともひろ……93
 一守靖 いちもりやすし……205
 出岡直也 いづおかなお……28
 井筒俊彦 いづつとしこ33-36,225
 井筒豊子 いづつとよこ……37
 出原健一 いではらけんいち 40,74
 伊藤祥輔 いとうしょうすけ……217
 伊藤融 いとうとおる……169
 伊藤正雄 いとうまさお
 ……………44,45,232,233
 伊東裕司 いとうゆうじ……73
 伊藤好英 いとうよしひで……59
 伊藤隆二 いとうりゅうじ……98
 稲田のりこ いなだのりこ……219
 稲葉なおと いなばなおと……7,57,216
 井上逸兵衛 いのうえいつべい 41,135
 井上一明 いのうえかずあき……170
 井上卓哉 いのうえたくや……69
 井上輝夫 いのうえてるお……129
 井上浩義 いのうえひろよし……222
 井上真真 いのうえまこと……93,168
 猪木武徳 いのきたけのり 173,199
 猪子香代 いのこかよ……75,223
 井下理 いのしたおさむ……83
 井下千以子 いのしたちいこ
 ……………18,20,97,206
 猪平眞理 いのひらまり……104
 井庭研究室 いはたかし 81,96,206,215
 井庭崇 いばらあや……8,87,121
 井原あや いばらきひろこ……73
 柴木博子 いはらひさみつ……205
 井原久光 いはまりとしひろ……188
 井堀利宏 いまいまり……119
 今井眞理 いまいむつみ……81,96
 今井むつみ いまいよしあき……73,203
 今井芳昭 いまいりょういち
 ……………33,124,133,173
 今福龍太 いまふくりゅうた……127
 今村純子 いまむらじゅんこ……28
 今村晴彦 いまむらはるひこ
 ……………82,84,163
 林載桓 いむじえふあん……166
 入江直樹 いりえなおき……217
 いわさきたつや……86
 岩崎達也 いわさきひろし 102,233
 岩崎弘 いわたあや……115

岩下真好 いわたまさよし … 7,48
 岩瀬直樹 いわせなおき …… 81,96
 岩田健 いわたけん …… 99,239
 岩谷十郎 いわたにじゅうろう …… 43,140,156,231
 岩波敦子 いわなみあつこ … 41,63
 岩間一弘 いわまかずひろ …… 69
 岩本通弥 いわもとみちや …… 58
 尹秀鍾 いんしゅうじゅん … 205

【う】

ヴァーモールド, J. …… 64
 ヴァール, R. …… 143
 ヴァイス, M. …… 176
 ヴィラヴィセンシオ, K.C. …… 29,173
 ウィリアムズ, B. …… 6,39
 ヴィルシング, A. …… 67,171
 ウインター, S.G. …… 184
 呉茂松 うもうそん …… 167
 上岡真紀子 うえおかまきこ …… 19
 植田和男 うえだかずお …… 190
 植田浩史 うえだひろふみ …… 198
 上野陽子 うえのようこ …… 49,91
 上山信一 うえやしんいち … 184
 ウォーカー, J. …… 213
 ヴォーゲル, H. L. …… 192
 ヴォーン, S. …… 83
 ヴォルコフ, S. …… 68,113
 ウォルデン, D.D. …… 214
 ウォルハイム, R. …… 30,108
 浮世絵ってどうやってみるんだ? 会議 …… 110
 牛島定信 うしじまさだのぶ … 105
 牛島利明 うしじまとしあき 181,205
 内池慶四郎 うちいけけいいちろう …… 146
 内田百閒 うちだひゃっけん … 120
 内田浩史 うちだひろし …… 14,191
 内田良 うちだりょう …… 96
 宇南山卓 うなやますぐる …… 187
 梅崎修 うめざきおさむ 194,205
 梅澤佑介 うめざわゆうすけ … 159
 梅津順一 うめつじゅんいち 45,233
 梅津紀雄 うめつじのぶ …… 68,113
 梅津光弘 うめつみつひろ …… 202

【え】

エアハート, H.B. …… 69
 エヴァンズ, R. J. W. …… 65
 エーコ, U. …… 25,108
 エッカー, C.J. …… 7,60
 エッペンジャー, S. D. …… 214
 衛藤安奈 えとうあんな …… 61,166
 江藤淳 えとうじゅん …… 119,236
 江渡浩一郎 えとこういちろう 81,215
 NHK 放送文化研究所 …… 86
 エルパーフェルト, R. …… 78,226
 遠城寺宗徳 えんじょうじむねのり …… 222
 遠藤周作 えんどうしゅうさく 119
 遠藤不比人 えんどうふひと …… 70

遠藤正寛 えんどうまさひろ … 189

【お】

及川祥平 おいかわしょうへい … 58
 王雪萍 おうせつへい …… 167
 大石裕 おおしゆたか …… 84,86,159,160,163
 大出晁 おおいであきら …… 39
 大内進 おおうちすすむ 103,104
 大垣昌夫 おおがきまさお …… 77,102,180
 大鐘敦子 おおかねあつこ 125,227
 大川玲子 おおかわれいこ …… 79
 オークス, G. …… 186
 大久保敏弘 おおくぼとしひろ … 197
 大久保教宏 おおくぼのりひろ …… 72
 大久保讓 おおくぼゆづる …… 86
 大澤輝嘉 おおさわてるか …… 46,102,234,237
 大島孝介 おおしまこうすけ … 177
 大島武 おおしまたけし …… 81
 大島英幹 おおしまひでき …… 72,180
 太田(塚田)絵里奈 おおた(つかだ)えりな …… 61
 太田和博 おおたかずひろ …… 192
 太田達也 おおたたつや …… 11,91,153,154,228
 太田奈名子 おおたななこ …… 56
 大谷栄一 おおたにえいいち …… 77
 大田信良 おおたのぶよし …… 70
 太田峰夫 おおたみねお …… 113
 大津由紀雄 おおつゆきお …… 99
 大出敦 おおであつし …… 20
 大西広 おおにしひろし …… 185
 大西幸周 おおにしゆきちか 19,83
 大貫隆史 おおぬきたかし …… 70
 大沼あゆみ おおぬまあゆみ …… 196
 大野清志 おおのきよし …… 105
 大橋良介 おおはしりょうすけ …… 78,226
 大尾侑子 おおびゆうこ …… 87
 大村朋子 おおむらともこ …… 93,220
 大森正仁 おおもりまさひと …… 155
 大山耕輔 おおやまこうすけ 12,163
 岡田徹太郎 おかだてつたろう … 194
 岡田真弓 おかだまゆみ …… 71
 岡田有策 おかだゆうさく …… 214
 岡田陽介 おかだようすけ …… 160
 岡朋治 おかともはる …… 213
 岡野弘彦 おかのひろひこ …… 58,59,117,118
 岡伸浩 おかのぶひろ …… 148
 岡原正幸 おかはらまさゆき …… 81
 岡部光明 おかべみつあき 101,179
 岡部芳彦 おかべよしひこ …… 171
 おかむらくにかず …… 203
 岡本信照 おかもとしんしょう 137
 岡本正 おかもとただし 156,157
 岡本英敏 おかもとひでとし …… 119
 岡本裕一郎 おかもとゆういちろう …… 39,92
 小川芳範 おがわやすのり …… 31,88

小川原正道 おがわらまさみち …… 46,53,54,233,237
 オキーフ, K. O. …… 86
 翁邦雄 おきなくにお …… 93,186
 翁百雄 おきなゆり …… 195
 小草泰 おぐさやすし …… 31,88
 奥田晩代 おくだあきよ …… 29,68,135,172
 奥田太郎 おくだたろう …… 21
 奥田博子 おくだひろこ …… 48,49,57
 奥出直人 おくだなおひと …… 112
 小熊英二 おぐまえいじ …… 49,82,91,163
 小熊祐子 おぐまゆうこ …… 82,163
 奥村保規 おくむらやすのり …… 178
 奥山史亮 おくむらふみあき …… 77
 奥山雄大 おくやまゆうだい …… 217
 小倉清 おぐらきよし …… 76,98
 小倉孝誠 おぐらこうせい …… 69,124
 小倉義明 おぐらよしあき …… 191
 小此木政夫 おこのぎまさお …… 61,165
 尾崎愛美 おざきあいみ …… 154
 尾崎名津子 おざきなつこ …… 8,87,121
 長田進 おさだすすむ …… 72,180
 小澤太郎 おざわたろう …… 188
 小沢奈々 おざわなな …… 156
 オーター, D. …… 194
 小平麻衣子 おだいらまいこ …… 8,21,87,121,133
 小田勇樹 おだゆうき …… 163
 越知保夫 おちやすお …… 118
 小名木榮三郎 おなぎえいざぶろう …… 126
 小野純一 おのじゅんいち …… 35,36,38,85
 小野寺拓也 おのでらたくや …… 67,171
 小野仁美 おのひとみ …… 80
 小野容照 おのやすてる …… 60
 小畑俊太郎 おばたしゅんたろう …… 26
 小畑二郎 おばたじろう …… 186
 小幡篤次郎 おばたたくじろう …… 7,47,234,235
 小幡篤次郎著作集編集委員会 …… 7,47,234,235
 折口信夫 おりくちしのぶ …… 58,59,117,118
 オルソン, R. …… 212

【か】

カーマン, J. …… 32,109
 甲斐克剛 かいかつたけり …… 152
 戒能通弘 かいのうみちひろ …… 27
 香川邦生 かがわくにお …… 103,104
 鹿毛雅治 かげまさはる …… 97
 藍山宏 かげやまひろ 28,161,162
 さきいしょうじ 132,208
 笠原英彦 かさはらひでひこ 52,161
 嘉治佐保子 かじさほこ …… 191
 梶さやか かにさやか …… 67
 柏木洋彦 かしわぎひろひこ …… 213
 柏端達也 かしわばたつたつや …… 24

春日俣知郎 かすがいちょう …… 147
 春日教測 かすがのりひろ …… 185
 霞信彦 かすみのぶひこ …… 140,141,155,156,175
 加瀬幸喜 かせこうき …… 204
 片野歩 かたのあゆむ …… 192
 片山直也 かたやまなおや …… 11,140,147
 片山杜秀 かたやまもりひで …… 85
 片山ゆき かたやまゆき …… 14,198
 カチュール, Y. …… 39,135
 カッツ, E. …… 39,92
 桂木隆夫 かつらぎたかお …… 42,161
 加藤紳一郎 かとうしんいちろう …… 44,232
 加藤健郎 かとうたけお …… 215
 加藤久雄 かとうひさお …… 154
 加藤文俊 かとうふみとし …… 83
 加藤三明 かとうみつあき …… 46,102,234,237
 加藤宗哉 かとうむねや …… 119
 門田岳久 かどたたけひさ …… 58,59
 金沢大東 かなざわひろはる …… 137
 金澤裕之 かなざわひろゆき …… 53
 金森修 かなもりおさむ …… 38
 金子郁谷 かねこいくよう …… 84,95,101,200
 金子隆 かねこたかし …… 202
 金子奈央 かねこなお …… 35
 加納啓良 かのうひろよし …… 94,198
 鹿又伸夫 かのまたのぶお …… 82
 狩野光伸 かのみつのお …… 20,206
 樺澤哲 かはざわさとし 208,209
 鎌蹴美術館 かまいたちびじゅつかん …… 115
 鎌田繁 かまだしげる …… 35,37
 紙田和代 かみたかずよ …… 215
 神山久美 かみやまくみ …… 82
 亀田啓悟 かめだけいご …… 188
 亀山郁夫 かめやまいくお …… 68,113
 加茂具樹 かもともき …… 166,168
 唐木隼和 からきくにかず …… 198
 鳥谷昌幸 からすたにまさゆき …… 13,15,86,173,216
 柯隆 かりゆう …… 197
 川上浮之 かわかみあつし …… 193
 河北展生 かわきたのぶお …… 44,232
 河口雄司 かわくちゆうじ …… 183
 川崎晃 かわさきあきら …… 52
 川崎修 かわさきおさむ …… 28
 川崎市岡本太郎美術館 …… 115
 川崎勝 かわさきまさる …… 54
 川崎隆憲 かわしまたのかり …… 148
 河嶋春菜 かわしまはるな …… 11,144,161
 川住隆一 かわすみりゆういち 105
 河田健太郎 かわだけんたろう …… 6,39
 河内恵子 かわちけいこ …… 123
 川名雄一郎 かわなゆういちろう 26,27
 河西陽平 かわにしゅうへい 67,171
 川端康雄 かわばたやすお …… 70,123
 河原茂晴 かわはらしげはる 15,201

川松あかり かわまつあかり …… 58
 河村和徳 かわむらかずのり …… 160
 川村千鶴子 かわむらちづこ …… 93,94
 康元澤 かんゆうてく …… 165
 神吉創二 かんきそうじ …… 101,129,130,235,236
 神崎仁 かんざきじん …… 222,223
 神崎忠昭 かんざきただあき 24,63
 神崎正英 かんざきまさひで …… 86
 姜允琮 かんてゆん …… 45,234
 菅野昭正 かん野のあきまさ …… 119
 菅野賢治 かん野のけんじ …… 66
 神庭重信 かんばしげのぶ …… 220
 神林龍 かんばやしりょう …… 193

【き】

菊地暁 きくちあきら …… 77
 岸田拓士 きしただたくし …… 217
 岸田真 きしだまこと …… 181
 杵島正洋 きしままさひろ …… 213
 北居功 きたいいさお …… 140,147
 北岡元 きたおかはじめ …… 13,174,202
 北澤安紀 きたざわあき …… 147
 北野かほる きたのかほる …… 64
 北原まり子 きたはらまりこ …… 115
 北村礼子 きたむらあやこ …… 14,184
 北村勝朗 きたむらかつろう 74,98
 木戸一夫 きどかずお …… 203
 木下恵二 きしたけいじ …… 168
 木下頌子 きしたしょうこ …… 31,88,108
 木下誠 きしたまこと …… 70
 木畑洋一 きばたよういち …… 50
 日塚直隆 きみつかなおたか …… 64
 金成政 きむそんみん …… 10,113
 金兌希 きむてひ …… 160
 金美紗 きむみさ …… 147
 金美林 きむみりん …… 86
 木村太一 きむらたいち …… 15,208
 木村福成 きむらふくなり …… 197
 木村真希子 きむらまきこ …… 169
 木村雄一 きむらゆういち …… 177
 木村友二 きむらゆうじ …… 183
 キヤディス, J.L. …… 172,175
 清田耕造 きよたこうぞう …… 189
 キング, E. …… 65
 キング, R.J. …… 124,216
 金田一真澄 きんだいちますみ 40,127

【く】

ゲーラ, F. …… 30,182
 久我俊二 くがしゅんじ …… 124
 鯨岡峻 くじらおかたかし …… 98
 下松真之 くだまつまさゆき …… 13,163,179
 グッドマン, N. …… 30,108
 工藤北斗 くとうほくと …… 141
 クロバー, N. …… 84
 久保昭博 くばあきひろ …… 32,109
 窪菌晴夫 くぼぞのはるお …… 99
 久保田哲 くぼたさとし …… 54

久保田淳 くぼたじゅん …… 119
 久保亨 くぼとおる …… 166
 熊倉敬聡 くまくらたかあき …… 77
 坂坂賢次 くまさかけんじ …… 81,101,238
 熊野谷薬子 くまのやようこ …… 127
 隈部まさ子 くまべまさこ …… 223
 久米邦武 くくめにたけ …… 52,53
 公文俊平 くもんしゅうへい …… 81
 倉沢愛子 くらざわあいこ …… 56,198
 クリアーヌ=ベトレスク, T. …… 77
 グリーンフェルド, L. …… 158
 クリスタル, D. …… 41
 栗林寛幸 くりばやしひろゆき …… 14,173,183,199
 グリフィス, R. …… 64
 クルーシアス, T. W. …… 21
 クレイグ, A. M. …… 45,233
 グレイシック, T. …… 31,108
 黒岩亜純 くろいわあずみ …… 21
 黒岩康博 くろいわやすひろ …… 58
 黒川行治 くろかわゆきはる …… 208
 黒木俊秀 くろきとしひで …… 76,100
 黒瀬浩一 くろせこういち …… 187
 黒田昌裕 くろだまさひろ …… 13,188
 黒田諠 くろだよしみ …… 188
 桑原三郎 くわばらさぶろう …… 116,132
 桑原武夫 くわはらたけお …… 210

【け】

慶應義塾体育会蹴球部黒黄会 …… 95,238
 慶應義塾大学
 アート・センター …… 110,115
 内池研究会・みなと会 …… 146
 教養研究センター …… 19,20,83
 経済学部英語部 …… 136
 経済学部白井ゼミナール 56,100,239
 商学部中国語部 …… 137
 商法研究会 …… 150-152
 大学院システム・マネジメント
 研究科 …… 214
 地域研究センター …… 51,79,169,197
 通信教育部 …… 138
 博士課程教育リディングプログラム
 「超成熟社会発のサイエンス」 …… 101
 東アジア研究所 …… 158
 ビジネス・スクール (大学院
 経営管理研究科) …… 200
 日吉キャンパス学習相談員 …… 20
 法学研究会 …… 171
 法学部 …… 132,138,143,
 154,158,162,175,238
 メディア・コミュニケーション研究所
 …… 85,86
 薬学部 …… 223
 慶應義塾日吉キャンパス極東証券寄附
 公開講座編集委員会 …… 138
 慶應義塾幼稚舎「疎開学園の記録」
 編集委員会 …… 98,239,240
 慶應婦人三田会[プロジェクト F] 132
 氣多雅子 けたまさこ …… 48

志村真幸 しむらまさき58
 下田健太郎 しもだけんたろう60
 霜野寿亮 しものとしあき 159
 下村裕 しもむらゆたか 212,213
 ジャット, T.50
 シャピロ, I. 160
 シューム, J.S.83
 ショア, A. 171
 庄司美千代 しょうじみちよ 103
 上代庸平 じょうだいようへい 143
 ショーテル, T.M. 214
 ジョーンズ, G. 13,50,180
 ジラル, F. 78,226
 白井厚 しらいあつし 56,100,239
 白塚重典 しらつかしげのり 190
 ジリボッティ, F. 102,180
 シリングスバーグ, P.L.86
 ジルソン, E. 24
 ジンガレス, L. 184
 秦邦生 しんくにお70
 ジンサー, W. 18,206
 神野潔 じんのきよし 140
 神保謙 じんぼけん 210
 新保史生 しんぼふみお 210

【す】

末木孝典 すえきたかのり54
 菅井三実 すがいかずみ 40,74
 菅井裕行 すがいひろゆき 105
 菅桂太 すがけいた 197
 菅沼安嬉子 すがぬまあきこ 222
 菅靖子 すがやすこ 50
 菅原光 すがわらひかる47
 杉浦章介 すぎうらのりゆき 71,180
 杉尾一 37
 杉野俊子 すぎのとし 21,41,97,225
 杉本英太 すぎもとえいた 6,39
 杉本憲彦 すぎもとのりひこ 213
 杉山恵子 すぎやまけいこ89,111
 杉山伸也 すぎやましんや 13,54,182
 助川たかね すげがわたかね 192
 スコフィールド, F. 26,27
 図師宜忠 すしのぶただ 127
 鈴木寛 すずきかん 81,96
 鈴木真吾 すずきしんご8,62
 鈴木大地 すずきだいち 6,38
 鈴木孝夫 すずきたかお40,236
 鈴木隆 すずきたかし 167
 鈴木千佳子 すずきちかこ 150
 鈴木透 すずきとおる68
 鈴木俊夫 すずきとしお 191
 鈴木宏尚 すずきひろなお 162
 鈴木正崇 すずきまさたか 71,95
 鈴木真弥 すずきまや94
 鈴木優 すずきゆう 6,27
 鈴木慶孝 すずきよししたか62,170
 鈴木亮子 すずきりょうこ 19,20,83
 スター, D.T. 221
 ステイアーズ, M. 159
 須藤健一 すとうけんいち 7,49
 ストック, K. 9,32,88
 スナイダー, T. 67,68,158,159,172

角南篤 すなみあつし 184
 スミス, L.E. 41,135
 鷲見誠一 すみせいいち 138,162,210
 隅田和人 すみたかかずと 178
 隅谷史人 すみたにふみと 150

【せ】

関口裕昭 せきぐちひろあき 126,127
 関根謙 せきねけん 121
 関村正悟 せきむらせいご 184
 関谷喜三郎 せきやきさぶろう 177
 千田有紀 せんだゆき 9,32,88

【そ】

宗田貴行 そうだたかゆき 148
 添谷芳秀 そえやよしひで 162,164,176
 ソール, J.M. 38,85
 ソシエ, M. 42,230
 園田紫乃 そのだしの84
 染田屋茂 そめたやしげる 18,206
 藤東勲 そるとんふん 165

【た】

ダイヤモンド, J. 50,182
 高木源 たかぎげん74
 高木聖 たかぎさとし81
 高木佐保 たかぎさほ 74,216
 高木元元 たかぎしんげん78
 高木信久 たかぎのぶひさ 190
 高木晴夫 たかぎはるお 202
 高木不二 たかぎふじ53
 高桑和巳 たかくわかずみ 32,109,224
 高島和哉 たかしまかずや27
 高田朝子 たかたあさこ 206
 高田久実 たかたぐみ 140
 高槻泰郎 たかつきやすお 181
 高橋潤二郎 たかはしじゅんじろう 129
 高橋誠一郎 たかはしせいいちろう 130,236
 高橋伸夫 たかはしのぶお 165,167,175
 高橋美恵子 たかはしみえこ89
 高橋通男 たかはしみちお 129
 高橋悠介 たかはしゆうすけ 114
 高橋淑子 たかはしよしこ 217
 高橋義彦 たかはしよしひこ 8,66
 高部大問 たかべだいもん15,201
 高見典和 たかみのりかず 186
 高宮利行 たかみやとしゆき 69,112
 高柳克弘 たかやなぎかつひろ 10,117,120
 高山晶 たかやまあき 111
 高山博 たかやまひろし 63,79
 タガン, W. 201
 瀧澤弘和 たきざわひろかず 30,182,183,188
 滝藤早苗 たきとうさなえ 112
 滝浪佑紀 たきなみゆうき 113
 多木陽介 たきようすけ 10,112,216
 滝吉美知香 たきよしみちか10,105

竹内伸一 たけうちしんいち 200,202
 竹内誠也 たけうちせいや 149
 竹内雅哉 たけうちなんぞう 7,48
 武田雅哉 たけだまさや 37,121
 武富博文 たけどみひろふみ 103
 竹中康治 たけなかこうじ 184
 竹中平蔵 たけなかへいご 81,215
 竹中淑子 たけなかよしこ 132
 竹之内裕文 たけのうちにろふみ84
 竹村真一 たけむらしんいち 70
 竹村英樹 たけむらひでき 57,83
 武山政直 たけやまさなお 72,180
 田坂憲二 たさかけんじ 116
 田島英一 たじまえいいち 176
 田尻歩 たじりあゆむ 50
 橘宗吾 たちばなそうご87
 巽孝之 たつみたかゆき 123
 立石洋子 たていしようこ67
 伊達洋駆 だてようく 100
 田所昌幸 たどころまさゆき 169
 田中英 たなかあきら 8,85
 田中慶子 たなかけいこ 89,194
 田中泉史 たなかせんじ 6,37,38
 田中聡一郎 たなかそういちろう 188
 田中孝宜 たなかたかのぶ86
 田中隆之 たなかたかゆき 190
 田中健彦 たなかたけひこ 77,180
 田中辰雄 たなかたつお 184
 田中朋弘 たなかともひろ 39,92
 田中信利 たなかのぶとし 104
 田中秀明 たなかひであき 195
 田中宏 たなかひろし 160
 田中浩也 たなかひろや 112
 田中真理 たなかまり 10,105
 田中美佳 たなかみか61
 田中實 たなかみのる 114,122
 田中康雄 たなかやすお 75,76
 田中佑弥 たなかゆうや 9,96
 田辺国昭 たなべくにあき 194
 田辺俊介 たなべしゅんすけ84
 ダナム, A. 94,198
 ダニエルズ, G. 87
 谷口和弘 たにぐちかずひろ 15,200,201
 谷口忠大 たにぐちただひろ 98,206
 谷寿美 たにすみ 27,38
 谷原史 たにはらつかさ87
 田上雅徳 たのうえまさなる 79,138
 田畑康人 たばたやすひと 203
 田部井潤 たべいじゅん83
 玉井清 たまいきよし 55,161,162
 玉木寛輝 たまきひろき 56,161
 田村和彦 たむらかずひこ 58
 田村京子 たむらきょうこ 39,221
 樽井正義 たるいまさよし 38,93,220
 段瑞聡 だんずいそう 12,165,166
 ダントー, A.C. 30,108

【ち】

崔慶原 ちえぎょうおん 165
 崔誠姫 ちえせんひ 7,60,88
 チャンネル, C.E. 21

周水河 ちゅよんは……………69
 張戎啓 ちょういくまん……………158
 千代倉弘明 ちよくらひろあき……………101
 鄭鍾賢 ちよんじよんひょん……………60

【つ】

塚原康博 つかはらやすひろ……………188
 月谷真紀 つぎたにまき 94,177,194
 柘植尚則 つげひさのり……………39
 辻村和祐 つじむらかずすけ……………183
 辻村雅子 つじむらまさこ……………183
 辻幸夫 つじゆきお……………40,74
 辻幸民 つじゆきたみ……………14,191
 つだとしはる……………146
 津田利治 つたゆきお……………40,135
 津田幸男 つちだちあき……………9,94
 土田千愛 つちまつたかし……………217
 土松隆志 つちやあけみ……………73
 土屋明美 つつみばやしけん……………159
 堤林剣 つねやまなほこ……………123
 常山菜穂子 つばこさとみ 124,212,216
 坪子理美 つばのけいすけ……………33,133
 津谷圭介 つやのりこ……………89,197
 津川謙 つやまゆずる……………175
 鶴島博和 つるしまひろかず……………64

【て】

デイヴィス, R.W. ……………138
 デイヴィス, W ……………64
 鄭浩瀾 ていこうらん……………166
 デルワース, D.A. ……………44,225,231
 デ・ヴェック, O.L. ……………214
 出口雄一 てぐちゆういち……………57,156
 テミン, P. ……………173,199
 テミン修 てらさきおさむ 43,54,230
 寺崎陽子 てらさきようこ……………68
 寺西重郎 てらにしじゅうろう……………189
 寺村祐子 てらむらゆうこ……………111

【と】

ドゥヴォス, P. ……………115
 當仲香 とうなかおおる……………221
 ドゥッペク, M. ……………102,180
 当麻哲哉 とうまてつや……………202
 トゥラビアン, K.L. ……………19
 外川昌彦 とがわまさひこ……………48
 常盤拓司 とくわたくじ……………20,83
 徳座見子 とくざあきこ……………88,227
 徳田英幸 とくだひでゆき……………101
 徳永聡子 とくながさとこ……………6,19,25,133,134
 徳永夏子 とくながなつこ 8,87,121
 徳永豊 とくながゆたか 103,104
 都倉武之 とくらたけゆき……………129,130,235,236
 戸沢行夫 とざわゆきお……………43,230
 戸澤義夫 とざわよしお……………30,108
 戸田聡 とださとし……………62,78
 10時厳周 とととしちか……………92
 ドナー, F.M. ……………61
 渡名喜庸哲 となきようてつ……………28
 トマセロ, M. ……………40,74

富田広士 とみたひろし……………175
 富田真紀子 とみたまさこ……………82,163
 富田正文 とみたまさふみ……………44,232
 富田裕子 とみたゆうこ……………87
 冨塚亮平 とみづかりようへい……………113
 友岡賛 ともおかすむ……………15,207,208

戸谷洋志 とやひろし……………28
 鳥居昭夫 とりいあきお……………184,185
 鳥居泰彦 とりいやすひこ……………130,237

【な】

内閣府経済社会総合研究所……………188
 ナイト, S. ……………69,112
 内藤正人 ないとうまさと……………110
 直井道生 なおいみちお……………178
 直江健介 なおえけんすけ……………20
 永井荷風 ながいかわふう……………117
 永江雅和 ながえまさかず……………181
 長岡真吾 ながおかしんご……………29,172
 永岡肇 ながおかたかし……………77
 長尾確 ながおかたし……………218
 中尾隆彦 なかおともひこ……………106,107
 中兼和津次 ながかねかつじ……………166
 中川真弥 ながかわしんや……………42,230
 中川雅之 ながかわまさゆき……………188,197
 長木大三 ながきだいぞう……………54
 中里見博 ながさとみひろし 9,32,88
 中澤仁 ながざわじん……………221
 中澤正彦 ながざわまさひこ……………177
 中島信吾 ながしましんご……………175
 中島隆信 ながじまたかのぶ……………177,200
 永嶋友 ながしまゆう……………8,65
 中脩三 ながしゅうぞう……………222
 長田彰文 ながたあきふみ……………60,164
 中谷彩一郎 ながたにさいいちろう……………127
 中田真佐男 なたたまさお……………188
 中妻照雄 なかつまてるお……………190,191
 中藤和重 なかつうかずしげ……………182
 中西恭子 なかにしきょうこ……………63
 中西聡 なかにしさとる……………181
 中西春春 なかにしちはる……………21,41,97,225
 中西泰人 なかにしやすと……………81,215
 なかのひろし……………81,215
 中整博 ながはひろし……………170
 長場敏 なかひがしまさき……………188
 中東雅樹 なかひらかつこ……………218
 中平勝子 なかみちひさかず……………160
 長嶺七海 ながみねななみ……………202
 なかむらあきえ……………205
 中村天江 なかむらかつのり……………54
 中村洗 なかむらこう……………155
 中村晴夫 なかむらたかお……………120
 中村武宏 なかむらたけひろ……………201
 中村年春 なかむらとしはる……………82
 中村宗悦 なかむらむねよし……………181
 中村元哉 なかむらもとよ……………166
 中村優介 なかむらゆうすけ……………65
 中村美子 なかむらよしこ……………86

永守伸年 ながもりのおとし……………6,26
 中森弘樹 なかもりひろき……………75,90
 中山真緒 なかやままお……………89,194
 南雲智映 なぐもちあき……………205
 ノルチエ フスキー, A. ……………137
 鍋島弘治朗 なべしまこうじろう……………40,74
 奈良和夫 なみきかずお……………151
 奈良和重 ならかずしげ……………160

【に】

新倉俊一 にいくらとしかず……………128
 新島進 にいしますすむ……………125
 新見肇子 にいみはつこ……………122,227
 仁子寿晴 にごとしはる……………35
 西周 にしまあね……………47
 西岡八郎 にしおかはちろう……………89
 西岡洋子 にしおかようこ……………176
 西尾宇広 にしおたかひろ……………224
 西川俊作 にしかわしゅんさく……………64,42,43,45,96,230-233
 西川杉子 にしかわさき……………64
 西川美樹 にしかわみき……………55,56
 錦織千佳子 にしがろちかこ……………217
 西沢和彦 にしざわかつひこ……………195
 西沢保 にしざわもつ……………65
 西澤直子 にしざわなおこ……………43,45,46,226,231,232,234
 西直美 にしなおみ……………169
 西野純也 にしのじゅんや……………165
 西岡三馨 にしまさんけい……………100
 西村閑也 にしむらしげや……………191
 西村周三 にしむらしゅうぞう……………194
 西村隆男 にしむらたかお……………82
 西村秀和 にしむらひでかず……………214
 西村玲 にしむらりょう……………35
 西本春呼 にしもとのあ……………71
 西山隆行 にしよまたかゆき……………12,172
 西山敏樹 にしやまとしき……………19,20,83,214,215
 西亮太 にしりょうた……………50
 西脇順三郎 にしわきじゅんざぶろう……………128,236
 西脇与作 にしわきよさく……………37
 新田昌英 にとたまさひで……………38
 日本イスラム協会……………80
 日本肢体不自由教育研究会……………104
 日本消費者教育学会関東支部……………82
 日本心理劇学会……………73
 日本バイオインフォマティクス学会……………218
 日本リハビリテーション連携科学学会……………103
 庭田範秋 にわたのりあき……………203
 庭田よう子 にわたようこ……………179

【ぬ】

ヌスパウム, M.C. ……………29,141
 沼口隆 ぬまぐちたかし……………19
 沼口好雄 ぬまぐちよしお……………19
 沼田治 ぬまたおさむ……………217

【ね】

根岸毅	ねぎしたけし	159,229
根無一信	ねむかずのぶ	26
ネルソン, R.R.		179,184
【の】		
納富信留	のうとみのぶる	41,134
野沢聡子	のざわさとこ	21
野島那津子	のじまなつこ	91
ノッター, D.		90
野々瀬浩司	ののせこうじ	79
延近充	のぶちかみつる	185
昇亜美子	のぼりあみこ	13,86,173
野村英一	のむらえいいち	57,239
野村浩二	のむらこうじ	188
野村亨	のむらとおる	176
野村益寛	のむらますひろ	40,74
野村龍太	のむらりゅうた	222
野本和幸	のむとかずゆき	39
野元晋	のむとしん	24,61

【は】

ハーヴェー, B.		64
パーカー, R.H.		207
パーキー, J.		61
パーク, K.		65
パーク, P.		50
ハースト, III, G.C.		44,225,231
ハート, O.		184
バーナード, L.		86
バーマン, M.		29,91
バーモンティエ, M.		106
バイオメカニズム学会		221
芳賀日出男	はがひでお	59
芳賀雅顯	はがまさあき	148
萩原牧子	はぎわらまきこ	193
萩原眞一	はぎわらしんいち	123
萩原能久	はぎわらよしひさ	28
朴敬珉	ぱくきゅんみん	61,164
箱田徹	はこだてつ	28
バジェス, S.		115
橋口宏行	はしぐちひろゆき	182,183,190
橋爪列	はしづめれつ	35,62
橋長真紀子	はしながまきこ	82
橋本功	はしもとこうだい	41,79,135
橋本広大	はしもとこうだい	153
長谷川修一	はせがわしゅういち	78
長谷川一	はせがわはじめ	92
長谷川政春	はせがわまさはる	58,59,117,118
長谷川雄一	はせがわゆういち	55
長谷部史彦	はせべふみひこ	63
長谷山彰	はせやまあきら	51
波多野澄雄	はたのすみお	166
ハッキング, I.		38,199
服部豊	はっとりゆたか	223
服部禮次郎	はっとりれいじろう	43,47,130,231,237
羽生田榮一	はにゅうたえいいち	81,215
羽生正宗	はにゅうまさむね	204,220

浜田文雅	はまだふみまさ	183
浜野潔	はまのきよし	181
浜日出夫	はまひでお	57,83
羽室英太郎	はむろえいたろう	218
ハメリン, R.D.		214
早川和伸	はやかわかずのぶ	197
早川英男	はやかわひでお	190
林温	はやしおん	110
速水融	はやみあきら	130,131,178
早見均	はやみひとし	196
原田亜紀子	はらだあきこ	98
原大地	はらたいち	126
原田公人	はらだきみひと	103
原田真見	はらだまみ	50
原谷直樹	はらやなおき	186
原禎嗣	はらよしつぐ	140
春木育美	はるきいきみ	165
春山眞一郎	はるやましんいちろう	214
パロー, R.J.		77,180
韓相熙	はんさんひー	155
ハンズ, D.W.		186
ハンズマン, H.		184

【ひ】

ビオット, P.		93,220,221
飛ヶ谷美穂子	ひがやみほこ	116
樋口直人	ひぐちなおと	91,163
樋口美雄	ひぐちよしお	89,178,187,193,194,201
肥後祥治	ひごしょうじ	103
日向清人	ひなたきよと	136,141,178,220
平田知久	ひらたともひさ	90
平野裕之	ひらのひろゆき	11,145,146
廣瀬陽子	ひろせようこ	210
広田すみれ	ひろたすみ	38,75,87,199

【ふ】

フィスマン, R.		179
フィスク, A.D.		214
フィスクバーグ, K.J.		214
深沢暉	ふかざわひとみ	143
福岡正夫	ふくおかまさお	178
福澤(沢)論吉	ふくざわゆきち	6,42,46,96,225,226,230-233
福澤論吉事典編集委員会		42,233
福田亘孝	ふくだのぶたか	89
福田裕徳	ふくだひろお	219
福田門	ふくだまどか	168,176
福田充	ふくだみつる	174
福田守利	ふくだもりとし	142,228
福田雄	ふくだゆう	90
福田亮子	ふくだりょうこ	214
福中冬子	ふくなかふゆこ	32,109
福原正大	ふくはらまさひろ	191
藤井淳	ふじいじゅん	78
藤井典子	ふじいのりこ	13,52,181
藤江邦男	ふじえくにお	45,234
藤澤益夫	ふじざますお	131
藤谷道夫	ふじたにみちお	127
藤田康範	ふじたやすのり	183

福原翔太	ふくはらしょうた	66
藤森智子	ふじもりともこ	97
藤山一樹	ふじやまかずき	65
藤原茂樹	ふじわらしげき	59
藤原淳一郎	ふじわらしゅんいちろう	182
藤原翔太	ふじわらしょうた	8,66
船山信次	ふなやましんじ	70
ブラウン, P.		62,78
ブランチャール, O.		94,177
フリードマン, H.S.		180
古川哲	ふるかわあきら	68,113
古川勝也	ふるかわかつや	103
ブルネルマイヤー, M.K.		14,183
フレデリック, H.		124
不破有理	ふわり	122

【へ】

米欧亜回覧の会		52,53
ペイン, R.S.		202
ペスト, J.		21
ペスリー, T.		13,163,179
ベッカー, H.S.		83,107
ベトレスク, D.		77

【ほ】

法学部法律学科開設 100 年記念 国際シンポジウム委員会		141
北條雅一	ほうじょうまさかず	96,180
ホー, B.		179
ホーマンズ, J.		50
ボール, B.S.		124,173
ボール, E.		208,209
ボールハチエット, H.		45,226,232
保坂睦	ほさかむつみ	19
星浩司	ほしこうじ	40,222
星田淳也	ほしだじゅんや	150,205
星野裕志	ほしのひろし	200,201
星野真志	ほしのまさし	50
ポストマ, G.J.		27
ボゼック, C.I.		66
細江英公	ほそえいこう	115
細川幸一	ほそかわこういち	82,141,142
細田衛士	ほそだえいじ	196
細谷雄一	ほそやゆういち	12,160,170,176
堀田一吉	ほったかずよし	203,204
堀田聰子	ほったさとこ	84
ホブズボーム, E.		50
ボマランツェフ, P.		171
堀内昭義	ほりうちあきよし	184
堀口悟郎	ほりぐちごろう	11,144,161
堀越比呂志	ほりこしひろし	204
ホン, C.P.		12,30,173
【ま】		
マーティン, J.R.		99
前嶋和弘	まえしまかずひろ	12,172
前田章	まえだあきら	177,188
前田和泉	まえだいずみ	68,113

前山つよし まえやまつよし …… 94,198	水澤周 みずさわしゅう …… 52,53	森田成也 もりたせいや …… 32,88
真壁ゼミ …… 106,107	水野孝之 みずのたかゆき …… 30,182	守永誠治 もりながせいじ …… 208
真壁宏幹 まかべひろもと …… 97,106,107	水林翔 みずばやししょう …… 11,144,161	森元良太 もりもとりょうた …… 37,38,199
牧厚志 まきあつし …… 185	溝口哲郎 みぞぐちてつろう …… 13,163,179	森吉直子 もりよしなおこ …… 40,74
牧紀男 まきのりお …… 164,216	御園敬介 みそのけいすけ …… 25	森玲奈 もりれいな …… 98,206
マクミラン, J. …… 183	三田古代史研究会 …… 51,155	諸橋英一 もろはしえいいち …… 55
マコーネル, P.B. …… 15,216	三田奈穂 みたなほ …… 140	文部省 …… 105
孫福弘 まごふくひろむ 101,238	三田文学会 …… 120,121	門間理良 もんまりら …… 168
眞嶋俊造 まじましゅんぞう …… 21	三田文学編集部 …… 120	
マシュー, C.64	満留昭久 みつとめあきひさ 100,220	【や】
増田健太郎 ますだけんたろう 74,100	南川高志 みなみかわたかし …… 63	八木橋宏勇 やぎはしひろとし 41,79
増田真也 ますだしんや …… 75	南沢薫 みなみさわあいか …… 180	八木陽一郎 やぎよういちろう …… 200
増田弘 ますだひろし …… 56	宮岡勲 みやおおいかお …… 174	矢倉喬士 やぐらたかし …… 29,172
マゾワー, M.93	宮垣元 みやがげん …… 210	矢澤達宏 やざわたつひろ …… 173
丁田隆 まちだたかし …… 69	宮川麻理子 みやがわりこ …… 115	矢嶋康次 やじまこうじ …… 133,179
松井清 まついきよし …… 65	宮家準 みやけひとし …… 69	八嶋由香利 やしまゆかり …… 67
松井貴子 まついたかこ …… 67	宮崎雅人 みやざきまさと …… 164,188,192	八代充史 やしろあつし …… 205
松井知子 まついともこ …… 73	宮里恭子 みやさときょうこ 40,222	安田淳 やすだじゅん …… 168
松居竜五 まつりゅうご …… 58	宮下雄一郎 みやしたゆういちろう …… 176	安田武彦 やすだたけひこ …… 177
松浦寿幸 まつうらしゆき …… 197	宮代康丈 みやしろやすたけ …… 210	安田敏明 やすだとしあき …… 40
松岡秀雄 まつおかひでお …… 215	宮台真司 みやだいしんじ …… 81	安富潔 やすとみきよし 152,153
松尾俊治 まつおしゅんじ …… 95	宮田一雄 みやたかずお 93,220,221	柳沢遊 やなぎさわあそぶ …… 56
松尾大 まつおひろし …… 30,108	宮地恵美 みやちえみ …… 208,209	柳澤田実 やなぎさわたみ 8,70,77
松尾弘 まつおひろし 140,144,145	宮徹 みやとおる …… 21	柳田利夫 やなぎだとしお …… 70
マックリアー, R.M. …… 77,180	宮橋裕司 みやはしひろし …… 59,212	柳瀬典由 やなせのりよし …… 15,204
松崎欣一 まつざきんいち …… 42,44-46,131,231,233,239	宮正樹 みやまさき …… 217	柳瀬房子 やなせふさこ …… 9,94
松崎久純 まつざきひさずみ 21,136	宮原曉 みやはらぎょう …… 168	矢野誠 やのまこと …… 177
松澤慶信 まつざわよしのぶ …… 115	宮正樹 みやまさき …… 217	山内慶太 やまうちけいた …… 6,7,43,46,96,99, 102,129,130,230,232,234-237,239
松下慶太 まつしたけいた …… 100	ミヤンマルティン, A. …… 45,226,232	山内志朗 やまうちしろう 24,25,38
松田宏一郎 まつただこういちろう …… 48	明星聖子 みょうじょうきよこ …… 86,126,134	山内弘隆 やまうちひろたか184,185
松田隆美 まつただたかみ …… 41,65,122,133,134	ミンデル, D.A. …… 194	山内麻理 やまうちまり …… 205
松谷基和 まつたにもとかず …… 76,101,165	三馬志伸 みんましのぶ …… 123,227	山内祐平 やまうちゆうへい …… 98,205,206
松永浩気 まつながこうき 129,235	【む】	山岡龍一 やまおかりゅういち 159
松永伸司 まつながしんじ …… 30,108	武川幸嗣 むかわこうじ …… 147	山形浩生 やまがたひろお …… 179
松橋崇史 まつはしたかし …… 95	牟田口辰己 むたくちたつみ 104,105	山之上秀夫 やまがみわさふみ …… 190
松林薫 まつばやしかおる …… 18	武藤秀太郎 むとうしゅうたろう 48,55	山口方夫 やまがまわさお …… 121
松原彰子 まつばらあきこ …… 72,180,213,229	武藤浩史 むとうひろし …… 70,123	山口明日香 やまぐちあすか …… 196
松原秀一 まつばらひでいち …… 37	村井純 むらいじゅん …… 101,221	山口信治 やまぐちしんじ …… 166
松村智雄 まつむらとしお …… 71	村井理子 むらいりこ …… 15,216	山口操 やまぐちみさお …… 208
松本和彦 まつもとかずひこ 26,140	村上しほり むらかみしほり …… 57,92	山口祐子 やまぐちもとき …… 62
松本直記 まつもとなおき …… 213	村越貴代美 むらこしきよみ …… 136	山口元祐 やまぐちゆうこ …… 137
松元雅和 まつもとまさかず …… 159	村瀬嘉代子 むらせかよこ …… 73	山腰修三 やまごししゅうぞう84-86
儘田徹 ままだとおる …… 83	村田茂 むらたしげる …… 105	山崎照雄 やまごきてるお …… 24
真屋和子 まやかずこ …… 125,227	村田豊久 むらたとよひさ …… 76	山崎福寿 やまごさふくじゅ …… 197
真屋高生 まやよしお …… 194	村田雅之 むらたまさゆき …… 81	山下仁 やましたかざつひと …… 188
マリガン, B. …… 68	村林裕 むらばやしゆたか …… 95	山下充 やましたみつる …… 205
マルカ, S. …… 28	【め】	山田久 やまだひさし …… 192
マルティネリ, R. …… 202	メレ, E. …… 111	山田礼子 やまだれいこ …… 100
マルティン, A.M. …… 47	メンタルケア協会 …… 76	山中俊治 やまなかしゅんじ …… 112
丸山空大 まるやまたかお …… 27	【も】	山中直明 やまなかなおあき …… 201
丸山徹 まるやまとおる …… 132	孟若燕 もうじゃくえん …… 198	山野嘉朗 やまのよしろう …… 204
マン, K. …… 31,88	持田叙子 もちだのぶこ …… 117,118	山花京子 やまはなきょうこ …… 61
【み】	百木漢 ももきぱく …… 28	山辺弦 やまべけん …… 33,133
三尾裕子 みおゆうこ …… 60	守岡桜 もりおかさくら …… 179	山本勲 やまもといさむ 187,193
三上喜貴 みかみよしき …… 218	森聡 もりさとし …… 176	山本薫 やまもとかおる …… 210
三嶋恒平 みしまこうへい …… 198	森征一 もりせいいち …… 140,148	山本薫子 やまもとかほるこ …… 9,92

山本爲三郎 やまもとためさぶろう
 150
 山本信人 やまもとのぶと
 61,86,93,168,169
 山本正身 やまもとまさみ 42,96,97
 山本芳久 やまもとよしひさ 25,108
【ゆ】
 湯川武 ゆかわたけし 19,80
【よ】
 要藤正任 ようどうまさとう 189
 横手慎二 よこてしんじ 171,175
 横濱和弥 よこはまかずや 153
 横山千晶 よこやまちあき
 19,84,87,107,123
 横山和加子 よこやまわかこ 72
 横路佳幸 よころよしゆき 24
 吉岡正敏 よしおかまさひろ 99,239
 吉川知夫 よしかわともお 103
 吉川晴美 よしかわはるみ 73
 吉田恭子 よしだきょうこ 95
 吉武憲司 よしたけけんじ 64,65
 吉田小五郎 よしだごころう 131,238
 吉田千鶴 よしだちづ 197
 吉田友子 よしだともこ 19
 吉田成利 よしだなるとし 143
 吉野直行 よしのなおゆき 188,190
 吉原直毅 よしはらなおき 94,177
 吉増剛三 よしますこうぞう 128
 米井嘉一 よねいよしかず 221
 米山高生 よねやまたかう 184

【ら】
 ラーマン, T.M. 8,70,77
 ライト, A. 39,92
 ラジャン, R. 14,184
 ラズ, J. 140
 ラングフォード, P. 64
 ラングロウ, R. N. 200

【り】
 リビューマ, J. 208,209
 リュトゲ, C. 39,179

【る】
 ルイス, D. 30,183

【れ】
 レイス, R. 14,183
 レイノルズ, E.B. 194
 レオポルド, D. 159
 廉舒 れんしゆ 167

【ろ】
 労働政策研究・研修機構 193
 ローエンタール, M. M. 174
 ロードラー, G. J. 214
 六車明 ろくしゃあきら 157
 ロスチャイルド, M. 13,86,173
 ロドリック, D. 94,177
 ロビンズ, K. 64
 ロビンソン, J.A. 50,182

【わ】

若澤佑典 わかざわゆうすけ 10,133
 若田部昌澄 わかたべまさずみ 186
 若松英輔 わかまつえいすけ 36,118
 若宮啓文 わかみやよしぶみ 164
 脇田玲 わきたあきら 111,112
 和気洋子 わけようこ 196
 鷲田任邦 わしだひでくに 160
 和田忠彦 わだただひこ 25,108
 和田龍磨 わだたつま 210
 渡辺一暁 わたなべかずあき 31,88
 渡辺一樹 わたなべかずき 6,39
 渡邊圭一 わたなべけいいち 72,180
 渡邊拓也 わたなべたくや 69
 渡辺保 わたなべたもつ 114
 渡辺徳三郎 わたなべとくさぶろう
 102,234
 渡辺直紀 わたなべなおき 60
 渡辺秀樹 わたなべひでき 89
 渡邊啓貴 わたなべひろたか 66,170
 渡邊福太郎 わたなべふくたろう 27
 渡辺将人 わたなべまさひと 12,172
 渡辺靖 わたなべやすし 71,82
 渡辺優 わたなべゆう 25
 渡辺幸男 わたなべゆきお 198
 渡辺林治 わたなべりんじ 201
 亙理陽一 わたりよういち 99

【欧文】

GC ジャパン翻訳グループ 31,88
 KEIGLAD 142,228
 King, R.C. 218
 Mulligan, P.K. 218
 Stansfield, W.D. 218

書名索引

なお、6～15は新刊案内の頁です。

【あ】

「アーサー王物語」に憑かれた人々	122
アーツ・マネジメントの基本	106, 107
アートは地域を変えたか	83, 105
アート・ロー入門	109, 149
アート・ローの事件簿 盗品・贋作と「芸術の本質」篇	109, 148
アート・ローの事件簿 美術品取引と権利のドラマ篇	110, 148
アート・ワールド	83, 107
アレントと二〇世紀の経験	28
愛と戦いのイギリス文化史 1900-1950年	70
愛と戦いのイギリス文化史 1951-2010年	70
アウトテイクス	49, 82
赤い大公	67
アカデミック・スキルズ (第3版)	19
アカデミックライティング入門 (第2版)	19
アジア・アフリカ研究	158
アジア主義思想と現代	55
アジア主義と近代日中の思想的交錯	55
アジア・太平洋経済圏の新时代	197
アジア・太平洋新秩序の模索	169
アジア的空間の近代	61
アジア都市の成長戦略	197
アジアにおける「知の伝達」の伝統と系譜	97
アジアの「核」と私たち	175
アジアの国際不動産投資	197
アジアの持続可能な発展に向けて	176
アジアの文化遺産	95
アジアの文人が見た民衆とその文化	70
遊びの指導の手引	105
「新しい国民皆保険」構想	195
新しい消費者教育 (第2版)	82
あなたは今、この文章を読んでいる。	32, 133
アフター・アメリカ	71, 82
アメリカ外交の大戦略	172
アメリカ国立公園の誕生	68
アメリカ大統領と南部	68
アメリカのナボコフ	124
アメリカの病	172
アメリカ文学史	123
アメリカ・マーケティング研究史 15講	204
新たな魚類大系統	217
アラビア語入門 (井筒俊彦全集第十二巻)	34
アラビア哲学 (井筒俊彦全集第一巻)	33
アランの情念論	38
ありふれたものの変容	30, 108
アルスター長老教会の歴史	65
アルテ・ボヴェラ	132, 109
アルバム (精選 折口信夫VI)	59, 118
アルバム 小泉信三	130, 236
アンクル・トムとメロドラマ	123
アンドレ・ブルトンの詩的世界	126
アントレプレナーの経営学 1	208
アントレプレナーの経営学 2	208
アントレプレナーの経営学 3	209

【い】

EPUB 戦記	87, 218
イエイツ	123

異郷論・祭祀論 (精選 折口信夫 I)	58, 117
イギリス取引法入門	148
ギリスの戦後ヨーロッパ構想とフランスの再興	65
イギリスの対独「宥和」	65
池田政権と高度成長期の日本外交	162
意識と本質 (井筒俊彦全集 第六巻)	33
意識と目的の科学哲学	6, 38
意識の形而上学 (井筒俊彦全集 第十巻)	34
意志薄弱の文学史	116
イスタンブル交易圏とイラン	62
泉鏡花	117
イスラーム改革派と社会統合	169
イスラーム思想史 (井筒俊彦全集 第四巻)	33
イスラーム神学における信の構造	35
イスラームのアダム	80
イスラームの形成	61
イスラームの誕生	61
イスラーム文化 (井筒俊彦全集 第七巻)	34
イスラーム法の子ども観	80
イスラエルの文化遺産マネジメント	71
逸脱の文化史	69
井筒俊彦 寂知の哲学	36
井筒俊彦 起源の哲学	36
井筒俊彦 さんまい	36
井筒俊彦 世界と対話する哲学	36
井筒俊彦全集別巻	34
井筒俊彦とイスラーム	37
井筒俊彦 東洋哲学の深層構造	6, 37
井筒俊彦の学問遍路	37
井筒俊彦の東洋哲学	37
イデオロギー批判のプロフィール	160
遺伝学辞典	218
伊藤仁斎の思想世界	42
犬と会話する方法	15, 216
犬に話しかけてはいけない	71
犬も歩けば物理にあたる	213
井上輝夫詩論集 詩心をつなぐ	129
命に〈価格〉をつけられるのか	180
いのちに国境はない	94
命をどこまで操作してよいか	39
〈茨の国〉の言語	71
いま死刑制度を考える	91, 154
意味の構造 (井筒俊彦全集 第十一巻)	34
意味の深みへ (井筒俊彦全集 第八巻)	34
移民とAIは日本を変えるか	93, 187
移民は世界をどう変えてきたか	13, 50, 180
(癒し)のナショナリズム	49, 91
医療介護の一体改革と財政	195
医療ツーリズム	204, 220
医療プロフェッショナルリズムを測定する	221
医療保険制度の再構築	195
岩田健小学校脚本集	99, 239
巖谷小波日記	132
インクルーシブ教育を支えるセンター的機能の充実	103
インテリジェンス	174
インテリジェンス入門 (第2版)	174
インドネシア国家と西カリマンタン華人	71
インドネシアのイスラーム改革主義運動	62
インドネシアの農村工業	94, 198
陰謀論はなぜ生まれるのか	13, 86, 173

【う】

ヴァイマル文化の芸術と教育	97, 107
ウィーン 1938 年 最後の日々	8, 66
ヴィクトリア朝の福澤諭吉と岩倉使節団	53, 234
ウェストゲンシュタインの教育学	27
ウエストファリア条約	154
浮世絵とバトロ	110
ウクライナの夜	171
「うたのことば」に耳をすます	119
宇宙樹	71
美しい日本語 荷風Ⅰ	117
美しい日本語 荷風Ⅱ	117
美しい日本語 荷風Ⅲ	117
美しき闘争	29, 172
産む身体を描く	70, 220
運輸・交通インフラと民力活用	185

【え】

英国ゴシック小説の系譜	123
英語史入門	135
英語支配とことばの平等	40, 135
英語で仕事をしたい人の必修 14 講	21, 136
英語論文の書き方入門	19
エイズは終わっていない	93, 221
寂知の詩学 小林秀雄と井筒俊彦	36, 118
エーゴ「薔薇の名前」	127
x - DESIGN	112
エッセンシャル金融ジェロントロジー 第 2 版	191
江藤淳 漱石と近代日本文学	119, 236
江戸の花道	116
エビステモロジー	38
エリアーディングリアヌス往復書簡 1972 - 1986	77
エンジニアリングシステムズ	214
遠城寺式乳幼児分析的発達検査法	222
遠藤周作 神に問いかけつづける旅	119
円の実力	189

【お】

大出冕哲学論文集	39
オーウェル「一九八四年」	123
大槻文彦「言海」	40
岡倉天心とインド	48
オックスフォードブリテン諸島の歴史	
第 1 巻 ローマ帝国時代のブリテン島	63
第 3 巻 ヴァイキングからノルマン人へ	64
第 4 巻 12・13 世紀 1066 年～1280 年頃	64
第 5 巻 14・15 世紀	64
第 6 巻 16 世紀 1485～1603 年	64
第 7 巻 17 世紀 1603～1688 年	64
第 8 巻 18 世紀 1688～1815 年	64
第 9 巻 19 世紀 1815 年～1901 年	64
第 10 巻 20 世紀 1901～1951 年	64
第 11 巻 20 世紀 1945 年以後	65
小津安二郎 サイレント映画の美学	113
おとめ座の荷風	117
小幡篤次郎著作集 第一巻	47, 234
小幡篤次郎著作集 第二巻	47, 235
小幡篤次郎著作集 第三巻	47, 235
小幡篤次郎著作集 第四巻	7, 47, 235
小幡篤次郎著作集 第五巻	7, 47, 235
おまかせしない医療	223
折口信夫芸能史講義 戦後篇 上	59
折口信夫芸能史講義 戦後篇 下	59
折口信夫と古代を旅ゆく	59
折口信夫の晩年	118
折口信夫 秘恋の道	118

終わらなき暴力とエスニック紛争	169
音楽の哲学入門	31, 108
現代語訳 女大学評論 新女大学	44, 232

【か】

カール・クラウスと危機のオーストリア	66
海外の安楽死・自殺補助と法	152
会計学	207
会計学の基本問題	207
会計学を索ねて	207
会計士の歴史	207
会計的統合の系譜	208
会計と会計学のレーゾン・デートル	207
会計と社会	208
外国判決の承認	148
会社法以前	150
概説 キリシタン史	52
改善活動のマネジメント	203
回想 慶應義塾	130, 237
回想五十年 慶應義塾と私	131, 238
鯛う	224
科学技術系のライティング技法	18
科学技術と日本の経済成長	13, 188
科学する詩人 ゲーテ	126
科学の哲学	37
科学をめざす君たちへ	212
下級審商事判例評釈 (昭和 40 年～44 年)	151
下級審商事判例評釈 (昭和 45 年～49 年)	151
下級審商事判例評釈 (昭和 50 年～54 年)	151
下級審商事判例評釈 (昭和 55 年～59 年)	151
下級審商事判例評釈 (昭和 60 年～63 年)	151
下級審商事判例評釈 (平成元年～5 年)	151
下級審商事判例評釈 (平成 6 年～10 年)	151
下級審商事判例評釈 (平成 11 年～15 年)	152
下級審商事判例評釈 第 10 巻 平成 16 年～20 年	152
格差社会と労働市場	193
格差と闘え	94, 177
隠された芭蕉	10, 120
学術書の編集者	87
学生による学生のためのダメレポート脱出法	20
革命と騒乱のエジプト	170
学問のすゝめ	42, 230
学問のすゝめ (コンパクト版)	44, 231
学問之独立 慶應義塾之記	43, 230
確率の出現	38, 199
家計簿と統計	187
寡占企業と推測的変動	184
家族法改正を読む	145
語り継ぐ三田法学の伝統	132, 238
語り手としての福澤諭吉	46, 234
価値創造の健康情報プラットフォーム	221
学校に行かない子どもたちの社会史	9, 96
学校の先生・S・C にも知ってほしい 不登校の子どもに 何が必要か	74, 100
学校の先生にも知ってほしいアレルギーの子どもの 学校生活	100
学校の先生にも知ってほしい慢性疾患の子どもの学校生活	100
学校は私たちの「良い生活」だった	99
活躍する若手社員をどう育てるか	205
悲しい曲の何が悲しいのか	31, 109
荷風へ、ようこそ	117
カフからしくないカフカ	126
株式譲渡と株主権行使	150
鎌田 田代の土方巽	115
神・自然・人間の時間	6, 25
からだによいオイル	222

仮釈放の理論	153
変わる東南アジア	169
環境学入門	9, 92, 157
環境経済学の政策デザイン	196
環境税の日独比較	196
環境法の考えかたⅠ	157
環境法の考えかたⅡ	157
韓国映像コンテンツ産業の成長と国際流通	86
韓国軍事主義の起源	7, 60, 165
韓国「建国」の起源を探る	60
韓国の少子高齢化と格差社会	165
監視カメラと閉鎖する共同体	90
鑑賞 経営寓句	129
感情と法	29, 141
感情の哲学入門講義	31
感情を生きる	81
感じるスコラ哲学	25
漢詩を詠む日々	131
カントの批判的哲学	26, 140
カント 未成熟な人間のための思想	26
神戸寅次郎 民法講義	146

【き】

消えゆく手	200
企業 契約 金融構造	184
企業所有論	184
企業のリスクマネジメントと保険	15, 204
汽車とレコード	131
擬制の論理 自由の不安	48
増補 北里柴三郎とその一門	54
北朝鮮を解剖する	12, 165
吉右衛門	114
絹の襷	7, 57, 216
キャリア教育論	100
キャンパスの戦争	56, 102, 237
キャンブ論	83
旧約聖書	78
教育が日本をひらく	237
教育現場を「臨床」する	96
教育心理学	97
「競争」は社会の役に立つのか	39, 179
競争法におけるカルテル規制の再構築	156
共和主義者モンテスキュー	26
キリシタン時代の良心問題	52
キリスト教哲学入門	24
キリスト教と寛容	79
銀河の中心に潜むもの	212
近代庚申塔の考古学	51
近代オスマン帝国における国家医療の誕生	8, 62
近代国際秩序形成と法	155
近代国家の再検討	162
近代中国の新疆統治	168
近代日本と経済学	186, 238
近代日本と福澤諭吉	45, 231
近代日本の金・外貨政策	191
近代日本の「情報革命」	13, 182
近代東アジア憲法の歴史的交響	10, 156
近未来の交通・物流と都市生活	215
金融経済 第3版	190
金融政策	190
金融政策の「誤解」	190
金融政策の大転換	190

【く】

空海『三教指帰』	78
空海の座標	78
ゲーテンベルクからゲーゲルへ	86

クジラの海をゆく 探究者たち 上	124, 216
クジラの海をゆく 探究者たち 下	124, 216
クジラの鼻から進化を覗く	217
工藤北斗の司法試験予備試験 最速の「合格力方」	141
久保田万太郎	120
苦悶する中央銀行	14, 184
クリエイティブ・ラーニング	81, 96
クリティカル・リーディング入門	20
クルアーン	79
クルアーンにおける神と人間	35
グループ・インタビュウの技法	83
グループ学習入門	19
グレアム・グリーン ある映画の人生	113, 124
黒い雨に撃たれて 上	55
黒い雨に撃たれて 下	56
グローバルインフレーションの深層	187
グローバルコミュニケーションのための英語学概論	41, 135
グローバルプロジェクトチームのまとめ方	202
「軍」としての自衛隊	175
軍法会議のない「軍隊」	141, 175

【け】

経営人材を育てる！	200
慶應義塾体育会蹴球部百年史	95, 238
慶應義塾大学法学部政治学科百年小史	131, 238
慶應義塾で学んだ女性たち	132
慶應義塾の近代アメリカ留学生	53, 237
慶應義塾幼稚舎疎開学園の記録 上	99, 239
慶應義塾幼稚舎疎開学園の記録 下	99, 239
慶應義塾幼稚舎疎開学園の記録 (別巻)	99, 239
慶應義塾 歴史散歩 キャンパス編	102, 237
慶應義塾 歴史散歩 全国編	102, 237
慶應の教養学	138
慶應の政治学 国際政治	175
慶應の政治学 政治思想	158
慶應の政治学 政治・社会	158
慶應の政治学 地域研究	158
慶應の政治学 日本政治	162
慶應の法律学 刑事法	154
慶應の法律学 公法Ⅰ	143
慶應の法律学 公法Ⅱ	143
慶應の法律学 商事法	150
慶應の法律学 民事法	148
慶應の法律学 民事手続法	147
慶應ものがたり	130, 237
経済学ではこう考える	177
経済学の歴史	186
経済学 わが道	178
経済政策論	188
経済戦略のためのモデル分析入門	183
経済変動の進化理論	184
刑事訴訟法講義 第5版	153
芸術とその対象	30, 108
芸術の言語	30, 108
刑の一部執行猶予 改訂増補版	153
芸能史論 (精選 折口信夫Ⅳ)	59, 118
ケースメソッド教授法入門	202
激動の朝鮮半島を読みとく	165
原価会計情報システム論	208
言語学への扉	40
言語天文台からみた世界の情報格差	218
言語と呪術	35
言語文化とコミュニケーション	210
源氏物語の政治と人間	116
検証・コロナ期日本の働き方	193
検証 ビジネススクール	200

- 現代意識の語相…………… 210
 現代インドのカーストと不可触民…………… 94
 現代金融と日本経済…………… 190
 現代経済学を超えて…………… 179
 現代商業学…………… 204
 現代中国産業発展の研究…………… 198
 現代中国政治外交の原点…………… 166
 現代中国政治研究ハンドブック…………… 167
 現代中国の維権運動と国家…………… 167
 現代中国の国家形成…………… 12, 165
 現代中国の政治制度…………… 166
 現代日本行政の比較分析…………… 12, 163
 現代日本の金融システム…………… 14, 191
 現代日本の消費分析…………… 187
 現代物理学を学びたい人へ…………… 212
 現代ロシア政治入門 第2版…………… 171
 原爆の記憶…………… 48, 57
 ケンブリッジの卵…………… 212
 憲法の優位…………… 143
 元老院の研究…………… 54
- 【こ】**
- 小泉信三エッセイ選1 善を行うに勇なれ…………… 129, 235
 小泉信三エッセイ選2 私と福澤諭吉…………… 129, 235
 恋するフランス文学…………… 124
 工学部生のための研究の進めかた…………… 214
 抗加齢医学入門 第3版…………… 221
 公共政策と変わる法制度…………… 210
 公共の経済・経営学…………… 184
 好古の瘴気…………… 58
 豪商の金融史…………… 181
 交通サービスの革新と都市生活…………… 214
 神戸開市からの復興…………… 57, 92
 小売業の実践 SDGs 経営…………… 201
 功利とデモクラシー…………… 27
 高齢者の交通事故と補償問題…………… 204
 高齢者のためのデザイン…………… 214
 高齢者向け民間住宅の論点と解釈…………… 146
 〈声なき声〉のジャーナリズム…………… 8, 85
 GOZO ノート1 コジキの思想…………… 128
 GOZO ノート2 航海日誌…………… 128
 GOZO ノート3 (わたしは映画だ)…………… 128
 国際安全保障がわかるブックガイド…………… 12, 176
 国際銀行とアジア 1870～1913…………… 191
 国際刑法における上官責任とその国内法化…………… 153
 国際責任の履行における賠償の研究…………… 155
 国際組織犯罪対策における刑事規制…………… 153
 国際的視野からみる近代日本の女性史…………… 87
 国際電気通信市場における制度形成と変化…………… 176
 国際取引のためのイギリス法…………… 148
 黒板とワイン…………… 83
 国民視点の医療改革…………… 195
 国連と帝国…………… 68, 93
 こころの健康度を高めるセルフケアツール開発…………… 74
 心の健康を求めて…………… 105
 こころの時代の教育…………… 98
 こころをつなぐ小児医療…………… 220
 コスモスとアンチコスモス (井筒俊彦全集第九巻)…………… 34
 子育ての経済学…………… 102, 180
 国家公務員の中途採用…………… 163
 国家・メディア・コミュニティ…………… 163
 ことばの力を育む…………… 99
 言葉はいかに人を欺くか…………… 38, 85
 ことばをつくる…………… 40, 74
 子どものうつ病…………… 75, 223
 子どものこころ…………… 75, 98
 子どものこころに寄り添う営み…………… 73
 子どものこころの不思議…………… 76
- 子どもは育てられて育つ…………… 98
 5人目の旅人たち…………… 75, 87
 小林秀雄と河上徹太郎…………… 119
 新版 小林秀雄 越知保夫全作品…………… 118
 コミュニケーション研究 第5版…………… 84
 コミュニケーションの哲学入門…………… 24
 コミュニケーション場のメカニズムデザイン…………… 98, 206
 コミュニティと芸術…………… 84, 107
 コミュニティのちから…………… 84
 米作農業の政策効果分析…………… 188
 雇用システムの多様化と国際的収斂…………… 205
 コラプション…………… 179
 コラボレーション!…………… 101
 コロナ禍と家計のレジリエンス格差…………… 187
 コロナ禍における個人と企業の変容…………… 193
 コンヴェンション…………… 30, 187
 根源と流動…………… 24
 コンパッション都市…………… 84
 混迷のアメリカを読みとく 10の論点…………… 12, 172
- 【さ】**
- 災害復興法学…………… 156
 災害復興法学Ⅱ…………… 157
 災害復興法学Ⅲ…………… 157
 債権法改正を読む…………… 144
 財産の集約的把握と許害行為取消権…………… 11, 147
 財政政策と社会保障…………… 188
 サイバーセキュリティ入門 第2版…………… 218
 裁判員の判断の心理…………… 73
 再分配政策の政治経済学Ⅰ…………… 195
 西遊記…………… 37, 121
 採用のストラテジー…………… 205
 沙翁と福翁に学ぶ生きる知恵…………… 122
 詐欺師ジョエル・ソープの変貌…………… 124
 サクセスフル・エイジング…………… 82, 163
 サステナビリティ時代の会社…………… 15, 201
 雑誌帖のアメリカ…………… 132
 〈サラリーマン〉のメディア史…………… 87
 サロメのダンスの起源…………… 125
 The Work of the Future…………… 194
 産業組織…………… 184
 三十年一日…………… 132
 サンリオ出版大全…………… 8, 87, 121
- 【し】**
- シェイクスピアの宇宙…………… 114, 122
 ジェシー・ターボックス・ピールズのアメリカ…………… 89, 111
 支援から共生への道…………… 75
 支援から共生への道Ⅱ…………… 76
 ジョ・メディアの系譜…………… 72, 180
 五訂版 視覚障害教育に携わる方のために…………… 104
 視覚障害教育の基本と実践…………… 103
 視覚に障害のある乳幼児の育ちを支える…………… 104
 シカゴ・スタイル 研究論文執筆マニュアル…………… 19
 色素細胞 第2版…………… 217
 私権の創設とその展開…………… 148
 思考を鍛える大学の学び入門 第2版…………… 20
 思考を鍛えるライティング教育…………… 97
 思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版…………… 18, 206
 仕事から見た「2020年」…………… 193
 思索と想い…………… 220
 資産家資本主義の生成…………… 181
 時事小言 通俗外交論…………… 43, 231
 システムズエンジニアリングハンドブック 第4版…………… 214
 システムデザイン・マネジメントとは何か 第2版…………… 214
 自然地理学 第6版…………… 213
 自然と対話する魂の軌跡…………… 126
 自然を前にした人間の哲学…………… 24

- 時代の「見えない危機」を読む…………… 187
 肢体不自由教育の基本と実践…………… 103
 肢体不自由教育の基本とその展開…………… 104
 自治体行政の政治経済学…………… 164, 192
 自治体行動の憲法的保障…………… 143
 実学の理念と起業のすずめ…………… 45, 234
 失業なき雇用流動化…………… 192
 実験国家アメリカの履歴書 第2版…………… 68
 実践ファイナンス論…………… 14, 191
 実践メディア・コンテンツ論入門…………… 86
 失踪の社会学…………… 90
 実地調査入門…………… 20
 実中研流 世界標準システムのつくり方…………… 222
 児童精神科医が語る あらためてきちんと知りたい
 発達障害…………… 103
 「死にたい」とつぶやく…………… 75, 90
 詩場所なるもの…………… 129
 慈悲と正直の公共哲学…………… 42, 161
 閉塞スペクトラム症教育の基本と実践…………… 103
 司法通訳人という仕事…………… 91, 142
 市民の義務としての(反乱)…………… 159
 シモヌ・ヴェイユの詩学…………… 28
 ジャーナリズムの国籍…………… 86
 ジャーナリズムは甦るか…………… 85
 社会イノベーションの方法と実践…………… 210
 社会イノベーターへの招待…………… 200
 社会システム理論…………… 81
 社会保護政策論…………… 194
 社会保障の政策転換…………… 195
 社会保障費用統計の理論と分析…………… 194
 『写真週報』とその時代(上)…………… 55
 『写真週報』とその時代(下)…………… 55
 写真の存在論…………… 111
 シャール・ドゴール…………… 66, 170
 シャンカラ派の思想と信仰…………… 80
 ジャン＝ジョゼフ・スラン…………… 25
 ジョルジュ・ルシエ生成する異端…………… 25
 十九世紀米国における電気事業規制の展開…………… 182
 宗教の経済学…………… 77, 180
 収縮経済下の公共政策…………… 188
 『修身論』の「天」…………… 47
 重度・重複障害教育におけるカリキュラム評価…………… 104
 重度・重複障害児の対人相互交渉における共同注意…………… 104
 自由なき世界 上…………… 159
 自由なき世界 下…………… 159
 十二世紀宗教改革…………… 63, 79
 自由民権運動の研究…………… 54
 十四億人の安寧…………… 14, 198
 ジュール・ヴェルヌが描いた横浜…………… 125
 出版文化史の東西…………… 134
 純潔の近代…………… 90
 春宵…………… 132
 詳解 国際知的財産法…………… 149
 蒋介石の戦時外交と戦後構想…………… 166
 障害の重い子どもの発達理解ガイド…………… 104
 障害の重い子どもの目標設定ガイド 第2版…………… 104
 小学生のためのキャリア教育実践マニュアル…………… 97
 少子高齢時代の女性と家族…………… 89
 小説は、わかってくればおもしろい…………… 21, 133
 創造業の展開と地方の工業化…………… 181
 小児失語症の言語回復…………… 40, 222
 少数人学級の経済学…………… 96, 180
 消費者教育学の地平…………… 82
 消費するインドネシア…………… 198
 縄紋土器の系統学…………… 51
 醤油醸造業と地域の工業化…………… 181
 昭和期政軍関係の模索と総力戦構想…………… 56, 161
 昭和の一哲学者…………… 131
 ジョーン・ロビンソンとケインズ…………… 186
 初級中国語テキストまなで (CD付)…………… 136
 食卓の上の韓国史…………… 69
 植物染色…………… 111
 植物の世代交代制御因子の発見…………… 217
 植物はなぜ自家受精をするのか…………… 217
 ショスタコーヴィチとスターリン…………… 68, 113
 女性たちの韓国近現代史…………… 7, 60, 88
 女性たちのフランス革命…………… 66
 女性兵士という離間…………… 88
 ジョン・ラスキンの労働者教育…………… 107
 資料検索入門…………… 19
 白い金…………… 137
 人格障害犯罪者に対する刑事制裁論…………… 154
 新・考える民法Ⅰ 民法総則 第2版…………… 145
 新・考える民法Ⅱ 物権・担保物権…………… 145
 新・考える民法Ⅲ 債権総論 第2版…………… 11, 145
 新・考える民法Ⅳ 債権各論…………… 145
 神宮へ行く…………… 95
 Think critically クリティカル・シンキングで真実を
 見極める…………… 21, 207
 神経症的な美しさ…………… 29, 91
 人口減少時代の保険業…………… 203
 新興大国インドの行動原理…………… 169
 人口変動と家族の実証分析…………… 197
 新債権法の論点と解釈 第2版…………… 145
 真実が揺らぐ時…………… 50
 新生…………… 224
 新世紀民法学の構築…………… 147
 新体シェイクスピア…………… 114, 122
 診断の社会学…………… 91
 ジンバブウェの政治力学…………… 170
 新版 市場を創る…………… 183
 新版 大学生が知っておきたい生活のなかの法律…………… 141
 新版 トルコ民族の世界史…………… 62
 新版 ヨーロッパの中世…………… 63
 神祕哲学 (井筒俊彦全集 第二巻)…………… 33
 人文学と電子編集…………… 86
 人文・社会科学のための研究倫理ガイドブック…………… 21
 人脈のできる人…………… 206
 信用貨幣の生成と展開…………… 181
 信頼と裏切りの哲学…………… 6, 26
 信頼の経済学…………… 179
 心理学が描くリスクの世界 Advanced…………… 75
 心理学が描くリスクの世界 第3版…………… 75
 心理劇入門…………… 73
 真理探究者たち…………… 7, 48
 森林資源の環境経済史…………… 196
- 【す】**
 随想ほか・逍空詩編(精選 折口信夫V)…………… 59, 118
 新編 随筆慶應義塾…………… 130, 236
 随筆集 (西脇順三郎コレクション6)…………… 128
 スーパーバイオマス…………… 219
 スーフィズムと老荘思想 下…………… 35
 スーフィズムと老荘思想 上…………… 35
 素顔の現代インド…………… 169
 杉浦康平と写植の時代…………… 112
 杉田玄白晩年の世界…………… 42
 鈴木孝夫 世界の中の日本と日本語…………… 40, 236
 スターリン時代の記憶…………… 67
 スターリンの極東戦略 1941-1950…………… 67, 171
 Study Skills for College English 2nd Edition…………… 136
 スヌービーがいたアメリカ…………… 124, 173
 スペイン 危機の二〇世紀…………… 67

- スペイン語の世界…………… 137
 スポーツのちから…………… 95
- 【せ】**
- 性…………… 224
 セイヴィングキャピタリズム…………… 184
 生活史宣言…………… 82
 正規の世界・非正規の世界…………… 193
 政治権力研究の理論的課題…………… 159
 政治思想史入門…………… 159
 政治・社会理論のフロンティア…………… 160
 聖書と比喩…………… 41, 79
 政治理論入門…………… 159
 精神史における言語の創造力と多様性…………… 41
 製造物責任法の論点と解釈…………… 145
 生態系減災 Eco-DRR…………… 93
 生体臓器移植の倫理…………… 39, 221
 成長の臨界…………… 187
 制度とは何か…………… 30, 182
 西南戦争と自由民権…………… 54
 生命の経済学…………… 224
 西洋活字の歴史…………… 69, 112
 西洋教育思想史 第2版…………… 97
 西洋事情…………… 42, 230
 西洋事情 (コンパクト版)…………… 44, 231
 西洋精神史における言語観の変遷…………… 41
 西洋精神史における言語と言語観…………… 41
 西洋における近代的自由の起源…………… 138
 世界金融・経済危機の全貌…………… 190
 世界国忌 窮理図解…………… 42, 230
 世界史のなかの近世…………… 51
 世界史の中の近代日韓関係…………… 60, 164
 世界と僕のあいだに…………… 29, 172
 世界の英語と社会言語学…………… 41, 135
 世界を読み解く一冊の本…………… 133
 選挙干渉と立憲政治…………… 54
 戦後アジア・ヨーロッパ関係史…………… 176
 戦後国際関係史…………… 176
 戦後日中間係と廖承志…………… 167
 戦後日本の防衛政策…………… 175
 戦後法制改革と占領管理体制…………… 57, 156
 禪竹能楽論の世界…………… 114
 占領期ラジオ放送と「マイクの開放」…………… 56
- 【そ】**
- ソヴェト政治の歴史と構造…………… 171
 創刊一〇〇年 三田文学名作選…………… 120
 総合研究 日本のタクシー産業…………… 192
 総合政策学の方法論的展開…………… 210
 漱石の書斎…………… 116
 増補版 三田文学名作選…………… 120
 ソーシャル・キャピタルの経済分析…………… 189
 続・新体シェイクスピア…………… 114, 122
 組織自律力…………… 202
 組織としての生命…………… 224
 組織不正の心理学…………… 202
 それでも神はいる…………… 119
 存在顕現の形而上学 (井筒俊彦全集 第五卷)…………… 33
 存在の概念と実在性…………… 35
- 【た】**
- 第一次世界大戦と日本の総力戦政策…………… 55
 第一次世界大戦への道…………… 68
 第一回普選と選挙ボスター…………… 162
 大学1年生からの研究の始めかた…………… 20
 大学1年生からのプロジェクト学習の始めかた…………… 20
 大学院生へのメッセージ…………… 101
 大学生が知っておきたい 消費生活と法律 第2版…………… 142
- 大学生のための交渉術入門…………… 21
 大学生のための速読法…………… 21
 大学生のための動画制作入門…………… 21
 大学生のための日本国憲法入門…………… 143
 大学生へのメッセージ…………… 101
 大学で学ぶ英語の教科書…………… 135
 大学で学ぶ議論の技法…………… 21
 大学の IR…………… 100
 代議制民主主義の比較研究…………… 160
 胎児期に刻まれた進化の痕跡…………… 217
 大正期日本法学とスイス法…………… 156
 大正デモクラットの精神史…………… 48
 大都市圏の拡大と地域変動…………… 92
 第二次世界大戦期イギリスのラジオと二つの戦争文化…………… 8, 65
 第二の故郷 三田の山…………… 131, 238
 大日本帝国の崩壊と引揚・復員…………… 56
 共同研究 太平洋戦争と慶應義塾 本文篇…………… 56, 100, 239
 対立と分断の中のメディア政治…………… 85
 台湾で日本人を祀る…………… 60
 台湾をめぐる安全保障…………… 168
 高橋誠一郎 人と学問…………… 178
 瀧口修造 1958…………… 110
 田口卯吉の夢…………… 48, 161
 正しく食べて健康に生きよう…………… 222
 立ち退かされるのは誰か?…………… 9, 92
 旅の書物 / 旅する書物…………… 134
 『ダフニスとクロエー』の世界像…………… 127
 タブローの「物語」…………… 110
 多文化「共創」社会入門…………… 93
 多文化都市・新宿の創造…………… 94
 食べる…………… 224
 多様化する日本人の働き方…………… 193
 多様な花が生まれる瞬間…………… 217
 誰よりも、うまく書く…………… 18, 206
 短歌史論・短歌短歌編 (精選 折口信夫Ⅲ)…………… 58, 118
 談合・価格協定事件の経済分析…………… 185
 ダンスは国家と踊る…………… 115
 断絶と新生…………… 63
 ダンテ『神曲』における数的構成…………… 127
- 【ち】**
- 地域医療の経済学…………… 14, 195
 地域金融の経済学…………… 191
 地域研究と現代の国家…………… 175
 地域研究と第三世界…………… 51
 地域と社会を変えた起業家たち…………… 200
 地域包括ケアシステム…………… 194
 小さな倫理学入門…………… 38
 チームとリーダーシップの心理学…………… 73, 203
 智恵の系譜…………… 27
 知覚と判断の境界線…………… 31, 108
 地下出版のメディア史…………… 87
 地球温暖化シミュレーション…………… 213
 地球温暖化と東アジアの国際協調…………… 196
 父小泉信三を語る…………… 130, 235
 地中海世界の旅人…………… 63
 秩序変動と日本外交…………… 164
 知的障害教育の基本と実践…………… 103
 中国外交と台湾…………… 168
 中国外交とプラグマティズム…………… 167
 中国「強国復権」の条件…………… 197
 中国共産党の支配と権力…………… 167
 中国共産党の統治と基層幹部…………… 167
 中国共産党の歴史…………… 165
 中国経済近代化と体制改革…………… 198
 中国経済の生産性分析 1992-2010…………… 198

- 中国現地法人の労務管理 Q&A 205
 中国対外行動の源泉 168
 中国・朝鮮人の関東大震災 55
 中国 統治のジレンマ 166
 中国の公共性と国家権力 168
 中国の高齢者福祉政策 168, 198
 中国の日系企業 198
 中国の労働者組織と国民統合 167
 中国文学史 121
 中国料理と近現代日本 69
 中国料理の世界史 69
 中世のイギリス 65
 中世の美学 25, 108
 中世ヨーロッパの「伝統」 63
 聴覚障害教育の基本と実践 103
 超高齢・人口減少社会のイノベーション 201
 長寿譚 131
 超成熟社会発展の経済学 178
 超成熟社会発展のサイエンス 101
 朝鮮出版文化の誕生 61
 朝鮮引揚げと日韓国交正常化交渉への道 61, 164
 朝鮮分断の起源 61, 165
 チョーサー『カンタベリー物語』 65, 122
 『沈黙』をめぐる短篇集 119
- 【つ】**
 通俗民権論 通俗国権論 43, 230
 月とゲッター 179
- 【て】**
 D. H. ロレンス研究 123
 抵抗の文学 121
 帝国大学の朝鮮人 60
 ディスカッションを科学する 218
 デイスニーランド化する社会で希望はいかに語りうるか 92
 帝大新人会研究 54
 丁丑公論 瘠我瘦の説 43, 231
 データ収集・分析入門 19, 83
 データとモデルの実践 ミクロ経済学 183
 テオフィル・ド・ヴィオー 125
 テクストとは何か 134
 デザイン科学概論 215
 デザイン言語 112
 デザイン言語 2.0 112
 デザイン言語 入門 111
 デザイン・ストラクチャー・マトリクス DSM 214
 デジタル化時代の自動車保険 204
 デジタル世界図絵 106, 107
 哲学は環境問題に使えるのか 39, 92
 テロとインテリジェンス 174
 テロリズムとは何か 174
 伝記 小泉信三 101, 236
 電子投票と日本の選挙ガバナンス 160
 天皇・皇室制度の研究 52
 展望台のある島 121
 デンマークのシティズンシップ 98
- 【と】**
 ドイツ強制抵当権と BGB 編纂 146
 ドイツ強制抵当権の法構造 146
 ドイツ金融資本と世界市場 199
 ドイツ憲法の道程 143
 同一性と個体 24
 統計学基礎講義 (第3版) 199
 動作法ハンドブック 応用編 105
 動作法ハンドブック 基礎編 (改訂版) 105
 倒産法実務の理論研究 148
 どうする、小学校英語? 99
- 同性婚論争 89, 173
 統治の諸規則 80
 東南アジア地域研究入門 1 環境 93, 168
 東南アジア地域研究入門 2 社会 168
 東南アジア地域研究入門 3 政治 169
 現代語訳 童蒙おしえ草 ひびのおしえ 102, 232
 東洋哲学の構造 35
 時を有るか尽きん 132
 記憶の居場所 133, 179
 時を漂う感染症 50, 155
 徳川期の銭貨流通 13, 52, 181
 毒と薬の文化史 70
 独仏指図の法理論 150
 特別刑法入門 1 第2版 152
 特別刑法入門 2 152
 特別支援教育のカリキュラム・マネジメント 104
 都市から学ぶアジア経済史 182
 都市・建築レジリエンスデザイン入門 215
 都市・地域・不動産の経済分析 178
 ドバイのまちづくり 199
 トマス・アクィナス 肯定の哲学 25
 『ドライブ・マイ・カー』論 113
 新編 虎が雨 130, 236
 ドラッグの誕生 69
 トランスナショナル化する世界 72, 180
 〈トルコ国民〉とは何か 62, 170
 どれがほんとは? 120
- 【な】**
 内部者取引の研究 151
 長与専斎と内務省の衛生行政 54
 ナショナリズム入門 158
 ナショナル・アイデンティティ 84
 なぜ、インテリジェンスは必要なのか 174
 なぜ科学が豊かさにつながらないのか? 177
 なぜ科学はストーリーを必要としているのか 212
 なぜ男女の賃金に格差があるのか 89, 180
 なぜ中間層は没落したのか 173, 199
 なぜフィクションか? 32, 109
 ナチズムは再来するのか? 67, 171
 何が進学格差を作るのか 82
 ナポレオンの直観 201
 南方からの帰還 56
 難民に冷たい国? ニッポン 9, 94
 「難民」をどう捉えるか 94
- 【に】**
 西周 現代語訳セレクション 47
 西田幾多郎 生成する論理 48
 21世紀とイスラーム 79
 21世紀における法の課題と法学の使命 141
 21世紀のマルクス経済学 185
 西脇順三郎 絵画的旅 128
 2035年の経済社会とイノベーション 178
 日英経済関係史研究 1860～1940 182
 日常生活の指導の手引 (改訂版) 105
 日韓政治制度比較 165
 日韓の未来をつくる 164
 日韓ポピュラー音楽史 10, 113
 日中・ルノー アライアンス オーラルヒストリー 205
 日中終戦と戦後アジアへの展望 166
 日本会計史 207
 三訂 日本外交史概説 162
 日本型 IPO の不思議 202
 日本教育史 96
 日本行政史 161
 日本経済史 1600-2015 181

日本経済の課題と針路	188
日本古代史	51
日本宗教史のキーワード	77
日本女性のライフコース	89, 194
日本政治の過去・現在・未来	162
日本政治の構造と展開	161
日本帝国の崩壊	56
日本の雇用慣行は変化しているのか	205
日本統治下台湾の「国語」普及運動	97
日本農業の生産構造と生産性	188
日本のキャリア形成と労使関係	194
日本の居住保障	194
日本の経済成長とエネルギー	188
日本の資本主義とフクシマ	179
日本の水産資源管理	192
日本のセーフティーネット格差	90, 196
日本の難民保護	9, 94
日本の比較優位	189
日本は「右傾化」したのか	91, 163
日本美術がワカル本	110
日本婦人論 日本男子論	43, 231
日本文学全集の時代	116
ニュー・ミュージコロジー	32, 109
入門 科学哲学	37
入門講義 安全保障論 第2版	174
入門講義 会社法 第3版	150
入門講義 キリスト教と政治	79
入門講義 戦後国際政治史	176
入門講義 戦後日本外交史	162
入門講義 簿記論	15, 208
入門メディア・コミュニケーション	85
人間関係の理解と心理臨床	73
人間は目的的吗	39
認知症にならないための生活習慣	222
ニンファ その他のイメージ論	32, 109

【ね】

「ネオ・チャイナリスク」研究	197
ネクスト・インテリジェンス	13, 174, 202
ネコはここまで考えている	74, 216
熱狂と動員	61, 166
猫越山	121
ネットカフェの社会学	90
ネットワーク・メディアの経済学	185
ネルヴァルの幻想世界	125
年金、民主主義、経済学	195

【の】

農場と森林のプロイセン史	66
ノー・タイム・トゥ・ルーズ	93, 220
ノーベル賞に二度も輝いた不思議な生物	217

【は】

パーソナルファイナンス教育の理論と実証	82
ハーバードのケースで学ぶ企業倫理	202
バイオインフォマティクス入門 第2版	218
バイオメカニズム 24	221
バイオメカニズム 26	221
パウル・ツェランとユダヤの傷	127
幕藩制転換期の経済思想	186
幕府海軍の興亡	53
幕末維新期の米国留学	53
橋川文三の政治思想	7, 49
恥と運命の倫理学	6, 39
はじめて学ぶ 経営経済学	177
はじめて学ぶ 経済学 第3版	177
はじめて学ぶ 社会学 第2版	81

はじめて学ぶ 社会学	83
はじめて学ぶ 大学教養地学	213
はじめて学ぶ ドイツ語文法	137
パターン・ランゲージ	81, 215
働くならこれだけは知っとけ! 労働法	150, 205
破断の時代	50
発達障害と出会うとき	10, 105
発達障害の疑問に答える	76, 100
馬場辰猪日記と遺稿	114
バルトーク 音楽のプリミティヴィズム	53
バロックの王国	65
ハロルド・ヴォーゲルのエンタテインメント・ビジネス	192
犯罪学入門	153
犯罪捜査における情報技術の利用とその規律	154
犯罪被害者への賠償をどう実現するか	11, 154
阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか	9, 91
ハンス・ヨナス 未来への責任	28
汎瞑想	77

【ひ】

非常利組織体会計の研究	208
ビエール・バルブト	111
比較民事手続法研究	147
比較民事手続法のトレンド I	147
東アジア生産ネットワークと経済統合	197
東アジアの民衆文化と祝祭空間	71
東日本大震災と特別支援教育	105
光の形而上学	25
ビギナーのための基本看護英和用語集	136, 220
ビギナーのための経済英語 (第2版)	136, 178
ビギナーのための法律英語	136, 141
土方巽の舞踏	115
ビジネス法務学の誕生	14, 141, 201
美術館・博物館の事件簿	10, 110, 149
ヒックスと時間	186
ビデオゲームの美学	30, 108
人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか	193
美とミソジニー	31, 88
被爆者調査を読む	57, 83
被爆者はなぜ待てないか	49, 57
批判する/批判されるジャーナリズム	85
秘密の戦争	67
百科全書	26
百鬼園 戦前・戦中日記上	120
百鬼園 戦前・戦中日記下	120
ヒューマンファクターズ概論	214
ヒューム 希望の懐疑主義	26
評伝 パウル・ツェラン	126
評伝 レヴィナス	28
漂泊のアーレント 戦場のヨナス	28
評論集 2 (西脇順三郎コレクション 5)	128
ビヨンド 5G が描く未来	201
ひれふせ、女たち	31, 88
貧者を愛する者	62, 78

【ふ】

フィンテックの経済学	191
フーゴの闘争	28
ブーチンのユートピア	171
不可視の「国際法」	155
深読み名作文学 O. ヘンリー「最後の一葉」	123
福翁自伝	44, 232
福翁自伝 福澤全集緒言 (コンパクト版)	44, 231
「福翁自傳」の研究 (本文編・註釈編)	44, 232
福翁自伝 福澤全集緒言	44, 231
福翁百話	43, 231

福翁百話 (コンパクト版)	44, 231
「副業」の研究	193
福澤論吉 教育論	6, 46, 96, 232
新版 福澤論吉 家庭教育のすすめ	102, 234
福澤論吉事典	42, 233
福澤論吉と自由主義	46
福澤論吉と女性	46, 234
福澤論吉とフリーラザ	46, 234
福澤論吉と桃太郎	116
福澤論吉と門下生たち	47, 237
福澤論吉のアジア	46, 232
福沢論吉の初期思想	45, 234
福澤論吉の政治思想	46, 233
福沢論吉の横顔	45, 233
福澤論吉 歴史散歩	46, 234
福澤論吉論の百年	45, 233
福祉技術と都市生活	215
福田恆存	119
富士山	69
物権法改正を読む	145
ブラジル黒人運動とアフリカ	173
ブラックアース (上)	67
ブラックアース (下)	67
プラットフォームと権力	11, 144, 160
プラットフォームと社会基盤	11, 144, 161
プラットフォームとデモクラシー	11, 144, 160
フランス・ユダヤの歴史 (上)	66
フランス・ユダヤの歴史 (下)	66
フランツ・ローゼンツヴァイク	29
フリードリヒ・シラー 自由の美学	6, 27
ブリュメール 18日	8, 66
ブルーストの詩学	125
ブルーストの黙示録	125
触れ、語れ	110
プレゼンテーション入門	20
プレゼンテーション・パターン	206
プロジェクトスタの控えめな創造力	10, 112, 216
ブワイフ朝の政権構造	62
文学発生論・物語史論 (精選 折口信夫Ⅱ)	58, 117
文芸共共和国の歩き方	10, 133
分析フェミニズム基本論文集	31, 88
分析と対話の社会学	81
文明と啓蒙	45, 233
文明論之概略	43, 230
文明論之概略 (コンパクト版)	44, 231
現代語訳 文明論之概略	44, 232

【へ】

現代語訳 特命全權大使 米欧回覧実記 普及版	
第1巻 アメリカ編	52
第2巻 イギリス編	52
第3巻 ヨーロッパ大陸編 (上)	53
第4巻 ヨーロッパ大陸編 (中)	53
第5巻 ヨーロッパ大陸編 (下) 帰航日程	53
現代語訳 特命全權大使 米欧回覧実記 総索引	53
平成災害復興誌	164, 216
米中の狭間を生きる	164
ベースボールを読む	95
ベトナム民法典の誕生	143
ベレーの和食	70
ヘルネズムの詩とホメロス	129
変革の時代における理論刑法学	152
ベンサム	26
ベンサム 「公開性」の法哲学論	27
ベンサムの言語論	27
変動する政治と社会	159

【ほ】

法解釈学入門	140
崩壊の経験	28, 161
法学概論 第二版	140
法、言葉、忘れ得ぬ人々	146
暴政	68, 158
法制と社会の古代史	51, 155
法体系の概念 第2版	140
法典とは何か	140
報道現場	85
法と正義のイコノロジー	140
ホーフマンスタールの青春	126
補完性の理論	203
僕の大統領は黒人だった 上	29, 172
僕の大統領は黒人だった 下	29, 172
保険学講義	203
保険理論の展開	203
保証・人的担保の論点と解釈	11, 146
北海道経済の多面的分析	189
ボルヘス「伝奇集」	127
ボワソナードとその民法 増補完結版	146
翻訳詩集 (西脇順三郎コレクション 3)	128
翻訳地帯	33, 133

【ま】

マーケティングと消費者	178
マイナーな感情	12, 30, 173
前原光雄 国際法論集	155
マクロ金融危機入門	14, 183
マクロ経済統計と構造分析	183
マテリアル・ガールズ	9, 32, 88
学びなおし English	136
「学ぶこと」を考える	138
「学ぶこと」を考える 2	138
迷わず書ける記者式文章術	18
マルメ 不在の懐胎	126
マルクス経済学 第3版	185
マルクス主義、フェミニズム、セックスワーク論	32, 88
マルクス派政治経済学	185
万葉の史的世界	52

【み】

未遂犯と実行の着手	152
水資源の国際経済学	196
三田演説会と慶應義塾系演説会	131, 239
三田の政官界人列伝	57, 239
三田文学総目次 増補版	121
身近なレトリックの世界を探る	40
緑の画家 鈴木信太郎	110
南方熊楠	58
南方熊楠のロンドン	58
水俣の記憶を紡ぐ	60
耳鳴りを治す	222
宮本常一 (抵抗) の民俗学	59
ミュージアム・エデュケーション	106
未来を先導する大学	101, 236
未来を創るころ	130, 236
未来を創る大学	101, 238
民間経済録 実業論	43, 230
民事訴訟における後訴訟理論の再構成	148
民事訴訟法における訴訟終了宣言の研究	148
民事訴訟における当事者の主張規律	147
民事保全法	149
民主主義は甦るのか?	12, 160
民主主義理論の現在	159
民俗学の思考法	58

民法	144
新標準講義 民法債権各論 第2版	144
新標準講義 民法債権総論 全訂3版	144
民法と金融法の新時代	147
民法が語る自然科学	59, 212

【め】

明治初期伺・指令裁判体制の一掬	156
明治初期刑事法の基礎的研究	155
明治人の観た福澤論吉	45, 233
明治日本の法解釈と法律家	156
逃走するイギリス	170
メカニズムデザインと意思決定のフロンティア	183
メディア・社会・世界	84
メディアの公共性	86
メディア・リテラシー入門	85

【も】

盲眼に対する点字読み指導法の研究	105
毛沢東時代の政治運動と民衆の日常	166
毛沢東の強国化戦略 1949-1976	166
もっともシンプルな英語ライティング講義 1	135
モデル構成から家族社会学へ	89

【や】

薬剤師のための症候学 第2版	223
----------------	-----

【ゆ】

輸入ショックの経済学	189
ユリアヌスの信仰世界	63

【よ】

良い政府の政治経済学	13, 163, 179
〈善い〉ビジネスが成長を生む	201
養蚕と蚕神	55
欲望と誤解の舞踏	115
よくわかる! ファイナンス入門	190
よくわかる! マクロ経済学入門	183
よくわかる! ミクロ経済学入門	182
ヨコとタテの建築論	215
横植 民法総論 (法人ノ部)	146
吉田小五郎随筆選	131, 238
吉行淳之介	119
読む統計学 使う統計学	199
読むと書く	36

【ら】

ライヒャルト	112
ライブニッツの創生記	26
ラテンアメリカ	72

【り】

リアル・メイキング	8, 70, 77
歌曲(リート)と絵画で学ぶドイツ文化史	111
リベラルなイスラーム	79
流動する世界秩序とグローバルガバナンス	210
良心の自由	29, 141
「領土」としてのメディア	86
倫理学案内	38
倫理的な戦争	170

【る】

ルードルフ・オットー 宗教学の原点	77
ルールなき省察	186

【れ】

冷戦期日韓安全保障関係の形成	167
冷戦後の国際政治	176

読む戯曲(レーゼ・ドラマ)の読み方	114, 120
歴史学と社会理論 第2版	50
歴史学との出会い	130, 178
歴史としての大衆消費社会	189
歴史としての冷戦	175
歴史は実験できるのか	50, 182
レポート・論文の書き方上級 改訂版	18
レポート・論文の書き方入門 第4版	18
練習は不可能を可能にする	129, 235

【ろ】

老子道德経	35
ロシア歌物語ひろい読み	127
ロシアの人間 (井筒俊彦全集第三巻)	33
ロシアの対日政策 (上)	171
ロシアの対日政策 (下)	171
露西亜文学	34
ロシア文学への扉	127
論理的な考え方 伝え方	20, 206

【わ】

ワークショップデザイン論 第2版	98, 206
ワーク・ファミリー・バランス	89
講演集 1 わが学問わが教育	138
わざ言語	74, 98
私の大学教育論	101
私は自由なのかもしれない	28
わたしは、不法移民	29, 173
「笑い」の解剖	177, 200
われわれが災禍を悼むとき	90

【欧文書】

"A Message of Farewell to Nakatsu" by Fukuzawa Yukichi	45, 226, 231
An Encouragement of Learning	44, 225, 231
An Outline of a Theory of Civilization	44, 225, 231
A Teaching Approach to Japanese College Students	
EFL Writing	41, 97, 225
Blake's Dialogic Texts	122, 227
Challenges for Studying Law Abroad in the Asian Region	142, 228
Comparative Legal Education from Asian Perspective	
	142, 228
Dögen „Shōbōgenzō"	78, 226
Fukuzawa Yukichi on Women and the Family	
	45, 226, 232
God and Man in the Koran	36, 225
Holocene Geomorphic Development of Coastal Ridges in Japan	213, 229
How Public Law Is Taught in Asian Universities	
	142, 228
How the Civil Law is Taught in the Asian Universities	
	142, 228
Jane Austen In and Out of Context	123, 227
La genèse de la danse de Salomé	125, 227
L'« art caché » ou le style de Proust	125, 227
Learning and Interaction: From Cognitive Theories to Epistemology	74, 226
Legal Problems of Japanese-Americans	142, 228
Nikkei Brazilians at a Brazilian School in Japan	41, 97, 225
Promoting the Rule of Law in Asian Dynamics	142, 228
The Concept of Belief in Islamic Theology	36, 225
The Methodological Foundations of the Study of Politics	
	159, 229
The Rise of the Feminist Movement in Japan	88, 227
Traité sur l'acte de foi dans le Grand Véhicule	78, 226
Victims and Criminal Justice: Asian Perspective	154, 228

最新刊のご案内は、 webサイトやSNSをご覧ください！

X (@KEIOUP)、Facebook (facebook.com/keioup)では、最新刊のご案内に加え、フェアやイベントの情報も掲載し、Instagram (instagram.com/keioup/)では、書影を中心にご紹介しています。note (note.com/keioup)では、試し読みの記事なども掲載しておりますので、ぜひご覧ください！

◆ web サイト

<https://www.keio-up.co.jp/>



◆ X

<https://x.com/KEIOUP>



◆ Facebook

<https://www.facebook.com/keioup/>



◆ instagram

<https://www.instagram.com/keioup/>



◆ note

<https://note.com/keioup>



ご注文について

- ◆ご注文はできるだけお近くの書店にてお願い致します。
- ◆書店がお近くにない場合は、弊社ウェブサイト www.keio-up.co.jp をご利用下さい。書籍の送料・手数料は1回のご注文について下記のとおりです。

- ◎クレジット・カードでのお支払いの場合
一律 400円
- ◎代金引換でのお支払いの場合
2,500円(税込)未満 800円
2,500円(税込)以上 300円

- *「教育と医学」の送料はクレジットカードの場合、1冊のご注文につき110円です。
- *「慶應義塾大学の各種機関誌」は、弊社ウェブサイトでお申込みできません。書店でご注文いただくか、下の「商品ご注文」受付までお問い合わせ下さい。

慶應義塾大学出版会株式会社
www.keio-up.co.jp

〒108-8346 東京都港区三田2-19-30

TEL 03-3451-3584 (商品ご注文)
03-3451-3168 (代表)

FAX 03-3451-3122

郵便振替 00190-8-155497

●表紙図版●

『世界国盡』見返し

世界地理の知識を身につけることを目的として明治2（1869）年に刊行された福沢諭吉の著作。江戸の寺小屋などの習字手本によく使われる「江戸方角」「都路」などのように、七五調で面白く書き綴り、習字の手本とすると同時にその文句を誦誦して自然に万国の地理風俗を覚えさせる趣向となっている。

本図版は見返し部分に当たる。周囲を飾り罫で囲い、上端に「明治二年己巳初冬」の文字を横書きし枠内の上部に、「世かい国つくし」と題名を掲げ、その下に洋装の婦人が右手に洋書を開き持ってこれを読んでいる姿が描いてある。

（慶應義塾福澤研究センター蔵）



慶應義塾大学出版会

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

<http://www.keio-up.co.jp/>

営業部 TEL 03-3451-6926

FAX 03-3451-3124

（ご注文） TEL 03-3451-3584

FAX 03-3451-3122

編集部 TEL 03-3451-0931

総務部 TEL 03-3451-3168